

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

日本美術年鑑

平成 9 年版 (1996.1—12)

東京国立文化財研究所

TOKYO NATIONAL RESEARCH INSTITUTE
OF CULTURAL PROPERTIES

13—27 UENO PARK, TAITO-KU, TOKYO

序

この『日本美術年鑑』は、わが国美術界の一年間の動向を、基本となる資料を収集整理してまとめたもので、昭和11年に当研究所美術部の前身である帝国美術院付属美術研究所によって第一冊が刊行された。この方針は、昭和28年に美術研究所が東京国立文化財研究所美術部となっても変わることなく受けつがれ、今回その第54冊目を刊行することとなった。

この平成9年版は、平成8年(1996年1月～12月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の四項目に分けて示すものである。これらの記述の方法は、創刊以来の基本的方針を継承しているが、現代美術に関する展覧会については、昭和61年版以来、重要な展覧会批評の掲載誌紙名を各展覧会の項に付け加えることとした。近年来、年史・展覧会の各項目とも、調査・採録すべき事項が急増しており、その情報量の増加は、我々の年鑑編集能力の限界に近づきつつあるので各項目の内容をとくに厳選して編集することとした。

なお、この年鑑の編集には、当研究所美術部第二研究室が当り、美術部第一研究室、情報資料部等の協力を得た。資料を提供して下さった多くの方々、公私立の美術館・博物館、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心から御礼申し上げる。

平成10年3月

東京国立文化財研究所

美術部長 鶴田武良

凡 例

- 1 本年鑑は、平成8年の1月から12月に至る美術界の主要な出来事を掲載した。
- 1 本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。
- 1 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫塑、工芸、書および建築に限っている。絵画のうち、日本画と洋画の区別は困難な場合もあるが、ほぼ慣例に従った。建築、工芸、書はわれわれの注意をひく範囲にとどめた。
- 1 人名を記す場合は、すべて敬称をはぶいた。
- 1 美術展覧会の欄は、展覧会名、日付、場所の順に略記したが、場所が東京でデパートの本店である場合には、日本橋にある高島屋・三越の(日本橋)、新宿にある小田急・伊勢丹・京王の(新宿)、池袋にある東武・西武の(池袋)、渋谷にある東急の(渋谷)、銀座にある松屋の(銀座)をそれぞれ省略した。また展覧会名は、作家名での検索の便宜を優先し概ね50音順で記載、出品作家名の明らかな2人展、3人展等、及び出品目録を掲載する団体展については、検索上の重複を避けるため最後に列記した。なお展覧会関連文献は当該展覧会の下に図録、雑誌、主要新聞の順に列記した。

近年増加した日本人作家による海外での展覧会に関する文献は、文献目録の「海外展」の欄に収録した。
- 1 美術文献目録については項目の始めに凡例を記した。
- 1 本年鑑は田中 淳(第二研究室長)を編集主任とし、山梨絵美子(美術部主任研究官)がこれに協力したほか、美術展覧会のうち東洋古美術に関する部分は美術部第一研究室が、また文献目録のうち東洋古美術文献に関する部分は主として情報資料部文献資料研究室がこれに当たった。当研究所所蔵以外の定期刊行物については、東京国立近代美術館の協力を得た。

目次

序	1
凡例	3
目次	4
平成8年美術界年史	1
平成8年主要美術展覧会	7
現代美術・西洋美術	7
東洋古美術	76
美術文献目録(平成8年)	87
凡例	87
目次	91
定期刊行物所載文献	92
現代美術・西洋美術	92
東洋古美術	313
物故者(平成8年)	341

平成8年美術界年史

1 月

- 1995年度朝日賞受賞者決定 わが国の文化・社会の発展に多大な貢献をした個人・団体に贈られる朝日賞受賞者を選ぶ財団法人朝日新聞文化財団(理事長・中江利忠朝日新聞社長)の選考委員会は、1995年度の受賞者6件7氏を決定した。美術関係では画家の故丸木位里・俊夫妻が「原爆、戦争、公害などをテーマに描き続けた長年の画業」によって受賞。贈呈式は22日、朝日新聞社東京本社で行われた。これで第1回以来の同賞受賞者は361人と24団体となった。
- オルセー美術館展開催 フランスの近代美術作品を数多く所蔵するパリのオルセー美術館の優品180余点を展覧する「モデルニテーパリ・近代の誕生 オルセー美術館展」が14日から国立西洋美術館で開催された(～3月31日)。自然の呼び声、リアリズムとオリエンタリズム、近代都市、芸術と産業、アール・ヌーヴォー、セザンヌからナビ派へ、の6セクションで構成され、美術に反映された近代性を探る充実した展覧となった。
- 毎日芸術賞受賞者決定 優れた芸術活動をした個人・団体を顕彰する毎日芸術賞の1995年度の受賞者は3氏2団体に贈られることとなった。美術関係では陶芸家深見陶治(青白磁による造形「京都の美術 昨日・きょう・明日 16」展に対して)、写真家江成常夫(「まぼろし国・満州」「記憶の光景・十人のヒロシマ」の写真展と出版に対して)が受賞した。贈呈式は12日、如水会館で行われた。
- 「文化財建造物等の地震時における安全性確保に関する指針」提示 文化庁文化財保護部は阪神・淡路大震災の文化財(建造物)の地震による被害に鑑み、学識者の協力を得て「文化財建造物等の耐震性能の向上に関する調査研究協力者会議」を組織し、対策を検討してきたが、17日付け文化庁文化財保護部長通知「文化財建造物等の地震時における安全性確保について」に付して「文化財建造物等の地震時における安全性確保に関する指針」を各都道府県教育委員会宛に送付した。文化財建造物の修理・補強のみならず、日常の維持管理、環境整備、防災施設の充実、災害時の対応などに

ついて具体的な指針を打ち出し、大規模災害から文化財を護る方向性を示した。

- 森洋子、ベルギーのウジェーヌ・ペュ国際賞受賞 5年に一度、外国人を対象に贈られるベルギーのウジェーヌ・ペュ国際賞の受賞者に明治大学教授の森洋子選ばれた。著作『ブリューゲルの全作品』など、長年のブリューゲル研究における業績が受賞対象となった。
- 「日本の美術—よみがえる1964年」展開催 東京オリンピックが開かれ、東海道新幹線、東名高速道路開通など、高度成長期の象徴的なできごとが起きた1964年の美術を振り返る「日本の美術—よみがえる1964年」展が31日から東京都現代美術館で開催された。従来は1950年代、60年代と10年単位でとらえられてきた現代美術の動きを、一年間に注目することで検証する新たな視点の企画となった(～3月24日)。6月には50年代のなかでも特に顕著な出来事のなかった年にあえて光を当てる「1953年ライトアップ」展が目黒区美術館で開催され(8日～7月21日)、単年に注目する展覧が相次いだ。

2 月

- 守口市立現代南画美術館開館 日本南画院所属の24作家の作品寄贈を契機に建設が具体化された大阪府守口市の市立現代南画美術館(守口市大宮通1-13-29)が1日開館した。鉄筋コンクリート二階建て、延べ床面積729平方メートルで展示室のほか資料室などを備え、南画を主要な対象とする特色ある美術館として注目される。
- 安井賞受賞者決定 画家安井曾太郎の画業を顕彰し具象的油彩画を対象に贈られる安井賞(安井曾太郎記念会など主催)の第39回目の選考が行われ、安井賞を小林裕児の「夢酔」が受賞することとなった。佳作賞は一居孝明「GOOD LEGEND(II)」が受賞。「安井賞展」は東京池袋のセゾン美術館で開催された後、尼崎、尾道、秋田、帯広、福岡に巡回した。
- 第11回小山敬三美術賞受賞者決定 優れた作品を発表してきた中堅の具象画家に贈られる小山敬三賞の第11回目の受賞者は独立美術協会会員で女流画家協会

平成8年美術界年史

会員の原光子に決定した。また、「美術文化の国際交流事業に対する援助」により青春白樺美術館財団に140万円が贈られることとなった。

- 文化庁予算決まる 平成8年度の文化庁予算は「新しい文化立国をめざして(21世紀に向けて)」をテーマに、前年度比82億3800万円(12.3%)増の750億300万円とすることと決まった。阪神・淡路大震災を受けて、被害のあった重要文化財建造物、重要伝統的建造物保存地区の災害復旧に180億、耐震性能に関する具体的な指針の策定や文化財建造物の調査に440万、地方公共団体が行う調査や発掘の一部補助に62億300万などが計上されている。また、今年度の特色として、文化による国際貢献および文化発信の推進を目指す諸事業を重視しており、具体的には国際的学术交流、海外での美術展、在外日本古美術品の修復協力などがあげられている。「新しい美術展示施設(仮称・ナショナル・ギャラリー)」の構想については、調査段階から基本計画の策定へ進められることとなった。

3 月

- 芸術選奨受賞者決定 芸術の各分野で昨年一年間に優れた業績をあげた人々に贈られる芸術選奨の受賞者が13日文化庁から発表された。美術関係では建築家高松伸(47)〔「植田正治写真美術館」に対し〕、立体造形作家滝川嘉子〔「滝川嘉子・彫刻個展」などに対し〕が芸術選奨文部大臣賞を、洋画家辰野登恵子(46)(本名 中登恵子)(個展「辰野登恵子 1986-1995」などに対し)、美術史家今橋理子(31)(著作『江戸の花鳥画 博物学をめぐる文化とその表象』に対し)が芸術選奨新人賞を受賞した。
- 九州国立博物館(仮称)設立構想 文化庁は現行の東京国立博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館の三国立博物館に加え、新たに国立博物館を設立する方針で「新構想博物館の整備に関する調査委員会」(座長・上山春平京都市立芸術大学学長)を中心に構想を固めてきたが、同委員会が14日に打ちだした「アジア諸地域との相互理解を文化財を通じて担うための拠点となる博物館として、九州に設置することが望ましい」とする中間報告を受けて、文部省は22日福岡県太宰府市を新博物館建設予定地に正式決定した。九州国立博物館(仮称)は「日本文化の形成をアジアの観点から捉える」ことを目指していく方針である。
- 日本芸術院賞受賞者決定 日本芸術院(犬丸直院長)は22日、芸術の各分野で顕著な業績があった人に贈る平成7年度(第52回)の日本芸術院賞受賞者を内定した。恩賜賞・日本芸術院賞の第1部(美術)受賞者には岡田新一(68)(宮崎県立美術館など一連の建築設計に対し)、日本芸術院賞受賞者には洋画の奥谷博(61)

(第62回独立展出品作「月露」など深みのある世界へ到達した作品に対し)、彫塑の橋本堅太郎(65)(第27回日展出品作「竹園生」など清純な詩情を謳歌した作品に対して)、工芸の大塩正義(62)(第27回日展出品作「樹相」など総合的な技能と芸術感覚のある作品に対し)、書の榎倉香邨(本名弘、72)(第27回日展出品作「流翳」など時間性を表現した作品に対して)が選ばれた。授賞式は6月3日に東京・上野の日本芸術院会館で行われる。

- ナショナル・ギャラリー構想具体化 平成7年6月に提起された国立美術展示場の建設案を受けて、文化庁に設置された「ナショナル・ギャラリー(仮称)調査研究会」(平山郁夫座長)は、27日基本構想案をまとめた。我国の美術創造活動、および国際的な美術交流の拠点を目指し、公募団体展、国立館が企業と共同で主催する大型美術展などに使用するほか、国内外の美術情報収集と公開、教育普及活動の機能も合わせ持つ施設とする方針。建設予定地としては東京大学生産技術研究所、同物性研究所移転跡地が最有力候補としてあげられている。

4 月

- 大山崎山荘美術館開館 アサヒビールの初代社長をつとめた山本為三郎(1893-1966)のコレクションを所蔵品の柱とする大山崎山荘美術館(京都市乙訓郡大山崎町字山崎小字銭原5-3)が7日に開館。本館は昭和初期の実業家加賀正太郎が自ら設計した英国風建築の山荘をアサヒビールが購入、修復したもので、これに安藤忠雄設計による新館が隣接している。柳宗悦らによる民芸運動を支援した山本為三郎は民芸派の作品のほか大津絵、泥絵、中国、李朝の古陶磁などを含む1200点におよぶ作品を収集しており、同館には民芸派の作品を展示する山本為三郎記念室が設けられている。
- 日本学士院賞受賞者決定 日本学士院(藤田良雄院長)は12日、総会を開き、学術の分野で優れた業績を上げた研究者11人に平成7年度日本学士院賞を贈ることに決めた。美術関係では長崎純心大学教授・九州大学名誉教授の平田寛(ひらた・ゆたか、65)が著書『絵仏師の時代』により日本学士院賞を受賞した。授賞式は6月上旬東京・上野の日本学士院で行われる。
- 人間国宝、選定保存技術認定 文化財保護審議会(鈴木勲会長)は19日、重要無形文化財保持者(人間国宝)にあらたに12人を認定するよう奥田幹生文相に答申した。美術関係では備前焼の藤原雄(ふじわら・ゆう、63)、民芸陶器(縄文象嵌)の島岡達三(73)、紅型の玉那覇有公(たまなは・ゆうこう、59)、茶の湯釜の高橋敬典(たかはし・けいてん、75)、刀剣研磨の藤代

松雄(81)、衣裳人形の秋山伸子(本名・今井伸子、68)が認定された。これで現存の人間国宝は92人となる。また、美術関係の選定保存技術の選定・認定については本藍染の森義男、箴制作・修理の北岡高一、荒苧製造の矢幡左右見(やわた・さゆみ)、歌舞伎小道具製作の保存団体歌舞伎小道具製作技術保存会が選ばれ、表装建具製作の山岸光男、日本産漆生産・精製の日本うるし掻き技術保存会が追加認定された。

- 国宝・重要文化財(美術工芸品)指定** 文化財保護審議会(鈴木勳会長)は19日、美術工芸品の福島県河沼湯川村の勝常寺蔵木像薬師、徳川千代姫所用の婚礼樹調度類など3件を国宝に、重要文化財に長野県サンリツ服部美術館所蔵の「紙本墨画淡彩望海楼図」等46件を、また、建造物の重要文化財5件、伝統的な町並みを保存する「重要伝統的建造物群保存地区」2件、史跡・天然記念物5件を新たに指定するよう奥田幹生文相に答申した。

- 「シルクロード大美術展」開催** パリのギメ美術館とフランス国立図書館に秘蔵されていたポール・ベリオ・コレクションを中心に、世界9ヶ国、15施設から優品約240点を集めた「大シルクロード展」が20日から東京都美術館で開催された(～7月7日)。同展は、昨年10月から今年2月までパリのグラン・パレで開催された「セランドー仏陀の地」を東京国立博物館の監修のもと再編にしたもので、西域における仏教美術の伝播と仏教美術の東西交流を跡づける充実した展観となった。

5 月

- 秩父宮妃遺産の美術品約1050点、国に寄贈** 昨年8月に逝去した秩父宮妃の親族が27日相続税を申告し、遺産の内、不動産を除く総額の約半分にあたる8億円相当が、「広く公益目的の活動に使ってほしい」という遺言により国や公益法人に遺贈されることとなった。国に遺贈される美術工芸品は約1050点で宮内庁が同庁三の丸尚蔵館に保存する。中には平安時代の歌集「堤中納言集」などの優品も含まれており、同庁ではいずれ展示公開する方針である。

6 月

- 明治村賞受賞者決定** 明治時代を主題とする学術・芸術に関する業績を対象とした第22回明治村賞受賞者は神戸芸術工科大学図書館長の坂本勝比古に決まった。居留地異人館等、近代建築の研究と保存に関する業績が評価されたもの。
- 世界文化賞受賞者発表** 芸術・文化分野で活躍する世

界の芸術家の業績を讃える「高松宮殿下記念世界文化賞」(主催・財団法人日本美術協会、総裁・常陸宮正仁親王)の第8回受賞者の発表が4日パリのルーブル美術館で行われた。美術関係では、絵画部門でサイ・ト・オンブリー(68、アメリカ)、彫刻部門でセザール(75、フランス)、建築部門で安藤忠雄(54、日本)が受賞した。受賞式は10月25日に東京、元赤坂の明治記念館で行われる。

- 文化財保護法改正案成立** 近代の文化財保護の必要性が認識されてきたため、1975年以来の大幅な見直しを盛り込んだ文化財保護法改正案が今通常国会で成立した。従来の指定制度では指定品の所蔵者に強い規制と手厚い保護を与えていたが、改正案ではあらたに文化財登録制度を導入し、文化庁長官は必要に応じ、登録文化財の所有者に指導・助言・勧告を行うという緩やかな規制と保護を行うこととし、保護方法の多様化を図ったものとなっている。重要文化財などの活用に関しても、従来よりも規制を緩和する内容となった。

7 月

- 旧朝鮮総督府の壁画撤去へ** 解体撤去が決まっているソウルの旧朝鮮総督府の建物(国立中央博物館)で、中央ホールの壁画として掲げられている洋画家和田三造の作品「羽衣」の撤去作業が1日から始まった。この壁画は縦5.5メートル、横4.75メートルで、キャンバスに四重の韓紙を張って天女と若者が南洋風に描かれており、総督府完成と同じ1926年に完成した。
- 岡崎市美術博物館開館** 6日、岡崎市美術博物館(通称「マインドスケープ・ミュージアム」)が開館(愛知県岡崎市高隆寺町峠1岡崎中央総合公園内)。「心語るミュージアム」と銘打ち、心をテーマにした美術品を収集・展示。また岡崎に生まれた徳川家康の時代、16世紀半ばにも焦点を当て、この時代をアジアとヨーロッパの文化が出会い融合した「ワールドバロック」の時代と位置付け、東西の美術を比較鑑賞できる企画展を行う。建物は地上二階地下一階、延べ床面積6444平方メートル。開館特別展は「天使と天女一天界からのメッセージ」(6～9.23)。
- 世界・焔の博覧会開幕** 19日、やきものの祭典「世界・焔(ほのお)の博覧会」が開幕。佐賀県を中心に、福岡県、長崎県が県内の産地の特色を生かしながら参加した。世界から国宝級の陶磁器を集めて展示した「文明とやきもの展」、人間国宝ら現代の名匠の作品による「現代陶芸の精華展」等の企画展も行われた。

8 月

- 東京国立文化財研究所が新館建設に着手 東京・上野公園にある東京国立文化財研究所が 19 日、同公園内で新館建設に着手した。地上四階、地下一階、延べ床面積 10515 平方メートル。完成は 5 年後の 2001 年の予定。国連機関の国際文化財保存修復センター (ICCROM) が日本に要請している各国の技術研修者受け入れ施設も含んでいる。

9 月

- 中原悌二郎賞受賞者決定 国内の優れた彫刻作品に贈られる中原悌二郎賞の第 27 回目の受賞者は若林奮の「Daisy III-2」に、中堅・若手作家を対象とした中原悌二郎賞優秀賞は岡本敦生の「地殻一鼓動」に贈られることとなった。
- 鹿島神宮の仮殿傾く 茨城県鹿嶋市の鹿島神宮の境内の大杉が 22 日の台風 17 号の強風で倒れかかり、国指定重要文化財の仮殿が傾き、東神門も全壊した。仮殿は元和 4 (1618) 年の建築。東神門は昭和 15 (1940) 年に建てられたもの。
- バリ、グラン・パレで興福寺展開催 国際交流基金の主催によりバリ日本文化会館の開館記念事業の一環として 17 日からバリのグラン・パレで興福寺展が開かれた。国宝、重要文化財 34 件を含む寺宝 47 件を展覧するもので、海外に日本の仏教文化を紹介する好機となった。

10 月

- 山口県立萩美術館・浦上記念館開館 14 日、山口県萩市に山口県立萩美術館・浦上記念館(足立明男館長)が開館(山口県萩市平安古 586-1)。同館は浮世絵コレクターとして有名な浦上敏朗のコレクションを核に、同じく日本美術コレクターのフェリックス・チコチンによるコレクションも加えた、全国でも有数の浮世絵美術館となる。建物は地下一階、地上二階で、七つの展示室のほか美術図書室、ビデオコーナー、ミュージアムショップなども設けられている。開館記念展は「蒐集家浦上敏朗の眼 館蔵名品展」(14~12.23)
- 「室町時代の狩野派一画壇制覇への道」展開催 15 世紀後半から幕末まで約 400 年にわたって最大の画派であり続けた狩野派の始祖正信と、大成者元信の時代に焦点をあてた「室町時代の狩野派一画壇制覇への道」展が、15 日から京都国立博物館で開催された (~11.17)。新出資料を含めて室町時代の狩野派の作品が網羅的に展示され、従来の狩野派展とは異なる新鮮さが評価された。

- 史跡・重要文化財(建造物)の新指定 文化財保護審議会(西川杏太郎会長)は 18 日、国の史跡に青森市の三内丸山遺跡など 8 件、重要文化財に三重県四日市市の四日市旧港湾施設など 3 件、天然記念物 2 件、重要伝統的建造物群保存地区(町並み保存地区) 2 件の指定・選定を奥田幹生文相に答申した。また、答申は東京都港区の旧新橋停車場跡の史跡指定範囲を大幅に拡大するよう求めた。

- 「白馬会一明治洋画の新風」展開催 黒田清輝らが中心となり、明治の日本美術に新風を吹き込んだ白馬会の結成 100 年を記念して「白馬会一明治洋画の新風」展が 19 日からブリヂストン美術館で開催された (~11.28)。白馬会の回顧展としては空前の規模であり、その全貌をうかがう恰好の機会となった。本展はブリヂストン美術館で終了後、京都国立近代美術館、石橋美術館に巡回した。
- 文化勲章受章者決定 今年度の文化勲章受章者 5 名と文化功労者 15 名が 25 日、政府から発表された。美術関係では陶芸の浅蔵五十吉(83)、洋画の伊藤清永(85)、服飾デザインの森英恵(70)が文化勲章受章者に、写真の石元泰博(75)、書・書教育の上條信山(89)、洋画の難波田龍起(91)、日本画・古画再現の守屋多々志(84)、彫刻の柳原義達(86)が文化功労者に選ばれた。
- 「牧谿一憧憬の水墨画」展開催 中国南宋時代末期から元時代初期にかけて活躍し、日本の水墨画に多大な影響を及ぼした禅僧、牧谿の日本に現存する作品を初めて一堂に集めた「牧谿一憧憬の水墨画」展が 26 日から五島美術館で開催された (~11.24)。新出作品・模本を含めた展覧に加え、図録も伝来作品の図版一覽や資料編を充実させるなど、日本の水墨画研究に大きく寄与する企画となった。

11 月

- 浜田市世界子ども美術館開館 島根県浜田市に 1 日、おもに子どもを対象に特色ある作品収集や展覧活動を行う美術館として浜田市世界子ども美術館が開館した(島根県浜田市野原町 859-1)。7100 平方メートルの敷地に建てられた建物は、「日本海に漂う創造と美の船」をイメージした高松伸の設計により、延べ床面積約 3600 平方メートルの五階建て、四・五階に四つの展示室を持つほか、三階には多目的ホールと映像コンピュータ室、入口階の二階にミュージアムショップ、事務室など、一階に三つの創作室と図書室を備えている。開館記念展は「こどものためのパウル・クレー展」(1~97.1.26)。
- 地底の森ミュージアム開館 仙台市の富沢遺跡で昭和 63 年 3 月、地表下 5 メートルに 2 万年前の森と人類

の活動の痕跡が発見されたため、その遺跡を800平方メートルにわたって地下にそのまま保存展示する「地底の森ミュージアム」(正式名称・仙台市富沢遺跡保存館、宮城県仙台市太白区長町南4-3-1)が2日に開館した。敷地面積14263平方メートル、地上1階・地下一階、延床面積2743平方メートルで発掘の状態のまま展示する地下常設展示室のほか復元された氷河期の森を散策できる野外展示等、遺跡の保存、活用にあたらなかつちを示して注目された。

- 田辺市立美術館開館 和歌山県田辺市に1日、田辺市立美術館(下口弘館長)が開館した(和歌山県田辺市新庄町3588-1)。同市出身の収集家、脇村禮次郎より寄託されたコレクションをもとに、紀州の文人画を中心とした近世・近代の文人画、郷土ゆかりの作家などを収集・展示する。地上一階で延べ床面積は約1580平方メートル。
- サントリー学芸賞受賞者決定 第18回サントリー学芸賞(サントリー文化財団主催)の受賞者が、6日決定された。4部門9人の受賞者のうち、美術関係では芸術・文学部門で飯沢耕太郎『写真美術館へようこそ』(講談社)が受賞した。
- 東大寺戒壇院、3度の焼失跡確認 奈良・東大寺の戒壇院が創建以来、三度焼失していたことが発掘調査で確認された。調査している県立橿原考古学研究所が11日発表したもので、天平勝宝6(754)年に鑑真が戒律を授けた創建当時の基壇や三層の火災の焼土面、瓦、石列などが見つかった。
- 美術展図録の専門図書館開館 美術展のカタログを収集する専門図書館「アートカタログ・ライブラリー」が14日、東京・赤坂に開館した。収集されたカタログは開館時点で約2800冊。平成7年度以降に国内で開催された展覧会カタログと美術館の収蔵品カタログが中心。
- 倫雅美術奨励賞受賞者決定 優れた美術評論や美術史研究および創作活動に贈られる倫雅美術奨励賞の第8回受賞者が決まり、美術評論・美術研究部門では仙台市博物館の内山淳一(37)の『江戸の好奇心—美術と科

学の出会い』(講談社)と東京大学大学院の高階絵里加(31)の『バリ時代の山本芳翠』(『近代画説』4号)、創作活動部門では吉澤美香(37)の『個展を中心とした最近の創作活動』が選ばれた。贈呈式は12月3日、赤坂プリンスホテルで行われた。

- 登録文化財の答申 文化財保護審議会(西川杏太郎会長)は15日、東京大学の安田講堂、小岩井農場本部事務所など119件の建造物を登録文化財とするよう小杉隆文相に答申した。主に近代以降の建築物の保護のため、10月施行の改正文化財保護法で新設された文化財登録制度を適用した初答申となった。
- 芸術院新会員決定 日本芸術院(犬丸直院長)は22日、今年度の会員補充選挙を行い、あらたに9人を新会員に内定した。美術関係では洋画の奥谷博(62)、彫塑の橋本堅太郎(66)が選ばれた。総会の承認後、12月15日付で小杉隆文相が発令する。

12 月

- 原爆ドームと厳島神社が世界遺産に メキシコのメリダで開かれていた第20回世界遺産委員会は、日本が推薦していた広島市の原爆ドームと広島県宮島町の厳島神社を世界遺産に登録することを6日決定した。
- 安井賞受賞者決定 “具象絵画の芥川賞”として多数の人材を輩出してきた安井賞展(主催=財団法人安井曾太郎記念会、毎日新聞社、セゾン美術館)の第40回目の選考委員会が11日に開かれ、安井賞は柳田昭(48)の『水温む頃』、佳作賞は上川伸(37)の『THE WALL “Main Stream:type D”』、特別賞に安達博文(44)の『虹の境界』に贈られることとなった。なお、同展は、具象に限定したコンクール展が現在の美術動向にそぐわないとの声も強まり、記念会理事会が「(同展は)すでにその使命を達成した」として、平成9年開催の第40回で幕を閉じることが11月15日に発表されている。

美術展覧会

〔現代美術〕

個展

(ア)

- アーキテクチュア・オブ・ザ・イヤー展'96 11. 20-12. 3 メトロポリタンプラザ・メットホール(豊島区)
毎日夕刊 11. 14 磯崎新、南美希子
- アーティストと考えるサバイバル・ツール展 7. 20-8. 4 佐倉市立美術館
美術手帖 733 鷹見明彦
- アーティストによる100点の腕時計&原画展 12. 9-24 ギャラリー青羅
美術(月刊)(サンアート) 255
- 「アートシーン90-96」水戸芸術館が目撃した現代美術展 11. 30-3. 16 水戸芸術館現代美術ギャラリー
美術(月刊)(サンアート) 256
藤田一人
朝日夕刊 12. 26 大西若人
- アート・ナウ展'96「在ることの根源へ」 12. 7-1. 19 兵庫県立近代美術館
美術(月刊)(サンアート) 256
平井章一
ピロティ 102 中谷至宏
- アートフェスティバル'96「想い出さがしの青梅宿」展 11. 17-24 青梅市内
東京 11. 17
- アートベンチャー 冒険美術一大地のささやき展 2. 24-3. 31 滋賀県立近代美術館
フラミンゴ 46 (平田)
フラミンゴ 47 平田健生
- ART BOX大賞展6回 9. 21-10. 6 麻布美術工芸館
版画芸術 93 (編集部・宮田)

- 相笠昌義展 9. 17-23 三越(日本橋)
新美術新聞 776
- 愛新覚羅恒懿水墨画展 10. 7-13 ギャラリー夢
朝日 10. 8
- 会田誠展 11. 5-19 ミツマアートギャラリー
美術手帖 737 松井みどり
- 相原求一朗展 10. 1-5 日動画廊
新美術新聞 778
- 相原求一朗展 私の風土'96 3. 19-25 三越(日本橋)
アートトップ 151 武田厚
新美術新聞 760 相原求一朗、建部公彦聞き手
美術(月刊)(サンアート) 246
瀧悌三
美術の窓 154 米倉守
- 英会日本画展2回 10. 30-11. 5 東武(池袋)
美術(月刊)(サンアート) 254
編集部
- 青木野枝展 6. 17-7. 6 ギャラリー21+葉
アートマインド 88 ぼんのなおこ
毎日夕刊 6. 27 三田晴夫
- 青木美枝子浮世絵展 4. 6-7 ハイマントスホテル(山形県長井市)
毎日 3. 28
- 青島一成展 12. 16-28 フタバ画廊
美術手帖 738 荒木夏実
- 赤木範陸展 12. 5-23 ギャラリー・トーニチ新宿
新美術新聞 785
- 赤塚徹展 2. 15-20 松坂屋(銀座)
美術の窓 153 高山淳
- 赤塚昌俊展 9. 17-28 ときわ画廊
毎日夕刊 9. 24 三田晴夫
- 赤塚祐二展 3. 11-23 コバヤシ画廊
毎日夕刊 3. 21 三田晴夫

- 赤堀尚展 11. 28-12. 5 和光ホール
新美術新聞 783
チャイム銀座(月刊) 183
美術(月刊)(サンアート) 255 (K)
美術の窓 162 高山淳
- 秋野玄左牟展 古代からのメッセージ 1. 3-2. 18 下関市立美術館
潮流 45 (N)
- 秋山静版画展 1. 5-20 東海ステーションギャラリー
美術の窓 153 (編集部)
- 秋山陽展 1. 22-2. 20 ギャラリーコヤナギ
陶説 516
毎日夕刊 1. 30 三田晴夫
- 秋山陽展 4. 9-5. 1 ギャラリーなかむら(京都)
陶説 519 藤慶之
- 阿久津三枝ちぎり絵展 3. 4-8 東京電力池袋サービスセンター
読売(都民版) 2. 22
- あこがれの船旅展 7. 20-9. 29 サントリーミュージアム(天保山)
新美術新聞 773
- あこがれのモダン住宅展 3. 5-4. 14 江戸東京たてもの園
朝日 3. 6
- 浅野竹二 木版・グワッシュ展 1. 12-2. 3 ギャラリー新居(東京)
ギャラリー(月刊) 129
- 浅野弥衝展 1. 4-2. 18 三重県立美術館
新美術新聞 755
ひるういんど 51 酒井哲朗
ひるういんど 54 浅野美子
ひるういんど 54 伊藤利彦
ひるういんど 54 石崎勝基
ひるういんど 54 土田真紀
- 朝日陶芸展34回 9. 5-10 丸栄スカイル(名古屋)
陶説 523 井上隆生
朝日夕刊 9. 2 鈴木治
- 亜細亜現代美術展32回 6. 11-22

平成8年美術展覧会(ア)

東京都美術館
美術の窓 159 高山淳
アジアへの眼 外国人の浮世絵師たち展 8. 10—10. 13 横浜美術館
アートトップ 154
新美術新聞 774
版画芸術 92 猿渡紀代子
朝日夕刊 9. 12
日経夕刊 8. 16 宝玉正彦
味岡伸太郎展 1. 13—30 ギャラリーサンセリテ
美術手帖 722 廣江泰孝
東直樹展 2. 12—24 ギャラリー惣
ギャラリー(月刊) 130
明日をひらく日本新工芸展 9. 7—12. 15 彫刻の森美術館
産経 10. 13 馬場章
「ア・センス・オブ・タッチ・アンド・コミュニケーション」展 12. 12—17 武蔵野美術大学
朝日 12. 6
与勇輝展 子どもの情景 4. 18—30 伊勢丹(府中)
朝日 4. 19、20、24、25 中村公一
安達時彦展 5. 13—6. 1 ギャラリーEMORI
新美術新聞 765
安達博文展 5. 1—7 高島屋(日本橋)
新美術新聞 765
アッシリア大文明展 8. 1—10. 10 東京都美術館
アートトップ 154
天花 64 岩井共二
美術手帖 724 奥山敦
朝日 7. 8
朝日 8. 20 河合晴生
朝日 8. 21 渡辺千香子
朝日 8. 23 岡田保良
朝日 8. 27 月本昭男
朝日 8. 28 渡辺和子
朝日 8. 29 久我行子
朝日 8. 30 川又正智
朝日 8. 31 田辺勝美
朝日 9. 9 (美)
朝日夕刊 8. 6 羽毛田弘志
朝日夕刊 8. 20 浜田知明

朝日夕刊 8. 29 田辺勝美
アトランタからの美の贈りもの「アメリカ絵画の光と風」展 1. 25—2. 6 大丸ミュージアム(東京)
新美術新聞 755
産経夕刊 1. 24 山梨俊夫
安孫子昭展 10. 28—11. 3 銀座アートギャラリー
新美術新聞 781
安部公房写真展 Kobo Abe as Photographer 10. 28—11. 29 ウイルデンスタイン東京
朝日夕刊 10. 22
読売夕刊 11. 15 平木収
阿部千花世展 1. 8—20 かねこあーとギャラリー
産経 1. 21
阿部知曉展—世界中のゴリラに会いたくて、描きたくて 10. 9—21 松屋(銀座)
東京 9. 27 増田恵美子
阿部肥人形展 1. 27—2. 2 和光ホール
チャイム銀座(月刊) 175
安部安人展 12. 3—10 日動画廊(大阪)
絵 394 安井収蔵
天野のぶ子展 1. 25—30 ギャラリー新宿高野
毎日 1. 22
雨引の里と彫刻展 4. 28—6. 16 ROCKギャラリー
アートトップ 153
毎日夕刊 6. 6 菅原二郎
編み・組み・織り、アイヌ民具展 12. 5—8 東京いきいきらいふ推進センター
朝日 11. 28
雨田光弘《ねこの絵》原画展 4. 23—5. 7 ヴィルダール(お茶の水)
毎日夕刊 4. 20
アメリカ苦悩の時代—ビター・イヤーズ写真展 12. 18—1. 14 青山ベルコモンズ
毎日 12. 18 前田剛夫
アメリカ現代絵画の黄金期 抽象表現主義展 7. 26—9. 16 愛知県美術館

AAC 17 (H. F.)
アメリカン アンティーク・キルト展 5. 28—6. 2 三越(日本橋)
産経 5. 26 渡辺優子
アメリカン・モダンの旗手たち展 フィリップス・コレクションによる 6. 11—7. 14 埼玉県立近代美術館
新美術新聞 768
美術手帖 726
朝日夕刊 6. 13
読売夕刊 6. 10 菅原教夫
新井満「私の小さな美術館」展 7. 1—8. 13 日動キュリオ
ギャラリー(月刊) 135
朝日夕刊 7. 3
荒木高子展 いきざまを焼く 10. 26—12. 8 西宮市大谷記念美術館
陶説 527 藤慶之
日本美術工芸 700 (伸)
荒木経惟展 4. 5—27 西村画廊
朝日 4. 18 (若)
産経 4. 21 (N)
荒田耕治作陶展 8. 22—27 伊勢丹(新宿)
陶説 524 福田旻
有川通子展 4. 15—21 フタバ画廊
ギャラリー(月刊) 135 中野中
蟻田哲展 1994—1996 10. 29—12. 8 何必館京都現代美術館
芸術新潮 565
新美術新聞 783
有馬和彦展 1. 4—10 ギャラリー日比谷
ギャラリー(月刊) 130 中野中
有元利夫展 11. 12—12. 8 三鷹市芸術文化センター
新美術新聞 783
産経 11. 5—7 荒木夏実
産経夕刊 11. 29 渋沢和彦
安西東作日本画展 7. 11—17 松坂屋(銀座)
新美術新聞 771
安野光雅展 平家物語の世界 9. 6—25 東急(日本橋)
潮流 46 中村美幸
朝日夕刊 9. 4 田中三蔵

(イ)

イーハトーヴの食文化 全国食文化
交流プラザ記念展 6回 10. 26—
11. 24 岩手県立博物館
岩手県立博物館だより 70
李熙淳展 7. 9—14 ギャラリーマ
ロニエ(京都)
陶説 522 藤慶之
飯田操朗と前衛の時代展 2. 24—
3. 31 姫路市立美術館
姫路市立美術館だより 49 山田
論
姫路市立美術館だより 49 平瀬
礼太
「イカット一緋に見るインドネシア
の色とかたち」展 岡田コレク
ション 7. 6—8. 4 板橋区立美
術館
国立国際美術館年報 43 佐多光
春
国立国際美術館年報 43 泰泉寺
由子
五十嵐昌志展 7. 15—20 ギャラ
リー現
美術手帖 732 松井みどり
生き・粋コレクション展'96 5. 29
—6. 3 松屋(銀座)
毎日 6. 1 本橋由紀
池田龍雄展 Object 「箱の中へ
…」4—あとのもつりの為に 4.
8—27 ギャラリーユマニテ東京
新美術新聞 763 (建)
産経 4. 21 (M)
二代池田瓢阿百碗展 6. 25—7. 8
三越(日本橋)
陶説 522 福田旻
池田満寿夫展—黒田コレクションを
中心に、初期から最新作まで
4. 20—5. 20 長野県信濃美術館
新美術新聞 764
池田幹雄スケッチ展 12. 6—23
青梅市立美術館
新美術新聞 784
池田光宏展 11. 5—16 アート
フォーラム谷中
毎日 11. 7 本橋由紀
池田宗弘展 7. 1—20 ギャラリー
長谷川
新美術新聞 771

産経 7. 14
石井勝久展 1. 15—20 信濃橋画
廊(大阪)
美術手帖 722 喜多村明里
石井康治展 7. 3—15 西武アート
フォーラム(池袋)
新美術新聞 770
石井源久展 1. 5—2. 29 東京電
力プラスマイナスギャラリー
美術手帖 722 暮沢剛巳
石踊紘一展 8. 20—9. 10 白松
アートホール
美術(月刊)(サンアート) 252
編集部
石踊達哉日本画展 4. 23—29 岩
田屋(福岡)
美術(月刊)(サンアート) 248
水上睦男
石垣定哉展 10. 29—11. 7 日動
画廊
絵 392 松本育子
新美術新聞 781
石垣定哉盗器展 2. 21—3. 2 さ
いとう画廊(名古屋)
陶説 517 井上隆生
石川順恵展 10. 7—26 南天子画
廊
毎日夕刊 10. 22 三田晴夫
石川の彫刻展—戦前の作品から—
4. 26—5. 20 石川県立美術館
石川県立美術館だより 151
石川の日本画 革新の時代展 7.
18—8. 25 石川県立美術館
石川県立美術館だより 153、154
石川県立美術館だより 156 西
田孝司
石川の美術展—女性像にみる—
1. 4—2. 4 石川県立美術館
石川県立美術館だより 147
石黒宗彦展 陶芸のエスプリ 1. 4
—2. 18 サントリー美術館
サントリー美術館ニュース 151
諸山正則
陶説 515 小野公久
陶説 515 清水卯一
陶説 519 藤慶之
美術(月刊)(サンアート) 244
原清
朝日夕刊 1. 4 諸山正則
イジスによるシャガール展 5. 10

—6. 30 プティ・ミュゼ
ギャラリー(月刊) 133 鈴木茂
毎日 5. 31 前田剛夫
石田徹也展 10. 7—18 ガーディ
アン・ガーデン
美術手帖 735 北小路隆志
石田陶春作陶展 9. 10—26 青山
グリーンギャラリー
陶説 524 福田旻
石橋富士子展 3. 11—16 ギャラ
リー・ハウスMAYA
毎日夕刊 3. 9
石本正展 9. 25—10. 7 大丸
ミュージアム(東京)
新美術新聞 777
朝日夕刊 9. 24 山盛英司
石元泰博展—現在の記憶 2. 14—
3. 30 東京国立近代美術館フィ
ルムセンター
現代の眼 494
現代の眼 495 飯沢耕太郎
現代の眼 495 亀倉雄策
現代の眼 495 石元滋
現代の眼 495 ダスティン・イ
ヴィット
新美術新聞 757
朝日夕刊 3. 18 (若)
読売夕刊 3. 13 (前)
石元泰博展「山の手線・29」 10. 16
—29 ギャラリーアートグラフ
(銀座)
読売夕刊 10. 23 平木収
伊志良光作陶展 7. 16—22 三越
(日本橋)
陶説 523 福田旻
石渡希和子展 食べもの日記 2
10. 9—20 サンライトギャラ
リー(神奈川県葉山町)
毎日夕刊 10. 12
居島春生個展 風のメッセージ
2. 27—3. 4 天神岩田屋新館(福
岡)
美術の窓 154 編集部
泉茂展 1. 4—2. 12 伊丹市立美
術館
美術(月刊)(サンアート) 244
吉原英雄
イズミワク・プロジェクト—学校
アーツ・センター構想展 8. 17
—31 杉並区立和泉中学校

平成8年美術展覧会(イ)

- 毎日夕刊 8, 27
読売(都民版) 8, 10
伊勢英子展 「画集『死の医学』への日記」記念 12, 8—14 丸善画廊(日本橋)
毎日 11, 29
美術の考古学第1部「位相—大地」の考古学展 6, 15—7, 21 西宮市大谷記念美術館
朝日夕刊 6, 27 田中三蔵
日経 7, 11 宝玉正彦
読売夕刊 7, 10 菅原教夫
磯部晃初窯展 2, 10—18 ギャラリー—共栄窯(常滑)
陶説 517 井上隆生
磯部綿司—グループ展 3, 26—31 岐阜県美術館県民ギャラリー—美術手帖 726 廣江泰孝
磯辺行久展 2, 8—25 P3 art and environment
朝日夕刊 2, 22 (三)
磯辺行久展 5, 14—6, 16 北関東造形美術館
産経 6, 9 小倉正史
井高鼎山陶芸展 1, 24—30 小田急百貨店ハルク
新美術新聞 755
ミチコ・イタタニ展 7, 1—8, 13 ギャラリー1(東京)
産経 7, 28
市川廣三展—白磁・流動するかたち 6, 5—11 和光ホール
チャイム銀座(月刊) 179
市川平展 真空の彼方へ 6, 11—29 西村画廊
産経 6, 23
市野雅彦陶芸展 4, 18—27 越前画廊
美術(月刊)(サンアート) 248 編集部
一線展47回 10, 5—14 東京都美術館
美術の窓 162 高山淳
五次勝木彫展 メキシコ在住30周年記念 9, 19—23 京都府京都文化博物館
ギャラリー(月刊) 137
五次勝木彫展 メキシコ在住30周年記念 9, 19—10, 6 ギャラリー—宮脇(京都)
ギャラリー(月刊) 137
井出創太郎展 3, 19—31 LOVE COLLECTION GALLERY
美術手帖 726 廣江泰孝
糸大八油絵展 1, 31—2, 6 東武(池袋)
新美術新聞 756
伊藤公象展 1, 8—26 村松画廊
朝日夕刊 1, 19
毎日夕刊 1, 25 三田晴夫
伊藤公象展 11, 2—12, 11 富山県立近代美術館
朝日夕刊 12, 5 大西若人
読売夕刊 12, 4 菅原教夫
伊藤正展 8, 20—9, 7 ウェスト—バスギャラリー—コヅカ(名古屋)
美術手帖 733 坪内浩文
伊藤利彦展 8, 3—9, 8 三重県立美術館
新美術新聞 773
伊藤秀男ガラス絵展 とうさんの旅 2 5, 1—31 ギャラリー—青樹(伊東市)
毎日夕刊 5, 25
稲垣考二展 10, 18—26 日動画廊(名古屋)
絵 392 編集部
狗巻賢二の仕事展 京都の美術 昨日・きょう・明日18 1, 26—2, 25 京都市美術館
京都市美術館—ニュース 171
京都市美術館—ニュース 172 狗巻賢二
狗巻賢二展 6, 1—26 INAXギャラリー—
産経 6, 23
井上正与志展 1, 10—16 高島屋(日本橋)
新美術新聞 754
井上萬二白磁展 7, 3—10 和光ホール
新美術新聞 770
チャイム銀座(月刊) 180
猪熊弦一郎遺作展 4, 20—6, 16 神戸市立小磯記念美術館
神戸市立小磯記念美術館—だより 5 廣田生馬
日本美術工芸 693 (伸)
INNOVATION ミスミ・アートコレクション展 今日のアメリカ美術 9, 14—11, 4 川村記念美術館
AURA 13 広本伸幸
伊庭泰子展 6, 19—7, 13 ガレリア—アキマイラ
美術手帖 731 北小路隆志
「いばらきバイアニュアル・ディアロゴス1996/現代性の条件」展 2, 10—3, 31 水戸芸術館現代美術ギャラリー—
新美術新聞 756
美術手帖 724
井伏圭介展 2, 13—18 三越(日本橋)
新美術新聞 757
今川和男油絵展 3, 12—18 ビブレ(福島)
美術(月刊)(サンアート) 246 編集部
今永清玄展 3, 13—19 吉井画廊
産経 3, 17 (I)
今西方哉作陶展 8, 6—11 三越(日本橋)
陶説 523 福田晃
伊村俊見陶彫展 9, 17—29 ラッココレクションギャラリー(名古屋)
陶説 524 井上隆生
イメージフォーラム・フェスティバル1996展 4, 27—5, 6 パークタワーホール
新美術新聞 764
入江一子出版記念展 7, 16—22 東急(本店)
新美術新聞 770 (白)
美術(月刊)(サンアート) 250 編集部
入江親展 第14回宮本三郎記念賞受賞記念 7, 23—29 三越(日本橋)
新美術新聞 772 小泉淳作
美術の窓 159 高山淳
いわさきちひろ展 「ちひろ・絵本にみる愛のかたち」 7, 18—10, 6 いわさきちひろ絵本美術館
東京 6, 24 安井礼子
岩瀬なほみ人形展 6, 5—11 和光ホール
チャイム銀座(月刊) 179
岩田糸子展 8, 20—25 三越(日本橋)

新美術新聞 774
 岩田健太郎きりえイラスト原画展
 2. 26-3. 2 ギャラリー中島
 毎日夕刊 2. 24
 イワタリ展 11. 5-16 資生堂
 ギャラリー
 新美術新聞 781
 岩橋英遠展 5. 28-6. 23 名都美
 美術館
 新美術新聞 768
 岩村聖子展 8. 4-10 ギャラリー
 テオリア
 美術手帖 733 小林昌廣
 印象派はこうして生まれた展 3.
 30-6. 30 東武美術館
 AMBIANTE 14 高橋明也
 新美術新聞 761
 美術手帖 722、726
 朝日夕刊 4. 11 井川美奈子
 朝日夕刊 6. 6 田中三蔵
 産経夕刊 4. 5 (江)
 産経夕刊 5. 2
 インドネシアの更紗展 エイコ・ク
 スマ・コレクション 1. 5-3. 3
 福岡市美術館
 福岡市博物館年報 90 尾崎直人
 インド・ミティラー美術展—母から
 娘たちへ伝えられた民族画とテラ
 コッタの世界 2. 9-28 すみだ
 リバーサイドホールギャラリー
 毎日 2. 10
 (ウ)
 タマシュ・ヴァリツキー展 “トリ
 ロジー” 1. 19-2. 12 イン
 ターコミュニケーションセンター
 [ICC]
 朝日夕刊 2. 1 (若)
 毎日夕刊 2. 8 三田晴夫
 ブラン・ヴァン・ヴェルデ展 出会
 い：ベケット／ジュリエ／ヴァ
 ン・ヴェルデ 12. 10-25 草月
 美術館
 産経夕刊 12. 20 渋谷和彦
 東京夕刊 12. 13 山梨俊夫
 日経 12. 11 鈴木理江子
 読売夕刊 12. 16 (菅)
 ウィンジー写真展 8. 27-9. 27
 ザ・ギンザアートスペース
 読売夕刊 9. 12 (勝)

ウィーン美術史美術館名品展 1. 2
 -3. 10 Bunkamura ザ・
 ミュージアム
 新美術新聞 754
 朝日夕刊 1. 25 木島俊介
 読売夕刊 1. 11 ヴィルフリー
 ト・サイベル
 宇井真紀子写真展「ウレシバ・モシ
 リ」 2. 29-3. 5 オリンパス
 ギャラリー
 毎日 3. 3
 ヴェルヴ展1回 6. 24-7. 13
 ギャラリーEMORI
 美術の窓 158 瀧梯三
 植木舜一彫刻展 12. 16-21 ギャ
 ラリーピクチャーズ
 新美術新聞 785
 上瀧勝治作陶展 10. 8-13 三越
 (日本橋)
 陶説 525 福田曼
 上野泰郎展 多摩美術大学退職記念
 5. 8-6. 8 多摩美術大学附属美
 術館
 新美術新聞 765
 美術(月刊)(サンアート) 248
 秋山庄太郎
 毎日夕刊 5. 27 石川健次
 上野の森美術館大賞展14回 明日を
 ひらく絵画 6. 28-7. 9 上野
 の森美術館
 産経 6. 30 松村寿雄
 植松永次展 12. 5-15 ギャラ
 リー掌(名古屋)
 陶説 527 井上隆生
 植松奎二展 9. 24-10. 12 ヒル
 サイドギャラリー
 毎日夕刊 10. 8 三田晴夫
 上村松園回顧展 生誕120年記念
 4. 13-5. 19 Bunkamura ザ
 ・ミュージアム
 アートトップ 152
 新美術新聞 763
 読売夕刊 4. 11
 上村松篁展 3. 6-31 三越美術館
 (新宿)
 アートトップ 152
 ギャラリー(月刊) 131
 新美術新聞 759
 読売夕刊 3. 2
 アンディ・ウォーホル展 1956-

86：時代の鏡 4. 17-6. 23 東
 京都現代美術館
 アートトップ 152
 芸術新潮 558
 版画芸術 92 小川正隆
 美術(月刊)(サンアート) 248
 宇野亜喜良
 朝日 4. 20 浅田彰、四島司、
 福田美蘭、恒松正敏
 朝日 6. 4 黒田雷児
 朝日 6. 5 橋本啓子
 朝日 6. 6 帯金章郎
 朝日 6. 7 宮下規久朗
 朝日 6. 12 (帯)
 朝日夕刊 4. 16 磯崎新、山藤
 章二、田中三蔵
 産経夕刊 4. 19 (江)
 日経 4. 28 堤篤史
 毎日夕刊 6. 18 高島直之
 読売夕刊 5. 27 (菅)
 VOCA展'96 現代美術の展望～新
 しい平面の作家たち 2. 17-3.
 3 上野の森美術館
 美術手帖 721
 産経 2. 18 建畠哲
 産経 2. 24 斎藤道子
 毎日夕刊 2. 26 三田晴夫
 読売夕刊 3. 1 (菅)
 アンドリュー・ウォルフォード展
 6. 21-28 長谷萬インテリア
 ギャラリー
 東京 6. 26
 牛尾武日本画展 2. 27-3. 3 三
 越(日本橋)
 美術(月刊)(サンアート) 246
 編集部
 うし年郷土玩具展 12. 23-3. 31
 博物館明治村
 明治村だより 6
 内田あぐり展 11. 26-12. 14 新
 生堂
 新美術新聞 783
 美術(月刊)(サンアート) 255
 武田厚
 内田綱一展 10. 29-11. 3 黒田
 陶苑
 陶説 526 福田曼
 内山正一展 創作ミニチュア民家
 6. 27-7. 23 東京ガス新宿
 ショールーム

平成8年美術展覧会(ウ、エ)

毎日夕刊 6, 29
 内山孝展 2, 26—3, 2 資生堂
 ギャラリー
 新美術新聞 758
 ジェフ・ウッドガー展 10, 29—
 11, 3 カノーヴァン
 美術手帖 735 坪内浩文
 写された人間像 6, 18—7, 27 東
 京国立近代美術館フィルムセン
 ター
 読売夕刊 6, 27 平木収
 鳥頭尾精展 4, 25—5, 6 東京国
 際美術館(多摩)
 新美術新聞 764
 「Una Volta」展 8, 5—24 リー
 セントギャラリー(札幌)
 美術手帖 733 長谷川祐子
 宇野マサシ油彩展 2, 28—3, 4
 そごう(豊田)
 美術(月刊)(サンアート) 246
 高橋睦郎
 展覧会「海」展 6, 29—8, 18 東郷
 青児美術館
 美術(月刊)(サンアート) 250
 中村隆夫
 美術手帖 727 中村隆夫
 朝日夕刊 7, 11 中村隆夫
 産経 7, 5 (江)
 読売夕刊 8, 5 (勝)
 海を渡ってきた贈り物 金銀の輝き
 展 1, 6—3, 10 宮内庁三の丸
 尚蔵館
 朝日夕刊 8, 1
 梅崎弘展 3, 8—18 BUNKA-
 MURA GALLERY
 東京 3, 4
 梅澤岳臣油絵展 3, 26—4, 1 そ
 ごう(横浜)
 美術(月刊)(サンアート) 247
 清水秀作
 梅田総太郎木工展 9, 11—18 和
 光ホール
 チャイム銀座(月刊) 181
 梅原妻子布絵展「雨あがり」6,
 13—25 楽風(浦和市)
 毎日夕刊 6, 8
 梅原龍三郎創作版画展 7, 4—19
 永井画廊
 美術(月刊)(サンアート) 250
 編集部

梅原龍三郎展 没後10年 7, 9—21
 三越美術館(新宿)
 姫路市立美術館だより 51 岸野
 裕人
 産経夕刊 7, 8
 毎日夕刊 2, 28
 梅宮文三展 森のふくろう木彫
 10, 23—11, 4 松屋(銀座)
 毎日夕刊 10, 26
 梅本和之展 5, 28—6, 8 アート
 フォーラム谷中
 ギャラリー(月刊) 136 中野中
 浦口雅行青瓷展 7, 5—11 京王
 (新宿)
 陶説 522 福田旻
 浦野資勞展 9, 17—22 ギャラ
 リー82(長野)
 新美術新聞 776
 ヴラマンク展 11, 2—12, 8 福島
 県立美術館
 美術手帖 734
 毎日夕刊 10, 31
 漆原朋子展 革で楽しむ暮らし 7,
 9—14 三興画廊
 毎日夕刊 7, 6

(エ)

瑛九展 魂の叙情詩 4, 27—6, 2
 宮崎県立美術館
 新美術新聞 764
 日本美術工芸 694 (伸)
 美術(月刊)(サンアート) 248
 山城隆一
 日経 5, 22 宝玉正彦
 タグ・エイケン展 6, 1—29 Ta-
 ka Ishii Gallery
 美術手帖 731 松井みどり
 英国肖像画展 ナショナル・ポート
 レート・ギャラリー所蔵 5, 9—
 29 大丸ミュージアム(東京)
 読売夕刊 5, 8 河合秀和
 映像工夫館展 4, 3—9, 23 東京
 都写真美術館
 東京都写真美術館ニュース 8
 塚村真美
 東京都写真美術館ニュース 9
 細馬宏通
 描かれたからだ展 3, 9—4, 7 目
 黒区美術館
 美術の窓 154

江頭慎展 7, 16—8, 4 ヒルサイ
 ドギャラリー
 美術手帖 732 北小路隆志
 江口週展 12, 2—21 愛宕山画廊
 ギャラリー(月刊) 140
 新美術新聞 785
 朝日夕刊 12, 12 田中三蔵
 産経 12, 15 松村寿雄
 江口草玄展 戦後の書・その一変相
 11, 1—12, 15 新潟県立近代美
 術館
 朝日夕刊 12, 10 (三)
 読売夕刊 12, 8 菅原教夫
 江戸時代からの広告名作選展 9, 2
 —26 電通ギャラリー
 朝日 9, 7
 産経 9, 21
 読売 9, 3
 榎倉康二遺作展 1964—1995 6,
 10—28 東京芸術大学芸術資料
 館、東京芸術大学芸術資料館取手
 館
 新美術新聞 768 (白)
 朝日夕刊 6, 27 田中三蔵
 東京夕刊 6, 21 北澤憲昭
 エルミタージュ美術館展 16—19世
 紀スペイン絵画 7, 13—9, 1
 東武美術館
 AMBIANTE 14, 15 野口晴子
 AMBIANTE 15 大高保二郎
 新美術新聞 773
 游美 23 舟木力英
 朝日 7, 16, 17 野口晴子
 朝日 7, 20 野口晴子
 朝日 7, 23, 24 野口晴子
 朝日夕刊 7, 11 吉住琢二
 エルミタージュ美術館特別名品展—
 神と人間 8, 1—10, 17 新潟県
 立近代美術館
 雪椿通信 6 桐原浩
 日経 11, 3 前川誠郎
 日経 11, 4 高浜秀
 「エルメス・スカーフ—シルクの織
 りなす夢」展 10, 10—12, 8 サ
 ントリーミュージアム[天保山]
 デザインの現場 85 ヒルトン・
 マコニコ
 遠藤原三展 11, 21—26 紀伊国屋
 画廊
 新美術新聞 783

(オ)

- 制度の終わり オーストラリアの現代美術展 5. 31—7. 28 彫刻の森美術館
美術手帖 729 鷹見明彦
産経 7. 7 与田美樹
読売夕刊 7. 19 (菅)
- オーストリア1000年祭記念—アウガルテン、ロプマイヤーのテーブルセッティング展 10. 2—8 和光ホール
チャイム銀座(月刊) 182
- オールドノリタケ展 若林コレクション 5. 25—6. 2 アンティックかとう(京都市)
産経 5. 27 寺田理恵
- 王子江展「雄原大地」 2. 28—3. 24 茂原市立美術館
読売夕刊 2. 28
- 旺玄展62回 5. 21—30 東京都美術館
美術の窓 158
美術の窓 158 高山淳
- 黄金伝説 エル・ドラードの秘宝展 7. 20—8. 11 上野の森美術館
産経夕刊 7. 12、13 渋沢和彦
- 大内田敬油彩画展 3. 20—26 阪急(大阪)
新美術新聞 761
- 大國章夫プロフィール展 5. 29—6. 3 松屋(銀座)
新美術新聞 767
- 大阪市立美術館付設美術研究所50年記念展 11. 26—12. 23 大阪市立美術館
美術(月刊)(サンアート) 255
宇佐美圭司談
- 大崎信之展 4. 22—27 ギャラリー白(大阪)
美術手帖 727 山本淳夫
- 大沢昌介展 2. 22—3. 5 ギャラリー銀座汲美
新美術新聞 758
- 大澤辰男展 9. 30—10. 12 信濃橋画廊エブロン(大阪)
美術手帖 735 平芳幸浩
- 大島まり展 4. 6—7. 6 ギャラリードゥ
美術手帖 727 松井みどり
- 太田三郎展 1. 8—27 ギャラリーなつかb.p
アートマインド 85 ぼんのなおこ
- 太田三郎展 2. 10—12 MACA ギャラリー
アートマインド 85 ぼんのなおこ
毎日夕刊 2. 5 三田晴夫
- 大田房子四十年の歩み展 道険しく歩み遅くとも 1. 23—30 アート5
東京 1. 7
- 大津英敏展 10. 3—8 高島屋(日本橋)
新美術新聞 778 瀧梯三
美術(月刊)(サンアート) 253
- 大樋年雄作陶展 4. 23—5. 16 青山グリーンギャラリー
陶説 520 福田曼
- 大沼映夫展 4. 2—7 三越(日本橋)
新美術新聞 762 武田厚
美術の窓 155 高山淳
- 大野五郎油彩展 10. 19—11. 4 松明堂ホール
新美術新聞 780
美術の窓 161 編集部
- 大野左紀子展 4. 3—26 ギャラリーコヅカ
Lady's Slipper 6 石崎勝基
- 大野廣子展 9. 19—25 高島屋(日本橋)
美術(月刊)(サンアート) 253
田中章夫
- 大野昌之展 11. 16—21 アートギャラリー金太郎
美術手帖 737 坪内浩文
- 大野洋子創作トンボ玉展 3. 3—10 目白千種画廊
毎日夕刊 3. 2
- 大畑敬子展 12. 10—15 ギャラリーココ(京都)
美術手帖 738 小林昌廣
- 大道正男陶展 12. 3—9 三越(日本橋)
美術(月刊)(サンアート) 255
高橋玄洋、大道正男対談
- 大森運夫展 3. 7—12 丸栄(豊橋)
新美術新聞 760
- 大和田明代展 11. 5—10 三越(日本橋)
アートトップ 155 (羅)
- 岡義実スケッチ展 3. 14—20 プランタン銀座ギャラリードゥプランタン
新美術新聞 760
- 岡義実展 11. 20—12. 4 小田急美術館
美術(月刊)(サンアート) 255
編集部
美術の窓 162 一井建二
- 岡崎乾二郎展 1. 16—2. 3 南天子画廊
朝日夕刊 1. 26
- いじめを考える二人展(岡島健太郎、高岡岑郷・詩) 9. 4—8 北とびあ展示ホール
毎日夕刊 9. 3
読売 8. 30
- 岡田真宏展 11. 23—12. 14 ノイエス朝日(前橋)
新美術新聞 784
- 岡田又三郎遺作展 5. 8—17 日動画廊
新美術新聞 765
- 岡野浩二展 脱現実化的実在化 5. 29—6. 3 西武(池袋)
読売夕刊 5. 9
- 岡部嶺男作品展 灰釉から志野、織部まで 3. 14—19 松坂屋(名古屋)
陶説 518 井上隆生
- 岡村清子フランス刺繍展 5. 1—12 嫁菜の花美術館
読売(都民版) 5. 1
- 岡本光博展 3. 2—24 京都四条ギャラリー
美術手帖 726 喜多村明里
- 東京下町写生展(小川幸治) 4. 10—16 松屋(銀座)
東京 4. 11
- 荻太郎展1958—1996 3. 5—11 三越(日本橋)
新美術新聞 759 (西)
産経 3. 10
- 荻須高德展 1901—1986 8. 23—9. 23 Bunkamura ザ・ミュージアム
新美術新聞 774

平成8年美術展覧会(オ、カ)

日本美術工芸 696 (吉)
 美術(月刊)(サンアート) 252 松
 本伸夫
 美術手帖 731 内田英良
 朝日夕刊 8. 20 井関正昭
 朝日夕刊 9. 5 木島俊介
奥田仁展 5. 10-25 ギャラリー
 宮脇(京都)
 ギャラリー宮脇PR誌螺旋階段
 34 宮脇一郎
 ギャラリー宮脇PR誌螺旋階段
 34 奥田仁
奥村光正展 11. 29-12. 9 日動
 画廊
 絵 393 瀧俣三
小栗和子展 6. 2-8 ギャラリー
 美有
 産経 6. 3 赤岡東
小沢剛展 2. 27-3. 23 オオタ
 ファインアーツ
 美術手帖 726 松井みどり
オザワテツヤ展 10. 7-12 Ga-
 lleries Q & Gallery Q-S
 美術手帖 734 森司
押江千衣子展 2. 13-24 ギャラ
 リー山口
 産経 2. 18 (M)
小野絵理展 9. 17-27 木ノ葉画
 廊
 朝日 9. 20
**小野杏子ガラス作品展 阪神大震災
 支援企画** 5. 14-19 ギャラ
 リーN表参道
 毎日 5. 14 扇沢秀明
**小野誠一郎展 「街角を描く東京・
 葛飾亀有」** 6. 22-29 ギャラ
 リー・キャトルテラス
 東京 6. 20
小野忠重大判版画展 3. 2-5. 5
 小野忠重版画館
 版の絵 3 山口泰二
**小野木学展 没後20年「内なる心の
 風景」** 9. 7-10. 6 練馬区立美
 術館
 産経 9. 22 渋谷和彦
 読売 8. 30
小野寺正光展 7. 15-20 資生堂
 ギャラリー
 新美術新聞 771
お雇い外国人展一明治をつくった恩

人たち一 3. 20-5. 6 博物館
 明治村
 明治村だより 3 村松貞次郎
親と子でみる20世紀美術展 7. 16
 -8. 11 鹿児島市立美術館
 鹿児島市立美術館だより 41 谷
 口雄三
 島根県立博物館ニュース 70
 島根県立博物館ニュース 71 南
 目美輝
**オルセー美術館展 モデルニテーバ
 リ・近代の誕生** 1. 14-3. 31
 東京都美術館
 アトリエインターナショナル
 825 ニコラ・ボウエル
 神戸市立博物館だより 51 岡泰
 正
 神戸市立博物館だより 52 塚原
 晃
 新美術新聞 755 河合晴生
 日本美術工芸 692 塚原晃
 美術手帖 721 末永照和
 朝日夕刊 2. 15 河合晴生
 産経 3. 10 (M)
 日経 '95. 10. 17 宝玉正彦
 日経 '95. 10. 17 高階秀爾
 日経 '95. 10. 17 アンリ・ロ
 ワレット、宝玉正彦聞き手
 日経 '95. 10. 17 奥村光正
 日経 '95. 10. 17 中島千波
 日経 1. 1 宝玉正彦
 日経 1. 12 新井満
 日経 1. 12 馬淵明子
 日経 1. 12 宮崎克己
 日経 1. 12 高橋明也
 日経 1. 12 隠岐由紀子
 日経 1. 13 池田満寿夫
 日経 1. 14 宝玉正彦
 日経 1. 14 高山辰雄
 日経 1. 15 中山公男
 日経 1. 16 向井良吉
 日経 1. 17 高階秀爾
 日経 1. 21 宝玉正彦
 日経 4. 9 千足伸行
 日経 4. 23 馬越陽子
 日経 5. 28 佐野敬彦
 日経夕刊 2. 5 野見山暁治
恩田秋夫版画展 7. 20-9. 30 一
 茶記念館・一茶郷土民俗資料館
 新美術新聞 774

女はどう表現されてきたか展 10.
 9-11. 10 岡山県立美術館
 美術の窓 162 山彦
 (カ)
ミドリ・カーティス銅版画展 7. 8
 -19 アトリエスズキ
 東京夕刊 7. 15
開田裕治展 怪獣画廊 8. 7-18
 西武(筑波)
 産経夕刊 8. 10
開発好明展 7. 22-27 ギャラ
 リーなつかb.p
 美術手帖 732 森司
香り展 花の性 進むフェロモン
 7. 1-14 スパイラルガーデン
 朝日 7. 13
 産経 7. 3
 毎日 7. 3 斉藤希史子
画家の眼展 2. 3-3. 31 山種美
 術館
 新美術新聞 759 濱中真治
加賀美勲展 6. 19-26 日動画廊
 絵 388 阿部岩夫
 新美術新聞 769
各務鏞三展 8. 2-9. 6 岐阜県美
 術館
 新美術新聞 773
 美術(月刊)(サンアート) 251 各
 務鏞
隠崎隆一展 12. 3-8 黒田陶苑
 陶説 527 福田晃
掛井五郎展一三つの領域一(油彩)
 2. 5-23 愛宕山画廊
 ギャラリー(月刊) 131
 新美術新聞 757
 産経 2. 11 松村寿雄
**掛井五郎展一三つの領域一(デッサ
 ン・版画)** 3. 4-22 愛宕山画廊
 ギャラリー(月刊) 131
 新美術新聞 757
 産経 2. 11 松村寿雄
掛井五郎展一三つの領域一(彫刻)
 4. 1-26 愛宕山画廊
 ギャラリー(月刊) 131
 新美術新聞 757
 朝日夕刊 4. 18 田中三蔵
 産経 2. 11 松村寿雄
 日経 4. 5 宝玉正彦
 毎日夕刊 4. 18 三田晴夫

- かごしま一美の先人たち—薩摩画壇
四百年の流れ展 4. 19—5. 19
鹿児島市立美術館
鹿児島市立美術館だより 41 山西健夫
- 風分六抄油絵展 8. 22—27 東武
(池袋)
美術(月刊)(サンアート) 251 編集部
- 梶田達二海洋画展 8. 15—20 東武(池袋)
新美術新聞 773
- カシニョール展 愛と光のハーモニー 4. 25—5. 6 大丸ミュージアム(東京)
朝日夕刊 4. 23 武田厚
朝日夕刊 5. 1
- 梶谷眸展 9. 13—27 ギャラリーTAO
陶説 524 福田旻
- 春日井路子染色展 9. 21—28 和光ホール
チャイム銀座(月刊) 181
- 数野繁夫展 11. 13—22 名古屋画廊(名古屋)
新美術新聞 782
- 粕谷安孝展 10. 10—13 浅草公会堂画廊
読売夕刊 9. 25
- 画題探訪展 4. 26—7. 7 飯田市美術博物館
飯田市美術博物館ニュース 33
- 片江正敏展 9. 2—13 木ノ葉画廊
毎日夕刊 8. 31
- 片岡球子展 12. 27—1. 13 三越(日本橋)
新美術新聞 785 奥岡茂雄
美術の窓 163 高山淳
朝日夕刊 12. 24 山梨俊夫
- 「型染」—型と色のシンフォニー展
9. 1—10. 13 遠山記念館付属美術館
遠山記念館だより 11
- 嘉手川繁夫展 いのちの木・こころの木 4. 7—11. 24 吾野人房
朝日夕刊 4. 11
- 加藤清之作陶展 1. 25—2. 10 赤坂グリーンギャラリー
陶説 517 福田旻
- 加藤清之茶陶展 9. 5—10 丸栄スカイル(名古屋)
陶説 524 井上隆生
- 加藤金一郎油彩展 7. 25—30 松坂屋(名古屋)
新美術新聞 772
- 三代加藤溪山青瓷展 9. 12—17 高島屋(大阪)
新美術新聞 776
- 加藤幸兵衛作陶展 襲名記念 3. 22—31 画廊光芳堂(岐阜市)
陶説 519 井上隆生
- 加藤重高作陶展 6. 3—13 村越画廊
新美術新聞 767
- 加藤卓男展 6. 5—17 西武アートフォーラム(池袋)
新美術新聞 767
- 加藤委展 3. 4—23 ギャラリーユマニテ名古屋
陶説 518 井上隆生
- 加藤天平陶芸展 11. 21—26 松坂屋(名古屋)
陶説 526 井上隆生
- 加藤東一金閣寺大書院障壁画展 1. 4—29 伊勢丹美術館
アートトップ 150
新美術新聞 754
- 加藤英人展 3回 3. 12—17 電気文化会館(名古屋)
Lady's Slipper 6 石崎勝基
- 加藤学展 3. 18—30 なびす画廊
美術手帖 726 森司
- 加藤力展 2. 27—3. 9 ギャラリー美遊
美術手帖 724 平野到
- 加藤令吉陶展 6. 27—7. 3 丸栄スカイル(名古屋)
陶説 522 井上隆生
- 金沢美術工芸大学開学五十周年記念作品展 11. 1—17 石川県立美術館
石川県立美術館だより 157
- 香流会日本画展 6. 12—17 松坂屋(銀座)
新美術新聞 768 片岡球子、油井一人聞き手
- 金子静枝切り絵展 1. 8—13 サエグサ画廊
読売(都民版) 1. 7
- 金子誠治展 8. 2—9. 15 小樽市立小樽美術館
新美術新聞 773
- 金重陶陽一生誕100年記念—展 1. 18—2. 18 岡山県立美術館
陶説 515 上西節雄
- 金重有邦作陶展 6. 20—25 高島屋(日本橋)
陶説 521 福田旻
- 鎌倉秀雄展 1. 9—15 三越(日本橋)
新美術新聞 754
美術(月刊)(サンアート) 244 編集部
- 神々と精霊の造形 オセアニア民族美術展 3. 15—4. 13 埼玉県鶴ヶ島市役所
朝日夕刊 4. 9 (三)
- 上條陽子展 1. 12—24 ギャラリーフレスカ
新美術新聞 754
- 上沼緋佐子展 3. 13—26 高島屋(日本橋)
アートトップ 151 矢部良明
- 神谷紀雄陶芸展 4. 22—27 和光ホール
チャイム銀座(月刊) 177
- 亀井和代展 1. 22—27 ギャラリーくるせ
美術手帖 722 山本淳夫
- 亀井勝陶展 10. 3—9 松坂屋(名古屋)
陶説 525 井上隆生
- 亀倉雄策のポスター展—時代から時代へ・1953年—1996年の軌跡
8. 6—9. 21 東京国立近代美術館フィルムセンター
現代の眼 449 片岸昭二
現代の眼 449 田中一光
美術の窓 160 倉数和文
朝日夕刊 9. 9 (若)
- 産経 9. 8 (M)
日経 8. 5
日経 8. 25 (坂)
- 毎日夕刊 7. 26 三田晴夫
毎日夕刊 9. 2 三田晴夫
- 亀田正一展 4. 24—30 高島屋(大阪)
美術の窓 156 高山淳

亀谷彩展 10. 1—6 アートスペース虹(京都)
美術手帖 735 小林昌廣
アトリエの鴨居玲展 8. 29—9. 23
石川県立美術館
石川県立美術館だより 155
石川県立美術館だより 157 二本
木伸一郎
加山又造展 7. 24—8. 12 阪急
ミュージアム(神戸)
新美術新聞 772
ダニ・カラヴァン展 9. 30—10.
30 佐賀町エキジビットスペース
産経 10. 13
からくりおもちゃの作品展 6. 1—
8. 31 芸術教育研究所おもちゃ
美術館
東京 5. 29
読売 5. 26
ビーター・カラス展 10. 15—20
黒田陶苑
陶説 525 福田旻
ガラスと版画展—シャガール・ピカ
ソ・ミロー 1. 4—2. 4 石川県
立美術館
石川県立美術館だより 147
ガラスの動物園'96—ランプワーク
作品展 7. 15—8. 3 グラス
ギャラリーカラニス
毎日夕刊 7. 13
アンリ・カラム展 3. 11—4. 20
ギャラリーGAN
毎日夕刊 3. 28 三田晴夫
河合勇展 2. 16—3. 10 福井県立
美術館
福井県立美術館だより 71 芹川
貞夫
河井寛次郎とその一門展 11. 29—
12. 11 京阪ギャラリー・オブ・
アート・アンド・サイエンス(守
口市)
陶説 527 藤慶之
河合晋平展 4. 23—28 ギャラ
リーココ(京都)
美術手帖 727 喜多村明里
川勝江利子展 7. 29—8. 3 ギャ
ラリー白(京都)
美術手帖 733 平芳幸浩
詩人の川上澄生展 9. 7—3. 23
川上澄生美術館

鹿沼市立川上澄生美術館館報 10
小林利延
川上澄生の世界展 4. 6—5. 19
東京ステーションギャラリー
鹿沼市立川上澄生美術館館報 9
産経 4. 18 斎藤道子
川上カ三展 11. 5—10 ギャラ
リー三条(京都)
陶説 526 藤慶之
河北倫明展 美術評論家が残した書
4. 23—29 三越(日本橋)
新美術新聞 764
河崎晃一展 4. 9—27 資生堂ギャ
ラリー
新美術新聞 763
川崎春彦イロイロ展 4. 4—9 高
島屋(日本橋)
新美術新聞 762
美術(月刊)(サンアート) 247
編集部
美術の窓 155 高山淳
河嶋淳司展—うちわ・日本の夏—
6. 26—7. 2 高島屋(日本橋)
新美術新聞 769
美術(月刊)(サンアート) 250
米倉守
川島見依子油絵展 7. 2—8 三越
(銀座)
新美術新聞 770
川瀬忍展 5. 12—19 ホテル
ニューオータニ寛土里
陶説 520 福田旻
川瀬竹志展 1. 14—21 ホテル
ニューオータニ寛土里
陶説 516 福田旻
暁斎の戯画・狂画展 3. 20—4. 7
小田急美術館
河鍋暁斎記念美術館だより 17
及川茂
芸術新潮 557 及川茂
産経 3. 31 (M)
産経夕刊 3. 29 (江)
東京 1. 4
東京夕刊 3. 19 及川茂
東京夕刊 3. 22 河鍋楠美
東京夕刊 3. 25 山口静一
東京夕刊 3. 26 浅野秀剛
東京夕刊 3. 27 若林操子
東京夕刊 3. 29 山梨俊夫
東京夕刊 4. 2 福富太郎

河鍋暁斎展 福富太郎コレクション
6. 8—30 弘前市立博物館
河鍋暁斎記念美術館だより 17
宮沢皓
川端健生「しょうとのおにたいじ」原
画展 9. 14—23 ギャラリー鉄
齋堂
新美術新聞 776
川端文男作陶展 10. 30—11. 5
東武(池袋)
陶説 526 福田旻
川端画学校出身者展 9. 1—15
ギャラリーシビック
産経 9. 14
河邊裕美展 11. 18—30 シティ
ギャラリーI・M
美術手帖 738 平芳幸浩
河村卓見展 7. 7—27 ギャラリー
こいち
美術(月刊)(サンアート) 250
編集部
ラジブ・ガンジー写真展 ある親密
なる映像(ビジョン) 4. 13—5.
19 東京富士美術館
美術の窓 159
カンディンスキー&ミュンター1901
—1917展 12. 14—2. 2 セゾン
美術館
AAC 19 (H.M.)
SMA 153, 154
新美術新聞 785
美術手帖 738 末永照和
朝日夕刊 12. 12 土田久子
東京 1. 4
東京夕刊 12. 13 土田久子
東京夕刊 12. 17 粟津則雄
東京夕刊 12. 18 マリオン・
ゼッテコロン
東京夕刊 12. 20 園田恵子
東京夕刊 12. 24 千足伸行
東京夕刊 12. 25 中村俊春
日経 11. 27 宝玉正彦

(キ)

祇園会展66回 6. 29—7. 30 梅軒
画廊(京都)
アートトップ 155
企業の名品アートコレクション展
8. 3—21 ホテルオークラ
アートトップ 155
新美術新聞 774

- 美術手帖 732
産経 8, 18
菊池展9回 頼作明 9, 29-10, 5
ギャラリー和知
新美術新聞 777
菊池いくろ展 7, 1-6 ギャラリー
イK
美術手帖 731 北小路隆志
菊畑茂久馬展 6, 3-22 カサハラ
画廊(大阪)
毎日夕刊 6, 11 三田晴夫
菊間雅人展 4, 15-20 東京厚生
年金病院
読売(都民版) 4, 9
岸田利女碑文谷彫遺作展 9, 25-
27 目黒区美術館区民ギャラリー
毎日 9, 26
岸田劉生展—麗子微笑— 近代洋画
の偉才 4, 13-5, 19 佐野美術
館(三島)
隆泉 4 河内えり子
岸田劉生展 所蔵作品と資料の展示
6, 1-5, 7 東京国立近代美術館
産経夕刊 6, 28 (江)
岸本謙仁作陶展 7, 10-16 阪急
(大阪)
美術(月刊)(サンアート) 250
編集部
城田孝一郎展 4, 30-5, 11 とき
わ画廊
産経 5, 5 (M)
北直以展 3, 1-13 ギャラリーそ
わか(京都)
美術手帖 726 喜多村明里
木田安彦展 1, 3-15 東急(本店)
毎日夕刊 1, 4
魯山人とゆかりの名陶展 7, 27-
9, 23 世田谷美術館
新美術新聞 773
産経 6, 1
日経 8, 27 宝玉正彦
北大路魯山人展 美食もてなしの芸
術 10, 5-9, 29 東京都庭園美
術館
美術(月刊)(サンアート) 252
編集部
朝日夕刊 10, 1 井上隆生
朝日夕刊 10, 31 井関正昭
北川民次展 7, 23-31 日動画廊
(名古屋)
- 絵 389 神谷幸之
新美術新聞 772
北川民次展 11, 22-1, 26 愛知
県美術館
AAC 18 (M.M.)
新美術新聞 784
日経 12, 14 宝玉正彦
北辻良央展 1, 12-2, 2 ギャラ
リー上田
新美術新聞 755
北辻良央展 11, 5-16 なびす画
廊
毎日夕刊 11, 14 三田晴夫
北見孝展 2, 29-3, 6 東武(池
袋)
新美術新聞 758
北村堅治陶展 11, 22-12, 1
ギャラリーCEPICA(常滑市)
陶説 527 井上隆生
北村さゆり展 12, 2-20 ギャラ
リー戸村
新美術新聞 785
木津文哉展 9, 6-12 東急(本店)
美術(月刊)(サンアート) 252
編集部
城戸真亜子展 IN THE ROOM
7, 18-31 東急(日本橋)
産経夕刊 7, 17 柳谷昇子
城所祥板目木口木版展 6, 24-7,
13 白銅鞮画廊
新美術新聞 770
絹谷幸二展 6, 5-21 永井画廊
新美術新聞 768
美術(月刊)(サンアート) 249
絹谷幸二の宇宙展 12, 31-1, 13
三越(日本橋)
美術(月刊)(サンアート) 256
富田芳和
美術の窓 163 高山淳
木内克展 9, 28-11, 7 朝倉彫塑
館
新美術新聞 777
木の造形 旭川大賞展 10, 26-
1, 12 北海道立旭川美術館
氷華 37 新明英仁
キム・エン・ジョン展 10, 21-31
吉井画廊
美術の窓 163 高草茂
金晶美(キム・ジョンミ)展 12, 8
-21 銀座九美洞ギャラリー
- 朝日 12, 17
木村絵里展 4, 2-13 ガレリア
フィナルテ
美術手帖 727 廣江泰孝
木村佳代子展 9, 16-21 村松画
廊
毎日夕刊 9, 20 石川健次
木村吾吾日本画展 4, 3-9 三越
(名古屋栄)
美術(月刊)(サンアート) 247
松浦教子
木村吾吾日本画展 9, 4-10 さい
か屋(横須賀)
美術(月刊)(サンアート) 252
木村吾吾展 10, 1-27 富士美術
館
新美術新聞 778
美術(月刊)(サンアート) 253
中野中
木村琢一日本画展 5, 23-29 東
急(日本橋)
アートトップ 154 森友三雄
木村芳郎陶展 3, 28-4, 13 赤坂
グリーンギャラリー
陶説 519 福田旻
「木村伊兵衛賞に見る日本現代写真
の系譜」展 6, 19-7, 7 東京都
写真美術館
朝日夕刊 7, 2 (三)
バリ・キメ美術館展 9, 25-12,
15 出光美術館
産経夕刊 12, 6 渋谷和彦
カジ・ギャスディン展 6, 6-25
高島屋(日本橋)
朝日 6, 4
トム・キャノン作陶展 10, 27-
12, 3 高島屋(岐阜)
陶説 527 井上隆生
現代美術展「ギャラリー」 9, 1-25
臨海副都心国際展示場
朝日夕刊 9, 17 (若)
「GALLERY 21世紀への都市芸
術プロジェクト」展 8, 1-25
東京ビッグサイト
新美術新聞 774
デザインの現場 84 柏木博
産経 8, 4 (S)
日経 8, 18 堤篤史
毎日夕刊 8, 5 三田晴夫
毎日夕刊 9, 10 柴田元幸

邱世源展 11, 20—12, 1 スパ
ラルガーデン
新美術新聞 783

90年代の韓国美術から一等身大の物
語展 9, 25—11, 17 東京国立
近代美術館
現代の眼 499 市川政憲
現代の眼 500 都築千重子
国立国際美術館月報 52 李世得
国立国際美術館月報 52 郭徳俊
新美術新聞 777
新美術新聞 785 (白)
美術手帖 735 高島直之
朝日夕刊 10, 17 田中三蔵
産経 10, 24 坂元暁美
東京夕刊 10, 11 山梨俊夫
日経 10, 11 宝玉正彦
毎日夕刊 10, 1 三田晴夫
読売夕刊 10, 4 (管)

インゴ・ギュンター展 10, 4—27
P3 art and environment
美術手帖 735 北小路隆志

京展48回 4, 27—5, 12 京都市美
術館
京都市美術館ニュース 172

京都在住現代陶芸家展10回 11, 14
—19 大丸ミュージアム(京都)
陶説 526 藤慶之

郷土の作家たち展 7, 19—8, 11
福井県立美術館
福井県立美術館だより 73 八百
山登

京橋界隈'96展 7, 7—27 銀座
新美術新聞 777
読売(都民版) 7, 21

京を創る展6回 芸術祭典・京
5, 24—6, 2 金戒光明寺および
真正極楽寺境内
陶説 521 藤慶之

清川泰次展 5, 1—31 東京セント
ラルアネックス・赤坂
読売夕刊 5, 28

清水九兵衛展 10, 1—11, 1 フジ
テレビギャラリー
産経 10, 6 松村寿雄

清水証博展 11, 12—12, 4 ギャ
ラリーなかつら(京都)
陶説 526 藤慶之

桐弘史郎展 9, 17—28 ギャラ
リー舩

産経 9, 22 (O)

桐谷逸夫展 東京いま・むかし
3, 19—24 ギャラリースペース
21
毎日夕刊 3, 23

桐野江節雄油絵展 1, 25—27 築
地浜離宮会館
美術の窓 153 瀧悌三

桐野江節雄油絵展 5, 14—19 常
陽芸文センター(水戸)
新美術新聞 765

桐谷エリザベス展 下町のびっくり
猫 10, 15—20 パオバブ(アフ
リカ料理店)
朝日 10, 15

金唐革紙展 5, 28—7, 21 お札と
切手の博物館
朝日 5, 28

近代都市と芸術展—ヨーロッパの近
代都市と芸術1870—1996、東京：
都市と芸術 7, 24—9, 16 東京
都現代美術館
新美術新聞 773 清水敏男
朝日夕刊 7, 9 鹿島茂
朝日夕刊 7, 17
朝日夕刊 7, 17 松葉一清
産経 8, 8 坂元暁美
産経 8, 25 渋谷和彦
東京夕刊 8, 30 山梨俊夫
日経 7, 29 宝玉正彦
読売夕刊 8, 13 (管)

近代日本画の秀作—日本美術院の作
品を中心に 平成8年度国立博物
館・美術館巡回展 8, 24—9, 23
滋賀県立近代美術館
フラミンゴ 47, 48(高梨)

近代日本画の名品展 野間コレク
ション 1, 3—22 松屋(銀座)
新美術新聞 755

近代日本彫刻の一潮流展—保守伝統
派の栄光 7, 6—9, 8 宮内庁三
の丸尚蔵館
東京夕刊 7, 26 北澤憲昭

近代日本美術協会展23回 11, 25—
12, 1 東京都美術館
美術の窓 164 高山淳

近代の漆芸展 9, 6—11, 15 石川
県輪島漆芸美術館
漆芸美術館だより 18

近代の彫刻展2 9, 5—1, 26 兵
庫県立近代美術館
新美術新聞 778

近代版画にみる東京—うつりゆく風
景展 7, 30—9, 16 江戸東京博
物館
新美術新聞 773
江戸東京博物館NEWS 14 江
里口友子
江戸東京博物館NEWS 14 岩
城紀子
毎日夕刊 7, 29

近代美術—油彩画・日本画・彫刻展
4, 1—21 石川県立美術館
石川県立美術館だより 150

近代美術協会展33回 8, 20—30
東京都美術館
美術の窓 160 高山淳

近代美術の巨人たち展—帝室技芸員
の世界— 9, 24—11, 4 サント
リー美術館
サントリー美術館ニュース 156
大熊敏之
新美術新聞 777
美術(月刊)(サンアート) 253
藤田一人
日経 10, 8 宝玉正彦

(ク)

草間彌生展 5, 23—6, 15 オオタ
ファインアーツ
美術手帖 731 松井みどり

楠瑠州展 10, 14—12, 21 敦井美
術館
アートトップ 153 宇根元了

久世建二展 9, 2—25 ハセガワ
アート(名古屋)
陶説 524 井上隆生

エンツォ・クッキ展 4, 27—5, 26
セゾン美術館
AURA 13 エンツォ・クッ
キ、林寿美聞き手
SMA 146
新美術新聞 764
朝日夕刊 5, 9 田中三蔵
朝日夕刊 5, 16
日経 8, 7 宝玉正彦

朽木真展 11, 5—22 新生堂(南青
山)

- 美術(月刊)(サンアート) 254
安井収蔵
- KUTSU—NUGI展** なぜ、あなたは靴を脱ぐのですか? 2, 8—27
リビングデザインギャラリー
デザインの現場 80 榎本文夫、
浜井弘治、松陰浩之、中村好文
- 工藤強勝展** 書籍の仕事 11, 5—
15 王子ペーパーギャラリー
デザインの現場 85 白田捷治
- 国松桂溪展** 5, 18—6, 23 栗東歴史民俗博物館
栗東歴史民俗博物館だより 9
- 久保輝秋展** 2, 22—29 日動画廊
絵 384 谷口治達
- 久保俊郎展** 2, 13—24 なびす画廊
新美術新聞 757
- 久保守遺作展** 2, 27—3, 3 三越(日本橋)
新美術新聞 758
- 熊田千佳慕展** 日本のファブル
8, 22—27 高島屋(横浜)
朝日夕刊 8, 22
- 熊本栄司作陶展** 4, 24—30 三越(名古屋星ヶ丘)
陶説 520 井上隆生
- 久米桂一郎 教え子による作品展**
9, 14—10, 27 久米美術館
読売 9, 26
- アンジェラ・グラウワーホルツ展**
9, 13—12, 7 ギャラリードゥ
美術手帖 734 松井みどり
- 倉重光則展** 7, 8—19 村松画廊
毎日夕刊 7, 18 三田晴夫
- 倉俣史朗デザイン展** Luminous:
Shiro Kuramata 7, 15—8, 7
AXISGALLERY
AXIS 62 アクシス編集部
- 倉俣史朗の世界展** 6, 29—9, 23
原美術館
AXIS 63 八束はじめ、鈴木了二、岡崎乾二郎対談
AXIS 63 エットレ・ソットサス、磯崎新対談
新美術新聞 772 (賀)
デザインの現場 80 藤塚光政、
田中信太郎、近藤康夫、五十嵐久枝、
平野敬子、倉俣美恵子、合田佐和子、
浅川敏
- Hara Museum REVIEW 34
堀口勝信
美術手帖 732 隈研吾
朝日夕刊 6, 27 合川通子
朝日夕刊 7, 4 多木浩二
産経 7, 21 渋沢和彦
日経 7, 1
毎日夕刊 7, 26 三田晴夫
読売夕刊 8, 7 高島直之
- 倉本隆之展** 10, 14—19 モリス
ギャラリー
美術手帖 735 松井みどり
- 栗木伎茶夫米寿記念作陶展** 5, 24—
6, 30 瀬戸市文化センター
陶説 521 井上隆生
- 栗木達介展** 9, 19—25 松坂屋(名古屋)
陶説 524 井上隆生
- ピエール・クリスタン展** 11, 18—
28 日動画廊
絵 393 編集部(熱田)
- 栗原幸彦日本画展** 10, 21—27
アートミュージアムギンザ
新美術新聞 780
美術の窓 161 高山淳
- クリムトとウィーン印象派展—ベル
ヴェデーレ宮オーストリア絵画館
所蔵** 10, 26—12, 8 東京富士
美術館
毎日 10, 24
毎日 11, 13 五木田聡
毎日 11, 17, 20 大前之宏
毎日 11, 26 野口満成
- マックス・クリンガー版画展** 館蔵
品による 1, 27—3, 20 高知県
立美術館
高知県立美術館ニュース 11 奥
野克仁
- GRUUP'82展** 10, 12—17 銀座
書廊
新美術新聞 778
- カミュー・クロード展** 6, 1—
7, 14 Bunkamura ザ・ミュージアム
アートトップ 153
- CHRONOS** 5 志賀亮一
新美術新聞 767
天花 65 河野通孝
朝日 6, 28 藤本ひとみ
朝日夕刊 5, 30 木島俊介
- 産経夕刊 6, 7 (江)
東京 1, 4
東京夕刊 5, 31 高橋幸次
東京夕刊 6, 3 浅野素女
東京夕刊 6, 5 中沢けい
東京夕刊 6, 6 中原祐介
東京夕刊 6, 7 吉田加南子
東京夕刊 6, 8 飯田善國
- 黒川弘毅展** 1, 8—27 ギャラリー
GAN
毎日夕刊 1, 8 三田晴夫
- 黒木国昭ガラス絵展** 6, 20—25
高島屋(日本橋)
新美術新聞 768
- 黒澤信男1996展** 7, 19—25 京王
(新宿)
新美術新聞 771
- 黒須信雄展** 5, 27—6, 1 藍画廊
構造 12 門田秀雄
- 黒田清輝展** 2, 25—3, 24 米子市
美術館
新美術新聞 758
- 黒光茂明展** 12, 9—17 大丸(大阪)
美術(月刊)(サンアート) 255
米倉守
- 桑原哲也展** 7, 30—8, 4 ギャラ
リーMOCA
美術手帖 733 坪内浩文
- 桑原正昭展** 11, 8—15 日動画廊
絵 393 (熱田)
- 桑原盛行展** 7, 8—19 ギャラリー
上田
新美術新聞 770 (賀)
- 桑山忠明プロジェクト'96展—川村
プロジェクト** 6, 1—7, 21 川
村記念美術館
アートマインド 88 ばんのなお
こ
AURA 12 桑山忠明、林寿美
聞き手
ギャラリー(月刊) 135
新美術新聞 769 半田滋男
朝日夕刊 7, 10 大西若人
- 桑山忠明プロジェクト'96展—千葉
プロジェクト** 6, 15—8, 18 千
葉市美術館
アートマインド 88 ばんのなお
こ
ギャラリー(月刊) 135

新美術新聞 769 半田滋男
朝日夕刊 7, 10 大西若人

(ケ)

芸術と素朴展 10, 5—12, 1 世田
谷美術館
新美術新聞 779
朝日夕刊 10, 24 田中三蔵
激アート、劇アート 3, 9—6, 23
HARA MUSEUM ARC
Hara Museum REVIEW 33
三井知
ケネックスアート展 4, 27—5, 19
こどもの城アトリウムギャラリー
美術手帖 727
マイク・ケリー展 11, 22—12, 27
ワコウワークスオブアート
デザインの現場 85 西原暎
毎日夕刊 12, 12 三田晴夫
玄順恵展 一滴の水から玄へ 7,
31—8, 5 なかのZERO
毎日 7, 23
現代創展22回 12, 13—19 東京都美
術館
美術の窓 164 高山淳
弦田康子展 3, 8—24 アート
ミュージアムギンザ
芸術公論 72
現代演劇ポスター展'66、'96 11,
8—27 ギャラリー1(東京)
朝日 11, 6
東京夕刊 11, 21 笹目浩之
現代絵画—三つの表情展 6, 1—30
京都市四条ギャラリー
美術手帖 731 小林昌廣
現代女流美術展17回 12, 9—1, 26
彫刻の森美術館
産経 12, 26 斎藤道子
現代女流美術展17回—日本の美
11, 26—12, 6 上野の森美術館
新美術新聞 784
美術の窓 163
産経 5, 26 (M)
毎日 12, 1 日野耕之祐
現代中国の美術 中国第8回全国美
術展受賞・優秀作品による 10,
2—31 日中友好会館美術館
産経 7, 8 彭飛
「現代デザインにみる素材の変容」展
7, 5—8, 9 リビングデザインセ

ンター-OZONE
デザインの現場 80 竹原あき子
美術手帖 732 沖田大三郎
朝日夕刊 8, 5 (若)
日経 7, 12
現代童画展22回 12, 5—12 東京
都美術館
美術の窓 164 高山淳
現代東京版画事情展 2, 25—4, 7
町田市立国際版画美術館
新美術新聞 758 滝沢恭司
「現代陶芸—七つのメッセージ」展
11, 8—20 京阪ギャラリー・オ
ブ・アーツ・アンド・クラフト
陶説 526 藤慶之
現代陶芸の若き旗手たち展 9, 14
—11, 24 愛知県陶磁資料館
陶説 525 井上隆生
現代日本の陶彫作家展 4, 20—7,
7 彫刻の森美術館
産経 4, 25 斎藤道子
産経 5, 9 斎藤道子
現代日本美術展25回—明日への飛翔
4, 23—5, 7 東京都美術館
毎日 4, 22
現代の動物画・植物画展 12, 21—
1, 31 千葉県立中央博物館
中央博物館だより 31 長谷川雅
美
現代版画展 10, 18—20 東京アメ
リカンクラブ
毎日 10, 9
現展52回 6, 12—22 東京都美術
館
アートマインド 88 佃堅輔
美術の窓 159 田中穰
(コ)
アントニー・ゴームリー展 9,
7—10, 20 神奈川県立近代美術
館
新美術新聞 776
アートベーパー 31, 32
朝日夕刊 9, 12 大西若人
朝日夕刊 9, 26 水沢勉
東京夕刊 10, 4 北澤憲昭
日経 9, 18 宝玉正彦
読売夕刊 9, 11 菅原教夫
コールドコット賞に輝くアメリカ黄
金時代の絵本作家たち展 11, 13

—12, 15 下関市立美術館
潮流 48 (N)
コーン・コレクション展 10, 3—
12, 28 伊勢丹美術館
芸術新潮 563
産経夕刊 11, 1 奥田裕
東京夕刊 10, 25 山梨俊夫
読売(都民版) 11, 5, 6, 9, 10
天野知香
読売夕刊 9, 30
鯉江良二展 1, 12—2, 25 岐阜県
美術館
新美術新聞 755
陶説 516 井上隆生
朝日夕刊 1, 30 (生)
鯉江良二展 6, 25—7, 17 ギャラ
リー-NOW(富山市)
美術手帖 731 廣江泰孝
小磯良平大賞展3回 12, 14—2,
16 神戸市立小磯記念美術館
新美術新聞 784
高円人展3回 5, 10—22 グリー
ティングスクエア
読売(都民版) 5, 18
交感する陶芸展 1, 9—21 愛知県
陶磁資料館
Lady's Slipper 6 橋本公成
陶説 516 井上隆生
神下雄吉展 5, 8—15 和光ホール
チャイム銀座(月刊) 178
交差するまなざし—ヨーロッパと近
代日本の美術展 7, 20—9, 8
東京国立近代美術館
現代の眼 498 植木浩
現代の眼 498 芳賀徹
現代の眼 499 原田光
現代の眼 499 山梨絵美子
新美術新聞 773
美術手帖 729 都築千重子
朝日夕刊 8, 16 大西若人
産経 7, 28 渋谷和彦
日経 8, 13 宝玉正彦
高野三三男展 3, 19—27 日動画
廊
新美術新聞 761
光の会展 3, 22—30 和光ホール
チャイム銀座(月刊) 176
神戸市立博物館再開企画展 館蔵名
品展 1, 17—3, 24 神戸市立博
物館

神戸市立博物館だより 51 成澤勝嗣
河本五郎展 没後十年 2. 29—3. 5 松坂屋(名古屋)
陶説 518 井上隆生
光陽展44回 5. 9—19 東京都美術館
美術の窓 158 高山淳
国会「自然保護のためのチャリティー」展 8. 29—9. 3 高島屋(日本橋)
新美術新聞 777 油井一人
新美術新聞 785
美術の窓 161
国際蔵書票展2回 8. 26—9. 6
ギャルリーヴィヴァン
美術(月刊)(サンアート) 252
国府克展「聖地巡礼」 5. 8—14 高島屋(京都)
アートトップ 154 藤慶之
喜寿記念 國領経郎展 10. 8—13 三越(日本橋)
美術の窓 160 高山淳
心で見る美術展 9. 29—11. 24
名古屋市美術館
新美術新聞 782 (美)
心を癒す植物—アート・ボタニカル・ガーデン展 8. 3—9. 16 目黒区美術館
朝日夕刊 8. 22 田中三蔵
産経 8. 22 坂元暁美
産経夕刊 9. 13 渋谷和彦
五彩之会展3回 2. 19—3. 2 古心堂画廊
新美術新聞 758
小島久弥展 9. 20—1. 12 現代美術館(名古屋)
美術手帖 738 坪内浩文
小島弘木彫展 6. 3—21 愛宕山画廊
新美術新聞 767
小杉小二郎展 5. 8—24 弥生画廊
新美術新聞 765
美術(月刊)(サンアート) 248
米倉守
小谷彰宏展 2. 12—17 ギャラリー白(大阪)
美術手帖 724 喜多村明里
小谷泰子展 2. 23—3. 13 キリンプラザ大阪

美術手帖 724 山本淳夫
児玉靖枝展 11. 5—24 石屋町ギャラリー(京都)
美術手帖 737 平芳幸浩
児玉幸雄展 10. 21—28 日動画廊
絵 392 (熱田)
ゴッホと静物画展 1993年—1997年
“ゴッホとその時代” 4 9. 12—11. 11 東郷青児美術館 新美術新聞 776
美術手帖 732
古布絵の世界展 12. 5—9 ギャラリーハセガワ
朝日 11. 28
個の会展5回 4. 30—5. 6 三越(日本橋)
美術(月刊)(サンアート) 248
小林孝亘展 5. 7—25 西村画廊
美術手帖 729 松井みどり
読売夕刊 5. 16 (菅)
小林東五展 10. 23—28 名鉄(名古屋)
陶説 525 井上隆生
小林的りお展 10. 19—11. 27 ヨコハマポートサイドギャラリー
美術手帖 738 北小路隆志
小林英夫陶展 3. 12—28 青山グリーンギャラリー
陶説 518 福田晏
小林三男墨画展 3. 11—16 花心
毎日夕刊 3. 9
小林裕児展 6. 10—22 ギャラリー椿
新美術新聞 768
小林由紀乃型絵染展 2. 26—3. 3
ギャラリー近江
毎日夕刊 2. 17
駒形克哉展 6. 26—7. 28 ハヤカワマサタカギャラリー
美術手帖 731 森司
小牧源太郎遺作展 増殖するイメージ 8. 27—9. 29 京都国立近代美術館
新美術新聞 775
美術(月刊)(サンアート) 252
前田常作
小松明の世界展 10. 17—22 大丸(高知)
新美術新聞 779
小松欽展 1. 16—21 コートギャ

ラリー国立
美術の窓 153 (編集部)
小松均展 大自然の魂を描く—孤高の画仙人 11. 2—1. 15 東京ステーションギャラリー
朝日 12. 12 松田重昭
朝日 12. 13、14 本郷和沙
五味秀夫画業50年展 3. 27—4. 7 東京国際美術館(多摩)
新美術新聞 761
美術の窓 155 高山淳
五味秀夫展 10. 22—27 兜屋画廊
美術の窓 162
小柳竜児展 画業五十年 10. 15—20 北九州市立美術館
美術の窓 160 高山淳
小谷野洋子展 インド墨画 4. 9—14 タカゲン画廊
毎日夕刊 4. 6
小山敬三展 6. 22—7. 21 長野県信濃美術館
新美術新聞 769
小山岑一展 作陶三〇年 6. 25—29 壺中居
陶説 522 福田晏
小山仁郎草木染め友禅展 6. 27—7. 2 ギャラリー新宿高野
産経 6. 18
古山康雄展 1. 10—15 鹿友アートサロン
アートトップ 152 常盤茂
紺野修司展 7. 12—18 和光ホール
チャイム銀座(月刊) 180
(サ)
サーカスがやってきた!展 4. 6—5. 6 神奈川県立近代美術館
美術手帖 727 池内紀
ピロティ 100 山崎均
東京夕刊 4. 19 北澤憲昭
日経 4. 16 宝玉正彦
斎藤博之遺作展 6. 1—8. 4 丸木美術館
朝日夕刊 7. 18 田中三蔵
佐伯春峰押絵展 4. 29—5. 4 ギャラリー神宮苑
毎日夕刊 4. 27
佐伯守美作陶展 11. 3—10 ホテルニューオータニ寛土里

平成8年美術展覧会(サ、シ)

陶説 526 福田旻
早乙女貢展 4. 4-9 ギャラリー
新宿高野
アートトップ 153 (野)
坂井ユウジロー展 1. 8-13 シ
ティギャラリー(大阪)
美術手帖 722 山本淳夫
坂口紀良ガラス絵展 1. 17-27
木田画廊
アートトップ 150 篠原弘
美術(月刊)(サンアート) 244
編集部
坂口紀良展 1. 17-27 永善堂画
廊
アートトップ 150 篠原弘
美術(月刊)(サンアート) 244
編集部
坂倉守展 9. 17-10. 11 大和生
命ビル409号室
美術手帖 734 坪内浩文
坂田基内陶芸展 5. 9-14 高島屋
(日本橋)
陶説 520 福田旻
佐賀の陶芸家たちと宮崎末子展
4. 16-21 東京セントラルア
ネックス
新美術新聞 763
美術の窓 155 編集部
坂部隆芳展1993-1996 3. 26-4.
1 東急(本店)
美術(月刊)(サンアート) 247
金子
故・阪本雅城仏画展 11. 16-12.
1 高幡不動尊金剛寺
東京 11. 14
坂本素行灰軸作品展 8. 8-13 高
島屋(日本橋)
陶説 523 福田旻
さかもとふさ型絵染版画展 6. 10
-28 小松ビル画廊
毎日夕刊 6. 1
朔日会展65回 5. 9-19 東京都美
術館
美術の窓 158 高山淳
作間敏宏展 1. 18-2. 13 かわさ
きIBM市民文化ギャラリー
美術手帖 724 西村智弘
作間敏宏展「治療」 8. 1-9. 13
インフォミュージズ(日本橋)
産経 9. 1 渋谷和彦

櫻井孝美展 3. 27-4. 8 西武
アートフォーラム(池袋)
新美術新聞 761
美術の窓 155 高山淳
櫻井孝美展 9. 27-10. 9 OKA
JIMA美術館
新美術新聞 777
櫻田精一展 11. 13-18 松屋(銀
座)
新美術新聞 782
笹岡敬展 9. 14-10. 12 MAT
美術手帖 734 坪内浩文
佐々木卓也展 7. 1-29 INAX
ギャラリー
産経 7. 28 松村寿雄
笹山忠保展 9. 19-25 丸栄スカ
イル(名古屋)
陶説 524 井上隆生
定兼恵子展 9. 30-10. 5 資生堂
ギャラリー
美術手帖 734 森司
さっぽろ国際現代版画ビエンナーレ
展3回 3. 23-4. 7 北海道立
近代美術館
新美術新聞 755
佐藤国男木版画展 2. 4-18 プチ
・レーブ(札幌市中央区)
読売(都民版) 2. 1
佐藤多持展 1. 8-27 調布画廊
新美術新聞 755
佐藤多持水芭蕉曼陀羅屏風絵展
7. 1-10 アートミュージアムギ
ンザ
新美術新聞 770 佐藤多持、建
部公彦聞き手
佐藤照雄展 7. 10-15 練馬区立
美術館
新美術新聞 771
佐藤時啓展 9. 2-28 ギャラリー
GAN
朝日夕刊 9. 5 大西若人
産経 9. 15 奥田裕
毎日 9. 10 三田晴夫
読売 9. 17 平木収
佐藤昌祐油絵展 10. 14-19 文藝
春秋画廊
新美術新聞 779
茶道美術公募展 '96淡交ビエン
ナーレ 9. 17-23 三越(新宿)
淡交 612 林屋晴三

陶説 523 藤慶之
佐野陽一展 2. 21-3. 6 東京日
仏学院ギャラリー
美術手帖 724 暮沢剛巳
ラインハルト・サビエ展《内戦》
7. 7-27 東邦画廊
朝日夕刊 7. 18 田中三蔵
産経 7. 21 松村寿雄
読売夕刊 7. 2 (川)
さよなら同潤会代官山アパート展
第1部 同潤会代官山アパート
1927 8. 8-12 代官山同潤会ア
パート、アートフロントギャラ
リー
Lady's Slipper 6 桑名麻理
毎日夕刊 8. 8
さよなら同潤会代官山アパート展
第2部 再生と記憶 8. 8-12
代官山同潤会アパート
Lady's Slipper 6 桑名麻理
産経 8. 18
東京 8. 9
毎日夕刊 8. 8
サロン・ド・フィナル展11回
6. 22-30 ギャルリフィナル
美術(月刊)(サンアート) 251
佃堅輔
澤田哲郎と言う作品展 8. 22-29
日動画廊(名古屋)
新美術新聞 774
沢村美佐子展'70-'95 9. 1-16
東京国際美術館(多摩)
新美術新聞 775
美術の窓 161 高山淳
エドゥアール・サンド彫刻展 1. 5
-2. 13 東京都庭園美術館
産経 1. 17 (N)
サントリー美術館大賞特別展'96-
挑むかたち 11. 12-12. 23
サントリー美術館
サントリー美術館ニュース 517
東京夕刊 12. 6 北澤憲昭
3人娘の花の詩画展 5. 2-5 画
廊まほろにい
毎日 4. 20 山田泰生
(シ)
ジョージ・シーガル展 7. 27-9.
23 セゾン美術館

- AURA 14 ジョージ・シーガル、広本伸幸文、林寿美聞き手
SMA 149. 150
新美術新聞 774 下山肇
アマリリス 43 下山肇
美術手帖 732 ジョージ・シーガルインタビュー
美術の窓 161 一井建二
朝日夕刊 8. 22 一條彰子
朝日夕刊 8. 29 田中三蔵
産経 8. 4 渋沢和彦
東京夕刊 8. 2 山梨俊夫
日経 9. 1
- MUSIC BY CONTEMPORARY PRODUCTION シーティービービーのデザイン展** 8. 2—18
ラフォーレミュージアム原宿
デザインの現場 83
- シーボルト父子の見た日本 生誕200年記念展 8. 1—11. 19 江戸東京博物館
江戸東京博物館NEWS 13、15
小林淳一
芸術新潮 558
新美術新聞 764
朝日 4. 21
産経夕刊 5. 2 (江)
読売夕刊 4. 19
読売夕刊 5. 20 森安彩、杵掛剛之、萩原円
- シーボルト家の二百年展 10. 2—11. 10 大津市歴史博物館
大津市歴史博物館だより 27
- JACA'96日本ビジュアル・アート特別展** 9. 5—10 伊勢丹美術館
新美術新聞 778
- ジェンダー：記憶の淵から展 9. 5—10. 27 東京都写真美術館
新美術新聞 775 (賀)
東京都写真美術館ニュース 10
美術手帖 733 小谷真理
朝日夕刊 9. 3 多木浩二
朝日夕刊 9. 19
産経 9. 19 坂元暁美
産経 9. 22 奥田裕
読売 9. 2
- 「塩崎貞夫の窯仕事etc.」展 2. 12—17 文藝春秋画廊
美術(月刊)(サンアート) 245
金子美樹
- 人間国宝 塩多慶四郎の世界展 6. 28—9. 2 石川県輪島漆芸美術館
漆芸美術館だより 17
- シガ・アニュアル'96 ハンド・メイド・オブジェ展 1. 5—2. 18 滋賀県立近代美術館
美術手帖 724 石井弥夢
- 磁器の表現展—1990年代の展開** 9. 20—11. 4 東京国立近代美術館工芸館
現代の眼 499 三浦弘子
現代の眼 499 久保田厚子
陶説 525 福田旻
美術(月刊)(サンアート) 253
板橋廣美
東京夕刊 11. 1 北澤憲昭
- 重松あゆみ展** 3. 25—4. 3 ギャラリー・ブス
陶説 519 福田旻
- 重森三明展** 11. 30—12. 8 重森邸(京都)
美術手帖 738 小林昌廣
- 時代を創ったグッドデザイン展 Gマーク選定制度四十年記念** 9. 30—10. 13 パークタワーホール
デザインの現場 85 鈴木紀慶
朝日 10. 7
東京夕刊 10. 15 中村雄二郎
- 設楽知昭展** 4. 13—5. 25 白土舎
美術手帖 729 廣江泰孝
- 司馬江漢百科事展** 8. 10—9. 23 町田市立国際版画美術館
芸術新潮 562 塚原晃
神戸市立博物館だより 54 塚原晃
新美術新聞 774
美術(月刊)(サンアート) 251
塚原晃
目の眼 239 塚原晃
産経 9. 12 斉藤道子
東京夕刊 8. 23 北澤憲昭
- 芝川邸と武田五一展** 5. 27—6. 14 西本町インテスビル
建築史学 26 松隈章
- 芝田和展** 7. 10—30 ギャラリーSHIBAアート(新宿)
ギャラリー(月刊) 135
- 柴田知佳子展** 6. 17—22 ギャラリー白(大阪)
- 美術手帖 731 喜多村明里
柴田敏雄展 10. 19—11. 16 イル・テンポ
朝日夕刊 10. 31 大西若人
柴山利彌雅陶展 8. 8—13 丸栄スカイル(名古屋)
陶説 523 井上隆生
- 澁澤卿展** 10. 15—21 三越(日本橋)
美術(月刊)(サンアート) 253
村瀬雅夫
美術の窓 160 高山淳
澁澤龍彦画廊展 6. 12—24 日動画廊
新美術新聞 768
- 嶋剛展** 1. 23—2. 17 西村画廊
産経 2. 11 (M)
- 島光大染め絵展** 7. 13—19 葛飾区亀有地区センター
朝日 7. 14
- 島岡達三作陶展** 5. 15—17 西武アートフォーラム(池袋)
新美術新聞 765
- 島田鮎子展** 6. 18—27 日動画廊(名古屋)
アートトップ 153 篠原弘
絵 388 編集部
新美術新聞 760 (白)
- 島田三郎油絵展** 9. 12—17 伊勢丹(新宿)
新美術新聞 776
- 島田章三展** 10. 23—11. 2 サエグサ画廊
アートトップ 155 (波)
新美術新聞 780
美術(月刊)(サンアート) 254
島田章三
美術の窓 161 高山淳
- 島田利一展** 6. 24—30 銀座アートギャラリー
新美術新聞 769
- 島田文雄作陶展** 9. 24—30 三越(日本橋)
新美術新聞 777
陶説 525 福田旻
- 嶋田美子展** 4. 9—5. 2 オオタファインアーツ
美術手帖 727 暮沢剛巳
- 島田隆次展 わら細工の壺** 2. 12—18 大崎ウエストギャラリー

平成8年美術展覧会(シ)

毎日夕刊 2, 10
 島津豪亮展 7, 4—10 東急(日本橋)
 新美術新聞 770
 島袋道浩展 11, 30—12, 21 オオタファインアーツ
 美術手帖 737 松井みどり
 清水伸展 12, 9—27 ギャラリー山口
 新美術新聞 785
 毎日夕刊 12, 24 三田晴夫
 清水辰江展 山と雲と空のスケッチ 4, 4—5, 6 東京ガス立川ショールームギャラリー
 東京 4, 18 井上圭子
 清水達三展 11, 12—17 三越(日本橋)
 新美術新聞 782
 清水登之展 11, 3—1, 19 栃木県立美術館
 新美術新聞 783
 朝日夕刊 11, 21 杉村浩哉
 朝日夕刊 12, 19 田中三蔵
 清水信行日本画展 11, 7—12 松坂屋(上野)
 新美術新聞 781
 清水溥のミニチュア神社仏閣展 1, 24—2, 5 松屋(銀座)
 毎日夕刊 1, 20
 清水ユカラ展 1, 10—20 ルナミ画廊
 美術手帖 722 平野到
 志村節子展 5, 27—6, 7 夢土画廊
 新美術新聞 767
 志村ふくみ展 1996 1, 15—2, 11 何必館京都現代美術館
 芸術新潮 556 井上隆雄
 下川昭宣展 10, 15—11, 9 西村画廊
 美術の窓 160 編集部
 美術の窓 162 (淳)
 下田治彫刻展 11, 16—12, 8 高崎市美術館
 新美術新聞 782
 下村良之介展 12, 3—8 ギャラリー紅(京都)
 陶説 527 藤慶之
 シンディ・シャーマン展 10, 26—12, 15 東京都現代美術館

新美術新聞 771
 新美術新聞 775 (賀)
 美術(月刊)(サンアート) 250
 小松崎拓男
 フラミンゴ 47 (尾崎)
 美術の窓 162 一井建二
 朝日 11, 16 蛭川実花、ヒロミックス、笠原美智子、朝比奈マリア
 朝日夕刊 10, 24 伊藤俊治
 朝日夕刊 11, 21
 朝日夕刊 11, 21 大西若人
 産経 11, 24 奥田裕
 日経 11, 5 宝玉正彦
 ベン・シャーン展 創造のプロセス 4, 27—5, 19 刈谷市美術館
 新美術新聞 765
 第五福竜丸のベン・シャーン展—ラッキー・ドラゴン 船体への投影 11, 1—12, 1 第五福竜丸展示館
 朝日 10, 29
 朝日夕刊 11, 7
 毎日 11, 1 岸俊光
 読売(都民版) 10, 24
 シャガールエッチング展 3, 11—30 ギャラリーEMORI
 新美術新聞 760
 シャガール展 まだ見ぬ恋人たち 4, 27—10, 20 ベテルブルグ美術館(小樽)
 産経 8, 18 渋谷和彦
 マルク・シャガール 絵画・彫刻・陶器展 1920—1983 7, 20—11, 4 メルシャン軽井沢美術館
 新美術新聞 778
 日本美術工芸 694
 産経 8, 18 渋谷和彦
 毎日夕刊 7, 23 渡辺正身
 読売夕刊 8, 16 (勝)
 JAG展19回 11, 25—12, 1 東京都美術館
 美術の窓 164 高山淳
 ジャケット・アート展 8, 15—9, 8 ランドマークホール
 AXIS 63
 写真が語る戦後の日本展—山口県立美術館コレクションによる 9, 28—10, 27 滋賀県立近代美術館
 フラミンゴ 48 (榮樂)

写楽再見展 7, 26—8, 8 国際交流フォーラム
 産経 8, 4 (M)
 日経 8, 1 宝玉正彦
 ティナ・シュヴィヒテンベルク展
 ボスニアの麻の布 2, 23—28
 佐賀町エキジビットスペース
 朝日夕刊 2, 16
 朝日夕刊 2, 27
 東京夕刊 2, 16 山梨俊夫
 19—20世紀フランス近代絵画展 アイルランド国立美術館所蔵 9, 5—17 大丸ミュージアム(東京)
 新美術新聞 775
 毎日 9, 4
 ルドルフ・シュタイナー黒板ドローイング展—地球が月になるとき 11, 30—3, 30 ワタリウム美術館
 新美術新聞 785 (賀)
 朱葉会展76回 6, 1—10 東京都美術館
 美術の窓 159 高山淳
 ユリア・シュラーダー展 8, 7—21 ギャラリーギャラリー(京都)
 陶説 524 藤慶之
 純展26回 12, 13—19 東京都美術館
 美術の窓 164 高山淳
 徐倬民留学生生活回顧展 7, 25—30 中野区立もみじ山文化センター
 毎日 7, 21 前田剛夫
 読売(都民版) 7, 12
 「ジョイン・ミー！」展 9, 10—23 スパイラルガーデン
 新美術新聞 777
 産経 9, 15 渋谷和彦
 日経 9, 22 今井英津子
 読売 9, 19 (菅)
 障害者総合美術展11回 10, 23—28 西武(池袋)
 朝日 10, 19
 読売(都民版) 10, 18
 庄司達展 浮かぶ布 1, 4—21新潟市美術館
 朝日夕刊 1, 10 (三)
 庄司達展 空間創出 8, 29—9, 1 愛知芸術文化センター
 AAC 15 (E.K.)

莊司福展 6. 22—8. 25 神奈川県
 立近代美術館別館
 新美術新聞 769
 城米彦造展 5. 28—31 清雅堂画
 廊
 朝日 5. 29
 上前智祐展 5. 1—12 画廊ぶらん
 しゅ
 美術手帖 729 山本淳夫
 縄文コンテンポラリー展 6. 15—
 8. 3 ギャラリー煖(渋谷)
 ギャラリー(月刊) 135 小林達
 雄
 昭和会展31回 2. 1—8 日動画廊
 アートトップ 152
 絵 385 米倉守
 絵 385 千野茂
 新美術新聞 759
 昭和の日本画 円熟と新たな展開
 開館30周年記念所蔵名品展第3部
 7. 13—9. 1 山種美術館
 産経夕刊 7. 19 渋谷和彦
 職美展 6. 12—22 東京都美術館
 朝日夕刊 6. 19
 女性の肖像—日本現代美術の顔
 12. 10—2. 2 渋谷区立松涛美術
 館
 構造 12 光田由里
 読売(都民版) 12. 10
 書物の森へ展 10. 5—11. 24 町
 田市立国際版画美術館
 朝日夕刊 10. 24
 朝日夕刊 11. 19 (三)
 女流画家協会展50回 5. 22—30
 東京都美術館
 美術の窓 158 高山淳
 女流陶芸展30回 12. 1—8 京都市
 美術館
 陶説 527 藤慶之
 毎日夕刊 12. 4 田原由紀雄
 白井美穂展 3. 28—28 GALLE-
 RY 360°
 美術手帖 726 暮沢剛巳
 白尾勇次展 6. 28—7. 14 石川県
 七尾美術館
 新美術新聞 770
 白川義員写真展『南極大陸』 2. 2—
 14 三越美術館(新宿)
 新美術新聞 756
 知られざるインド更紗展 8. 14—

9. 1 小田急美術館
 新美術新聞 774
 知られざる名画展 9. 10—23 三
 越(日本橋)
 アートトップ 155
 シルクロード大美術展—ロマンと千
 年の美を訪ねて— 4. 20—7. 7
 東京都美術館
 美術手帖 727
 読売 1. 1 芥川喜好、臺信祐爾
 新槐樹社展40回 3. 14—24 東京
 都美術館
 新美術新聞 760 早川義孝イン
 タビュー
 美術の窓 156 高山淳
 新槐樹社秋季展13回 9. 12—17
 カトレヤサロン
 美術の窓 161
 新協展39回 10. 5—14 東京都美
 術館
 美術の窓 162
 新芸術選抜展 2. 19—24 文藝春
 秋画廊
 美術の窓 156 編集部
 新芸術展21回 11. 25—12. 1 東
 京都美術館
 美術の窓 164 高山淳
 新興展46回 5. 22—30 東京都美
 術館
 美術の窓 159 高山淳
 新構造展68回 6. 12—22 東京都
 美術館
 アートマインド 88 水上杏平
 美術の窓 159 高山淳
 新作家展三回 3. 5—10 東京セン
 トラルアネックス
 美術の窓 156 高山淳
 新春三題展 12. 20—1. 15 ギャ
 ラリーホシヤ
 毎日 12. 25 本橋由紀
 新春の日本画展 1. 4—28 山種美
 術館
 朝日夕刊 1. 11 塩谷純
 新象展 6. 1—10 東京都美術館
 美術の窓 159 高山淳
 新世紀展41回 5. 9—19 東京都美
 術館
 美術の窓 158 高山淳
 身体と表現 1920—1980展 ホンビ

ドゥーセンター所蔵作品から 3.
 5—5. 19 東京国立近代美術館
 現代の眼 495
 現代の眼 496 千葉成夫
 現代の眼 497 市川政憲
 現代の眼 497 広本伸幸
 現代の眼 497 水沢勉
 新美術新聞 760 (賀)
 美術の窓 154
 視る 348 尾崎信一郎
 朝日 4. 4 清水良典
 朝日夕刊 3. 21 千葉成夫
 朝日夕刊 4. 4 田中三蔵
 産経 4. 28 (M)
 産経 5. 16 斎藤道子
 東京夕刊 3. 15 山梨俊夫
 新匠工芸会公募展51回 12. 7—12
 東京都美術館
 美術の窓 164 高山淳
 晨鳥社展49回 5. 30—6. 4 大丸
 ミュージアム(京都)
 美術の窓 159 高山淳
 新日美展20回 12. 13—19 東京都
 美術館
 美術の窓 164 高山淳
 新美術協会展43回 6. 1—10 東京
 都美術館
 美術の窓 159 高山淳

(ス)

水墨画展17回 7. 4—8 練馬区立
 美術館
 美術の窓 160 編集部
 菅木志雄展 11. 11—30 東京画廊
 美術手帖 737 森司
 毎日夕刊 11. 25 三田晴夫
 菅野陽回顧展 9. 14—10. 20 平
 塚市美術館
 新美術新聞 777
 菅原健彦展 12. 10—21 芳山堂
 新美術新聞 784
 菅原敏夫展 11. 4—14 美術
 ジャーナル画廊
 ギャラリー(月刊) 138 中野中
 杉戸洋展 7. 23—8. 11 小山登美
 夫ギャラリー
 美術手帖 732 森司
 杉村勇油彩展 7. 3—10 伊勢丹
 (静岡)
 新美術新聞 770

杉本博司展 9. 14-12. 15 HA-
RA MUSEUM ARC
産経 12. 8 奥田裕
杉本洋展 9. 22-10. 5 松島畫舫
ギャラリー(月刊) 139 中野中
杉山寧展 5. 9-21 高島屋(日本
橋)
新美術新聞 761
日経 3. 23 尾崎正明
日経 3. 24 奥田元宗
日経 5. 13 宝玉正彦
鈴木五郎カップ展 3. 14-20 伊
勢丹(新宿)
陶説 518 福田旻
鈴木仁四郎写真展「古しき仏像と
仏画展」7. 9-14 三鷹市美術
ギャラリー
東京 6. 24
鈴木星城展 9. 16-22 アート・
スペース香
美術の窓 161 高山淳
鈴木貴博展 5. 14-27 ギャラ
リー-NWハウス
毎日夕刊 5. 21 三田晴夫
鈴木政夫石彫展 6. 4-16 ゆーじ
ん画廊
新美術新聞 767
鈴木マサハル油絵展 12. 17-23
東急(本店)
新美術新聞 785
鈴木康雄展 3. 27-4. 5 XEPI-
A(新橋)
毎日 3. 30
須田悦弘展 4. 1-6 ギャラリー
K
美術手帖 727 森司
検証・須田国太郎の[筆石村]展 2.
20-3. 17 静岡県立美術館
アマリス 40 下山肇
須田国太郎展 11. 5-30 白銅鞮
画廊
新美術新聞 782
朝日夕刊 11. 19 (三)
須田剌太の手紙展 2. 21-3. 3
大崎ウエストギャラリー
墨 120 新井狼子
須田剌太展 4. 13-5. 6 思文閣
美術館
新美術新聞 762
スタジオジブリ原画展 8. 31-9.

16 三越美術館(新宿)
美術手帖 731 野崎透
スタジオ食堂「STARTS」展 10.
27-27 スタジオ食堂(立川)
美術手帖 735 竹内美季
洲之内徹と出会った画家達展
3. 18-30 ギャラリー銀座汲美
新美術新聞 761
ユージン・スミスの見た日本展
11. 3-12. 23 東京都写真美術
館
新美術新聞 783 (賀)
東京都写真美術館ニュース 11
産経 11. 28 斎藤道子
読売夕刊 11. 7
墨無限展1回 9. 6-11 三越(日
本橋)
新美術新聞 775
諏訪直樹作品展 5 9. 9-21 コバ
ヤシ画廊
東京夕刊 9. 20 北澤憲昭
毎日夕刊 9. 12 三田晴夫

(セ)

「世紀末日本広告大展覧会」展 1. 2
-8 そごう(横浜)
朝日 1. 3
世紀末ヨーロッパ 象徴派展 12.
14-2. 9 Bunkamura ザ・
ミュージアム
東京 1. 4
東京 12. 12 木島俊介、宮澤政
男
東京 12. 27 橋秀文
政経文化画人展 8. 22-27 高島
屋(日本橋)
アートトップ 155
新美術新聞 776 油井一人
制作者集団「極」展 関西の1950年代
-もうひとつの〈前衛〉 10. 19-
12. 23 兵庫県立近代美術館
ピロティ 101 平井章一
世界の絵本展 4. 13-5. 8 フジ
タヴァンテ
朝日 4. 9
世界のポスター100選展 PART 2
2. 14-3. 31 鹿児島市立美術館
鹿児島市立美術館だより 40 谷
口雄三
世界・焔の博覧会 文明とやきもの

展 7. 19-10. 13 佐賀県立九
州陶磁文化館
佐賀県立博物館・美術館報 112
宇治章
セラミック九州 32 大橋康二、
永渕友子、藤井伸幸、鈴木由紀
夫、宮原香苗
セラミック九州 33 藤井伸幸、
大橋康二、永渕友子、鈴木由紀
夫、宮原香苗
陶説 520 大橋康二
目の眼 239 鈴木由紀夫
朝日夕刊 9. 19 井上隆生
日経 8. 24 山口雅司、渡辺信
雄写真
日経 8. 31
関口雄揮展 11. 1-1. 31 成川美
術館(箱根)
新美術新聞 781
関根勢之助展 京都の美術 昨日・
きょう・明日19 5. 25-6. 23
京都市美術館
京都市美術館ニュース 173 関
根勢之助、廣田文責
セザール展「モナコを讀めて」-木製
パネルの上の水差しのコンプレッ
ション 5. 20-8. 10 ギャラ
リーGAN
アトリエインターナショナル
828
産経 7. 14 (M)
絶展20回 10. 29-11. 3 東京セ
ントラルアネックス
美術の窓 163 高山淳
「芹沢銈介の身辺一家具」展 2. 9-
5. 26 静岡市立芹沢銈介美術館
朝日夕刊 5. 9
芹沢木黙展'96 10. 21-26 ギャ
ラリーGK
毎日夕刊 10. 19
前衛作家の10年-その自己変容と持
続展 6. 5-30 板橋区立美術館
日経 6. 21 宝玉正彦
1953年ライトアップ展-新しい戦後
美術像が見えてきた 6. 8-7.
21 目黒区美術館
新美術新聞 767 建昌哲
新美術新聞 771 池田龍雄
新美術新聞 774 北澤憲昭
美術手帖 732 高島直之

朝日夕刊 6, 6
産経 7, 7 (M)
東京夕刊 6, 14 山梨俊夫
日経 6, 20 宝玉正彦
毎日夕刊 3, 1
毎日夕刊 7, 8 三田晴夫
読売夕刊 7, 10 菅原教夫

1970年代の美術展 4, 2-6, 9 兵
庫県立近代美術館
ピロティ 99 平井章一

全国精選現代水墨画展 10, 5-14
東京都美術館
美術の窓 162 高山淳

全国盲学校生の造型作品展 9, 22
-12, 26 ギャラリーTOM
朝日 9, 4

千住博展 Waterfalls&Glasses
1, 1-3, 10 彫刻の森美術館
産経 1, 13 斎藤道子
産経 2, 4 釘持邦弘

千住博展 JAPAN TOUR 1996
12, 3-9 東急(本店)
美術(月刊)(サンアート) 255
伊東順二

染織テキスタイル研究室展 10, 24
-29 京都芸術短期大学ギャラ
リー楽
瓜生: 京都芸術短期大学紀要 18
小名木陽一

モーリス・センダック原画展 1,
21-11, 2 丸善
学燈 93-10 吉田新一

全展34回 8, 20-30 東京都美術
館
美術の窓 160 高山淳

全日本アートサロン絵画大賞展 2,
8-11 朝日生命ギャラリー
産経 1, 20 池田満寿夫、峯村
敏明、元永定正、岸ユキ、辻司、
本山唯雄

線の芸展 錦木清方・欄間絵を中心
に 1, 1-3, 3 目黒雅叙園美術
館
新美術新聞 756

(ソ)

マーゴ・ソイヤー展 12, 10-21
ギャラリーギャラリー(京都)
美術手帖 738 平芳幸浩

マーゴ・ソイヤー展 エリジウムの

野 11, 22-12, 15 佐賀町エキ
ジビットスペース
読売(都民版) 11, 22

蒼騎展36回 10, 5-14 東京都美
術館
美術の窓 162 高山淳

創型展45回 5, 9-19 東京都美術
館
美術の窓 158 高山淳

双樹展26回 8, 21-30 東京都美
術館
美術の窓 160 高山淳

蒼樹展 3, 14-24 東京都美術館
美術の窓 156 高山淳

早春の日本画展四人展 3, 21-30
豊生画廊
芸術公論 72

爽人展26回 5, 18-24 東京ロイ
ヤル美術館
アートマインド 87 佃堅輔

創造展49回 6, 1-10 東京都美術
館
美術の窓 159 高山淳

走泥社展 10, 1-6 京都市美術館
陶説 525 藤慶之

創展30回記念 10, 4-14 東京都
美術館
美術の窓 162 高山淳

素材とのかたち 触覚との対話展
ファミリー美術館'96 8, 4-9,
3 茨城県近代美術館
毎日夕刊 8, 12 三田晴夫

曾根裕展 10, 30-11, 11 BUN-
KAMURA GALLERY
デザインの現場 84 西原環

曾宮一念展 4, 3-6, 30 大川美
術館
新美術新聞 763

空の会13回 11, 28-12, 7 松島
畫舫
アートトップ 157 (小針)

ビエリック・ソラン-「なざけない
ほど、ドジで孤独なアーティスト」展 12, 5-28 資生堂ギャラ
リー
新美術新聞 784

(タ)

第一美術展67回 5, 21-30 東京
都美術館

美術の窓 158 高山淳

大英博物館所蔵イタリア素描展-ル
ネサンスからバロックへ 2, 6-
4, 7 国立西洋美術館
新美術新聞 756
AAC 16 (H.K.)
美術手帖 726 末吉雄二
朝日夕刊 2, 29 越川倫明
朝日夕刊 3, 22
東京 1, 4
東京夕刊 2, 6 高階秀爾
東京夕刊 2, 8 若桑みどり
東京夕刊 2, 9 越川倫明
東京夕刊 2, 14 栗田秀法
東京夕刊 2, 19 石鍋真澄
東京夕刊 3, 21 越川倫明

第三文明展28回 8, 21-30 東京
都美術館
美術の窓 160 高山淳

大正ロマンのグラフィック・デザイ
ン展 7, 1-9, 29 竹久夢二美
術館
読売 8, 13

大潮展60回 12, 14-27 東京都美
術館
美術の窓 164 高山淳

大調和展35回 3, 14-24 東京都
美術館
美術の窓 156 高山淳

太平洋展92回 5, 21-30 東京都
美術館
美術の窓 159 高山淳

ジム・ダイン展-身体の比喩 9,
14-10, 13 宮城県美術館
朝日夕刊 9, 26 田中三蔵

高内秀剛作陶展 5, 21-27 三越
(日本橋)
陶説 521 福田奨

高沢七郎回顧展 6, 13-18 朝日
生命ギャラリー
新美術新聞 768

画家・高田力蔵と文豪・川端康成展
4, 20-28 北とぴあ展示ホール
産経 4, 24
毎日 4, 20
読売(都民版) 4, 18

高梨豊展 <方法論>の彼方へ 1,
16-2, 9 ガーディアン・ガーデ
ン

平成8年美術展覧会(タ)

読売夕刊 2, 5 (前)
 高野澄子展 11, 29—12, 4 和歌山近鉄美術画廊
 アートトップ 155
 鷹野隆大展 3, 9—30 イル・テンボ
 美術手帖 726 暮沢剛巳
 高野譲油彩自選展 12, 31—1, 6
 長銀アトリウムギャラリー
 新美術新聞 785
 高橋貞雄江戸手描き友禅展 2, 22—27 ギャラリー新宿高野
 毎日 3, 22 高橋貞雄、高橋峯子、高橋豊インタビュー
 毎日夕刊 2, 21
 読売(都民版) 2, 22
 高橋久雄展 5, 28—6, 2 三越(日本橋)
 朝日夕刊 5, 28
 高橋秀年展 10, 22—11, 1 村越画廊
 新美術新聞 780
 美術(月刊)(サンアート) 254
 編集部
 美術の窓 162 (淳)
 高橋政男作陶展 3, 13—19 高島屋(横浜)
 陶説 518 福田旻
 高橋靖史展 7, 2—21 VA nis-hiogi
 美術手帖 732 松井みどり
 毎日夕刊 7, 11 石川健次
 高島華宵展 1, 4—3, 28 弥生美術館
 朝日夕刊 2, 22 中村圭子
 読売(都民版) 1, 23
 高松次郎の現在展 4, 9—5, 19 三鷹市美術ギャラリー
 新美術新聞 759
 美術(月刊)(サンアート) 247
 高松次郎談
 朝日夕刊 3, 6 (三)
 毎日夕刊 3, 19 三田晴夫
 高光一也展—没後十年— 9, 28—10, 27 石川県立美術館
 石川県立美術館だより 155, 156
 石川県立美術館だより 158 西田孝司
 智恵子抄展—光太郎に捧げた愛の紙絵 8, 2—9, 2 佐野美術館(三島)

隆泉 4 遠山元浩
 高山辰雄展 バリ展帰国記念〜「生」との対話を描く 2, 27—3, 10
 三越(日本橋)
 美術(月刊)(サンアート) 246
 編集部
 朝日 2, 27 高山辰雄、津田尚二聞き手
 産経 3, 3 (H)
 日経 2, 4 (玉)
 日経 2, 27 高山辰雄、津田尚二聞き手
 毎日夕刊 3, 5 三田晴夫
 滝口和男の陶筥展 4, 4—16 ミキモトホール
 陶説 519 福田旻
 瀧口喜兵衛展 6, 18—22 壺中居
 陶説 521 福田旻
 瀧口修造文庫ポスター・コレクション展 10, 23—11, 20 多摩美術大学附属美術館
 新美術新聞 780
 瀧田項一作陶展 2, 14—20 高島屋(日本橋)
 新美術新聞 757
 陶説 517 福田旻
 「託されたイメージ 動物意匠 西から東へ」展 7, 20—9, 16 古代オリメント博物館
 読売夕刊 9, 9 (矢)
 田口雅巳展 1, 16—2, 3 東邦画廊
 新美術新聞 755
 産経 1, 21
 田窪恭治—サン・ヴィゴール・ド・ミュー礼拝堂プロジェクト展 11, 18—12, 13 フジテレビギャラリー
 産経 12, 1 (S)
 竹内優子展 1, 23—2, 4 VOICE GALLERY(京都)
 美術手帖 722 喜多村明里
 竹田一夫展 11, 12—24 ギャラリームサン
 新美術新聞 782
 武田成功展 9, 11—18 和光ホール
 チャイム銀座(月刊) 181
 武田好文展 溢れる诗情—原風景の表出 10, 10—15 山梨県立美術館

美術の窓 153
 武田律子展 8, 1—28 INAXギャラリー
 産経 8, 25 松村寿雄
 竹中浩一文房具展 10, 15—19 壺中居
 陶説 525 福田旻
 竹之内直記展 トロイの木馬 9, 24—11, 24 大谷資料館地下採掘場跡
 東京夕刊 11, 14
 竹の用と美展—くらし・信仰・遊び— 9, 14—11, 17 山形県立博物館
 山形県立博物館ニュース 129
 田嶋悦子展 10, 18—30 ギャラリー器館(京都)
 陶説 525 藤慶之
 館野弘展 6, 24—7, 13 始弘画廊
 新美術新聞 769
 橘大成 3, 5—10 ギャラリーすずき(京都)
 美術手帖 726 山本淳夫
 立松脩展 1, 18—24 丸善(名古屋栄店)
 芸術公論 71
 初代龍村平藏展 織の世界 9, 12—24 高島屋(日本橋)
 新美術新聞 776
 朝日夕刊 9, 10 丸山伸彦
 建皇覚造展 4, 1—20 ギャラリー山口
 新美術新聞 762
 朝日夕刊 4, 18 田中三蔵
 毎日夕刊 4, 8 三田晴夫
 建皇覚造展 11, 11—12, 14 NO RIE GALLERY
 産経 11, 24
 建皇朝弥彫刻展 12, 2—21 東邦画廊
 産経 12, 15 奥田裕
 田中清隆白寿記念展 4, 16—21 三越(日本橋)
 新美術新聞 763
 田中岑展 3, 21—4, 6 ギャラリーフォレスト
 新美術新聞 760
 タナカレイコ展 9, 9—21 ギャラリー山口
 美術手帖 733 森司

田中路人展 12. 15-1. 18 東海
ステーションギャラリー
新美術新聞 784
美術の窓 162 高山淳
田辺三重松展 7. 19-8. 11 そご
う美術館(横浜)
新美術新聞 771 (賀)
東京 1. 4
東京 12. 10 富田章
東京 12. 11 多嶋田淳子
東京 12. 12 佐藤明子
東京 12. 14 武藤完
東京夕刊 7. 18 大熊敏之
谷内こうた絵本の世界展 8. 24-
9. 29 世田谷文学館
産経 9. 3
谷川晃一展 1000点のデッサン 3.
25-4. 13 ギャラリー池田美術
新美術新聞 763 谷川晃一
読売 7. 28 芥川喜好
谷川泰宏展 1. 31-2. 17 新生堂
(南青山)
美術(月刊)(サンアート) 245 編
集部
谷口蒔山展 5. 25-7. 7 高岡市
美術館
新美術新聞 767
谷中安規の版画世界展 5. 16-6.
9 そごう美術館(横浜)
新美術新聞 766
東京夕刊 6. 7 北澤憲昭
田沼武能写真展 山口瞳回顧 8.
31-9. 16 ギャラリーエソラ
朝日 9. 5
アントニ・タビエス展 9. 21-11.
4 群馬県立近代美術館
群馬の森美術館ニュース 86
(谷内)
新美術新聞 766
朝日夕刊 8. 29 田中三蔵
産経 10. 13 渋谷和彦
田淵俊夫展 9. 26-10. 8 松坂屋
(銀座)
新美術新聞 776 川口直宜
美術(月刊)(サンアート) 252
(K)
美術手帖 732
朝日夕刊 9. 25 武田厚
田淵俊夫展 10. 10-12. 23 大三
島美術館

アートトップ 155
美術(月刊)(サンアート) 253 編
集部
田淵安一展 宇宙庭園 5. 12-6.
16 神奈川県立近代美術館
ギャラリー(月刊) 133
産経 6. 9
読売夕刊 5. 31 (菅)
田淵安一展 5. 17-6. 21 フジテ
レビギャラリー
ギャラリー(月刊) 133
新美術新聞 766
産経 6. 9
毎日夕刊 6. 13 三田晴夫
読売夕刊 5. 31 (菅)
多摩美術大学立体デザイン科卒業制
作展 2. 23-26 ガレリア
朝日 2. 24
産経 2. 2 岩間敦子
田村孝之介展 12. 7-2. 2 芦屋
市立美術館
新美術新聞 785
美術(月刊)(サンアート) 255 河
崎晃一
田村了一陶芸展 4. 10-16 高島
屋(日本橋)
陶説 520 福田晏
太郎千恵蔵展 4. 9-5. 12 小山
登美夫ギャラリー
美術手帖 727 暮沢剛巳
丹阿弥丹波子展 10. 21-11. 1
ギャラリー上田
新美術新聞 780
デビッド・ダグラス・タンカン展
5. 27-6. 22 東京工芸大学ギャ
ラリー
朝日 5. 30
丹治嘉彦展 1. 29-2. 10 秋山画
廊
美術手帖 722 平野到

(チ)

池依依チャリティー絵画展 11. 13
-17 新宿区区民ギャラリー
朝日 11. 7
蔡恩美展 7. 9-8. 23 ギャラ
リー17(浜松町)
朝日 7. 9
マリオ・チェロリ展 夢見る力 6.
29-7. 28 北海道立旭川美術館

日経 7. 10
近岡善次郎展 3. 1-24 致道博物
館
新美術新聞 759
竹芸展 池田瓢阿と竹楽会 6. 25
-7. 1 三越(日本橋)
新美術新聞 769
ジョージ・チネリーと知られざる19
世紀広東・マカオ・香港の美術展
12. 7-2. 11 東京都庭園美術館
芸術新潮 564 岡部昌幸
新美術新聞 785
美術の窓 162
朝日夕刊 12. 5 高波真知子
東京夕刊 12. 27 山梨俊夫
千野茂彫刻展 10. 14-26 フジカ
ワ画廊
新美術新聞 779 (建)
産経夕刊 10. 18 松村寿雄
「チバ・アート・ナウ'96 人工楽
園」展 10. 30-11. 17 佐倉市
立美術館
美術手帖 735 暮沢剛巳
中欧と日本一現代美術展 2. 26-
3. 1 BEAMギャラリー
新美術新聞 758
抽象表現主義展 6. 6-7. 14 セ
ゾン美術館
SMA 147
新美術新聞 767
朝日夕刊 6. 13 是枝開
産経 6. 23 (M)
東京 1. 4
東京夕刊 6. 5 是枝開
東京夕刊 6. 10 山本容子
東京夕刊 6. 11 宇佐美圭司
東京夕刊 6. 12 藤枝晃雄
東京夕刊 6. 17 安部譲二
東京夕刊 6. 18 川田都樹子
東京夕刊 6. 21 大岡信
読売夕刊 6. 13 (菅)
中美展48回 6. 12-22 東京都美
術館
美術の窓 159 高山淳
注目の多い版画展2回 2. 16-3.
15 コミックボックスギャラリー
(阿佐ヶ谷)、ティールームオデオ
ン
毎日夕刊 2. 10

平成8年美術展覧会(チ〜テ)

趙昌源展 10. 1—11. 17 高松宮
記念ハンセン病資料館
朝日 10. 24 田辺功
超アジア建築展—ルーツ 1. 20—
3. 12 フジタヴァンテ
毎日夕刊 2. 22 加藤義夫
帖佐美行展 6. 4—10 三越(日本
橋)
新美術新聞 767
ちょうちん大百科展—伝統の技と美
— 9. 27—11. 10 岐阜市歴史
博物館

(ツ)

塚本司郎作陶展 8. 20—25 三越
(新宿)
陶説 523 福田旻
塚本満作陶展 6. 20—26 丸栄ス
カイル(名古屋)
陶説 521 井上隆生
月形那比古の世界展 5. 21—27
三越(池袋)
新美術新聞 766
柘植猛志展 3. 25—4. 6 ギャラ
リーせいほう
新美術新聞 761
産経 3. 31
辻厚成「花いっぱい、紅いっぱい」
展 11. 6—12. 25 ゴトゥ花店
ギャラリー(月刊) 139 後藤
尚右
辻村史朗展 10. 3—9 丸栄スカ
イル(名古屋)
陶説 525 井上隆生
津田裕子彫刻展 10. 21—11. 9
ギャラリーユニバース
新美術新聞 781
美術(月刊)(サンアート) 254 遠
山公一
津田佳紀展 9. 28—11. 24 東京
都写真美術館
美術手帖 734 北小路隆志
津高和一「追悼」展—絵画と詩のはざ
まで 1. 17—3. 3 西宮市大谷
記念美術館
西宮市大谷記念美術館NEWS
12
日本美術工芸 690 (伸)
産経 2. 18 (早)

日経 1. 7 大岡信
土屋公雄展—虚構と記憶 2. 10—
5. 19 原美術館
Hara Museum REVIEW 33
青野和子
産経 5. 12 (M)
東京夕刊 3. 1 山梨俊夫
毎日夕刊 2. 19 三田晴夫
読売夕刊 3. 8 (菅)
土屋公雄展 6. 15—7. 15 NOB
ギャラリー
美術手帖 731 廣江泰孝
土屋礼一展 11. 1—12. 1 大垣市
サイトピアセンター・アートギャ
ラリー
新美術新聞 781
筒井廣明作陶展 10. 17—22 高島
屋(日本橋)
陶説 526 福田旻
續寿代展 1. 12—15 練馬区立美
術館
朝日 1. 12
堤展子展 5. 14—19 ギャラリー
マロニエ(京都)
陶説 520 藤慶之
椿一朗展「芸術作品興行 はかな
き日本の美しさ」6. 17—23 護
国院
東京 6. 17
椿貞雄展 生誕一〇〇年記念 7.
27—8. 25 平塚市美術館
新美術新聞 772
日経 8. 13 宝玉正彦
椿原章代展 10. 26—11. 3 アー
トスペースギャラリー(西春日井
郡)
美術手帖 735 坪内浩文
鶴岡義雄の世界展 10. 19—11. 17
茨城県つくば美術館
新美術新聞 780
美術の窓 161 一井建二
弦田英太郎洋画展 7. 10—16 阪
急(大阪)
新美術新聞 771

(テ)

ニール・ディナーリ展 9. 11—
10. 26 GALLERY・MA
美術手帖 733 北小路隆志

テキスタイルの冒険展 現代オラン
ダの4人のアーティスト 9. 3—
29 京都国立近代美術館
視る 350 加藤類子
視る 351 小林尚美
デザインの揺籃時代展 1. 14—3.
24 松戸市立博物館
新美術新聞 755
朝日夕刊 3. 19 (三)
東京夕刊 3. 22 北澤憲昭
毎日夕刊 1. 8
読売夕刊 2. 10 高島直之
ギィ・デサップ展 8. 30—9. 17
ギャルリードゥフランコニー
美術(月刊)(サンアート) 252
編集部
手の復権—道具と美術展 11. 2—
12. 23 神奈川県立近代美術館
美術手帖 737 藤幡正樹
朝日夕刊 12. 12 田中三蔵
東京夕刊 12. 20 北澤憲昭
毎日夕刊 12. 5
出原司展 6. 17—29 番画廊(大
阪)
美術手帖 731 喜多村明里
ニコラ・デ・マリア展 6. 7—9. 4
ヨコハマポートサイドギャラリー
美術手帖 731 編集部
東京夕刊 7. 5 山梨俊夫
テムズ川の歴史美術展 6. 3—12
学習院創立百周年記念会館
産経 6. 2
ルイズ・デモア絵画展 9. 5—11
東急(たまプラーザ)
新美術新聞 775
DUNES—砂丘展 7. 3—9. 23
植田正治写真美術館
新美術新聞 773 (美)
寺井重三展 2. 6—12 三越(日本
橋)
新美術新聞 756
美術(月刊)(サンアート) 245
編集部
美術の窓 153 高山淳
寺川剛央展 4. 9—14 ギャラリー
マロニエ(京都)
陶説 519 藤慶之
寺島穰展 10. 3—11. 3 青梅市立
美術館
美術の窓 163 (淳)

寺島徹展 7. 29—8. 3 なびす画廊
美術手帖 732 北小路隆志
寺島裕二陶展 3. 5—16 橋本美術(名古屋)
陶説 518 井上隆生
寺島裕二陶展 12. 1—6 ギャラリー茜(名古屋)
陶説 527 井上隆生
ポール・デルポー展 10. 9—27
大丸ミュージアム(大阪)
新美術新聞 779
天と地の間に 今日の日美術展 2
6. 15—8. 25 名古屋市美術館
日経 7. 2 宝玉正彦
毎日夕刊 7. 29 三田晴夫
読売夕刊 7. 23 (菅)

(ト)

ロペール・ドアノー展 7. 30—6.
23 伊勢丹美術館
朝日夕刊 6. 6 村田真
土井俊泰油絵展 3. 20—26 松屋(銀座)
新美術新聞 761
ドイツ・ウルム美術館所蔵作品展—
紙と表現 10. 26—12. 1 徳島
県立近代美術館
徳島県立近代美術館ニュース 19
友井伸一
陶会議 6 第4回展 6. 5—16 三
重県総合文化センター
陶説 521 井上隆生
等辺展29回 12. 5—12 東京都美
術館
美術の窓 164 高山淳
「東京おもひでアルバム」展 5. 21
—7. 14 目黒雅叙園美術館
朝日夕刊 6. 27
産経 5. 21
東京絵画祭り展 5. 18—19 東京
美術倶楽部
新美術新聞 765
東京—ケベック現代美術交流展 2.
26—3. 1 乃木坂アートホール
新美術新聞 758
東京テキスタイル・デザイン展 5.
28—6. 7 東京ファッションタウ
ン
東京 6. 4 稲葉千寿

TOKYO POP—新しい美術のイ
メージ展 4. 27—5. 26 平塚市
美術館
Lady's Slipper 6 光田由里
美術手帖 729 西村智弘
朝日夕刊 5. 16 大西若人
東京夕刊 5. 24 北澤憲昭
道家珍彦展—「瀟美をかく」Part 3
— 2. 22—27 紀伊国屋画廊
新美術新聞 757
美術の窓 153 (編集部)
東光展62回 4. 23—5. 7 東京都
美術館
美術の窓 158 高山淳
東光会選抜会員展3回 6. 4—30
東京セントラルアネックス
美術の窓 159 高山淳
どうして像はつくられたの?—こど
ものための美術展 7. 2—9. 1
東京国立博物館
国立博物館ニュース 589 寺島
洋子
国立博物館ニュース 590、591
寺島洋子、佐藤厚子
日経 8. 18
道正太郎の「写真記憶帳」展 7. 2—
7 兜屋画廊
新美術新聞 770
東方展30回記念 3. 14—24 東京
都美術館
美術の窓 156 高山淳
堂本右美展 6. 7—7. 6 ギャル
リームカイ
美術手帖 729 森司
産経 6. 16 (M)
毎日夕刊 7. 2 三田晴夫
遠野未来展 1. 16—27 アート
フォーラム谷中
美術手帖 722 西村智弘
旋回する表象—鯨津朝子展 10. 22
—12. 22 斎藤記念川口現代美術
館
美術手帖 738 北小路隆志
徳岡神泉展 生誕100年記念 6. 12
—30 小田急美術館
新美術新聞 763 (西)
視る 346 橋本喜三
視る 347 山岸純
読売夕刊 6. 11
茶陶唐津 徳澤守俊展 10. 9—15

平成8年美術展覧会(テ、ト)

高島屋(日本橋)
陶説 526 福田旻
徳田八十吉耀彩展 9. 25—10. 1
高島屋(大阪)
新美術新聞 777
徳永操墨彩画展 8. 27—9. 1 銀
座書廊
新美術新聞 774
常滑現代陶芸展 7. 20—9. 5 愛
知県陶磁資料館
陶説 522 井上隆生
としま銭湯博覧会 3. 7—10 豊島
区民センター
朝日 3. 8
戸田守宣展 5. 17—30 ギャラ
リー掌(名古屋)
陶説 520 井上隆生
とっておきの扇子展 8. 17—9. 10
リビングデザインセンター
OZONE
毎日夕刊 8. 17
TOZU彫刻展1996(戸津侃) 5. 1—
31 那須オルゴール美術館ギャラ
リー—NOM
新美術新聞 766
ドナウの夢と追憶展—ハンガリーの
建築と応用美術1896—1916 1. 5
—2. 12 東京国立近代美術館
現代の眼 494 河本信治
現代の眼 494 田代直也
現代の眼 494 前田正明
現代の眼 494 竹内次男
美術手帖 722 藤森照信
朝日夕刊 1. 18 河本信治
土橋晃展 9. 17—22 ギャラリー—
すずき(京都)
美術手帖 734 小林昌廣
ロラン・トポール展 9. 17—10.
19 アートギャラリー—環
ギャラリー(月刊) 137 川妻さ
ち子
「トボスの復権」展 2 10. 15—11.
3 アサクラ・ギャラリー&ヒル
サイド
美術手帖 734 飯島洋一
東松照明写真展—インターフェイス
10. 1—11. 30 東京国立近代美
術館フィルムセンター
現代の眼 500 倉石信乃
現代の眼 500 福島辰夫

平成8年美術展覧会(ト、ナ)

現代の眼 501 東松照明、増田玲
朝日夕刊 10. 31 大西若人
産経 10. 13 奥田裕
富岡惣一郎展—「白の世界」の軌跡
5. 27—6. 1 和光ホール
チャイム銀座(月刊) 179
富岡鉄斎展 2. 22— 3. 31 大和文華館
新美術新聞 759
美のたより 114 藤田伸也
富岡鉄斎展 理想郷を語る 9. 27—11. 10 愛知県美術館
AAC 17 (B. K.)
日経 10. 2 竹田博志
富田溪仙展 没後60年記念 11. 3—12. 1 京都市美術館
京都市美術館ニュース 173 塩川京子
富永直樹の世界展 4. 9—14 三越(日本橋)
アートトップ 153 (波)
富本憲吉書簡展 5. 19—7. 31 富本憲吉記念館
新美術新聞 768
頓宮隆輔展 6. 19—25 ギャラリー飯田
読売(都民版) 6. 15
友添泰典展 1. 13—21 日動画廊
絵 385 瀧梯三
戸屋勝利油絵展 4. 16—22 そごう(横浜)
美術(月刊)(サンアート) 247 水上睦男
戸谷成雄展 3. 8—4. 6 佐谷画廊
朝日夕刊 3. 29
毎日夕刊 4. 1 三田晴夫
毎日夕刊 5. 7 三田晴夫
読売夕刊 3. 26 (菅)
富山芳男展 9. 1—11. 4 黒部市美術館
美術の窓 159 編集部
富山国際現代美術展 6回 7. 17—9. 20 富山県立近代美術館
美術手帖 733 西村智弘
朝日夕刊 8. 8 田中三蔵
豊場惺也作陶展 10. 17—22 丸栄スカイル(名古屋)
陶説 525 井上隆生

豊橋市美術館所蔵品展 3. 16—4. 14 飯田市美術館
飯田市美術館ニュース 32
寅若繁展 10. 11—24 松任市立博物館
新美術新聞 779
「Tranquility—静謐 時間・空間・光をあやつる五人の現代芸術家」展 1. 4—2. 25 千葉市美術館
美術手帖 722 小倉正史
朝日夕刊 1. 17 (三)
東京夕刊 1. 12 北澤憲昭
日経 2. 12 宝玉正彦
読売夕刊 1. 27
鳥越奈美路展 1996年新人選抜展
1. 22—27 銀座スルガ台画廊
毎日夕刊 1. 20
トルコの染織・キリム展 遊牧民の祈りとメッセージ 12. 20—2. 11 下関市立美術館
潮流 49 (I)
ルーベン・トレド展 〜ドローイング・アート・ラボラトリー 8. 9—9. 10 パルコギャラリー
デザインの現場 84 ルーベン・トレド、伊島薫
「ドローイングの愉しみ」展 1. 13—2. 7 東京都現代美術館
美術手帖 722
(ナ)
内藤五琅展 7. 4—17 アートサロン—游
美術(月刊)(サンアート) 250 水上睦男
トーマス永井の不思議世界展 10. 24—11. 27 第一生命南ギャラリー
朝日夕刊 11. 19(三)
長江重和クレイワーク展 10. 22—11. 3 ラヴコレクションギャラリー(名古屋)
陶説 526 井上隆生
長岡一豊展 12. 9—14 風童門
美術の窓 164 (淳)
「中川一政・書の世界—墨跡コレクションとともに」展 5. 11—7. 7 真鶴町立中川一政美術館
日経 5. 18

中沢研展 5. 21—6. 15 ギャラリー—α M
毎日夕刊 6. 3 三田晴夫
中島伊代子浅舞紋正藍染展 6. 21—7. 2 工芸サロン万が屋
アートマインド 88
中島千波展 4. 16—21 三越(日本橋)
新美術新聞 763 足立朗
日経 4. 19 宝玉正彦
長島博山宗教美術画展 8. 21—27 阪急(大阪)
新美術新聞 774
中島康正展 6. 24—29 飯田画廊
美術(月刊)(サンアート) 250 村木明
中島由夫展1964—96 1. 9—15 三越(横浜)
新美術新聞 754
長島美勝展 7. 22—27 川上画廊
新美術新聞 772
美術の窓 159 編集部
仲田好江回顧展 2. 9—16 大田区民プラザ
毎日 2. 9
長塚秀人展 2. 26— 3. 2 ルナミ画廊
美術手帖 724 暮沢剛巳
中津川浩章展 4. 28—5. 11 ギャルリー—2001
美術手帖 729 山本淳夫
中津川ヒロ子展 4. 4—9 ステージ21ギャラリー
毎日夕刊 3. 30
中西一女子パッチワーク・キルト展 6. 24—29 和光ホール
チャイム銀座(月刊) 180
長橋秀樹展 9. 16—10. 5 スカイドア・アートプレイス青山
美術手帖 734 松井みどり
中畑岬人展 5. 8—20 ブラザエクス梅田ギャラリー
アートトップ 154
中島一宇展 7. 15—19 島根県立博物館
新美術新聞 771
ナガハラタミオ展 7. 30—8. 8 ラヴコレクションギャラリー(名古屋)
美術手帖 732 坪内浩文

中村功展 3. 5-30 ギャラリー
α M
読売夕刊 3. 15 (管)
中村光哉染色展 10. 12-18 和光
ホール
新美術新聞 779
チャイム銀座(月刊) 182
中村静勇展 4. 1-6 資生堂ギヤ
ラリー
ギャラリー(月刊) 133 中野中
中村卓夫展 2. 2-3 ホテルニュー
オータニ
陶説 517 福田旻
中村哲也展 4. 8-27 AKI-EX
GALLERY
美術手帖 722 編集部
中村宏展 7. 11-30 アート・
デューン(浜松市)
毎日夕刊 7. 25 三田晴夫
中村政人展 11. 7-12. 24 SCA
I THE BATHHOUSE
美術手帖 735 森司
中村正義展 9. 24-10. 12 おい
だ美術
新美術新聞 777
仲山計介展 10. 7-19 古心堂画
廊
新美術新聞 778
中山ダイスケ展 7. 29-8. 3 Ga
llery Q & Gallery Q-S
美術手帖 733 北小路隆志
中山忠彦展 4. 18-23 大丸(大
阪)
新美術新聞 764
中山忠彦展 5. 23-6. 1 春風洞
画廊
美術(月刊)(サンアート) 249
美術の窓 159(月)
灘本唯人の70×70α展 2. 9-21
HBギャラリー
デザインの現場 80 [編集部]
夏休みの美術館—コレクション料理
の13コース展 7. 27-9. 23 埼
玉県立近代美術館
新美術新聞 773
産経 8. 11 渋谷和彦
那波鳳翔展 1. 23-28 黒田陶苑
陶説 516 福田旻
奈良義雄遺作展 2. 1-6 すみだ
りバーサイドホールギャラリー

東京 1. 31
奈良美智展 1. 20-2. 24 白土舎
Laday's Slipper 6 石崎勝基
奈良岡正夫油絵展 9. 4-10 松屋
(銀座)
新美術新聞 775
美術の窓 159 高山淳
成田寿一郎展 4. 21-6. 9 家具
の博物館
読売(都民版) 5. 21
縄谷正五郎墨彩画展 9. 6-11 近
鉄(大阪)
新美術新聞 775
「南京1937」東京絵画展 12. 9-14
お茶の水クリスチャンセンター
朝日 12. 13
東京 12. 10
毎日 12. 12 明珍美紀
汝隆一展 11. 14-23 T's Galler
y
美術手帖 737 坪内浩文
ナント美術館展 魅惑の19世紀フラ
ンス絵画 4. 17-5. 19 そごう
美術館(千葉)
京都市美術館ニュース 171
京都市美術館ニュース 172 中
谷至宏
産経 4. 28(S)
難波田龍起展—自選戦後作品・抽象
への歩み 10. 10-1. 18 東京
オペラシティ難波田龍起展示室
新美術新聞 782
産経 12. 22 渋谷和彦

(二)

新味三郎 65年の軌跡展 5. 18-
23 すみだりバーサイドホール
ギャラリー
東京 5. 17
毎日 5. 21 山田泰生
読売(都民版) 5. 10
二元展35回 6. 12-22 東京都美
術館
美術の窓 159 高山淳
西雅秋展 DEATH MATCH
1996 気溝 11. 8-12. 8 神奈
川県民ホールギャラリー
新美術新聞 781
東京夕刊 11. 29 山梨俊夫
西雅秋展 12. 9-27 秋山画廊

平成8年美術展覧会(ナ、ニ)

毎日夕刊 12. 17 石川健次
西浦武陶展 11. 1-6 ギャラリー
茜(名古屋)
陶説 526 井上隆生
西川豊美展 2. 26-3. 2 番画廊
(大阪)
美術手帖 724 山本淳夫
西川勝作陶展 12. 11-16 三越
(大阪)
陶説 528 藤慶之
西田亨素描展 11. 27-12. 3 松
屋(銀座)
新美術新聞 783
西谷寛子展 古布絵 3. 18-23
ワコール銀座アートスペース
毎日夕刊 3. 16
西成田洋子展 FIELD OF MEM
ORY 5. 6-18 コバヤシ画廊
毎日夕刊 5. 13 三田晴夫
西端正作陶展 3. 19-25 三越(日
本橋)
陶説 518 福田旻
西村春海展 10. 8-13 ロイヤル
サロンギンザ
新美術新聞 779
西本コレクション展 4. 2-6. 2
福岡市美術館
福岡市美術館ニュース 91
21世紀の芸術・家業展—『日本と遊
ぶ』 11. 7-12 高島屋(日本橋)
新美術新聞 780
日美展3回 11. 29-12. 5 日本
美術学校ギャラリー
新美術新聞 777
§日仏現代美術展§ 5. 6-15 立
誠小学校
日本美術工芸 694 (吉)
日洋展10回 7. 30-8. 4 大阪市
立美術館
美術の窓 160
日工会展6回 5. 23-28 高島屋
(京都)
陶説 520 藤慶之
日象展23回 11. 25-12. 1 東京
都美術館
美術の窓 164 高山淳
日影展26回 4. 5-21 東京都美術
館
美術の窓 158 高山淳

平成8年美術展覧会(ニ)

日府展43回 5. 8—19 東京都美術館
美術の窓 158 高山淳
日本・オランダ現代美術交流展 根の回復として用意された十二の環境 6. 9—23 旧赤坂小学校
美術手帖 729
朝日夕刊 6. 20 田中三蔵
毎日夕刊 6. 17 三田晴夫
読売(都民版) 6. 4
日本画院展56回 5. 8—19 東京都美術館
美術の窓 158 高山淳
日本画の新世代展 '96 5. 30—6. 14 大丸ミュージアム(東京)
読売夕刊 6. 6 (勝)
「日本画の美」展 12. 14—24 山種美術館
朝日夕刊 12. 19 濱中真治
日本現代陶彫展6回 10. 27—11. 10 セラテクノ土岐(岐阜県土岐市)
陶説 526 井上隆生
日本工芸の青春期1920's—1945展 8. 10—9. 17 東京都庭園美術館
新美術新聞 763
JAAM 51 苫名真
姫路市立美術館だより 51 亀田正司
東京夕刊 8. 16 北澤憲昭
日経 8. 27 宝玉正彦
読売夕刊 9. 2 (勝)
日本写真家協会展 5. 22—30 東京都美術館
朝日 5. 16
日本秀作美術展18回 6. 6—18 高島屋(日本橋)
新美術新聞 767
読売夕刊 6. 25
日本出版文化史展～百万塔陀羅尼からマルチメディアへ 2. 3—25 京都府京都文化博物館
日本美術工芸 689 日本出版文化史展実行委員会
日本自由画壇展22回 8. 21—30 東京都美術館
美術の窓 160 高山淳
日本新工芸展18回 5. 22—27 東京(本店)
美術の窓 159 編集部

日本新工芸展18回 7. 9—14 京都市美術館
陶説 522 藤慶之
日本水彩展84回 6. 1—10 東京都美術館
美術の窓 159 高山淳
日本水墨画展29回 3. 14—24 東京都美術館
美術の窓 256 高山淳
日本伝統工芸近畿展25回 5. 30—6. 4 高島屋(京都)
陶説 521 藤慶之
日本伝統工芸展43回 9. 24—10. 6 三越(日本橋)
石川県立美術館だより 157
陶説 525 藤慶之
朝日夕刊 9. 19 樋田豊次郎
日本伝統漆芸展13回 2. 17—3. 12 石川県輪島漆芸美術館
漆芸美術館だより 16
日本陶磁協会賞受賞作家展37回 1. 30—2. 3 壺中居
陶説 517 福田旻
日本南画院展36回 3. 14—24 東京都美術館
美術の窓 156 高山淳
日本の木の椅子展 3. 7—12 パークタワーホール
芸術新潮 557
日本のキルト20人展2回 10. 17—22 松坂屋(上野)
朝日夕刊 10. 15 ジャクリン・M・アトキンズ
日本のグラフィックデザイン展 11. 2—12. 8 和歌山県立近代美術館
和歌山県立近代美術館ニュース 10. 11 井上芳子
日本の現代美術50人展 2. 16—3. 10 ナビオ美術館(大阪)
ギャラリー(月刊) 130
新美術新聞 757
日本の自然を描く展9回 9. 22—10. 11 上野の森美術館
産経夕刊 9. 27 (I)
日本の写真 内なるかたち・外なるかたち展 第2部 戦後写真の変容 1945～80 7. 5—9. 23 東京都写真美術館
産経 8. 30 奥田裕

日本の染織・テキスタイル展 4. 20—5. 26 目黒区美術館
朝日夕刊 4. 25 福永重樹
東京夕刊 5. 10 北澤憲昭
「日本の象牙美術—明治の象牙彫刻を中心に」展 8. 14—9. 29 渋谷区立松涛美術館
東京夕刊 9. 6 北澤憲昭
日経 9. 5
日本の美術—よみがえる1964年展 1. 13—3. 24 東京都現代美術館
新美術新聞 756 白川茂樹
美術手帖 722 松浦寿夫
朝日夕刊 2. 1 野口玲一
朝日夕刊 2. 8 (三)
産経 3. 3 日野耕之祐
東京夕刊 2. 9 北澤憲昭
日経 1. 19 宝玉正彦
毎日 1. 19
読売夕刊 2. 9 (菅)
日本美術院の作家達展 滋賀県立近代美術館所蔵 4. 20—5. 19 香川県文化会館
香川県文化会館だより 92
日本表現派展 10. 5—14 東京都美術館
美術の窓 162 高山淳
ニューヨーク・イラストレーターズ・ソサイエティ日本人会員十三人展 8. 12—24 王子ペーパーギャラリー
デザインの現場 83
ニューヨーク近代美術館展 ウィリアム・S・ベイリーコレクション 3. 15—6. 9 上野の森美術館
芸術新潮 556 グレン・D・ロウリーインタヴュー、岩淵潤子聞き手
新美術新聞 757
新美術新聞 761 グレン・ラウリー、富井玲子インタビュー構成
美術の窓 154
朝日夕刊 3. 28 石塚春夫
産経 2. 4 松村寿雄
産経 3. 15 松村寿雄
産経 3. 22 (江)
産経 4. 7、28 松村寿雄
産経夕刊 3. 13、14、18、21 松村寿雄
日経 4. 1 宝玉正彦

読売夕刊 4. 4 (菅)
人間国宝新作展31回 5. 9-14 松坂屋(上野)
毎日夕刊 5. 8 吉田茂

(ヌ)

額田宣彦展 4. 16-5. 11 ギャラリーαM
美術手帖 729 松井みどり

(ネ)

根岸重浩油絵展 4. 24-30 小田急百貨店ハルク
新美術新聞 764

根岸勇治展 11. 8-24 ギャラリーアートアルファ
ギャラリー(月刊) 139

(ノ)

ノートン美術館展 印象派からピカソへ 8. 10-9. 8 三鷹市美術館
ギャラリー

産経 8. 6, 7, 9 千足伸行
野津手重隆水彩画展 旧同潤会代官山アパート 9. 17-23 集雅堂
ギャラリー

毎日 9. 19 柴田朗
読売(都民版) 9. 12
野又穫展 2. 14-26 西武アートフォーラム(池袋)

新美術新聞 757
朝日夕刊 2. 22 (三)
野見山暁治展 10. 12-12. 1 練馬区立美術館

ギャラリー(月刊) 139
新美術新聞 780 土方明司
美術(月刊)(サンアート) 254
藤田一人

朝日夕刊 11. 7 田中三蔵
産経 11. 10 松村寿雄
東京夕刊 10. 18 北澤憲昭
日経 10. 29 宝玉正彦

毎日夕刊 11. 5 三田晴夫
読売夕刊 10. 29 (菅)
野見山暁治展 11. 5-16 みゆき画廊

ギャラリー(月刊) 139
野見山暁治展 11. 11-30 ギャラリー上田
ギャラリー(月刊) 139

野村佐紀子展 10. 21-11. 16
ギャラリーヴェリタ(渋谷)
美術手帖 737 北小路隆志

野村たかあき鬼の世界展 1. 23-29 三越(日本橋)
美術(月刊)(サンアート) 245
水上睦男

野村仁展 11. 11-2. 15 ギャラリーGAN
美術手帖 737 森司

野村義照展 11. 7-12 高島屋(日本橋)
アートトップ 155 篠原弘

(ハ)

バイエラーのまなざし:印象派から現代へ・美の系譜100年展 10. 5-11. 24 三越美術館(新宿)
新美術新聞 766

産経夕刊 10. 11 渋沢和彦
読売夕刊 9. 26 中谷至宏
バイキング 海の王国の秘宝展 7. 18-8. 12 石川県立美術館

石川県立美術館だより 153
ハイチの素朴な絵画展 3. 27-4. 14 アートガーデンかわさき
朝日夕刊 4. 4

パウハウスの教育とデザイン展 4. 8-9. 23 ミサワホーム総合研究所
朝日夕刊 9. 5

袴田京太郎展 3. 5-24 ヒルサイドギャラリー
毎日夕刊 3. 12 三田晴夫

萩原吉二と創作版画展 岩手の創作版画とその時代 9. 14-10. 17 岩手県立博物館
岩手県立博物館だより 70 藤代伸子

萩原英雄展 9. 29-10. 13 武蔵野市民文化会館
新美術新聞 778 (賀)
毎日夕刊 10. 15 三田晴夫

白土会展32回 8. 21-31 東京都美術館
美術の窓 160 高山淳

結成100年記念 白馬会展 明治洋画の新風 10. 19-11. 28 プリヂストン美術館
新美術新聞 780

美術(月刊)(サンアート) 254
藤本東一良

朝日夕刊 10. 31
朝日夕刊 11. 14 (橋本)

朝日夕刊 11. 14 田中三蔵
産経夕刊 11. 15 奥田裕

東京夕刊 11. 15 北澤憲昭
日経 11. 6 植野健造
読売夕刊 11. 22 (勝)

審方たみ展 微睡みのあとで 9. 11-29 セルヴィスギャラリー
美術の窓 159 高山淳

はじめの一步展—陶芸家五人の競演 1. 27-2. 16 ギャラリー名古屋
陶磁器会館
陶説 517 井上隆生

橋本太久磨油絵展 10. 24-29 伊勢丹(浦和)
新美術新聞 780

橋本光展 12. 10-15 東京セントラルアネックス
美術の窓 162 編集部

長谷宗悦展 12. 16-27 ときわ画廊
毎日夕刊 12. 24 三田晴夫
長谷川潔展 6. 28-7. 27 SCAI THE BATHHOUSE

美術手帖 731 森司
町子漫画にみるモードの変遷展 9. 21-12. 23 長谷川町子美術館

朝日 10. 8
泰誠日本画展 7. 3-9 東武(池袋)
新美術新聞 770

美術(月刊)(サンアート) 250 瀧梯三
畠山孝一展 11. 25-30 風童門
美術の窓 163 (淳)

八谷和彦展 見ることは信じること 6. 15-7. 14 広島市現代美術館
デザインの現場 83 西原環

ジム・ハッサウェイ展 山手線 2. 22-3. 6 すみだりパーサイド
ホールギャラリー
東京 2. 21

毎日 2. 28
読売(都民版) 2. 23
ドン・ハットフィールド展 5. 14-19 三越(札幌)

平成8年美術展覧会(ハ、ヒ)

美術(月刊)(サンアート) 248
編集部
発明とデザイン展—近代の民具—
8. 1—31 西宮市立郷土資料館
西宮市立郷土資料館ニュース 20
合田茂伸
花代展 2. 24—3. 23 Taka Isii
Gallery
美術手帖 726 松井みどり
馬場まり子展 11. 25—12. 7 秋
山画廊
構造 12 門田秀雄
浜田彰三石彫展 4. 10—15 小田
急百貨店ハルク
産経 3. 18 赤岡東
浜田知明の全容展 1. 31—2. 18
小田急美術館
ギャラリー(月刊) 130
新美術新聞 756
潮流 46 濱本聰
潮流 47 浜田知明、濱本聰 聞
き手
版画芸術 91 小川正隆
美術手帖 724 北澤憲昭
朝日夕刊 1. 30 田中三蔵
浜田浜雄展 2. 4—25 渋谷区立松
涛美術館
読売 2. 16
浜田泰介展 11. 12—17 三越(松
山)
美術(月刊)(サンアート) 254
編集部
早川義孝展 3. 13—19 和光ホー
ル
新美術新聞 760
チャイム銀座(月刊) 176
美術(月刊)(サンアート) 246
佃堅輔
美術の窓 154 高山淳
早川義孝展 11. 28—12. 10 BU
NKAMURA GALLERY
アートトップ 157 (野)
新美術新聞 783
美術の窓 162 高山淳
林功日本画展 11. 28—12. 3 松
坂屋(銀座)
新美術新聞 783
美術(月刊)(サンアート) 255
林和緒展 4. 5—10 東急(日本橋)
美術(月刊)(サンアート) 247

編集部

林敬二展 自我空間の出来事—
1980—1996 11. 23—12. 23 東
郷青児美術館
新美術新聞 783 入江観
林正太郎作陶展 4. 11—16 松坂
屋(名古屋)
陶説 519 井上隆生
林武展 生誕100年記念 6. 15—7.
28 東京都庭園美術館
アートトップ 153
芸術新潮 560 篠原有司男
新美術新聞 769 (西)
美術(月刊)(サンアート) 249
奥谷博
朝日夕刊 7. 4 牟田行秀
産経 6. 23 日野耕之祐
東京夕刊 7. 12 北澤憲昭
日経 6. 21 宝玉正彦
毎日 6. 7
毎日 7. 23、24 岡部昌幸
林秀行陶展 2. 15—20 伊勢丹(新
宿)
陶説 517 福田曼
林康夫展 11. 5—17 ギャラリー
紅(京都)
陶説 526 藤慶之
原弘展 近代グラフィック・デザイ
ンの夜明け 9. 28—10. 27 飯
田市美術博物館
飯田市美術博物館ニュース 35
日経 9. 4
はらみちよ墨水彩画展 1. 10—15
ギャラリーパリス
美術の窓 154 (編集部)
原光子展 7. 24—30 高島屋(日本
橋)
新美術新聞 772
原井輝明展 4. 16—5. 12 オレゴ
ンムーン ギャラリー
美術手帖 727 松井みどり
原田アキヒコ展 9. 16—21 ギャ
ラリー白(大阪)
美術手帖 734 平芳幸浩
原田和男展 鉄の響 4. 18—7. 14
いわさきちひろ絵本美術館
産経 7. 14 斎藤道子
原田華代展 5. 20—25 ギャラ
リー代々木
毎日 5. 14

バリ市立博物館展—ヴェルサイユの
栄光—王妃マリー・アントワネッ
ト 11. 7—19 高島屋(横浜)
毎日夕刊 11. 18 斉藤希史子
バリの女性画家とその仲間たち展
8. 13—25 三越(日本橋)
潮流 47 (H)
産経夕刊 8. 16 渋谷和彦
バルケット・エディション展 2.
20—3. 24 アサクラ・ギャラリ
ー&ヒルサイド
朝日夕刊 2. 29
春原武彦展 4. 8—27 東邦画廊
毎日夕刊 4. 20 春原武彦
バルビソンの発見展—ミレー、コ
ローが愛した自然と生活 1. 5—
2. 22 静岡県立美術館
アマリス 40 李美那
日本美術工芸 688 (伸)
朝日夕刊 1. 6 浅野稔
黄禮淑陶展 4. 11—16 ギャラ
リー茜(名古屋)
陶説 519 井上隆生
版画展64回 4. 6—21 東京都美術
館
美術の窓 158 高山淳
反核FAXポスター展 7. 30—8. 3
and gallery
新美術新聞 776 (美)
「版画工房の仕事」展 10. 17—11.
2 神戸アートビレッジセンター
版画芸術 94 編集部
版画八十年の軌跡展—明治初年から
昭和二十年まで— 4. 13—7. 28
町田市立国際版画美術館
美術手帖 731 西野嘉章
朝日夕刊 4. 25 田中三蔵
東京夕刊 7. 19 山梨俊夫
読売夕刊 7. 5 (勝)
半田強展 10. 17—26 瞬生画廊
ギャラリー(月刊) 138
(ヒ)
ピータン赤将軍展 7. 16—21
アートスペース虹(京都)
美術手帖 732 小林昌廣
稗田一穂展—日常にそえる詩情 6.
8—7. 14 世田谷美術館
新美術新聞 768

- 美術(月刊)(サンアート) 249
藤田一人
朝日夕刊 7. 4 田中三蔵
産経 6. 30 (M)
日経 9. 17 宝玉正彦
- 樋笠数慶展 10. 26—11. 17 香川
県文化会館
新美術新聞 780
- 東アジアMANGA原画展 9. 1—
29 いわき市立美術館
新美術新聞 779 (山)
- ピカソ展 愛と苦惱—ゲルニカへの
道 1. 2—3. 10 東武美術館
朝日 1. 30 大高保二郎
朝日 1. 31 岸本美香子
朝日 2. 6 岸本美香子
朝日 2. 7, 8 大高保二郎
産経 2. 3 斎藤道子
東京夕刊 1. 19 山梨俊夫
- バプロ・ピカソ“天才誕生”—少年
時代の絵展 9. 5—16 青春白樺
美術館
産経 9. 8 松村寿雄
日経 9. 7
- 光の原風景 サイエンス・アート
展—未来空間への招待— 7.
27—9. 1 茨城県つくば美術館
茨城県近代美術館だより 30
- ひかる・うごく・おとがする展 20
世紀の静かならざる作品たち 2.
24—3. 31 和歌山県立近代美術
館
和歌山県立近代美術館ニュース
8 奥村泰彦
- 樋口正一郎写真展 3. 19—31 愛
知芸術文化センター
AAC 15 樋口正一郎
- 彦坂尚嘉展 1. 16—2. 3 東京画
廊
新美術新聞 755
毎日夕刊 1. 29 三田晴夫
読売夕刊 1. 24 (菅)
- 響の会展—木・竹・漆— 3. 1—8
和光ホール
チャイム銀座(月刊) 176
- 美術の内がわ・外がわ展—何故、眼
差しは交わったのか— 4. 2—
5. 6 板橋区立美術館
美術(月刊)(サンアート) 247
高松次郎談
- 朝日夕刊 4. 11 田中三蔵
毎日夕刊 4. 30 三田晴夫
- 美術のかたち展 6. 15—9. 4 兵
庫県立近代美術館
ビロティ 101 服部正
- 美術の国の動物たち展 7. 27—9.
1 群馬県立近代美術館
群馬の森美術館ニュース 85
朝日夕刊 8. 22 田中三蔵
- 美術を楽しむ時間2 子どもの心で
感じる美術展 7. 25—8. 5 伊
勢丹美術館
産経 7. 25 中山三善
- 美展にみる染色の流れ展 6. 21—
7. 14 石川県立美術館
石川県立美術館だより 153
石川県立美術館だより 155 市
川洋子
- 「ひとがた・カラクリ・ロボット」展
—ひとはひとをどのようにあらわ
そうとしたのか 2. 2—3. 3 O
美術館
新美術新聞 756
美術手帖 724 鴻英良
朝日夕刊 2. 14 (若)
東京夕刊 2. 23 北澤憲昭
読売夕刊 2. 16 (前)
- 从展22回 3. 14—24 東京都美術
館
美術の窓 156 高山淳
- ヒニクなファンタジー展 現代5人
の想像世界 7. 27—9. 1 宮城
県美術館
美術手帖 733 暮沢剛巳
- 樋野康郎展 5. 9—14 東武(池袋)
美術(月刊)(サンアート) 248
水上睦男
- 火の起源と神話—日中韓のニュー
アート展 10. 12—12. 8 埼玉
県立近代美術館
美術手帖 735 中村英樹
朝日夕刊 10. 30 田中三蔵
産経 11. 17 渋谷和彦
日経 11. 1 宝玉正彦
毎日夕刊 11. 21 三田晴夫
読売夕刊 11. 11 (菅)
- 「美の匠たち～日本刀をめぐる“わ
ざ”の世界」展 3. 26—5. 6 埼
玉県立博物館
刀剣美術 474 杉山正司
- 美の予感展2回 1. 18—2. 13 高
島屋(日本橋)
アートトップ 151
- 日比野克彦展 10. 11—11. 9 ス
カイドア・アートブレイス青山
新美術新聞 780
- 日比野由利子陶展 7. 21—26
ギャラリー茜(名古屋)
陶説 522 井上隆生
- 秘められた染め 羽裏の美展 2.
15—27 ミキモトホール
芸術新潮 556
- ダニエル・ビュレンヌ展 8. 3—
11. 10 水戸芸術館現代美術ギャ
ラリー
新美術新聞 774 岡部あおみ
朝日夕刊 9. 19 清水敏男
朝日夕刊 10. 3 田中三蔵
毎日夕刊 8. 19 三田晴夫
読売夕刊 9. 27 (菅)
- 表現主義彫刻展 ドイツ現代美術へ
のプロローグ1890—1920 2. 9—
3. 24 新潟県立近代美術館
雪椿通信 5 佐々木奈美子
産経 1. 14 (M)
- HYOGO AID95by ART—阪神・
淡路大震災復興支援全国ポスター
展 5. 1—6 ギャラリー360°
(港区)
東京 5. 3
- HYOGO AID95by ART—阪神・
淡路大震災復興支援全国ポスター
展 5. 7—18 スペース11
東京 5. 3
- HYOGO AID95by ART—阪神・
淡路大震災復興支援全国ポスター
展 5. 14—19 ギャラリーエル
ビス
産経 4. 28
東京 5. 3
- 兵庫—二人の作家たち展 1. 31—
2. 4 姫路市立美術館
日本美術工芸 691 (伸)
- 兵藤和男展 3. 1—9 アルクス
ギャラリー
新美術新聞 759
- 平井澄子創作人形展 2. 17—23
和光ホール
チャイム銀座(月刊) 175

ひらいゆう展 10. 8—11. 2 資生堂ギャラリー
美術手帖 735 森司
平川敏夫墨画展 8. 7—12 三越(名古屋栄)
新美術新聞 773
平川俊展「社会の窓」 7. 19—8. 18 アミュゼ(銀座コマツ4F)
読売夕刊 8. 2 (菅)
平木志乃展 5. 21—6. 2 ラヴコレクションギャラリー(名古屋)
陶説 521 井上隆生
平沢貞通、空白の画展 8. 21—9. 1 タナベ画廊
新美術新聞 776
朝日 8. 31
東京 8. 21、22
平塚運一展 百寿記念 5. 24—7. 7 平木浮世絵美術館
新美術新聞 766
美術(月刊)(サンアート) 249
北岡文雄
毎日夕刊 6. 4 石川健次
平野杏子展 4. 24—7. 21 石神の丘美術館
ギャラリー(月刊) 133
新美術新聞 764
美術(月刊)(サンアート) 248
編集部
平松公展 9. 9—14 なびす画廊
構造 12 門田秀雄
美術手帖 733 森司
平松伸之展 12. 7—15 名古屋市政資料館
美術手帖 738 坪内浩文
平松礼二展 5. 16—21 高島屋(日本橋)
アートトップ 152 篠原弘
美術(月刊)(サンアート) 248
草薙奈津子
平山郁夫展—写生帖・素描・大下図・本画 5. 9—6. 1 東京芸術大学芸術資料館
新美術新聞 766
美術(月刊)(サンアート) 248
藤田一人
平山郁夫展 11. 4—10 三越(日本橋)
新美術新聞 781 (賀)

鯨崎英朋展 4. 1—6. 27 弥生美術館
朝日夕刊 5. 30
毎日夕刊 5. 9 石川健次
読売(都民版) 4. 1
廣岡千恵展 5. 20—25 信濃橋画廊(大阪)
美術手帖 729 喜多村明里
広田稔展 7. 5—8. 25 しぶや美術館
ギャラリー(月刊) 136

(フ)

ブーシキン美術館名作展 室内への視線 4. 20—6. 14 静岡県立美術館
アマリス 41 小針由紀隆
福井県立美術館だより 74 芹川貞夫
和歌山県立近代美術館ニュース 9、10 安来正博
朝日夕刊 5. 9 小針由紀隆
ブーダン展 印象派の先駆者 11. 10—12. 15 静岡県立美術館
アマリス 43 南美幸
朝日夕刊 11. 21 田中三蔵
ブーダンとオンフルールの画家たち展 10. 12—12. 8 Bunkamura ザ・ミュージアム
新美術新聞 770、781
美術手帖 737 坂上桂子
朝日夕刊 11. 21 田中三蔵
東京 1. 4
東京夕刊 10. 11 山口和子
東京夕刊 10. 22 酒井哲朗
東京夕刊 10. 23 馬淵明子
東京夕刊 10. 24 野見山暁治
東京夕刊 10. 25 宮澤政男
東京夕刊 10. 26 池田満寿夫
東京夕刊 11. 8 木島俊介
ファー アンド ニヤー展 12. 11—16 すみだりバーサイドホール
ギャラリー
東京 12. 11
読売 12. 12
ダニエル・エドワード・ファブリング展 7. 9—28 ギャラリーTAF(京都)
美術手帖 732 平芳幸浩

方力鈞—物語なき時代の人間像展 11. 2—12. 1 国際交流フォーラム
芸術新潮 565
朝日夕刊 11. 25 (若)
産経 11. 21 斎藤道子
日経 11. 22 宝玉正彦
毎日夕刊 11. 26 三田晴夫
読売(都民版) 11. 14
ニナ・フィッシャ、マロアン・エル・ザニ展 8. 11—22 P-HOUSE PROJECT ROOM
美術手帖 733 松井みどり
フィレンツェ オペラ舞台画展 8. 29—9. 3 高島屋(日本橋)
日経 8. 25
フィロテック展 2. 25—3. 3 大田区産業プラザ
新美術新聞 759
美術手帖 724 平野到
風景との対話展 コレクションでたどる自然表現 7. 6—9. 23 静岡県立美術館
アマリス 42 下山肇
風神・雷神その誕生の秘密展 6. 11—7. 14 加藤栄三・東一記念美術館(岐阜市歴史博物館分館)
岐阜市歴史博物館博物館だより 33
フォルクヴァング美術館展 11. 2—1. 19 東武美術館
AMBIANTE 15 岸本美香子
産経夕刊 11. 8 渋谷和彦
深澤千代子展 11. 20—25 ステーションプラザFUJI
美術の窓 161 編集部
福岡芳忠素描・油彩画展 3. 28—4. 6 画廊岳
新美術新聞 761
福田繁雄展 のぞきからくり 7. 23—8. 4 三越(日本橋)
新美術新聞 772 日比野克彦
産経 7. 21
産経夕刊 7. 19、25 渋谷和彦
福田秀昭展 7. 10—24 名古屋市政資料館
Lady's Slipper 6 山田真規子
福田美蘭展 6. 10—29 ギャラリー池田美術
ギャラリー(月刊) 134

産経 6, 23
 福西毅展 10, 29-11, 3 ギャラリーマロニエ(京都)
 美術手帖 737 小林昌廣
 福本達雄展 7, 18-23 高島屋(日本橋)
 新美術新聞 771
 福本晴男展 捨て木に生き刻む 1, 9-21 埼玉県立近代美術館
 ギャラリー(月刊) 132 中野中
 藤井勉絵画展 7, 22-31 和光ホール
 新美術新聞 772
 チャイム銀座(月刊) 179
 フジフランソワ展 5, 14-6, 2 ハートフィールドギャラリー
 美術手帖 729 廣江泰孝
 藤岡治子展 9, 23-28 シロタ画廊
 美術の窓 160 編集部
 藤沢章油彩展 4, 23-29 三越(日本橋)
 美術(月刊)(サンアート) 248
 加藤貞雄
 藤田喬平展 10, 17-22 高島屋(日本橋)
 アートトップ 155 藤田喬平、編集部聞き手
 藤野昭展 10, 18-27 ギャラリー紅(京都)
 陶説 525 藤慶之
 藤平伸展一がらす絵に遊ぶ 1, 17-24 和光ホール
 チャイム銀座(月刊) 175
 藤見満隆展 5, 11-6, 8 パストレイズ横浜フォトギャラリー
 美術手帖 729 暮沢剛巳
 藤本四八展一日本の美を求めて一写真界の巨匠 7, 13-8, 25 飯田市美術博物館
 飯田市美術博物館ニュース 34
 藤本東一良展 9, 19-30 日動画廊
 新美術新聞 776 (建)
 藤本ゆかり展 10, 26-11, 10 松栄堂松吟ルーム(京都)
 美術手帖 737 平芳幸浩
 物故作家秀作展 6, 21-30 青樹画廊

美術(月刊)(サンアート) 250
 編集部
 舟越桂展 11, 18-12, 14 西村画廊
 新美術新聞 782
 朝日夕刊 12, 12 田中三蔵
 産経夕刊 12, 1 奥田裕
 日経 11, 22 宝玉正彦
 船水徳雄展一川端康成「掌の小説」にイメージを得て 4, 8-13 至峰堂画廊(大阪)
 美術(月刊)(サンアート) 247
 中山幹雄
 美術(月刊)(サンアート) 247
 北川榮一
 プライベートルーム一写真としての日常展 4, 13-6, 2 水戸芸術館現代美術ギャラリー
 新美術新聞 766 (賀)
 読売夕刊 5, 14 (菅)
 ブラジル現代日系作家展 6, 13-30 麻布美術芸芸館
 ギャラリー(月刊) 136 石津浄
 新美術新聞 768
 朝日夕刊 6, 20 田中三蔵
 サム・フランシス展 1, 8-2, 24 草月美術館
 朝日夕刊 2, 2
 フランス絵画と浮世絵一東西文化の架け橋 林忠正の眼一展 12, 7-1, 26 茨城県近代美術館
 ジャポネズリー研究会会報 16
 定塚武敏
 新美術新聞 784 金原宏行
 游美 24 中田智則
 日経 12, 28 宝玉正彦
 フランス近代絵画展一松岡清次郎コレクションより一 4, 10-5, 19 滋賀県立近代美術館
 フラミンゴ 46
 古川吉重展 1, 8-27 ギャラリー山口
 産経 1, 21 (M)
 毎日夕刊 1, 18 三田晴夫
 読売夕刊 1, 19 (菅)
 ふるさとの川 長良川展 7, 16-10, 6 加藤栄三・東一記念美術館(岐阜市歴史博物館分館)
 岐阜市歴史博物館博物館だより 34

古谷道生作陶展 6, 20-26 東武(池袋)
 陶説 521 福田晏
 古吉弘展 7, 17-23 高島屋(横浜)
 美術(月刊)(サンアート) 250
 ふろく展 7, 1-9, 29 弥生美術館
 朝日 8, 29
 プロジェクト・フォー・サバイバル展 1970年以降の現代美術再訪: プロジェクティブ[意志的・投機的]な実践の再発見に向けて 12, 3-1, 12 東京国立近代美術館
 現代の眼 501 蔵屋美香
 美術手帖 737 室井尚
 視る 352 室井絵里
 視る 352 井上明彦
 マルセル・プロッタース展 4, 5-27 アキライケダギャラリー
 東京夕刊 4, 12 山梨俊夫
 プロレタリア美術資料展 3, 2-5, 5 小野忠重版画館
 版の絵 3 山口泰二
 分析と注釈展 中央ヨーロッパの現代美術 1, 16-2, 10 資生堂ギャラリー
 新美術新聞 756
 毎日夕刊 2, 8 三田晴夫
 (へ)
 平行芸術展14回 9, 9-28 エスバスOHARA
 毎日夕刊 9, 19 三田晴夫
 ヘルマン・ヘッセの世界 水墨画展 8, 7-13 東急(本店)
 毎日 8, 6
 別府光太郎展 3, 12-17 ギャラリーココ(京都)
 美術手帖 726 山本淳夫
 ベトナム絵画の現在展 9, 7-10, 2 フジタヴァンテ
 東京夕刊 9, 13 山梨俊夫
 BABY GENERATION展 5, 1-19 バルコ(渋谷)
 デザインの現場 80 林文浩
 ヘルヴァイン展 11, 1-4, 6 小樽・ペテルブルグ美術館
 芸術新潮 565 伴田良輔

平成8年美術展覧会(へ〜マ)

ベルギー象徴主義の巨匠展 12. 20
—2. 2 高知県立美術館
高知県立美術館年報 14
高知県立美術館ニュース 15
へんと陶芸展28回 2. 11—18 中
野サンプラザ
産経 2. 5 赤岡東

(ホ)

ポーランドのポスター 1950年代〜
1980年代展 4. 9—6. 8 東京国
立近代美術館フィルムセンター
現代の眼 497 金子賢治
ヨーゼフ・ボイス展 7. 30—9. 21
フジテレビギャラリー
産経 9. 15
法隆寺金堂壁画展 6. 14—7. 10
山口県立美術館
天花 65 岩井共二
北欧絵織物展 2. 1—6 ガラ
リー—新宿高野
毎日夕刊 2. 3
星野暁展 10. 11—29 ウエストベ
スギャラリーコヅカ(名古屋)
陶説 525 井上隆生
星野真吾展 8. 9—9. 8 豊橋市美
術博物館
新美術新聞 773
美術(月刊)(サンアート) 251
藤田一人
細見華岳展—つづれ織・波と光
11. 19—26 和光ホール
チャイム銀座(月刊) 183
デイヴィッド・ホックニー展 4.
20—7. 7 現代グラフィックア
ートセンター(CCGA)
産経 6. 2 桜井武
ホックニーのグリム童話展 9. 21
—10. 20 和歌山県立近代美術館
和歌山県立近代美術館ニュース
10 寺口淳治
デイヴィッド・ホックニー版画展
1954—1995 10. 10—12. 15 東
京都現代美術館
ユリイカ 24—15 池上高志
毎日夕刊 12. 3 三田晴夫
ニコル・ポッテ展 11. 5—13 日
動画廊
絵 393 村瀬雅夫

北方騎馬民族の黄金マスク展 中国
考古十大発掘文物 9. 22—11. 4
古代オリエント博物館
朝日 10. 6 (弓)
ポテロ展 1. 7—2. 4 茨城県つく
ば美術館
茨城県近代美術館だより 29 中
泉多詔
ポテロ展 5. 25—6. 23 三越美術
館(新宿)
雪椿通信 6 平石昌子
朝日夕刊 6. 6
産経 5. 31 (江)
日経 6. 2
読売夕刊 5. 23 山根勝典
ホフマンとウィーン工房展 5. 14
—6. 23 佐倉市立美術館
美術手帖 729 和爾祥隆
朝日夕刊 5. 23 木田拓也
焰仁展 8. 14—25 そごう美術館
(横浜)
美術(月刊)(サンアート) 251
ワシオ・トシヒコ
堀香子展 5. 17—29 ガラリー
器館(京都)
陶説 520 藤慶之
堀浩哉展 11. 2—12. 8 高岡市美
術館
朝日夕刊 12. 5 大西若人
読売夕刊 12. 4 菅原教夫
堀内貞明展 10. 7—12 望月画廊
美術の窓 162 高山淳
堀内正和展 5. 13—6. 8 東京画
廊
新美術新聞 766
堀川理万子展 5. 7—30 小財堂画
廊
美術(月刊)(サンアート) 248
編集部
堀越裕美展 9. 2—27 フォトギャ
ラリー—インターナショナル
美術手帖 734 北小路隆志
掘り出された都市展 江戸・長崎・
アムステルダム・ロンドン・
ニューヨーク 10. 8—1. 12 江
戸東京博物館
朝日夕刊 10. 9
江戸東京博物館NEWS 15 小
林克

本郷座の時代展—記憶の中の劇場・
映画館 10. 26—12. 8 文京ふ
るさと歴史館
芸術新潮 564

(マ)

セレステ・マイア絵画展 10. 14—
30 すみだリバーサイドホール
ギャラリー
東京 10. 13
前川泰山展 2. 15—19 大丸(東
京)
新美術新聞 757
前田晶子展 11. 11—16 ギャラ
リー—白(大阪)
美術手帖 737 小林昌廣
前田昭博白瓷展 11. 12—27 赤坂
グリーンギャラリー
陶説 527 福田旻
前田寛治展 4. 2—5. 12 富士美
術館
美術の窓 158 瀧梯三
前田金彌人形展 11. 19—26 和光
ホール
チャイム銀座(月刊) 183
前田久美展 9. 24—29 ギャラ
リー—16(京都)
美術手帖 735 平芳幸浩
前田常作展 9. 17—10. 12 武蔵
野美術大学美術資料図書館
新美術新聞 777 前田常作、加
藤貞雄対談
前田美智子展 10. 5—9 下原公民
館(岐阜県金山町)
アートトップ 154 (常)
前田守一 木版「明治はるあき」展
9. 1—12. 1 博物館明治村
明治村だより 5
前本利彦日本画展 7. 16—22 三
越(日本橋)
新美術新聞 771
牧野邦夫素描展 3. 4—15 永井画
廊
新美術新聞 759
牧野邦夫油彩展 11. 11—22 永井
画廊
新美術新聞 782
正宗悟作陶展 3. 6—11 そごう
(横浜)
陶説 518 福田旻

間島領一展 9. 1—11. 30 池田20
世紀美術館
新美術新聞 778
四代真清水蔵六展 10. 15—21 三
越(日本橋)
陶説 526 福田旻
益田芳徳展 3. 28—4. 2 高島屋
(日本橋)
ギャラリー(月刊) 131
松井康成の世界展 変幻する彩土
2. 10—3. 24 茨城県近代美術館
茨城県近代美術館だより 29 山
口和子
新美術新聞 757 山口和子
游美 22 山口和子
松井康陽作陶展 7. 2—8 三越(日
本橋)
陶説 522 福田旻
松井亨<黒を描く>展 6. 5—11
松屋(銀座)
美術の窓 159 高山淳
松井ヨシアキ展 6. 26—7. 2 高
島屋(日本橋)
美術(月刊)(サンアート) 250
松尾敏男展 9. 3—8 三越(日本
橋)
新美術新聞 775 大矢頼音
美術(月刊)(サンアート) 252
編集部
美術手帖 732
産経夕刊 9. 6 奥田裕
松樹路人展 12. 2—21 武蔵野美
術大学美術資料図書館
アートトップ 157
新美術新聞 785
松倉唯司展 10. 28—11. 6 青木
画廊
美術の窓 161
松崎健陶芸展 11. 15—21 京王
(新宿)
陶説 527 福田旻
松沢茂雄展 9. 11—20 日動画廊
絵 391 (熱田)
松永伍一書画展 12. 7—12 銀座
書廊
新美術新聞 784
東京夕刊 12. 10
松永真デザインの世界 グラフィッ
ク・コスモス 5. 25—6. 30 滋
賀県立近代美術館

フラミンゴ 46 (榮樂)
フラミンゴ 47
東京 7. 3 神尾健三
松原利男藍染展 6. 14—20 和光
ホール
チャイム銀座(月刊) 179
松本爲佐視陶芸展 9. 2—7 和光
ホール
新美術新聞 775
チャイム銀座(月刊) 181
陶説 524 福田旻
松本佐一展—陶— 12. 9—4 和光
ホール
チャイム銀座(月刊) 184
陶説 527 福田旻
松本榮日本画自薦展 3. 6—24 東
京国際美術館(多摩)
新美術新聞 759 松本榮
松本春崇展 2. 5—3. 2 ギャラ
リーGAN
産経 2. 18 (N)
松本ヒデオ展 1. 9—31 ギャラ
リーなかむら(京都)
陶説 515 藤慶之
真鍋淳朗展 2. 7—29 ギャラリー
日鉦
朝日夕刊 2. 22 (三)
真部剛一展 4. 12—21 ギャラ
リーそわか(京都)
美術手帖 727 喜多村明里
真鍋博の世界展 6. 1—8. 31 池
田20世紀美術館
朝日夕刊 7. 25 田中三蔵
産経 8. 18 松村寿雄
日経 8. 1 宝玉正彦
毎日夕刊 8. 19
マハーバーラタの光と影展 6. 18
—24 越後屋美術サロン
毎日夕刊 6. 15
ジョセップ・M・マルティン展—壁
の向こう— 6. 18—7. 7 ヒル
サイドギャラリー
アートマインド 88 ぼんのなお
こ
丸山直文展 1. 29—2. 24 佐谷画
廊
美術手帖 722 西村智弘
東京夕刊 2. 2 山梨俊夫
毎日夕刊 2. 13 三田晴夫
読売夕刊 2. 19 (菅)

マン・レイ写真展 9. 14—10. 20
東京ステーションギャラリー
産経 9. 29 奥田裕
産経 10. 10 斎藤道子
マンスローフとペテログラード・ア
ヴァンギャルド展 2. 20—4. 20
ペテルブルグ美術館(小樽)
新美術新聞 757

(ミ)

三浦務展 9. 2—14 キュービック
ギャラリー(大阪)
美術手帖 734 平芳幸浩
三尾公三展 5. 23—28 高島屋(日
本橋)
新美術新聞 766
三上晴子展 3. 30—4. 7 ヒルサ
イドプラザ
美術手帖 726 森司
三木睦子の世界展 陶芸・きもの
6. 28—7. 11 アミューゼ(銀座コ
マツ4F)
アートトップ 154
三岸節子展 10. 9—21 東急(本
店)
東京 10. 9 太田泰人
東京 10. 11, 13 有本朱音
ミケランジェロ展 4. 6—5. 19
三越美術館(新宿)
新美術新聞 762
産経 4. 12 (江)
美崎光邦作陶展 9. 25—10. 1 東
武(池袋)
陶説 525 福田旻
三栖右嗣展 5. 7—12 三越(日本
橋)
新美術新聞 765
水江東穹展 11. 13—19 高島屋
(日本橋)
新美術新聞 781
溝口七生油絵展 7. 24—30 東武
(池袋)
新美術新聞 772
三谷一馬展 4. 27—5. 12 深川江
戸資料館(江東区立)
読売(都民版) 4. 24
三谷青子日本画自選展 11. 6—17
東京国際美術館(多摩)
新美術新聞 782
美術の窓 161 高山淳

三田村有純展 9. 18—28 和光美術工芸サロン4 F
新美術新聞 776

みちのくの古代染織展 4. 18—27
青山みとも
産経 4. 22 赤岡東

ミッソニの世界展 1. 31—2. 26
セゾン美術館
新美術新聞 756
東京 2. 6

三井田盛一郎展 8. 26—9. 7 養清堂画廊
毎日夕刊 9. 5 石川健次

港千尋展—記憶の棧橋 11. 2—10
横浜港大棧橋国際客船ターミナル
美術手帖 737 北小路隆志

水保・東京展 9. 28—10. 13 品川駅前特設会場(旧国鉄車庫跡地)
新美術新聞 778

南聡展 8. 26—31 資生堂ギャラリー
アートトップ 154 篠原弘

峯田敏郎彫刻展 1. 18—23 高島屋(日本橋)
新美術新聞 755

三原研展—根源— 5. 27—6. 7
ギャルリ・ブス
陶説 521 福田旻

三宅輝夫展 9. 2—10 日動画廊
新美術新聞 775

ミヤコ版画大賞展6回 9. 19—24
都画廊(芦屋)
版画芸術 94 村田慶之輔

宮崎進展 3. 11—30 ギャルリー
ユマニテ東京
新美術新聞 761 (建)

宮廻正明素描展 11. 5—22 長谷川空間創造会社
アートトップ 157
産経 11. 17 (M)

宮廻正明展 F é s —染の伝記
11. 5—22 ギャラリー—長谷川
アートトップ 157
産経 11. 17 (M)

宮下善爾彩陶展 風・かぜ 11. 27—12. 3 高島屋(京都)
陶説 527 藤慶之

宮島達男展 5. 24—6. 15 ギャラリーコヤナギ
美術手帖 729 森司

宮永理吉展 盗のかたち 7. 6—11
伊勢丹(新宿)
陶説 522 福田旻

宮脇愛子展 絵画1959—64 10. 10—12. 25 原美術館
新美術新聞 778
朝日夕刊 11. 28 田中三蔵
産経 10. 31 坂元暁美
産経 11. 3 奥田裕

MinM PROJECT展 歴史的地下空間の再生 3. 16—17 京成電鉄博物館動物園駅
新美術新聞 759
読売(都民版) 3. 16

「ミュージアム・シティ・天神」展
10. 1—30 福岡天神地区周辺
朝日夕刊 10. 28 (若)
日経 10. 13 白木緑

アルフォンス・ミュシャ「生涯と芸術」展 5. 18—6. 23 千葉県立美術館
高知県立美術館年報 13

未来都市の考古学展 7. 24—9. 16
東京都現代美術館
芸術新潮 561
新美術新聞 773 清水敏男
新美術新聞 775 真鍋博
美術手帖 734 海野弘
産経 8. 25 渋谷和彦
東京 1. 4
東京夕刊 7. 25—27 鶴沢隆
東京夕刊 8. 23 八束はじめ
東京夕刊 8. 29
日経 7. 29 宝玉正彦
読売夕刊 8. 13 (管)

美術の考古学第2部「未来派の父」露国画伯来朝記—ブルリュークと日本の未来派展 6. 15—7. 21 西宮市大谷記念美術館
日経 7. 11 宝玉正彦

ミレーとバルビゾン派の画家たち展
11. 9—12. 22 平塚市美術館
新美術新聞 781 岡部幹彦
朝日夕刊 11. 28 鈴木幹
毎日 1. 4
毎日 11. 7

ミレーとバルビゾン派展 9. 4—23
石川県立美術館
石川県立美術館だより 155

カール・ミレス展 9. 20—10. 25
スウェーデン大使館展示ホール
読売夕刊 10. 8 (勝)

ミロ オン ステージ展 2. 29—4. 8 伊勢丹美術館
芸術公論 71 K・O
新美術新聞 759
産経夕刊 3. 8 (江)
読売夕刊 2. 27 菅原教夫

三輪栄造展 4. 18—23 高島屋(横浜)
陶説 520 福田旻

三輪和彦輝環展 10. 1—6 三越(日本橋)
陶説 525 福田旻

三輪美津子展 1. 13—2. 24 ギャラリー—HAM
美術手帖 724 廣江泰孝

三輪篤展 1. 3—21 松坂屋美術館
陶説 516 井上隆生

韓国山清窯 閔泳騏 井戸茶碗展
5. 20—25 壺中居
陶説 520 福田旻

民芸派の巨匠たち展 2. 22—27
大丸ミュージアム(東京)
新美術新聞 758
朝日夕刊 2. 22
(ム)

向井潤吉展 爽緑の季節とともに
4. 6—6. 23 向井潤吉アトリエ館
読売(都民版) 4. 12

武者素子展 4. 9—14 鳩居堂画廊
朝日 4. 9

棟方志功展 7. 25—8. 5 大丸ミュージアム(東京)
新美術新聞 772
朝日夕刊 7. 19 藤井久栄

宗綱千尋展 9. 10—15 ギャラリーココ(京都)
美術手帖 734 小林昌廣

村岡三郎展 10. 8—11. 2 ケンジタキギャラリー
ギャラリー(月刊) 138

村上三郎展 4. 6—5. 12 芦屋市立美術館
芸術新潮 558
美術(月刊)(サンアート) 247
元永定正談

美術手帖 727 森口まどか
 村松秀太郎展 8, 29-9, 3 高島屋(日本橋)
 新美術新聞 774
 美術の窓 159 編集部
 郡桂子展 2, 26-3, 2 ギャラリーオカベ
 新美術新聞 758
 室越健美展 11, 18-30 梅田近代美術館
 新美術新聞 782
 (メ)
 明治日本画の新情景 ひと・まち・しぜん展 12, 20-1, 26 山口県立美術館
 芸術新潮 567 上蘭四郎
 新美術新聞 784
 天花 67 菊屋吉生
 明治の洋風家具展 9, 21-11, 24 博物館明治村
 明治村だより 4, 5
 明治村だより 5 小泉和子
 明治美術再見3—近代日本画への途
 明治三十年代〜大正初期展 3, 26-6, 16 宮内庁三の丸尚蔵館
 読売夕刊 5, 7 (勝)
 明治美術・ニューモード、白馬会の
 画家たち展 6, 29-9, 16 佐賀県立美術館
 佐賀県立博物館・美術館報 113
 松本誠一
 made in japan 1950-1994 世界に花開いた日本のデザイン展
 5, 23-7, 11 サントリーミュージアム[天保山]
 芸術新潮 559
 デザインの現場 85 鈴木紀慶
 美術手帖 731 石井弥夢
 朝日 7, 2
 ロバート・メイブルソープ展 12, 5-1, 19 三越美術館(新宿)
 毎日夕刊 12, 9 三田晴夫
 イレーヌ・メイヤーの世界展 3, 1-5, 20 マリオン(有楽町マリオン・ミュージアム)
 美術手帖 721 編集部
 産経夕刊 5, 13
 ジョナス・メカス作品展—静止した映画フィルム 11, 28-3, 30 東京都写真美術館

美術手帖 738 西村智弘
 メッセージ・フロム・ザ・アーティスト'96展 2, 27-3, 3 世田谷美術館区民ギャラリー
 ギャラリー(月刊) 130

(モ)

モードのジャポニスム展 9, 7-11, 17 東京ファッションタウン
 新美術新聞 778
 美術手帖 734 竹原あき子
 朝日夕刊 9, 25 (西)
 東京 10, 19
 東京夕刊 10, 6, 19, 26 深井晃子
 東京夕刊 11, 2 深井晃子
 日経夕刊 10, 1 (牧)
 もうひとつの写真展—写真的なるものをめぐって 4, 6-5, 26 東京都写真美術館
 新美術新聞 766 (賀)
 東京都写真美術館ニュース 7, 8
 ジョアン・モタ展 11, 26-12, 6 イトーキギャラリー
 産経 11, 10 前田昌宏
 望月通陽展 12, 9-21 ギャラリー椿
 新美術新聞 785
 元永紅子展 2, 20-28 ギャラリーココ(京都)
 美術手帖 724 喜多村明里
 元村平展 10, 17-22 高島屋(日本橋)
 美術(月刊)(サンアート) 253
 秋山和歩
 19、20世紀ヨーロッパ美術にみる物語の世界展 4, 27-5, 26 群馬県立近代美術館
 群馬の森美術館ニュース 84
 美術(月刊)(サンアート) 248
 上村清雄
 美術手帖 726 上村清雄
 百瀬郷志展 10, 2-8 東武(池袋)
 新美術新聞 778
 百瀬智宏展 11, 25-12, 14 ギャラリーEMORI
 新美術新聞 783
 森太三展 5, 21-26 ギャラリーマロニエ(京都)
 美術手帖 729 喜多村明里

森陶岳作陶展 10, 29-11, 14 赤坂グリーンギャラリー
 陶説 526 福田旻
 森岡成好陶展 3, 29-4, 10 ギャラリー・アジュール(愛知県津島市)
 陶説 519 井上隆生
 森田曠平とその周辺展 3, 5-5, 12 諏訪市立美術館
 毎日夕刊 4, 16
 森田リエ子展 11, 1-1, 31 成川美術館(箱根)
 新美術新聞 781
 森村泰昌 美に至る病—女優になった私展 4, 6-6, 9 横浜美術館
 ギャラリー(月刊) 132, 133
 新美術新聞 762 天野太郎
 美術(月刊)(サンアート) 247
 森村泰昌談
 美術手帖 727 西村智弘
 産経 5, 26 松村寿雄
 東京夕刊 5, 17 山梨俊夫
 毎日 4, 6 高橋豊
 読売夕刊 4, 15 (菅)
 森本遥水墨画展 6, 11-16 東京セントラルアネックス
 新美術新聞 768 森本遥/建部公彦聞き手
 美術の窓 159 (淳)
 守屋多々志展 歴史の旅人 4, 6-5, 12 茨城県近代美術館
 新美術新聞 762
 游美 22 金原宏行
 森山大道写真展 —バリー 5, 12-6, 1 イル・テンポ
 読売夕刊 5, 20 平木収
 「Morphe'96」展 11, 22-12, 7 青山界限
 美術手帖 738 荒木夏実
 モンゴル秘宝展 8, 8-9, 2 伊勢丹美術館
 日経 8, 7, 20
 (ヤ)
 野外彫刻の祭典展—20世紀の巨匠たち— ロダン、ミロ、ジャコモッティからヌーヴォーレアリストへ 9, 28-11, 24 東京都現代美術館
 新美術新聞 778

平成8年美術展覧会(ヤ)

日経 8. 5
 日経 8. 15 酒井忠康
 日経 8. 15 坂本憲一
 日経夕刊 10. 17 澄川喜一/池田満寿夫/建畠寛造
 八木明陶展 4. 4-9 伊勢丹(新宿)
 陶説 519 福田旻
 躍動するアジア展 1. 23-3. 13
 東京都写真美術館
 東京都写真美術館ニュース 7
 八島太郎の世界展—アメリカに生きた日本人絵本作家の軌跡 2. 10-4. 14 いわさきちひろ絵本美術館
 美術(月刊)(サンアート) 245
 編集部
 日経 2. 15 マコ岩松
 読売 1. 30
 屋代敏博展 空間シリーズ—せんとらう 1. 8-27 ツァイト・フォトサロン
 読売(都民版) 6. 15
 安井曾太郎展 4. 6-5. 19 兵庫県立近代美術館
 新美術新聞 762
 保田勝久作陶展 10. 25-30 ギャラリー-日比谷
 新美術新聞 779
 矢谷長治日本画展 3. 16-24 俵屋画廊(京都)
 新美術新聞 760
 矢内清六展 11. 10-16 ギャラリー-和知
 アートトップ 157
 「谷中332」展 1. 7-14 いろは荘(台東区谷中のアパート)
 読売(都民版) 1. 11
 柳美和展 2. 20-3. 3 ギャラリー-MOCA
 美術手帖 724 廣江泰孝
 柳沢紀子展 2. 19-3. 2 養清堂画廊
 産経 2. 25 (M)
 柳原義達展 道標 9. 14-10. 20 神戸市立博物館
 神戸市立博物館だより 53 岡泰正
 日本美術工芸 698 (伸)

矢野鈴子展 2. 1-3. 31 DO PLAN
 芸術公論 71
 矢野鈴子展 3. 5-10 ギャラリー-SEL
 芸術公論 71
 矢野道子展 5. 20-26 銀座アートホール
 毎日夕刊 5. 11
 荻野健絵画展 7. 30-9. 16 トヨタ博物館
 新美術新聞 772 井上明久
 「ヤマ」展 3. 22-31 山谷労働者福祉会館前
 朝日 3. 20
 山岡公彦うつわ展 5. 11-16 ギャラリー-茜(名古屋)
 陶説 520 井上隆生
 山川輝夫展 3. 2-24 山梨県立美術館
 新美術新聞 759
 山口敦展 2. 26-3. 2 かねこあーとギャラリー
 新美術新聞 758
 山口和男展 8. 29-9. 3 東武(池袋)
 新美術新聞 774
 山口啓介展 6. 18-30 ギャラリー-16(京都)
 美術手帖 731 小林昌廣
 山口秀樹展 4. 16-21 アートギャラリー-せ・らへる
 毎日夕刊 4. 13
 山口政雄展—「色えんびつの散歩道」 11. 30-12. 8 町屋文化センター
 読売 12. 3
 銀の芸術 創躍技展—山口義造の世界— 11. 4-24 滋賀県立近代美術館
 フラミンゴ 48 (桑山)
 山口県美術展50回 9. 26-10. 13 山口県立美術館
 天花 66 河野通孝
 山崎隆夫展 11. 6-12 松屋(銀座)
 新美術新聞 781
 山崎理恵子展 4. 23-28 三越(銀座)
 毎日 4. 25

山路智恵展 紙の上にも8年 3. 22-4. 21 大崎ウエストギャラリー
 毎日 4. 2
 もうひとつの山下菊二展 9. 25-10. 12 ギャラリー-川船
 毎日夕刊 10. 9 三田晴夫
 山下菊二展 9. 14-10. 27 板橋区立美術館
 構造 12 門田秀雄
 新美術新聞 758
 新美術新聞 781 安井収蔵
 美術(月刊)(サンアート) 246
 吉本隆明談
 美術手帖 726 北澤憲昭
 朝日夕刊 3. 7
 東京夕刊 3. 8 北澤憲昭
 毎日夕刊 3. 19 三田晴夫
 毎日夕刊 10. 9 三田晴夫
 山下ユウコ展 7. 9-14 ギャラリー-はねうさぎ(京都)
 美術手帖 732 小林昌廣
 山田和作陶展 11. 21-26 丸栄スカイル(名古屋)
 陶説 526 井上隆生
 山田かまち展 3. 1-8 上用賀アートホール
 産経 12. 14
 山田貞實展 11. 30-12. 8 美濃加茂市文化会館
 新美術新聞 784
 山田正亮展 Works 1995 4. 12-5. 25 佐谷画廊
 新美術新聞 763
 読売夕刊 4. 17 (菅)
 山田義郎油絵展 12. 10-16 三越(銀座)
 新美術新聞 784
 山村博男展 9. 24-10. 1 日動画廊(名古屋)
 美術(月刊)(サンアート) 253
 安井収蔵
 美術の窓 160 高山淳
 山元春拳展 7. 2-9. 1 滋賀県立近代美術館
 フラミンゴ 47 (高梨)
 山本利明展 10. 21-26 ギャラリー-クオーレ(大阪)
 美術手帖 735 小林昌廣

山本知克展 3, 19-24 京都府立
文化芸術会館
新美術新聞 760

山本直彰展 DOOR 現代作家シ
リーズ96 11, 8-12, 8 神奈川
県立県民ホールギャラリー
新美術新聞 781
朝日夕刊 11, 28 田中三蔵
東京夕刊 11, 29 山梨俊夫

山本雄一作陶展 10, 1-6 三越
(日本橋)

陶説 525 福田旻

山本容子展 9, 17-10, 5 ギャ
ラリーユマニテ東京
新美術新聞 767

(ユ)

結城美栄子展 賢治ワールド 5,
11-19 パークタワーホール
美術の窓 158 舟泊正
東京 5, 13
読売 5, 8
読売夕刊 1, 27

遊陶会展12回 12, 3-7 壺中居
陶説 527 福田旻

ヴィクトル・ユゴーの世界展 7,
24-8, 11 小田急美術館
美術(月刊)(サンアート) 251
中山恵理
読売夕刊 7, 15 山根勝典

湯沢宏素描展 11, 11-16 風童門
美術の窓 163 (淳)

ゆたかーあなたも幸せになりたいで
しょう展 12, 14-3, 9 徳島県
立近代美術館

徳島県立近代美術館ニュース 19
安達一樹
美術(月刊)(サンアート) 256
藤田一人

湯原和夫展 2, 23-3, 23 スカイ
ドア・アートプレイス青山
新美術新聞 758
産経 3, 10

指先で観賞できる立体画の展覧会
9, 14-30 湘南画廊
産経 3, 31 井口文彦

(ヨ)

横尾忠則COLLECTION宣言展

瀧狂 3, 18-5, 19 キリンアー
トスペース原宿

芸術新潮 557

産経 4, 1 田窪桜子

横尾忠則展 今ハ昔 4, 21-5, 19
ラフォーレミュージアム原宿

新美術新聞 765 (白)

日経 5, 3 竹田博志

横尾忠則版画展 9, 12-24 ギャ
ラリー華沙里

新美術新聞 775

横山一夢回顧展 4, 12-29 富山
県民会館美術館

新美術新聞 763

横山大観展 1, 11-23 高島屋(日
本橋)

新美術新聞 754

朝日夕刊 1, 11 松浦あき子

吉岡俊直展 8, 12-17 番画廊(大
阪)

美術手帖 733 平芳幸浩

吉岡正人展 2, 29-3, 9 太陽画
廊(大阪)

新美術新聞 758

吉川和江展 10, 9-21 ギャ
ラリーNWハウス

美術手帖 735 松井みどり

吉川水城作陶展 8, 13-18 三越
(日本橋)

陶説 523 福田旻

吉澤美香展 6, 22-7, 14 双ギャ
ラリー(吉祥寺)

毎日夕刊 7, 4 石川健次

吉澤美香展 9, 9-10, 5 ギャ
ラリーコヤナギ

美術手帖 733 松井みどり

吉田西緒展 5, 27-6, 1 資生堂
ギャラリー

美術の窓 159 高山淳

吉田民尚展 11, 18-24 銀座アー
トギャラリー

新美術新聞 782

吉田俊雄画業五十年展 9, 18-29
東京国際美術館(多摩)

美術の窓 162 編集部

吉田博野鳥画展 5, 10-19 都市
農業公園

東京夕刊 5, 11

吉田文子油絵展 1, 10-20 小財
堂画廊

美術(月刊)(サンアート) 244

編集部

吉本正作陶展 3, 26-4, 1 三越
(日本橋)

陶説 519 福田旻

米坂ヒデノリ展 10, 21-11, 8
NORIE GALLERY

産経 10, 27

米田万太郎展 2, 10-24 顕美子
陶説 517 井上隆生

米林雄一展 6, 10-29 ギャ
ラリーユマニテ東京

新美術新聞 771

産経 6, 23

甞る正倉院宝物展一復元模造の120
年 1, 4-21 小田急美術館

朝日夕刊 1, 5 岸根一正

蓬田やすひろ展 1, 10-31 ギ
ンザグラフィックギャラリー

毎日夕刊 1, 13

寄神宗美展 9, 12-24 ギャ
ラリー正観堂(京都)

陶説 524 藤慶之

(ラ)

ライカ同盟 本朝ヨリガスミ之展

12, 11-19 コニカブラザ

朝日夕刊 12, 12

LIFE/ART/TECHNOLOGY-
生物、いのち/ART展 11, 22

-12, 23 O美術館

美術手帖 738 佐々木正人

LACの会の鉄道漫画展 9, 7-
11, 10 大宮市立漫画会館

毎日夕刊 10, 5

(リ)

李王朝時代の刺繍と布展 5, 23-
7, 7 国立国際美術館

国立国際美術館月報 44 金巴望

国立国際美術館月報 45 吉田宏
志

潮流 48 (O)

立軌展48回 2, 8-18 東京セント
ラル美術館

アートトップ 152 五百住乙人

美術の窓 155 高山淳

ゲルハルト・リヒター展 3, 11-
4, 19 フジテレビギャラリー

美術手帖 722 加藤淳

ゲルハルト・リヒター展 4, 6-
5, 31 ワコウワークスオブア
ト

平成8年美術展覧会(リ〜ワ)

毎日夕刊 4, 23 三田晴夫
読売夕刊 4, 24 (菅)
柳京愛展 11, 11—16 ギャラリー
戸村
ギャラリー(月刊) 138 柳京
愛/立島恵
梁耀現代水墨画展 9, 24—30
ギャラリーシビック
毎日夕刊 9, 21
両洋の眼展'96 1, 30—2, 4 三越
(日本橋)
アートトップ 151
新美術新聞 759 瀧悌三
「凛—現代の陶芸美—」展 響きあう
釉薬とフォルム 3, 23—5, 19
滋賀県立陶芸の森陶芸館
陶説 518 藤慶之
デイヴィッド・リンチ展 3, 20—
4, 21 三菱地所アルティウム(福
岡)
美術手帖 722 滝本誠
デビッド・リンチ展 DREAMS
12, 20—21 パルコギャラリー
東京夕刊 11, 29 飯田高誉
ビーター・リンドバーク写真展 7,
19—8, 18 Bunkamura ザ・
ミュージアム
朝日夕刊 8, 1 平山景子
(ル)
ル・コルビュジエ展 10, 10—11,
24 セゾン美術館
SMA 151
新美術新聞 779
美術手帖 735 長田謙一
朝日夕刊 10, 17 新見隆
産経 10, 27 渋谷和彦
産経 11, 14 前田剛夫
日経 11, 14
毎日夕刊 10, 9 新見隆
毎日夕刊 10, 22 中村雄二郎
毎日夕刊 11, 19 高島直之
読売夕刊 10, 25 (勝)
ビエール・ルシュール展 3, 4—
18 日動画廊
絵 385 瀧悌三
瑠璃画社と一采社の画家たち展 現
代日本画家の青春群像 11, 2—
12, 8 山種美術館
アートトップ 155

美術(月刊)(サンアート) 254
浦田正夫
東京夕刊 11, 8 山梨俊夫

(レ)

レオ・レオーニ展 11, 30—1, 12
板橋区立美術館
芸術新潮 566 松岡希代子
朝日夕刊 11, 26 今江祥智
歴史画と武者絵の世界展 1, 28—
2, 4 大崎ウエストギャラリー
毎日夕刊 1, 27
歴史の天使展 9, 13—11, 24 ワ
タリウム美術館
新美術新聞 783 (賀)
産経 10, 17 斎藤道子
歴史の文字—記載・活字・活版展
9, 9—10, 13 東京大学総合研究
博物館
芸術新潮 563 西野嘉章
美術手帖 734 浅葉克己
毎日夕刊 9, 20 (L)
レクイエム—榎倉康二と33人の作
家—展 3, 29—5, 26 斎藤記念
川口現代美術館
アートマインド 87 ぼんのなお
こ
新美術新聞 762
美術手帖 722
日経 4, 4 宝玉正彦
毎日夕刊 4, 9 三田晴夫
レボース展 10, 7—11, 2 ギャラ
リーGAN
産経 10, 27 (S)
連歌展—12人の詩と夢の交響曲 5,
9—14 高島屋(日本橋)
美術(月刊)(サンアート) 248

(ロ)

マリー・ローランサン展 7, 6—9,
1 神戸市立博物館
神戸市立博物館だより 53 岡泰
正
マーク・ロスコ展 2, 17—3, 24
東京都現代美術館
東京 1, 4
東京夕刊 2, 20 多木浩二
東京夕刊 2, 21 関直子
東京夕刊 2, 22 辰野登恵子
東京夕刊 2, 23 森村泰昌

東京夕刊 2, 26 藤枝守
東京夕刊 3, 7 デイヴィッド・
アンファム

「ロトチェンコの実験室」展 1, 6—
5, 6 ワタリウム美術館
デザインの現場 80 和多利恵津
子
東京夕刊 4, 26 山梨俊夫
読売夕刊 2, 23 (菅)
リチャード・ロング展 山行水行
2, 1—3, 24 世田谷美術館
ギャラリー(月刊) 131 リ
チャード・ロング、大島清次
新美術新聞 757 (賀)
日本美術工芸 689 清水真砂
美術(月刊)(サンアート) 245
小西信之
美術手帖 722 龍島庸二インタ
ビュー
視る 346 塩田純一
視る 347 森口まどか
朝日夕刊 2, 8 長谷川祐子
朝日夕刊 2, 27 (三)
産経 2, 17 斎藤道子
産経 2, 25 桜井武
読売夕刊 2, 22 (前)

(ワ)

ワイルドライフ・アート展 カナダ
の大自然からのメッセージ 2,
27—3, 31 サントリー美術館
サントリー美術館ニュース 152
産経 3, 3 (M)
若井良一油彩展 6, 26—7, 6 松
坂屋(名古屋)
新美術新聞 770
煙と霧—若林奮展 2, 11—3, 20
足利市立美術館
朝日夕刊 3, 6 (三)
若松光一郎の世界展 3, 1—5, 31
池田20世紀美術館
新美術新聞 759
和田彰展 4, 1—7 Oギャラリー
ギャラリー(月刊) 134 中野中
和田千秋展 障碍の美術 現代美術
のリハビリテーション 2, 23—
3, 13 朝日ギャラリー(有楽町)
朝日夕刊 3, 5 (若)
産経 3, 3 (U)
毎日夕刊 2, 29 三田晴夫

和田伸政陶展 5. 21-26 ギャラリー-茜(名古屋)
 陶説 520 井上隆生
 和田雄一展 1. 29-2. 29 ギャラリー-17(浜松町)
 ギャラリー(月刊) 129 中野中
 渡部歌賀油絵展 9. 25-10. 1 小田急百貨店ハルク
 新美術新聞 776
 渡邊清介展 4. 1-6 ギャラリー-なつか
 美術手帖 727 森司
 渡辺浩司展 8. 19-31 天野画廊(大阪)
 美術手帖 733 小林昌廣
 渡辺恂三展 2. 13-3. 6 ギャラリー-なかむら(京都)
 新美術新聞 759
 渡辺千尋銅版画展 10. 5-16 松明堂ホール
 毎日々刊 10. 8 桐原良光
 渡邊幹夫版画展・1996 10. 1-11 村越画廊
 新美術新聞 778
 渡辺義雄の世界展 2. 1-3. 31 東京都写真美術館
 東京都写真美術館ニュース 7
 産経 2. 4 (O)
 東京夕刊 2. 22 澤本徳美
 綿引展子展 3. 6-28 ギャラリー-日鉦
 美術手帖 724 西村智弘
 産経 3. 17 (N)
 二人展、三人展等
 ロジャー・アックリング&ハミッシュ・フルトン展—紀伊半島を歩いて 6. 1-7. 21 和歌山県立近代美術館
 美術手帖 729 小林昌廣
 和歌山県立近代美術館ニュース 9 浜田拓志
 揺れるかたち・布とガラスの出会い展(あげずは織:上原美智子、ガラス:持永貞子) 9. 7-28 ギャラリー-燧(渋谷)
 朝日 9. 17
 ビーター・ヴォーコス&金子潤二人展 4. 27-5. 31 ケンジタキギャラリー

陶説 520 井上隆生
 牛田英作+キャサリン・フィンドレイ展 5. 17-6. 22 GALLERY・MA
 美術手帖 729 暮沢剛巳
 遠藤彰子・島谷晃展 1. 14-31 神奈川県立県民ホールギャラリー-ギャラリー(月刊) 129
 新美術新聞 754
 美術(月刊)(サンアート) 244
 小沼彰敏
 朝日夕刊 1. 25 (三)
 産経 1. 28 (M)
 コラボレーション:岡本敦生+野田裕示展 8. 26-9. 7 ギャラリー-山口、ギャルリーユマニテ東京
 産経 9. 1 奥田裕
 毎日々刊 8. 29 三田晴夫
 読売夕刊 9. 3 (管)
 小川哲郎、小川孝展 2. 19-24 アートミュージアムギンザ
 美術(月刊)(サンアート) 245
 小川孝
 小野寺玄・多賀リヤ二人展 6. 26-7. 2 松屋(銀座)
 陶説 522 福田旻
 唐九郎と清明展(加藤唐九郎、辻清明) 4. 15-26 吉井画廊
 日経 4. 19 宝玉正彦
 金重陶陽・藤原啓展 10. 15-11. 17 藤原啓記念館
 新美術新聞 780
 金田勝一・田村綾展 7. 9-21 ギャラリーココ(京都)
 美術手帖 732 平芳幸浩
 川上澄生と畦地梅太郎展 6. 1-30 南海放送サンパーク美術館
 鹿沼市立川上澄生美術館館報 9
 川本哲子と高橋KOKO二人展—人形と絵画で奏でるハーモニー 12. 17-22 和光ホール
 チャイム銀座(月刊) 184
 毎日 12. 19 明珍美紀
 劉生と御舟展 12. 10-1. 19 豊田市美術館
 新美術新聞 784
 美術の窓 163
 木原亨・木原伸朗ふたりの絵画展 10. 1-7 中野区野方地域センター

産経 9. 29 寺田理恵
 金守子・久野利博展 家事分担 7. 6-8. 31 アキライケダギャラリー(田浦)
 毎日々刊 8. 15 三田晴夫
 読売夕刊 8. 21 (管)
 麗しき前衛の時代—古賀春江と三岸好太郎展 5. 18-6. 19 茨城県近代美術館
 美術手帖 731 山梨絵美子
 朝日夕刊 6. 13 田中三蔵
 日経 6. 5 宝玉正彦
 児島虎次郎と太田喜二郎展 ベルギー光との出会い 10. 4-11. 10 成羽町美術館
 成羽町美術館だより 5 小倉忠夫
 成羽町美術館だより 5
 レオン・ゴラブ&ナンシー・スベロ展 第3回ヒロシマ賞受賞記念 7. 27-9. 23 広島市現代美術館
 日経 8. 26
 さとうかつひさ・たじまひでひこ展 7. 26-31 名古屋市政資料館
 美術手帖 732 坪内浩文
 ニキ&ティンゲリー展~ネレンス・コレクションを中心に~(ニキ・ド・サンファール、ジャン・ティンゲリー) 4. 3-5. 26 川村記念美術館
 AURA 12 平尾佐矢子
 朝日夕刊 4. 18 広本伸幸
 産経 5. 12 松村寿雄
 品川工・山口勝弘展 現代美術の手法2 メディアと表現 4. 27-6. 9 練馬区立美術館
 新美術新聞 764
 朝日夕刊 5. 23 田中三蔵
 柴田敏雄・辰野登恵子二人展 ふたつのメディア 1. 19-2. 17 鎌倉画廊
 産経 2. 11
 親子2人展(島野伝五郎・島野保行) 7. 16-21 ギャラリーみその
 読売(都民版) 7. 17
 志村ふくみ・洋子二人展 4. 11-18 和光ホール
 チャイム銀座(月刊) 177
 竹久夢二と川上澄生展 4. 6-8. 31 川上澄生美術館

平成8年美術展覧会(二・三人展、団体展)

鹿沼市立川上澄生美術館館報 9
早川未央
勸会展(千村俊二、下川辰彦) 4, 1
—6 銀座スルガ台画廊
美術(月刊)(サンアート) 247
米倉守
長春天山・太山父子展 5, 14—20
そごう(横浜)
美術(月刊)(サンアート) 248
長春天山、矢部良明対談
月下美紀・小田まゆみ展 地球のや
すらぎへの二人展 9, 6—15 銀
座書廊
新美術新聞 775
辻憲・アルトゥ・ディークホフ交流
版画展 3, 7—13 すみだ生涯学
習センター
読売(都民版) 3, 4
永瀬義郎・照子夫婦展 9, 10—29
藤屋画廊
新美術新聞 775
毎日夕刊 9, 7
読売(都民版) 9, 13
仲村進・水野英男展 10, 1—11,
10 駒ヶ根高原美術館
新美術新聞 778
檜原健三、鳥居敏文展—ねりまの美
術'96 2, 10—3, 10 練馬区立
美術館
新美術新聞 756
イサム・ノグチ、ルイス・カーン展
5, 11—9, 8 ワタリウム美術館
朝日夕刊 6, 6 隈研吾
朝日夕刊 8, 8 (若)
イサム・ノグチと北大路魯山人展
3, 7—4, 14 セゾン美術館
SMA 144
芸術公論 71 T・Y
高知県立美術館ニュース 12
新美術新聞 760
美術(月刊)(サンアート) 246
新見隆
美術手帖 726 高島直之
朝日 4, 5 北澤憲昭
朝日夕刊 3, 28 (三)
産経 4, 7 (M)
読売夕刊 3, 1 新見隆
額の会展(秦誠、熊原清久) 12, 9
—14 銀座スルガ台画廊

美術(月刊)(サンアート) 255
編集部
伴清一郎・籾内佐斗司展 9, 25—
10, 19 新生堂(南青山)
美術(月刊)(サンアート) 253
伴清一郎、籾内佐斗司
藤本由紀夫+笹岡敬展 4, 15—5,
2 CUBIC GALLERY(大阪)
美術手帖 727 山本淳夫
リチャード・マイヤーとフランク・
ステラ展—建築と絵画の接点
2, 2—4, 7 愛知県美術館
AAC 15 (M.H.)
新美術新聞 757
朝日夕刊 3, 27 (若)
隆の会展(松村公嗣、角島直樹)11,
4—9 銀座スルガ台画廊
美術(月刊)(サンアート) 254
米倉守
村岡貴美男・奥秋由美二人展 3,
16—20 浅草公会堂画廊
産経 3, 6
二人の字画展(望月正樹、幸義明)
11, 26—12, 10 松屋(銀座)
朝日 11, 24
森野泰明・柳原睦夫展 京都から土
と火のメッセージ 1, 24—30
高島屋(日本橋)
陶説 516 福田晃
陶説 516 藤慶之
山下毅・恒子展 5, 28—6, 2 三
越(新宿)
新美術新聞 760
秋山陽・清水征博・八木明三人展
6, 14—30 ギャラリー正観堂(京
都)
陶説 522 藤慶之
上村松園・松篁・淳之展 3, 8—21
近鉄(京都)
新美術新聞 760
三人の巨匠たち展—御舟・古径・土
牛 9, 7—10, 27 山種美術館
新美術新聞 775
朝日夕刊 9, 12 鶴田汀
産経夕刊 10, 4 沢沢和彦
「現代彫刻の展望」展—具象の新しい
流れ(三木俊治、関正司、鷹尾俊
一) 6, 7—11, 4 美々原高原美
術館
ギャラリー(月刊) 138

産経 6, 13 山岸孝彦
産経 7, 14 松村寿雄
素描の世界展—宮本三郎・高光一也
・南政善— 11, 22—12, 24 石
川県立美術館
石川県立美術館だより 158
矢崎虎夫・有賀敏子・矢崎健司親子
三代展 7, 20—11, 24 蓼科高
原美術館(矢崎虎夫記念館)
新美術新聞 772

団体展

—陽展42回 9, 19—10, 3 東京都
美術館
新美術新聞 780 ワシオ・トシ
ヒコ
美術の窓 161 高山淳
1996 —陽展
出品目録(会員)

絵画

無色の色シリーズ=螺
旋空間 北山 泰斗
Black Space in
—かたち— 棚瀬 修次
SPACE “旅立ち” 坪井 正光
母と木馬の子 上田 春雄
コレクション・ふた
つのつもり 大場 吉美
人と物(Das Etwas) 土嶋 敏男
迷いの時空XVIII 石川三知代
塊—足ることを知る—
fusion(融合) 浮田 正樹
小畑 恭子
THE SKY NO ONE
SAW—水のアラベスク 小松富士子
プラトーの終焉 硯川 秀人
夢の中から(basket
ball?!) 須田 良雄
連 関 高井 知乗
橋 高岡 徹
THROW AWAY
TOKYO 畠中 陽一
夏 夢(光彩) 安田 淳
風化する情景<RE-
LATION>—96 佐野 儀雄
偽りの青空—RUSH
HOUR 森 秀雄
宇宙急行'96 沢 オイ
風 紋—9608 谷岡 久
過ぎゆく季節の中で 飯田 庸夫
微光の街 岡田 弥生
「鳥 — '96」 国重 陽子

不在の裏側-DOWN BURST	末田 光一	屋台とホームレス	岩永 勝彦	白 神 凍 晴	渡辺喜久蔵
プレステージ(虹)	杉山 汎	Hy-Land "廃乱土"	川辺 嘉章	金沢・尾山神社	石崎 義政
'96 黒の構図	洲崎 幸七	伊豆の漁港	栗原 知美	線 跡	安藤 節雄
華一祭(モナドシリーズ)	谷口あつ子	イエローオキサイドな気分(万華鏡シリーズ)	島本 芳伸	ナルシス96-7	市橋 哲夫
21世紀の映像	月見里 茂	不 安	高橋 和夫	胎動(変化するもの)	神崎 元志
トレドの便り	山田 忠	跡 炎 道	田島 正子	Space-'96風とひと	久保田正剛
福島空港俯瞰1996年4月28日	五十嵐二郎	黙示録'96-2	新井田捨策	ハート 9684-インビジブルへ	後藤 泰洋
透明なる炎	勝 一晃	風 景-'96	萩中 幸雄	休 日	下村 沖雄
ティチーノ寸景(スイス)	田辺栄次郎	晩鐘聞える港	長谷川清晴	無 機 有 機	鈴木 雅弘
チャレンジング エンジェルズ	萩原 光観	流れコンプ	水谷喜美子	海のうた-NOTO-	野中未知子
雲の旋律	角 美貴子	河畔TOULOUSE	大石可久也	潮騒のミロンガ'96 "想いの届く日"	森嶋南風子
刻	垂衣 千里	残 雪・新 緑	小川 哲郎	蒼白き馬(6・AUG. 96)	山内 美宏
五月の庭	宇野富美代	烟 霞 婉 雲	萩原 宗晃	夕 風(佐渡)	山貝 芳枝
ENCOUNTER	加須屋万美	静 かな 海	田所 満雄	旅	糸山 文子
少年と鳥と	金子 孝子	連絡船と機関車	神門 四郎	忘れかけた風景	奥谷 卓則
オンフルールの港	斉藤 茂	し お さ い	鶴田 猛	虹 の 日	熊田 藤作
遠 い 日	白石 寛子	福 浦 の 巖 門	中村 秀雄	水の王国'96	古曾 成樹
犬と遊ぶ少年	頼田 室子	回 想	安達 弘章	ある風景・31	酒井 幸雄
窓 辺	中嶋 鉦子	彩 る 大 地	碓田 順彦	作品'96-8「information」	生地 太久
浄 閑 寺	中島 マミ	海のある街	神部 修成	お て だ ま	鈴木 武樹
カルカータの門	秀島 有子	天上湖(白山)	小林 源次	WALL(波動の景)	竹村 晴夫
樹 間	堀内 千里	薫 風	松下 絹子	フォックス フェイス	田崎 徹
花のベネチアNo.7	湯浅 豊子	北 駅(パリ)	三阪 雅彦	棄 の 地	平田 慎一
水泡幻想	吉田佳意子	黒 白 96	吉川 俊夫	遊 牧 の 人	府川 貢
修験道の峯々	(故)衣笠 省三	通り雨SICILIA	渡部 貢	回帰する風景	福家 省三
竜 飛 崎	(故)澤田正太郎	僕たちの将来-重い雲-	鈴木 力	止 る 足	松村 一夫
新野の雪まつり	伊藤 公二	遠 い 日	館野 弘	風化の軌道(薬害)	やまぐちかずお
夜の食卓	菊池 豊	樹化-Purification-	浜田 清	道 標	雨宮 達男
交河故城	木村 保夫	暮 色	泉谷 淑夫	刻 の 詩	石塚 博
窓 '96	国見 縫子	道化の刻「虚実」	久保 幸夫	漂 泊	岡村 順一
刻の流れ(回想)	斉藤 孝利	構 想(gear)	小島 鐵男	森 の 詩	河井 一郎
オホックに一番近い駅	白川 晃	戸のある風景	杉山 司	仮面の輩が難民を生む	神林 茂
HISTORY	中田 實	ノルウェイの森 IV	玉田 健二	河 童	佐伯 武彦
光る樹	幡谷フミコ	跡	嶋田 喜美	茫	塩川 慧子
エゲルの広場(ハンガリー)	宮口 観	空を巡る('96)	中村 昭子	パリダンス	スマルモ
SCRIBBLE	与儀 達治	絵 馬 堂	平賀 正勝	獅子頭(祭日九六八)	田中 繁雄
蘇 生	佐川 文子	聖 家 族 シ リ ーズ 「Happiness-II」	細川 尚	石 の 街	玉川 浩
花 の 宴	佐久川 圀	緩やかな刻	岬 和男	六月の花嫁(メイクイン)	富樫 貢平
マジョーレ湖の祭	高橋栄二郎	街 角	吉田 光雄	晩 照	判 三教
風	塚崎もとえ	枯 木 林	市川 裕康	あわびとるな	穂井田日出磨
春のリンゴ園	対馬久世喜	奏	江川 光信	八ヶ岳と松原湖(シリーズ信州の山と湖)	垣内カツアキ
ブレナム パレス	辻本 光彦	大 地 - 夢 幻	大川きよ子	想	中沢 蓉子
まつり	土井 稔	流 木	小木曾雅子	作 品 96-A	中嶋 強
帰 港	平野 正毅	ローマへの想い	佐々木吾郎	積 石(化)	宮 春王
1996 - winter	阿部 知暁	母 子(Spring)	宿沢 浩		
		雲 と 草 原	中嶋美瑛子		
		イベリヤの窓	水谷 仁美		
		都 会 の 花	森田多美子		
			八重垣逸郎		

彫刻

内面的エネルギー 96
—4
痕 跡
猫のいる風景II
夏の夜 II
彷徨 96
作品 '96 時空
森のかたち
I グループ
眺
鉄—空なるものNo.1
Rush and away
天 空
風 の 笛
空 中 泳 法
ブ ッ ダ の 背 中
~atom~
猫のいる風景I
風 の 像
郷 露—II
じゅんれい者・岬
TRIPTYCH
強い意志を持った男の
顔
追 憶(A)
鳥 と 語 る
沃野からのメッセージ
…不安
粧 う
陽 光
ひ び き
たわむれNo.5
HARUKA
イズミールの風
華 '96
藍
風にのって しゃぼん
玉
蹲踞する象と人
UNITY'96—2
黎明期 V
白雲 不 尽
殻
坐 像
VOYAGEII
破 船(A)
ドーゼ その愛と力…
ガウディ

森島 昭道
小池 郁男
高嶋 文彦
伊藤 正人
石黒 晋
太田 清
小林 一夫
小林 達也
張 子隆
土屋 瑞穂
八木ヨシオ
渡会 意士
今 英男
中村 義孝
松井 勅尚
高嶋 文彦
三輪 乙彦
六崎 敏光
今井田一己
内田 英
滝川 鯉吉
植木 力
山崎 猛
佐々木英夫
小田部 実
岩澤 勇
吉田 英智
阿部 雪子
植木 舜一
津野 充聡
谷津喜美代
小宅 淑子
関野 初代
登坂 真澄
松本 進
内田 源一
高木 和文
大和田正人
渡辺 勝彦
石黒 功
有賀 典子
小山 重之
中堀 嘉雄

版画

名駒海岸の島の娘達 野間 傳治
幻の森を抜けて—I 大森 澤
—B
菜の花まつり 田中 正秋
真珠の海(26) 中西 俊佳
樟 椽 古川 晶弘
—水会展58回 9. 19—10. 3 東京
都美術館
新美術新聞 780 ワシオ・トシ
ヒコ
美術の窓 161 高山淳
出品目録(会員)
車 椅子 若林 利重
雨 上 が り 吉崎 道治
踊 る る 藤島 獎
お そ い 夏 筒井 広道
青 い 家 中谷 龍一
備 讀 瀬 戸 尾崎 正章
出 現 爺 が 岳 田中 春弥
館 の 中 庭 大津 鎮雄
青 春 中畑 岬人
みちのくの子供達 近岡善次郎
庭 園 に て 本山 唯雄
回想のふたり 山名 将夫
奏 宴 北村 巖
崖 の 街 齋藤 政一
早 乙 女 達 吉野谷幸重
静 物 田中 義昭
征ちゃんと機関車 寺井力三郎
霧 多 布 の 浜 小川 游
滝と若者達のコンポジ 小林 哲夫
ション(溪声山色)
教会のある村落(ス 井戸 三郎
ペイン)
赤いチュチュ 寺井 重三
過ぎし夏の日 菱田 義宣
パリの蚤の市'96 越後島 進
朝霧の白馬山麓 (故)金丸 直衛
冬暖の堀割 川村 親光
有 明 海 三浦 俊輔
敷 原 出 口 (故)木下 義謙
ブダベストの屋根 //
新 緑 の 丘 廣瀬 功
ロワールの古城(ラ 小泉 元生
ンジエ)
湖 北 栗林 忠男
古いアコーデオン 阪本 勝則
思い出のアトリエ 加藤 一豊
武甲山浅春 浅見 嘉正
夏 の 巴 里 皆吉 志郎

中秋西の京
カステル・サード(伊)
海 へ の 道
中 学 生
りんごの花咲く頃
ラメイ街の風景
里 山 の 春
石 鎚 山 ・ 五 月
修道院の見える風景
海 の 静 物
赤いチャイナドレス
旅 人 行 路
雪 の 工 場
盛花のある静物
ゴードーの眺め(南仏)
何処へいく臨海副都心
計画
網干場の少年達
枯花のある卓上
ひと休みくパリ>
ひ と と き
幻 聴
グラナダ郊外
ビーチのテラス
水門の辺り(オランダ)
雪残る採石山
七 月
窠 場 風 景
黒森考—牛門
埋立地の冬
だんそう山黎明
昼 下 り
桑 を 解 く
山 湖 の 畔
夏のコノス島
裸 婦
アルプスの山々
雪中飛驒路
過ぎ去る街
寂
晩秋の比企丘陵
春 眺
茅 葺 きの 門
春 待 つ 木 立
戸 口 の 人
花 と 睡 蓮
寺 の ある 丘
溪声—赤目溪谷—
君の顔が見えない
雪の善光寺

森下 喜文
鈴木 益躬
奥田 憲三
川上 一巳
三橋 文雄
元川嘉津美
篠原 昭登
越智 節昇
辰巳 文一
白濁 吉堯
池田 清明
前田 正夫
岩館 知義
杉森企観明
寺井 徹
藤浪 成喜
水田 隆釋
吉本 義夫
坂元 淑晃
津田 盛夫
相馬 順子
宮原 麗子
千葉福太郎
丹羽 章
小島 義明
佐藤 道雄
兼松 寛
さきやあきら
武藤 初雄
西川 信一
白石 俊雄
柴岡 寛保
山田嘉一郎
端名 清
弦田英太郎
山川 義夫
若宮 匠
玉虫 良次
鍵主 恭夫
稲原 吉男
瀧野 孝
竹内 徹
上原 文丸
久富 邦夫
松岡 貞子
石沢 清
栗本 一郎
村山 陽
鈴木 正紀

ソテツ達(眺望・桜島)の借景
塩田 隆
'96夏・アジアのおおりの
休息(カーニバル)
過ぎゆく夏の思い出
アッジジ
粉殻を焚く白山の麓
秋 嶺
奥信濃遅春
収穫
妖精の季節
ひまわり
冬のひととき
ひとと休み(パレーの少女)
天正川温む頃
ひととき
シャルトル風景
白い海
憩う
少女
午後のサンポール
雨あがりのエル・ロシオ
新木場
川筋
デルフト
パザールの午後
閑汀寂夕
パレリーナ
望郷
黒の衣裳
暖日
大日如来磨崖仏
梅花の頃
波切の丘
院展81回 9. 1-16 東京都美術館
新美術新聞 788 ワシオ・トシ
ヒコ
美術の窓 161 高山淳
日経 9. 10 宝玉正彦
出品目録(同人)
面構(雪舟) 片岡 球子
眼科 真野 満
残照 今野 忠一
妙義錦秋 福王寺法林
夜明け 郷倉 和子
春園 塩出 英雄

平和の祈りーサラエボ
戦跡ー
流々
暁の祈り
巴里
知床早春
赤穂の灯(浅野内匠頭の妻)
セーヌ月
生月
緑風浄瑠璃寺
薬師如来と十二神将
僧親鸞
西域山河
出会・ニヶ月
月明(ナイアガラ)
阿修羅
出港
洗礼
潮騒
波洗
螢(二)
春濤(樹海)
那智
0℃
南国の花
行動展51回 9. 1-16 東京都美術館
新美術新聞 778 ワシオ・トシ
ヒコ
美術の窓 161 高山淳
日経 9. 9 宝玉正彦
出品目録(会員)
絵画
愚者からのメッセージ 渥美 尚周
慈思図'96 跡部 高染
“何処へ行くの?” 阿部 直昭
飯炊き 阿部 平臣
いのちのパーカッション 池田 茂雄
流動・響 伊藤 聡
生刻 12 伊藤 友七
土の華-96 井上 仁
祖父のたまご 猪爪 彦一
虚構 岩崎 久雄
古い谷と新しい風 江見 絹子
舞・翔・風 柴村 健史
elegnt 大門 清次
カッパドキヤ暁春 大熊 峻
花実いろ華扇面 大谷 哲生
歌留多(を)

平山 郁夫
莊司 福
岡本彌壽子
松尾 敏男
後藤 純男
守屋多々志
下田 義寛
小山 硬
鎌倉 秀雄
月岡 榮貴
長谷川青澄
福井 爽人
伊藤 彰耳
松本 哲男
関口 正男
田淵 俊夫
山中 雪人
那波多日功一
手塚 雄二
福王寺一彦
梅原 幸雄
清水 達三
宮廻 正明
菊川三織子
315
「海 峡」
人 たち
「女たち」……連
丹 碑
断 碑
アポアブ
THE WALL
“Main Stream:
type D.”
LANDSCAPE'96-7 神尾 吉夫
メモランダム'96げじ
げじ虫だ! 河合 祐司
飢える 神田 一明
線の気韻1996-10 菊地 武彦
午後のカボチャ畑 岸本 裕躬
五稜星 木村 良
魔性の女'96作品0130 河内 馨子
黄色い男 小杉 義武
气流 96-7 児玉 成弘
黒の協奏譜'96 近堂 隆志
祈り(孔雀来迎図) 近藤 直行
反射率39%の重複
視-ウィウィラ
(水の湧いている所) 近藤 大志
不 安 後藤隆平伊
P. WORK 23M200791 斎藤 幸子
SPACE IN B. '96 笹瀬 悦子
Johmon & Yayoi 佐藤 定
朝焼の海峡 三箇 一郎
Q室・某日'96 下高原千歳
旅芸人の唄・畑瀬幻想 下平 武敏
乾いた海'96 角 護
アッジジ追想 高井 寛二
種子の花 高井 道夫
午後の冥想'96一鳳 高木 岩義
雨神の詩 高田 光治
邑(むら) 高橋 清
ある群像'96 高橋三加子
時の狭間 高安 醇
森から KOMOREBI 滝川 英明
はるがきた 竹内 一
彫刻のある風景C= 竹内 豊
札幌芸術の森 竹村 皓子
大地の響 田中 茂生
天空ーベガとアルタイ
ルとデネブ 田中 徳喜
こわされた空 田中 稔之
CONTRAST 赤と緑 田中 洋実
to Hor '96-6 田中 正巳
光降る大地 田中 勇次郎
画 室

平成8年美術展覧会(団体展)

格子の中	辻 親造	跡('95-08)	守谷 史男	箱	谷口 義人
天神祭	辻 司	西行桜・春死なん	矢野喜久男	芽	辻 弘
ふるさとよ	辻 好子	KAN-'96	山口 実	SKY(交差する気)	常松 大純
ひろがりの空間	戸田あや子	哄笑或いは慟哭	山田 祥三	Aの記憶	坪井 勝人
青の上の形'96(門)	富浦 静男	新雪 大山	山本 朔士	空 <small>(う)</small> にかける階段'96-	富樫 実
浮 島	外山ムツ子	夢 海	山本 博康	XX	
シエリト・リンド・マリン	中右 瑛	都市計画	矢元 政行	晴 れ 間	戸津 侃
妙 適	中路 達也	Trillium	吉井 爽子	展開する立方体IV	富田 真平
波 動	中島 弘	位相'96~立入禁止C	吉川 家永	PORQUEROLLES	富松 幹夫
四角と波のある風景	中島 裕	黒 い 道	吉野 順夫	(ボルケロール島)	
青 玄 魂	中田 幸夫	平成戯画一舞い舞いつぶろ	吉松 陽子	"Once #9609"	
白い太陽がある	仲谷 孝夫	六月の田園 (故)向井 潤吉		水	新名 隆男
花 の 柱	永井 珪子	砂の兵士 (故)難波香久三		もうひとつの	西川 吉彦
柳紫舞う日(中国龍門石窟)	永井 保	彫 刻		プラン'96「気」	
2 K 3	長縄 等	愛のきづな	生島 豊昭	大きな薬草	西山 三郎
望郷の窓	新田 公彰	時 空 ・ 107	石井 厚生	中間航路 Ocean	能勢孝二郎
('96-9-1)		THE SERIES OF WORDS	石黒 鏞二	Coulor Sean	
万座温泉	祢宜 吉子	文化への	板谷 真吾	跡地計画II	能勢 裕子
風景(六曲一隻の一部)	根本 忠緒	"イロニー'96"	井上平八郎	クライス・ショット	長谷川 栄
一 黙 鐘	野尻 弘	太 陽 に『双』	井下 俊作	道 祖 神	馬場 美文
紋黄蝶の追憶	野田 勲	A MESSAGE TO THE EARTH	岩城 信嘉	シカクイ カタチ	林 宜子
蟹 気 楼	橋本 克豊	UCHINAD 1996.8.1	内田 栄信	魔術師の変貌-'96	藤庭 賢一
告 知'96	畑 千秋	1996-交	内田 晴之	CELL II	藤本 幹夫
九月の空はことさら虚ろなままだ	畑中 優	静止する形'96-1	恵村 正夫	浮遊態「存在」	本郷 宣彦
象'96	早坂 貞彦	春よこいこい	太田 正恒	不思議な生物	松井 孝夫
武雄温泉(憩う女)	廣島 巖	環-VI	大槻 孝之	アンテナII	松岡 阜
石 紋(環)	深見 隆	気 化	翁 観二	風景の環	松永 勉
証言'96-C-8	藤井考次朗	塔からの記憶-'96	風間 大輪	廃 市'96	松本 雅之
赤い大地に立つ漁夫	藤崎 恒頼	発掘されたメッセージ	岸辺 隆雄	1996 ・ 夏	向井 良吉
Message Sep. '96	藤田 豊	エア・スプレーー都市の風景-5/1	北田 孝之	「ふ-IV-'96-い」	村井 和夫
建物の構図	星野 和雄	<車輪石>のような形	木下 宏	流	村井 浩
破 断 層	保地 謹哉	発生 '96-4	小井土 満	ETHNIC VI-VIII	村上 泰造
道	堀 研	アメンホテプの行先へ	小門 光男	人 格 III	八柳 尚樹
コスモスの庭	本田 義夫	視 る	小谷 謙	雲上物語-'96	安松 洋子
仮面シリーズXII-5-'96-9(3)	前田 悦子	破 断	小林陸一郎	存在と展開	藪内 弘
作品-96-NAD	松川 英俊	旅 人 の 碑	斉藤 徹	PLANET	山本 英行
装-'96-7	松田 利昭	天壤"あめつち"	サナダサダヲ	起 源	湯村 光
生きるものたち	松原 政祐	足 音 II	塩見 哲郎	作品 W-V	横田 通
影 か ら	丸林 時郎	記憶の風塞	篠井 欽治	光風会展82回 4.7-21 東京都美術館	
illusion (TOLEDO)	南 和好	孫	白井謙二郎	出品目録(会員)	
海に行く小道	三芳 悌吉	山 彦	進藤 裕	絵 画	
空をとぶはなし……	村岡 顕美	「風の吹くままに」	高橋勇一郎	鷹 舞 う 港	高橋規矩治郎
MOHAMMAD EUNUS (モハンマド エヌス)		都市の残像	多田 千明	漁 村	守長 雄喜
IN QUEST OF PEACE		樹 魂	建昌 覚造	エベソ人への手紙	伊牟田経正
Sans titne 1996	森 康次	PILED CUP・2	田中 栄作	瀬戸内回想	金山 桂子
記憶の道	森下 良一	MA・96	田中 太郎	群 落	鶴飼 幸雄
		ト ゲ ト ゲ		粧 う	寺島 龍一
				西 域 記	篠崎 輝夫
				レダと白鳥	時田 幸彦
				利 尻 の 月	西田 亨

遊 鶏
 選 近
 土 神と狐
 画 室の二人
 アトリエにある棚
 赤 の 黙 示
 椅 子 と 男
 水 辺
 青 春
 明日は……。
 イスタンブール青のオ
 マージュ
 耽 読
 読 谷
 敵 冬 陽 淡 く
 群 い 音
 白 村 一 隅
 漁 村 刻
 実 験 室・木馬
 家 族 と 心
 放 溝 帯
 厨 人形の居る階段
 北 の 浜
 光・上から
 魚と鳥かご
 沈黙のカオス
 巢 立 つ 頃
 沢 渡 残 雪
 冬 木 フ
 ラ 残 雪
 残 雪
 タイトロープの下
 で
 溪 仔 牛
 馬 を ひ く
 路 丘
 春 暁
 ひ と と き
 機 織
 よ ろ い
 プリマヴェーラ
 エリカの花咲く頃
 無 花 果
 地 中 海 の 町
 「カニ」加工場

清原 啓一
 樽松 正利
 西岡 義一
 竹久 秀樹
 寺坂 公雄
 安元 亮祐
 長谷川 侑
 松本 昇
 稲岳 嘉敏
 薬本 武則
 桑原 富一
 藤森 兼明
 西山 松生
 三浦 泉
 根岸 右司
 佐川 忠金
 杉山 吉伸
 青木 廣光
 佐々木寅夫
 渡辺 晋
 遠藤 原三
 長井 功
 筒井 博
 黒田 頼綱
 西村 満
 三宅 次郎
 (故)矢野 馨
 梅村 道子
 桐生 照子
 溝江 勘二
 山下 忠平
 (故)村岡 平蔵
 飯田 弥生
 (故)小山 宇司
 保々 正夫
 長谷川金一
 永井 昭一
 大谷 喜男
 小林 辰也
 青柳 敏夫
 浅野 昇三
 東 嘉美
 寺坂 行雄
 佐藤 淳
 羽生 智樹
 伊藤 孟
 大附 晋
 柏野 敦子

雪 の 峡 谷
 調 べ
 午 後 の 静 寂
 コロと童児
 漁 夫
 世 間 話
 裸 婦
 風 を 聴 く
 雪 ひ か る
 丘 の 上
 炉 ば た
 北 の 浜
 天使アラエル
 白 い 遺 跡
 ひ ま わ り
 卓 上 の 椿
 ナーガの旅
 回 想
 生 き る
 中国辺境(陽関)
 武蔵野早春
 工 場 街
 北のセメント工場
 午後 の 休 息
 網
 出 を 待 つ
 聖 家 族 (望 郷)
 遠 州 頌
 室 内 記
 旅 日 記
 北 野 士
 楽 土
 山 間 の 集 落
 雪 の 工 場
 NEXT
 荷頃薬師新雪
 朝 の 庭
 室 内
 彫刻のある部屋
 陶 土 ・ 雪
 タンクのある風景
 雪 の 街
 静 物
 シャルルマーニュの物
 語
 待 つ 女
 岳 稜 追 想 II
 風 花
 壁
 フルートを吹く

新井 清永
 横尾 正夫
 町田 博文
 目黒 三雄
 田中 基之
 米満大九郎
 坂本 直
 篠田ますい
 大橋 廣治
 富田 久嗣
 池山 阿有
 迫田 嘉弘
 千田 豊
 大島 和子
 吉田 光慶
 山本 展三
 本間 ケイ
 村瀬 清一
 豊田 信也
 小林 窈子
 木村 浩
 青木 貴次
 石川 吉郎
 粕谷 邦男
 高城 忠男
 石田 精吾
 泉 湍津子
 太佐寿一郎
 狩野 英喜
 岡野 靖夫
 山本 員之
 輪違 宜和
 青柳健三郎
 近藤壽一郎
 山辺みちよ
 瀧澤 徳
 根岸 秀雄
 森本 博子
 伊藤 正規
 堀 勉
 小倉 定子
 梶井 春雄
 廣井 邦一
 日野 功
 志鳥 堯人
 青木 正子
 酒井 英安
 宇佐美敏男
 金子仁三郎

追 憶
 漁港ブルトン
 遠い国からの贈物
 静 物
 獅 子 舞
 カタルーニャの松
 ふ た り
 聖 堂
 久 能 の 秋
 朝 陽 さ す 港
 待 春
 嵐 山 緑
 立 つ 人
 サーカスの馬
 ポカラ・ネパール
 卓 上 の 静 物
 昼 さ が り
 小 春 を 待 つ
 二 人
 惜 春
 雪 の 日
 浮 き 雲
 は に わ
 ミラノ初冬
 いぬの凶
 晩 夏
 母 と 子
 はるかなる視線
 サザン・ウインズ
 魚 譜
 松 ・ 灼 照
 tontoのカーニバル
 分 身
 '96 セロ 弾 き
 コタン・コロ
 落 日
 翳 り
 藤咲く丘(牛窓)
 午 前 の 静 物
 朝 市
 早 春 の 大 山
 花のある静物
 唯 心
 リスボンの丘
 曳 杖
 ひ と と き
 大 和 の 古 寺
 山 の 湖
 休 息

西田藤三郎
 村山 俊夫
 小出 賀子
 能勢登美子
 境 勝美
 谷 昭二
 柏木 信博
 南寿 敏夫
 佐伯喜三郎
 小柳 晟
 田辺 弘
 岩田 順三
 矢沢 功
 大東 正一
 三村 賢治
 阿部 和美
 寺田 洋祐
 岡 喜八郎
 久山 章
 本間美智子
 細川 紘關
 松本 正人
 菊地 稔
 宮内 禎子
 織田 恭一
 尾崎 幸子
 野崎 義典
 小林藤四郎
 上垣 和子
 山口 孝子
 吉原 修
 井田 重男
 森 勇
 西出 緑
 小森 俊顕
 中野 雅友
 小寺 明子
 橘 三紀
 坂手 得二
 中沢毅太郎
 加藤 直子
 安東 尚文
 森本 洋
 鈴木 淑江
 小川 松寿
 伊藤 靖夫
 (故)守屋 千之
 萩原万寿吉
 永田 精二
 中村 剛

平成8年美術展覧会(団体展)

惜秋長坂	矢野雅章	奏でる二人	益山英吾	中庭	川端謹次
丘の町	中村一雄	夜明け「武者」	原田正義	夜明け(ヒマラヤ)	井口啓
市場ノ人	竹石保文	心模様	福田あさ子	河岸の製陶工場	渡辺一美
池畔	山之内弘	網と船	小保方清	網代のイカ干し	門脇博光
淡路人形(雷神)	(故)兼行武四郎	山陰'96・A	福島隆寿	フォルトゥーナ・ボスニア	金井恵子
白い部屋	伊藤芳子	鳥と老人	河内文夫	初冠雪	小野雅生
男とロボ	(故)富川潤一	紅いカチューシャ	渡辺裕公	鶴	石田克彦
古い城と花の人形	(故)黒田久美子	巖島'96悠	北田和広	同居の家	高山始
カマレ朝風	中村次雄	海一'96	二宮勝憲	早春	森喜久雄
ギリシャ神話	土橋豊	工芸	松浦春子	天使の装い	島戸繁
雪の湖畔	山本満	草籠	田ノ岡鉄一	水族館	角田耿一
国の栖	(故)石田茂嗣	瀧	東惠美	海沿いの街	三好義章
静物	(故)熊沢欽三	春の陽	岡崎金蔵	高架橋の通る街	植原利光
チャドルをまとう女	橋本百合子	北帰行	林博史	古世幻影	北沢昭男
夕陽	河本和子	早春	山本彪一	休む	神保孝夫
鳥の壁と女	南巖衛	バリ風景(セーブルにて)	山近義人	如月の文珠堂	磯部道孝
コントロールダンス	杉浦隆	女と貝がら	村上莫章	アネモネ	千名恒
カップドキヤ(トルコ)	平井俊男	赤と白のバラット	松浦巖	港	藤井軍三郎
路上にたたずむ	野中弘士	残された浜(一隅)	村上隆雄	早春の梅林	津田克己
カーニバルの幻想	谷晶子	春陰	松崎源義	鉄路の人	石田整昭
少憩の庭	青山一光	横笛	石黒恭子	棧橋の朝	千原成一
島の山畑	荒川節	窓辺の扇	待井仁孜	早春	小泉政孝
お四国さん	守谷幸茂	橋の近く	市丸吉春	少憩(M夫人)	山尾平
オルキデアス	桐野江節雄	ポーズする裸婦	加藤一郎	ケースのある洋装店	福谷光麿
午後の映光	原田たかし	T子先生	早川満義	庭	成田浩子
南の思い出	竹沢基	鎮守の杜	中岡一二	護法千年	増田英吉
耳飾りの裸婦	天野文作	立山遠望	高倉重郎	流影一(渡り)	本多京
白いコート	若林稔	木と紙の家	鷺田重郎	春雪	児玉嶺
放牧	幸島重雄	春潮	中川吉次郎	海原	反町博彦
佇む道化	阪倉宜暢	立像	鳥居昇	絵馬のある部屋	渋木昭五郎
室内裸女	辻村八五郎	春近し	藤原融	小春日	富岡忠夫
ニースの松	藤本東一良	温室のプーゲンビレヤ	野平上	河畔	横山好
たてしな山	田村一男	に囲まれて	瀬島勝興	浜波太	喜多善三郎
橋のある集落	渡邊武夫	腹	高橋俊子	河沿い	川名満
イラクリオン	小川博史	レッスン場にて	新井康須雄	菖	佐野稔
ヴィオロニスト	庄司栄吉	モレーの路地	長岡吾郎	作北の冬'96	杉浦鐸夫
晩冬	辻朗	船のある風景	堀井健美	人の道を訓える	権田直良
幕間	浅井光男	待春	桜川洋子	鯉のぼり	山本虎雄
ランス大聖堂	石川實	2nd Fl.	山本宣子	梅雨の頃	鳥屋尾孝吉
追想	田中実	カラコルム追想	鶴房健蔵	岩のり採り(能登)	佐藤房子
オレンジのパティオ	高木博道	冬の遊園地	柴田祐司	ある女	川村嘉久
北の街	高木信二	花ごころ	中島明子	陶器店	熊部健治
アトリエ	小菅章雄	アンセリウムと女	社河内綾子	南国の神々	宮崎淳
人形とランプ	小高博	夏の終り	田辺宏	冬深む	安部武
小さな漁港	清水優	三島春駒祭り	森清彦	岬	石井實
語り	大野みつ子	日石寺不動明王座像	若杉若菜	婦人像	林泰二
まつり	平岡秀樹	一休み	魚森貞雄	婚期の娘	土井六郎
メトロ	大上敏男	巖(豪溪)	西光寺亨	夏終る	吉田富美
奈良海	福井重男	晩秋の街			松本悦子
山陰の海	日原晃				

サボテンのある遊園地
 テーブルの女
 宵のピエス
 雪の坂道
 雪の東大寺
 志摩早春
 暴風の島
 漁港閑日
 残花雲
 瑞雲
 風の通り道
 赤黒の幻影
 陽彩窓雪
 屹立
 追憶
 春・トントン
 涼風花III
 夕映え
 ILLUSION
 うきぬなわ
 宙
 エウロパの揺籃
 予兆
 好日
 降りて来ルモノ・消エ
 テ去ルモノ
 流水の詩
 公園
 赫映
 影の記憶
 夕暮のシャンボール城
 翔II
 帰翔
 ぶなの森
 灰袖晩春の里
 冬来たりなば
 山湖
 風に誘われて
 航跡
 北の旅
 揺らめく
 '96
 緑陰の径で
 太初
 早春
 黒い器

酒巻 和世
 楠見 文雄
 山根 功
 打田 幸男
 音羽 禿也
 小川 武雄
 (宇城)辺時志
 代谷 実
 藤井 栄
 オーゼ・
 プラギルメット
 土屋智恵子
 中野 忠
 南 和伸
 桂川 幸助
 古市 文子
 福田三恵子
 花房 昌子
 佐伯 道子
 餘吾 博子
 岩井 絹江
 日下部美和
 安田真紀子
 安達 順子
 今井ひさ子
 飯沢能布子
 橋詰由美子
 吉松 道子
 佐藤 紀子
 畠山三代喜
 丹下 健三
 三井 淑枝
 馬淵 諭子
 堀 友三郎
 金野 光賀
 由井 躬典
 岡部 昭
 川原 浩二
 深沢 範子
 高池 録博
 中谷あつ子
 和田 潮
 中村 矢一
 石本 愛子
 小岩 繁
 川瀬 和子
 堀口泰三郎
 片岡 宏幹
 和泉 清

岩島の春
 戦士の像(ニューギニア)
 顔萌波の函
 凜空想III
 鍛銅空想
 追冠III
 冠III
 空
 紅紫増用紙箱「不本意な転動」
 爽樹氷
 古墳幻想
 虹彩の器
 夢草子<花吹雪>
 赤い花
 セーリング
 光と風と海と
 神の使者
 LIGHT REDの屋根
 青柳 恂子
 国画会展70回 4. 23-5. 7 東京
 都美術館
 美術の窓 158 高山淳
 日経 5. 1 宝玉正彦
 出品目録(会員)
 絵画
 春のまつり (故)赤石 賢三
 鳥待月 (故)安徳 瑛
 網 (故)梅宮馨四郎
 作品 青P (故)中村孫四郎
 空の墓標 (故)野中 進
 THE GODOF
 OAK-hamori'96
 阿伊染徳美
 残波 安次富長昭
 虹の境界VI 安達 博文
 ラ・ロッシェル・マリーナ 天春 永次
 旅へのいざない 新井 延彦
 ROSE&BLUE 荒尾 武子
 SPRING 有賀 由延
 安藤 禮子
 風景
 水田シリーズより「減反」
 飯沼 一道
 蛙の演説 石井 佐一
 風の影(96-E) 石井 豊太
 大道商人 石原 宏策
 虚 石原 章吾
 伊東 浩一
 人のけしき

藤本 肇
 三橋 国民
 中野 晃嗣
 佐久間啓介
 原 松三
 米沢 久
 高橋 五郎
 羽二生隆宏
 古庵千恵子
 市瀬 真人
 菅生 均
 水内 君江
 有山 明宏
 城戸 夏男
 伊藤 忠次
 矢野明日香
 大浜なか子
 櫻井 博
 岩橋 正輝
 金丸 水明
 青柳 恂子
 東京

おめかし
 小さな運河
 休日の水族館
 黒い穴
 円環する風景
 画室より
 WILL-121
 '96-冬、樹木
 深雪奥会津
 relation-F
 ヨットハーバー
 Coleoptera-Z
 白い朝-96
 時
 ローマ・噴水広場
 コスモ・地水の象(シヨウ)
 砂の風景
 寂寥荒野
 内と外
 作品, H8-4-1
 '96 WORK-A
 風のステーション70
 悪疫
 サークスの構図
 集合(1)
 作品'96(群像)
 果物を持つ女
 バリの情景
 卓上の風景
 我々は何処へ行くのか。
 月下
 ミルキイ・ウエーイ・96-3-1
 望郷
 Flood light
 反核の操り人形
 断層-'96
 曙光
 姉弟
 ラジャスタン追想(B)
 地時
 花時計
 彼方'96-III
 Tô(闘)-Ragby
 古の夢
 彼女の空間Part 1
 45-44
 木の実をつむ人

稲垣 考二
 井上 悟
 井上八重子
 今関 一馬
 岩井 康頼
 岩尾 秀樹
 岩田 和子
 植月 正紀
 宇田要之助
 内田千代子
 浦郷 利安
 浦田 和義
 江藤 明
 蝦名 協子
 榎田 八郎
 江村 正光
 遠藤 賢
 遠藤ミマン
 大島 幸夫
 大清水咲子
 大田 洋
 太田匡臣男
 大塚 勇
 大歳 克衛
 大西 博文
 大沼 映夫
 大沼 陽子
 小原 キク
 加賀美 勤
 柏 健
 梶原 章
 金谷 雄一
 金山 晴代
 上司 ふじ
 亀井 貞雄
 川井 一義
 川村 浩章
 菊地 辰幸
 貴嶋 ユミ
 北野 隆祥
 北村 綱義
 貴堂 静栄
 木村 正
 金城 規克
 工藤 敬子
 工藤 秀策
 久保田 裕

平成8年美術展覧会(団体展)

黒い月の牧野96	栗林今朝男	碧空・景	徳弘 亜男	茶 室	大和 昭治
稲穂とれもん	小館善四郎	記憶・風景	中沢 知房	アトリエの中で	山村 博男
96-1	小林 憲治	松 韻	長野 静司	タンバラン・	山本 師朗
童女ひとり	小林 幹利	The atmosphere	西川ひろみ	ヒエロファニー-No.4	山本 美佐子
トルソ(la.Tierra)	駒込 繁芳	覗	西野 浩子	REMAINS	山本 美佐子
「人々」	齋藤 静輝	ふるさと'96	西村 駿一	南の島	山本 勇一
明りを求めて	齋藤 隆三	駿河湾	野田 好子	リフレクション	吉井 章
風景	神 美代子	仮想の平面	秦 克彦	上高地	吉田 清志
絵馬'96(過ぎ去った	坂谷 和夫	EL-ÅKHERA	幡谷 純	水汲みにゆく女達	渡辺 真利
風景の中に)		'96-3 Specimen	花田勝太郎	食べる人	和田 義彦
Cooperation	佐々木節雄	1996-I	羽生 出	版画	
画 家	佐々木 豊	躍 動	張替 正次	聖女コスラスティ (故)渡邊 禎雄	
北の痕跡	佐々木良三	黒い雨	半田 強	カ肖像	
Fight on Ice-III	佐藤喜久弥	Trigonia-'96	姫野 芳房	食卓にて	青木 鐵夫
作動する空間	佐野 晃子	聚 落	平田 勝規	午後の風をつかまえて	阿部 陽子
浮 游	塩川 高敏	「本質」の享受	廣末 勝巳	発明の途中	荒木 良子
薔薇の日々	柴田 久慶	4 Ballades'96	廣田 成生	アイコン (ICON)	アルベルト・
チャイナドレス	渋谷 円吉	湿	福井 敬一	カルベンティール	
遊園地	渋谷 利夫	南の風が吹く頃	藤岡 冷子	春の祭典 96-B	伊藤 真澄
砂の上(浜防風)	島内 きみ	人	藤田 吉香	水'96 - 1	稲垣 朱実
波うちぎわ	島田 鮎子	熱 砂	藤永 俊雄	標本図、No8 蝶	井上彌五郎
イグニッション	嶋田 員子	庭	藤村はつえ	Micro Map'96	いわたきよし
スタート	島田 章三	三つの頭部	藤本 洋文	L'anima informe	岡部 和彦
いつもの広場で	下淵冷泉子	時の景(X)	星 兼雄	9601	刑部 達雄
古里讃歌	申 相保	光の天使(母の死)	星 潔美	夜の妖精 B	園城寺建治
室内風景III	城 康夫	人 人	星 守雄	High-Speed Earth	
景('95~'96)	城福 一男	浮 游	本田 克己	[$\alpha : \theta$] 5E	金守世士夫
'96-1	菅野 充造	'96-A	前田 宏子	湖山<不二・天乃川>	川西祐三郎
Door96-7	角 迪子	第十三番目の戒め	増地 保男	楽聖モーツァルト	木村 義治
LANDSCAPE	瀬川 明甫	Composition I	町田 二郎	葡 萄	工藤 忠孝
大 地	関谷 一夫	1996年・冬	松岡 滋	街	熊谷 吾良
再 会	祖父江弘幸	縮	松野 良治	栄 光	栗山 茂
ICU・1996	高橋 美則	3月-'96	松原 武雄	古代の賦-'96-No.2	斉藤 清
寧楽月明	高橋 靖夫	Opera N '96-1	真野 岩夫	め	サイトウ良
窓 辺	高松 勝治	インシデント[再生]	三ツ山三郎	暎 - 浮 游	白鳥 勲
春	高松健太郎	輪廻転生	宮木 薫	徬 徨	鈴木 幹二
MISAKI-(青)	高山 正弘	錦 沼	宮下 直子	樹 823	世古 剛
やすらぎ	田代甚一郎	窓	宮下 実	沼の風景	角田 元美
水 差 し	田所 義信	風景(ジャンティユ)	宮田 晨哉	原風景 6-1	中西 茂幸
MEMORY(1995.	田中いっこう	花	百瀬 郷志	“時” 96	成田 光二
1.17)	谷口 晶之	シンギュラリティー: 特異点	森 芳仁	作品'96-1	長谷川安信
天使の忘れもの	多納 三勢	POETCA96-1	森田 孝夫	蝶の幻想(96-2)	平野 正房
萌'96	田宮 進	女(FORME)	森本 草介	Print 96-5	廣江 嘉郎
聖 域	千原 稔	ゲレンデ(Gelände)	矢岡 壮介	記録されぬ記憶	星野美智子
塵劫の風景	津地 威汎	冬の朝	安井 正子	風の声明	前田 政晴
遠い光景	積田 鯉士	ダビデの信仰	安富 信也	植物系'96-1	増田 陽一
航 跡	寺田栄次郎	すぎゆく刻	山口 静治	作品 9603	三村 博司
風 ン 中	寺田 和幸	くろひめの末裔	山田 晃	夏の終り	本橋 雅美
黒 髪		Parole-5-96	山寺 重子	太古からの記憶-4	芳野 太一
時の間'96-1				ポリフォニー	米倉 泰民

彫刻

ブラシコ^{ハルカ}の女
春花^{ハルカ}一夏
家^{ハルカ}族
樹下美人
記憶
洪水の夢
風の標識 No.44
春うらら
時
ある存在
渚での二人
晴れた日
幽月
甦える戦士
空間・意識・エネルギー
MIRAGE
少年の夢(No.3)
LIFE—EXISTENCE
MANHATTAN
Rhapsody
耀
空気(高原にて)
僧
白てながざる
STONE ENERGY
FIELD
潭水
彫刻家私自身の肖像
背負っている音がある
春に立つ
華のリズム
波の音
F 婦人
春・粧う
愛の原景
内界
作品 F&M
夜叉
海についての話
時間軸 —V—
佇立 No. 5
予感
る — No. 1
たたずみ
記念撮影—きのう・
きょう・あした—
Wedge 1996
ミケランジェロによる
地獄に墮る者

秋山沙走武
浅利竹清
有村辰夫
石谷孝二
猪瀬清四朗
岩崎幸之助
大成浩
大貝滝雄
大木達美
岡野裕
小川清彦
笠原鉄明
粕谷圭司
川田清
菊地伸治
菊池誠
北村善平
清武英司
古島実
小林豊
佐藤勲
佐藤健次郎
柴田善二
鈴木茂
鈴木正道
鈴木実
関谷光生
染谷英五
高橋洋
千野茂
塚田喜司郎
薦龍明
霧田清二
夏池篤
西野慎二
西村公泉
林宏
原透
堀川恭
本郷寛
本田貴侶
三島喜一
峯田敏郎
山崎哲郎
吉沢榮敏

「Al・Mg—ファクター
ラ'96—(I)」 吉村 寿夫
追憶 四田 昌二
永環—早春の章— 渡辺 忍
風の波 渡邊 利暹
「四つの風景」 薬谷 収
工芸
藍地丸紋緋 (故)柳 悦博
着物四色絞り (故)小島恵次郎
楽人
緋布「郷」 足立 靖子
紋打塩釉壺 阿部 祐工
板締緋飾布 池田 リサ
群れ 和泉 晴
型染着物 板倉真理子
すだれ花紋 稲嶺 杏子
冬木立 今井 洋子
流氷 入江すぎ枝
昂 岩上 悦子
象嵌曼珠沙華文皿 大崎 敏江
「青色黄色と白麻の注
染」 大澤美樹子
紬・着尺 太田仔至子
太陽とオリーブの島に
たそがれの訪れる頃… 大槻 圭子
飾り布 幾何文 大橋 隼雄
型染 飾り布 岡本 隆志
春の舞い 岡本 紘子
藍染木綿紋布 片野かほり
臘梅 北畠 雪子
和菓子 熊谷あかね
花祭り 熊谷もえぎ
ガンガ ジャムナ 小島 貞二
高火度スリップウェ
アー長楕円鉢 柴田 雅章
緋着物 清水 明子
紬緋着物「縞に丸文様」 清水 昌子
夏衣 祝嶺 恭子
着物 暁牡丹紬地 添田 敏子
白磁耳付壺 瀧田 項一
手稿着物 多和田淑子
着物(藍・絞り) 鶴岡 良子
追想・ハリス島 寺村 祐子
“春の歓び” 出口 晋子
梅紋 土手 武彦
鳥のいる風景 中村 裕子
根来輪花大皿 夏目 有彦
型染「群衆」 名取 敏雄
青の響 原田 麻那
壁掛 原山 雅子
染布 広瀬佐与子

山法師の道 福島 輝子
緑釉壺Green Jar 藤井 佐知
三彩釉手付壺 船木 研児
線巻き大皿 船木 俊帆
毬子 古澤万千子
トルコのメモリー 豊 仁美
神戸/2010年 堀 暉子
織部備花器 松崎 健
櫻朱漆茶櫃膳 松崎 融
藍染紋布「コロナ」 三戸部克子
ルバース・
ミヤヒラ
吟子
藍地花倉織着尺 宮平 初子
村上 窈子
柳 栄枝
柳 元悦
柳 由紀
柳 悦州
山縣百合子
山本 和子
柚木沙弥郎
吉枝紫津子
四本 貴資
綿貫 倫子
主休展32回 9. 1—16 東京都美術
館
新美術新聞 778 ワシオ・トシ
ヒコ
美術の窓 161 高山淳
日経 9. 10 宝玉正彦
出品目録(会員)
兆(きざし) 藤本 卓
出 口 橋本 礼奈
晩 餐 齊藤 望
天下りする者達の夜に
(鎮魂譜) 小野 絵麻
運河の工場 水村喜一郎
叫び 渡ヶ敷唯信
憩 泉 松井 豊
瓦礫の森 吉井 忠
水の譜 小谷 博真
机上風景 堀内 菊二
行く人 植田 寛治
粗大ゴミ 中村 輝行
夜の鼓動 森川ユキエ
のびる 小田さゆり
かたち //

平成8年美術展覧会(団体展)

景	吉江 新二	松王丸・梅丸丸・桜丸	小菅 光夫	重い季節 2	〃
森の記憶	平沢 敏雄	絵本太功記・十段目	〃	東京・深川・門仲仲町	橋本 章
流影	賀川 忠	抵抗	福田 玲子	反転の紙片とひまわり	筑波 進
ハウスのある風景	高橋 芳唯	女達の時間	中川美智夫	の在る風景	
立ッ人	西村保史郎	方舟伝説	木村 正恒	立つ男	平沢理紀夫
追憶の雪景	花原寿美恵	秋の庭へ	榎本香菜子	哀しい記憶	森 慎司
解体構想「海上」	加藤 勁	アンコール・ワット	井上 俊郎	陶土	小野 昭
夏の日	西 良三郎	抵抗	北村 尚史	夕暮れの巨人	中城 芳裕
卓上静物	森 芳雄	丘の人たち	長尾 和	通り過ぎた風景	山本 靖久
ま夏の午後	大野 五郎	(MOROCCO)	塚田 猛昭	風の回想	石井 晴子
風の景	〃	両界	奥井 章夫	丘の泉と木精たち	與志崎 朗
にて		森の変調	中島 佳子	春陽展73回	4. 23-5. 7 東京都
武甲山	磯村 敏之	切り取られる風景'96	浅野 修	美術館	
季節	大谷 達雄	都市空間(コンサート		美術の窓 158 高山淳	
私の風景-96	紺野 修司	ホール)'96-A		日経 5. 1 宝玉正彦	
駅の階段(ラッシュ)	宮崎 照雄	都市空間(コンサート		出品目録(会員)	
敗北	関戸 伸	ホール)'96-B			
像	塚田 重明	大 陸	中川奈哥子	汎	小川 洋子
'96 断章	宮武 純一	国後の見える風景	手塚 國彦	ひととき	田村 勉
過疎地帯'96-1	木村 栄治	(羅白)	見藤 瞬治	静物	山本久美子
森の静物	菊地 昇栄太	接点	返町 勝治	PANORAMA	前田 舜敏
左手のデッサン帳より	倉石 隆	波の記憶	岩見 健二	パーミリアンの絵	横山 了平
左手のデッサン帳より	〃	眩	内藤 純璋	森の日曜日	入江 観
左手のデッサン帳より	〃	たそがれ混沌	続橋 守	復活の予感	岩浪 弘
ひととき	荒木 道之	製練所跡	森田 六男	古都の藤	太田 洋三
あふれる陽光	石川 歌子	人 物	柏木 喜久子	回 転 木 馬	松下 忠
風景	小谷 良徳	'96象一しょうA	〃	ふ た り	堀内 貞明
道	田中 淳	'96象一しょうB	尾崎 平次	垂 水	和田 衛明
イベリアの旅	濱 哲郎	曼陀羅 夢想	矢野 利隆	海 日	中山 爾郎
花と老婆	前田 孝造	安 息	中嶋 修	残 光	星 俊六
休息の朝	加藤十三郎	彩事記(東海道日本橋	佐賀 勝美	朝日のあたる家	五味 秀夫
尖 塔	島田由紀子	より)	津田 益男	かげにかさなる記憶	田中 岑
トスカーナ晩秋	石川 惇一	超生時空96-I	伊勢 正史	ミラノの服	今關 鷲人
卓上と人	中西 幸司	超生時空96-II	泉 幹夫	秀 峯 富 士	羽田 裕
家族のアナロジ-	種倉 紀昭	作品NO.25 "萌"	関 晴明	追 憶	福地 敬二
長崎の思いで	菊地 長市	佐 渡	野口 義博	天 平 の 夢	関 頼武
貝がふたつ	前田 進	ふるさと一遺構に立つ	川手 吉	上貝塚の丘(III)樫と畑	秋元 恒
秋色	坂本 勇	響き合うバランス	保坂 淳	レダと白鳥	出岡 実
上富良野一富丘風景	山崎 弘	土 解	〃	花 譜	八木 伸子
木馬の風	佐野たいし	もう一つの顔	石井 義雄	戦いのまつり	田中 英明
二つの墓標	田中 朝庸	おんな	香西富士夫	スリランカの踊(AM-	市川 晃
消える	酒井 健	子 連 れ	〃	BALANGODA '96)	
ウィラルの風	入幡 三郎	ああだろう!	石井 公彦	MONUMENT	谷口 一芳
虚 空	入橋 誠滋	こうだろう!	結城 智子	(森はいづこ)	住吉 弘人
浮遊した	〃	小樽、1966年残雪	佐野 正隆	蝶	越智 誓子
軌 道	佐久間義江	楽園の寓話	小林 清繁	映った風景	
無 題	柳沢 安雄	鳥のいる築場	野本 醇	COMPUTER VIRUS	長田 昇
北の倉庫	佐藤 善勇	「'96途上の群」より		天空96A	藤井 武
北の工場	〃	放たれた鳥		HAZAMA '96	池内 登
		重い季節 1		暗い部屋	木本 晴三
				ミコノスの船	松島 治基

繫(ケイ)
 アルモロンガ
 それぞれの刻
 春 間 近
 岬
 二 匹 の 魚
 Catas trophe
 楽 人 96
 憂(LA MELANCO-
 RIA)
 ポーズとエレンダニカ
 ムルベク谷の磨崖仏
 (西ヒマラヤ・ラダッ
 ク地方)
 逆光の裸婦
 イエメンの貴婦人II
 蟹 96
 異端の果実(甲州百メ
 柿)(アフレスコ)
 花かざりをつけた不思
 議な麗人
 寓意・残された景色
 WHARF SIDE
 流 灯
 3 頭 の 馬
 醉 芙 蓉 の 詩
 12 月 の 画 架
 風 景 96
 移 動
 「内より外へ」96-I
 お化け達のカーニバル
 ある日のAさん一家
 潮 干 狩
 舟 と 人 々
 富 士 に 祈 る
 検 査 I
 母 と 子 の 構 図
 ソハラの周辺
 断 ・ 像
 プリマヴェーラ
 机 上
 か た ら い
 散 歩 道
 木 か げ
 風 景 1
 風 景 2
 朝 顔
 富 士 見 台 風 景
 農 家
 雪 の 朝
 大 山 高 原
 雲 の 中

保坂 良平
 小島 満子
 松倉 唯司
 向井 康子
 山崎 貴夫
 紺野 弘子
 増井 英
 原 省象
 滑川 秀和
 小坂 茂
 宮城 音蔵
 岸 葉子
 三吉 雅
 安喰 虎雄
 古川 清右
 大西 江二
 鈴木 春男
 水野 豊彦
 安田 和子
 宮西 詔路
 広田 揚二
 中島 勲
 杉浦 延寿
 藤瀬 泰子
 新城小波江
 片桐アキラ
 倉田 勝弘
 中野 満男
 加藤 尚
 柚木祥吉郎
 小野 和子
 山本 秀樹
 前川 鋼平
 奥田 良悦
 中村 晃子
 稲垣 宥
 積山 恭平
 大久保圭子
 “
 “
 “
 稲村 昌作
 日下昌三郎
 平田 峻三
 前田きよ子
 石田 正典
 石川 すみ

雪 の 音 に
 Mt.Rainier
 場 所
 無 言 歌
 STILL LIFE
 至高への啓示
 夢 吊
 1946 の 妄 想
 タぐれの浜
 帰巢・聖域へ
 遊
 卓上の野菜
 群像「時空の流れ」
 酪農納屋
 かぶらなど
 春 の 雪
 揖斐川畔早春
 冬の独銛山
 海辺の風景
 妙高夕映え
 残雪のある風景
 雑 木 林
 夕 影 の 刻
 新 涼 の 庭
 飛翔(ひしょう)
 春 光
 あ かい 葡 萄
 ア ト リ エ
 '96 丘
 明 け る 刻
 能ヶ谷風景
 冬の島根半島
 弧 独
 飛 び な さ い
 駒 ケ 岳
 樹 下 二 人
 ね こ や な ぎ
 果 物
 相 模 野
 鮑 採 り
 サークスの花形
 ボタラ宮
 発電貯水槽
 作 品
 アラヌトコロ
 告発された空間
 遠 雷
 両 崖 山
 ある日の午後
 静 物

北原宏太郎
 影山 捷司
 木村梨枝子
 長田 久子
 丹羽 皓夫
 東 直樹
 小林 裕児
 大石洋次郎
 佐藤 淳子
 平阪 弘
 小沢 澄子
 岩渕ケイ子
 黒田 邦裕
 三井 永一
 原田平治郎
 中村徳三郎
 上原 欽二
 杳掛 利通
 田畔 司朗
 山本 朝子
 柳沢 健
 森田 賢
 太田 義信
 永井金四郎
 水山 晴吾
 成川 雄一
 廣永 京子
 濱 實
 横尾 丈夫
 野口 淳子
 矢野 素直
 梶谷 修弘
 伊藤 繕胤
 笠木 実
 加藤 秀夫
 田辺 謙輔
 野村 千春
 小川 マリ
 小栗 哲郎
 豊泉 恵三
 長森 聡
 梅田 博之
 駒村 久弥
 棚橋 隆
 武田百合子
 彦坂 章子
 加藤 助八
 原田 和泉
 水鶏口尊昭
 杉藤 哲正

二 人
 白 夜
 序 曲
 春 待 つ 頃
 風 車 幻 想
 は る か
 月 夜
 一 隅 の 魚
 空 ・ 空 ・ 空
 調 べ
 陽 炎
 K 港 の 一 隅
 カ タ ロ ニ ヤ
 朱 の 情 景
 断 片
 カントリーダイアリー
 5月
 M と Y
 LANDSCAPE-96
 ガラス器の中に
 漂 流
 M の 街
 森 の 詩
 枯 野
 緑 陰
 婚 姻 疑 惑
 broaking the sun
 郊外生活者の憂うつ
 さりげない光景
 TWILIGHT
 作 品
 断 面
 来 訪 の 日
 道 化 者
 森 の 中
 光-(大地の呼吸)
 マカドリーム
 花
 石 鎚 山
 織 錦 大 樹
 虚 ・ 実(影)
 夢 の な ご り
 SHE LIKES GAME
 ブルーホール
 無 題1996-3
 Grip & Grip
 残 夢
 Skywards
 曇 り 日
 OVERLAP WORK

池田 輝
 古幡 安衛
 乃村 豊和
 村上 秀樹
 中沢 優子
 堀込はやお
 平井 智子
 若林 俊樹
 安田 完
 鶴居 町子
 大柿 了一
 藤井 俊一
 一瀬 茂治
 宮下まつよ
 岸 妙子
 山中真寿子
 柳田三千子
 渡邊 明
 高橋 務
 塩谷よし子
 平井 誠一
 齊藤 雅之
 小宮 英夫
 飯田 顕
 佐藤 勤
 大島由美子
 萩谷かおる
 石川 健治
 中島千香子
 池田 久典
 加藤ヒロ子
 渡辺 一夫
 浦野 吉人
 田中 康夫
 福本まさ子
 熊谷 憲和
 五十嵐美代子
 越智 雄二
 浅井礼二郎
 小山 和夫
 松本 篤
 山本 睦
 竹内 利枝
 脇田 六瓶
 安藤 宗明
 杳間 宏
 藤沼 多門
 花房このみ
 奥村 靖子

平成8年美術展覧会(団体展)

黄 貌一'96	坂田 和之	PARIS(シテ島にかかる橋)	渋谷 栄一	光 徳 沼の夏	石田 壽男
彼 方	三浦 明範	FRANCE(尖塔のある街)	"	緑 陰	"
父の昇天	峰 丘	木 立・B	武田 健夫	東 寺 初雪	関野 洋作
メモリー	宮川 洋一	悲しみの母	幸田美恵子	街の風景	行元 昭子
『レクイエム』もう開かない3月の扉	吉江 麗子	散る花の下で	"	風 景	"
版 画		境 川 IV	三井 永一	風化の光景	田中 令子
原 生	志野 和男	午後の湖	林 和一	風化する街	"
風の道	"	桜花麗映	"	白い木	府川 誠
関係考'96-1	安部 一博	浮かぶ'96-63	市川 有子	冬のいちば(全景)	大井戸百合子
関係考'96-2	"	浮かぶ'96-62	"	冬のいちば(魚屋)	"
笛を吹く少年	伊藤 龍作	FAIRY LAND 96-F	玉置 昇	朝 も や	佐々木悦子
96-02	マキツトム	祈りのとき(夕暮れに)	菱 和子	POPPY	大島 弘義
96-04	"	雪原の蜃気楼No. 1	"	自由美術展'96 10. 16-31 東京	
草花譜 No. 1	松島 順子	花咲く森	"	都美術館	
草花譜 No. 7	"	豊かなる山・II	高橋 房雄	美術の窓 162 高山淳	
MEMORY・海(96A)	柴田 昌一	あ	いし田ふみ	日経 10. 24 宝玉正彦	
MEMORY・海(96B)	"	黎 明	岡田 敬	出品目録(会員)	
大地	広田 雅久	黒 い 月	"	絵 画	
空	"	円連作の内No. 5	うえだひろし	通過地点(A)	中野 智
Division-workNo.57	浜西 勝則	百合の花	中島 白翔	通過地点(B)	"
Division-workNo.51	"	チューリップの花	"	GEOGRAPHIC	公文 淳子
My space and My Dimension-M171.	船坂 芳助	昔しの煉瓦工所	尾崎 志郎	壁 962	吉見 敏治
My space and My Dimension-M173.	"	THISTLE	大島 弘義	壁 961	"
声	由木 礼	春 だ	新井 リコ	風景の跡 A	一木 平蔵
冬の花火	"	川 辺	"	風景の跡 B	"
水の刻 2	高橋 洋	沖繩の静物	森島 勇	ソングライン	石田 貞雄
水の刻 3	"	窓辺の静物	"	去りゆく時の為に	福田 篤
渚 遠い日	島田 節子	光 景	萱 慶子	去りゆく時の為に	"
M's Garden-place A	"	風 懐	"	石 塊 二 つ	澤田 俊一
渚	加田 裕子	安 蔵 寺 山	水津 保美	白い壁に向かって	"
青 む 音	清水美三子	アダムの「りんご」	佐野 敏夫	や だ な 娘	横尾 茂
朝の風	"	静 物	三浦 次郎	重 ね る	八幡 健二
ゆらぎ	高橋 潮	こんにちは隅田川 PartII	杉山 元次	アクロバットの風景	神田 千里
白い花	"	おはよう隅田川 PartII	"	'96・9月の人	大野 修
風の音をきく	加藤ますみ	燈 台	天野 和夫	黒い太陽と器物達	赤木 幸輝
ここからの空を見る	"	春 の 花	丹阿弥丹波子	失われた太陽達	"
その心清くあれ	竹田 智美	風 の 道	"	風 景	比田井希仁
落 日	"	Wir fliegen	ヨハネスアイト	萌 芽	"
風の韻律 X	渡辺 達正	Der Anschnitt	"	D. C(ダカーボ)	ミズテツオ
卓上の風景'96	甲斐 サチ	孤 塔	橋本 潔	E. T	"
天の橋立	齋藤カオル	DR. LAO	小浦 昇	差 異 法	小澤 基弘
カトレアと蝶	"	DUO	渡会 純价	ジャワの白昼夢	川上 十郎
哥-78	伊東 槃特	坂の街(0 PORTO)	天野 和夫	メコン河(ドラゴン)	"
海の礼拝堂	五味 秀夫	絵本「マンボウ月と道化人形」	藤島 清士	ひとびと	伊藤 和子
薔薇Blue Moon.	小林ドンゲ	埴 輪 と 通 草	"	四 つ の 果 実	"
倒木更新	北岡 文雄			フォルム II	谷内 徹
ポート池	岡本 省吾			ポートレート96-3	森山 誠
斜 面	"			ドンキホーテとサンパンチョ(遺作)	井上長三郎
				歩 道(〃)	"

白 秋
ゾ ウ(遺作)
駱 駝(〃)
作 品
窓 B
愛の憂うつ(1)
デヴァターの舞II
樹 I
無 題 (2)
無 題 (3)
DATTAN-962
連
地 追憶の座標
焼 土
黒い箱のある童話
風の中の素朴な人(III)
樹
標 識
芽 立 前
埋 没 A
樹 肌
叫 ぶ
生 還 (2)
死海文書96-2
神にされた鳥
枯 蓮
Silent 96-3
存 在 96 B
ある風景'96 I
再生する形(3)
再生する形(1)
交 易 風
抵抗譜一残生
finish(A)
多次元の黄
三 美 神
胎内回帰III
永 遠 に
正 誤 表 ④
傷 痕 の 史 実
'96 作 品
変容する記憶
遺跡の生き物
胎 24
モノログ'96-B
跡形もない(I)③
自我の構図A
作 品 '96 II
牛飼いの一時

平澤 重信
清水 勇
〃
アオキスミエ
塩井 裕子
広瀬 一二
海見 久子
佐藤由喜子
石川 恵助
〃
森田 廣
丸山 武男
〃
笠松 昭吾
井戸原亮二
桜井 直子
百瀬 博
古橋眞智子
内藤マトミ
梅原たづ子
竹生 節男
武田 仁守
浜岡 源三
山崎 由佳
矢尾 芳子
西村 滋
市村 力
江原 和足
宮滝 恒雄
櫻尾 直
吉沢 信昌
〃
小林 成行
長谷部 昇
佐藤 泰子
宇都宮マリ
古田千鶴子
菅 記昭
呉 日
石田 政義
吉野 誠
池内 茂吉
古賀 政信
岡本 勝
増田 暢士
八島伊津子
平山 堯通
原口 知行
鈴木 隆弘
的場 幹英

考える人(1)
シラクの世紀末
前 感 情
Dummy '96 A
風のメッセージe
跡 A
舌 端
崩 壊 前 1
枯 れ た 森
風 景96-2
牛風景23-寄生、する
牛群一
風 景
赤 い 的
ビ エ タ
田 舎
状 況 II
変 容(B)
'96 - I 影
或 る 風 景
人 間 風 景 93
忘 失
作 品 2
'96 ・ 樹 (2)
四 角 い 顔
作 品 A
ドンキホーテを描く人
中に 96 の 8
鳶 た ち II
ピンクのお尻
'96memoryNo. 4
雨 の 日 に II
母 子 像
グリーンスペースII
森('96-3)
座 る 人(A)
何
夢 の つづき
津浪(我が児を守る) はらたはじむ
〃
岡橋 繁次
池田 和美
靈山 邦夫
太田 正明
井上 リラ
大野美代子
ニシオトミジ
高橋 靖子
大塚 博
市川 鉦次

市川 慶子
勝谷 龍亮
橋本 憲治
森内富久志
船木 昭子
板津 包信
比志 恵司
佐藤 廣子
品川 則夫
小倉勇喜男
川村 晃夫
田原 史
吉田 耳浪
小玉 育子
竹内 稔
遠 正夫
藤村 英子
赤堀 正巳
市村 力
田村 妙子
井上 一彦
平出 速雄
森 美佐子
市橋 安治
浜田 夏子
加藤 義雄
田守 正道
田茂 山実
森田 直衛
有馬 勝彦
斉藤アツコ
石川 嘉一
宇野 之雅
石井 克
石橋 弘一
三浦 照
美濃部民子
はらたはじむ
〃
岡橋 繁次
池田 和美
靈山 邦夫
太田 正明
井上 リラ
大野美代子
ニシオトミジ
高橋 靖子
大塚 博
市川 鉦次

作 品
作 品
室 内 T.F.
鳥 の 意 志
サ ン ボ
北 向 きの 窓
1996(A)
1996(B)
景 - (A)
顔
青 い 闇
無 題 3
失 な っ た も の
風 景 3
カシオペアIII
メモランダム96-I
作 品 B
触 景
道 閑 日 B
閑 日 A
佇むものたちII
異邦人96-2
悩める人の群像2
ム サ 埋 葬
地上の出来事
風 景
風 景
地 霊 '96 - 2
風 景
作 品
共 鳴 と 膠 着
伸 び た 顔
景 風96-1
死 神
ふ る さ と I
刻 96-2
耳 打 ち
空 白 の 歳 月
母 情 継 承 の 図
飛 翔 データ を 見 に 来 た
鳥
モシモシする人 I
墓 標(III)
石 浄 土 一 秤 の ある 石 船
鼓 動 III
パンのある情景
輪 血
聖 母 伝 説
犬

土器屋杏子
〃
関 正和
窪田 旦佳
沢木 鈴江
工藤 英胤
脇 正人
〃
牛尾 弘
磯部 克己
田中 秀樹
中尾 知子
〃
飯塚 貞
小野 克子
梅村美登里
佐々木美枝子
森 健
児島みつゑ
草薙 隆
〃
木村 恭己
斉藤 昇
竹中 稔量
片野 忠一
村田 知子
鈴木 節子
久田 弘
池田 一末
田所 幸一
河内 登国
近藤 白徒
宇佐見國典
関 富士夫
伊藤 零児
相澤麻里子
森谷 連
溝口 武
高 三権
奥田 紘
藤島 清平
澤田 昭英
青木 健真
宮野 浩
野口 高史
光山 茂
小間野生穂
水野利詩恵
宋 英玉

平成8年美術展覧会(団体展)

風 景	松本由紀子	あるながめ	服部 与一	白 い 轍	奈良 柱
晩 夏	西 さだ子	景 色 1	一ノ澤文夫	WORK89	額田 哲郎
花 明 かり	新村 稔	祭、行 列	福寿 一三	華 (二)	高橋エイタロー
ドリネー回想A	前田 徳	地 霊(鳥)	飯田 春行	風 土・L L	桑島 定男
百 歳 の 像	児玉 晃	黒 き 太 陽	猪俣 彪	女 の ポーズ	立川 広己
ある風景 III	亘 益慧	静 物	田島新一郎	うたかたNo. 2	末武美津子
郊 外 96	柳沢 達夫	大 地・B	川添正次郎	時のアレゴリー	田村 仁
視 る	加古マツオ	ある風景	岩井 紀子	RIN、RIN 5 A	小山 勇
腕 塔	小川 リエ	城 壁	太田 幸雄	作 品 A	毛内 義衛
古 代 か ら	斎藤 國靖	白 い 十 字 架	藤井喜久雄	封印された記憶	よろずふきこ
収 奪 の 夜 景	佐々木正芳	いのちあるもの96-2	鶴巻 俊郎	-5-	広瀬 敬
時の刻みと流れ'96	東谷 弘子	HITO (躍る)	久松 孝彦	壊	岡野久四郎
対 話	嘉屋重順子	街	村秋 木綿	往 還 A	笹賀 捨雄
会 話	井上 肇	悪いやつほどー3	小坂 格	朝 の 風	甫本 兵吉
ブッシュの上で	小作 青史	時 の 散 髪	小西 熙	く す り	大森みどり
帰ってきた漁夫	岡本 実	NAKED GAMES	岩崎垢仁彦	風 浪一A	村島 定児
黒 い 石	東宮不二夫	Bio II	棧敷一寿美	黒の試作一争い(鴉)	山本 健司
道 化 師 たち	谷本 重義	しろのかたち	寄重 弘光	ガラスの街	田垣内愛治
男 達	水出 陽平	ふれるもの	田辺 和栄	長 寿 を 祝 う	西沢 武徳
散 歩	川森 巧	個 体 断 層	名久井國男	ヒ ト	塩谷 壽久
光景、1996-4	藤本 忠彦	'96-op 2	野辺 和代	笑顔のひと2	曾布川秀夫
生 贅96-3	河野 節	時	斎藤 正三	夫婦とコウノトリ	山崎 芳直
ソレイユブラン	佐々木あゆみ	WALKING	竹内 弘	ボエジア B	玉井 敏子
遠 い 日	福田 須美	肥大するものA	高橋 秀造	入 口	友成 光臣
雫	大橋 忠幸	か お ひ と	吉見 博	TORSO I	上原 宜昭
腹 痛 の ひ と	長谷川 匠	縄文の貌96-4	伊藤 博	遠い記憶(II)	彫 刻
Debaters	藤林 叡三	縄文の貌96-5	齋藤 勤也	風 の 記 憶	川崎 文雄
朝 の 旅 人	伊藤 朝彦	タ ケ ル	中野渡みね子	軌 跡 の 器	竹股 桂
顔・顔・顔	有村 真鐵	96線の形態2	十時 良	不 化-96	安丸 信行
黒 い 大 地	大澤 啓三	地表の風96-7	坂内 義之	街 か ど	白沢 菊夫
ナガサキ・ウラカミ	井上 裕司	讀 える II	田口 厚子	す れ ち が い	近藤 鑑郎
女 ・ ゆ り	中林 三恵	'96SPACE I	島津 広二	茫 々	岡本 勝博
虚 伝 画 像 IV	高松 功	幻 華 … 108	古田由美子	ま つ り	高野 寛
虚 伝 画 像 I	山河 虹	旅 程	岩尾 善幸	サ ム ラ イ	吉村 主税
何 処 へ	今泉 忠善	失 明	西沢 滋夫	リ ポ ー ズ	伊藤 鈞
アフターイメージ606	六角 尚武	'96GAS MASK	日名子金一郎	二 人	佐野 文夫
カンナグズ飛散る中で	醍醐イサム	'96 腐 朽 III	土田 恵子	秋 日	大槻 京子
働く人	兵藤 寛司	96-8	三島 愛子	三 重 奏	松下 元昌
怒り向う猫たち	仲 隆三	96-9	林 ヒサ	旅 人(歩け歩け)	池田 宗弘
記憶の痕跡 B	多胡 宏	森 の 推 移	市川 秀光	旅 人(夏)	久村 進
病 む 果 実	山口 柚	洪 水 の 前	小倉 信一	旅 人(夏)	杉 秀行
瞑想する果実	平岡 潤	広島黒い雨より50年	山岸 千冬	一 名 も な き 子 ら の た め	横山 省三
D-GIN・I		アイリス I	上原 二郎	に	堀尾 紀之
D-GIN・II		風 景	西尾 裕	作 品 NO.55-96	小口 一也
二人と二人と		風 景 と 人	金子 笹治	あそぶ'96-2	松本 光司
ダンスする		隠 棲 する 姿	三田 耕二	生 きる と い う こ と	三島 洋人
海 鳥		奴 隸 の 死		風 の 車 ・ 96 ・ E	峯 孝
「聖三稜玻璃」より・I		キョクロブス I		風 遊	
おんなたちNO.1		風 色(B)		彫 刻 研 究 生	
逆行のファサード		忘れられた密室			

ガンバレ—老犬 ”
 膝 つ く 女 井上 信道
 晩 歌、K 垣内 治雄
 秋—'96 中谷 唯一
 葉 想 隈沼 直臣
 冷 た い 空 岡沼 淳一
 柘 榴 長谷川由美
 想 中林 雅代
 はな966(倒れて起き上がらないものがあろうか)
 ベインターの首 森 真
 蒲 公 英 古賀 隆一
 何という風 山本 辰昭
 OUTSIDE 小野田 勝
 扉の向こうで—明日を 竹本 鉄夫
 頭脳で覗く男—
 A 嬢 像 安藤 士
 風の墓標 米坂ヒデノリ
 ハゴロモドキ 井上 玲子
 カンボジア紀行 地雷 飯澤 喜七
 を踏んだ男
 叫ぶひと 宮原 茂
 カプセル 島田 忠恵
 花 NO 9 梶原 勝
 時 空(波) 阿部 忠
 張り子の虎 田島 義郎
 風の道標 中江 紀洋
 水の仮面 高橋昭五郎
 Vのかたち 大石 尚
 髪 堀田 清
 Pomeriggio 藤倉久美子
 曲 芸 師 渡部 一重
 接 兼原 啓二
 迷 い 青木 誠一
 月界からの使者No.2 中嶋 一雄
 見つめるひと 吉田 光正
 ジャが・マニュアル 板津 邦夫
 off 中川 洋
 シンザン 今西 義輝
 心 情 二森 騏
 寸 暇 佐藤 範夫
 横 の 胴 体 佐山 道知
 殻 岡村 光哲
 新制作展60回 9. 19—10. 3 東京
 都美術館
 新美術新聞 780 ワシオ・トシ
 ヒコ
 美術の窓 161 高山淳
 日経 9. 26 宝玉正彦

出品目録(会員)

絵 画
 浮いた風景 岡崎 紀
 CROSSING 桑田 道夫
 旅の思い出—ベルリン 桑原 佐吉
 の壁 高岸 昇
 月の耀(かがよ)い 田幸 稲
 不死鳥の如くに 田澤 茂
 ” 橋本 武
 民 話・村 堀越 政寿
 華 曼 茶 羅 ”
 ワ イ ン 武藤 岩雄
 ドライフラワー 飯田 四郎
 夜 会 佐藤 柳逸
 天上の詩'96 ”
 Big-land(A) 名柄 禎子
 Big-land(B) ”
 ほりわりのある街(1) 成田 真澄
 ほりわりのある街(2) ”
 山 稜 '96—A 渡辺 恂三
 山 稜 '96—B 神谷 幸子
 オギョーの松近く ”
 結 象 児嶋 義一
 赤い屋根の街(ローテンプルク) ”
 赤い屋根の街 高木 雅章
 喜 善 ”
 世紀末の Santa Maria 玉置 正敏
 化 石(魚) 安宅 礼子
 Composition A 糸田 芳雄
 Composition B ”
 秋 古茂田美津子
 レインボウ—C 近藤 茂
 レインボウ—B ”
 植 樹 デ 紺野 五郎
 ビクニック 深尾 庄介
 桐 谷 日 記 ② 古川 通泰
 桐 谷 日 記 ① ”
 時間(道)'96 有田 守成
 GOLD LEGEND 一居 孝明
 (ゲームは終わった)
 漁村片影(96—BLUE) 伊藤 昌夫
 零 度96—30 木嶋 正吾
 零 度96—31 ”
 遺 されし も の へ 木下 和
 —'96望— ”
 '96風—飄 熊沢 淑
 フレームへの構 成—96 タウンゼンド 順子

生活空間のかたち—四季の記憶 福島 誠
 い ず こ へ 麻田 浩
 土 の 賦 I 薄久保友司
 土 の 賦 II ”
 信 仰 の 時 代 XX II 太田 久
 =神います= 太田 國廣
 庭 園・映 荻 太郎
 軍馬に捧ぐ ”
 大 地 ”
 パディオの夏 亀本 信子
 メスキータに飛ぶ白い鳩 ”
 路 次 空 景 張替 真宏
 緑陰赤門(北池子小学) ”
 通り過ぎた風景 櫃田 伸也
 HORSE 蛭田 均
 オストウーニの海(プーリア) 松浦 安弘
 伊太利亞—ノート'96 (アグリジェント) 宮田 保史
 白き神の座 相原求一朗
 朝の静物 赤穴 宏
 薄明の静物 ”
 三つの椅子<女のいる風景> 石阪 春生
 雪持ちの竹 内田 武夫
 枯野集落 大國 章夫
 薄暮の刻 ”
 季(とき)の形見—夏— 福島まゆ子
 回想の運河 安保 淑子
 小さな教会 ”
 水 辺 尾崎 幸雄
 村の休息日 ”
 Figuré# 5 斎藤 正夫
 バイオリニスト 竹村 和夫
 朝 陽 の 港 野村 昭雄
 雪 室田豊四郎
 河 辺 の 移 動 ”
 午後室内 ”
 薦のある窓辺 ”
 姫路城、東北 寺戸 恒晴
 姫路城、西南 ”
 ダイアナ 服部和三郎
 鶴 と 女 ”
 秋・メディススの泉 丸山 正三
 坂の町の果物屋 ”
 もうひとつの時'96—K 稲垣 敏彦
 もうひとつの時'96—N ”
 はじめてのブラ 加藤 貞子

平成8年美術展覧会(団体展)

マジック(A)	関谷 俊彦	播磨国石宝殿	〃	化 石	丹下 寿一
マジック(B)	〃	遊 PARTII	糸田 玲子	木 に—1996	富松 孝侑
'96方舟(はこぶね)	丹羽 和子	遊 PART I	〃	舞	中井 延也
'96Babelの塔	〃	行者如水 三部作 朝	江戸 健	画家の肖像	中垣 克久
三陸の譜(時雨)	畠山 孝一	行者如水 三部作 夜	〃	終戦の歌	〃
録96—8	石田 琴次	行者如水 三部作 昼	〃	木 と 水	中島 幹夫
録96—10	〃	モンテ・チトリオより	高津 鐵朗	再	早瀬 重留
Water melon	小原 素彦	黄檗山万福寺への道	〃	記憶の空間	東山 秀誠
2001年 自転車の旅	金子 文雄	ノッリーマップによる	〃	腕を組むひと	平山 隆也
シティ・ライト	〃	形と色面の照応	〃	KEIの胸像	〃
UNTITLED	鎌田 正蔵	不安な広場(赤)	床枝 清	夏の午後	藤森 民雄
魚を食べる女	佐藤 泰生	不安な広場(青)	〃	樹の間	細谷 泰茲
ピアノと女	〃	風沙の楼閣	成瀬 光男	雨宿り	麦倉 忠彦
不定形のキャナリー	佐野 めい	〃	〃	楚	森田やす子
ノート	〃	SCHERZO	(故)若松光一郎	シャノカ(カランダ娘)	山本 恪二
ブルーノートの様式	〃	大地の歌89—A	〃	像	Dr. 北原氏像
'96 作品 A	瀬島 好正	彫刻	〃	TATSUKO	吉田 大象
'96 作品 B	〃	女の子 '96	阿部 誠一	立 像	吉田 正浪
The Founder '96新し	鶴見 雅夫	ミカ(首)	〃	夢の中に(III)	吉原 和夫
い出逢い—A	〃	蓮(レン)・96	雨宮 透	切り込まれた形'96・8	渡辺 隆根
The Founder '96新し	〃	母	〃	MEMORY	青木三四郎
い出逢い、B	〃	音 大 生	〃	小立 像	芥川 永
火まつり—鬼夜祭	中村 徳守	結 び 目	五十嵐芳三	重 積	阿部 米蔵
POSITION—96 F	成田 麻生	発 芽	〃	櫻 水 煌 峰	一色 邦彦
POSITION—96 G	〃	山 上 の 風	石川 浩	仰	伊藤礼太郎
Green Dub	西田 周司	円環のために	石松 豊秋	呼吸する石	岩間 弘
(緑色の大地)	〃	Artemis Kalliste	市川 悦也	女の首像	大桐 國光
四角と風景	山内 秀臣	Requiem	〃	石 偶	大國 丈夫
咲く花	脇田 和	日本陸上競技連盟会長	伊東 愧	アデランテ	大西 康彦
遺された壺	〃	青木半治氏像	白井 佳夫	画 家・力	〃
流れ雲	大里 光春	波に向って1996	掛井 五郎	円と方形—祭り	小田 襄
七つ星	〃	命の木	加藤 昭男	ワ・タ・シ	梶本 良衛
はるか	大住 閑子	ツタンカーメンのえん	江田 正盛	siesta	久保 制一
環状大通り	風間 完	どう豆	古川 武彦	MUDAI(I)	栗木 義夫
耕す丘	加藤金一郎	ボクの頭に種をまく	酒井 信次	MUDAI(II)	〃
杜	〃	陽	酒井 良	波 濤 '96	児島 慶芳
ナイル(カイロ)II	中村 貞夫	MATKA	寒川 典美	み ほ	坂井 彰夫
遠い日	村山 容子	萌 す・II	菅戸千津子	ま る	桜井 敏生
風の午後	〃	たたりしもころ	〃	横になる人'96	〃
はなかざり・太陽の花	金本 啓子	ダンサー '96	佐藤 祐司	北の男II	〃
はなかざりの贈りもの	〃	ブラウス '96	下川 昭宣	光 陰	佐藤 忠良
放 下	福田 徳樹	ペルソナ	城田孝一郎	砂の上で	柴田 正徳
遊化—FIRENZE と	藤原 眸	砂の記憶	菅原 安男	楽園追放エバ	清水 良治
カラ—	〃	杜・風 道	須藤 博志	GREEN GREEN	杉本準一郎
遊化—FIRENZE と	〃	如意輪観音	高橋 米	PEACE	〃
肖像	〃	風の塔 IV	竹田 京一	女神 '96	杉山 惣二
10月の鯉	麻生 征子	空・∞	田村 興造	Sleeping Beauty・	鈴木武右衛門
曲 者	荒井 茂雄	鳩よ飛べ	〃	夏	高橋 耕旺
初 対 面	〃	タシュクルガンの娘	田村 史郎	宮 澤 賢 治	〃
ブィナスの見た夢	〃	仏 頭	〃	〃	〃
無 頓 着	〃	紫 野	〃	〃	〃
尾 張 富 士	安田 巖	〃	〃	〃	〃

線からの構想・変化する空間
 木 洩 日 田中 昇
 田の神とわたし 照井 榮
 風 雪 の 朝 〃
 土 笛 中村 セイ
 宙 長澤 市郎
 花の舞'96-I 橋本 裕臣
 水 汲 み 濱岡登美子
 宙 番浦 有爾
 風 〃
 頭 部 舟越 保武
 佇立する形 山懸 壽夫
 スペースデザイン
 WORK W-3 麻田 脩二
 Prismatic Space 今村 敬子
 96-B
 うしろの正面だあれIV 小野かおる
 太陽の坐 尾埜 行男
 風のことば 佐伯 和子
 生まれの萌 桜井 玲子
 鎌(ヤジリ) 白石 将
 GAP 白石 隆一
 Conversation '96-II 十川 眞紀
 Conversation '96-I 〃
 相 II 瀧本 英男
 Cosmic Trunk 谷 浩二
 或る政治的人間 中野 威
 風の音 二井 進
 段丘のコロネード 日高 畢也
 芽ばえ
 小さな記録 藤本 經子
 起 層 藤原 郁三
 LAPUTA CITY '96 降旗 英史
 “龍王”Y・T・T橋プロジェクト(親柱イメージモデル) 森 聖
 帆かけ星の神殿 森 史夫
 ふくろう 18, 36, 72 山下勤太郎
 創画展23回 10, 16-31 東京都美術館
 美術の窓 162 高山淳
 日経 10, 23 宝玉正彦
 出品目録(会員)
 石獅子(アンコールワット) 秋野 不矩
 横臥山岳 浅野 均
 赫 映 池田 幹雄
 秘 花 石本 正
 山 水 伊藤 彬
 あめつち どよめく 上野 泰郎
 水 辺 上村 淳之

雨 情 上村 松篁
 地への顕現 内田あぐり
 まほろば東方の山 烏頭尾 精
 田 園 大河内正夫
 挫折の季節・1996 大森 運夫
 記憶の風景・漁港(五島青方) 小野 具定
 淡 月 加山 又造
 幻存の声 工藤 甲人
 春の連山(安達太良山) 黒沢 吉蔵
 階段と青い空 小池 一範
 穢土(猛淵)・エチュード 小嶋 悠司
 舞妓と友達 坂口麻沙子
 幻視断層 佐々木裕久
 雲 昇 る 佐々木 弘
 残 月 佐藤 晨
 辺光の影(海) 信太 金昌
 聖地巡礼一母なる河一 柴田 長俊
 西方院 凶 高畑 郁子
 故 城 滝沢 具幸
 路 地 竹原 城文
 森の肖像 棚橋 文子
 「砂の壁」-消されゆく刻- 戸田 康一
 山 湖 土手 朋英
 雲 間 中尾 壽男
 夏風松声 西村昭二郎
 月華高樓 野崎 貢
 草花譜 橋田 二郎
 大地漫行 橋本 龍美
 鷹の棲む岬 稗田 一穂
 叢樹生々 平川 敏夫
 風行人 北篠 正庸
 浄泉昇華 星野 哲弘
 春の山唄(右半双) 堀越 保二
 '96いずみ・雨 松井 和弘
 風の声 宮城 真
 ベルガモンより(II) 村松秀太郎
 神代桜 毛利 武彦
 雪 晨 寂 寥 山岸 俊治
 地熱(蠍殻と人と) 渡辺 学
 黄 昏 (故)川端 健生
 南帯叢林 (故)塩見 仁朗
 独立展64回 10, 16-31 東京都美術館
 美術の窓 162 高山淳
 日経 10, 24 宝玉正彦
 出品目録(会員)
 うらしまの末裔たち 寺島 穰
 -HORIZON-

あうらう・祈り 絹谷 幸二
 漾々アイボリーブラック 林 敬二
 奮 奥谷 博
 生一その夢 馬越 陽子
 ベッドの女 桜井 寛
 画室でポーズする女 沢村美佐子
 くらべ馬 飯田 健治
 西方のかたち…異邦人 相田 幸男
 流 転 向井 隆豊
 秋色 凶 森本 勇
 水 鏡 安達 時彦
 彼の家を建てよう 金井 訓志
 旅日記-そして人はどこへいくのだろうか 吉武 研司
 密の味 湯澤 宏
 コマーシャル・ガールの休日 竹内 晟
 夜明けの時刻 原 光子
 月 輪 土井 俊泰
 姉妹眠る 今井 信吾
 野 川 桜井 浜江
 ホットライン 齋藤 研
 地の首(祈り) 本田 希枝
 益田の石船 金森 良泰
 壁のある風景 山本 達郎
 ポーヴェ 乙丸 哲延
 昭和史(祈り) 笠松 宏有
 水 島 張 忠儀
 室戸の海 妹尾 正雄
 樹のある風景 斉藤 紅一
 かたまり 中村 善種
 〃
 街路樹の中の女 〃
 コンコルド 宮崎 精一
 謝肉祭 〃
 かかし 森崎 幸
 ある男の刻み 〃
 マッターホルン 白鳥 三郎
 <エンターテイメントシリーズ>より MI-CHAEL JACKSON FOREVER 浅羽 保治
 玩具・景(船首像) 山本 実
 雲 行 く 前田 孝子
 一'96日本女性一 田端 優
 サバンナの人(エチオピア) 西野 久子
 花を持てる裸婦 栃内 忠男
 遙かなる栄光の聖火・愛・人間賛歌 江添栄一郎
 肖像 片岡 伸介
 流水の幻影 山田 貞実

平成8年美術展覧会(団体展)

自画像のある十字架降下	砂田 友治	次は1万4千年後(百武彗星)	上田 敏和	昨日・今日II	天野 三郎
輪廻転生	國清 勉光	朱 夏	田中 茂	森の日曜日	織田 廣喜
向こう側のふう	鈴木 雅博	退屈な日々'96	喜多 健男	情 深 海	立山 崇
追 懐	江部喜久子	花 草 庭 園	大場 再生	窓 辺 の 静 物	鶴岡 義雄
こ れ	有本 弘	海 近 き 道 南 湖	岡村 芳男	婚 宴	月館 れい
翔 I	有馬 秀穂	ひびきあえるものたち	米原 智	(TEMUANTEPEC)	安藤 幹衛
土(アダマ)	山田 依子	願	広瀬 通秀	デルフィの饗宴	狩野 守
作 品(赤)	堀井 克代	樂 神	足達 襄	黒い芥子	三後 勝弘
蘇生の詩	河尻 隆次	ト ス カ ー ナ	松藤 真澄	シャブリの丘	古賀 耕児
結 象	白野 文敏	幻 象	堀口千鶴雄	(ぶどう畑)	吉井 浩
相	江田 豊	親 仔 の 馬	末永 胤生	人 四 態(E)	吉田 正雄
古代のかたち	松永 久	神女誕生・和伊宇盈遠	前畑 省三	風 神 碎 つ	吉村 勲
展 開	吉田 西縉	エチオピア13ヶ月	額田 晃作	ジヴェルニー	岩井 昭
黎	三浦 洋一	夜 の 記 憶	石井 武夫	(モネの池)	赤羽 恒男
赤い方舟(はこぶね)	赤星 信子	街 は ず れ	西田藤次郎	塊	吉井 英二
潮 騒	福島 瑞穂	もしやあなたは…	斎藤 吾朗	あ す か	野村みそら
都市空間	大津 英敏	変容の技術者	森山 杏子	灰色のコンポジション	栗山 淳
(バラソルの点在)	松樹 路人	私の空間から'96	黒川 洋孝	異 化	植地 貞夫
永遠の友への讃歌	芝田 米三	呪術師集う	山中 徳次	敵 冬 の 漁 港	青山 龍水
花と雲と牛	松本英一郎	吹雪の試作(風の道)	松島 正幸	海 想 譜 ・ '96	吉井 淳二
或る日の画室	芝田 耕	ラダック・レー、	入江 一子	晚 秋 山 脈	福嶋淳志郎
夏 を	小原 稔	伏している女	齋藤 求	籠 を 売 る 女	加覧 裕子
最 終	田子 英長	呼 ぶ 声	鳥居 敏文	山あいの集落	久保 繁造
ホワイトフェイス	山田 修市	壺 並 ぶ	安田 謙	“想”	冬島大二郎
分 光	福岡 奉彦	お 前 達	廣瀬 義男	祝 う	西野 嘉斎
ディーンそしてモンロー…。	森田 康雄	鶴(S氏とY)	山中 馨	画 家 と モ デ ル	中井 史郎
絹 索	瀬川富紀男	遥 かな る 地	塚本 聡	L の 集 積	山田 達雄
ギャグ・ステージ	田伏 勉	雨上りの残照	金子 亨	ウルトラマリン・逍遙	高野 護
グッココロンコン	久保田益央	Seventh Heaven	井澤 幸三	赤 と 黒	東郷たまみ
山 櫻	水野 恭子	営(釧路)	伊藤 弘之	PATY'SOVER.	大隈 武夫
南部 梅林	佐原 光	胡 砂 舞 う 風	平岡 靖弘	夜明けのアンニュイ	海村 孝之
湖 沼 残 雪	世利 徹郎	乗 客 達	小林 正	大 地 の 人	小玉 光雄
ラ・メール・ド・サール	森 通	夏 の 寒 い 午 後	梅野 顕司	墜	新田 稻実
ブル	古賀 猛	地 天 女(森へ)	小久保 裕	神の島野祭列	園田 郁夫
山海相剋	高森 明	気 蜘蛛	門脇 正弘	風	佐久川和夫
裸婦のある風景	山田 文子	マクロタイム“ホ”	伊藤 清和	砂 漠 の 詩	栗原喜依子
接 続	高崎 文夫	untitled 96-VI	奈良 達雄	異国の金色の雲	田中 良
アンコール・トム・バイヨン	前田さなみ	遠 い 影	原田 丕	モンテアルパン幻想	文田 哲雄
見透せぬ窓	香會我部暁彦	二科展81回 9. 1-16	田井 淳	白 い 道	伊東 俊平
備前岡山・後楽梅林図	松山幾三郎	館	東京都美術	涼 風	山岸 光代
黙 '96(仮題)	大嵩 禮造	新美術新聞 778	ワシオ・トシ	M 像	中村セツ子
ア ト リ エ	竹岡 羊子	ヒコ	ヒコ	花 火	石附 進
デュオ・ラ・ラ・パピヨン	木津 文哉	美術の窓 161	高山淳	開 演	日野 順也
ZO・DI・AC38/50	久我 修	日経 9. 9	宝玉正彦	海 の 家 族	福田 輝
ケダレイヒイルダケ		出品目録(会員)		露 天(X)	西村 龍介
		絵 画		プレシス・ブーレ	原 良次
		マンハッタン'96-8	黒川 彰夫	復帰(リハビリテーションにて)	
		ササエテイル	伊庭新太郎		

残映 香川 猛
争う女たち 阿美代子
五月の風 増田 孝
祈り 松任屋國子
セビリヤ (故)斎藤 三郎
花火 (故)高橋 三郎
シェナの秘めごと 濱田 進
伝承の想 井坂 忠
イオ 小川以久男
生 大塚 章子
水鳥のいる風景 伊勢谷 圭
カサブランカ 中山 三郎
パ リ 山崎左和加
花 保科 友江
そよ風と木立 亀尾 從道
南 風 荻原 寛子
風車のある村 松田 朝旭
古里に立つ 長谷川正義
島の娘 西 健吉
甌 島 池松 未人
私たちの部屋 藤川 章造
elegy'96-3 中嶋 敏明
ある日の思い出 立松 富雄
馬 像 片岡 洋一
磐井王記(殉) 北爪 三男
パレード 木戸 征郎
花のセレナーデ 西田 龍子
BRUGGES(窓) 阿部 盛有
桜 島 鳥取 政昭
村の眺め(孤舟) 馬場 一郎
切れた綱 佐藤 成一
競う 有水 基雄
母子 伊藤 昭蔵
齢を忘れて 橋本太久磨
囁 木村 清敏
小雨降る宵の舗道 江崎 栄彦
愛 芳野 二夫
証 生方 純一
木に寄る 竹内 清
翔 安食 一雄
浜風の街 古川 益弘
熱国の詩 松室 重親
孟蘭盆の魂迎え(山陰の漁村) 野津 澁生
つどい 宮腰喜久治
転 横溝 環
室内一花と少女 森 茂子
みなと祭り 末光 利夫
旅その終章 倉橋 寛
プライベートタイム 川内 悟

渚に遊ぶ 澤山 卓爾
青い海 向井 実
東風No.2 秋吉 素碩
浮き玉 清水 幹男
粧 松井 敏郎
ベドウィンC 川邊 忠光
慈 光 佐伯 輝一
揺籃 勝野 浩一
舟遊び 難波 弘
朝焼 相澤 道子
岩山に生きる(街角) 伊藤 高義
都市曼陀羅'96-100- 町田 亨
2 家 族 宮村 長
obligato 一条 清明
作品 96 田中 睦子
畦 長谷川陽三
或る風景の残像96-7 中原 史雄
光と風の大地 尾崎 功
2ツのトルソー 鈴木 幹夫
ある午後 古賀恵美子
森の夕暮 二石 綱夫
ブロムナード'96 瀧澤 賢福
神への貢ぎもの 永井 忠雄
田園の真夏日 犬童 次夫
ヒロシマ五十年目の追 増田 勉
想 園の木 杉浦 正美
彫刻 町川 和司
道標 高階城太郎
TATERI 竹 道久
鳥の歌 工藤 健
トリオ ソナタ ヴァ 小林 亮介
イオリン(大) 西村 文男
気圏の森 西村 貞雄
あかね雲(沐浴) 小田 信夫
緑の風 佐々木憲章
理 「雛蕊」(献華) 岩田 有規
翹 やすみ 藤巻 秀正
雨あがり 菅原 二郎
INSIDE OST F.G.I 鷺崎 直子
断層 西川 利男
地 表 福島 賜與
9605 木 磨 前田 忠一
フェニックス 豊田 晴彦
悠 三水 弘
宇宙への祈り'96 登坂 秀雄
「Memory 96-2」 杉本 繁
Harmonize Space (融合する刻)

月の卵 佐々木 至
スプリットビラー'96 千本木康亘
面96「丸・四角」 倉沢 実
影 人 日高 正法
スパイラル 古久保三郎
湧源のかたち 池川 敏幸
祈 願 長谷川雅司
瓊 小柳 裕紀
三交形 小山 由寿
大地の具 前田 耕成
思考する大地 安倍 千隆
C-96-I 吉田 二郎
風を抱く96 齋藤 顯治
CREATION 竹田 光幸
月に吠える'96 手塚登久夫
翔 堀江しづ子
ブルーモーメント 岡村 謹史
夏の花 鹿野 幸子
たてよこたて、た 山田 将晴
SUN-SET 岡本参千峯
お茶の時間 幡 青果
自然を守るひと 細井 良雄
風景'96 小泉 勝雄
夏の終り'96 吉野 毅
少女・なわとび 淀井 敏夫
母と子の詩 綿引 道郎
山 日高 頼子
木偶'96-II 安田 正子
いのちの音 小鹿 尚久
時のむこう 池田カオル
スケート 三井 大清
連続する顔 三國 恭三
女(風の女) 木村 敏
燃えていますか 河野 孝治
枉 竹内 正治
「風、光、エリの冠」 水島 道雄
獺祭 マンドリン 宮越 洋子
女、二人 松下 隆治
ハイビスカス 松井 淳子
森林浴 BASKING 島田紘一呂
IN THE WOODS 阿部 鷲丸
親子 田村 了一
淑女又はTime 須賀 通泰
方形の対話「断層」 諸井 松の
水の柱 須賀野チイ
愛・限りなく 太田 和夫
木 霊 安田 正子
この子どこのこ 堀江しづ子
剝

平成8年美術展覧会(団体展)

INSIDE OUT F1・P2
 菅原 二郎
 大地に生きる人 細井 良雄
 方形の対話「祈り」 須賀 通泰
 茫 人 日高 正法
 風の陰刻 鷺崎 直子
 風 幡 青果
 飛べない大地 安倍 千隆
 浮遊'96-2 三水 弘
 二紀展50回 10. 16-31 東京都美術館
 美術の窓 162 高山淳
 日経 10. 24 宝玉正彦
 出品目録(会員)
 絵画
 黄土広場 泉地 靖雄
 白いズボンの男 小西 保文
 花神湧遊 中西 勝
 地の光景 山本 貞
 淵に 山本 文彦
 BUZĀU 佐々木信平
 君が少女だった時 藪野 健
 イリュージョン 三輪なつ子
 旅の記憶 滝 純一
 河童・風の音 立見 榮男
 風の誘ない 北 久美子
 河にとける赤い蛇 遠藤 彰子
 人の居る部屋 市野 英樹
 砂の詩A 北村 真
 ハレオII 仁木 和夫
 有明漂茫 北原悌二郎
 交霊術—HARP— 吉田富士夫
 アベス 駅界限 西村 功
 追想・姫路城 松井 叔生
 ビエタ 吉野 純
 花 鈴木 博
 舊港朔風 西嶋 俊親
 密やかにして奏でる 秋山 泉
 幕間 金子 隆一
 融合の刻 長宗 希佳
 まつり 修繕と遊戯 尾形 圭介
 沙原聚影 松尾 隆司
 婦人像 坂本 保
 96、牧歌 成瀬 忠行
 母子像(星降る夜に) 米津 福祐
 それでも咲いた! 高崎研一郎
 ビサの斜塔 副島 孝治
 Santorini-Fila- 神近 昭
 冬の河 西村 榮悟
 鳥と遊ぶ 小島 謙

海辺の日曜日
 シャングリ・ラ
 万 朶
 叢に立つ多聞天
 IMAGINE A
 ステーションの有る街(A)
 炎 舞'96-15
 いのり
 流れ行く
 ひる寝
 漁港祝日A
 花降る街
 女たちの景I
 沼の櫻
 煩惱の囃
 如月の母校
 オーケストラ「第九交響曲」
 父と子
 幕間のひととき(A)
 カンボジアのアンコール遺跡
 砂
 錆びた船
 ビエロのマジック
 旅する家族の風景
 ある審判(A)
 鳴門
 遙遙I
 耽
 視る男
 熱い叫び
 雨の木
 大地—無窮
 都会
 森を抜けて
 chaosの符(A)
 無明の刻
 水について
 裸婦三態
 終りなき逍遙
 遠望
 萌え渡る乗鞍高原
 壁G(VENEZIA)
 未完
 春装
 ヨットハーバー
 出土俑
 祝賀シンフォニー
 雅・飛天五十

黒田富紀子
 真野 広
 菅 久
 堀場 良夫
 結田 信
 野田 典男
 高瀬 善明
 鳥居 雅隆
 大西 敏巳
 加藤 聖彦
 日和田利正
 橘野恵美子
 浦上 栄一
 濱田 嘉代
 橘 公俊
 阿川 静明
 林 健造
 菊地 正男
 中本 昭平
 宇田 伝市
 印牧 邦一
 赤地 清一
 矢野 重盛
 中村 美松
 砂場 三郎
 (故)山本 秀臣
 難波 平人
 小柳 吉次
 南口 清二
 犬童 徹
 玉川 信一
 宮田 翁輔
 井上 護
 吉岡 正人
 中井喜美子
 仲村 寛
 生駒 泰充
 櫻井 晨正
 清水 聖策
 武本 春根
 島岡 實
 伊藤 岳
 (故)金田 辰弘
 秋保 正三
 成井 弘
 山口 操助
 橋本 房男
 堀江万寿男

池の端夕景
 ニューヨーク眺望
 ミハス
 花火(思い出)
 北の浜
 ナガサキ考(裏返る風景)
 失われた女の記憶II
 七月の海
 風と旅して
 大雪にもめげず北の鳥たち
 夏去りぬ
 海
 2人の舞妓
 コモリン岬(南インド)
 奏 II
 遊女は唄う
 海
 Sくんの教室
 神話の崩壊(女神)
 景'96—石模様
 破壊への道
 アタカマの果
 風刻
 ガラスの涙
 記
 化景96—A
 オラトリオ(けし)
 孤立の人びと
 祭りの詩がやって来た②
 翔
 夜海への誘い(A)
 午
 ある日
 Land Lines
 日々のくらしより「ゲーム」
 大空中ブランコ
 鳥の詩I
 時の語らい
 刻…(イ)
 仔羊の受難'96—II
 旅藝人
 長崎爆心地'96(M)
 Morning'96—(い)
 私のメモリー—9月(2)
 作品—相1
 気(そして神戸、む、6000有余)

水上 敬司
 大西生余子
 水野 一
 友添 泰典
 曾我 芳子
 浜村 博司
 奈須 豊
 宮崎 浩行
 山崎 進
 高橋 忠雄
 吉見 寿美
 田窪 芳郎
 川口 正治
 宮崎 芳和
 瀬川 昌宏
 根来 恒子
 知念 正文
 北 誠一
 上瀧 泰嗣
 庄司 剛
 清水 鉄彌
 高嶋 脩二
 松葉口忠雄
 板倉美智子
 佐藤かづこ
 中村 幸男
 朝倉 雅子
 稲川 敏之
 谷田 穎郎
 上田 保隆
 坂中功一郎
 金原テル也
 八木茉莉子
 富樫 京子
 岩島 雅彦
 河津 嘉三
 日比野文英
 佐藤 幸代
 津田 仁子
 木口昭太郎
 芝野 武男
 阿野 露団
 片山 光波
 岡本美喜子
 中野 英一
 小笠原誠次

乾いた音
 フェーション
 音(ね)・誕生1
 作品(コラージュ)
 彫刻
 その始めに、女と男
 迎天NO.6
 何故
 リーマン面
 オベレッタ
 カルテ
 大地(A)
 大地(B)
 黎明
 夜陰
 「樹」
 トルソWILL
 母と子(だっこ)
 待ちわびて、夏
 真夜中の幻想
 ミルトン幻影
 みどりの中で…
 春
 思い出
 宇宙界慈悲神
 HUIS CLOS 3
 カーニバル前夜
 五曲一双
 チベットの山々
 大地の刻「風景の門」
 Mother
 (永遠なる慈愛)
 連一遊理一
 (雲をつかむ様な話より)
 風を追いぬいた男
 あるいは豚と共に走る
 事
 作品・FORMATION
 III
 微氷音
 韻
 深山の想いで
 宇宙曼陀羅(A)
 宇宙曼陀羅(B)
 空へII
 薔薇(II)
 翔
 少女
 楕円形とその周辺
 Semicircle 記号形
 NO.1

乾龍平
 橋本清
 松下元夫
 大友一夫
 堀義雄
 木津一夫
 村上炳人
 長野隆業
 水野欣三郎
 “
 矢形勇
 “
 小島弘
 “
 藤木康成
 長谷川総一郎
 大森浩二
 長谷川敏嗣
 重田恵美子
 恩田秀郎
 細野稔人
 水野瑛朗
 “
 滝瀬源一
 岩田健
 小林晟
 上村敏
 邑田五朗
 横山徹
 利根川典央
 高橋勝
 “
 日原公大
 “
 河崎良行
 “
 米林雄一
 山根顕一
 邑田五朗
 恩田静子
 “
 日野宏紀
 加藤豊
 遠藤幹彦
 真海朗
 梶滋
 “
 鹿間厚次郎

水の表象—空想の殿
 堂—
 “
 “
 羽化の様相
 光の散歩道
 プリマベータ
 夢
 古跡
 二人
 地の精霊~まっちゃん
 “
 記憶の大地
 二人像
 '96, A
 “
 特別企画<創立者たちの第一紀>展
 顔
 “
 ローソク
 “
 風景
 アヤワシ村の少女
 “
 ハイラルの街
 “
 秋の新京西公園
 “
 老漁夫の顔
 “
 春昼
 “
 馬車
 “
 ロダンの家
 “
 アラベスク
 “
 仏国ヴェトユ村にて
 “
 夢殿
 “
 トックの女
 “
 初島
 “
 浦上の雲
 “
 婦女三容
 “
 裸女結髪
 “
 秋の木立
 “
 猿蟹合戦(II)柿の木に
 のぼる猿
 “
 揚げ雲雀
 “
 日展28回 11, 2-24 東京都美術
 館
 新美術新聞 783 ワシオ・トシ
 ヒコ
 陶説 528 藤慶之
 “
 日展ニュース 82 鹿見喜陌、中
 村徹、根岸右司、樋口洋、笹山幸
 徳、辻畑隆子、加藤幸兵衛、藤田
 仁、高木桑風、山口南艸、日展
 ニュース委員、高木聖鶴司会
 “
 日展ニュース 83 濱田台児、鈴
 木竹柏司会、那須勝哉、岩倉寿、
 山本吉雄、川村親光、神野義衛、
 柴田篤男、奥田小由女、服部峻

大須賀万里子

“

末政哲夫

南安廣

柳沢俊男

“

渡辺昭次

藤田邦子

吉田正純

永野光一

大口明一

林利根

熊谷守一

栗原信

“

“

“

“

“

黒田重太郎

“

田村孝之介

中川紀元

“

鍋井克之

“

正宗得三郎

“

“

宮本三郎

“

横井礼以

“

“

“

“

“

“

“

“

“

“

“

“

“

“

“

“

“

“

昇、成瀬映山、岡田契雪
 美術の窓 163 高山淳
 日経 11, 12, 13 宝玉正彦
 出品目録(会員)

日本画

三人の刻
 崖
 シティウォーク
 銀華
 華溪
 初木
 若木
 諏訪
 街・夕べ
 森の入り口(ウィンダ
 ミアの石から)
 夏のかわはら
 森の窓
 雪山
 静坂
 閑閑
 慈瀑
 春の夢
 熊野
 みちのく残照
 秋岳
 祈懸
 投入堂(国宝)
 旅愁
 映象
 鶏頭
 八瀬大原佳日
 憩
 燦
 夏の日
 長安(唐女人)
 寧日
 安らぎ
 碧潤
 黎明
 流燈
 湿原
 夕照石佛
 花みぎき咲く日
 秋映
 中村徹
 川崎麻児
 東俊行
 広瀬きよみ
 大塚明
 齋藤清策
 堂本阿岐羅
 市丸節子
 丹羽貴子
 藤井範子
 林和緒
 山下博敬
 “
 橋本弘安
 “
 川人勝延
 大島秀信
 曲子光男
 (故)河合健二
 松本榮
 加藤晨明
 宇佐美江中
 杉原元人
 川崎春彦
 白鳥映雪
 大山忠作
 奥田元宋
 加藤東一
 濱田台児
 佐藤園夫
 中路融人
 小栗潮
 三輪良平
 江守若菜
 室井東志生
 山崎啓次
 東韶光
 山本知克
 長谷部日出男
 濱田昇児
 池田道夫
 石川響
 遠藤桑珠
 羽根万象
 三谷青子
 長縄士郎

平成8年美術展覧会(団体展)

古橋	岩澤	重夫	饗養紋蘭花献上	藤島	博文	神将	後藤	武久
大原の里	山岸純	純	遙か	村居	正之	古都大寺	内藤	定昭
幸せの島	関主税	主税	雙流	本多	功身	流鎬馬	三塩	清巳
緑陰	浦田正夫	正夫	日、月	鬼頭	敏郎	内陣(周防、國分寺)	島田	利一
夕紅	東山魁夷	魁夷	壤	鹿見	喜陌	想西安	楡崎	重視
トラックトレイラー	高山辰雄	辰雄	洋画			岬と太陽	坂田	憲雄
浄瑠璃の朝	鈴木竹柏	竹柏	雲崗石窟	松木	重雄	風の丘	(故)菊地	健蔵
白塔寺樓門	堂本元次	元次	水ぬるむ	塗師祥一郎		菖蒲どき	(故)舟木	徳重
夕桜	正井和行	和行	艶景G	角卓		白い館	(故)西尾	善積
最上川	川崎鈴彦	鈴彦	海の見える画家のアトリエ	日野耕之裕		箱根	(故)秋元	清弘
窓から	岩倉寿	寿	窓	本山	唯雄	夢	(故)坪内	正
黒い牡牛	米陀寛	寛	アンダルシア讚	寺島	龍一	腕輪の裸婦	天野	丈作
彩文の土器達	関口雄揮	雄揮	レダと白鳥	時田	幸彦	Nana	大島	士一
縄文の土器達	石川義	義	流	三原	捷宏	川添いの道	大津	鎮雄
汀風	前田米子	米子	Atelier VIII	岡田	征彦	萬朶の櫻(阿蘇山)	田中	春弥
凍馬とアルルカン	高木義夫	義夫	國後通(蓮の葉水と流水の海)	西田	亨	秋霖の頃	櫻田	精一
春孔雀地	吉村年代	年代	祭華粧煌	有馬	侃	紅い大樹	藤本東一良	經郎
白大驟利根	福本達雄	達雄	赤いチュチュ	中山	忠彦	夕暮れの山道	國領	健三
波鎮め	野々内良樹	良樹	フランドン農学校のぶた	篠崎	輝夫	高清	楡原	清永
花樹煌燿	入江西一郎	西一郎	天使の饗宴	寺井	重三	太夫能	伊藤	茂
入海の山夢匠	成田環	環	家族と木馬	西岡	義一	蓼科高原	森田	一男
刀赫天樹	福田謙二郎	謙二郎	鳥瞰	藤本	兼明	プロヴァンの散歩道	田村	渡邊
天牛	永山十志夫	十志夫	刻・ガラス器	渡辺	晋	樹老	平松	讓
刻鼓	木村卓央	卓央	踊る	根岸	右司	静韻の坂道	奈良岡	正夫
高水遙釋	澤野文臣	文臣	旅泊日記	金山	桂子	白い夜明け	新延	輝雄
DRAPER	上田勝也	勝也	羊たちと集落	藤島	獎	セブルベダ(スペイン)	樋口	洋
さやぎ	能島和明	和明	群風	寺坂	公雄	私の散歩道	井戸	三郎
雨に聳える道	三輪晃久	晃久	北信濃	樽松	正利	庭のミノルカ	奥田	憲三
散歩の浜	市野龍起	龍起	鷹舞う	成田	禎介	古都薄雪(ザルツブルク)	清原	啓一
野分に咲く苑	福田千恵子	千恵子	パリ、クリニアンクルの蚤の市96	佐川	忠金	光りの街	斎藤	政一
	川島睦郎	睦郎	周防(山口)大島瀬戸	山本	吉雄	リンダース	円地	信二
	那須勝哉	勝哉	温	三沢	忠	コンサート	小川	博史
	土屋礼一	礼一	若い女の肖像	高橋規矩治郎		川原風景	庄司	栄吉
	稲元実	実	冬木想	越後島進		村の一隅	松田	茂
	仲村進	進	回春	尾崎	正章	夏蝶	中谷	龍一
	船水徳雄	徳雄	早窓	岩下	三四	ドレスデンの印象	幸島	重雄
	市原義之	義之	庭・青葡萄のころ	柳沢	淑郎	運河の街(サンタ・ルチア)	桐野江節雄	能登
	坂根克介	克介	初夏の野道	山下	忠平	初秋樹間	能登	靖幸
	渡辺信喜	信喜	ナルドの薫り	飯田	弥生	初秋樹間	北村	巖
	岡村倫行	倫行	幕間	辻	朗	初秋樹間	三上	浩
	北野治男	治男	群落	安増	千枝子	浴後の女	田中	実
	田島奈須美	奈須美	早春の砧公園	桐生	照子	春近し	櫻井	慶治
	堀泰明	泰明		川村	親光	柿	村田	省蔵
	竹内浩一	浩一		伊牟田	經正	窓辺裸像	杉村	惇
	米谷清和	清和		伊藤	晴子	祭りの日(アルザス地方・フランス)	辻村	八五郎
	山崎隆夫	隆夫		鶴飼	幸雄	雲彩々(野首天主堂)	阪倉	宜暢
	立石秀春	秀春		溝江	勘二		内山	孝
	森脇正人	正人						
	田所浩	浩						
	岸野圭作	圭作						

蔵王の秋
幕間の海
山陰の海
武人と馬(はにわ)
彫刻のある部屋
南仏の教会
城館
若い人
花曇り
公園秋色
横臥裸婦
湿原
豊浜追想
朝風髪
黒い橋
白い橋
ストールをまとう
雪の山麓
祭
空中ブランコ
彫刻
パルーン
やさしい陽風
散歩路
レマン湖の友
朝陽
歴史官黙して逝く
愁
米寿
夕影
涼風
晩夏
いれずみをした巫女
秋風と共に
わが家の大將
別れPartII
藍
育む
大地の彼方に
生
バレリーナ
母と子の対話
若き日
LAVENDER
光と風
立つ
在るは、風
未来へ
未衣と女
試合前

梅津 五郎
浅井 光男
日原 晃
飯泉 俊夫
伊藤 正規
竹留 一夫
関田 庄司
川上 一巳
重松 建
桜田 久美
伊藤 利行
三橋 文雄
吉田 民尚
工藤 和男
弦田 英太郎
柴田 祐作
竹澤 基
小間 政男
井上 和
益山 英吾

平原 孝明
高橋 勇
齋藤 尤鶴
名嘉地千鶴子
山本 民二
池邊 瑠璃
林 幹雄
竹内 不忘
橋本 次郎
宮本 光庸
永井 浩
山脇 正邦
齋藤 高德
大村 政夫
横山 祐三
西村 祐一
山口 直邦
谷村 俊英
鈴木 基弘
館野 弘青
斎藤 吉郎
助川 武史
太田 良平
松岡 高則
神戸 峰男
辻畑 隆子
嶋田 秀男
笹山 幸徳
木内 禮智

Space living
告 知
韻
マーキュリー
楽しい朝
古典的な少年
雨あがりの夕暮
た お や か
休日 の 朝
夢路「夕焼けに燃ゆる」
聖
屈 鳥 を 放 つ
腰 か け る
川 の 流 れ
せ せ ら ぎ
秋 彩
流 れ
風 の こと づ て
煌
そよ風の中で
遥 か 虹
ゆ あ み
願
布 を 纏 ふ
人 間 の 尊 厳
母 子 立 像
熱 唱
夜 明 け
華 ご ろ も
秋 の お も む き
忘 れ 潮
時 の 流 れ の 中 で
時 の 流 れ (II)
価値の探索
想-96
窓
山 の は な し
お 久 し 振 り
秋
風 に 舞 う
六 貫 山 の 朝
羽 ば た き
光 ・ 水 ・ 風
東 征
旋 風
草 原 の 詩
ワグナーを聴くブリュ
ンヒルデ
栄冠は君に輝け

辻 志郎
蛭田 二郎
雨宮 淳
神野 義衛
富永 直樹
長江 録弥
浦山 一雄
田中 昭
山田 良定
古賀 晟
佐藤 隆男
江里 敏明
木代 喜司
川岸 要吉
宇治川 久司
親松 英治
陶山 定人
山瀬 晋吾
銭亀 賢治
杉村 尚
野島耕之介
善本 秀作
得能 節朗
(故)矢野 秀徳
(故)靱山 三穀
(故)吉田 鎮雄
佐藤 静司
大須賀 力
川崎 普照
横山 豊介
林 昭三
山本 眞輔
石田 康夫
堤 直美
松本 隆司
石原 昌一
桑山 賀行
三坂 制
堀 豊之
齋藤 二郎
鷺見 香治
石田 光男
瀬戸 剛
市村 緑郎
長谷川 昂
亀谷政代司
佐藤 敬助
久保 浩
宮瀬 富之

人間になれなかった人形
AIKO の庭
多感な頃
紫鳥の詩
明星
余の韻
上海の風
蟬しぐれ
な夏に聴く
風韻育煌地
ひとと
MiserereVI
立姿のあ
風星のあ
坂転あ
布を
水思初
夏若花
工芸美術
耀相聞歌
相鳥海輝
鳥双
白銅浮彫(レリーフ)歌
登草原譜
何処かで
夜風、舞花
胡桃三態
寂彩展
松の内の
風の蝕手
古代と私達
静晨

上野 弘道
佐藤 義重
西山 勇三
久保田 叔通
渋谷 武美
木嶋 延幸
中村 宏
今城 國忠
柴田 篤男
楠元香代子
能島 征二
石田 武至
柴田 鋼造
橋本 堅太郎
立川 義明
圓鏝 元規
野々村 一男
進藤 武松
中村 晋也
北村 治禧
雨宮 敬子
土田 副正
小野澤 健一
石黒 光二
丹羽 武雄
松田 裕康
井上 久照
稲垣 克次
坂 坦道
佐藤 大有
難波 孫次郎
袖月 芳

磯野 清夫
猪俣 伊治郎
西嶋 武司
三谷 吾一
蓮田 修吾郎
中井 貞次
鶴飼 英夫
三浦 景生
西山 邦彦
越田 健一郎
小川 泰彦
並木 恒延
佐藤 幸一
百貫 俊夫
大西 忠夫

平成8年美術展覧会(団体展)

氣韻憧憬	伊藤 裕司	残 映	井波 唯志	望 郷	小口 正二
息 吹	川原 和夫	真 畫	大久保婦久子	左手のためのピアノ協奏曲	来野 月乙
翔 風	宮下 善爾	神 事	佐治 賢使	'96—スペース・III	広川 青五
景	角野 岩次	夢—繩文の星座	高橋 節郎	眺望 夜明け	河合 匡造
源 — IV	本間 一秋	芳 潤	山内 一生	山の花	鴨 政雄
白 濤	潮 隆雄	夜 風	原 峯水	森を駆けるヒメミコ	原 典生
樹 間 秋 光	永野 智彦	潜 像	中村 光哉	月 齡 湖 上	飯田 美郎
爽 光	寺池 静人	朝 陽	前田 泰昭	苦節幾百年2	城 秀男
滝 舞 台	春山 文典	雪 の 花	勝 正弘	千 年 椿	寺石 正作
不 捨 檜	加藤幸兵衛	深き淵より(詩篇130)	飴村 秀子	1996—初夏爽	西村 忠
蒼 溟「映」扁壺	森野 泰明	散 居 村	横山 幸文	蒼 の 詩	浮田 武司
鉄釉金彩花器「みのり」	加藤 鈔	流 痕 — 96	大田 緑	誕 生	鶴巻 三郎
ふ か み 草	齋藤 悦子	西 方 の 光	服部 峻昇	「池 畔」器	藤本 陶津
うつわ・'96—3	永井鐵太郎	夜 空	小西 啓介	蠟型鑄銅遊離文花器	須賀 松園
聳	佐治ヒロシ	牧神の腰掛	鈴木 丘	弥生の狩人	厚東 孝治
容 延	青木 龍山	濤 と 波	伊東 慶	母子像 '96	横山 善一
地球の讃歌	帖佐 美行	エンドレス	原 益夫	人 ・ 馬	亀倉 康之
游	奥田小由女	雲 遊 ぶ	浅見 薫	嵐山渡月橋	黒田 暢
叩き唐津象嵌魚文壺	中里太郎右衛門	crafts の 館	鈴木 治平	ブ ラ ハ	堀 友三郎
華	大樋 年朗	青銅オベリスク南冥の鎮魂	市橋 敏雄	モダンアート展46回	4. 6—21 東
風 か お る	遠藤 兆映	白 南 風	野口 晴朗	京都美術館	
行 雲	河合 誓徳	燦	小川 欣二	日経 4. 16 宝玉正彦	
曙	大塩 正義	連作'96“道標”	折原久左エ門	出品目録(会員)	
草原の風	伊藤 萌木	追 想	西川 實	絵 画	
萩釉広口陶壺「ある光象の印象」	吉賀 将夫	萌黄釉彩白燿壺	浅蔵五十吉	無 題—009602	小谷 公清
深 香 海 味	浅蔵 与成	星 ふ る 街	新開 寛山	蒼 茫	増井 克利
砂の国「カラコラム」	南雲 龍	浅 春 D	関 稔	迷 宮H8.2b	河村 一夫
淡雪・北山杉	川尻 一寛	慈 光	今井 政之	仲間たちと	村井 正誠
し ず か	武腰 敏昭	飾宮「輪華のコンチェルト」	鈴木 健司	PEINTURE 96—9	小高由里子
鍛銅の器—樹—	宇賀神米蔵	光 明 (故)谷口 良三	(故)谷口 良三	白い 風 影	甲谷 武
灰釉紅白椿花器	加藤 舜陶	朝焼けの屋根	藤田 仁	意識の表層	則松 冬実
彩釉陶「独り」台皿	北出不二雄	手	三橋 国民	時の渦の中で	坂本 敏
遊 鯉	高光 一生	春 日	松本爲佐視	土 を 織 る	根岸 和弘
白薩摩蓋付器	有山 長佑	花 炎	榎木 盛	不在都市—光茫(エナジー)	藤沢彦二郎
「宴—96E」	大角 勲	彼方から96—33	亀井 勝	今は待つとき	寺沢 徹
天地共生1/10丙子	尾長 保	蠟型鑄白銅終りのない物語「芥薬師堂」	宮田 藍堂	夢のアトリエにて(帰還)	井草 裕明
み ぎ わ	松本 佐一	臚 銀 器(昔日)	長谷川恵久	風の景<北緯>	山田 展也
創 生	伊藤 廣利	目のあるような壺	新山 栄朗	無 題 1996M	平塚 良一
鍛鉄金銀象嵌「東の神庫」	三上 猛	漂泊の思いやまず	藤平 伸	青 龍	柳沢 信男
大地の記憶	三田村有純	紅 玉	山崎 昭	流 離 抄	星 雅明
冬 彩 星 瞬	赤堀 郁彦	透胎・変容する函	鈴木 雅也	そ ま る	斉藤 進
宙 遊	得地 秀生	深 海	中里 重利	ほどける風景シリーズ	
月 明	西本 瑛泉	重複する鎮魂	竹内 英輔	「みんないっしょー	安原 竹夫
縄文の道	可西 泰三	平成 花かご	田邊一竹齋	追憶」	
金工(白銅)パネル森の守神	横山 一夢	雲 流 れ る	安田 全宏	LOOK AT ME!!	五嶋 稔
雄 飛 '96	皆川 泰蔵	わが心の原風景	藤川 素子	移行する空間	岡田 博幸
COPTIC MUSEUM・CAIRO		風 神	小川 喜数	空 白	奥 行彦
		輝光ドロミティー	加納 俊治	風 の 残 象	塩見 正

時の恵
雲の座...8
飛んで飛んで
'96-A
間
港
SHO/JI-9602op. 1
「時の間」- '96-2
Work-'96
Ambivalence-
'96Red to Black
プレリュードNo61
無限譜
湖面、彩 96-A
時[じ]
カオス~96
鳥のコンポジション
追想の徒
「気」象-天空の祝祭
海-夏の前に
花かご
「96-1」
再生-青-96・B
たん、たん
being<鏡と人>
はめ込まれたMr.K
WAX WORK オオミタイゾー
平面の中のジグザク形 小松崎広子
水の記憶 805 海老塚市太郎
裂象シリーズ 96-1 高木 康夫
自然のしるし
GH-1996-1 早坂 健
マウイ
Le vent
プロローグ
風景 土
Bleu
擬態 '96
8 rasp:sided
水の痕跡
WHITE SPACE
1996-I
庭師の夢 '96 春-A
思イデ
風の層-窓
窓
海の話
白い影-悠久の彼方か
ら-
逆光の人 加藤 博康

永井 肇
石川 忠一
いそべたつお
水藤 澄子
高塚 篤
小林 孔
佐々木健治
堀田 能生
水本 敦子
花田喜八郎
立花みどり
平岡 幸子
神山 忠幸
西川 幸衛
青木 幸夫
木村 良枝
ホリコシキネコ
小倉 ボオ
石川 早苗
小串 里子
濱本 重和
芳賀 広至
後藤 令子
出水 徹
飯島 昌
オオミタイゾー
小松崎広子
海老塚市太郎
高木 康夫
早坂 健
川田伊津子
藤田 淳子
山本 一了
笠倉 實
長濱 泰
渡辺 可久
山内恵美子
川上キヨ子
熊谷みどり
小山喜三郎
安田 潤児
河野 穰而
平松 生夫
鶴見 厚子
堀 晃
加藤 勝久
加藤 博康

レモン挽歌
パート 45-A
'96光年の導ベ
オブジェ96-A
もう一つの風景
winding rose
廃村の夏
滅するもの達へ
起 点 (オ) O
epifania
景=晩春・風・幻影
人間思考 '96-I
海に聴く
タイムズ・スクエアの
夜
対 話
ふりむく男
平成六年湯水坂本城址
小さな装い
空間の軌跡
パリスの審判
お も う
連作・水色のリビテー
ション
Punching Picture
-DART- 近藤てつのすけ
孵化のエピグラム
No9
2月17日
鎮守様御祭禮
紅い丘
狭間の記憶
莫愁湖-馬はみていた
宇宙時代
'96の青の詩
唄 う
万華鏡-旅-
無 心
境界なき生命態
赤と、白と、
朝の道
光・影
唐草幻想 シャーマン
ボエジー
FATHER and
SON
地底の詩
流れのほとりで
未 分
転 粒 子
風の軌跡

山口 貞次
芝 章一
森 健二
野口真木雄
水野 翠
坂本 京子
松川 寛
小谷 明美
矢野満里子
佐藤 素康
渡部 武
加藤 幸寿
山田 和枝
大谷 礼子
岡島 茂夫
能仲ヤツヲ
入江祥三郎
古川 秀昭
東 俊光
正田 壤
勝田 寛一
中井 幸一
近藤てつのすけ
岸 浩
加藤 三男
栗原 勇
鈴木俊二
高木 茂夫
坂本 正直
遠藤慶一郎
宮本興一郎
坂井 栄雄
櫃田 勉
武澤 久
石井 敏之
辻野 精一
笹岡 信彦
大津忠太郎
錦谷 禎
上野山エイシ
石井 利秋
佐藤 孝
森下 昭
吉田 英子
森 慧
森田 万樹

白の上に...二つのス
ペース
妖精の森のボジ
迷シリーズNo5
蟹気楼のステイション
2月のはなし
彩 雲
間 その七
冬 光 96-1
午後の形象 '96-2
GOREMIKA
(哀しみ)
ゲ ー ム G
ピ ン ク
散
原 生-'96-H
ゲームに興じる子ども
砂 の 怨
作 品 '96-A
「作品(組む)3」
作 品 - '96
浮 揚
'96-解
スイング、スイング、
スイング
レッド アンド ブ
ルー-2
作品「侵蝕96-2」
界-9511B
氣(遠い頃)
無 題 - 98
LA FESTA
螺旋上の円96'
白い道(私風景)
幻 想
瀬戸内の印象
PRINTED FIELD
(III)
情 景
漂
Ākāśa-(空)
象限III・96-01
Time for Red
森 の 水
作 品 96-J
彫 刻
Gの構造'95-V
地 の 流 れ
HEAD OF A MAN
風 の 舞
Nike
藤沢 晴
佐藤 哲郎
藤貫喜由子
ノダ 利道
梶村 勝
熊谷 行子
小笠原忠弘
坂原 チェ
白石 道夫
刀根 眞澄
栃木 順子
岩田ちよ子
中本 純一
荻野 博
曾根 亮
佐藤 和子
今中 和義
園田 康成
稲田 健
のだひろき
渡辺 律吉
嶋谷 卓之
恒川 俊明
長沢 勇
海野 静子
赤崎 君美
服部 碩夫
神太麻雅生
赤石よしまさ
渡部 康
光永 直人
潮田 親吾
新井 知生
岸 勤
太田 俊伸
石山 潤
石川 西三
高野 俣子
天目 健一
古野 耕作
三村 力
阿部 素尚
戸塚 秀三
遠藤洪平六
望月 久也

平成8年美術展覧会(団体展)

うごめくような'96.1	佐藤 清人	一形態— No33	高橋 克芳	Luminous Protozoa	出町 克人
風を聴く装置VIII	村上 保	Space—6—A	吹田 文明	'96—3	
試作 '96A	重田 照雄	友よ永遠に飛べ(戦後	富張 広司	自然・太陽・エネルギー	有川たか志
試作 '96B	種田 和夫	50年の鎮魂歌)VI	鈴木 久子	trace—96—1	石川 泰弘
ふたりの	佐藤 秀	雲は天才!	蓮見 幸夫	風の便り	馬場 雄二
雲	遠藤有里子	オーイ雲よ!	伊藤彌四夫	COMPOSITION・	熊田 喜宣
ポイル	坂口紀代美	茜 さ す	古長 康典	96・R・1	
天	谷村敬八郎	萌 揺 ぐ	中谷 有逸	Allusion'96—M1	森 竹巳
悲	広井 力	Blue Zone—96A	伊原 道夫	ジークルとハイドの談	藤川 喜也
菱の塔	喜多野 瑛	原生 96—A	柳沢美奈子	合	
歎	山口秀太郎	原生 96—B	柳楽 節子	WV type	藤原 昌美
私のいる場所	安藤 省吾	LANDSCAPE 95—2	片岡 眞幸	Stripes on Stripes	宮木 英幸
SOUND—96「見上げて	玄間 正吾	碑(六つの顔)	益田 凡夫	9611	清水 國夫
空を」	池田 清史	碑(沈思)	谷内 広	Jagya—1	高橋 伸子
緑生96—A	佐野 渉	#841	高柳 英麿	PiACEVOIE	山本 光生
SPIRAL BIONO-	山本 莞二	#845	飯島 保良	Work'96	木幡 幸子
MIAL 96—3—1	和田 憲治	黄色い都市 96—1	棚池 信行	シルクロード・時輪	藤原 哲朗
気・95・場えの回帰	岡崎 星秀	黄色い都市 96—2	稲垣 佳保	A study of Spiral	
光の風景96—1	高木 辰夫	空 間 95	穂積 毅重	生活美術	
都市の記憶	井上 公雄	空 間 96	上條竹二郎	Space—C—96—1	伊藤 茂
むれ	村松 達也	時 の 音	松永 楠生	華	大谷 葉子
黄昏て紅	岡崎 圭史	light wind	大和 百代	南の島からの贈りもの	弥永 保子
トルソ	神原 哲夫	BOY—003	杉本 清	火の国'96	笠原三津子
構	後藤 久雄	風 解「流星」	尾崎 洋	The sun and cloud	井上 裕子
在一'96	永井 研治	写 真	村上 進	of fantasia	阪井ようこ
ZONE '95—1 for	小清水量造	煌	南部 榮	passion	山本 清次
MM	時田也寸子	女	小島 洋吉	metallic vibration	田中 靖彦
二つの翔	大島 庸世	ローマにて(1)	樋口 三郎	COMPOSITION・	大津由美子
版 画	江藤 幸男	ローマにて(2)	草野 昭治	96・M	石井香久子
WL・96—2	古川 仁史	THE LANDSCAPE	松永 百代	作品 '96—2	瀧
WL・95—3	杉江 寛	II More Blue	大和 清	瀧	田中 靖彦
Stage of Elements	加藤 清治	風化の詩	杉本 清	WORK'96—M	大津由美子
—157	木島 隆夫	ふたりの	尾崎 洋	脳 音'96—1	石井香久子
Stage of Elements—	清水 昭八	HOUSE #3443	村上 進	作品'96—No. 1	瀨川喜美子
155	瀬尾 孝子	トワイライトゾーン	南部 榮	和	青山 久子
飛び出たのはいいけど...		D—space 9604	小島 洋吉	RT—'96(crocodile)	奥山 善一
流れる星雲 II		作 品(A)	樋口 三郎	雪 の 華	都築 邦春
流れる星雲 I		作 品(B)	草野 昭治	大塚 哲郎	大塚 哲郎
曲がりかど		光のプレリュード963		安井賞展39回	セゾ
峠		群 青 の 響		1. 31—2. 26	
MAP[COPY ¹⁶ ×4]		出 会 い		ン美術館	
No.46		青 の 旋 律		アートトップ 151	
作品96—2—5		作品No.110—9 A		毎日夕刊 1. 29 本間正義	
作品96—2—10		表 現		出品目録	
アトリエ・黙想		景		夢 醉	小林 裕児
語る		カプリース'96		GOLD LEGEND	一居 孝明
仏陀の風景 邂逅の時		作 品		(II)	
96—I A		デザイン		虹の境界—III	安達 博文
仏陀の風景 邂逅の時		光の波・ゆらめく		彩 壁	阿部 直昭
96—II A		浮遊する記憶		花 野	赤川実由記
破戒 仮象				もりのひと(II)	秋田 光彦
一形態— No32				STUFF(S)	新井 知生
				誕 生 II	五十嵐敏雄
				空 白	井上 敬一

あおによし	石倉 郁美
わたしの声が聞こえるか	今永 清玄
上古の夢	岩尾 善幸
ZOnE	長尾 良範
海(PRIMEDAL PLATE)	大石 展子
Providence in Nature Series 153 "VAPOR"	奥田 輝芳
メモリータイム	加藤 英
ある風景'95 I	樫尾 直
或る女性	神崎 慶子
IN THE DEPARTMENTSTORE, MUSEUM	川村 悦子
遊(カンケリーV)	久保 輝秋
Roller 1995-1	蔵本 秀彦
えんとつになった男	城ヶ崎 悟
七夕の夜に	田嶋 佳子
僕たちの将来	館野 弘
白の磔刑	玉川 信一
まどろむ街	玉虫 良次
鳥の巣	土屋 文明
黙	椿野 浩二
斜面の風景II	中西 良
寂(彼方に)	中村 芳雄
Portrait of Mr. P. V. Dub	西田 周司
宇宙の海	比企 祥子
Naked Life '95-A	福満正志郎
不在都市—光茫	藤沢彦二郎
自律する影 シーツ1	堀 正明
山あるき—3月	本田 健
記憶の空間	松尾 文隆
そして、そして、そして、そして、そして(赤)	村上 隆
風の風景	森 一浩
漁夫 '95 F	森川 浩孝
記憶の道 I	森下 良一
四区、そして69番地	森田 康雄
GROUND大阪港	矢吹 幸子
ほどける風景シリーズ—みんないっしょ	安原 竹夫
早春	柳田 昭
雨のあと	吉岡 正人

〔東洋古美術〕

1 月

- ホノルル美術館名品展 平安~江戸の日本絵画 2-2月12 佐賀県立美術館
- 中部地方に埋納されたやきもの 経塚出土陶磁展2 4-2月4 奈良国立博物館
経塚の造営
- 後藤家十七代の刀装具 武士を飾ったミクロの芸術 4-2月4 徳川美術館
- 時衆の美術と文芸 遊行聖の世界 4-28 長野市立博物館
時衆の絵画 相澤正彦
時衆の彫刻 薄井和男
時衆の工芸 品川文彦
時衆の文書・典籍 石塚勝
- やきものの美-朝鮮・東南アジア・中近東・欧州- 5-2月18 大和文華館
- 艶と粹-肉筆浮世絵展 9-3月17 出光美術館
浮世絵・肉筆美人画の世界 内藤正人
- 幻の縄文土器の時代-都筑区桜並遺跡の発掘調査の成果- 13-2月18 横浜市歴史博物館
- 銅鐸の美展 弥生文化の謎とロマン 13-3月24 神奈川県立歴史博物館
- 古代の硯 15-2月18 齋宮歴史博物館
主要参考文献
- いにしへの渡りびと 近江の渡来文化 21-4月7 滋賀県立安土城考古博物館
近江渡来人人名一覧
近江の渡来系氏族概要
- 古代の群像 俑と埴輪 23-3月24 大阪府立近つ飛鳥博物館
俑と埴輪 高島徹
- 日本の美「琳派」展 25-2月6 高島屋(日本橋)
- 湖北の木匠 図面・古文書・道具でみる大工の姿 26-3月10 市立長浜城歴史博物館

大工 藤岡和泉家関わった社寺建築・仏具等一覧
浅井郡大工組の成立と変遷 北村大輔
主な参考文献

世界図遊覧 坤輿万国全図と東アジア 27-3月10 土浦市立博物館
韓国に伝来した坤輿万国全図について 李燦
日本人と坤輿万国全図 青木千枝子
坤輿万国全図とは何か 木塚久仁子
坤輿万国全図所在一覧(中国・韓国・日本)
主要参考文献
発掘速報展 大阪'96 30-3月24 大阪府立弥生文化博物館

2 月

- 時衆の美術と文芸 中世の遊行聖と藤沢 3-25 藤沢市民ギャラリー
- 日本の美「琳派」展 9-19 名古屋三越栄本店
- 旅と信仰-富士・大山・榛名への参詣- 10-3月24 板橋区立郷土資料館
史蹟一覧
庶民の山岳登拝 宮本袈裟雄
板橋の富士講 小花波平六
板橋区旧村富士吉田宿坊変遷 吉田政博
大山・榛名宿坊変遷表
主要参考文献目録
- シーボルト父子のみた日本 生涯200年記念 10-3月10 林原美術館
三人の「日本のシーボルト」の生涯と業績 ヨーゼフ・クライナー
ヨーロッパにおけるシーボルト・コレクション ライデン国立民族学博物館におけるシーボルト・コレクションについて マティ・フォーラー
ヨーロッパにおけるシーボルト・コレクション ミュンヘン国立民族学博物館所蔵の二番目のシーボルト・コレクション プルーノ・J・リヒツフェルト

- ヨーロッパにおけるシーボルト・コレクション ウィーンにおけるハインリッヒ・フォン・シーボルトのコレクション ヨハネス・ヴァーニンガー
ヨーロッパにおけるシーボルト・コレクション シーボルト・コレクションの美術史的意義 河野元昭
シーボルト・コレクションとその背景 シーボルトの日本研究-集める・調べる・見せる- 佐々木秀彦
シーボルト・コレクションとその背景 シーボルトの見た日本の地域産業 北原進
シーボルト・コレクションとその背景 川原慶賀筆「人物画帳」について 小林淳一
シーボルト・コレクションとその背景 幻の博物学標本作者たち 近藤雅樹
シーボルト・コレクションとその背景 シーボルトのみた日本のおみやげもの 松崎亜砂子
シーボルト・コレクションとその背景 シーボルトと茶 熊倉功夫
シーボルト家 略系譜
シーボルト父子の足跡
参考文献
縄文土器の一生-縄文人の技術を探る- 10-5月12 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
大和名所絵図巡り-一枚刷りにみる遊山風物- 12-3月31 天理ギャラリー
概説
よみがえる甬山古墳群 15-4月7 城陽市歴史民俗資料館
参考文献一覧
錦絵の誕生 江戸庶民文化の開花 20-3月24 江戸東京博物館
錦絵の誕生-江戸庶民文化の開花- 小林忠
大久保巨川と阿倍荻鷲 原史彦
絵師解説
略年表
ホノルル美術館名品展 平安~江戸の日本絵画 20-3月31 山口県立美術館

法華信仰 22—4月21 神奈川県立
金沢文庫
『法華経』の成立と弘通 中野雅之
参考文献

歌川国貞展—美人画を中心に—
24—3月24 静嘉堂文庫美術館
歌川国貞の小伝と画歴(美人画を
主として) 鈴木重三
歌川国貞(三代歌川豊国)年譜 鈴
木重三編
国貞関連主要文献目録
参考資料

民具から見た台所の歴史 24—3月
31 浜松市博物館

考古学トイレ考 25—4月7 大田
区立郷土博物館
研究史抄 清水久男

3 月

相撲の造形—おもちゃにみる力士た
ち— 1—4月14 龍野市立歴史
文化資料館
相撲博物館の創始者 酒井忠正と
相撲 中村史彦
郷土玩具に見る相撲人形の種々相
奥村寛純

福生市の中世大量埋蔵銭 1—5月
26 福生市郷土資料室
長者堀伝承と熊川神社所蔵の出土
銭 和田哲
北条氏照と福生の人々 久保田昌
希
修験と村を訪れる宗教者 遠藤廣
昭
半沢寛円坊と熊川真福寺 高崎勇
作
参考資料

職人—くらしを支えた人々— 2—
4月7 栗東歴史民俗博物館

獅子頭—東日本を中心に— 5—4
月7 町田市立博物館
獅子の芸能 山路興造
獅子と狛犬・獅子頭など 田邊三
郎助

東海道と神奈川宿 5—4月7 横
浜市歴史博物館
東海道と横浜市域 齊藤司
金川砂子 齊藤司
近世前期の神奈川 齊藤司

細見神奈川絵図を読む 齊藤司
台町の一五景 齊藤司
初公開 御殿山原コレクション—三
井寺日光院障屏画を中心として

8—4月20 根津美術館
時衆の美術と文芸 遊行聖の世界
10—4月14 大津市歴史博物館
安芸国楽音寺—楽音寺縁起絵巻と楽
音寺文書の全貌— 15—4月7
広島県立歴史博物館

楽音寺の歴史 浜田宣
小早川家略系図 浜田宣
楽音寺縁起絵巻 浜田宣
楽音寺文書 浜田宣
楽音寺文書一覧表(一)〔巻別〕
浜田宣
楽音寺文書一覧表(二)〔年代順〕
浜田宣

楽音寺の主な文化財 浜田宣
主要参考文献

楽音寺周辺の主な文化財マップ
野牛とその時代—旧石器時代のいわ
て— 19—5月6 岩手県立博物
館
引用・参考文献

暁斎の戯画・狂画展 20—4月7
小田急美術館

河鍋暁斎と戯画・狂画 及川茂
暁斎、アンダソン、モリソン
ティモシー・クラーク/飯野正仁
訳
「ユーモア絵師」としての暁斎 マ
ティ・フォラー/牧野裕二訳
年譜 石山公子編
主要文献目録

東寺と「東宝記」—東寺ルネッサン
ス— 20—5月25 東寺宝物館
『東宝記』について 山本信吉
東寺の寺宝の由来—『東宝記』を中
心に— 新見康子
『東宝記』所載の寺宝対照表

大唐王朝の華—都・長安の女性たち
23—5月26 兵庫県立歴史博物館
唐代長安の女性の世界 韓偉
大唐王朝の華—都・長安の女性た
ち—について 木村重圭
日本の中の唐文化 寺西貞弘
俑の製作技法 飯島義雄
陝西省宝鶏市訪問記—法門寺から
周原へ— 藪下浩

平成8年美術展覧会(2~4月)

陝西省の博物館—その歴史環境と
特色— 小栗栖健治
皇帝系図
中国略図

災いくるな! II—境にひめた願い—
23—5月26 千葉県立房総のむら
境をめぐる年中行事—道切りを中
心に— 秋山真一
鴨川市における「綱つり」の形態に
ついて 豊川公裕

大英博物館肉筆浮世絵名品展 26—
4月21 千葉県美術館
肉筆浮世絵の研究・収集・贋作
ティモシー・クラーク/竹内美砂
子訳
浮世絵派の図様と画題—大英博物
館所蔵の肉筆浮世絵を中心に—
浅野秀剛
浮世絵師年表

まなざしの冒険 日本美術7つの視
点 26—5月6 京都国立博物館
美の匠たち—日本刀をめぐる“わ
ざ”の世界 26—5月6 埼玉県
立博物館
美の匠たち—日本刀をめぐる“わ
ざ”の世界— 杉山正司
備前長船鍛冶を概観する 小笠原
信夫
備前刀工系譜・備前刀産地地図
刀剣各部の名称・拵各部の名称
日本刀鑑賞の手引刃文
主要参考文献

4 月

遊行僧円空の心と技—素朴な木仏に
祈りをこめて— 2—5月19 千
葉県立上総博物館
円空仏の主な分布と修験の霊山
円空略年表

英山 2—6月30 日本浮世絵博物
館
菊川英山—その生涯と画業— 近
藤映子
英山編年資料集成
浮世絵学年表(英山)
浮世絵学 画号索引
落款—覧
菊川英山大判画目録(五十音順)
〔近藤1996英山目録〕

平成8年美術展覧会(4月)

中ノ郷騎馬武者の甲冑 3-5月26
野馬追の里歴史民俗資料館
李王朝時代の刺繍と布 5-5月19
名古屋市美術館
李王朝時代の文様と色彩 見延佳
津恵
名もなき芸術家たちへのオマージュ 許東華
用語解説
主要参考文献
日本の文人画2-関東文人画の世界 文晁・峯山・椿山など-
6-5月26 静嘉堂文庫美術館
日本文人画の本領と静嘉堂コレクション 小林忠
関東文人画の成立 河野元昭
作家小解
画家生没年対照表
署名・印章一覧
中世の貴族-重要文化財久我家文書
修復完成記念- 10-5月6 京都国立博物館
久我家文書と久我家領 小川信
久我家文書の補修について 磯貝
幸彦
久我家略系図
略年表
暁斎の戯画・狂画展 13-5月12
高松市美術館
南通博物館所蔵明清書画展-張翥寄
贈作品による 16-22 日中友好
会館美術館
京都・永観堂禪林寺の名宝 16-5
月19 大阪市立美術館
永観律師の念仏信仰と「みかえり
阿弥陀」の出開帳 五十嵐隆明
禪林寺の歴史 西口順子
みかえり阿弥陀と西山禪林寺派に
伝わる彫刻 米屋優
西山派と浄土教絵画 石川知彦
永観堂禪林寺の障壁画-現状と問
題点- 朝賀浩
禪林寺年表
証空上人事蹟年表
サントリー美術館コレクション-国
宝・重要文化財を中心に- 16-
5月26 サントリー美術館
美術品の流転 榊原悟
円山応挙の青楓瀑布図について
石田佳也

八稜形鏡箱について 内藤榮
青木木米の三彩鉢について 岡戸
敏幸
薩摩切子藍色船形鉢について 土
屋良雄
山田寺東回廊 再現にむけて-
16-5月26 奈良国立文化財研究
所飛鳥資料館
山田寺の歴史 杉山洋
発掘された山田寺の様子 次山淳
山田寺東回廊出土材の保存 岩本
圭輔
東回廊にみる山田寺の建築 藤田
盟児
参考文献
仁徳陵古墳-築造の時代 16-6月
9 大阪府立近つ飛鳥博物館
第一章 五世紀の東アジアと国際
情勢 大庭脩
第二章 大王の棺 和田晴吾
第四章 仁徳陵古墳を生んだ時
代 一【仁徳陵古墳を生んだ時代】
一瀬和夫
第四章 仁徳陵古墳を生んだ時
代 二【須恵器・埴輪】 三宅正浩
第四章 仁徳陵古墳を生んだ時
代 三【甲冑・馬具】 一瀬和夫
第四章 仁徳陵古墳を生んだ時
代 四【黄金色の装身具】 高島徹
第四章 仁徳陵古墳を生んだ時
代 五【文字】 藤永正明
コラム一【仁徳陵古墳模型をつ
くる】 一瀬和夫
コラム二【陵墓の比定について】
栗山和之
表3 大阪の陵・墓一覧、陵墓参
考地一覧
表4 主要文献一覧
コラム三【絵画表現からみた山稜
図】 藤田豊
第五章 付章 二【参考文献目録】
かごしま-美の先人たち-薩摩画壇
四百年の流れ 19-5月19 鹿児島
島市立美術館
鹿児島島の絵画史-室町時代を中心
として- 永田雄次郎
鹿児島島の近世絵画 山西健夫
鹿児島島の絵師の系図
秀吉と桃山文化-大阪城天守閣名品
展- 19-5月26 岐阜市歴史博
物館

秀吉の人物像点描-大阪城天守閣
収蔵史料に見る- 渡辺武
信長と秀吉 土山公仁
秀吉に挑んだ四国の英雄-長宗我
部元親かく戦へり- 野本亮
戦国合戦図屏風について 川延安
直
新奇を求める眼-陣羽織に見る桃
山の精神 五十嵐聡美
大阪城のあゆみ 宮本裕次
大阪城のあゆみ 年表
開館30周年記念特別展 花 20-5
月19 須坂市立博物館
花と人 小林宇孝
加賀藩の甲冑 20-5月26 石川県
立歴史博物館
加賀藩の甲冑 長谷川孝徳
用語解説 長谷川孝徳
当世具足の名所 畠山尚子
参考文献
中国考古学十大発掘文物 北方騎馬
民族の黄金マスク展 20-5月26
京都文化博物館
蒙古の風土と民族 楊傑
騎馬民族文化の発展 楊傑
遼(契丹)王朝 齊曉光
陳国公主墓 孫建華
遼代契丹人の埋葬制度と陳国公主
墓 塔拉/孫建華
契丹族の狩獵と馬具 塔拉/孫建
華
年表
11世紀の東アジア地図
参考文献
卑弥呼の動物ランド-よみがえった
弥生犬- 20-6月30 大阪府立
弥生文化博物館
弥生時代の人と動物のかかわり
宮崎泰史
鹿角の呪力 渡辺昌宏
古代中国人とイヌ 金関恕
弥生人-その形質的特徴と起源を
探る- 松下孝幸
イノシシとブタを考える 安部み
き子
出品遺跡地図
〈参考表〉古代文献に見える動物
参考文献
シーボルト父子のみた日本 20-6
月30 江戸東京博物館

シルクロード大美術展 20-7月7日
東京都美術館
序章

第1章-セラントとシルク・ロード
ジャック・ジェス/モニック・
コーエン/基信祐爾訳

第2章-オアシスのつらなりとセ
ラントの考古学 ジャック・ジェ
ス/基信祐爾訳

第3章-セラント仏教図像学の試
み ジャック・ジェス/基信祐爾
訳

第4章-セラントから中国、そし
て日本へ ジャック・ジェス/基
信祐爾訳

シルク・ロード地図

シルク・ロード、仏教東漸とセラ
ントの探検史 基信祐爾

黄金と侘び 秀吉展 23-5月26日

大阪市立博物館

黄金と侘び「秀吉展」に寄せて 渡
辺武

秀吉略年表

秀吉の家系

秀吉 天下統一への道

参考文献

福井の生んだ奇才・浮世絵師、夢楽
洞万司の世界 25-6月23日 福井
県立博物館

総説 青木美智男

女性の社寺参詣 本川幹男

銘文等一覧 山形裕之

資料一覧

参考文献

海の道から中世をみる1 中世の港
町 26-5月26日 広島県立歴史博
物館

一 津軽と瀬戸内 佐藤昭嗣

二 中世都市の誕生 佐藤昭嗣

三 中世の水運と流通 佐藤昭
嗣/福井照道

中世前半期の主要な港町

主要参考文献

古代の炎と器-す・え・きインひろ
しま- 26-6月9日 広島県立歴
史民俗資料館

みちのくの人形たち 三春・堤・花
巻・相良 26-6月16日 仙台市博
物館

本出保治郎と東北の古人形 小井
川百合子

堤人形の型と指紋 杉山晋作

堤人形等の材質分析 清水芳裕

よみがえる甕 東アジアの古瓦と埴

27-5月12日 黒川古文化研究所

日本瓦関係史略年表

東京湾・海苔の文化誌-のりを喰う

27-5月26日 千葉県立中央博物館

日本の美「琳派」展 京都・大阪・江
戸に咲き乱れた日本美の華 27-

5月26日 堺市博物館

細見コレクションについて-親子

二代の真剣勝負見聞記- 山根有

三

琳派物語 小林忠

主な琳派作家の生没年表

町人文化の華-大津祭 27-6月2日

大津市歴史博物館

大津祭の発生とその展開 木村至

宏

大津祭関係地図

曳山のかたち

ねりもの

大津に残るB・B・タベストリー

「トロイア陥落図」の謎 定村忠士

曳山を彩る幕-大津祭の懸装品-

河上繁樹

曳山を飾る絵画類 横谷賢一郎

曳山を彩る彫刻・金具 和田光生

甕った曳山からくり-大津祭源氏

山の場合- 山田和人

大津祭と大津町人 樋爪修

大津町町会所建築の形態と特色

大場修

大津祭の囃子について 木津勝

大津祭こよみ

周辺の曳山祭

曳山変遷表

ねりもの変遷表

大津祭略年表

東アジアの仏たち 27-6月2日 奈
良国立博物館

概説 松浦正昭/河原由雄

第二部 その一 器物にあらわさ
れた仏たち-仏像鈴・錫杖頭・銭

弘叙八万四千塔- 阪田宗彦

第二部 その二 浮彫にあらわさ
れた仏たち-埴仏・鎚鏝仏・鑄出

仏- 井口喜晴

第二部 その三 異国のイメージ
-中国仏画と高麗仏画- 梶谷亮
治

第二部 その四 経巻の見返絵に
みる仏の姿 西山厚

銅鐸 埋納と終焉を考える 27-6

月2日 銅鐸博物館

引用・参考文献

祝福された四季-近世日本絵画の諸

相 27-6月9日 千葉市美術館

四季の中に生きる 辻惟雄

季節の四季と人生の四季 小林忠

四季絵の諸相-室町時代から江戸

時代へ 松尾知子

近世諸派の四季表現 田辺昌子

主要参考文献

謎の大寺・飛鳥川原寺-白鳳の仏-

27-6月23日 群馬県立歴史博物館

白鳳の仏たち

飛鳥の地とその時代

飛鳥遺跡地図

飛鳥川原寺と裏山遺跡 網干善教

山王廃寺を造ったのは誰 右島和

夫

主な参考・引用文献

港北ニュータウン地域の暮らし 27

-6月23日 横浜市歴史博物館

主要参考文献

齋王と平安歌人たち 28-6月2日

齋宮歴史博物館

1、国風の暗黒と六歌仙の時代

榎村寛之

2、転換期としての宇多朝 榎村

寛之

3、宇多天皇と歌人たち 榎村寛

之

4、藤原兼輔と柔子内親王 榎村

寛之

5、古今和歌集を生んだ社会 榎

村寛之

6、勸修寺家系の齋王たち 榎村

寛之

7、徽子女王-村上天皇の歌壇

榎村寛之

海北派の歌仙絵 榎村寛之

岩佐派の歌仙絵 榎村寛之

参考文献

墓と弥生時代 28-6月9日 滋賀県

立安土城考古博物館

参考文献

5 月

- シーボルト家の二百年展 1-7月
10 シーボルト記念館・長崎市立博物館
シーボルトの誕生一その社会的背景をめぐって 宮坂正英
ブランデンシュタイン=ツェッペリン家一ブランデンシュタイン城所有100年の歩み一 ウド・バイライス/宮坂正英訳
ヴェルツブルクのシーボルト家系図
シーボルト関係ヨーロッパ地図
シーボルト生誕200年の歩み
主要参考文献
ながめて、のぞいて、きりぬいて一浮絵・眼鏡絵・立版古一 2-6月16 土浦市立博物館
北山橋庵と文学 10-7月9 松原市民ふるさとびあプラザ
北山橋庵と近世松原の文化人 年表
小堀遠州の茶会 11-6月9 根津美術館
小堀遠州の茶の湯 小堀宗慶
幕政史上の小堀遠州 高木昭作
遠州の茶会記に見られる請来の茶陶 西田宏子
参考文献
遠州茶会に招かれた人々 佐藤サアラ
小堀遠州年譜 佐藤サアラ編
遠州の観た茶入 11-6月9 五島美術館
歌人としての小堀遠州 宗政五十緒
遠州と瀬戸茶入 竹内順一
遠州の箱書と歌銘 名児耶明
考古学から見た瀬戸茶入 井上喜久男
名物記にみる和物茶入の変遷 砂沢祐子
日本の史籍 13-6月9 天理ギャラリー
中世の貴族一重要文化財久我家文書修復完成記念一 14-6月9 東京国立博物館
暁斎の戯画・狂画展 18-6月16 呉市立美術館

- 李王朝時代の刺繍と布 23-7月7 国立国際美術館
江戸時代の絵画 23-6月30 大和文華館
初公開 御殿山原コレクション一三井寺日光院障屏画を中心として 24-7月6 徳川美術館
江戸幕府の代官 26-6月23 大田区立郷土博物館
江戸幕府の天領と代官支配 村上直
代官江川氏と江川英龍 仲田正之

6 月

- 山丹交易と蝦夷錦 1-7月28 北海道開拓記念館
山丹交易について 矢島睿
特別展「山丹交易と蝦夷錦」関連地図
アムール川下流とその周辺の人々 手塚薫
松前藩と山丹交易 小林真人
中国清朝の黒竜江地方の経営 矢島睿
蝦夷錦の文様 矢島睿
蝦夷錦の諸形態 矢島睿
蝦夷錦の利用 矢島睿
アイヌ絵にみる蝦夷錦を着たアイヌ 林昇太郎
秀吉と桃山文化一大阪城天守閣名品展一 4-7月7 北九州市立美術館
大唐王朝の華一都・長安の女性たち 4-7月7 岐阜市歴史博物館
黄金と侘び 秀吉展 4-7月14 サントリー美術館
やすらぎの文化の脇役たち 8-7月7 たばこと塩の博物館
やすらぎの文化の脇役たち
もののぐの優美 9-7月31 野馬追の里歴史民俗資料館
中国考古学十大発掘文物 北方騎馬民族の黄金マスク展 13-7月14 そごう美術館(横浜)
暁斎の戯画・狂画展 22-7月21 山梨県立美術館
仁和寺御流の聖教一京・鎌倉の交流一 27-8月18 神奈川県立金沢文庫

仁和寺御流の聖教一京・鎌倉の交流一

7 月

- 高井田山古墳をめぐる一近畿地方の横穴式石室のはじまりは一 5-8月25 柏原市立歴史資料館
古墳の変遷と近畿地方の初期横穴式石室 桑野一幸
ひょうご仏教絵画巡礼 一県指定文化財と優品をたずねて一 13-9月1 兵庫県立歴史博物館
巡礼余滴拾遺一墨書銘・賛・史料知念理
出品社寺・出品機関所在地
大唐王朝の華一都・長安の女性たち 14-8月18 鳥取県立博物館
伊予八幡の大名 大名文化の世界 14-9月1 愛媛県歴史文化博物館
松山藩主松平定直と伊予俳諧 大石慎三郎
大名家の女性の生涯一伊予松山・西条藩ゆかりの女性たち一 井上淳
伊予八藩領域図(幕末期)
主要参考文献
世界・炎の博覧会 文明とやきもの展 19-10月13 佐賀県立九州陶磁文化館
シーボルト家の二百年展 20-8月18 宇和町先哲記念館
縄文人の一生一北村遺跡に生きた人びと一 20-8月25 長野県立歴史館
縄文人はどこからきたか 馬場悠男
関連資料一覧
引用・参考文献
石 20-9月1 綾部市資料館
守住貫魚 幕末・明治を生き抜いた絵師 20-9月1 徳島市立徳島城博物館
幕末・明治を生き抜いた絵師 守住貫魚 概説 守住貫魚の生涯 須藤茂樹
守住貫魚略年表
幕末・明治徳島住吉派の画系
主要参考文献

久津川古墳群を掘る 20—9月16
 城陽市歴史民俗資料館
 南山城地域における久津川古墳群
 参考文献一覧

高野山の如来像 20—9月23 高野
 山霊宝館
 高野山の如来像 井筒信隆
 舍利信仰について 小野真幸

滋賀・高島郡展 湖西の歴史と風土
 20—9月23 滋賀県立安土城考古
 博物館
 展示遺跡の分布
 主な参考文献

土浦の遺跡 23—12月8 上高津貝
 塚ふるさと歴史の広場

祝樽一酔いと祝いの造形— 27—8
 月25 石川県立歴史博物館
 祝樽雑考 北沢寛
 天日陰比咩神社のドブコク祭り
 北沢寛
 能登杜氏について 北沢寛
 酒屋さんと樽 北沢寛
 祝樽の形態
 参考文献

法隆寺秘宝展一再現・元禄江戸出開
 帳— 31—9月16 サントリー美
 術館
 法隆寺元禄出開帳への道 高田良
 信
 法隆寺における聖徳太子信仰遺品
 と江戸出開帳の霊仏・霊宝 河田
 貞
 南無仏舍利等江戸下向の行程
 元禄七年法隆寺出開帳年表 高田
 良信

8 月

エルミタージュ美術館特別名品展—
 神と人間— 1—10月17 新潟県
 立近代美術館
 エルミタージュ美術館特別名品展
 について 前川誠郎
 ギリシア美術における神と人間の
 表現—「アガルマ」概念の変遷—
 福部信敏
 中央アジア美術に現れた神と人間
 中野照男
 原始文化史 ユーリイ・ビオトロ
 フスキイ/アンドレイ・マズルケ

ヴィチ/ナターリヤ・ゴルブノ
 ワ/ヤロスラフ・ドマンスキイ/
 アンドレイ・アレクセーエフ/
 リュドミラ・バルコワ/エレ
 ナ・オヤテワ/鴨川和子訳
 古代ギリシア・ローマ美術 古代
 ギリシアの宇宙—神と人間— ソ
 フィア・ポリスコフスカヤ/長井
 康平訳
 東洋美術 神・神々・人間—東洋
 の美術 キーラ・サモシク/長
 井康平訳
 ロシア文化史 エルミタージュ美
 術館コレクションにおける古代ロ
 シアの聖像画 アレクサンドラ・
 コスツォワ/新田喜代見訳
 西洋美術 16—18世紀西洋絵画に
 おける神と人間 マリア・ガルロ
 ワ/新田喜代見訳
 展覧会歴一覧
 文献一覧

シーボルト父子のみた日本 1—11
 月19 国立民族学博物館

親と子のギャラリー「ぶつぞう入
 門」 2—25 奈良国立博物館

第二回新収蔵資料展 2—9月1
 広島県立歴史博物館

収蔵資料展I 旅・東海道・金沢八
 景 3—9月8 横浜市歴史博物館

縄文と弥生の神と祈り 3—9月23
 北九州市立考古博物館

南部氏と遠野 10—9月23 遠野市
 立博物館
 遠野南部氏について 伊藤英造
 1 波木井南部の時代 伊藤英造
 2 八戸南部の時代 伊藤英造
 3 遠野南部の時代 伊藤英造
 遠野南部家関係略年表

甕の鎌倉 遺跡発掘の成果と伝世の
 名品 10—9月29 根津美術館
 鎌倉市文化財総合調査のあゆみ
 貫達人
 鎌倉市文化財総合調査を振り返る
 松尾宣方
 赤星直忠先生と考古学 小川裕久
 三上先生と鎌倉 玉林美男
 鎌倉の貿易陶磁 手塚直樹
 鎌倉遺跡出土品と伝世の品々 西
 田宏子
 鎌倉市内出土資料考察表 手塚直
 樹編

中世鎌倉を中心にした年表 重富
 滋子編
 鎌倉遺跡地図

縄文土器は語る—発掘された太古の
 くらし— 10—11月24 野馬追の
 里歴史民俗資料館
 東日本中期前葉~中葉土器編年表
 引用・参考文献

知らされるインド更紗 南海の島々
 インドネシアにおける発見 14—
 9月1 小田急美術館

秀吉と桃山文化—大阪城天守閣名品
 展— 17—9月22 北海道立近代
 美術館

金沢文庫の中世神道資料 22—10月
 6 神奈川県立金沢文庫
 金沢文庫の中世神道資料覚書—鈿
 阿と全海の周辺— 津田徹英
 金沢文庫現存神道関係資料総目録
 湖東焼—民業湖東の華— 23—9月
 24 彦根城博物館
 湖東焼—民業湖東の四人の仲間た
 ち— 谷口徹

シーボルト家の二百年展 25—9月
 23 保内町中央公民館

大唐王朝の華—都・長安の女性たち
 25—9月29 和歌山市立博物館

李朝絵画—隣国の明澄な美の世界—
 29—9月29 大和文華館
 李朝の花鳥画と日本 吉田宏志
 瀟湘八景図に見る朝鮮と中国 板
 倉聖哲
 日本所在李朝絵画目録 吉田宏志
 編
 参考文献一覧表 板倉聖哲

9 月

浮世絵に見る歌舞伎 幕末・明治の
 名優たち 7—10月13 たばこと
 塩の博物館
 幕末明治俳優錦絵譜 新藤茂
 歌舞伎史から見た猿若町時代 赤
 間亮
 役者評判絵 花鏡昇勝業 翻刻
 佐藤要人
 国芳の役者戯画「当ル奉納願お賀
 久面」について 岩田秀行
 幕末・明治の名優たち 谷田有
 史/速水久美

平成8年美術展覧会(9~10月)

明恵 故郷でみた夢 7-10月13
和歌山県立博物館

特別展「明恵—故郷でみた夢—」の
ねらいと構成 高橋修

概観 明恵上人紀州八所遺跡と鷹
島・苅藻島 高橋修

特別展「明恵—故郷でみた夢—」関
連年表

湯浅一族略系図

仏教史上における明恵上人の位置
西山厚

明恵上人と鷹島 田中重雄

『明恵上人遺跡』について 村田弘

明恵上人と浄教寺・涅槃図との接
点 武田和昭

参考文献

ちば3万の遺産—房総の人と用具
— 10-11月4 千葉県立房総風

土記の丘

旧石器時代主要遺跡地図

縄文時代主要貝塚地図

弥生時代主要遺跡地図

主要古墳・古墳群・横穴群地図

奈良・平安時代主要遺跡地図

平安時代中期以降主要遺跡地図

主要遺跡概要

京都・永観堂禪林寺の名宝 12-10
月20 東武美術館

黄金と侘び 秀吉展 14-10月13
名古屋博物館

ボストン美術館の至宝 中国宋・元
画名品展 14-12月3 そごう美

術館(横浜)

序 呉同/富田章訳

中国宋元画関連年表

関連地図

富山売薬の歴史展 14-10月27 富
山市郷土博物館

富山売薬薩摩組の鹿児島藩内での
営業活動—入国差留と昆布廻送—

高瀬保

生誕二百年記念・広重の世界展 18
-10月6 小田急美術館

なつかしい日本の風景画家 広重
小林忠

広重の魅力とミステリー 中右瑛

広重の近代性—隠された西欧への
目差し— 横田洋一

広重年譜 花田伸一編

主要文献目録 植田玲子編

庶民の旅 18-10月20 浜松市博物
館

一 さまざまな旅のかたち

二 諸国の情報

三 旅のありさま

四 街道と宿場

水とくらし—千川上水の三百年—
21-10月20 板橋区立郷土資料館

信長・秀吉と西岡 21-10月27 向
日市文化資料館

比企地方の文書 景観とひとの暮ら
し 21-11月17 埼玉県立文書館

人類の起源とサヌカイト —チンパ
ンジ—の文化・ヒトの文化— 21

-11月24 香芝市二上山博物館

旧桂宮家伝来の美術 雅と華麗 21
-12月8 宮内庁三の丸尚蔵館

旧桂宮家について 太田彩

旧桂宮家伝来の美術品について

太田彩/平林盛徳

日本名刀展—鉄と炎の芸術— 22-
10月27 長野県信濃美術館

湾刀の変遷にみる美と実用性 田
野辺道宏

日本刀鑑賞の手引

中国考古十大発掘文物 北方騎馬民
族の黄金マスク展 22-11月4

古代オリエン博物館

彦根藩士の甲冑—赤備えの家臣たち
— 27-10月22 彦根城博物館

彦根藩士の甲冑 山岸岳

室町の絵画展—詩画軸・屏風・障壁
画— 28-12月1 静嘉堂文庫美

術館

作家小解

賛者・題者小解

賛者・題者作品対照表

大田区の船大工—海苔の船を造る—
29-11月3 大田区立郷土博物館

第一章 大田区の船大工 藤塚悦
司

第二章 中ベカの造船 藤塚悦司

第三章 ベカ船を造る 北村敏

第四章 海苔船の造船記録 藤塚
悦司

第五章 船大工の道具 小林由
香/小林亜矢/鈴木清美/木戸直

子/門井幸子

参考文献

10 月

日本の武具名宝展 1-27 広島城
日吉神社伝来 重要文化財 赤糸

威鎧 兜・大袖付 山岸素夫

概説 備後三原派の刀工 加川和
夫/井荃良雄

役者絵の極み—豊原国周の世界—
1-11月16 中野区立歴史民俗資

料館
豊原国周の生涯とその作品 比田
井克仁

珠玉の日本美術 細見コレクション
の全貌と、ボストン、クリーブラ

ランド、サッカーの話題作 1-
11月16 千葉市美術館

縦断日本美術史—細見コレクシ
ョンの紹介を兼ねて 辻惟雄

貝塚は縄文時代のタイムカプセル
1-12月5 流山市立博物館

流山市内の貝塚と貝ブロックが検
出されている遺跡—一覧表

幕末明治歌舞伎資料展 役者絵とそ
の周辺 2-11月4 跡見学園女

子大学花咲記念資料館

シーボルト家の二百年展 2-11月
10 大津市歴史博物館

寛永の華 後水尾帝と東福門院和子
3-11月10 神奈川県立歴史博物

館
公家有職 雅楽 東儀兼彦

後水尾天皇の御事跡 武部敏夫
東福門院和子の服飾事情 橋本健

一郎
略年譜

弥生人のくらし—卑弥呼の時代の北
関東— 3-11月10 栃木県立な

す風土記の丘資料館

弥生時代後期の北関東地方西部
(群馬) 相京建史

栃木県域の弥生時代後期 岩上照
朗

弥生時代後期の北関東地方東部
(茨城) 海老沢稔

弥生時代後期の東北地方南部(福
島) 芳賀英一

古墳出現前夜の北関東地方 設楽
博己

栃木県関係弥生時代文献目録
主要参考文献

海の道から中世をみる2 商人たちの瀬戸内 4-11月4 広島県立歴史博物館
 総論
 人物で描く 中世の内海流通と大名権力 岸田裕之年表
 主要参考文献

特別展 仏教の聖画 十二世紀を中心とする平安仏画の精髓 5-11月4 根津美術館
 仏教の聖画 高田修
 平安後期仏教絵画の諸相—日本の仏画の完成と変容— 安田治樹
 根津美術館本 金剛界八十一尊曼荼羅覚書 有賀祥隆
 関連年表 白原由起子
 参考文献

波瀾をこえて—古代・中世の東アジア交流— 5-11月4 石川県立歴史博物館
 扶安竹幕洞祭遺跡 兪炳夏
 環日本海交流史から見た渤海と北陸道 小嶋芳孝
 古代能登・加賀の津済—考古学の視点から— 戸潤幹夫
 北陸と宋人 小西洋子
 『海東諸国記』と舩倉島 石田文一
 珠洲古陶 高橋裕
 北陸対外関係年表
 参考文献

香の文化 5-11月10 徳川美術館
 日本の香りと文化 佐藤豊三
 雅のなかの香りと匂い 四辻秀紀
 主要参考図書・文献
 香道具の歴史 小池富雄

シーボルト・日本を旅する—外国人の見た日本の原風景— 5-11月10 堺市博物館
 ライデン大学図書館日本コレクション ヤン・ユスト・ウイットカム
 時と時空を越えて—フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト、日本を旅する ケン・フォス
 シーボルトの「旅」における時計と地図 角山榮
 シーボルト総合年表

狭山と北条氏—秀吉から明治維新まで— 5-11月10 大阪狭山市立郷土資料館

狭山藩中興の英主 北条氏朝 山口之夫
 北条氏朝年表
 北条家系図
 参考文献
 狭山藩年表

木簡が語る古代の信濃 掘り出された地方行政と暮らし 5-11月10 長野県立歴史館
 地方の木簡と宮都の木簡—屋代木簡の世界— 佐藤宗諄
 屋代木簡と古代の地方社会 平川南
 参考文献目録

特別展 千声・万声と龍泉窯の青磁 5-11月24 和泉市久保惣記念美術館
 中国主要窯跡地図
 龍泉窯窯跡分布図

縄文文化誕生 都筑区花見山遺跡が解き明かす最古の土器文化の謎 5-11月24 横浜市歴史博物館

大王の世紀 —兵庫の古墳と遺跡— 5-11月24 兵庫県立歴史博物館
 古墳時代の兵庫県 篠宮正
 出品遺跡位置図
 出品遺跡概要
 主要参考文献

石棚と石梁—岩橋千塚の横穴式石室をさぐる— 5-11月24 和歌山県立紀伊風土記の丘資料館
 石棚・石梁を設けた横穴式石室をもつ古墳—一覧表
 西日本の石棚をもつ古墳分布図

房総武芸帖 5-12月1 千葉県立総南博物館
 「房総武芸帖」考 尾崎晃
 参考文献

島霞谷 幕末幻の油絵師 5-12月8 松戸市戸定歴史館
 近世画像の諸機能と写真の出現 宮地正人
 島霞谷の仕事とその視覚の特色 山梨絵美子
 島霞谷の活字製造について 布川充男
 実用としての写真—もうひとつの写真術 岡塚章子
 島霞谷と開成所について 斉藤洋一

島霞谷年譜 松戸市戸定歴史館編
 秀吉と桃山文化—大阪城天守閣名品展— 5-11月24 福島県立美術館

大唐王朝の華—都・長安の女性たち 6-12月14 群馬県立歴史博物館

東北の骨角器—檜野照武氏旧菟品— 7-11月30 天理ギャラリー
 東北地方の骨角器

法隆寺献納宝物 8-11月17 東京国立博物館
 法隆寺献納宝物の由来と聖徳太子信仰—天保十三年の法隆寺江戸出開帳を中心に— 金子啓明
 『江戸出開帳日記』抄 松原茂編
 法隆寺献納宝物に関する東京国立博物館刊行物一覧 沢田むつ代編
 法隆寺献納宝物関係年表 加島勝
 富士美術館名品展 日本的美<雅>と<彩> 8-11月17 北海道立帯広美術館

斉明紀 8-11月24 奈良国立文化財研究所飛鳥資料館
 斉明天皇 岩本圭輔
 斉明朝の宮殿と古墳 杉山洋
 斉明朝と蝦夷 次山淳
 須彌山石の構造 岩本圭輔

金の大刀と銀の大刀—古墳・飛鳥の貴人と階層— 8-11月24 大阪府立近つ飛鳥博物館
 第一章 隋唐の位階制と日本 大庭脩
 第三章 大刀と装飾 三宅正浩／一瀬和夫／高島徹／藤永正明／黒田一充／藤田豊
 参考文献目録

東北地方の土偶 8-11月24 東北歴史資料館
 代表的な土偶の参考文献

Female Identity 女はどう表現されてきたか 9-11月10 岡山県立美術館
 参考図書

みやこの仏世界と豊の国 9-11月10 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館
 濫觴と伝播—初期仏教と古代寺院そびえる伽藍の荘厳—古瓦と埴仏求法の道—天台密教の隆盛と変容 山岳信仰と経塚

平成8年美術展覧会(10月)

- 極楽への憧憬—浄土信仰の広がり
と浄土教画の諸相
一念弥陀仏—源信から蓮如へ
黒衣の律僧—改革・救済と西大寺
流律宗
禅宗の受容と発展
主要語句説明
主要参考文献
齋宮・国府・国分寺 伊勢のまつり
と古代の役所 10—11月24 齋宮
歴史博物館
主要参考文献
食器の民俗 10—11月24 東北陶磁
文化館
役人たちの中世 10—12月1 神奈
川県立金沢文庫
役人たちの中世 永井晋
聖徳太子「孝養」像への視点 津田
徹英
生誕二百年記念・広重の世界展 12
—11月10 いわき市立美術館
近江の古社 御上神社の歴史と美術
12—11月10 野洲町立歴史民俗資
料館
近江の古社 御上神社
御上神社関係略年表
主要参考文献
元龜争乱 信長を迎え討った近江
12—11月17 滋賀県立安土城考古
博物館
年譜—元龜争乱—
人物紹介
関連地図
城郭構造から信長の近江進攻を讀
む 中井均
天下統一への序曲 水野和雄
「浅井長政像」模写事業について
高木叙子
参考文献
岸派とその系譜 岸駒から岸竹堂へ
12—11月17 栗東歴史民俗博物館
岸駒の生涯と芸術 佐々木丞平
「蘭齋岸矩」時代とその作品より
岩佐伸一
岸派の序列—善願寺天井画「花卉
図」 田島達也
「平安諸名家奇合虫禽図」について
—岸派の他流派接近の—ケースと
して— 横谷賢一郎
山中東江絵画資料について 明珍
健二

- 岸家・岸派略系図
岸派略年譜
参考文献
中国仙人のふるさと—山東省文物展
— 12—12月8 大阪府立弥生文
化博物館
東方の風 張從軍
楽浪郡と漢代の山東—弥生時代史
の—背景— 谷豊信
山東における大型墓の変遷 渡辺
昌宏
陶磁概観—春秋戦国時代から漢時
代の陶磁— 上田秀夫
山東半島と弥生文化のつながり—
廟島列島の南長山島で出土した青
銅器の画像紋から考える— 金関
恕
「中国仙人のふるさと」関係年表
参考文献目録
発掘されたひろしま—広島考古学最
前線— 13—11月24 広島県立歴
史民俗資料館
ひろしま遺跡年表
錦絵に見る病と祈り 痲疹・痲疹・
虎列刺 15—11月10 町田市立博
物館
痲疹絵・痲疹絵に見たる庶民信仰
の諸形態 H・O・ロータムンド
痲疹・痲疹・虎列刺絵のことなど
畠山豊
室町時代の狩野派—画壇制覇への
道— 15—11月17 京都国立博物
館
狩野派—画壇制覇への道— 山本
英男
年表
龍野の美 郷土に残された日本絵画
16—12月1 龍野市立歴史文化資
料館
近世龍野の絵画史 成沢勝嗣
はにわワンダーランド—埴輪に見る
下野の古墳文化— 17—11月24
栃木県立しもつけ風土記の丘資料
館
飯塚古墳群の埴輪 鈴木一男
円筒埴輪のならべ方 大沢伸啓
埴輪の世界—東国の人物埴輪を考
える— 杉山晋作
主要参考文献

- 歴史を彩るひとびと—岡山の古代・
中世— 19—11月17 岡山県立博
物館
参考文献
鯨絵見聞録 大江戸幕末鯨絵事情
19—12月1 土浦市立博物館
鯨絵はたのしい
鯨絵と厄払い 氣谷誠
鯨絵のルーツ 氣谷誠/加藤光男
鯨絵展覧会
参照文献
太平記絵巻の世界—時を経て、今、
一堂に会す華麗なる合戦絵巻—
22—12月1 埼玉県立博物館
太平記絵巻 真保享
『太平記』とその時代 杉山正司
太平記絵巻について 西口由子
太平記年表
主要参考文献
中国黒竜江省の恐竜化石と歴代文物
展 22—12月8 北海道開拓記念
館
幻の南画家 高橋草坪展 23—11月
17 大分県立芸術会館
高橋草坪考 古賀道夫
年譜(未定稿) 古賀道夫
高橋草坪主要資料
文字の世界 23—11月21 富山県埋
藏文化財センター
展示資料関連遺跡(県外)(県内)
引用・参考文献
近世御用蒔絵師の系譜 23—11月24
徳島市立徳島城博物館
蒔絵の歴史—伝統様式の流れに
沿って— 小松大秀
飯塚桃葉と徳島藩 小川裕久
主要参考文献
獅子の世界 25—12月1 八代市立
博物館未来の森ミュージアム
熊本県獅子舞分布図
熊本県の獅子舞一覧
獅子の世界—造形と芸能の広がり
早瀬輝美
主な参考文献
古経と仏教美術 26—11月10 黒川
古文化研究所
印判状の世界 26—11月10 小田原
市郷土文化館
略年表
北条氏略系図

正倉院展 26—11月11 奈良国立博物館
正倉院
正倉院年表
用語解説

牧谿 憧憬の水墨画 26—11月24
五島美術館
牧谿の生涯 海老根聰郎
中国画家・牧谿 小川裕充
日本人にとっての牧谿 山下裕二
牧谿作品主要掲載図書一覧 荏開津彦編
牧谿関連主要史料一覧 砂沢祐子編
茶会記における牧谿画 竹内順一
牧谿関連主要参考文献目録 荏開津彦編

イーハトーブの食文化 26—11月24
岩手県立博物館
日本の楽器—織りなす音・雅びの世界— 26—11月25 彦根城博物館
近世後期館林城—越智松平家の再築とその歴史— 26—12月1 館林市立資料館
近世の館林城
越智松平家の歴史
越智松平家年譜
参考文献

歌川国芳展 生誕200年記念 26—12月1 名古屋市博物館
資料と作品で辿る—歌川国芳小伝 鈴木重三
国芳の摺物 浅野秀剛
風景画試論 神谷浩
「後姿」の感情 岡戸敏幸
私の国芳蒐集 恵俊彦
〈資料〉歌川国芳摺物目録 浅野秀剛編
年譜
参考文献目録 岩切友里子編

阿蘭陀趣味 ～鎖国下のエキゾチズム～ 26—12月8 たばこと塩の博物館
阿蘭陀趣味—庶民への広がり— 岩崎均史
流転するロードス島の巨人—ホラントゥエ・スマークの一例— 岡泰正
異国を描くということ 塚原晃

「阿蘭陀趣味」の輸入現場から一端物切見本帳と長崎オランダ商館日記— 勝盛典子
江戸時代のからくり 半田昌之
唐物屋雑考 岩崎均史

砂漠の美術館—永遠なる敦煌 26—12月23 東京都美術館
敦煌芸術総論 段文傑／岡田健記
敦煌研究院五〇年 樊錦詩／勝木言一郎訳
敦煌壁画の生成と展開—あわせて日本古代絵画の淵源をさぐる 田口榮一
敦煌の塑像 水野敬三郎
探検家による収集品 中野照男
莫高窟略年表 [前漢～元時代]
敦煌研究院略年表
莫高窟石窟群配置図

臨済宗佛通寺大本山 佛通寺の文化財展 29—11月17 三原リージョンプラザ
佛通寺の略史
佛通寺略年表
主要参考文献

荘園を読む・歩く—畿内・近国の荘園— 29—12月7 京都大学文学部博物館
近衛家所領目録関係系図
播磨国大部荘の開発と水利 川端新
東大寺領大和国小東荘 佐藤泰弘
近衛家所領目録とその後 金井静香
二月堂修二会と黒田荘—在地に刻まれた荘園支配— 横内裕人
一ノ井松明講所蔵史料の紹介 徳永誓子

11 月

開館記念展 1—12月1 田辺市立美術館
江戸期の文人画について 中村溪男
出品作家にみる近代洋画の概略 酒井哲朗
第二部 関連年譜 神谷恵理
壮麗な密教美術の伝承 ～京都・醍醐寺の名宝 1—12月2 佐野美術館

平成8年美術展覧会(10～11月)

醍醐寺の歴史 仲田順和
醍醐寺の密教美術 有賀祥隆
醍醐寺略年表
醍醐寺座主宝流血脈
氷河期を生きる 2万年前の旧石器人と動物たち 2—2月2 地底の森ミュージアム
2万年前の旧石器人と動物たち 旧石器文化と現在の狩猟民 阿子島香
参考文献

長崎唐人貿易と煎茶道—中国風煎茶の導入とその派生— 2—12月8 板橋区立郷土資料館
長崎唐人貿易と煎茶道—中国風煎茶の導入とその派生— (序論) 小西雅徳
長崎と中国貿易 原田博二
黄檗山の開創と煎茶 大槻幹郎
長崎出土の煎茶器について 扇浦正義
江戸の茶店と煎茶 樋口政則
三浦乾也 その人とやきもの 益井邦夫
豊田喜平治と煎茶道 小西雅徳
文献目録

石上寺文書の世界 歴史資料へのまなざし 2—12月15 亀山市歴史博物館
『新熊野三社乃記』にみる石上寺開創とその背景 亀山隆
伝来の石上寺関係文化財から見た「石上寺」 小林秀樹
参考文献

いしのきおく 2—12月15 向日市文化資料館

絵金展 土佐の芝居絵と絵師金蔵 3—12月8 高知県立美術館
狩野派絵金空想記 吉村淑甫
土佐の芝居絵の演題と絵金について 近森敏夫
土佐の芝居絵と「絵金」 川島郁子
絵金考 鍵岡正謹
芝居絵屏風の祭礼分布年譜
参考文献 鍵岡正謹／影山千夏編
天平の躰—鑑真大和上と唐招提寺 9—22 昭和女子大学光葉博物館
生誕二百年記念・広重の世界展 16—12月15 北九州市立美術館

平成8年美術展覧会(11~12月)

なつかしい日本の風景画家 広重
小林忠

広重の魅力とミステリー 中右瑛
広重の近代性—隠された西欧への
目差し— 横田洋一

広重年譜 花田伸一編

主要文献目録 植田玲子編

アジアの染織展 19—1月15 広島
県立美術館

粟太武士の足跡—山岡一族とその周
辺— 23—12月23 粟東歴史民俗
博物館

総論 近江湖南の山岡氏 井上優
山岡氏略系図 『寛政重修諸家譜』
「先祖次第御尋ニ付言上」「山岡景
以舎系図」等による

江戸の博物図譜 世田谷の本草画家
斎田雲岱の世界 26—12月22 世
田谷区立郷土資料館

解説 斎田雲岱の博物図譜と彼の
生きた時代 武田庸二郎

埋もれた江戸の画人たち—大岡雲
峰と坂本浩雪— 鈴木泉

斎田雲岱図譜目録

平成8年度国立博物館・美術館巡回
展 日本と東洋の美 30—12月
23 豊橋市美術博物館

12 月

神々をまねくお神楽たち —獅子神
楽の世界— 1—3月31 野馬追
の里歴史民俗資料館

1、神楽の歴史

2、原町の獅子神楽年表

4、原町市内神楽所在一覧

参考文献

秀吉と桃山文化—大阪城天守閣名品
展— 3—1月26 高知県立歴史
民俗資料館

名勝古刹霊宝 江戸時代の金沢と称
名寺 5—2月16 神奈川県立金
沢文庫

一 『称名寺霊宝記』の世界 西岡
芳文

三 江戸時代の称名寺 西岡芳文

大唐王朝の華—都・長安の女性たち
22—1月19 三重県総合文化セン
ターギャラリー

美術文献目録

(平成8年)

凡例

- ここに採録した文献は平成8年中にわが国において発行された定期行物、主要展覧会図録および諸新聞に掲載されたものである。ただし雑誌により年度外が含まれることもある。
- 現代美術に関する文献の採録は、明治以降の美術を対象とし、外国の美術に関しては西洋美術を主たる対象とした。また、東洋および古美術に関する文献のうち、新聞紙上に掲載された記事で、現代に関連する内容をもつものはここに採録した。
- 現代の建築ならびに工芸に関する文献の採録対象は、本書冒頭の凡例に記した範囲にとどめた。
- 各項目内の配列は、特記したほかは内容別順とした。なお主題記載については、見出し易くするため多少変更している事がある。
- 雑誌の号数は主として通巻番号を採用した。なお757～759は757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は14号と15号の合併号を示す。9. 1, 3, 6は平成8年9月1日、3日、6日の新聞を示す。
- 題目の記載されていない文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は\$記号を両端に付して示した。

収録定期行物誌名 (50音順)

アート・ドキュメンテーション研究	葵(徳川美術館だより)	飯田市美術博物館研究紀要	いわき市教育文化事業団研究紀要
アート・ドキュメンテーション通信	秋田大学教育学部研究紀要	池田文庫	印度学仏教学研究
アートトップ	AXIS	石川県立美術館だより	魚津国文
アートフォーラム(茨城県近代美術館)	跡見学園女子大学紀要	石川れきはく	宇佐風土記の丘歴史民俗資料館研究紀要
アートペーパー(名古屋市美術館ニュース)	跡見学園女子大学美学・美術史学科報	石橋美術館館報	宇都宮美術館(仮称)準備ニュース
アートマインド	アトリエインターナショナル	板橋区立郷土資料館紀要	瓜生:京都芸術短期大学紀要
RGB(横浜美術館NEWS)	尼崎市立歴史博物館準備室だより	五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要)	絵
EYES	アマリリス(静岡県立美術館ニュース)	出光美術館館報	AAC(愛知芸術文化センター)
愛知教育大学研究報告	安房博物館だより	出光美術館研究紀要	叡山学院研究紀要
愛知県立芸術大学紀要	AMBIANTE(東武美術館友の会季刊誌)	茨城県近代美術館だより	永青文庫
AURA(川村記念美術館museum news)	飯田市美術博物館ニュース	茨城県立歴史館報	江戸東京たてももの園だより
		茨城大学人文学部紀要人文学科論集	

美術文献目録

大分県立先哲史料館研究紀要	岐阜市歴史博物館博物館だより	現代の眼(東京国立近代美術館ニュース)	堺市博物館館報
大倉山文化会議研究年報	ギャラリー(月刊)	建築雑誌	佐賀県立名護屋城博物館研究紀要
大阪教育大学紀要	九州産業大学芸術学部研究報告	建築史学	佐賀県立博物館・美術館調査研究書
大阪市立博物館研究紀要	九州歴史資料館研究論集	皇学館大学紀要	佐賀県立博物館・美術館報
大阪大学文学部紀要	京都工芸繊維大学工芸学部研究報告人文	皇学館大学神道研究所紀要	茶道雑誌
大阪府立近つ飛鳥博物館館報	京都産業大学日本文化研究所紀要	皇学館大学神道博物館館報	サントリー美術館ニュース
大田区立郷土博物館ノート	京都市美術館年報	考古学雑誌	三の丸尚蔵館年報・紀要
大田区立郷土博物館紀要	京都市立芸術大学芸術資料館年報	高知県立美術館ニュース	C.A.R. (Contemporary Artists Review)
大津市歴史博物館研究紀要	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	神戸市立小磯記念美術館研究紀要	しいのき(中野区歴史民俗資料館だより)
大美和	京都大学文学部美学美術史学研究室研究紀要	神戸市立小磯記念美術館だより	史苑(立教大学)
岡山県立美術館ニュース	共立女子大学文学芸術研究所研究叢書	神戸市立博物館研究紀要	史学(三田史学会)
岡山市立オリエン特美術館研究紀要	共立女子大学文芸学部紀要	神戸市立博物館だより	史学雑誌
沖縄県立芸術大学紀要	キルコス(武蔵野美術大学)	神戸大学文学部紀要	滋賀県立安土城考古博物館紀要
隠岐の文化財	金鯱叢書 史学美術史論文集(徳川黎明会)	国学院雑誌	市史せんだい
小山市立博物館紀要	近代(神戸大学)	国学院大学紀要	静岡県史研究
オリエン特	釧路論集(北海道教育大学釧路校研究紀要)	国学院大学図書館紀要	史迹と美術
学術情報センター紀要	GLASS	国語国文	思想
学叢(京都国立博物館)	CHRONOS(京都橘女子大学)	国語と国文学	実践女子大学美学美術史学
学鏡	群馬県立女子大学紀要	国文学研究資料館紀要	実践女子大学文学部紀要
鹿児島市立美術館だより	群馬県立歴史博物館紀要	国立国際美術館月報	実践女子大学文芸資料研究所年報
鹿島美術研究	群馬県立歴史博物館調査報告書	国立西洋美術館年報	島根県立博物館ニュース
鹿島美術財団年報	群馬県立歴史博物館博物館だより	国立博物館ニュース	ジャポネズリー研究学会会報
華頂博物館学研究	群馬の森美術館ニュース	国立歴史民俗博物館研究報告	修復研究所報告
神奈川県立近代美術館年報	芸館だより(大分県立芸工会館)	古代オリエン特博物館紀要	正倉院年報
神奈川県立博物館研究報告	芸術学研究(明治学院大学)	古代学研究所研究紀要	聖徳(法隆寺)
神奈川県立歴史博物館だより	芸術新潮	古代文化研究(島根県古代文化センター)	続日本紀研究
金沢大学文学部論集	芸術論究(帝塚山学院大学)	国華	女子美術大学紀要
金沢美術工芸大学紀要	化粧文化	古文書研究	書陵部紀要
鹿沼市立川上澄生美術館館報	現代思想	埼玉県史研究	市立函館博物館研究紀要
金沢文庫研究		埼玉県立さきたま資料館調査研究報告	史林
鎌倉		埼玉県立博物館だより	シルクロード学研究
川崎市市民ミュージアム紀要		埼玉県立歴史資料館研究紀要	SYNC IN ART(宮城県美術館)
関西大学東西学術研究所紀要		埼玉史談	

- SYNC IN ART通信(宮城県美術館)
 新工芸ニュース
 新美術新聞
 人文学(同志社大学)
 人文学と情報処理
 人文学報
 人文論究
 墨
 駿台史学
 成安造形大学研究紀要
 成蹊国文
 成城文芸
 セラミック九州
 泉屋博古館紀要
 仙台市博物館調査研究報告
 草加市史研究
 造形学研究(東京造形大学)
 造形芸術学・演劇学
 醍醐寺文化財研究所研究紀要
 大正大学研究紀要
 大日光
 太陽
 たばこと塩の博物館研究紀要
 玉藻(フェリス女学院大学)
 淡交
 千葉県立総南博物館年報
 千葉県立中央博物館研究報告
 チャイム銀座(月刊)
 中央大学百年史編集ニュース
 中央博物館だより
 調布市郷土博物館だより
 潮流(下関市立美術館NEWS)
 筑波大学芸術研究報告
 筑波大学芸術年報
- 筑波大学先史学・考古学研究
 デアルテ
 帝京大学山梨文化財研究所報
 デザインの現場
 哲学会誌(学習院大学)
 帝塚山学院大学研究論集
 帝塚山短期大学紀要
 鉄斎研究
 天花(山口県立美術館ニュース)
 天台学報
 天理参考館報
 東海大学紀要課程資格教育センター
 東海大学紀要教養学部
 東京学芸大学紀要
 東京芸術大学美術学部紀要
 東京工業大学人文論叢
 東京国立近代美術館研究紀要
 東京大学史料編纂所研究紀要
 東京大学文学部考古学研究室研究紀要
 東京都現代美術館紀要
 東京都写真美術館ニュース
 刀剣美術
 陶磁館ニュース(東北陶磁文化館)
 同志社大学博物館学年報
 陶説
 東方学
 東北芸術工科大学紀要
 東北大学建築学報
 東北大学日本文化研究所研究報告
 東北大学日本文化研究所研究報告別巻
 東北歴史資料館研究紀要
 東北歴史資料館報
- 東洋学報
 東洋史研究
 東洋陶磁
 東洋文化
 東洋文化研究所紀要
 遠山記念館だより
 徳島県立近代美術館ニュース
 徳島県立博物館研究報告
 とさえ(京都市立芸術大学)
 鳥取県立博物館研究報告
 富山市篁牛人記念美術館
 富山大学人文学部紀要
 豊橋市美術博物館紀要
 長野県立歴史館研究紀要
 ながらがわフォーラム
 名古屋市博物館研究紀要
 名古屋市美術館研究紀要
 名古屋大学文学部研究論集
 奈良大学紀要
 南都仏教
 新潟県立近代美術館研究紀要
 にいくら(跡見学園女子大学)
 西宮市大谷記念美術館NEWS
 日仏美術学会会報
 日文研
 日彫会報
 日展ニュース
 日本学士院紀要
 日本研究
 日本考古学年報
 日本美術工芸
 日本文化史研究
 日本歴史
 人間文化(滋賀県立大学)
 野村美術館研究紀要
- 博物館研究
 博物館だより季刊(福島)
 八王子市郷土資料館だより
 八王子の歴史と文化
 浜松市博物館館報
 Hara Museum REVIEW
 遙かなる中世
 版画芸術
 美学
 美学・芸術学(同志社大学)
 美学美術史研究論集(名古屋大学)
 美学論究(関西学院大学)
 美術(月刊)
 美術館ニュース(東京都美術館)
 JAAM(美術館連絡協議会会報)
 美術京都
 美術研究
 美術史
 美術史学(東北大学)
 美術史研究(早稲田大学)
 美術史論叢(東京大学)
 美術手帖
 美術の窓
 美術の森(北九州市立美術館ニュース)
 美術文化復刊
 美のたより(大和文華館)
 ビブリア(天理図書館)
 姫路市立美術館だより
 百万塔(紙の博物館)
 百科(月刊)
 氷華(北海道立旭川美術館だより)
 兵庫県立近代美術館研究紀要
 ひるういんど(三重県立美術館ニュース)

美術文献目録

広島県立美術館研究紀要	保存科学	ムゼイオン(立教大学)	歴史研究(大阪教育大学)
広島市立大学芸術学部紀要	北海道開拓記念館研究紀要	明治村だより	歴史と民俗(神奈川大学)
ピロティ(兵庫県立近代美術館ニュース)	北海道開拓記念館だより	メープルニュース(ひろしま美術館)	歴史博物館準備室だより(香川県)
フィロカリア(大阪大学)	北海道開拓記念館調査報告	MEDIUM(女子美術大学)	歴博
フォト	北海道東海大学紀要	目の眼	Lady's Slipper
福井県立美術館研究紀要	POTERIE(国際陶磁展美濃開催委員会)	文書館紀要(埼玉県立文書館)	連盟ニュース(日本美術家連盟)
福井県立美術館だより	梵鐘(古鐘研究会)	紋別市立郷土博物館報告	碌山美術館
福岡市博物館研究紀要	マキエ(ポーラ文化研究所)	山形県立博物館研究報告	碌山美術館報
福岡市美術館ニュース	待兼山論叢(大阪大学)	山形県立博物館ニュース	侶美以(北海道立近代美術館)
福島県立博物館紀要	松原市史研究紀要	山口県立萩美術館・浦上記念館	和歌山県立近代美術館ニュース
藤女子大学国文学雑誌	三田国文	大和文華	和歌山県立博物館研究紀要
藤女子大学・藤女子短期大学紀要	密教文化	山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要	和歌山市立博物館研究紀要
府中市郷土の森紀要	港郷土資料館だより	游美(茨城県近代美術館友の会)	早稲田大学大学院文学研究科紀要
仏教芸術	宮城学院女子大学研究論文集	雪椿通信(新潟県立近代美術館便り)	早稲田大学図書館紀要
仏教史学研究	宮城県美術館研究紀要	ユリイカ	和洋女子大学紀要
仏教大学社会学部論集	宮崎大学教育学部紀要	横浜開港資料館紀要	朝日
仏教大学総合研究所紀要	MUSEUM	横浜文化情報誌	朝日夕刊
フラミンゴ(滋賀県立近代美術館ニュース)	MUSEUM STUDY	横山大観記念館館報	産経
文化学年報(神戸大学)	ミュージアムデータ(丹青総合研究所)	立正史学	産経夕刊
文学(季刊)	MUSEOLOGY(実践女子大学)	栗東歴史民俗博物館紀要	東京
文化財(月刊)	MUSEOLOGIST(明治大学)	龍谷史壇	東京夕刊
文化財学報(奈良大学)	視る(京都国立近代美術館ニュース)	龍谷大学仏教文化研究所紀要	日経
文化史学	美をつくし(大阪市立美術館)	龍谷大学論集	日経夕刊
文明のクロスロード MUSEUM KYUSYU	民博通信	隆泉(佐野美術館)	毎日
法政考古学	武蔵野	黎明(鹿児島県歴史資料センター黎明館だより)	毎日夕刊
北斎研究	武蔵野美術		読売
北東アジア文化研究(鳥取女子短期大学)			読売夕刊

目 次

〔定期刊行物所載文献〕

現代美術・西洋美術

総 説	92
一 般	92
日 本	97
海 外	101
保 存 修 復	108
情 報 処 理	112
文 化 財 行 政	114
美 術 教 育	115
企 業 メ セ ナ	116
絵 画	117
一 般	117
海 外	124
版 画	127
映 像 ・ C G	129
写 真	132
彫 刻 ・ 立 体 造 形	133
書	135
工 芸	135
デ ザ イン	142
建 築	147
作 家	
日 本	153
海 外	239
美 術 関 係 者	269
書 評	276
時 評	283
美 術 館 ・ 博 物 館	289
海 外 展	307
紀 行 ・ 随 筆	311

東洋古美術

総 記	313
絵 画	315
彫 刻	321
書 蹟	324
工 芸 (一 般)	326
陶 磁	326
金 工	330
刀 剣	331
染 織 ・ 服 飾	332
漆 工	333
石 ・ ガ ラ ス 工	333
工 芸 そ の 他	334
建 築	334
保 存 科 学 ・ 修 復	338
情 報 処 理 、 文 化 財 行 政	338

平成8年定期刊行物所載文献

現代美術・西洋美術

総説	著者	書名	頁数	刊行物	編集者	備考
一般						
カタログ・マニフェスト(6)のヴィジュアルで理解の場が変わる	高山 宏	EYES	8	鹿島美術研究	岡 泰正	「モデルニテ」の視点で明治の日本を見る
60年代から来た光	荒俣 宏	〃	〃			
『物質と記憶』に於ける緊張(TENSION)と伸張(EXTENSION)	中 敬夫	愛知県立芸術大学紀要	25		光岡 幸治	身体表現をめぐる
特集 こどもの時間 3.1 こどもとテレビ 赤はヒーローの色	鈴木 直恵	AXIS	64			
ナイフとセンチメンターリッシュ	山川淳次郎	跡見学園女子大学美術史学科報	24		見延(井内) 佳津恵	展覧会の構成について—三つの視点から
現代美術を理解する—1900年から現在まで—34 ポップ・アートとミニマリズムのフュージョン	ケイ・ラーソン	アトリエインターナショナル	824		國 雄行	【研究ノート】一九九〇年日英博覧会について
現代美術を理解する—1900年から現在まで—35 性と政治：演じられるアイデンティティ	〃	〃	825		吉村 浩一	視覚と触覚—変換視野への知覚順応で変化するもの—
現代美術を理解する—1900年から現在まで—35 壮大な場としての近年のインスタレーション	〃	〃	826		柏木 博	特集 センセーションを超えて展覧会を冷静に思考する—柏木博の視点
《Dialogo della pittura di M.Lodovico Dolce, intitolato L'Aretino》：翻訳と註解(2)	越川倫明／森田義之	五浦論叢	3		林 隆	文化の定義—クリフォード・ギアツの場合—
優美と恩寵—ラヴェッソン美学序説	瀧 一郎	大阪教育大学紀要	44—2		小林 信之	Die Kunstauffassung im Denken M.Heideggers
東洋美学への展開—一つの試み	林 範宰	沖縄県立芸術大学紀要	4		岩城 見一	芸術的精神の現象学(2)

オルセー美術館展
モデルニテ—近代図録(東京都美術館)

コロリヌー
マ野 芳材
訳

近代都市の相場
都市の生活
都市の様劇

語る身体—10人のアプローチ展—北海道・今日美術日録(北海道立近代美術館)

「モデルニテ」の視点で明治の日本を見る

日本近代美術における道化像と三岸好太郎の作品について

語る身体—心身一元論と二元論をめぐる

展覧会の構成について—三つの視点から

【研究ノート】一九九〇年日英博覧会について

視覚と触覚—変換視野への知覚順応で変化するもの—

パターン構成に見る造形心理(2)—美術作品の多様性は、いかにして保たれるか—

特集 センセーションを超えて展覧会を冷静に思考する—柏木博の視点

文化の定義—クリフォード・ギアツの場合—

Die Kunstauffassung im Denken M.Heideggers

芸術的精神の現象学(2)

神奈川県立博物館研究報告

金沢大学文学部論集 行動篇 科学科篇

金沢美術工芸大学紀要

ギャラリー(月刊)

京都産業大学日本文化研究所紀要

京都市立芸術大学美術学部研究紀要

京都大学文学部美術史学研究室研究紀要

芸術としての茶と身体一点茶七要論とシステムの視点一	田中 秀隆	金鱗叢書 美術史論文集	23	現代青年女子顔面の顔面計測値と生体計測4項目との相関関係	宮永美知代 高橋 彬	〃	〃
サウンドスケープ論一聴くことの取り戻し	中川 真	CHRONOS	4	心を結ぶ中間領域(展覧会報告)一産業・デザイン・教育考察一	吉田 令一	〃	〃
記号論と視覚イメージの解釈について	ノーマン・ブライソン / 鈴木杜幾子訳	芸術学研究	6	無数の言い方	ジャン＝ミシェル・レイ	身体と表現 1920—1980展 ボンビドンター所蔵作品から図録(東京国立近代美術館)	
再考「芸術と素朴」	大島 清次	芸術と素朴展図録(世田谷美術館)					
美学理論としての現象学 三一間主観性の問題一	北村ひろ子	芸術論究	23				
美術解剖学入門(10)・(11)	高橋 彬	化粧文化	34・35	新美術時評 マジョリティとマイノリティ	清水 敏男	新美術新聞	763
特集=カルチュラル・スタディーズ ヴァルター・ベンヤミンの知覚の政治学 アレゴリーの装置としての映画	中村 秀之	現代思想	24—3	「性差」「戦争」をめぐる講演会	(賀・美)	〃	778
痛みとしての身体	三浦 雅士	現代の眼	496	否定のために食卓は用意しないものだ一池田(龍雄)、北澤(憲昭)両氏の批判に	峯村 敏明	〃	782
「表象」から「共感」へ パークの崇高論における「芸術家」の誕生	小田部胤久	神戸大学 文学部紀要	23	峯村敏明氏に答える一「歴史を手玉にとってはならない」	池田 龍雄	〃	784
植物に向かうまなざし	降旗千賀子	心を癒す植物—アート・ボタニカル・ガーデン展図録(目黒区美術館)		芸術宗教を越えて 味覚的芸術の可能性—美学的試論—	岡林 洋 宮川 達	人文学 成城文芸	160 156
DISPLACEMENT お元気ですか	小倉 正史	今日の作家展31回 横浜から横浜へ 図録(横浜市民ギャラリー)		テクスト身体論序説—命題の現象学—	黒崎 宏	〃	〃
サーカスがやって来て……現実はずしの夢と憂愁	山梨 俊夫	サーカスがやってきた!展図録(神奈川県立近代美術館)		批評家としてのワイルド オスカー・ワイルドの「芸術家としての批評家」をめぐる	薩摩 竜郎	東京工業 大学人文 論叢	21
サーカス以前	木下 直之	〃		非知の共同体—「ソクラテス研究会」をめぐる	里見 達郎	〃	〃
風刺表現と芸術の自由—天皇風刺ピラ事件を素材に—	川又 伸彦	女子美術 大学紀要	26			「Tranquility—時間・空間・光をあやつる五人の現代芸術家」展図録(千葉市美術館)	
暖色・寒色を基調色とする絵画研究	川上 元郎 近江源太郎 天井 義雄	〃		日本人の眼	山脇 一夫	名古屋 市美術館 研究紀要	5
都市における空間構成要素の研究—1— 相模原市のストリートファニチャー調査から—	大井 義雄 仙石 克己 山本 吉男 田村 俊明	〃		第70回例会発表要旨 美術の現代 芸術行為としての収集—式場隆三郎からミシエまで	服部 正	日仏美術 学会会報	15

特集 かわいい 偏愛のマイクロポリティクス「かわいい」は革命的なコトバである	小林 昌廣	〃	〃	ヒニクなファンタジー	和田 浩一	〃	
特集 かわいい 偏愛のマイクロポリティクス 不思議の国の女子高校生	風間 賢二	〃	〃	【特集/映画伝来—シネマトグラフとく明治の日本—】歪みの美学 映画以前のフランスの日本像	稲賀 繁美	ビロティ	98
特集 かわいい こどもたちのセックス 性器も性交もない世界でいかにして性は可能か?	榎木 野衣	〃	〃	ポスト工業時代の藝術—「アルスの復活」序論—	山崎 正和	フィロカリア	13
特集 サークス! サークスとしての現代美術史	海野 弘	〃	721	作品をめぐるアドルノの思考と言説	高安 啓介	〃	〃
特集 サークス! 落下する身体 もしくは、ロシア・アヴァンギャルドの飛翔願望	鴻 英良	〃	〃	モノづくりの魅力	太田 昌宏	フォト	993
特集 最新海外注目アーティスト1996 アイ・アム・ゴーイング・アラウンド・ザ・ワールド	市原研太郎	〃	726	投企(プロジェクト)について	ヴィレム・フルッサー	プロジェクト・フォート・フォー・サバイバル展 1970年以降の現代美術再訪 東京国立近代美術館	
芸術をめぐる言葉46 無きに如かざるの精神にとつては、簡素なる茶室も日光の東照宮も、共に同一の「有」の所産であり、詮ずれば同じ穴の貉なのである。—坂口安吾	谷川 渥	〃	733	ゲーテのパラディオ「巡礼」—アウトノミー美学成立の一断面—	林 正則	待兼山論 日本美術学/文学/史学/哲学	30
芸術をめぐる言葉47 芸道とは何か?それは「死」を以てはじめてなしうることを、生きながら成就する道である。—三島由紀夫	〃	〃	734	「民俗文化財」創出のディスクール	才津祐美子	〃	〃
琉球通信 第16回 沖縄的色彩は存在するか	永井 信一	美術の窓	158	私と「水の記憶」	高野早代子	水の記憶 一人と自然の原風景—図象録(山梨県立美術館)	
巻頭特集 絵でみる動物園 十二支の動物たち	〃	〃	161	日本近代美術と北辺の未来派	五十殿利治	美術の考古学第2部「未来派の父」露国画伯来朝記—ブルリユークと日本の未来派展 図録(西宮市大谷記念美術館)	
巻頭特集 絵でみる動物園 地図の中の動物たち	堀 淳一	〃	〃	描かれた身体・描く身体	中谷 至宏	視	349
巻頭特集 絵でみる動物園 西のドラゴンと東の龍	荒川 紘	〃	〃	モダニズム論2	藤枝 晃雄	武蔵野美術	99
巻頭特集 天使の美術 天女の故郷を求めて	小林 一枝	〃	162	サー・アイザック・ニュートンのイメージ—その変遷をめぐるエッセイ、或いは「英国肖像画展」と「未来都市の考古学」展をつなぐ懸け橋—	安井 裕雄	メープルニユース	30
欠乏のスクャンダル	マイア・ダミアノヴィック	ヒニクなファンタジー展 現代の想像界 図録(宮城県美術館)		特集=空中庭園 蛇の追憶—神の箱庭エデンの園をめぐる	竹下 節子	ユリイカ	373

平成8年定期刊行物所載文献(総)

特集=ロラン・バルト J'écris ton nom	松浦 寿夫	"	375	顔の話11 美術解剖学と顔	宮永美知代	"	6.16
特集=ロラン・バルト 顔をめぐる九つの断片	松浦 寿輝	"	"	「近代都市と芸術展」記念シンポジウム「芸術と絡み合う都市像」	ジェルマン・ヴィアット	"	8.8
特集=アントナン・アルトー 苦痛のイコノグラフィ	松浦 寿夫	"	382	ヒューマニズムの夢を描ける社会信じる欧州 建築と都市の持つ意味	高階 秀爾 榎 文彦 松葉 一清	"	
特集=アントナン・アルトー 麦畑の中のアントナン・アルトー	鈴木 創士	"	"	巨大人形、パンツはかされた、現代美術展の作品警察が警告し白布 作者の米女性「理解されず残念」		"	8.18
生きものの内にあるのは	中村 桂子	LIFE / ART / TECHNOLOGY / 一生物 / いのち / ART 展 図録 (O 美術館)		美術展カタログの著作権	(公)	"	10.6
<LIFE-ART-TECHNOLOGY>	天野 一夫	"		幕張新都心 布施英利さんと行く 疾走する幻・ゲーム・電脳都市	鈴木 繁	"	11.8
「私的美術一閉じることのエチカをめぐって」秘められた欲望の花園を求めて	石崎 勝基	Lady's Slipper	5	アートも変えるインターネット オノ・ヨーコら作品発表反響も掲載、新たな可能性も		"	12.18
「私的美術一閉じることのエチカをめぐって」最近、見たことから	高島 平吾	"	"	何が変わる?電子メディアと表現3 対話の芸術 観客に創造的参加の道開く	西野 建雄	朝日夕刊	1.6
「私的美術一閉じることのエチカをめぐって」なんとか「私的」なおしゃべりを「女」の私的、「男」の私的	木方 幹人	"	"	慰めの芸術・芸術の慰め 心の満足を与えるハイドン マチスも生きる心はげます	吉田 秀和	"	4.18
「私的美術一閉じることのエチカをめぐって」展覧の私性 覚醒の行方	茂登山清文	"	"	人工生命 進化を操る 先行するアート 「個」を群れさせ、増殖させ		"	6.26
展評術 展評における量と質の問題についての考察	"	"	"	アートで飾る公共スペース		"	11.7
カルチュラル・スタディーズ 複数領域横断する文化研究	(若) 朝 日	"	3.7	何が変わる?電子メディアと「時代」中 変容する身体 「拡張」「均質化」「再び存在感」	大西 若人	"	11.13
情報革命、開く知の地平 シンポジウム 日仏文化サミット '96	"	"	5.21	夕陽妄語 牧谿からピカソへ	加藤 周一	"	11.20
新たな文化創造の時代	"	"	6.11	「日本的なもの」とは 《芸術化都市 アートrandom》	高階 秀爾 梅原 猛 ジェルマン・ヴィアット 伊藤 順二	産 経	3.12
日仏文化サミット '96 情報革命で広がる世界	"	"	"	美術の力で安らぎを 医療施設でのヒーリングアートの試み 心地よい空間の創出が大切	澁澤 和彦	"	9.8
日仏文化サミット '96 第2日目 現実体験の大切さ提言	"	"	6.12	環境に貢献するアート 自然との調和見直す機会に 「竹遊び」が象徴する文化	小田 孝治	産経夕刊	6.21
日仏文化サミット '96 第2日目 情報化に可能性と課題	"	"	"	男性像に“おむつ” 美術展、わいせつの疑い	東 京	"	8.19

平成8年定期刊行物所載文献(総)

明治期挿絵美術の素描	青木 茂	跡見学園女子大学美術史学科	24	未完のアカデミズム—帝室技芸員再考序説	大熊 敏之	〃	
日本人の好み	鷺塚 泰光	石川県立美術館だより	148	現代アートライブラリー 激動の10年を振り返る1986—1990		芸術公論	73
海を渡ってきた贈り物—金銀の輝き	菅居 正史	海を渡つてきた贈り物の銀の輝き(宮内省三の丸尚蔵館)		日本近・現代美術における「素朴」	宝木 範義	芸術と素朴展図録(世田谷美術館)	
メイゾン「鴻の巣」とパンの会—木下奎太郎とホイッスラーのことなど—	岡部 幹彦	絵	385	和歌山県近代文学史稿—文化的土壌の確認とその意義—	半田 美永	皇学館大 学紀要	35
大森在住の芸術家の集まり「木原会」展覧会	桜井 邦夫	大田区立郷土博物館ノート	90	子供の情景	酒井 哲朗	子どもの情景展 かわいいbutとえがた(三重県立美術館)	
戦前の『日本美術年鑑』などに見る大田区在住の芸術家たち(上)	〃	大田区立郷土博物館紀要	6	とらえがたき子ども—その表現の可能性	桑名 麻理	〃	
「Gakû」—「純正美術」と応用美術の間で(第2回 ヴィネツィア・ビエンナーレにおける日本美術)	石井 元章	鹿島美術研究	13	明治“美術”史の一断面—一九〇〇年パリ万国博覧会と帝室および宮内省	大熊 敏之	三の丸尚蔵館年報・紀要	1
第5回日本美術史に関する国際大学院生会議(JAWS)	小林 忠	〃	〃	明治四〇年献上の柵・飾物と帝室技芸員—棟梁伊藤平左衛門(九世)を主として—	菅居 正史	〃	〃
総説 瓦と風月		瓦と風月展—周年特展別記(かわら美術館)		「志賀直哉の空想美術館」展によせて	平岡 照啓	志賀直哉の空想美術館—一文の交遊—図録(奈良県立美術館)	
18画廊が集うアートの祭典—京橋界隈'96		ギャラリー(月刊)	135	女流画家協会 50年の軌跡	岡田 節子	女流画家協会展50周年図録(東京都美術館)	
『團圓珍聞』考—団団社・珍聞館は読者に何を与えたか—(その二)	小山 郁子	共立女子大学文学部紀要	42	近代・現代日本美術における身体性	千葉 成夫	身体と表現—1920展—ボンビドンター所蔵作品から(東京国立近代美術館)	
『学友会誌』と『帝国美術』—帝国美術学校時代の雑誌—	小久保明浩	キルコス	16	着実に前進する「アーカス構想」(茨城県)		新美術新聞	755
『学友会誌』と『帝国美術』、ほか目次総覧		〃	〃	95/96 亜細亜美術総まくり	白川 茂樹	〃	〃
帝室技芸員と明治期の美術保護政策	高階 秀爾	近代美術の巨人たち—帝室技芸員の世界—(サントリ美術館)		「アート・トップ」誌、150号に一四半世紀にわたり続刊		〃	756
				新美術時評—美術のリハビリテーション	北澤 憲昭	〃	762

女流画家協会50周年 記念特集 女流画家 協会会員アンケート		〃	763	ジャンルを超えて	家村 珠代	〃	
女流画家協会につい ての所感	林 紀一郎	〃	〃	触覚のリアリズム— 噴出したもう一つの 日本	峯村 敏明	〃	
琉球国王の服は藍色 か緋色か 民族藝術 学会と展覧会「沖縄 的色彩は存在する か」	浅野 春男	〃	767	グタイ前夜	建島 哲	〃	
NICAF 東京ビッ グサイトで“復活”		〃	768	空に架けられたもの —1953年の詩	平出 隆	〃	
さらに充実するスト リート・ミュージア ム		〃	771	文化としての色 感 覚としての色 日本 の色彩	柏木 博 太 陽	94	
身近なアートの提案 都心画廊が町内会 的な企画	中村 英樹	〃	〃	ぼくらの時代の美術 —先駆けるものたち へ	小松崎拓男		TOKYO POP— 新しい美 術のイ メージ展 図録(平 塚市美術 館)
新美術時評 批評の 政治性とリアリズム の転位	北澤 憲昭	〃	774	極小化された表現主 義	中原 佑介		富山国際 現代美術 展6回図 録(富山 県立近代 美術館)
“お役所”を身近に する現代美術 東京 都足立区新庁舎ア ートワーク		〃	775	生きられた混沌—19 20年代の日本美術	酒井 哲朗		20世紀日 本美術再 見展[2] …1920 年代図録 (三重県 立美術館)
東京国際額縁と絵画 フェスティバル'96		〃	〃	20世紀美術と日本— 大正期を中心に	五十殿利治		20世紀美 術の誕生 展—1920 ・30年代 の欧州・ 米国・日 本—図録 (広島県 立美術館)
『新美術新聞』創刊2 5周年記念特集 創 刊満二十五周年を迎 えて	油井 一人	〃	〃	1964/東京オリン ピック/そして・・ ・・・—日本美術 の一つのターニング ポイント—	矢口 國夫		日本の美 術—よみ かえる19 64展図録 (東京都 現代美術 館)
『新美術新聞』創刊2 5周年記念特集 各 界からのメッセージ		〃	775~777	1964年の日本美術— アンフォルメルの 影、その後の展開	野口 玲一	〃	
新美術時評 長期的 視点をもった人材育 成の必要性	清水 敏男	〃	778	現代美術懇談会・ゲ ンピ	(伸)		日本美術 工芸 689
文化の消費—日本民 芸運動の展示をめぐ って—	金谷 美和	人文学報	77	特集 舞台はニッポ ン—いま注目 在日 外国作家のこのパ ワー 文化を刺激、 触発する外国作家た ち	清水 敏男		美術(月 刊)(サン アート) 247
「世田谷派」Setaga- ya School	大島 清次	世田谷の 美術展図 録(世田 谷美術 館)		特集 舞台はニッポ ン—いま注目 在日 外国作家のこのパ ワー 滞日外国作家 列伝	針生 一郎	〃	〃
戦後美術にみられる、 前衛という現象	尾崎 真人	前衛作家 の10年— その自己 変容と持 続展図録 (板橋区 立美術 館)					
総序	峯村 敏明	1953年ラ イトアッ プ展—新 後がき 美術像が 見えて (目黒区 美術館)					
引き裂かれた日本・ 私	村山 康男	〃					

特集 舞台はニッポンーいま注目 在日外国作家のこのパワー 浮かび上がる時代の実像	藤田 一人	"	"	美術の内がわ・外がわ	尾崎 真人	美術の内 がわ・外 がわ の交 差 は わ か ら な い 交 差 は わ か ら な い		
特集 舞台はニッポンーいま注目 在日外国作家のこのパワー 異邦人たちの戦後日本[証言]	植村鷹千代 白髪 一雄 萬木 康博	"	"			図録 板橋区 立美 術館		
特集 舞台はニッポンーいま注目 在日外国作家のこのパワー 日本在住の契機となるか?留学制度とアーティスト・イン・レジデンス	編 集 部	"	"	戦後50年美術界の明暗9~12 「星条旗」にみる日本の美術5~8	瀬木 慎一	美術の窓	153~156	
特集 福を呼ぶアートー招福美術、いま昔都会に溢れる神と福	藤田 一人	美術(月刊)(サンアート)	254	中特集 国展七十周年記念座談会	滝 他	"	"	
特集 ザ・美術団体 日本的ムラ社会の成立《美術団体の草創期》	大熊 敏之	"	255	中特集 女流画家協会 50周年記念座談会	原 神 戸 文 子 松 井 岡 文 遠 江 藤 一 子 司 建 二	"	"	
特集 ザ・美術団体 集まり、散じて、人は何を残したか《小グループの実験と糾合、大正から昭和へ》	尾崎 真人	"	"	戦後50年美術界の明暗14 アヴァンギャルドの航跡2 美術文化協会の分裂	瀬木 慎一	"	158	
特集 ザ・美術団体 美術家(われわれ)はここにいる《美術団体の戦後》	藤田 一人	"	"	戦後50年美術界の明暗15 アヴァンギャルドの航跡3 「自由美術」の分裂と「モダンアート」の自立	"	"	159	
対談 美術ジャーナリズムの機微	杉田 博明 泰 恒平	美術京都	16	巻頭特集 花の見かた描き方 シーボルトの『日本植物誌』 ^{フロラ・キダニカ} 一日本の草花を西欧に紹介	"	"	160	
研究資料 白馬会関連新聞記事資料	植野 健造	美術研究	364	戦後50年美術界の明暗16 アヴァンギャルドの航跡4 単一団体とその変化	瀬木 慎一	"	"	
アーカスに続け!		美術手帖	721	戦後50年美術界の明暗17 アヴァンギャルドの航跡5 二つの前衛美術団体	"	"	161	
日本・現代・美術 第1回 閉じられた「円環」の「彼方は」?	榎木 野衣	"	727	1970年一物質と知覚もの派と根源を問う作家たち3	真武真喜子	美術の森	82	
日本・現代・美術 第2回 90年代の日本の「前衛」	"	"	729	もの言葉もの派の理論と芸術作品(3)	バルバラ・ベルトゥツィ	"	"	
芸術をめぐる言葉44 やまと歌は人の心を種として、よるづの言の葉とぞなれりける。一紀貫之	谷川 渥	"	731	コンクリート・アート(具体美術)を巡って	黒岩 恭介	"	85	
日本・現代・美術 第3、4回 スキンフレニックな日本の私1、2	榎木 野衣	"	731、732	批評の地平、幻想の野:日本美術の(ポスト)モダン	松井みどり	ヒニクなファンタジー展 現代5人の想像世界 図録 (宮城県美術館)		
日本・現代・美術 第5回 「水準」と「達成」そして不在の日本	"	"	733	学芸ノート 姫路美術工芸協会の設立に関して	平瀬 礼太	姫路市立美術館だより	52	

国民国家イデオロギーと日本美術史<上>	鈴木 廣之	百科(月刊)	409	「近代都市と芸術展」記念シンポジウム「東京の都市と芸術」足元から崩れる不安感を内包	柏木 博朝	日	8.8
個の領分—明日の美術をもとめて	早川 博明	福島の96新世代展(福島美術館)		注目集める歴史図像学 東大で日本人の精神史に迫る新しい試み 肖像画、絵図を模写 古文書でとらえ切れぬ「いにしえ」再現	加納 宏幸	産 経	2.18
1996年の新世代の作家たち	吉村 有子	〃					
福島の美術・昭和のあゆみ—県内の動向を中心に	堀久慈	ふくしまの美術—昭和のあゆみ展(福島県立美術館)		京都・西本願寺国宝飛雲閣 揺れる「聚楽第説」 古文書の記述あいまい		東 京	4.29
総説・海外							
日本の美術展覧会その起源と発達	古田 亮	MUSEUM	545	アケイロポイエートのキリスト像	持田 行雄	秋田大学教育学部研究紀要	49
「美術」と階層—近世の階層性と「美術」の形成	佐藤 道信	〃	〃	アール・ナイーフ—無垢の芸術 「ナイーフ?…そう、ナイーフ	アラン・ミシヨン	アトリエインターナショナル	824
大正期新興美術運動再考—ブルジョアと未来派美術協会との関連を中心に—	中井 康之	美術の考古学第2部「未来派の父」伯露国画朝記—ブルジョアと未来派展(西宮市大谷記念美術館)		アール・ナイーフ—無垢の芸術 「樹」	〃	〃	825
私たちの文化が失い続けているもの	倉林 靖	武蔵野美術	99	ビート・カルチャーと新世代アメリカ1950—1965	ケイ・ラーソン	〃	826
戦後古美術界の潮流	編集部	目の眼	240	アール・ナイーフ—無垢の芸術 「樹・II」	アラン・ミシヨン	〃	〃
明治・大正・昭和古美術変遷秘話	松田 延夫	〃	〃	アール・ナイーフ—無垢の芸術 「祭り」とアール・ナイーフ	〃	〃	827
第45回記念展と1995年	遠藤洪平	モダンアート展46回図録(東京都美術館)		国境のない芸術—アールナイーフ	ハリー・ベレ	〃	〃
特集—選ってきたセザンヌ 日本におけるセザンヌ受容史の一断面—一九二〇年代の人格主義的セザンヌ解釈の形成と行方	永井 隆則	ユリイカ	379	アール・ナイーフ—無垢の芸術 「楽園」	アラン・ミシヨン	〃	828
後記	星野桂三子 星野万美子	人間が人間を描く—刻下が始まる第三の幕—現女展(京野画廊(京都))		ベルリンの再開発計画—芸術と建築、共生と融合の試み	ベーター・ヘルプストロイト	〃	830
美術家の平均寿命(1)、(2)	若林 利重	連ニュース	365、368	アール・ナイーフ—「世界最古の物語—ノアの方舟」	アラン・ミシヨン	〃	〃
		人間が人間を描く—刻下が始まる第三の幕—現女展(京野画廊(京都))		高度に情報化した社会の—アートを三つの展覧会から考察する	ベーター・ヘルプストロイト	〃	831
		賢い美術とのつきあい方		アール・ナイーフ—アール・ナイーフ協会ニュース	アンドリュウ・デッカー	〃	〃
		ジャポニズムにおける日本像—『ミカド』を読む—			相沢 敬久	茨城大学文学部人紀要人文科学論集	29

サロンの危機	荒屋鋪 透	印象派はこうして生まれた(東武美術館)		1 原始文化史 中世のフィン系諸民族の文化と芸術	エレナ・オヤテフ	〃		
印象派の画家たちの日常生活—戦禍を越えて	浅野 春男	〃		2 古代ギリシア・ローマ美術 古代ギリシアの宇宙—神と人間—	ソフィア・ボリスコフスカヤ	〃		
中国陶磁の展開	西田 宏子	蒐集家 浦上敏朗の蔵名品展(山口県立萩美術館・浦上記念館)		3 東洋美術 神々・人間—東洋の美術	キーラ・サモシユク	〃		
朝鮮陶磁の流れ	伊藤郁太郎	〃		4 ロシア文化史 エルミタージュ美術館コレクションにおける古代ロシアの聖像画	アレクサンドラ・コスツォワ	〃		
時間を越えた循環性を示唆するパプアニューギニアのブリミティヴ・アート	ヨシダ・ヨシエ	絵	386	5 西洋美術 16—18世紀西洋絵画における神と人間	マリア・ガロワ	〃		
エトルリア美術について	青柳 正規	エトルスク展—壁画の原寸大写真と工芸図録(河口湖美術館)		紀元前7世紀における西アジアの馬面	異 善信	オリエン ト	38—2	
エルミタージュ美術館特別名品展について	前川 誠郎	エルミタージュ美術館特別名品展—神と人間(新潟近代美術館)		ジャムダト=ナスル期タプレットの印影と円塔印章 エジプト第1王朝の王墓地比定に関する一試論—輸入土器からの視点—	小野山 節	〃	39—1	
ギリシア美術における神と人間の表現—「アガルマ」概念の変遷—	副部 信敏	〃		ルリスタン出土の一青銅剣銘をめぐる	伊藤 義教	〃	〃	
中央アジア美術に現れた神と人間	中野 照男	〃		序	アンリ・ロワレット	オルセー美術館展 モデルニテ—バニテ—の誕生(東京都美術館)		
1 原始文化史 マンモス時代の人間	ユーレイ・ピオトロフスキイ	〃		序	高階 秀爾	〃		
1 原始文化史 ロシア北方の森の原始時代の猟師たち	アンドレイ・マズルケヴィッチ	〃		モデルニテとは何か	〃	〃		
1 原始文化史 南トルクメニスタンの初期農耕	ナターリヤ・ゴルブノワ	〃		ボードレールと現代性	カロリーヌ・マチュー	〃		
1 原始文化史 中央コーカサスと西外コーカサスの後期銅器時代と初期鉄器時代	ヤロスラフ・ドマンズ	〃		メゾン・モデルヌ	マルク・バスクー	高階 秀爾 訳	〃	
1 原始文化史 スキタイ人	アンドレイ・アレクセーエフ	〃		芸術と産業 産業社会の様相 万国博覧会 工業製品	マルク・バスクー 龍野 有子 訳	〃		
1 原始文化史 アルタイの古代遊牧民	リュドミーラ・バルコワ	〃		アール・ヌーヴォー	マルク・バスクー 福満 葉子 訳	〃		
				西洋の紋章を読む	森 護	学 鐘	93—1	
				ロレンツォ・ギベルティの quasi tutta la parte di sotto の解釈について	上田 恒夫	金沢美術工芸大学 紀要	40	
				特集 ラテン・アメリカ・アート探究の旅 第1回 今なげ、ラテン・アメリカのか	津田 礼二	ギャラ (月刊)	138	

特集 ラテン・アメリカ・アート探究の旅 第2回 ブラジル編	〃	〃	139	特集 ミスター・ウォーホル! スーパ			
21世紀アジアの美術の展望を試みたタイの国際展		〃	140	伍を並べてなぜアートなのですか?	篠田 達美	芸術新潮	558
特集 ラテン・アメリカ・アート探究の旅 第3回 アルゼンチン編	津田 礼二	〃	〃	ポップ・アートとは何か? ポップ・アートはどうして日用品ばかり描いたのですか?	インタビュー		
根の深い樹・淵の深い河—韓国現代美術を探して	千葉 成夫	90年代の韓国美術から一等身大の物語展図録(東京国立近代美術館)		特集 ミスター・ウォーホル! スーパ		〃	〃
グローバリズムの時代の韓国現代美術を読み取るために	大野 郁彦	〃		伍を並べてなぜアートなのですか?		〃	〃
視覚芸術と都市計画—1870年以前		近代都市と芸術展—ヨーロッパの近代都市と芸術1870—1996図録(東京現代美術館)		ポップ・アートとは何か? ポップ・アートはどうして画家の個性を消したのですか?		〃	〃
視覚芸術と都市計画—1870年代		〃		技術屋としても天才だったルネッサンスの芸術家たち	新宮 晋	〃	〃
視覚芸術と都市計画—1880年代		〃		特集 美術品争奪ゲーム ヒトラーVSスターリンVS連合軍 ヒトラーの野望「ヨーロッパ中の名画を奪え」	(編)	〃	561
視覚芸術と都市計画—1890年代		〃		特集 美術品争奪ゲーム ヒトラーVSスターリンVS連合軍 史上最大の美術品強奪作戦 ナチスドイツ篇	木原 武一	〃	〃
視覚芸術と都市計画—1900年代		〃		特集 美術品争奪ゲーム ヒトラーVSスターリンVS連合軍 連合軍の文化財レスキュー隊出動す「ナチスの手から美術品を救え!」	(編)	〃	〃
視覚芸術と都市計画—1910年代		〃		特集 美術品争奪ゲーム ヒトラーVSスターリンVS連合軍 スターリンの逆襲「獲られたら獲り返せ!」	〃	〃	〃
視覚芸術と都市計画—1920年代		〃		特集 美術品争奪ゲーム ヒトラーVSスターリンVS連合軍 ベルリンの「悲劇」美術品はどうなった!	〃	〃	〃
視覚芸術と都市計画—1930年代		〃		特集 美術品争奪ゲーム ヒトラーVSスターリンVS連合軍 史上最大の美術品強奪作戦 ソヴィエト篇	木原 武一	〃	〃
視覚芸術と都市計画—1940年代		〃		特集 美術品争奪ゲーム ヒトラーVSスターリンVS連合軍 戦後50年間知らんぷり ひた隠しの名画	(編)	〃	〃
視覚芸術と都市計画—1950年代		〃					
視覚芸術と都市計画—1960年代		〃					
視覚芸術と都市計画—1970年代		〃					
視覚芸術と都市計画—1980年代		〃					
視覚芸術と都市計画—1990年代		〃					
特集 オルセー美術館—近代への胎動未知への船出		芸術公論	70				

特集 美術品争奪 ゲーム ヒトラー VSスターリンVS連 合軍 行方不明の超 大物「トロイアの黄 金」がでてきた!								心を癒す 植物— アート・カ ボタニカー デン展(黒 録区美術 館)	
特集 美術品争奪 ゲーム ヒトラー VSスターリンVS連 合軍 戦利品の現在									
特集[現地特別取材] 生きている中世 スペイン巡礼の旅 ピレネー山脈、海拔 1057メートルからの 出発									漢代四川の富裕層に おける死後の世界観 近藤いづみ 史 苑 157
特集[現地特別取材] 生きている中世 スペイン巡礼の旅 ロマネスク街道を行 く									アカデミア・フィオ レンティーナの誕生 —君主国家下における フィレンツェ文化 の様相 北田 葉子 史 学 65—4
特集[現地特別取材] 生きている中世 スペイン巡礼の旅 巡礼者の胸付き八丁 険しき峠道へ									中米マヤ遺跡をたず ねて(上)、(下)(メキ シコ、グアテマラ、 ホンジュラスの旅) 中西 亨 史迹と美 術 667、668
特集[現地特別取材] 生きている中世 スペイン巡礼の旅 巡礼者の胸付き八丁 険しき峠道へ									パノラマ、ディオラ マ、動くパノラマ— 十九世紀の視覚情報 娯楽産業界— 大原まゆみ 実践女子 大学美学 美術史学 11
特集[現地特別取材] 生きている中世 スペイン巡礼の旅 旅路の果ては、サン ティアゴ・デ・コン ポステラー									「デイシス」(図像の起 源と発展(1)—中期 ビザンティン聖堂装 飾プログラム論— 益田 朋幸 女子美術 大学紀要 26
特集[現地特別取材] 生きている中世 スペイン巡礼の旅 巡礼の道、ロマネス クの道	五十嵐見鳥								身体と表 現 1920 —1980展 —ボンビ —ドゥーセ ンター所 蔵作品か ら(東京 近代美 術館)
不条理のダンス— 昭和30年代(1955— 1964)・中部ヨー ロッパの試み・外も 内もなく	勅使河原純	芸術と素 朴展(世田 谷美術館)							揺れ動く身体 クロード・ シュバイ スグート
ギリシャ美術とプラ トン(4)	中山 典夫	芸 叢	12						ビザンティン帝国貨 幣にみえる皇帝親子 肖像問題 杉村 貞臣 人文論究 46—2
紀元前六世紀におけ る眠る人物像の成立 とその解釈	大木 綾子								大英博物 館所蔵イ タリア素 描展—ル ネサンス からパ ロックへ 図録(国 立西洋美 術館)
中国全国美術展覧会 略史	鶴田 武良	現代中国 の美術展 —中国第 8回全国 美術展受 賞・優秀 作品によ る図録 (日中友 好会館美 術館)							中国における盆栽— 盆栽(盆景)にみる中 国人の仙郷観をめぐ って— 菅田 あい、玉 藻 32
ハンガリーの世紀末	田代 直也	現代の眼	494						WORLD WIDE MIX アート、デ ザイン、そしてパー ビー文化の肖像 海老原嘉子 デザイン の現場 80
近代主義芸術—パリ、 ニューヨーク、 そしてデュッセルド ルフへ	山本 和弘	国立国際 美術館月 報	40						モダン・デザイン史 再訪18、19 パウハ ウス2、3 海野 弘 “ 80、81
一三年前の韓国現代 美術展	高橋 亨		51						モダン・デザイン史 再訪20 デ・ステイ ル “ “ 82

モダン・デザイン史再訪21 デザインのアメリカ	"	"	83	イスタンブル物語7 アヤ・ソフィア その1	"	"	694
根源への回帰—ニーチェとドイツ表現主義美術—	大森 淳史	帝塚山学院大学研究論集	31	イスタンブル物語8 アヤ・ソフィア その2 堂内に空を仰ぐ	"	"	695
ワリ文化—アンデス美術における権威表現の転換期	井上(貫井) 則子	遠山記念館だより	10	イスタンブル物語10 トプカプ・サライ その1、2	"	"	697、698
ハンガリー人、およびハンガリーについて	イシュトバーン・ペルタ	ドナウの夢と追憶—ハンガリーの建築と応用美術1896—1916図録(東京国立近代美術館)		おしゃべり西洋の美術・ヴィーナスの盛衰	亀田 正雄	日本文化史研究	25
世紀末のハンガリー建築・応用美術における自民族のイメージと東方的モチーフ	オルショヤー・コヴァー チ田代 直也	"		ギリシアの古代遺跡遍歴	宮崎 道生	日本歴史	575
LA LUTTE DE JACOB DE L'ANGE Etude sur la signification du mythe dans la poésie française moderne	Anne STRUVE-DEBEAUX	名古屋大学文学部研究論集	125	ウィリアム・S. ベイリー・コレクションについて	高階 秀爾	ニューヨーク近代美術館展—ウィリアム・S. ベイリー・コレクション(上野美術館)	
並行する歴史	クロード・アルマン・コスノー 三浦 篤 訳	ナント美術館展 魅惑の19世紀フラシンス絵画図録(そごう美術館(千代田))		序	ウィリアム・ルービン	"	
1920、1930年代の欧米の美術	宮島 久雄	20世紀美術の誕生展—1920・30年代の欧州・日米本一図録(立美術館)		海を愛する「土離れの人々」	木村尚三郎	バイキングの海の秘宝展図録(石川立館)	
イスタンブル物語1 ガラタ橋の袂で	宝木 範義	日本美術工芸	688	北欧神話の世界から	米原まり子	"	
イスタンブル物語2 ヒッポドロームとテオドシウスのオペリスク	"	"	689	パリの憂愁—群衆の中の芸術家たち	浅川 泰	バスキンとエコー・ド・パリ展—1920年代の憂愁の図録(徳島県立近代美術館)	
イスタンブル物語3 ヒッポドロームの馬	"	"	690	風景式庭園における中国思想—ヴェルリッツ庭園と小石川後楽園の比較を手がかりとして—	五島 聖子	美 学	185
イスタンブル物語4 ヴェネツィアのサン・マルコ寺院	"	"	691	一八七〇・八〇年代イギリスのタイルにみる唯美主義	吉村 典子	"	187
イスタンブル物語6 君府の図	"	"	693	アッシリア帝王狩獵図のイコノロジー(美学会第四十七回全国大会報告)	渡辺千香子	"	"
				文化批評から形式批評へ—十八世紀後半から十九世紀前半の美術時評の言説をめぐって—(美学会第四十七回全国大会報告)	島本 澁	"	"

科学の時代に	寺口 淳治	ひかる・うごく・おとがすお展 20世紀の静かなる作品たち 図録(和歌山県立近代美術館)		芸術をめぐる言葉37 日本人は、生活においても芸術においても裸体というものを「見まい」としている。—シュトラッツ	谷川 渥	〃	〃
ショーヴェ洞窟発見に沸いたフランスで古代文化遺跡を再訪	水原 冬美	美術(月刊)(サンアート)	244	世紀末ウィーンのモダニズム 厳密さと豊饒性	竹原あき子	〃	721
「東西贋作犯科帳」7発掘で甦った古代の秘宝	長谷川公之	〃	250	美術史を読む 6人の美術史家による6つの方法[3] T・J・クラーク—絵画とイデオロギー—	田中 正之	〃	〃
芸術的墓碑の魅力と受難	水原 冬美	〃	254	芸術をめぐる言葉38 肉から大理石をつくることもできるし、大理石から肉をつくることだってできる。—デイドロ	谷川 渥	〃	〃
美術アカデミーとアカデミズム	大野 芳材	美術館ニュース(東京都美術館)	445	「分析と注釈—中央ヨーロッパの現代美術」展 国境とはなにか 中央ヨーロッパの現代美術はいま—ネーライ・カタリン(ルドヴィグ美術館館長)	中原 佑介 インタビュアー	〃	722
ただ今企画中 ソビエト現代美術「隠された芸術展」米のダッジコレクション初公開 99年にも日本開催	陶山伊知郎	JAAM	52	美術史を読む 6人の美術史家による6つの方法[4] マイケル・フリード—批評と歴史—	林 道郎	〃	〃
ラファエル前派に見る中世彩色美術への影響	松下 由理	〃	〃	美術史を読む 6人の美術史家による6つの方法[5] イザベアラン・ポア—モデルとしての絵画—	〃	〃	724
名画にみる「清潔な暮らし」(14) アトリエを出た印象派の画家たち	〃	〃	〃	芸術をめぐる言葉40 —人種、環境、時代— テーヌ	谷川 渥	〃	〃
サン・ホアン・デ・ラ・ペーニャ・マスタートとその周辺—ウエスカ、サン・ペドロ・エル・ビエホ教会回廊柱頭について	浅野ひとみ	美術史	140	駆け足 モロッコ・アート・レポーター アーティストを魅了するタンジェの町から	小林 由明	〃	726
光洲ビエンナーレレポート	山脇 一夫	美術手帖	718	美術史を読む 6人の美術史家による6つの方法[6] グリゼルダ・ボロック—フェミニズムと美術史—	田中 正之	〃	〃
〃	南條 史生	〃	〃	芸術をめぐる言葉41 複製技術の進んだ時代のなかで減びてゆくものは作品のもつアウラである—ベンヤミン	谷川 渥	〃	〃
美術史を読む 6人の美術史家による6つの方法[1] ノーマン・プライソン—絵画という記号—	田中 正之	〃	〃	アートな“コク”? 13 ガチョー—ンな日々	滝本 誠	〃	〃
芸術をめぐる言葉36 ジャコメッティは自分の石膏の人物たちに、絶対的な距離ともいうべきものを与える—サルトル	谷川 渥	〃	〃	美術史を読む 6人の美術史家による6つの方法[2] ロザリンド・クラウス—モダニズムを超えて—	林 道郎	〃	720

芸術をめぐる言葉42 写真が芸術に近づ くのは、絵画を通し てではない。それは 演劇を通してなので ある。ーロラン・パ ルト	谷川 渥	〃	727
ミニマル&コンセプ ト・テクノ	佐々木 敦	〃	729
芸術をめぐる言葉43 芸術は自己の表現 に始まって、自己の 表現に終わるので ある。ー夏目漱石	谷川 渥	〃	〃
スウェーデン「EV- ENTA 3」レポート 北欧インディペン デント・アート事情	小林明日香 文・写真	〃	731
小さな国の大冒険 デンマーク・ルイジ アナ現代美術館 「Now Here」展リ ポート	溝口 彰子	〃	732
ドイツの学生ユニッ ト「クラブオレン ジ」とは?	榊山 寛	〃	733
特集 サウンド/ アート 耳で聴く20 世紀美術史	伊藤 制子	〃	734
F1・イズ・アート 「アートがフォー ミュラ1と出逢う場 所」展		〃	〃
巻頭特集 絵でみる 動物園 中国美術動 物考 龍と鳳凰一動 物たちの王者として の一	西村 康彦	美術の窓	161
巻頭特集 絵でみる 動物園 白鳥のエロ ティシズム	上村くにこ	〃	〃
巻頭特集 絵でみる 動物園 古代エジプ ト動物記 動物の姿 をかりた神々		〃	〃
琉球通信 第19回 東南アジア編1 ア ンコール・ワット	永井 信一	〃	〃
巻頭特集 天使の美 術 西洋美術にみる 天使の系譜	鼓 みどり	〃	162
琉球通信 第20回 東南アジア編2 ア ンコール・トムを訪 ねる	永井 信一	〃	〃
中期ビザンティン美 術と平安朝の仏教美 術(前)、(後)	吉川 逸治	美のたよ り	116、117
ヴィクトリア朝の ジャポニズム	大野千弥子	百科(月 刊)	399
ティールームの誕生 2ー味覚から「美覚」 の世紀末へ	横川 葦央	〃	405

「REPRESENTA- TIONとDESCRIP- TION」序説ーTHE ART OF DES- CRIBINGをめぐつ てー	辻 成史	フィロカ リア	13
フランス 切手と郵 便印展ー クラシッ クを中心 にー三井 高陽コレ クション 図録(三 井文庫)			
プロジェ クト・パ フォーバ ル展 19 70年以降 の現代美 術再訪ー プロジェ クティブ [意誌的 ・投企 的]な再 実践の再 見に向け て(東京 国立近代 美術館)	河本 信治		
はじめに：出品作家 への若干の脚注			
北方騎馬 民族の黄 金マスク 展 中国 考古十大 発掘文物 図録(古 代オリエ ント博物 館)	孫 建華		
遼代契丹人の埋葬制 度と陳国公墓	塔 孫 建華		
ロシア革命と構成主 義	後藤 武		
特集 古代文明の眼 生きていたホルス の眼ー古代エジプ トの守護神を訪ねて	中城 正堯	目の眼	232
特集 古代文明の眼 ナスカの眼 アン デス文明が生んだ美 術	三杉 隆敏	〃	〃
モードの ジャポニ ズム展図 録(東京 ファンタ ション ウ)	高階 秀爾		

平成8年定期刊行物所載文献(総)

モードのジャポニスム	深井 晃子	〃		貝染め「帝王紫」を追って 3	原田 勝広	〃	11.10
テクノロジーとモード	鹿島 茂	〃		異端ファラオの革命 1 伝統破るアマルナ芸術 “来たりし美女” は三千歳	土屋 英夫	〃	11.24
装飾失墜あるいは布の勝利: モダニズム・モードの成立とその背景	稲賀 繁美	〃		異端ファラオの革命 2 「百門の都」捨て首都移転 世界最古の宗教改革	〃	〃	12.1
特集=空中庭園 陰鬱なサルタンの庭園 「空懸かる庭園」論	原 研二	ユリイカ	373	異端ファラオの革命 3 父王の改革、次々覆す かいらい少年王の悲劇	〃	〃	12.8
ロシア・シンボリズム再評価の兆し	上野 理恵	〃	380	異端ファラオの革命 4 ナゾの “王様輸入事件” 軍人政権が伝統を復活	〃	〃	12.15
第二のアヴァンギャルドーノン・コンフォルミスト絵画展	鈴木 正美	〃	381	エジプトの古代大型遺構 衛星画像解析し発見		日経夕刊	6.29
瑠璃展の4世紀	谷口 治達	瑠璃25周年記念展(福岡市美術館)		キューバの若手アーティスト 社会状況パネに創作 困窮とアイロニーと活力	峯村 敏明	毎日夕刊	10.7
聖像画20年後の“返還紛争” キプロス紛争で収奪? 行方不明に 金沢の大学知らずに購入 「税金使った」無償に難色	山田 邦博	朝 日	5.13	葬られた恨みたった4億円 ナチス略奪美術品8000点 ユダヤ人の遺品国際競売還元	町田 幸彦	〃	10.26
「近代都市と芸術展」記念シンポ 基調報告「ヨーロッパの都市と芸術」機能主義越え人間的計画の芽	ジャン・ドゥティエ	〃	8.8	衛星画像解析で古代遺跡発見 「未知のピラミッド」に光	坂田 俊文 吉村 作治 中川 武	読売夕刊	8.20
トロイ財宝輝き再び ドイツから “消失” 半世紀 ロシアに		朝日夕刊	4.11	保存修復			
砂漠の美術館2 敦煌・莫高窟はいま 傷心の歴史 煮炊き・はがし跡無残		〃	10.23	歴史博物館準備室が行っている資料救出活動について		尼崎市立歴史博物館準備室だより	7
塗り込められた恋心 ビカソの傑作に隠れた “美女” ハイテク分析でデッサン浮かぶ		産経夕刊	6.1	油彩画の光学的調査報告	大屋 美那	アマリリス	40
せめぎ合う機能・装飾 技術の「近代」こそ芸術輝く		日 経	1.20	複製資料の製作		石川れき はく	38
古代エーゲ海を行く 1 幻想のアトランティス 壁画が語る身近な自然	小山 博之	〃	4.28	古文書の保存について		〃	40
古代エーゲ海を行く 2 謎呼ぶクノッソス宮殿 王座に座ったのは誰か	〃	〃	5.5	建物の保存と再生	小川 信子	江戸東京たてもの園だより	7
やせ細る大スフィンクス 京大学術調査会調べ 150-200年後崩壊も		〃	5.8	「ユネスコ文化遺産保存日本信託基金」によるチョガー・ザンビエール遺跡保存修復計画	山内 和也	オリエン ト	39-1
オーストリア千年祭 宮廷芸術と現代の融合	峯田 武彦	〃	6.29	町並み保存の防災計画とその支援技術としての災害情報ネットワーク	長谷見雄二	建築雑誌	1399
				<修復トピックス> 重要文化財北海道大学植物園・博物館の保存修理	村田 健一	建築史学	26
				歴史のしおり24 「埼玉県近代化遺産総合調査」終わる	資料調査課	埼玉県立博物館だより	91

ロシア国立エルミ タージュ美術館研修 報告	村松 裕美	修復研究 所報告	12	桂離宮を修復する15 桂離宮御殿と茶屋 などの木材のはなし	"	"	698
創形美術学校修復研 究所研修報告	ゲンナー ・シローコ フ	"	"	桂離宮を修復する16 桂離宮の修復に合 成樹脂の多角的な利 用	"	"	699
秘話 法隆寺金堂壁 画	高田 良信	聖 徳	147	北海道の近代化遺産 総合調査	紺谷 憲夫	日本歴史	572
フランスで「表装」を 紹介		新美術新 聞	768	西洋古版地図の修復 と保存	神崎 順一	ビブリア	106
大阪市立大学国際学 術シンポジウム「都 市と文化財」		"	778	報告 近代の文化遺 産の保存と活用につ いて(建造物分科会 関係)	文化庁文化 財保護部建 造物課	文化財 (月刊)	388
保存科学ノート(24) 遙か彼方に	鈴木 稔	帝京大学 山梨文化 財研究所 報	27	解説 近代の文化遺 産の保存と活用につ いて(建造物分科会 報告)	文化庁文化 財保護部建 造物課 後藤 文責	"	"
史料保存技術研究報 告 大和国西大寺与 秋篠寺相論絵図模写	村岡ゆかり	東京大学 史料編纂 所研究紀 要	6	阪神・淡路大震災と 文化財の復旧一現状 と課題一	山田 道夫	"	389
戦後五十年の快挙 「蘇生赤羽刀」年頭 随想	鈴木 嘉定	刀剣美術	468	地震被害と文化財建 造物	光井 涉	"	"
その後の地震対策 作品の収蔵展示方法 について	枝松 亜子	西宮市大 谷記念美 術館NE- WS	12	アメリカにおける歴 史的建造物の保存と 対策	足立 裕司	"	"
桂離宮を修復する5 桂離宮の厨のはなし ・樋箱と舞宮と下 須麩	佐藤 理	日本美術 工芸	688	伝統木造建築の耐震 性と耐震補強の流れ	西澤 英和	"	"
桂離宮を修復する6 桂離宮叩土のはなし	"	"	689	「文化財建造物等の 地震時における安全 性確保に関する指 針」について	文化庁文化 財保護部建 造物課	"	"
桂離宮を修復する7 桂離宮御殿と茶屋 の床の不陸と地盤沈 下	"	"	690	イクロムー文化財保 存のための世界の十 字路	三浦 定俊	"	390
桂離宮を修復する8 桂離宮の炉のはなし ・暖炉と炉壇と囲 炉裏	"	"	691	地域文化財の修復に たずさわる「建築医」 の役割と技術的課題	木村 勉	"	393
桂離宮を修復する9 桂離宮の土壁・赤 い壁と白い壁	"	"	692	文化庁・東京国立博 物館共催「美の再現 一国宝の模写・模造 一」模写と模造の 意義	林 温	"	395
桂離宮を修復する10 桂離宮江戸期土壁 の大ばらし工法	"	"	693	阪神・淡路大震災被 災文化財救援事業報 告	財団法人 文化財保護 振興財団	"	"
桂離宮を修復する11 桂離宮の障壁画・ 杉戸絵と襖絵と壁貼 付絵	"	"	694	阪神・淡路大震災と 博物館の被害一神戸 市立博物館の場合一	喜谷 美宣	文明のク ロスロー ド MU- SEUM KYUS- YU	54
桂離宮を修復する12 桂離宮御殿と茶屋 の唐紙	"	"	695	カトマンズ盆地の文 化財保護問題1	小林 茂	"	"
桂離宮を修復する13 桂離宮の扁額と絵 馬	"	"	696	文化財試料の化学発 光測定におけるS/ N比の検討	佐野 千絵 米山めぐみ 三浦 定俊	保存科学	35
正倉院宝物の修理一 江戸から明治時代の 場合一	米田 雄介	"	697	高德院国宝銅造阿弥 陀如来坐像の表面に 生成する腐食生成物 の解析	松田 史朗 青木 繁夫	"	"
桂離宮を修復する14 桂離宮の漆塗り	佐藤 理	"	697				

平成8年定期刊行物所載文献(総)

古建築の外装塗装の物性に関する研究3 一月色塗装の屋外暴露試験<2>-	西浦 忠輝 岡部 昌子 川野邊 渉	" "	" "	原爆ドーム、世界遺産に「平和の象徴」主張通る 厳島神社も登録	" "	12.6
松戸市立博物館蔵の板絵にみる鉛白の变色と再白色化	朽津 信明 下山 進 野田 裕子	" "	" "	世界遺産への道に曲折 米・アジア、反発残る 当初、政府も冷たく 続々姿消す「証人」たち	吉田 博紀	12.7
紫外線劣化絹の修復材料への応用の可能性	川野邊 渉 佐野 千絵 米山めぐみ 三浦 定俊	" "	" "	「世界遺産の今」シンポジウム 世界遺産と日本の海外支援活動	石澤 良昭 猪熊 兼勝 西川 和夫 中村 誠一	12.9
熱分解ガスクロマトグラフィーによる漆試料の同定の可能性について	川野邊 渉	" "	" "	世界遺産になった原爆ドーム	" "	12.11
東京都美術館「法隆寺金堂壁画展」に關する保存環境調査	佐野 千絵 三浦 定俊 木川 りか	" "	" "	「米寿」へ向け装飾を全面修復 明治生まれ日本橋の街頭柱 大震災・空襲経て傷み 東京芸大チームが担当	" "	12.23
展示公開施設の館内環境調査報告—平成6年度—	佐野 千絵 三浦 定俊	" "	" "	沖縄の「議事堂」、なるか保存 “象徴” 解体に反発し訴訟	上丸 洋一	朝日夕刊 1.20
平成7年度 修復処置概報	修復技術部	" "	" "	パイプで支える国の重文 “斜宅” 群馬・宮城村「阿久沢家住宅」 かやぶき屋根、長雨と虫で？ 傾く	" "	2.26
一文化財の展示と地震—ディスプレイデザイナーが震災で学んだこと [後編]	中西 洋	ミュージ アムテ ータ	34	平泉柳之御所遺跡の遺産 地域から広がった保存運動	大石 直正	" 4.8
呉服座の保存修理工事始まる		明治村だ より	2	北部タイの壁画修復事業 保存か復元か 議論白熱 多民族・信仰も絡み難航	武田 洋平	" 7.24
博物館のしごと その二 資料の燻蒸		歴史博物 館準備室 だより (香川県)	3	遺跡でビジネス発掘 会社続々と 開発絡み調査増え 英では値引き合戦 専門家らは “質” を懸念	宮代 栄一	" 8.16
画家にできる修復(5)、(6)	飯田 達夫	連 盟 ニュー ース	366、368	「世界遺産」古都フェの遺跡 「修復わが手で」こもる力 ベトナム、日本と共同で着手 援助頼み脱し費用分担	" "	" 9.12
悩ましラオス「世界遺産」六百年の古都・ルアンパбан	加藤 千洋 朝 日	" "	1.9	砂漠の美術館3 敦煌・莫高窟はいま 現代の画工 寒さに耐え、黙々と模写	" "	" 10.24
文化人の旧居、都内に案外残っていない 新しい発想で保存のシステム作っては	森 まゆみ	" "	1.27	世界遺産のいま23 密林に眠る遺産— ティカルのマヤ遺跡	石 弘之	" 11.26
震災・大空襲逃れた旧家 旧大石家を保存公開 江東区が新年度に整備	" "	" "	2.20	原爆ドームの精密図面 広島市世界遺産登録に向け作製 特殊なれんがの積み方も判明	" "	" 11.28
アンコール・トム遺跡、灯ろう技術活用し修復 日本の調査団の作業が本格化	古川 透	" "	3.2	樹林帯が文化財ガード 奈良で研究 汚染大気を浄化	産 経	5.31
ネオルネサンス様式の国会図書館支部上野図書 荘重な外観残った 閲覧室も今のまま 児童書専門に変身	" "	" "	3.24			
住んで守ろうかやぶき民家 江東区の保護策 ボランティアに60人応募	" "	" "	8.21			
敦煌芸術の保存訴え	" "	" "	11.2			

ユニークボランティアに希望者殺到 お茶を飲んでカヤぶき守れ 重文「旧大石家」保護で江東区が奇策 緊縮財政で管理人派遣できず30〜40人で「友の会」を結成				レーゲンスブルク市に見る独の歴史的建造物保護	棚橋 弘	〃	11.7
原爆ドーム 世界遺産に 厳島神社も				中国の童門石窟保護学会が発足 平山郁夫氏が参加		日 経	4.5
平山郁夫画伯、世界を奔走 国境越えて文化遺産の保護 ユネスコ特別顧問に望まれる官民の支援	小田 孝治	産経夕刊	4.12	旧庄屋屋敷は町の誇り「保存会」結成、文化イベントなどに活用	小田 忠文	〃	7.3
山田寺の回廊保存処理修了 飛鳥の面影よみがえる			4.16	日越交流史の象徴守れ 古都ホイアン「日本橋」修復 日本側保存会が募金活動		〃	8.27
人類の宝 世界遺産の全容 国際条約に基づき委員会が認定 105カ国に計470件 NIE(教育に新聞を)活動に役立つ大図解		東 京	2.4	仏教遺跡、修復に動く バガン万塔 ミャンマー 観光を意欲、技術面には疑問 首都の街並み残す努力も	大橋 牧人	〃	8.31
永遠に残したい自然と文化	沼田 眞		2.4	原爆ドーム 世界遺産に 米は委員会で積極的反対せず 厳島神社も登録		〃	12.6
江東区最古の民家 旧大石家母屋を復元へ 来月7月から一般公開			2.10	大正期の近代和風住宅 安田邸、保存へ 寄贈 和洋の調和に特徴 日本ナショナルトラスト修復後、一般公開へ		日経夕刊	9.7
「町並み保存」アジアに輪 奈良で「草の根国際シンポ」			2.12	敦煌壁画を電算保存 中国の科学者ら 模写に代わる新手法		〃	10.3
エローラ新理蔵文化財「開発」と「保存」両立が課題	V・グプタ		5.28	独の景観保護策 規制厳しく援助手厚く 街を愛する心が基本に	竹内 太郎	〃	10.30
文化遺産保護は「近代」も 文化庁協力者会議が提言 『生活』『科学技術』も対象			7.9	ヒロシマの願い、世界に届いた原爆ドーム 世界遺産に 被爆者遺族ら「人類の普遍価値に」		〃	12.6
そこが！聞きたい カヤぶき民家旧大石家住宅維持管理に住民参加	関谷 幸雄 渡辺 隆治 聞き手		11.19	「安田邸」保存決める 故楠雄氏の妻幸子さん トラストに寄贈、公開へ		毎 日	9.13
旧岩崎邸の景観守れ 上野の商店連合会など 公園化協議会を設立			12.5	崩壊進む人類の遺産 アンコール遺跡 威容の記録 日本の写真家グループ「将来の修復時の資料に」インターネットで提供も		読 売	1.27
江戸末期の民家を独力で保存 江戸川区の長谷川さん 建て替えを機に決断 客間や居間そのままに鉄骨家屋に取り込む			9.5	難手術に遺跡保護に利用広がる仮想画像 バーチャル・リアリティー国際会議96	高野 義雄	〃	9.25
3000年前のシリア アイン・ダーラ遺跡 亀裂 なぞの神殿 崩壊の危機		東京夕刊	8.10	アユタヤの遺跡保存 日タイの協力進む レンガ建築保護にも応用	藤原 善晴	読売夕刊	1.19
トルコの遺跡、荒廃の危機 観光客の落書き削り取り後絶たず	嶋 邦夫		9.7	文化プロムナード「聖塔」保存事業進む 日本・ユネスコ5年計画で イラン	桜井 考二	〃	1.23

手帳 ベトナム・フ エの保存事業 朝、明命帝陵 へトヨタ財団	阮 (矢)	〃	2. 15	1995年度アート・ド キュメンテーション 研究会活動報告	アート・ ドキュメン テーション 通信	29
ハイテクで浮かぶ にしえの美 測量用 カメラ、デジタル フォトカメラ、斜光 ライト… 建造物文 化財短時間で正確に 調査・保存・修復に 強力な武器	片岡 直人	〃	2. 24	WG および地区部 会、委員会の活動経 過と方針	〃	〃
注目デジタル保存術 文化財の国際赤十 字構想	平山 郁夫 月尾 嘉男 内山昭太郎 山本 卓眞	〃	3. 11	1996年度事業計画 (案)	〃	〃
ネパールの古寺修復 日本工業大が完了 国境超え文化協力	〃	〃	3. 29	第4回シンポジウム 「美術館と画像デー タベース」報告	友野千鶴子	〃
明石城ジャックアッ プ大移動 震災で損 壊、補修工事	〃	〃	5. 7	第22回研究会「フ ロッキー入稿?!— コンピュータ利用を めぐって—(会員相 互の意見交換の場を 作る試み:その2)」 報告	千速 敏男	〃
カルチャーマップ 古代都市遺跡日中で 修復	笹島 雅彦	〃	5. 7	日本の美術館・博物 館関係のホームペー ジ・リスト	塚原 晃	〃
対談 文化財の国際 赤十字構想 “人道 の精神”で歴史遺産 守れ	J. F. ジャリッジ 平山井 郁夫 司会 昌史	〃	5. 16	RLG/AHIPの新た な共同プロジェクト について:ARLIS —Lから見えてきた こと	水谷 長志	〃
重文・法華経寺祖師 堂 二連の大屋根雄 姿再び スライド工 法、十年かけ	〃	〃	9. 7	「ある失敗」(傷だら けのデータベース) JADS Window- s13	名倉 香子	〃
アンコール・ワット 進む国際協力 自前 修復の柱は人材養成	石澤 良昭	〃	10. 15	関西アート・ドキュ メンテーション通信 No. 13	田窪 直規 高橋 晴子	〃
茅葺き技術保存を 後継者不足、多難な 材料確保	日塔 和彦	〃	11. 25	世界に向けて開かれ た小さな窓 JADS Informationの刊 行について	中村 節子	〃
世田谷・砧公園 屋 外美術品、懸命の修 復 環境汚染と真剣 勝負	〃	〃	12. 7	JADSの活動への積 極的な参加を—第7 回総会を終えて	住広 昭子	〃
売り出し中汐留跡地 史跡保存方法検討 委を設置 清算事業 団 夢は大きく旧駅 舎復元	〃	〃	12. 17	第12回講演会・第23 回研究会「インター ネットと美術情報」 報告 博物館・美術 館の新しい扉を開く インターネット	中村 節子	〃
情報処理				アメリカの学術団体 とインターネット	ブルース・ ダーリング 常田 益代	〃
絵画データベースの 検索手法:ベクトル 型検索手法の可能性	増田 美子 安形 輝一 上田 修一	アート・ ドキュメン テーション 研究	5	インターネットと美 術史:URL一覧	〃	〃
〈海外の現場から・ 2〉 ピッツバーグ 大学 ヘンリー・ク レー・フリック美術 図書館	野口 幸生	〃	〃	美術研究とインター ネット:美術史学会 での発表を聞いて	加藤 哲弘	〃
アート・ドキュメン テーション関連文献 目録(1995)	JADISク リアリング ハウス編	〃	〃	トーマス・レルジュ ン博士講演会「ミュ ンヘン中央美術史研 究所のドキュメンテー ション活動とドイツ 美術図書館協会」— 報告と感想—	千速 敏男	〃

香港から日本へ情報発信 [香港電脳事情・2]	大橋 直美	" "	情報デザインにおける創発と適応—融合創発、順応的適応、創造的適応およびファジイ適応に関する考察	片方 善治	成女造形大学研究紀要	3
関西アート・ドキュメンテーション通信 No. 14、15	田窪 直規	" 30、31	研究ノート Serengeti Prehistory Projectの視点と方法—GISによる先史時代遊動社会の復元—	西田 正規	筑波大学先史学・考古学研究	7
IFLA北京大会美術図書館分科会SCミーティング	波多野宏之	" 31	WORLD WIDE MIX 電話回線を越える超高速通信システム「トランスブルチ」	中尾 文人	デザインの現場	84
IFLA大会に参加するという—国際交流委員会から	中村 節子	" "	マルチメディア時代の著作権と博物館	岡本 薫	博物館研究	341
IFLA—SALのInternational Directory of Art Libraries について	住広 昭子	" "	「美術館・博物館におけるコミュニケーションの新たな戦略」—イコム/教育および文化活動委員会(ICOM/CECA)国際会議'96をめぐって	後藤 文子	"	342
IFLA—SAL General Session報告 Chinese Libraries and Collections within and outside China	梁瀬三千代	" "	博物館におけるマルチメディアの活用に関する調査結果について	青木 國夫	"	340
IFLA—SAL Workshop報告 Pay or profit: Fee or free	中村 節子	" "	博物館におけるマルチメディアの利用課題について	西村 逸郎	" "	
ars—WG 1996年度連続講座第2～3回の報告	住広 昭子	" "	マルチメディアとネットワーク	"	"	343
JADS—HPの活動報告第1回	千速 敏男	" "	コンピューター最前線 EC主導の二つの波 作品保護、著作権、事業処理に成果	鯨井 秀伸	J AAM	52
広場の下に隠された世界最大の図書館—新フランス国立図書館	ロニ・アムラン	アトリエインターナショナル 828	特集 アート系CD—ROMガイド アートソフトの採点簿	中原 佑介	美術手帖	731
インターネットに適應した全文データベース検索システムの拡張—文書画像データへのアクセス: 鹿児島大学教養部紀要を例として—	鶴岡 弘 大山 敬三 内藤 衛亮	学術情報センター 8	特集 アート系CD—ROMガイド NEC デジタル・アートライブラリ 末永先生のCD—ROM日記	末永 照和	" "	
超精細画像データベースによる美術研究	西野 嘉章	鹿島美術研究 13	特集 アート系CD—ROMガイド 記録から再構成へ—カタログとしてのCD—ROM	有馬 純寿	" "	
特集 美術情報探訪のすすめ—アートを求めてインターネットを迷走?した私!!		ギャラリー(月刊) 137	特集 アート系CD—ROMガイド 大いなる和のデジタル大航海時代	大瀧 啓裕	" "	
千束屋資料の画像データベース化について	深津 睦夫	皇学館大学神道博物館報 7	特集 アート系CD—ROMガイド 情報空間の体験デザイン	藤崎圭一郎	" "	
インターネット上でネットワーク・ミュージアム&マガジンプロジェクト始動—大日本印刷		新美術新聞 776				
美術展図録の専門図書館開館、東京・赤坂に「アートカタログ・ライブラリー」		" 784				

平成8年定期刊行物所載文献(総)

福岡県における歴史系資料情報化の研究	八重樫純樹編	文明のクロスロード MUSEUM KYUSU-YU	54	文化財保護法の一部を改正する法律について	黒岩万里子	博物館研究	342
データベースの森の小径	大丸 弘	民博通信	73	平成8年度 全国博物館館長会議《行政説明》	長谷川裕 鈴木規夫 水野 豊	〃	339
作品についていろいろ調べたい!! 参考図書Q&A2	(ず)	MEDI-UM	1	阪神・淡路大震災復旧用特注木材および緑化木の相談所開設について	林野庁販売推進室	文化財(月刊)	389
展覧会を調べたい!! 参考図書Q&A3	(青島)	〃	2	国宝及び重要文化財指定基準(建造物の部)の改正について	文化庁文化財保護部建造物課	〃	393
“仮想現実”で国宝を間近に 早大研究室が開発文化財記録の手法 映像と音響で「薬師寺参拝」		東京	2.22	文化財保護法改正の基本理念	崎谷 康文	〃	397
美術館カタログ専門図書館誕生 国内外に美術館から約2千800冊		東京夕刊	12.7	文化財保護法の一部を改正する法律の概要について	水野 豊	〃	〃
芸術データベース、戦前にも		日 経	2.4	登録制度の内容と今後の進め方	村上 訶一	〃	〃
先端技術で過去にメス立ち上がる情報考古学 仮想現実感で土器を“復元” 遺跡を立体計測し再現も	中島 彰	〃	7.4	指定都市、中核市への権限の委任と市町村の役割の明確化	山中 伸一	〃	〃
誕生、美術カタログの図書館	青柳 潤一	〃	11.17	重要文化財等の活用の促進(規制緩和)	鈴木 規夫	〃	〃
マルチメディアの進展と通産省の役割 コンテンツの供給基盤強化に力 文化財のデジタル映像化も促進	富田 健介	〃	11.20	アメリカの登録文化財制度	西村 幸夫	〃	〃
美術・工芸品をデジタル画像に 永久に保存 ネット発信 企業、権利取得に注目		日経夕刊	10.30	民俗文化財行政と民具研究	大島 暁雄	歴史と民俗	13
「国立国際子供図書館」設立へ アジアの文化保存したい 子供との人間的触れ合いを		毎日	7.10	都文化財新たに5件 史跡大名墓所を初めて指定	朝 日	朝 日	3.12
文化財行政				埋蔵物文化財保護行政 過大な負担市町村悲鳴 所有権・財源移管の要望届かず		〃	3.17
彫刻の国宝指定をめぐって	松島 健	国立博物館ニュース	588	分権化進め、遺跡保存を 開発の許可性が根本解決策	椎名慎太郎 談	〃	〃
平成8年度文化庁予算 文化の国際協力事業を優先		新美術新聞	758	故吉田五十八氏設計の邸宅 文化財として保全 トラスト協会と協定		〃	12.7
改正文化財保護法が成立		〃	769	文化財の帰国 <黄>	朝日夕刊	朝日夕刊	2.3
文化庁がアーティスト・イン・レジデンス実施、全国10カ所で6カ月招聘		〃	784	文化財登録制度の導入 戦後建築の保存活用に道	鈴木 博之	〃	5.1
				伝統文化の後継者養成へ 補助制度作る方針		〃	8.16
				ゲームソフトは新芸術 文化庁が“お墨付き” 来年度賞金付きコンクール	産 経	産 経	9.8
				文化財建造物登録 さまざまな歴史刻み… 東大・安田講堂 大学紛争の象徴は 大正期建築の傑作/ 旧東北砕石工場「宮沢賢治が働く」当時の面影残す		〃	11.6

伝統文化の継承者 人間国宝 画期的制 度として誕生 芸 能 工芸の2分野で 活躍 NIE(教育に 新聞を)活動に役立 つ大図解	東 京	12.8	アート・ドキュメン テーション研究会第 9回講演会 アート ・ライブリアンの 教育	ナンシー・ S.アレク ン山美樹子 平訳	アート・ ドキュメ ンテーシ ョン研 究	5
浪曲や家電・レコー ド収集…文化財、 「生活」技術も対象 文化庁協力者会議 が報告書 保護、近 代まで拡大	日 経	7.9	美の探求者 『教育 と文化』 座談会	高橋 正 川島 玲 伊予真理子 編集聞き 手	アートマ インド	84
文化庁と建設省 芸 術家村づくりなど協 力地域振興支援へ連 帯会議を設置	〃	8.14	特集 迷う、クルマ ACCD発、近未 来のクルマの「カタ チ」		AXIS	59
芸術のお墨付き ゲームソフト後押し 文化庁、コンク ール開催へ	〃	9.8	「マルチメディアの ための教育機関につ いて」	坂根 巖夫	〃	63
文化財登録第1号近 代建造物を保護 審 議会答申 東大・安 田講堂など119件 銀行支店や官公庁	〃	11.16	美術館はいかに機能 すべきか ノート	加藤 貞雄	茨城県近 代美術館 だより	29
練馬区文化財 三宝 寺山門など7件を追 加 本寿院「みくじ 道具」も	毎 日	3.4	国立美術学校とその 教育—コンクールか ら職業活動まで	エマニュエ ル・シユ ヴァンヌ・ アヌス・ ジョース	印象派は こうして 生まれた 展 図録 (東武美 術館)	
旧安田庭園文化財に 名勝では14年ぶり 大名墓所など6件 も	〃	3.12	エトルリア壁画写真 展のための模型制作	黒江 昌彦	エトルス ク展—壁 画の原寸 大写真と 工芸図録 (河口湖 美術館)	
人間国宝の認定基準 に異議 (Q)	〃	4.19	博物館と「生涯教育」	大庭 脩	大阪府立 近つ飛鳥 博物館館 報	1
ちゃぶ台も文化財で す 文化庁協力者会 議 消える遺産「保 護を」	〃	7.9	美術教育の変革	緒方 累	沖縄県立 芸術大学 紀要	4
文化庁の「アープ ラン21」 特定15団 体へ助成金10億 文 化国家へ一歩前進 地域性への配慮に課 題	杉山 弘 読 売	5.17	図学教育へのパーソ ナルコンピューターの 利用について(4)— 円錐鏡 アナモル フォーズの理論解析 —	井村 俊一	金沢美術 工芸大学 紀要	40
SLや映画も重文に 文化庁協力者会議 が報告書 指定範囲 「終戦まで」に拡大求 める	〃	7.9	辛口甘口版画館第11 回 版画教育の来し 方行く末	伊波 晋	ギャラ リー (月刊)	132
古民家宮野家住宅を 公開 江戸時代の農 家3000平方メートル の敷地に茅葺き屋根 自黒区の指定文化 財「保存のため」財団 法人に	読 売 (都民版)	1.21	渡辺康生氏に聞く ゲーム感覚で名画を 紐解く、冒瀆をおそ れない美術教材が出 た! (『キュービク ・ギャラリー』)	〃	〃	133
文化財重視の開発へ 建設省が初の指針 作り	読売夕刊	4.8	辛口甘口版画館第12 回 版画は、触れて ・見る感覚で	伊波 晋	〃	〃
美術教育			コンテンポラリー・ アートのための公的 学習・研究機関「CC A北九州」が1997年 4月に開設現代美術 の開かれた拠点とし て誕生	〃	〃	134

平成8年定期刊行物所載文献(総)

シンガポールにおける美術教育の現状調査報告	佐々木 幸 福田 隆真 小平 征雄	鉤路論集	28	トランジション13 ボザールとフランス の美術教育	〃	〃	691
雑感(1)	蓑 豊	国立博物館 ニュース	591	トランジション16 工芸と教育—ドイツ からアメリカへ	〃	〃	694
コラージュ構成法について	村山久美子	女子美術 大学紀要	26	夏休み特別企画実態 調査の報告	日本博物館 協会	博物館研 究	341
新妻健悦のワーク ショップ1993—95 [美術探検・演習— 子供と美術をめくっ て]		SYNC IN ART	6	「館種の異なる県立 博物館の特色を生か した特別事業プログ ラム研究・開発事 業」について	千葉県教育 庁生涯学習 部文化課	〃	337
国際的拠点でアート 三昧 CCA北九州 学生募集はじまる		新美術新 聞	771	名画複製資料作成と 利用方法について	菅原 壽雄	〃	339
第一次世界大戦前ド イツの技術中等教育 をめぐる諸問題	秋山 千恵	駿台史学	98	研究報告 生涯学習 と博物館—その可能 性—	遠藤 喜和	浜松市博 物館館報	8
生涯教育と博物館	石谷 潔	調布市郷 土博物館 だより	49	清末・民国初期の美 術教育—近百年來中 国絵画史研究 四	鶴田 武良	美術研究	365
統計にみる今日の日 本の中学校美術教育	仲瀬 律久	筑波大学 芸術研究 報告	25	アートについて話し ましょう(CCA北九 州開催シンポジウ ム)		美術手帖	734
これからの美術教育 の確立に向けた一考 察	幸 秀樹	東京学芸 大学紀要	48	琉球通信 第17回 沖縄県立芸大の十年	永井 信一	美術の窓	159
平成八年度美術刀剣 製作技術保存研修会 刀職技能訓練講習 会の部 実施される		刀剣美術	477	北九州発1997年4月 Center for Contem porary Art 北 九州誕生	山根 康愛	美術の森	83
平成八年度美術刀剣 製作技術保存研修会 刀剣研磨・外装技 術研修会ならびに鍛 冶研究研修会開催		〃	〃	子供の造形的創造力 の可能性	伊東 敏光	広島市立 大学芸術 学部紀要	2
平成八年度美術刀剣 製作技術保存研修会 作刀技術実地研修 会実施される		〃	478	学校と美術館	岩間 清水	フラミン ゴ	49
文化庁主催 美術刀 剣刀匠技術保存研修 会開催される		〃	〃	これからの美術館に かける夢	蓑 豊	美をつく し	147
追跡調査に基づく選 抜入試制度の分析研 究(1)	早坂 功博 横井 茂行 菅野 花岡 加藤 芳彦 新関由美子	東北芸術 工科大学 紀要	3	図画工作が消える? 水面下の不穏な動き 小学校授業「縮減」 で教科統合も話題に	田中 三蔵 朝 日	日 経	10. 31
「美術館教育」と私 たちの支援	松本 健義	徳島県立 近代美術 館ニュー ス	19	自由学園の美術教育 独創性生む感性磨 く 心の状態描く試 み 教える側にも “高まり”		日 経	11. 10
トランジション10 美術学校のマルチメ ディア講座	岡部あおみ	日本美術 工芸	688	美術館、小学校に出 張	白木 緑	〃	12. 8
トランジション11 精神病理学とコン ピューター	〃	〃	689	<学校>が<美術館 >になる 住民巻き 込み多彩なイベント	村田 真	毎日夕刊	5. 20
トランジション12 異文化講座 開かれ た美術教育	〃	〃	690	なぜ高い?私立美大 の学費 低助成と、 高設備費響く		〃	8. 13
				企業メセナ			
				企業とメセナ	福原 義春	AMBI- ANTE	14

鍋谷三明氏に聞く
昭和シェル石油現代
美術賞は国際化を視
野に入れた、今まで
にない新しいコンセ
プトでスタートしま
す

特集 企業系コン
クルの新たな旅立
ち 新しい時代を模
索するコンクルの
共通項と相異点

特集 企業系コン
クルの新たな旅立
ち 昭和シェル現代
美術賞

特集 企業系コン
クルの新たな旅立
ち フィリップモリ
スアートワード

メセナの芸術支援と
破壊—デュビュッ
フの「ウルループ」
に関する二章—

米・アーティスト・
イン・レジデンスの
現況は

第5回助成認定活動
を決定 (社)企業メ
セナ協議会

ACAアーティスト
・レジデンス・プロ
グラムで日本人作家
募集

第2回彩の国さいたま
アーティスト・イン
・レジデンス 大井
町で開催—川口市で
も新展開

95年度第6回助成認
定活動を決定 (社)
企業メセナ協議会

'96年度第1回助成
認定活動決まる
(社)企業メセナ協議
会

アート情報のFAX
サービス化 (社)企
業メセナ協議会

寄付研究部門5年間
の歩み

キリンの芸術文化支
援活動ますます快
調!

資金援助額減少に景
気回復で歯止め 昨
年度のメセナ

文化往来 芸術根付
かせる企業メセナ

文化往来 トヨタ、
低予算で効果的メセ
ナ

文化往来 最悪期脱
した企業メセナ

ギャラ
リー(月
刊) 130

〃 134

〃 〃

〃 〃

末永 照和

実践女子
大学美学
美術史学 11

新美術新
聞 758

〃 760

〃 765

〃 766

〃 767

〃 771

〃 776

別役 恭子

日文研 14

美術手帖 722

朝日夕刊 10.30

日 経 8.2

〃 8.14

〃 12.4

ガザの心壁画で彩る
国連ボランティア
ア、パレスチナで文
化支援

神谷 哲郎 〃 12.9

絵 画

一 般

技法と画材—油彩画
を中心として—美
術のみかた25

清水 優 アート
フォーラ
ム 35

特集 こどもの時間
4.4こどもと絵
本 クリエーターが
語る、思い出に残る
1冊

山本 容子
サエキけん
ぞう
スズキコー
AXIS 64
荒井 良二
日々野光希
子

人間と自然……そし
て海

中村 隆夫 展覧会
「海」展図
録(東郷美
術館)

文学と美術のあいだ
(2)—夏目漱石の
『夢十夜』とその発想
源

新関 公子 絵 392

文学と美術のあいだ
(4)—漱石の絵と空
間意識と「則天去私」

〃 〃 394

1920年代初頭の日本
とフランスのセザン
ヌ—知覚主義から
フォルマリズムへ/
知覚主義から人格主
義へ

永井 隆則 鹿島美術
研究 13

アメリカン・シー
ンの画家たち

早川 博明 国吉康雄
とアメリ
カン・シ
ーンの
画家たち
版画展図
録(名古屋
屋 画廊
(名古屋))

彼らは、なぜ描いた
か—アメリカと日本
の独学の画家たち

遠藤 望 芸術と素
朴展図録
(世田谷
美術館)

からだは誰のものか

北山 晴一 化粧文化 34

緊急特集=ジル・
ドゥルーズ 背景に
ついて

松浦 寿夫 現代思想 24—1

交差する
まなざし
—ヨー
ロッパと
近代日本
展図録(東
京国立近
現代美術
館)

高階 秀爾 〃

空間について

本江 邦夫 〃

二枚の絵 萬鉄五郎 「赤い目の自画像」/ キルヒナー「老いた 農夫」	酒井 忠康 田中 淳 水沢 勉	〃	2.4	二枚の絵 ミレー (ジョン・エヴァ レット)「オフィ ア」/川崎小虎「オ フィリヤ」	千足 伸行 野地耕一郎	〃	5.26
二枚の絵 「隨身庭 騎絵巻」/写楽「中島 和右衛門のぼうた ら長左衛門と中村此 蔵の船宿かな川やの 権」	辻 惟雄 若杉 杉治 伊藤 めぐみ	〃	2.11	二枚の絵 セザンヌ 「ざくらんぼと桃の ある静物」/狩野山 楽「犬追物図屏風」	建 嶋 哲 宮 崎 克 安 達 啓子	〃	6.2
二枚の絵 アンゲル 「トルコの浴場」/鳥 居清長「女湯」	鈴木 杜幾子 千野 香織	〃	2.18	二枚の絵 「慕 帰 絵」/狩野吉信「職人 尽図」	中村 宗哲 若杉 準治 奥平 俊六	〃	6.9
二枚の絵 雪舟「慧 可断臂図」/ジョッ ト「ユダの接吻」	粟津 則雄 山 英男 遠山 公一	〃	2.25	二枚の絵 モディリ アニ「白いクッション の裸婦」/竹久夢 二「青山河」	小倉 忠夫 天野 知香 堀 修	〃	6.16
二枚の絵 小田野直 武「不忍池図」/ピー テル・ブリューゲル 「絞首台の上のカサ サギ」	芳賀 徹 成瀬 不二雄 森 洋子	〃	3.3	二枚の絵 ボス「地 獄」/ブリューゲル 「悪女フリート」	森 洋子	〃	6.23
二枚の絵 入江波光 「彼岸」/ボッシュ 「快樂の園」	高村 薫 平野 重光 千足 伸行	〃	3.10	二枚の絵 ケルト系 装飾写本「ダロウの 書」/尾形光琳「紅白 梅図屏風」	鶴岡 真弓 西本 周子	〃	6.30
二枚の絵 ポンペイ 壁画「カリテス」/ゴ ヤ「裸のマハ」	木村 重信 勝又 雄 大高保二郎	〃	3.17	二枚の絵 久隅守景 「夕顔棚納涼図」/英 一蝶「雨宿り図」	武田 恒夫 星野 才一 武田 光一	〃	7.7
二枚の絵 レオナルド ・ダ・ヴィンチ 「モナ・リザ」/寛忠 治「自画像」	坂東 玉三郎 高梨 隆雄 木本 文平	〃	3.24	二枚の絵 ロート レック「ディヴァン ・ジャポネ」/河野 鷹思「淑女と髯」	和田 誠 竹内 次男 瀬木 慎一	〃	7.14
二枚の絵 久能寺経 「薬草嚙品見返絵」/ 酒井抱一「夏秋草図 屏風」	玉蟲 敏子 池田 忍	〃	3.31	二枚の絵 レンブラ ント「自画像」/国宝 「伝源頼朝像」	兼重 護 若杉 準治	〃	7.21
二枚の絵 伝馬遠 「寒江独釣図」/池大 雅「釣便図」	小林 忠 宮崎 法子 小林 優子	〃	4.14	二枚の絵 プロジェ ク「幸いなるオース トリアよ、汝は結婚 せよ」/ヴィンター ハルター「皇后エ リーザベト」	大原まゆみ	〃	7.28
二枚の絵 「伝足利 義政像」/ピエロ・ デラ・フランチェス カ「ウルビーノ大公 フェデリコ・ダ・モ ンテフェルトロの肖 像」	別役 恭子 松原 茂 宮下規久朗	〃	4.21	二枚の絵 エミール ・ノルデ「男、女、 猫」/「ファンティ 軍旗」	吉田 憲司 田中 正之	〃	8.4
二枚の絵 ステー ンウエイク「ヴァニ タス・静物」/「誰が 袖図屏風」	高階 秀爾 禰原 悟	〃	4.28	二枚の絵 「月次風 俗図屏風」/ラン プール兄弟「ペリー 侯の豪華時禱書」	安達 啓子 荒木 成子	〃	8.11
二枚の絵 コロー 「マンドリンをもつ 民族衣裳の女(クリ スチーナ・ニルソ ン)/メロツォ「奏 楽の天使」	清岡 卓行 隠岐由紀子 宮下規久朗	〃	5.5	二枚の絵 李迪「芙 蓉図」/ルドン「ヴィ オレット・ヘイマン の肖像」	福井 爽人 古原 宏伸 稲貫 繁美	〃	8.18
二枚の絵 ローラン サン「鏡をもつ裸 婦」/甲斐庄楠音「幻 覚(踊る女)」	梅原 猛 本多美佐子 島田 康寛	〃	5.12	二枚の絵 田中一村 「奄美の杜」/クレ 「舵手」	横山 俊夫 村田慶之輔 梶川 芳友	〃	8.25
二枚の絵 「清明上 河図」/「洛中洛外 図」	加山 又造 古原 安伸 狩野 博幸	〃	5.19	二枚の絵 如拙「瓢 鮎図」/スプラング ル「ヴィーナースと アドニス」	杉本 秀太郎 島尾 新 小林 頼子	〃	9.1
				二枚の絵 「キジル 石窟第38窟壁画」/ 「平家納経堤婆品見 返し絵」	須藤 弘敏 中川原育子	〃	9.8

平成8年定期刊行物所載文献(絵)

二枚の絵 福田平八郎「花菖蒲」/「マティス」二つの取っ手のある花瓶	原田 平作 天野 知香	〃	9.15	富士山頂の絵 研究ノート	飯田 真	〃	42
二枚の絵 クリムト「海蛇」/「小林古径」清姫のうち「日高川」	佐伯 順子	〃	9.22	初期独立展とシュルレアリスム	速水 豊	飯田操朗と前衛の時代展図録(姫路市立美術館)	
二枚の絵 岡鹿之助「段丘」/「中山寺参詣曼荼羅」	奥野 健男 染谷 滋	〃	9.29	一步近づいて見る日本の絵画	松原 茂	石川県立美術館だより	151
二枚の絵 高橋由一「牧ヶ原望嶽」/「湊川惣助」七宝富嶽	樋田豊次郎 古田 亮 横溝 廣子	〃	10.6	画家たちの歌絵屏風	村田慶之輔	色の詩情展 図録(刈谷市美術館)	
二枚の絵 国宝「山越阿弥陀図」/「伝范寛」雪山図	佐々木丞平 梶谷 亮治 藤田 伸也	〃	10.13	季節に向けられたまなざし—その現代表現	松本 育子	〃	
二枚の絵 鐫木清方「一葉女史の墓」/「アヴィニョン派」アヴィニョンのピエタ	竹内 次男 塩川 京子 西野 嘉章	〃	10.20	海を描いた明治の洋画家たち	児島 薫	展覧会「海」展図録(東郷青児美術館)	
二枚の絵 ヤン・ヴァン・エイク「宰相ロランの聖母」/「十一面観音来迎図」	荒木 成子 泉 武夫	〃	10.27	日本絵画とモデルニテ	真室 佳武	オルセー美術館展 モデルパニテ—近代の誕生(東京美術館)	
二枚の絵 小出楯重「横たわる裸女(B)」/「クラナッハ」横たわる泉のニフ	勝 國興 島田 康寛	〃	11.10	“装飾画”への道程—明治30年代前半の金地表現をめぐる—	塩谷 純	鹿島美術研究	13
二枚の絵 岡本太郎「傷ましき腕」/「エルンスト」小麦胚芽のある風景	梅原 猛 仲野 泰生 大賀 洋介	〃	11.17	愛知県における近代美術の諸動向—「愛美社」をめぐる—	深山 孝彰	〃	〃
二枚の絵 メムリンク「パテシバの湯浴みを盗み見るダビデ王」/「菊池容斎」塩谷高貞妻出浴之図	杉本秀太郎 蜷川 順子 加藤 類子	〃	11.24	日本絵画の伝統と現代性	小林 忠	〃	〃
二枚の絵 デューラー「1500年の自画像」/「ハウスナー」オデュッセウスの方舟	下村 耕史	〃	12.1	十九世紀の海外情報と異国人のイメージ—「童絵解萬國嘲」を中心に—	横田 洋一	神奈川県立博物館研究報告	22
二枚の絵 法隆寺金堂壁画「阿弥陀浄土図」/「敦煌莫高窟」仏説法図	平山 郁夫 朝賀 浩 中川原育子	〃	12.8	漫画原作映画リスト—一九四六年—一九七〇年	秋田 孝宏	川崎市市民ミュージアム紀要	8
二枚の絵 ジム・ダイン「庭の片隅に横たわる虎」/「インド」更紗	村田慶之輔 吉本 忍	〃	12.22	北の夭折画家たち—大正・昭和初期の青春		北の夭折画家たち展 大正昭和・初期の青春 図録(北海道立三好岸好太郎美術館)	
日 本							
大正日本画壇に金鈴社は何を語りかけたか	根崎 光男	ア ー ト ト ッ プ	150				
美心独往2 外からみた「日本画」の一世紀	生尾慶太郎	〃	153				
韓国近代洋画略年表 1866~1923 研究ノート	李 美那	ア マ リ リ ス	40	辛口甘口版画館第17回 マンガ家は現代の浮世絵師	伊波 晋	ギャラリー(月刊)	138

破壊(カタストロフ)と再生の都市東京	柏木 博	近代都市と芸術展—東京・芸術都市図録(東京都現代美術館)		<近代大阪の日本画家たち1> 近代大阪日本画壇の特色—江戸時代と比較して、東京・京都と比較して—	原田 平作	茶道雑誌	60—4
近代都市に目を向けた日本人画家たちの軌跡	矢口 國夫	近代都市と芸術展—ヨーロッパの近代都市図録(東京都現代美術館)		<近代大阪の日本画家たち7> 「写実性と造形性」獲得の道—多士済々な展開を試みる—	〃	〃	60—10
日本美術院の歴史的意義	内山 武夫	近代日本画の秀作—日本美術院の作品を中心に平成8年度国立近代美術館巡回展図録(滋賀県立近代美術館)		「新古典主義」って何?—研究ノートよ—	濱中 真治	三人の巨匠たち展—御舟・土屋牛次郎(山種美術館)	
日本画と江州	高梨 純次	〃		明治期歴史画論序説	高階 秀爾	三の丸尚蔵館年報・紀要	1
明治の新聞“拾い読み”の愉しさ	神保 侃司	芸術新潮	554	近世画像の諸機能と写真の出現	宮地 正人	島霞谷展幕末幻の油絵師図録(松戸市歴史館)	
初期文展における婦人読書図について	林 みちこ	芸 叢	12	研究レポート 島根洋画の黎明—松江洋画研究所と「研展」—	西尾 尚子	島根県立博物館ニュース	71
装飾の系譜—壁画から壁面へ	蔵屋 美香	交差するまなざし—ヨーロッパと近代日本美術展図録(東京国立近代美術館)		新美術時評 ソルレンとしての「日本画」	北澤 憲昭	新美術新聞	759
明治期洋画のアイコンとナラティヴ—歴史画受容をめぐる一試論	喜多崎 親	〃		日本における抽象表現主義の受容	出原 均	抽象表現主義展図録(セゾン美術館)	
近世・近代絵画の風俗表現	田沢 裕賀	国立博物館ニュース	586	バック・グラウンド・クリエイティブ8 ヴェテラン・イラストレーターズの逆襲	蜂賀 亨	デザイン現場	84
特集陳列 明治七年聖堂書画大展観	古田 亮	〃	595	初期『白樺』の運動と翻訳文化—文学としての絵画—	山田 俊幸	帝塚山学院大学研究論集	31
浅草風景 描かれた軽業・曲芸師をめぐって	長門 佐季	サーカスがやってきた!展図録(神奈川県立近代美術館)		「テンペラの今日」展に寄せて	林 紀一郎	テンペラの今日展図録(銀座スルガ台画廊)	
サーカスと神戸のモダニズム	山崎 均	〃		東京美術学校西洋画科油画作品の研究1	歌田 真介 坂本 一郎 佐藤 由美 伊藤 淳 鈴木	東京芸術大学美術部紀要	31
				近代における文人画の再生と表現主義の諸相	山口 泰弘	20世紀日本美術再見展[2]…1920年代図録(三重県立美術館)	
				絵画と写真:1910年代から20年代へ	毛利伊知郎	〃	

平成8年定期刊行物所載文献(絵)

日本絵画にみられる 中国像—明治後期か ら敗戦まで	ジョン・ク ラーク	日本研究	15	特集 当代人気作家 12人が集った平成 「連画」の試み 言の 葉の連なりが呼び起 こす新鮮なイメージ の世界	(K)	〃	248
「日本美術院の華」— 女流同人5人展の開 催にあたりて	塩出 英雄	日本美術 院の華— 女流同人 5人—小 倉遊亀・ 岡球子・ 郷倉和 子・荏 子・福 彌壽子 岡本展 原市立 田中 美術 館)		特集 当代人気作家 12人が集った平成 「連画」の試み 連画 歌仙12人の呻・遊吟 歌競べの記録		〃	248
絵画の背景—研究 ノートより10 応筆 画登場の母体—鶴沢 派	佐々木丞平	日本美術 工芸	694	特集 異論!! 反 論!! 院展新世代 心地よきノスタル ジーに浸る—院展 1980年代から90年代 の動向	藤田 一人	〃	250
絵画の背景—研究 ノートより14 写生 画普及の社会的背景 —真写の時代—	〃	〃	698	特集 異論!! 反 論!! 院展新世代 戦後日本画の展開 の中で	武田 厚 天野 一夫 北澤 憲昭	〃	〃
絵画の背景—研究 ノートより15 時代 変化への対応—幕末 明治期の円山四条派	〃	〃	699	特集 異論!! 反 論!! 院展新世代 現代美術の同時代 性のなかで	野地耕一郎 野地耕一郎 吉生 吉弘 加藤 立島 薩摩 雅登	〃	〃
絵画史料としての漫 画—「漫画にみる— 一九四五年」を読んで	藤本 正行	日本歴史	579	特集 異論!! 反 論!! 院展新世代 期待高く、注文も たっぷり—と一画廊街 は彼らの活躍をどう 見ているか	清水 秀作	〃	〃
白馬会の歴史的意義	富山 秀男	結成100 年記念 白馬会 明治洋 画の新 風図録 (プリ ヂスト ン美術 館)		特集 福を呼ぶア ート—招福美術、いま 昔 日本的テーマ— 「めでたきもの」の行 方	小松崎拓男	〃	254
白馬会—組織と活動	植野 健造	〃		特集 福を呼ぶア ート—招福美術、いま 昔 社会の表舞台から 消えた縁起ものの 図像 インタビュー ・稲垣進一		〃	〃
旧派から新派へ	島田 康寛	〃		お友達からはじめま しょう	岡田斗司夫	美術手帖	718
白馬会と東京美術学 校	田中 淳	〃		シアトルはちょっと したジャポニスム・ シティとなった	大西 信之	〃	726
自然主義と黒田清輝 —白馬会の主題	貝塚 健	〃		「ジャパニメーショ ン」なんてない	岡田斗司夫	〃	729
白馬会展 全13回の 記録	植野 健造 編	〃		巻頭特集 風景画の 見かた—自然と対話 する画家たち—風景 と対話するみづゑの 歴史	編 集 部	美術の窓	153
バルビゾン派への郷 愁—日本とバルビゾ ン派	原田 平作	バルビ ソンの 発見— 展—ミ ローが 愛した 自然と 生活図 録(静岡 立美術館)		巻頭特集 色彩の見 かた—日本の色や まと絵にみる日本の 色彩	〃	〃	158
特集 当代人気作家 12人が集った平成 「連画」の試み 遊行 ・連画の絵枕実現	米倉 守	美術(月 刊)(サン アート)	248	巻頭特集 色彩の見 かた—子どもの絵、 そのメッセージと癒 し	末永 蒼生	〃	〃

【特集・サーカスがやってきました！】絵看板連想一足芸をめぐって…	阿久根 徹	ビロティ	100	図書館所蔵卒業生作品集・著作目録2 (女子美術大学)			2
【特集・サーカスがやってきました！】サーカス展ものがたり	山崎 均	〃	〃	日本画のあゆみ—近代から現代へ	草薙奈津子	山種美術館展—巨匠たち(宮崎県立美術館)	
絵画資料にみる近世中期から明治初期の北海道生活史—1995年度調査概要—	林昇太郎 舟山直治 小林孝二 手塚薫	北海道開拓記念館調査報告	35	前期日本美術院地方巡回展覧会をめぐって	野本 淳	横山大観記念館報	14
超現実主義の1938年—第8回独立展をめぐって	荒屋鋪 透	水の記憶—人と自然の風景—(山梨県立美術館)		瑠爽画社・一采社再考—昭和10年代・20年代日本画革新の—様相	野地耕一郎	瑠爽画社と一采社の画家たち—現代日本画家の青春群像—(山種美術館)	
バルビゾン派と明治期日本の洋画をめぐって	舟木 力英	ミレーとバルビゾン派の画家たち—展覧録—(平塚市美術館)		50年目の検証 見直される在米日本人画家たち	安来 正博	和歌山県立近代美術館—ニュース	8
明治前半期における写生風景画の受容	喜多村明里	〃	〃	「絵画」というしくみ—うつすこと—の秘密	植野比佐見	〃	〃
美術研究所の五十年—研究生として講師として	辻 司	美をつくし	146	自然が見える博物画—描く気で観察—…新たな発見		朝 日	12.5
美術研究所の行末は？	村越 英明	〃	147	ルポ絵本1—子供の目—鋭く細かく、なりきって描く	中島 信吾	朝日夕刊	1.16
特集—日本画—遠近—日本画の過去・現在・未来	奥村 靱正 滝沢 具幸 水尾比呂志	武蔵野美術	99	ルポ絵本2—細密手法—生活のにおい、絵だけで雄弁に	〃	〃	1.17
日本画という名の近代絵画	北澤 憲昭	〃	〃	減りゆく銭湯の背景—画復刻版のため「蓄積」を描き続ける		〃	4.2
複製芸術としての日本画	海野 弘	〃	〃	油絵と日本画	(七) 産 経		8.7
<日本画再見>の中で	天野 一夫	〃	〃	「脂」対「紫」—白馬会の誕生—満ちる「外光」、にじむ情緒—才能輩出、抗争に暮れる	宝玉 正彦	日 経	12.22
<国民絵画>としての日本画	岡崎乾二郎 松浦 寿夫	〃	〃	聖なる牛の系譜—農耕に重宝、天神の使い—人間を背に悟りの地へ	〃	〃	12.29
<畫>と<日本の>表象	谷 新	〃	〃	リアルさで自然挑発—河原石アート	橋本 利昭	毎 日	5.3
明治三十～四十年代の日本美術協会の日本画	大熊 敏之	明治美術—再見—日本近代画への途—明治三十年代—大正初展—(宮内省三の丸蔵館)		絵を楽しむ秋—名画がわかる—目からウロコの解説法—アートディレクター—結城昌子さん—提唱—花に宇宙を見る—コスモス画家、荒木幸史さん	斎藤 史子	〃	10.9
一九〇〇年パリ万国博覧会と帝室技芸員—日本画の出品をめぐって	〃	〃	〃	議員さんの肖像画飾る場所「困った」—永年表彰—在職25年—増え続け—衆院は半数が「お蔵入り」		読 売	1.12
図書館所蔵卒業生著作目録1 (女子美術大学)		MEDI-UM	1				

平成8年定期刊行物所載文献(絵)

「ハーレムのピカソ」 ギャスキんさん 園 児と絵画で交流	読 売 (都民版)	4.27					エ ル ミ ニ ウ ム 展 16-19 世紀ス ペ イ ン 絵 画 展 (東 武 美 術 館)
描写に向かう現代絵 画 アイデオロギー切 り離した普遍性を模 索	西村 智弘	読売夕刊	4.9		近世スペイン絵画の 構造とその展開一 ヨーロッパへの逆説	大高保二郎	
海 外							
シュルレアリスムと はなにかーフロイト を一つの手掛かりと してー 美術のみか た26	外館 和子	ア ー ト フ ォ ー ラ ム	36		クセニア画の縛り紐 と鳥籠のモチーフ についてー小動物の 描写における意味の 転換	飯島 章仁	岡山市立 オリエン ト美術館 研究紀要 14
ロマン派の時代ー18 15年から1850年のフ ランス絵画の集大成	イザベル・ ベレ	ア ト リ エ イ ン タ ー ナ シ ョ ナ ル	826		モハメッド・ナリー 大神変図の読解	小山 満	オリエン ト 39-1
韓国近代洋画略年表 1866～1923 研究 ノート	李 美那	ア マ リ リ ス	40		『海の老人』の図像成 立をめぐって「千夜 一夜物語」の挿絵と 人魚図像ー	小林 一枝	〃 〃
「東アジアにおける 油画」展(仮称)に向 けて 研究ノート	越智裕二郎	〃	43		自然の呼び声	カ ロ リ ー ヌ ・ マ チ ユ ニ 子 矢野 陽子 訳	オルセー 美術館展 モデルバ ニテーバ リー・近 代図京 生(東 都美 術館)
印象派の誕生 1824 ー1874年	ヴィクトー ル・ベイ エール	印象派は こうして 生まれた 展 図 録 (東武美 術館)			レアリズムとオリエ ンタリズム	高橋 明也	〃
印象派に先駆ける画 家たち	高橋 明也	〃			セザンヌからナビ派 へ	〃	〃
古典から近代へのかけ 橋ーコローと印象 派	井川美奈子	〃			ビザンティン皇帝ア ンドロニコス二世の レクショナルリー	益田 朋幸	鹿島美術 研究 13
風景画の台頭ーバル ビゾンとフォンテー ヌブローの森	荒屋鋪 透	〃			「雪のサンタ・マリ ア」図の黒子(はく ろ)	徳山 光	〃 〃
外部からの影響	高橋 明也	〃			ベルシア戦争前夜に おけるアマゾン図像 の変遷	長田 年弘	〃 〃
嫉妬深い下僕(しも べ)	カトリーヌ ・マトン	〃			A・スティューグリッ ツとアメリカ初期モ ダニズム絵画	早川 博明	〃 〃
同時代の闘争ー印象 主義における「主題」 の問題	浅野 春男	〃			ヘレニズム期の墓碑 における絵画的表現 についての一考察	中村 るい	鹿島美術 財団年報 13
日の出の印象ー芸術 における理論と政治	〃	〃			ブルーストと絵画一 小説空間の誕生	武藤 剛史	共立女子 大学文学 芸術研究 所研究叢 書 15
資料編	ユベール・ バリ	〃					
文学と美術のあいだ (1)ー十九世紀フラ ンスにおける絵と文 学の呼応	新関 公子	絵	391				クリムト とウィー ン印象派 展ーベル ヴェデー レ宮オー リア 美術館所 録富術 蔵 図 録 (東京美 術館)
エトルリア壁画の技 法ノート	黒江 光彦	エトルス ク展ー壁 画の原寸 大写真と 工芸図録 (河口湖 美術館)			フランスとオースト リアの外光派絵画一 絵画史からの一比較	エルハルト ・シュテ ーベ	

後期ラファエロ前派における密かな「ジャポニスム」植物に囲まれた女(3)	篠原田鶴子	群馬県立女子大学紀要	17
絵を「見る」こと、絵画を「愛する」こと—ロジェ・ド・ビル、あるいは愛好家の論理	島本 浣	芸術論究	23
現代年画の特質と展開—アジア美術の新たな文脈に関する試論として—	池田 寿子	現代中国の美術 中国第8回全国美術展受賞作品による図録(日中友好美術館)	
写実、ナラティヴ、祈り—初期フランドル絵画における写実の問題	幸福 輝	国立西洋美術館年報	27—28
キリシタン関係遺品	後藤 文子	国立博物館ニュース	584
コレクションでたどるフランス絵画の流れ	加藤 千明	19・20世紀のフランス美術展 山形美術館所蔵品による図録(大分県立芸術会館)	
イタリア16世紀美術の展開と素描	越川 倫明	大英博物館所蔵イタリアルネサンスからバロックへ 図録(国立西洋美術館)	
用語解説	小西 編 恵	〃	
チャーサーの宗教観—『カンタベリー物語』に於けるゴシック・ペーソスの研究—	塩見 知之	大正大学研究紀要	81
抽象表現主義	アーヴィング・ランドラー 古田 浩俊 訳	抽象表現主義展図録(セゾン美術館)	
模倣=解体の連鎖と集積—抽象表現主義の胎動期	是枝 開	〃	

特集 イラスト新旋風 第1部 BRAND-NEW EXCELLENCE ニューヨーク・ファッション・イラスト事情	大竹 秀子	デザイン現場	84
ファッション・イラストの隆盛は“デザイナー不在の時代”を象徴?!			
特集 イラスト新旋風 第1部 BRAND-NEW EXCELLENCE ファッションイラスト 1900~1970 ヴィンテージ・マガジンにみる永遠のニュー・モード	松浦弥太郎	〃	〃
WORLD WIDE MIX ILLUSTRATION IS NOT DEAD(HEART)	三宅由希子	〃	〃
ジョージ・エリオットの『ダニエル・デロンダ』—シオニスト、ダニエルの肖像画—	津田 聖子	帝塚山短期大学紀要	33
自由と透明をめぐる形態学—水彩画にみるヨーロッパ近代絵画の革新	前田富士男	ドイツ・ウルム美術館所蔵作品展—紙と表現 図録(徳島県立近代美術館)	
ドイツ美術：不安と恍惚—世紀末から表現主義へ	千足 伸行	ドイツ表現主義とその周辺展 図録(名古屋画廊(名古屋))	
アッシジ、サン・フランチェスコ聖堂下堂の14世紀の天井装飾文様について—下堂交差廊を中心に—	小野 迪孝	東海大学紀要教養学部	26
遠近法の全原理(1)—c線分の通減比を求めて—	辻 茂	東京芸術大学美術学部紀要	31
ダダ、シュルレアリスムの流れ		20世紀美術の誕生展—1920・30年代の欧州・米国・日本— 図録(広島県立美術館)	

平成8年定期刊行物所載文献(絵)

15世紀ブリュッセルの画家たちの作品《キリストの奇跡の祭壇画》のくラザロの蘇生をめぐっての考察—ニコラ・フロマンの《ラザロの蘇生》とアウワテルの《ラザロの蘇生》を手がかりに—	平岡 洋子	日仏美術学会会報	15	海外調査報告 アイランド絵画の宝庫 息づくモダニズムの変容	浅川 泰	〃	52
碧眼富岳三十六景(その八)「物語」の中の富士	白幡洋三郎	日文研	15	清末・民国初期の美術教育—近百年來中国絵画史研究 四	鶴田 武良	美術研究	365
イスタンブル物語9 アヤ・ソフィア その3 絢爛たるモザイク	宝木 範義	日本美術工芸	696	<純潔の勝利>としての<ウエスタの凱旋>—スキファノイア宮殿十二カ月の間「十二月」上段の図像解釈	京谷 啓徳	美術史	139
絵画でたどる絹と亜麻の文化史	村川香代子	日本文化史研究	25	13—14世紀イタリア絵画における文字紋様装飾についての考察	加藤 俊明	美術史学	18
エコール・ド・パリの絵画世界	佐藤 友哉	1920年代の哀愁のバリー図録(徳島県立近代美術館)		珍しく花のある話 フローラル・ペインティング序説	高山 宏	美術手帖	718
フォンテーヌブローの森?「イタリアの出張所」	ヴァンサン・ボマレード	バルビソンの発見展—ミコレー、コローが愛した自然と生活図録(静岡県立美術館)		アートワークもイカす注目のユニット	佐々木 敦	〃	726
田舎の地バルビゾン	ジュヌヴィエーヴ・ラカンブル	〃		特集 抽象表現主義再考 絵画は何を伝えるか	藤枝 晃雄 神林 恒道	〃	731
ガンヌの宿	マリー=テレーズ・カイユ	〃		巻頭特集 風景画の見かた—自然と対話する画家たち—西洋風景画の誕生と流れ	千足 伸行	美術の窓	153
バルビゾンと写真	平木 取	〃		死者の絵 第29回 病室の死	林 紀一郎	〃	156
モダニズムとバルビゾン	中島 徳博	〃		風童門の窓から2 顔について・「白痴」と「ゲルニカ」	一井 建二	〃	〃
描かれたオペラ座—オルセー美術館展出品作品より—	岩崎余帆子	美術館ニュース(東京都美術館)	445	巻頭特集 花の見かた描き方 花の糸譜 花の絵の誕生と展開	小林 頼子	〃	160
モードの諷刺画—19世紀パリの「モデルニテ」	小勝 禮子	〃	〃	巻頭特集 花の見かた描き方 ボタニカル・アート	〃	〃	〃
名画にみる「清潔な暮らし」(11) ロココに芽生えた市民的感性	〃	JAAM	49	ビザンティン・レクショナリー—写本研究の諸問題	益田 朋幸	ビブリア	105
名画にみる「清潔な暮らし」(13) 洗濯の歴史は川辺から	〃	〃	51	『日本誌』(ケンペル)の図版について 館蔵各国語版と英訳版との照合	木村 隆	〃	106
				部屋との対話—ヨーロッパ近代絵画における室内画	前田富士男	ブーシキン美術館名作展 室内への視線図録(静岡県立美術館)	
				「教会の内部」—南欧と北欧	小針由紀隆	〃	

オンフルール—19世紀における芸術家たちの都	アンヌニマルリー・ベルジュルバン	ブーダンとオンフルールの画家たち展 図録 (Bunkamura ザ・ミュージアム)	オーストラリア・アボリジニのX線画に見るシンボリズム	ルーク・テイラー 久保 正敏	民博通信	72
ヨーロッパ近代絵画—自立化への道	深谷 克典	フョーング美術館展 図録 (美術武蔵)	年画・その伝播と変遷(3)ベトナム2—中国・ベトナム・朝鮮・日本—	田所 政江	目の眼	234
風景1	妹尾 克巳	〃	キジル石窟の動物画—中央アジアの旅から—	村田 靖子	〃	239
風景2	徳積 利明	〃	阿蘭陀絵伊万里の図像解釈—一人がデザインになる不思議—	岡 泰正	〃	243
人物	村上 哲	〃	物語とイメージ、あるいはイメージと物語	中山 公男	19、20世紀ヨーロッパ美術にみる物語の世界展 図録 (群馬県立近代美術館)	
情景・物語	岸本美香子	〃	19、20世紀ヨーロッパ美術にみる物語の世界—展覧会について—	上村 清雄	〃	
静物・構成	佐藤 友哉	〃	特集—空中庭園 絵画の庭	松浦 寿夫	ユリイカ	373
近代絵画とは何か	阿部 信雄	フランス近代絵画の誕生と展開—印象派からエドワード・パリのまで 図録 (天童市美術館)	資料紹介 モンタヌス鹿児島の図		黎 明	52
「印象派」の命名をめぐって	大屋 美那	〃	オペラ生誕の地 フィレンツェの舞台画 巨匠を魅了する “花の都”	池田 卓夫	日 経	8.25
新印象主義の変容	富田 章	〃	永遠のロマン—アーサー王伝説(10)、(12)	高宮 利行	〃	9.8、22
シベリアのアヴァンギャルド	永田 靖	北東アジア文化研究 3	ニヤ遺跡から彩色壁画 王族のミイラも		〃	12.6
未来派と機械都市	鶴沢 隆	未来都市の考古学展 図録 (東京都現代美術館)	版 画			
19世紀前半における芸術家という職業	マリー=テレーズ・カイユ	ミレーとバルビゾン派の画家たち展 図録 (平塚市美術館)	一 般			
19世紀前半のフランスにおける風景画の展開	〃	〃	版画家たちの国際交流 国際版画交流協会/プリントザウルスの活動	(編集部)	版画芸術	91
コローとバルビゾン派—情熱と独立と	ヴァンサン・ボマレド	〃	プリンティング・ザ・ワールド1 プリント、プリンティング、版画	室井 尚	〃	93
バルビゾン—風景、宿屋ガンス、そして画家たちの村での生活	マリー=テレーズ・カイユ	〃	プリンティング・ザ・ワールド2 プリントと自然	〃	〃	94
流派と画家たち	〃	〃	特集 版画NOW'96 “版”表現の現在	室伏 哲郎	美術(月刊)(サンアート)	245
コロ—からミレーへ—徳富蘆花の関心の移行について	鈴木 幹	〃	特集 版画に刻まれたエロスの饗宴 現代におけるエロスの表現 版画・写真など PRINTS が表出する世界	〃	〃	249

日 本				四季の匠 彫師	〃	〃	773
プリント・アートの たのしみ19 宮城県 在住の画家たち、新 孔版画に挑戦		ア ー ト ト ッ プ	153	『白と黒』にみる近代 版画の大衆化	瀬尾 典昭	谷中規 と料治 太 黒 と仲間 展 図 (渋谷区 立松涛美 術館)	
江戸浮世絵と現代版 画をつなぐもの	猿渡紀代子	アジアへ の眼 外 国人の浮 世絵たち (横浜美 術館)		創作版画運動期の岩 手	藤代 伸子	萩原吉二 と創作 画展 岩 手の創 作とそ の時代 録(岩手 県立博物 館)	
チャールズ・パート レットと近代日本の 風景木版画	沼田 英子	〃		版画研究最前線 1 フランク・ロイド・ ライトの「摺物」コレ クション	ジョアン・ マーヴィス	版画芸術	91
『平坦』目録及び解題 付・山本鼎「西洋 木版に就いて」	森 登 編・解題	神奈川県 立近代美 術館年報	1994年度	最新・版画工房ファ イル10 版画工房に れ	(編 集 部)	〃	〃
辛口甘口版画館第8 回 さりとて版画の めでたさよ	伊波 晋	ギャラリ ー(月刊)	129	最新・版画工房ファ イル11 915版画工 房	〃	〃	〃
辛口甘口版画館第9 回 技術あつてのい い仕事・いいセンス	〃	〃	130	最新・版画工房ファ イル12 カメアリ版 画工房	〃	〃	〃
特集 版画工房活用 法&公募展最新情報 1—プリンターから のアドバイス	〃	〃	131	珍本稀書掘出物通信 書の森 第十五信 初春歌 舞伎談義	気谷 誠 山田 俊幸	〃	〃
特集 版画工房活用 法&公募展最新情報 2—企業系からユ ニーク公募展まで	〃	〃	〃	巻頭特集 日本の風 景木版画 美しき山 河 アジアへの眼— 外国人の浮世絵師た ち	猿渡紀代子	〃	92
辛口甘口版画館第10 回 「本の美術」決め 手は版画の美	伊波 晋	〃	〃	「風景」の透視図—浮 世絵から現代木版画 へ	松山 龍雄	〃	〃
辛口甘口版画館第13 回 近代版画の流れ の中で	〃	〃	134	版画工房ファイル・ 番外編 (財)アダチ 伝統木版画技術保存 財団アダチ版画研究 所を訪ねて	(編 集 部)	〃	〃
辛口甘口版画館第15 回 版画と写真、い かななる因縁か	〃	〃	136	最新・版画工房ファ イル13 白井版画工 房	〃	〃	〃
辛口甘口版画館第16 回 ちょっぴり幻の 「都市博」気分	〃	〃	137	最新・版画工房ファ イル14 木村希八版 画工房	〃	〃	〃
辛口甘口版画館第17 回 版画の原点にも どって	〃	〃	140	版画研究最前線 3 挿絵版画が語る近代 版画史	山田 俊幸	〃	93
近代版画にみる東京	青木 茂	近代版画 にみる東 京—うつ りゆく風 景展図録 (江戸東 京博物 館)		最新・版画工房ファ イル15 木寺版画工 房	(編集部・ 辺見)	〃	〃
水の東京—新版画に 描かれた東京	飯野 正仁	〃		最新・版画工房ファ イル16 高月版画工 房	(編集部・ 安田)	〃	〃
災害風景と版画	新田 太郎	〃					
うつりゆく風景への まなざし	湯川 説子	〃					
四季の匠 摺師	徳永 京子	新美術新 聞	770				

最新・版画工房フェ イル17 新日本造形 版画工房(SNZ版画 工房)	(編集部・ 宮田)	"	"	日本に迫るか、コ リアン版画パワ ー・プリント・ アートフェア'96現 地レポート	編 集 部	"	92
最新・版画工房フェ イル18 神戸アート ビレッジセンター アトリエKAVC	(編集部・ 安田)	"	94	珍本稀書掘出物通信 書物の森版画の泉 第十六信(最終回) 死と原罪	気谷 誠 山田 俊幸	"	"
最新・版画工房フェ イル19 林グラ フィックプレス	(編集部・ 辺見)	"	"	巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡 礼 世界像の探求	松山 龍雄	"	94
最新・版画工房フェ イル20 小峰プロセ ス	(編集部・ 宮田)	"	"	芸術誌『パン』の誕 生、展開、終息	吉城寺尚子	『パン』の 版画展図 録(プリ ズトン 美術館)	
子供たちに贈る果実 『OLIVA』	"	"	"	テキストの構成—創 刊から終刊まで	"	"	
状況と特質「版画の 1970年代」について	瀬尾 典昭	版 画 の 1970年代 展 図 録 (渋谷区 立松涛美 術館)		プーシキン美術館の 版画コレクションに ついて	ナタリア・ マルコワ 岩原 宏子 訳	プーシキ ン美術館 名作展 室内への 視線図録 (静岡県 立館)	
東京国際版画ビエン ナーレについて	"	"		映像・CG			
特集 版画NOW'96 1995年に刊行され た「版画集」特装本 等、主な版画	美術(月 刊)(サン アート)	"	245	一 般			
特集 版画NOW'96 版画展の記録('95 年1月~2月)	"	"	"	3次元CGアニメ ーションの現在	AXIS		61
特集 版画に刻まれ たエロスの饗宴 版 画におけるエロスの 系譜 浮世絵の春画 から現代まで	中山 幹雄	"	249	特集/プログラムを 操るデザイナーたち エンターテインメ ントとプログラミング の現在 作品に参加 することで得られる 関係性「地球の作り 方—祈り」	笹浪 尚之	"	63
複製芸術としての日 本画	海野 弘	武蔵野美 術	99	CG, 来たるべきも の CG制作ソフト ウェア「Maya」から	稲本 喜則	"	64
図書館所蔵卒業生著 作目録1(女子美術 大学)	MEDI- UM		1	マルチメディア作品 におけるカオス理論 の応用	長嶋 洋一	瓜生:京 都芸術短 期大学紀 要	18
海 外				流行のメディアで アートを楽しもう! —インターネット& CD-ROM		ギャラリ ー(月刊)	136
西洋版画入門34 閑 話—私の版画事始め	八重樫春樹	ア ー ト ト ッ プ	153	第一回ヨコハマ国際 水中映像祭七月に開 幕		新美術新 聞	764
西洋版画入門36 《アレキサンドリア 占領》、《ナポレオン の葬列》・エビナル 版画	"	"	155	美術映画の行方	萩原 朔美	1953年ラ イトアッ プ展—新 しい戦後 美術像が 見えてく る 図 録 (目黒区 美術館)	
ドロ神父の絵解き	原 聖	女子美術 大学紀要	26				
七月王朝期の版画芸 術における暴力、諷 刺、そして人間の社 会的類型	ジ ー ムズ ・ キ ュ ー ノ 講 述 田 邊 徹 訳・解説	成安造形 大学研究 紀要	3				
インタビュー い ま 世界の版画は 現代版画の背景と現 況	針生 一郎	版画芸術	91				

視覚伝達デザインから情報デザインへメディアとコミュニケーションの変遷を中心に	木村 浩	筑波大学 芸術研究 報告	25	電子ネットワークをめぐるアートの現在 ネットワークのなかの美術館の進化について／あるいは	野々村文宏	美術手帖	720
ROM&WEB MIX テキストイラストの決定版 アスキーアートのホームページをさぐれ	田中 秀幸	デザインの現場	83	オーディオ・ビクニック9 飛行機が映画に	藤本由紀夫	〃	〃
MONO MIX 伊藤ガビンのトンだものトーク 久しぶりに「感動もの」の凄い3Dソフトが出た	伊藤ガビン	〃	〃	アートな“コク”? 9 芸術の一分野として見た殺人	滝本 誠	〃	〃
特集 ラブリー・コンピュータ 第2部 LOVELY COMPUTER GRAPHICS 320	佐俣 正人 竹村 信哉	〃	85	特集 サークス! もうひとつの身体 映画「フリークス」の魅力	石井 達朗	〃	721
特集 ラブリー・コンピュータ 第4部 デザイナーのためのインターネット コラム1 インターネット環境で力を発揮するシリコングラフィックス	山名 一郎	〃	〃	エレクトロニックの窓4 テレビゲームってなんだろう?	樹山 寛	〃	726
特集 ラブリー・コンピュータ 第4部 デザイナーのためのインターネット コラム3 インターネット・パブリッシングを推進するアドビシステムズ	千葉 英寿	〃	〃	ハリウッドもアート化へ「12モンキーズ」	西嶋 憲生	〃	727
特集 ラブリー・コンピュータ 第4部 デザイナーのためのインターネット コラム5 身近になったオーサリングツール	杉山久仁彦	〃	〃	特集 アート系CD —ROMガイド 世界劇場のつくり手たち	草原真知子	〃	731
特集 ラブリー・コンピュータ 第4部 デザイナーのためのインターネット コラム5 身近になったオーサリングツール	蜂賀 亨	〃	〃	特集 アート系CD —ROMガイド CD —ROMの樹を揺さぶる	リオネル・デルソ 藤森 愛実 訳	〃	〃
映画映像の平面性と物質性について(美学会第四十七回全国大会報告)	大石 和久 美 学	187	〃	特集 アート系CD —ROMガイド 『キュービクギャラリー』 ゲームで広がるエデュテイメントの可能性	マダム・藤原	〃	〃
抽象映画の展開	奥村 泰彦	〃	〃	今年も映像でアートする アート・ドキュメンタリー映画祭	〃	〃	733
		ひかる・うごく・おとがする展 20世紀の静かならざる作品たち 図録(和歌山県立近代美術館)		コンピュータ・グラフィックスによる都市空間シミュレーション	ゲアハート・シミュット	未来都市の考古学 展 図録(東京都現代美術館)	
				CG制作ドキュメント	大泉 和文	〃	
				特集=ジャパニメーション 庵野秀明はいかにして八〇年代日本アニメを終わらせたか—『新世紀エヴァンゲリオン』について	東 浩紀	ユリイカ	377
				空想の美術館2 ドゥーム 死んだ位置から見えるもの	増田 幸弘	東京夕刊	4.11
				空想の美術館4 ホルモンせきねエキビジョン	〃	〃	4.25

空想の美術館5 ダークシード	〃	〃	5.2	特集 よみがえる グーテンベルク ヴァーチャル・リア リティとエリック チュール	奥出 直人 学 鏡	93-10
空想の美術館6 ラ バーズ・リーブ 弱 点は『曖昧な身体性』	〃	〃	5.9			
空想の美術館7 ペ インティングス・オ ブ・フェルメール	〃	〃	5.16	Studies on Devel- opment of Digital Color Press in Ja- pan (Part 1)—General Information	木下 堯博 九州産業 大学芸術 学部研究 報告	27
空想の美術館9 世 界大百科事典	〃	〃	5.30			
空想の美術館10 ダ リ・ウェブ	〃	〃	6.6	OPINION MIX 新 世代映像ディレク ターの力を生かせる 日はいつか?	中島 信也 デザイン の現場	85
空想の美術館11 ロード・ランナー	〃	〃	6.13	「未来の本の未来」を 考える展覧会	肥前 玉子 美術手帖	718
空想の美術館12 ロ シアの秘宝	〃	〃	6.20	電子ネットワークを めぐるアートの現在 電子ネットワーク 上のアートの可能性 とは?	四方 幸子 森岡 祥倫 粉川 哲夫 岡崎乾二郎	720
空想の美術館13 ネットワーク上の著 作権	〃	〃	6.27	インターネットは” 二度目の喜劇”か?	榊山 寛	729
空想の美術館14 テーマパーク	〃	〃	7.4	「スーパーマリオ64」 をプレイしてみよう	〃	731
空想の美術館16 橋 本総理自選写真集	〃	〃	7.18	図書館所蔵卒業生著 作目録1(女子美術大 学)	MEDI- UM	1
空想の美術館17 タ ワー	〃	〃	7.25	文章を機械で絵に “翻訳” イメージ 分析、景色など 慶 大・松下教授ら取り 組む	朝日夕刊	3.27
空想の美術館18 ボ スニアの微笑み	〃	〃	8.1	デジタルアート女性 が熱い視線 CGや 音組み合わせ 「簡 単・在宅OK」魅力	〃	4.9
空想の美術館20 ト レイン・シュミレー ター 倦怠を楽しめ る風景	〃	〃	8.15	表現'96身体編 「リ アル」へ4 仮想空間 の人工生命体	日 経	1.11
空想の美術館21 『ブライス』内なる 風景を一体化	〃	〃	8.22	美術館から映像発信 芸術としての映画 製作	稲垣 直子	11.9
空想の美術館22 『セザンヌ』	〃	〃	8.29	パソコン使い自在に アート 若いも若き も作画・作曲 操作 簡単ソフト浸透	日経夕刊	11.9
空想の美術館23 シ ムシティ2000	〃	〃	9.5	海 外		
空想の美術館24 ディレクター	〃	〃	9.12			
空想の美術館25 『野口靖ホームページ』	〃	〃	9.19			
空想の美術館26 『バッド・モジヨ』	〃	〃	9.26			
空想の美術館29 『マン・レイーフオ トグラフ』	〃	〃	10.24	THE KING OF E- LECTRONIC DE- SIGN5 「artinta- ct」はアート観賞と インタラクティヴを 楽しむと同時に書籍 としても確立する。	江並 直美 デザイン の現場	80
空想の美術館30 『ベッコアメ』尾崎 憲一さんに聞く	〃	〃	10.31	THE KING OF E- LECTRONIC DE- SIGN5 おそるべ しヨーロッパのマル チメディア。本当の 勝負はこれから始ま るぞ。	〃	〃
日 本						
CG・映像制作のた めのAI(研究ノー ト)—イメージにお ける構成要素—	高田 哲雄	瓜生：京 都芸術短 期大学紀 要	18			

THE KING OF ELECTRONIC DESIGN 6 やっばりヨーロッパは凄かった。MILIA'96の戦い。	〃	〃	81	日本			
特集 ラブリー・コンピュータ 第3部 前田ジョン デザインの未来形 21世紀へ踏み出すための探究 世界を科学技術を生み出すMITそしてメディア・ラボ	前田ジョン 江並直美 取材協力	〃	85	環境と映像 デジタル・フォトによる京都再撮影	水野 哲雄	瓜生：京 都芸術短 期大学紀 要	18
兆候の中心	イウォーナ ・ブラズ ウィック	富山国際 現代美術 展6回(富 山県立近 代美術館)		自然写真の展開	岡部 昭彦	学 鏡	93-1
ゴダールandミック・ジャガーin1968	杉原 賢彦	美術手帖	722	辛口甘口版画館第15回 版画と写真、いかなる因縁か	伊波 晋	ギヤラ リー(月 刊)	136
エレクトロニックの窓3 仕上がり上々!必見ムーヴィ「トイ・ストーリー」の巻	榊山 寛	〃	〃	無意識の共鳴 NE-W JAPANESE PHOTOGRAPHY	伊藤 俊治	今日の作 家展32回 ニューバ ・ジャバ ニーズ・ フォトグ ラフィー 1990'S: 無意識の 共鳴図録 (横浜市 民ギヤラ リー)	
強烈な「性の歴史」発掘	西嶋 憲生	〃	733	実用としての写真—もう一つの写真術—	岡塚 章子	島霞谷展 幕末幻 の油絵師 図録(松 戸市戸定 歴史館)	
写 真				「横浜国際写真フェスティバル'96」来年から隔年で本格開催へ		新美術新 聞	757
一 般				5・6月は「東京写真月間'96」		〃	762
<写真をメジャーに> 横浜国際写真フェスティバル'96開催		ギヤラ リー(月 刊)	138	写真のデジタル化による「水俣」番組制作の実験	畑 祥雄	成安造形 大学研究 紀要	3
美術館と写真の社会的役割を考えるシンポジウム「東京写真月間'96」で開催		新美術新 聞	769	海外			
横浜国際写真フェスティバル'96開幕		〃	778	BRAIN STORM 5 写真についての写真	菅付 雅信	デザインの 現場	81
BRAIN STORM 6 ギャラに見る日米欧比較論	菅付 雅信	デザインの 現場	82	写真という物語	西村 清和	美 学	185
保存科学研究室だより カーボンプリント		東京都写 真美術館 ニュース	8	海外研修報告 写真家P・ヴォルフの資料館訪ね記録に厚み	深川 雅文	JAAM	52
保存科学研究室だより オイル印画		〃	10	民族誌写真に「近代」をさぐる—大英博物館との国際共同研究から— 大英博物館との合意—共同研究の開始にあたって—	佐々木高明	民博通信	74
保存科学研究室だより プロムオイル印画		〃	11	民族誌写真に「近代」をさぐる—大英博物館との国際共同研究から— 共同研究の目的と概要	吉田 憲司	〃	〃
特集=ロラン・バルト まなごしの対位法	鈴木 和成	ユリイカ	375				

彫刻・立体造形

一般

街角のアート・九十年代の作家たち18
国際的な新しい文化の拠点へ
アーティスト・イン・レジデンスの試み(埼玉県・茨城県)

ぼんのなおこ アートマインド 86

獅子と狛犬・獅子頭など

田邊三郎助 獅子頭—東日本を中心に—展(町田市立博物館) 録市博物館

新美術時評 共同体の支えのないパブリックアート

清水 敏男 新美術新聞 775

『ひかる・うごく・おとがする』序論

奥村 泰彦 ひかる・うごく・おとがする展 20世紀の静かなる作品たち(和歌山県立近代美術館) 録山代美術館

関西パブリック・アートフォーラム開催

美術手帖 724

特集 都市とアートの真相「さよなら同潤会アパート」

〃 733

特集 都市とアートの真相 都市にアートは必要か

北川フラム インタビュー 〃 〃

研究ノオト アースワークが問いかけるもの(2)、(3)

浜田 拓志 和歌山県立近代美術館ニュース 8、10

日本

「木の造形 旭川大賞展」によせて

新明 英仁 木の造形 旭川大賞展図録(北海道立旭川美術館)

「位相—大地」—個人的回想

岸野 裕人 美術の考古学第1部「位相—大地」の考古学展(西宮市大谷記念美術館) 録市博物館

「位相—大地」の考古学

篠 雅廣 〃

木の彫刻・1996年の一断面

中村 聖司

木の造形 旭川大賞展図録(北海道立旭川美術館)

特集 都市空間とモニュメントの共存—臨海副都心のアート指向は… <ケース1> 街の魅力アップにアートが貢献、発注者：住宅・都市整備公団

ギャラリー(月刊) 133

特集 都市空間とモニュメントの共存—臨海副都心のアート指向は… <ケース2> 人々に潤いを与える公園のアート、発注者：東京都生活文化局コミュニティ文化部

〃 〃

特集 都市空間とモニュメントの共存—臨海副都心のアート指向は… <ケース3> アートで国際展示場をオープンに、発注者：東京都労働経済局商工計画部

〃 〃

概説・伝統的彫刻の系譜—明治期を中心に—

菅居 正史

近代日本彫刻の一流展—保守伝統派の栄光(宮内庁三の丸尚蔵館)

近代置物考

大熊 敏之

〃

表面と内的生命—日本近代彫刻におけるロダニズムの暗部

高橋 幸次

交差するまなざし—ヨーロッパと近代日本の美術展図録(東京国立近代美術館)

ガレキに花を、再び(阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク)

小林 郁雄

国立国際美術館月報 40

「パブリック・アート」と呼ばれる野外彫刻

竹田 直樹

新美術新聞 756

イタリア蠟型美術鑄造法研究—国内受容の経緯についての一考察—

中村 義孝

筑波大学芸術研究報告 25

1920年代の日本彫刻界と西洋	毛利伊知郎	20世紀日本美術再見展[2]…1920年代図録(三重県立美術館)			“眠らない”世界の名作 シーサイド「彫刻の森」19日、関空対岸「りんくうタウン」に完成	〃	9.17
臨海副都心 パブリック・アート事情		美術手帖	727		高知の森の彫刻プロジェクト	桜井 武	〃 11.10
野辺山アースワーク ミーティング 森の記憶・森のかたち	廣江 泰孝	〃	〃		野外彫刻は泣いている 各地の公園などで盗難相次ぐ	今泉 直人	東京 3.12
特集 都市とアートの真相 パブリックな場所に飛び出すアート IZUMIWA-KU Project 1996	平林 亨子	〃	733		大地にノコギリ「これは何？」不思議スポット	榎本 哲也	〃 8.22
特集 都市とアートの真相 パブリックな場所に飛び出すアート モダン de 平野	塚村 真美	〃	〃		街角は大きな“美術館”だ 野外アート特集	〃	11.16
特集 都市とアートの真相 新宿副都心新パブリック・アート設営計画	野々村文宏	〃	〃		彫刻が海浜植物を保全する	竹田 直樹	東京夕刊 3.16
特集 都市とアートの真相 「ATOPI-C SITE」展緊急レポート	編集部	〃	〃		震災のガレキ アートに再生(神戸芸術村)	笹田久見子	日 経 4.14
特集 都市とアートの真相 「沖縄プロジェクト」の真相	新川 貴詩	〃	〃		老舗の街にアートが“活” 麻布十番「微笑み」の彫刻歩道に	山口 雅司	〃 6.29
美術館の窓36 公共という名のアートについて	武田 厚	美術の窓	160		ぬくもり団地 各地で芽生え	榎本 祥子 小池 陽介	〃 9.14
灰塚ってどこか知っていますか？(灰塚アースワークプロジェクト)	前田 淳子	美術の森	85		「コチドリ」泣いてます 北区の自然観察路の彫刻また盗まれる	〃	毎日 3.19
空間造形・演出が景観に及ぼす影響と効果についての実験及び考察	中嶋 健明	広島市立大学芸術学部紀要	2		小田教授のオリジナル「風水の刻」10体目の作品が完成 港区の彫刻のある街づくり 財政難から事業を規模縮小	金田 健	〃 12.25
碓山忌記念講演記録 わたしのなかの彫刻	酒井 忠康	碓山美術館報	17		野鳥のブロンズ像ご難 盗まれ壊され…被害続出 滝野川	〃	読売(都民版) 3.12
彫刻のコチドリ泣く 北区の自然観察路	朝 日		3.12		よみがえる「三宮の石彫刻」	読売夕刊	1.16
ブロンズのコチドリご難…4回も盗まれる 自然観察路石神井川コース	産 経		3.13		海 外		
臨海副都心の造形群(上) 水辺に映えるD・ビュランの“ストライプ”	松村 寿雄	〃	6.9		[バルテノン 研究ノート]ヘファイストス神殿との相互関係(メトープ)	副部 信敏	跡見学園女子大学美術史学科 24
臨海副都心の造形群(下) 公共彫刻 “ポップ元年” 大地切り裂く鮮烈な「ノコギリ」	〃	〃	6.16		星と神話の美術館(39) 狼座《カピトリノの牝狼》	足立 朗	絵 389
					WORLD WIDE-MIX 現代社会のダークな部分に対抗するショップ形式のインスタレーション	渡部 千春	デザインの現場 81
					北方ゴシック後期の木彫像1 『聖告のマリア』	河合 哲夫	日本美術工芸 688
					北方ゴシック後期の木彫像2 『祝福のことばを捧げる天使』	〃	〃 689

北方ゴシック後期の木彫像3 「三王礼拝」のバルタザール	〃	〃	690	スイヤック、サント・マリー修道院聖堂中央柱彫刻解釈の試み	馬場 雅美	北海道東海大学紀要	8
北方ゴシック後期の木彫像4 聖母子	〃	〃	691			野外彫刻展の祭典一20世紀の巨匠たち—ロミダン、ジャッコロ、メカティ—	
北方ゴシック後期の木彫像5 聖アンナと聖母子のマリア	〃	〃	692			ロミダン、ジャッコロ、メカティ—	
北方ゴシック後期の木彫像6 庇護のマントの聖母	〃	〃	693	野外彫刻の祭典によせて	ソランジュ・オジラス・ドゥ・テュレンヌ	からオーリスへ	東京現代美術館
北方ゴシック後期の木彫像7 三日月に立つ聖母子	〃	〃	694				
北方ゴシック後期の木彫像8 三日月に立つ聖母子	〃	〃	695				
北方ゴシック後期の木彫像9 ザクロを持つ聖母マリア	〃	〃	696	現代彫刻の展望	高橋 幸次		
北方ゴシック後期の木彫像10 幼児キリスト	〃	〃	697	アメリカの環境彫刻 宇宙と人のかかわりを探求 マヤ・リンとヴィト・アッコッチ	樋口正一郎	産 経	3.10
北方ゴシック後期の木彫像11 聖アンナと聖母子	〃	〃	698	南インド・タミル州の野ざらし石像仏	彦坂 周	東京夕刊	3.13
北方ゴシック後期の木彫像12 アレクサンドリアの聖カタリナ	〃	〃	699	シャンゼリゼ野外彫刻展から 惜しげもなく並ぶ50点	長谷川 栄		5.16
サンティアゴ大聖堂クリプタの彫刻について セラフィン・モラレーホの業績研究(1)	浅野ひとみ	美学美術史研究論集	14	近代彫刻の存在価値を示す バリ・ジャンゼリゼ通りで野外展	坂本 憲一	日 経	4.27
「東西贗作犯科帳」4 19世紀にできた15世紀の傑作胸像	長谷川公之	美術(月刊)(サンアート)	247	横たわる裸体十選1 「ヘルマフロディテ」	隠岐由紀子		8.19
「東西贗作犯科帳」9 「花の女神」の微笑のかげに	〃	〃	252	現代彫刻の新地平—ヌーヴォーレアリスムの作家たち	坂本 憲一		9.29
テレフォス・フリーザー古代ギリシャにおける浮彫と写本挿絵—	長田 年弘	美術史	140	アートで彩る商店街 港区麻布十番 外国作家の作品モニュメントを設置		読 売 (都民版)	6.6
『バスクイノー群像』—制作年代と意味解釈	仙石 京子	〃	141				
TWO STATUES OF MARSYAS IN THE COURTYARD OF VIA LARGA: The Reception of a Roman Criteria of Decor in the Display of Antique Sculpture at the Medici Palace	小佐野重利	美術史論叢	12				
問題含みのパブリック・モニュメント	嘉藤 笑子	美術手帖	727			新美術新聞	782
宗達、光琳の「風神、雷神」とローマの平和祭壇の浮彫の「空気」と「水」	吉川 逸治	美のたより	114、115				
				四つの公募・選抜展を「京都美術工芸展」へ統合		新美術新聞	755
				世界・焔の博覧会 ジャパンエキスポ佐賀'96		〃	772

アール・デコ博覧会と日本工芸への影響	岡部 友子	日本工芸の青春期1920s—1945展図録(東京都庭園美術館)	金沢「世界工芸都市宣言」に想う	大樋長左衛門	陶 説	514
日本工芸とアール・ヌーヴォー——一九〇〇年博覧会(美国学会第四十七回全国大会報告)	児子 弘恵 美 学	187	工芸の在処をめぐって	土田 真紀	20世紀日本美術再見展[2]…1920年代(三重県立美術館)	
現代における人形の諸相	増淵 宗一	「ひとがた・カラクリ・ロボット」展—ひとをうらわしにあらわしたそのか(〇美術館)	工芸の青春期—不連続な歴史の断章	樋田豊次郎	日本工芸の青春期1920s—1945展図録(東京都庭園美術館)	
活人形史・その光芒—創始者松本喜三郎の動静を中心に—	土居 郁雄	〃	日本工芸の青春期1920s—1945	苦名 真	〃	
人形の夢、人間の夢	立川 昭二	〃	工人社とその周辺	住谷晃一郎	〃	
第一次ロボット・ブームに探る人形、カラクリ、ロボットの関係	井上 晴樹	〃	『デペンデント・ハウス』と戦後50年	小泉 和子	日本歴史	572
美術と工芸 美術館連絡協議会座談会	中山公男 長谷部満彦 北澤憲昭 中田浩二 司会	読売夕刊	マンボなものを探せ! 12 南国貝細工	バラダイス山元	美術手帖	724
日 本			「梅津パピールファブリク」の歴史をたどる	五十嵐久美	百万塔	95
ごあいさつ	田村善次郎	アイヌの造形展—函野学(武蔵野美術大学美術資料図書館)	「夢」をかがる 日本海のまちに息づくレース作り	荒井 英子	フォト	993
シサムとしてアイヌから学ぶ	相沢 韶男	〃	明治と郷土玩具	石沢 誠司	明治村だより	2
くらしの造形#13 達磨	民俗資料室	キルコス	図書館所蔵卒業生著作目録1(女子美術大学)		MEDI-UM	1
新工芸が歩いた十八年	遠藤 兆映	新工芸ニュース	ミナト神戸のユニークな人形 神戸人形の作者たち	井上 重義	目の眼	238
四季の匠 豆凧	徳永 京子	新美術新聞	神戸人形の不思議な魅力	中村 公一	〃	〃
四季の匠 美術品 ケース	〃	〃	正倉院宝物の復元模造展にあたって	米田 雄介	甞る正倉院宝物展—復元模造の120年(小田急美術館)	
四季の匠 屏風	〃	〃	伝統工芸と正倉院宝物	中野 政樹	〃	
特別企画 和紙の楽しみ—和紙の里を訪ねて	南部真由美	墨	震災で刻まれた魂をたたきつけ 能面教室「能仁会」3カ月後に再開	安田 信博	東京	1.4
草加の皮革	斎藤 修平	草加市史研究	残せ! 江戸以来の「伝統工芸」台東区が浅草(ひさご通り)に「センター」建設へ		〃	2.28
			自然の恵み 和紙に息吹	(米)	〃	12.9
			手ぬぐいに首ったけ	豊田 満夫	日 経	6.20
			銘品探訪 京扇子(京都市)		日経夕刊	4.8
			水引工芸	時田 英之	読 売	9.8

海外

韓紙見聞記—韓紙の再興プロジェクト— 小林 良生 百万塔 95

陶芸

一般

日蘭交易と異国趣味 編集部 目の眼 243

土と炎の美を堪能 世界初の「陶磁器博」人気 産経夕刊 8, 27

アジアの海を渡った古伊万里(上)、(中)、(下) 松岡 資明 日 経 10. 6、13、20

日本

近代の絵付—型紙、銅版絵付— 中野 泰裕 印判手の意匠展—近代の絵付—型紙・銅版転写の世界図録(町田市立博物館)

『印判手の意匠—近代の絵付—型紙・銅版転写の世界』について

明治期におけるマジョリカ焼の受容 増淵 鏡子 芸 叢 12

磁器の表現—陶芸の現代史の中で— 金子 賢治 磁器の表現—1990年代の展開図録(東京国立近代美術館工芸館)

バラエティー—徳利図鑑(1)、(2)— 浦野 恵司 陶 説 514、515

柳宗悦に火を灯された人々(十八) 会津本郷焼の宗像窯 近藤 京嗣 " 515

柳宗悦に火を灯された人々(十九) 会津本郷宗像窯の鯉鉢 " " 516

〈箱根・山中宿より発掘された〉ノリタケ製洋皿(オールド・ノリタケ)について 須磨 満 " 525

学会彙報 1994年の陶磁研究の回顧(東日本) 東洋陶磁 25

学会彙報 1994年の陶磁研究の回顧(西日本) " "

京の青年陶芸家たちが語る赤土会の素顔 亀田 正司 日本工芸の青春期—1920s—1945展図録(東京都庭園美術館)

女流陶芸と亀田正雄先生 坪井明日香 日本文化史研究 25

琉球通信 第12回 読谷村の陶器市 永井 信一 美術の窓 154

地方ルネッサンス 温泉と巨木のまちが世界一の登り窯づくりに挑戦 佐賀県武雄市 矢嶋 秀一 フォト 10. 5

造形の震源地から多様な美濃焼の将来を探る 馬場 伸彦 POTERIE 2

白寿翁閑話(十五) 明治期のこま犬 本多 静雄 目の眼 234

白寿翁閑話(十七) お犬様のこま犬 " " 236

日本のアールデコ1—食器その一、その二— 末續 堯 " 236、239

「焼き物」で読む中世(上)、(中)、(下) 宮代 栄一 朝日夕刊 10. 14~16

焼いて納得 古代の窯業 大川 清 日 経 5. 21

おあしす(七宝焼) 読 売 2. 3

陶磁にとどめる明治の「日本らしさ」(前) 読売夕刊 2. 26

海外

星と神話の美術館(36) 海蛇座《黒絵式ヒュドリアー(ヘーラクレスのヒュドラー退治)》 足立 朗 絵 386

エトルリアの陶器 守屋 雅史 エトルスク展—壁画の原寸大写真と工芸図録(河口湖美術館)

ハンガリーの陶磁器—東西多民族の接点— 前田 正明 現代の眼 494

タイ・カンボジアの古窯址 尾崎 直人 タイ・カンボジアの陶磁展図録(福岡市美術館)

ドイツのピアマグ—河村コレクション—図録(町田市立博物館) 前田 正明

平成8年定期刊行物所載文献(陶、金)

ボヘミアの陶磁器にみる東洋的なモチーフ	フィリップ・スホメル 竹田 裕子 訳	陶 説	517	「長江文明」を訪ねて(下) 秘色青磁のナゾ解明	竹田 博志	〃	8.18
バブアニューギニアの仮面土器	ヨシダ・ヨシエ	〃	518	クメール陶器	下川 正晴	毎日夕刊	2.19
フランスにおけるジャポニスム陶磁器の諸相	クリスチーン・清水	東洋陶磁	25	「南蛮もの」陶器のルーツ ベトナム産と一部確認	(片)	読売夕刊	2.8
ウズベキスタンの陶芸	木村 重信	日本美術工芸	696	金 工			
白釉緑彩陶の出現とその特色	長谷部楽爾	緑絵のうつわ一國分孝雄コレクション、タイムズ・メソト出土展 図録(町田市立博物館)		一 般			
白釉緑彩陶の材質と技法について	山崎 一雄	〃		真珠のロマンス	出石 尚三	芸術新潮	553
京阿蘭陀 雅びの中の異国	岡 泰正	目の眼	234	日 本			
新発見のカンボジア陶器	尾崎 直人	〃	236	昭南神社の奉納刀	鈴木 嘉定	刀剣美術	468
ベトナム中部の「日本町」ホイアン調査	菊池 誠一	〃	〃	第四十八回刀剣研磨・外装技術発表会開催一人賞・入選者さま		〃	〃
高麗青磁	(成)	朝日夕刊	8.23	平成七年度「日刀保たたら操業」実施される		〃	470
中央アジアに伝わる華麗な陶器 ウズベキスタンを訪ねて	木村 重信	産 経	3.31	鉄鉱石(餅鉄)で作る刀剣	鉄山士信吉	〃	471
英陶磁器、日本を標的	高島 良樹	東 京	8.7	靖国刀	能登 邦佳	〃	〃
高麗青磁の美十選1 「青磁童児形水滴」	伊藤郁太郎	日 経	4.25	平成八年新作刀展覧会無鑑査・入賞・入選者発表		〃	474
高麗青磁の美十選2 「青磁陽刻龍濤文九龍首瓶」	〃	〃	4.26	山中 貞則 吉田 茂 宮入小左衛門行平(恵) 月山 貞利 天田 昭次(誠一) 大久保和平(十和形) 松田 次泰(周二) 廣木 弘邦(順一) 尾川 兼因(邦彦) 久保 善博 櫻山 正春(登) 松葉 国正(一路) 杉田 善昭(昭二) 杉山 正俊(俊雄) 赤松 伸咲 榎本 貞人(栄七郎) 関戸 健吾 清水 慶次(慶次郎) 長嶺 雅臣 玉岡 俊行 苔口 仙琇 橋本 琇巴(太郎) 柳村 宗寿(将之)		〃	475
高麗青磁の美十選3 「青磁陽刻蓮弁文水注」	〃	〃	4.29				
高麗青磁の美十選4 「青磁印花蓮池水禽文香炉」	〃	〃	4.30				
高麗青磁の美十選5 「青磁印花牡丹文文瓦」	〃	〃	5.2				
高麗青磁の美十選6 「青磁水禽形水注」	〃	〃	5.3				
高麗青磁の美十選7 「青磁象嵌芦水禽文陶板」	〃	〃	5.6				
高麗青磁の美十選8 「青磁象嵌花楽人文梅瓶」	〃	〃	5.8				
高麗青磁の美十選9 「青磁辰砂蓮弁文水注」	〃	〃	5.10				
高麗青磁の美十選10 「白磁象嵌牡丹文梅瓶」	〃	〃	5.14				

江戸の鬼・明治の鬼 一浜物産を中心とし て	小笠原信夫	〃	478	織姫が守る600年の 伝統 福島県昭和村 からむし織	毎 日	4.29
秋田県の戦時供出鐘	熊谷 恭孝	梵 鐘	4	「からむしに呼ばれ た」自然に学び自然 と暮らす 福島県昭 和村からむし織	中谷比佐子	〃 〃
鍛冶の技 伝承を火 の神様に	(秋)	産 経	11.28			
銘品探訪 銅器(富 山県高岡市)		日経夕刊	4.1			
海 外						
方寸の古美術—アン ティーク指輪	池田 二郎	目 の 眼	240	アフガニスタンの絨 毯—花曼陀羅の世界	田中 秀穂	〃
染 織						
一 般						
沖縄装飾史試案	岡村吉右衛門	沖縄県立 芸術大学 紀要	4	アフガニスタンの絨 毯—花曼陀羅の世界	佐藤 賢一	〃
貝染め「帝王紫」を 追って 1、2、4	原田 勝広	日 経	10.27、 11.3、17			「イカッ ト一緋に 見るイン ドネシア の色とち のた」岡 田レクシ ョン(板橋 立美術館)
日 本						
桐生織物と長澤時基 氏	飯島 義雄	群馬県立 歴史博物 館だより	62	インドネシアのイ カット	吉本 忍	
「さらさ」と「しま」	小笠原小枝	更紗と縞 展(町立 博覧館)		星と神話の美術館 (37) 彗星《バイユー のタピスリー(部 分)》	足立 朗	絵 387
四季の匠 鯉のぼり	徳永 京子	新美術新 聞	765	19世紀後半のフラン ス染織デザインにお けるジャポニスム— ミュルーズ、リヨン における生産を中心 に—	廣瀬 緑	鹿島美術 財団年報
オールシーズン用寝 装・インテリアの シーズデザインの創 作	大原 雄寛 藤木 哲夫 内藤 英治	成安造形 大学研究 紀要	3			40
『日本の染織・テキ スタイル展』につい て	福永 重樹	日本の染 織・テキ スタイル 展(目黒 区美術館)		アール・デコの染織	佐野 敬彦	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要
八王子織物功労者の 表彰	土井 義夫	八王子市 郷土資料 館だより	59	シャトゥース	小池 一子	キルコス
名嘉睦稔 沖縄版画 漂流 琉球紅型—版 画の原点 城間紅型 研究所を訪ねて		版画芸術	92	岡田コレクションに ついて	内海 涼子	国立国際 美術館月 報
新収の染織作品につ いて(京都国立近代 美術館)	加藤 類子	視 る	354	はじめに	リーズベス ・クロメリ ン	テキスタ イルの冒 険—現代 オランダ の4人 のア ーティ スト 図録(目 黒区美 術館)
再現みちのく古代織	山村 精	日 経	11.28			
銘品探訪 弓浜拵 (鳥取県米子市)		日経夕刊	10.7			

テキスタイル造形を 巡る日蘭交流拾遺の 真似事	福永 重樹	〃	
館蔵品紹介 染布断 片 16世紀エジプト フスタート出土	水上嘉代子	遠山記念 館だより	11
トランジション14 タビスリーの旅	岡部あおみ	日本美術 工芸	692
トランジション15 天使の織物と地獄	〃	〃	693
オランダのテキスタ イル事情—日本との 比較において—	朝倉美津子	視 る	351
「過去」を物語るモラ ー祖先から物語受け 継ぐ—コラム/わ たしと絵	鈴木誉志男	游 美	23

漆 工

一 般

漆論=漆のみかた (2) 漆という漢字 に秘められた謎	三田村有純	目 の 眼	232
漆論=漆のみかた (4) 漆にかぶれよ う	〃	〃	234
漆論=漆のみかた (6) 漆は強い か???~その1	〃	〃	236
漆論=漆のみかた (7) 漆は強い か???~その2	〃	〃	239

日 本

近代の漆芸	島口 慶一	近代の漆 芸展図録 (石川県 輪島漆芸 美術館)	
京漆器 老舗「美濃 屋」と近代	灰野 昭郎	〃	
讃岐の漆芸	住谷晃一郎	〃	
金沢近代漆芸の動向	山崎 達文	〃	
四季の匠 漆塗り	徳永 京子	新美術新 聞	767
琉球通信 第14回 琉球漆芸研究会議に 出席して	永井 信一	美術の窓	156
備中漆 再興熱に かふれた	小野 忠司	日 経	1.8
銘品探訪 春慶塗 (岐阜県高山市)		日経夕刊	5.27
銘品探訪 秀衡塗 (若手県)		〃	9.30
再現、明治の室内 明治村秋の特別企画 体験、甦る明治		明治村だ より	5
銘品探訪 日光彫 (栃木県)		日経夕刊	10.14

木 竹 工

日 本

大分の竹工芸2.5~ 10		芸館だよ り	116, 119 ~124
四季の匠 江戸和竿	徳永 京子	新美術新 聞	759
ハコネダケのラオ~ 富士裾野のラオヤ~	友野千鶴子	たばこと 塩の博物 館研究紀 要	6
柳宗悦に火を灯され た人々(二十七) 樺 細工の巧者佐藤省一 郎	近藤 京嗣	陶 説	525

海 外

イギリス カント リー・ファニチャー 「ウインザーチェ アー」の形態分析研 究 その2 (ボウ ・バックウイン ザーチェアー)	山永 耕平	九州産業 大学芸術 学部研究 報告	27
中国・雲南省少数民 族の収納家具	車 政弘	〃	〃

ガ ラ ス

一 般

ファンタスティック 芸術35 スタンドグ ラスの補強バーの除 去と安全性と芸術性 の向上について	大和田晴翠	アートマ インド	84
ファンタスティック 芸術36 「ガラスの 種類と成分」	〃	〃	85
ファンタスティック 芸術37 「ガラス発 色の科学」	〃	〃	86
ファンタスティック 芸術38 「ガラス発 色の科学」	〃	〃	87
ファンタスティック 芸術39 スタンドグ ラスの安全と強度	〃	〃	88

日 本

匠のかたち 科学実 験用硝子器具		AXIS	64
地域資源を利用した ガラスづくり	鈴木 蕃	GLASS	39
東京芸術大学構内出 土のガラス瓦—考古 学的対象としての 「近代」—	山内 利秋	文化財 (月刊)	395
みるも語るもまた楽 し その1 藍色切 子脚付杯	工藤 吉郎	目 の 眼	236

海外

日本ガラス工芸学会
第20回総会における
講演要旨 中近東に
おける彩色ガラス～
イスラーム時代を中
心として～

新ヴェネツィア・ガ
ラス史研究

特集 ヴェネツィア
・ガラス紀行 (二)
ヴェネツィア・ガラ
スの歩んだ道

特集 ヴェネツィア
・ガラス紀行 (六)
チェネデーゼ工房意
地悪見学記

ベニーニ物語 ベネ
チア・ガラス 美と
幻想

ヴェネツィア・ガラ
ス紀行

真道 洋子 GLASS 39

大平 洋一 " "

ローザ・パ
ロヴィエー
ル・メンタ
スティ " "

岡田 親彦 " "

出石 尚三 芸術新潮 562

水田 順子 侶美以 56

その他

一般

NIPAF'96 第3回
国際パフォーマンス
・アート・フェス
ティバル

ポビー・マクファー
リンのライヴ・パ
フォーマンス

ミュンヘン演劇祭”
SPIEL.ART.” 見
る/見られる一行為
への挑発

特集 サークス!
コンテンポラリー・
サーカスの到来!!

オーディオ・ビク
ニック10 オーディ
オ+サウンド+テキ
スト

特集 サウンド/
アート そのたびご
とにリアルななにか

一記念パフォーマン
ス—アジアのバ
フォーマンス・ア
ート—アジアのバ
フォーマンス・ア
ート連続展に寄せて

新美術新聞 758

成安造形
大学研究
紀要 3

新川 貴詩 美術手帖 718

石井 達朗 " 721

藤本由紀夫 " "

海津 元 " 734

美術の内
がわ・外
がわ展—
何故、眼
差は交
わったの
か—図録
(板橋区
立美術
館)

霜田 誠二

日本

横浜で今年もアート
縁日

新美術新聞 760

JAPAN AT RAN-
DOM 紙の個性を
生かして—竹尾ペ
ーパーショーの提案

デザイン
の現場 82

PAPER IN MY
WORK52 “やわ
らがみ” からふくら
む新しいイメージ

杜 今日子 " 83

巻頭特集 版と紙の
饗宴 ペーパーワー
クの実際 京都精華
大学紙工房にて

版画芸術 93

キノコ、人を食う
「珍しいキノコ舞踏
団」

新川 貴詩 美術手帖 720

エジプトも日本も同
じ空の下

" " 727

サウンド・アートの
ハードコア

佐々木 敦 " "

パフォーミング・
アーツの味方!—シ
アター・テレビジ
ョン—

新川 貴詩、 " 733

時空間における光の
創造性の実験および
考察 創造と人、人
と自然 レーザー/
特殊ライトによるス
ペースライティング
アート

及川 久男 広島市立
大学芸術
学部紀要 2

海外

黄金期の西洋蔵書票

パーフィッ 学 鑑 93—10
ト・クリフ

特集 サークス!
サーカス新世紀
ボーダレスな表現
シンガロー座、フィ
リップ・ドックフレ

濱田 耿治 美術手帖 721

特集 サークス!
現代フランス・サー
カス最前線

森田 裕子 " "

特集 サークス!
現代サーカスを支
えているのはサーカ
ス学校である

" " "

フォーサイズとポ
スト・ロゴセントリ
ズム

鴻 英良 " 726

ポストHIV+シア
ター(ウォーホール)

" " 729

特集 サウンド/
アート アート系レ
コード厳選カタログ

野界 則晴 " 734

携帯化粧ケース
[研究のための資料
紹介]

マキエ 15

ラスベガスの光の芸
術 オアシスに運ば
れた涼風

長谷川 栄 東京夕刊 7.11

デザイン						
一般						
椅子・イス・いす	(To, Y) アートペーパー	29		企業がデザインに期待することとは? 「モノのデザイン」から「ストーリーの構築」へ	スティープ・マッキヤリオン	62
特集 迷う、クルマ ロレンツォ・ラマ チョッティに聞く ピニンファリーナ流 のクルマ作り	編集部・関	AXIS	59	デザイン用語辞典7 メタファー【隠喩・暗喩】	久保田晃弘	62
デザイン用語辞典 ひせんけい【非線形】	久保田晃弘			特集/プログラムを 操るデザイナーたち 新しい世界はある。 でも……	前田ジョン 岩城陸奥 対談	63
ミライト・フュー チャー・ビジョン1 照明の概念を変革 する画期的システム				特集/プログラムを 操るデザイナーたち コミュニケーション ・デザインの成熟	稲本 喜則	62
デザイナーズ・サタ ディ in Tokyo' 95				特集/プログラムを 操るデザイナーたち 感動はコードの中 に	宇田川信学	62
カワイイ、タノシ イ、カッコイイ 近 頃の電気シェーバー			60	デザインの大衆化— その先にあるもの	樫木 野衣	62
デザイン用語辞典5 アブダクション 【仮説形成】	久保田晃弘			デザイン用語辞典8 イメージスキーマ 【イメージ図式】	久保田晃弘	62
第2特集 フット ワーク このデザイ ナーたちの足さばき これからフット ワークあるデザイ ナーを目指す人へ デザインとコン ピューターの再考察	奥出 直人			拡大する放送メデ ィアとデザインの手法		62
特集 マテリアル・ ワールド プラス チック・ワールド プラスチックの功罪 対談 竹原あき 子/渡辺英夫	有元 正存 インタビュー ビュー		61	逸品調査団～実 は持っているあのデザ イン～第9回「ヘッ ドホンステレオカセ トプレーヤー」	安次富 隆	64
特集 マテリアル・ ワールド 宮本茂紀 と、木の話	編集部・稲 本インタビュー ビュー			デザイン用語辞典9 けいけんきばん しゅぎ【経験基盤主 義】	久保田晃弘	62
特集 マテリアル・ ワールド 履き物に みる触と材料 触覚 を楽しむ履き物たち				インターネットグラ フィックデザインコン ペティション開催	新美術新 聞	767
特集 マテリアル・ ワールド パーチャ ル・ワールドの触感 物質的に存在しな いものの触感は手に できるか	編集部・稲 本			デザインにおける情 報ネットワークの活 用と問題—インター ネットの特長と利用 方法に関する調査報 告—	山中 敏正 筑波大学 芸術研究 報告	25
特集 マテリアル・ ワールド マテリア ルが作るデザインの 未来 メイキング・ オブ・『ミュータン ト・マテリアル』展				文字造形に関する多 角的考察—ロゴタイ プデザインの造形以 前における諸問題と 制作の展開—	岸本 義弘 東京学芸 大学紀要	48
デザイン用語辞典6 レトロダクション 【遡源原理】	久保田晃弘			生活文化とデザイン	柴久庵憲司 人間文化	0
				「デザイン」と「こ とば」をめぐる 韓 国と日本のタイポ グラフィ	浅葉 克己 アン・サン ・スー 中込 三郎 インタビュー ビュー	733
				日 本		
				特集 迷う、クルマ 第31回東京モー ターショー会場で聞 きました。このク ルマ、どう思います か?		AXIS 59

特集 迷う、クルマ オートモーティブ ・デザイナーズ・ナイ イトの会場でデザイ ナーたちにアンケー トをお願いしまし た。このクルマが 好き・嫌い・売れる でしょう									
デジタイポ・ジャパ ン 第4回 アセ テート	蜂賀 亨								
半終									
逸品調査団～実は 持っているあのデザイ ン～第4回 象印、 マリオ・ベリーニの 炊飯器	三津井 宏								
現代版 エコロジー 「駕籠」カー 95年度 マイルレージマラソン AXIS賞受賞車									60
匠のかたち マネキ ン									
デジタイポ・ジャパ ン 第5回 レヂス ターフォント	蜂賀 亨								
デジタルメディアの 可能性を開く3つの 研究所 通信技術を先 感性へと回復する 先端研究国際電気通信 基礎技術研究所(A TR)	瀧口 範子 取材・文								
デジタルメディアの 可能性を開く3つの 研究所 デジタル・ コンテンツの国際競 争力を高めるマルチ メディア研究セン ター(MRC)	瀧口 範子 取材・文								
第2特集 フット ワーク このデザイ ナーたちの足さばき ファッション業界 のサポートシステム をバネに躍進する新 世代クリエイター	田島由利子								
富山のデザインコン ペの大論争 あなた は日本のIDをどう 考える？									
今後の展開を予感さ せる ナナオの新型 モニターEIZO	川崎 和男								61
ここに未来のアイド ルの姿を見た バー チャル・アイドル、 DK-96									
特集 マテリアル・ ワールド 環境を考 える3題一触感、五 感そして環境									
特集 マテリアル・ ワールド 地下足袋 風ブーツの誕生 高 田喜佐(シューズデ ザイナー)									
デジタイポ・ジャパ ン 第6回 ストラ イクシルバー	蜂賀 亨								
匠のかたち 相撲文 字									
デザインが生まれる 場所 第6回 水口 哲也(セガ・エン タープライゼズAM 研究開発本部分室)									
1996年春 卒業制作 展レポート									
逸品調査団～実は 持っているあのデザイ ン～第6回 ソニー ・スカイセンサー									
あのマリオだって思 いそのまま NINTE NDO 64のコント ローラー									62
逸品調査団～実は 持っているあのデザイ ン～第7回 B&O ベオコム1000	安次富 隆								
デジタイポ・ジャパ ン 第7回 最近 カタカナが増えてき た。	蜂賀 亨								
特集/プログラムを 操るデザイナーたち 教育の現場におけ るプログラミングと デザイン 慶応義塾 大学湘南藤沢キャン パス/多摩美術大学 美術学部二部デザイ ン学科/東海大学短 期大学部コンピュー ター・イメージデザイ ンコース/東北芸術 工科大学情報デザイ ン工学部情報デザイ ン学科/デジタルハ リウッド									63
デジタイポ・ジャパ ン 第8回 ウィー アード・フォント	蜂賀 亨								
ミライト・フュー チャー・ビジョン2 先端技術が開いた 「照明」の建築的価値 と無限の可能性									
特集 こどもの時間 2.1 こどもとお もちゃ いまどきの 玩具									64
特集 こどもの時間 2.4 こどもとお もちゃ ダイヤブ ロックが生まれるま で									

特集 こどもの時間 5.1 こどもと ファッション 現代 親子世相—子供 ファッションを通し て	堀田 瑞枝	" "	特集 見せませす! パッケージデザイン の裏の裏 コラム パッケージのなかの くことば> インブ レッシュニズム 小 林製薬の「ネーミン グが命」のパッケー ジデザイン法	編集部	" "	
デジタイボ・ジャパ ン 第9回 Bho- choo Foot	蜂賀 亨	" "	特集 見せませす! パッケージデザイン の裏の裏 コラム ミニマルパッケージ はマキシマルに個性 的「レンズ付フィ ルム」が提案する新 しいデザイン	竹原あき子	" "	
仮想的な紙のビジュ アルな変形操作とそ れを用いた創造的な 折り紙デザイン	後藤田洋伸	学術情報 センター 紀要	8			
現代日本のポスター における諧調表現に ついて	中野 仁人	京都工芸 繊維大学 工学部 研究報告 人文	44			
明治44年につくられ た前橋市立筑井小学 校の徽章「明治辛 亥日記」より	岡部 央	群馬県立 歴史博物 館博物館 だより	64			
研究ノート 北海道 商業美術家協会の活 動について	霜村 紀子	市立函館 博物館研 究紀要	6			
デザイン時評 第31 回モーターショーに 出品された車で「感 じる夢……」を感じ られただろうか?	パラダイス 山元	デザイン の現場	80			
バック・グラウンド ・クリエイティブ4 ULTRA HEA- VEN	蜂賀 亨 企画	" "	" "			
コンプレックス・ ブル12 デザイン ・クリニック	日本デザイ ンセンター 原デザイン 研究所	" "	" "	蜂賀 亨 企画	" "	
特集 見せませす! パッケージデザインの 裏の裏 座談会 いま、パッケージの 特集するのって時期 が悪すぎる?!	木村 勝 鹿目 尚 高橋 志 佐藤 敏 卓	" "	81	江並 直美 構成	" "	
特集 見せませす! パッケージデザイン の裏の裏 コラム マーケティングが パッケージを動かす デザインを決める 「マーケティング調 査」の実態	編集部	" "	" "	山本 雅也	" 82	
特集 見せませす! パッケージデザイン の裏の裏 ポテチの 袋 主婦&小学生と いっしょにスーパー のポテトチップス売 り場にいって見た	青野 尚子 編集部	" "	" "		" 83	
				THE KING OF ELECTRONIC DESIGN 6 MAC- WORLD Expo 東京'96 6社連合 ブース Publisher's Front グラ フィックデザイナー が空間をデザインす る。	江並 直美 構成	" "
				デザイン時評 気 になるデザイン関連団 体の実態	山本 雅也	" 82
				特集 印刷をきわめ る 意外と知らない オフセット印刷の基 本 表現を広げる特 殊印刷完全ガイド		" 83
				デザイン史の中の東 京高等工芸学校—東 京高等工芸学校の歩 み—	柏木 博	デザイン の揺籃時 展図録 (松戸市 立博物 館)

日本のモダン・デザインを繙く—東京高等工芸学校の歩み—	森 仁史	〃			亜細亜的創造2 北京、上海、台北3都市デザイン事情 台湾のデザインポリシー	北 3都 台	編集部・関	〃	〃
「日本のグラフィックデザイン」展にあたって	井上 芳子				日本のグラフィックデザイン展図録(和歌山県立近代美術館)	北 3都 台		〃	〃
語られざる戦後美術5 “美”を社会に、大衆に—デザイン・工芸の虚と実	藤田 一人	美術(月刊)(サンアート)	246		亜細亜的創造2 北京、上海、台北3都市デザイン事情 台湾のブランド戦略の試み	北 3都 台	Echo Wang	〃	〃
書物の美を楽しむ	島村 輝	MEDI-UM	2		亜細亜的創造2 北京、上海、台北3都市デザイン事情 台湾のブランド戦略 Meridia	北 3都 台		〃	〃
現代ファッションとジャポニスム	リチャード・マーティン ハロルド・コーダ 上垣外憲一 訳	モードのジャポニスム展図録(東京ファッションウエ)			「アメリカの心髄」ここにあり クライスラーからプリマス・プロウラーがデビュー		有元 正存	〃	60
流動的な身体—ファッション・ヴァンギャルドとしてのネオ・ジャポニスム—	鷺田 清一	〃			週末にはお茶を—ドイツイツ紅茶プロモーションの方法		クリス・ドーマー	〃	〃
スタイル探検 市民らも街をデザイン	国吉 直行	朝日夕刊	9.26		デジタルメディアの可能性を開く3つの研究所 インタラクティブな総合芸術センターを模索するドイツカールスルーエ、芸術とメディアテクノロジーセンター(ZKM)			〃	〃
ほうろう看板収集の旅 18年間で300枚、時代の移ろい映す	山口 雅人	日 経	8.14		逸品調査団—実は持っているあのデザイン—第5回 イスクラの電話機			〃	〃
新世代デザイナー C I ルネッサンス目指す	石鍋 仁美	〃	11.2		ソフトウェアが詰まっている「PLEATS ISSEY MIYAKE SHOP」		川上 典子	〃	61
日本文化デザイン会議 来年から年2回開催に		毎日夕刊	2.27		特集 マテリアル・ワールド ようこそマテリアルワールドへ ニューオブジェクト、ニューメディア、オールドウォール			〃	〃
デザイン季評 新素材で一変する生活環境 消費生活の意味 問い直す廃物利用	柏木 博	読売夕刊	8.28		イタリア人の本領発揮? 96年ミラノサローネ報告		伊藤 史子	〃	62
デザイン季評 収穫多かった展覧会 現実社会への影響力は低下	〃	〃	12.25		それでも見ておきたい '96スカンジナビア家具見本市		高山洋一郎	〃	〃
海外					BMW Z3 ロードスターを、アメリカ南部で乗る		編集部・上條	〃	〃
U. S. A. マルチメディアデザイン最前線	編集部・宮崎	AXIS	59		ディーブラス 最深南部から世界へ			〃	〃
トムソンとスタルクの華麗な関係	竹原あき子	〃	〃		芸術文化の国ベルギーの新星 フランク・ヴァン・パッセル 監督インタビュー			〃	〃
亜細亜的創造2 北京、上海、台北3都市デザイン事情 '95北京C I大会の点景	編集部・稲本	〃	〃					〃	〃
亜細亜的創造2 北京、上海、台北3都市デザイン事情 上海	〃	〃	〃					〃	〃

逸品調査団～実は持っているあのデザイン～第8回 G・フォース	三津井 宏	〃	63	特集 見せます！パッケージデザインの裏の裏 WORLD WIDE PACKAGING ボトル革命を巻き起こすトップブランド“evian”	桜井みどり	〃	〃
特集 2.2 こどもの時間 2.2 こどもとおもちゃ遊びからドイツの子供用品	クリス・ドーマー	〃	64	特集 見せます！パッケージデザインの裏の裏 WORLD WIDE PACKAGING 異分野のデザインがクロスオーバーするロンドンのパッケージ・シーン	エリザベス・ファレリー	〃	〃
特集 2.5 こどもの時間 2.5 こどもとおもちゃ世界のトレンドは今……	中西 弘子	〃	〃	WORLD WIDE MIX NY で今イチオシの、ポップでアヴァンギャルドなペンタグラムのポスター	大竹 秀子	〃	〃
デザインが生まれる場所 第9回 バタゴニア	宮下 和典	〃	〃	WORLD WIDE MIX VIA が家具職人の街に本拠地を移転	桜井みどり	〃	〃
フィンランドのデザイン—その自然と近代性—	飯岡 正麻	九州産業大学芸術学部 研究報告	27	WORLD WIDE MIX MTV ヨーロッパの情報力がひかる月刊誌「BLAH BLAH BLAH」	渡部 千春	〃	82
ウィーン工場のグラフィックデザイン—その一 創設期の出版物をめぐって—	濱野 節朗	京都工芸繊維大学工学部 研究報告 人文	44	WORLD WIDE MIX 社会復帰を促すデザイン デザイナー×囚人による金庫コレクション	矢島みゆき	〃	83
特集 ロシア いま誕生したデザイン、いま甦るロシア構成主義 モスクワ・アンダーグラウンドにうごめくデザインの胎動	[編集部・柳沢]	デザインの現場	80	WORLD WIDE MIX 未来の日常を提案する プリジャトフ&プリジャトフ	桜井みどり	〃	〃
特集 ロシア いま誕生したデザイン、いま甦るロシア構成主義 ロシア構成主義ホスター・グラフィックス 1900～1948 RUKI MATSUMOTO POSTER COLLECTION100	松本 瑠樹 編集部 五十殿利治 監修	〃	〃	ひねくれアメリカ主義で人気上昇！ スウェーデンの若くて鋭い感性がつくる「ディーゼルジーンズ」の広告戦略	渡部 千春	〃	84
特集 ロシア いま誕生したデザイン、いま甦るロシア構成主義 A・ブロードヴィッチと亡命ロシアデザイナーによるエディトリアル革命	林 文浩	〃	〃	WORLD WIDE MIX 環境ごとみせるグラフィックデザイン展「Mixing Messages」	阿部 譲之	〃	85
特集 見せます！パッケージデザインの裏の裏 WORLD WIDE PACKAGING リサイクル素材の見せ方、あの手この手	大竹 秀子	〃	81	WORLD WIDE MIX jam 展 シェアから生まれるロンドンのクリエイティブパワー	三宅由希子	〃	〃
特集 見せます！パッケージデザインの裏の裏 WORLD WIDE PACKAGING オランダの二度利用郵便バック	廣川 覚子	〃	〃	WORLD WIDE MIX ミラノのショップ空間を席卷するアクリルの質感	矢島みゆき	〃	〃
				ROM&WEB MIX これを見ればあなたもニュー Yorker！ (気分) razorfish + the blue dot	田中 秀幸	〃	〃

第69回例会発表要旨
社会・公衆・イメージ
1880・90年代に
おけるポスターの興
隆—造形表現と受容
の背景

吉田 紀子 日仏美術
学会会報 15

アーティストはモン
スターをつくれ!

岡田斗司夫 美術手帖 733

ティールームの誕生
4—デザイン史の舞
台裏で起こったこと

横川 葦央 百科(月
刊) 410

シャー・アルマ
ジャーニ(サッコと
パンゼッティの読書
室)の展示「ユナイ
テッド・カラー・オ
ヴ・ベネトン」の戦
略的成功

ジャンニク
リストフ・
アマン
プロジェクト・
フォー・パ
リアル展 19
70年以降の
現代美術再訪:
プロジェクト
[意志的・
的・的な実
践の再発
見に向けて
(東京近代
美術館)

エイズとベネトン

“ “

世界通貨ベネトン:
一つの反論(フラン
クフルト近代美術
館のベネトン・ル
ームに対する抗議)

エヴァ・
フォン・ブ
ラーテン “

マンシュ・ジャ
ネーズあるいは着
物の袖付けに關
する考察

ヴァレリー
ム・ギョ
ン 古賀
抄訳
モードの
ニポ
展(東京
アン
タ
ン
フ
シ
ウ)

建 築

一 般

色彩環境論[5] 集
会都市の色彩比較
について。事例—バ
ンクーバー・ピク
トリア・ウィスラ
ー・パンフ・カル
ガリー [1995年6
月]

山岸 政雄 金沢美術
工芸大学
紀要 40

緊急特集ニジル・
ドゥルーズ ドゥ
ルーズ、反建築者

八束はじめ 現代思想 24—1

特集 コラボレイ
ティブ・デザイン
ランドスケープ・
アーキテクトとコ
ラボレイティブ・
デザイン

Peter Wa-
lker 建築雑誌 1397

特集 コラボレイ
ティブ・デザイン
エンジニアとコラ
ボレイティブ・デ
ザイン

Philip Di-
lley “ “

特集 コラボレイ
ティブ・デザイン
「都市と建築」の協働

北沢 猛 “ “

特集 コラボレイ
ティブ・デザイン
共同制作のデザ
インが可能な条件

近藤 正一 “ “

建築専門誌『at』
ネットマガジン化

新美術新
聞 770

新美術時評 都市の
影

北澤 憲昭 “ 780

地方都市が建築デ
ザインを活性化し
たグッド・サンプル

浜田 邦裕 美術手帖 720

建築の感動ってなん
だ?

“ “ 729

建造物の木目塗り

長谷川良夫 明治村だ
より 2

阪神大震災から1年
強く、美しい、住
みやすい都市をめざ
して

泉 真也 朝 日 1,19
伊藤 滋

社会の活断層 震災
の視点 中 自然と
調和、分散型国土
都市が弱い原因は
「過密」技術越えた
防災論が必要

石橋 克彦 朝日夕刊 1,18

コンピュータネッ
ト活用 建築設計、
社会に聞く 人の流
れなど仮想実験 市
民参加で限界打破

稲垣 直子 日 経 7,13

日 本

21世紀住居図鑑4
都市の「開かれた
シェルター」(カー
サ・メレワー/エッ
トレ・ソットサス
設計)

大西 若人 AXIS 59

さようなら、丸ビル
丸ノ内ビルディング

“ “ 60

21世紀住居図鑑5
平成のプリミティブ
・ハット(F³ HOU-
SE/北山恒設計)

伊藤 公文 “ “

クルーザーが入る展
示場 東京ビッグサ
イト

“ “ 61

21世紀住居図鑑6
プロトタイプのテン
トハウス(TH-1/
朝倉則幸設計)

“ “ “ “

21世紀住居図鑑7
もうひとつの「民家」
の誕生(箱の家/難
波和彦+界工舎設
計)

伊藤 公文 “ “ 62

平成8年定期刊行物所載文献(建)

21世紀住居図鑑8 システムの透明化による家づくりの革命 (秋山東一設計)	"	"	63	特集 コラボレイ ティブ・デザイン 宮崎県立美術館の回 想 地方におけるコ ラボレイション	森本日良雄	"	"
21世紀住居図鑑 オ フィスに住む(岸和 郎設計)	大西 若人	"	64	特集 コラボレイ ティブ・デザイン パートナーシップの 10年	川村 純一	"	"
魚津路上ウオッチン グ	荻野 松宜	魚津国文	34	開かれた日本的空間	陳 玲	"	"
昭和初期のモダン住 宅 四角い箱の家の 登場	山口隆太郎	江戸東京 たてもの 園だより	7	ベールに包まれた古 建築の装飾性 色・ 形に込められた意味	窪寺 茂	"	"
日比谷公会堂 建築 の東京を観る1	米山 勇	"	8	ニコライ堂建設に使 用された70~100年 前のモルタルの調査 ・組成分析調査結果 報告	中山 實 高橋 敏夫 笠井 浩	"	1399
三井八郎衛門邸主屋 新規収蔵建造物1	齋藤 慎一	"	"	日本近代都市史	中川 理	建築史学	26
前川國男邸 生活の モダニズム 新規収 蔵建造物2	早川 典子	"	"	近代数寄者の庭園観	熊倉 功夫	茶道雑誌	60-7
技術の思想と加速	岡部 昭彦	学 鏡	93-2	近代数寄者の建築観	"	"	60-11
揺籃としての都市	乙葉 哲	近代都市 と芸術展 —東京: 都市と芸 術 図録 (東京都 現代美術 館)		庭園の流れ(二十三 明治・大正・昭和初 期の庭園	中根 史郎	"	60-12
東京—学習と規範喪 失の140年	松葉 一清	"		昭和の木造五重塔 (十一)	吉田 実	史迹と美 術	661
同潤会代官山アパー トが消えるとき	森 まゆみ	芸術新潮	563	三つの原爆計画—失 われた原爆の記憶	飯島 洋一	1953年ラ イトアッ プ展—新 しい戦後 美術像が 見えてき た 図録 (目黒区 美術館)	"
江戸のユートピア 都市空間の抑圧と排 除	櫻井 進	現代思想	24-9	音楽が手渡されてい くコンサートホール —カザルスホール	萩本 晴彦	チャイム 銀座(月 刊)	181
震災と復興をめぐる 諸問題 阪神大震災 における木造建築物	小川 三夫	建築雑誌	1383	WORLD WIDE MIX “住みたい形” に自在に対応。賃貸 住宅の新たな形態	鈴木 紀慶	デザインの 現場	82
震災と復興をめぐる 諸問題 歴史的建造 物保存への取り組み	坂本勝比古	"	"	JAPAN AT RA- NDOM 歴史性と ユーモアで地域にと けこむ「築地えとビ ル」	白鳥 美雄	"	"
「戦後建築」を記述す ることの意味 (特 集1995年8月号「戦 後建築をつくった 人々」を読んで)	松隈 洋	"	"	旧朝香宮邸のアール ・デコ	関 昭郎	東京都庭 園美術館 建物公開 旧朝香 宮邸の アール・ デコ展図 録(東京 都庭園美 術館)	
特集 コラボレイ ティブ・デザイン インタビュー:コラ ボレイティブ・デザ インとは	木村 俊彦 編集委員会 聞き手	"	1397	蔵座敷の内部構成お よび意匠に関する研 究	杉山 岳巳	東北芸術 工科大学 紀要	3
特集 コラボレイ ティブ・デザイン コラボレイションは グローバルな潮流 設計におけるコラ ボレイションの形態	橋本 喬行	"	"	旧仙台高等工業学校 講堂実測調査報告	飯淵 康一 永井 康雄 田中 正三	東北大学 建築学報	35
特集 コラボレイ ティブ・デザイン 海外の建築家と組む	藤江 澄夫	"	"				
特集 コラボレイ ティブ・デザイン ネットワークの可能 性	宇野 求 岡河 貢	"	"				

明治期に建てられた 煉瓦倉庫の耐震性に 関する調査・研究	田部井 恒 遊佐 正樹 斉藤 大樹 柴田 明徳	〃	〃	アートボリス 日常 との“ズレ”	中村ひろみ	〃	6.27
遠山邸建築余話	久保木彰一	遠山記念 館だより	11	旧財閥の近代和風建 築 安田邸、保存へ 寄贈	〃	〃	9.10
<聴竹居>という住 宅	桑名 麻理	20世紀日 本美術再 見展[2] …1920年 代 図録 (三重美 術 館)		日本ナショナルトラ ストに寄贈決まった 安田邸 文京区・千 駄木	〃	〃	9.26
都市言説の不在につ いて	飯島 洋一	美術手帖	731	なぜ天井裏に石3.5 トン? 大正時代京 都府の山荘	〃	〃	11.10
新たに構築される風 景	〃	〃	733	キャナルシティ博多 「内側を幸福で満 たす」発想	(若) 朝日夕刊	〃	5.27
琉球通信 第13回 識名園	永井 信一	美術の窓	155	「建築」がみえない1 最適解 モダニズ ムとポストモダン越 え「モノとしての建 築」めざす	大西 若人	〃	6.10
京都・都市景観の近 代と現代―「時代区 分」および「建築の近 代と景観」―	吉野 正治	仏教大学 総合研 究所紀要	03別冊	「建築」がみえない2 消去 占有し、視 界妨げる罪を意識 ごく自然にたたずむ 存在へ	〃	〃	6.11
幻の劇場建築「本郷 座」	志村 直愛	本郷座の 時代展― 記憶の中 の劇場・ 映画館図 録(文京 ふるさと 歴史館)		「建築」がみえない3 開放 都市と連続 するマンション 開 かれた消防署、制度 はぐす試み	〃	〃	6.12
国立能楽堂異聞	高橋 大助	武蔵野美 術	99	「建築」がみえない4 身体性 デジタル と対局のアナログ性 具体的感覚から組み 立てる	〃	〃	6.13
学習院長官舎(明治 42年)		明治村だ より	3	檜皮屋根ふきかえ順 番待ち 寺社多い京 都一修理めど立たぬ 国宝も	田中 京子	〃	11.8
居留地 異人館 開 港都市	坂本勝比古	〃	4	自然と共生する都市 空間 アーバンアメ ニティを考える “自然”が主役の環 境づくり アートと 自然との共存推進	産 経	〃	4.30
神戸山手西洋人住居 明治20年代		〃	〃	歴史の証人鳩山会館 公開から1カ月見 学者2万5000人に 故一郎氏らの勲章、 手紙戦後政治の資料 館	〃	〃	7.7
長崎居留地二十五番 館		〃	〃	代官山の同潤会ア パート 昭和文化の 遺産また一つ…70年 の歴史に幕 来月上 旬に取り壊し	〃	〃	8.14
黎明館周辺の歴史散 歩(16) 医学院跡	黎 明	黎 明	51	阪神・淡路大震災の 被災地に 鎮魂と希 望の箱―新しい命へ の信頼託して安藤忠 雄設計のギャラリー 「小さい芽」	河村 直哉	〃	9.29
よみがえる風景3 「展示・模型」紹介― 春米小学校	高橋 敏 歴 博	歴 博	75	これが小学校!? 城下町・小田原 景 観考え武家屋敷風	東 京	〃	1.3
「上野の国会議事堂 駅」お乗りの方はお 早めに 京成線博物 館動物園駅廃止の運 命	朝 日	朝 日	2.22				
時を刻んだ地名残惜 しんで「精工社」創 立100年越し錦糸町 丟る 敷地売り赤字 補てん	〃	〃	5.18				
歴史刻んだ建物2つ 旧富岡製糸場夏に 一般公開 神戸の異 人館パネルで復活	〃	〃	6.2				
アジア近代の建築 日本の植民地で「洋 風」の戯画	松葉 一清	〃	6.22				

名門料亭きょう取り 壊し 荒川区・尾久 三業地 昭和2年開 業の「松月」残りわず か3軒に 貴重なコ テ絵消える運命に																「還暦」迎えた久米式 建築 木造耐震設計 ・ドイツで学び工夫	中安 宏規	毎 日	8.6
西洋様式を大工らが 模倣 ユニークな 「虚偽建築」台東区 教委が報告書を作る 景観の魅力見直し へ「まちづくり」に生 かしたい																花街を歩み69年「松 月」取り壊し 荒川 区の尾久三業地 残 る黒塀、3軒だけ	本橋 由紀	毎日夕刊	5.9
「江戸」をのみ込む相 続税の大波 駒込・ 木戸孝允ゆかりの旗 本屋敷「保存」に奔 走したが、来年マン ション建設																同潤会アパートの経 験 70年経ても残る その「住まう心」	森 まゆみ	〃	10.14
三井八郎右衛門邸移 築・復元で公開 旧 財閥家の“栄華”再び 書院造にじゅうた ん敷きの和洋折衷																三島由紀夫の原点移 築保存を 作家猪瀬 直樹さんら呼びかけ 「仮面の告白」執筆 渋谷・松涛の旧宅	野倉 恵	〃	11.25
“外国映画の玄関”か ら文化発信 川喜多 夫妻旧邸宅寄贈受け 鎌倉市計画 4年後 めどに「記念館」に衣 替えへ																70年ぶり植民地時代 の象徴消える 旧朝 鮮総督府取り壊し完 了 李氏の正宮・景 福宮見えた		〃	11.26
日本支配のシンボル 姿消す 旧朝鮮総督 府庁舎を解体	武田 安弘	〃	11.14													太宰治の生家 斜陽 館 旅館45年…今日 歴史に幕 地元・金 木町が買収、資料館 に		読 売	4.7
“東洋一のモダン校 舎”来年3月で引退 1934年建築の新宿 区立花園小学校																うえの再生紀5 選 択の時…何を残す 貴重な建築の宝庫息 づく自然と歴史		読 売 (都民版)	4.27
さよなら丸ビル 最 後の年の瀬	吉岡 逸夫	〃	12.29													三井総本家亭を復元 江戸東京たてもの 園 豪華な和洋折衷 建築 シャンデリア 、茶室、日本画…		〃	9.19
美しい景観残そう 都民会議1年間の活 動方針協議 『谷中 学校』が受賞 『市民 レベルの活動』が認め られた		東 京(し た ち 版)	11.13													「また姿消す」同潤会 アパート 「鷲谷」も 建て替えへ 周辺と 共同開発 28階建て 高層ビルに		〃	12.24
潤い求めて 被災地 から 昔日の邸宅保 存 「芦屋文化」再生 の礎に		日 経	5.6													人工と自然明快な対 比 鈴木了二「佐々 木プロジェクト」	飯島 洋一	読売夕刊	3.11
横浜・山の手 洋館 保存で街に潤い 「歴史と緑」の彩り 港町の象徴、生きた 姿で	大橋 牧人	〃	7.6													技術と表現の分離今 日もなお 長谷川逸 子「山梨 フルーツ ミュージアム」	〃	〃	4.23
大山崎山荘に文豪の 足跡 漱石や谷崎と の縁 復元にかかわ り発見	中山 禎輝	〃	9.6													九州に「西の正倉院」 ヒノキ2000本16億 円を投入		〃	4.27
独立選んだ4人20代 の感覚表現 建築少 年「大人の論理」に妥 協しない 京都・ 西陣拠点に新しい空 間模索	大橋 牧人	〃	12.14													被災の拝殿鮮やか復 元 生田神社で竣工 祭		〃	6.6
歴史のある家 わが 家に再生(古民家再 生工房)	鈴木 健	日経夕刊	11.9													文化的衝突なく心地 よい 錯覚感 ス ティオープン・ホール 「幕張ベイタウン パティオス11番街」	飯島 洋一	〃	6.18
																播州三木に見た職人 芸 鍛冶のこだわり ここに 日本建築守 る厳しい目	佐江 衆一	〃	〃
																建築トレンドは卵型 自由度大きく解放 的 構造解析技術が 進歩 不透明な時代 映す?		〃	6.25

建築季評 大規模、メカニカル化の勢いの中で人間的設計への試み 藤森照信「タンポボハウス」	鈴木 博之	〃	7.2						近代都市と芸術展—ヨーロッパの近代都市と芸術1870—1996図録(東京都現代美術館)
秀作だが山間の町に異質 栗生明の新作「コア やまくに」	飯島 洋一	〃	8.29						
舞台と客席が対峙 現代な面白さ演出 隈研吾「森舞台 登米町伝統芸能伝承館」	〃	〃	10.1						視覚芸術と都市計画—1870年以前
自然と呼応するデザイン 安藤忠雄「アネックス」	〃	〃	11.5						視覚芸術と都市計画—1870年代
吹き抜け空間の迫力 東京国際フォーラム	〃	〃	12.11						視覚芸術と都市計画—1880年代
海外									視覚芸術と都市計画—1890年代
ニューイングランド地方の住宅		AXIS	60						視覚芸術と都市計画—1900年代
活気づくダブリンのウォーターフロント テンプル・バー・プロジェクト		〃	61						視覚芸術と都市計画—1910年代
カゼンティノ地方のロマネスク彫刻画像 プログラム—ステアの教区教会堂を中心に	尾形希和子	沖繩県立芸術大学 紀要	4						視覚芸術と都市計画—1920年代
パンテオンの日時計	中野美代子	学 鏡	93—1						視覚芸術と都市計画—1930年代
フィデンツァ大聖堂のクリプタ	児嶋 由枝	鹿島美術 研究	13						視覚芸術と都市計画—1940年代
R. グロステストと同時代の建築装飾	高野 禎子	〃	〃						視覚芸術と都市計画—1950年代
風景式庭園草創期の言説—ポーブ・パーリントン伯への書簡詩(1731)における向義性	安西 信一	〃	〃						視覚芸術と都市計画—1960年代
ロンバルディア地方の4世紀より9世紀の建築及び建築装飾・浮き彫り彫刻の調査研究	奈良沢由美	〃	〃						視覚芸術と都市計画—1970年代
居住空間の風土性(その自然環境と社会環境)を読む その二(1994年夏 中欧を回って)	定松 修三	九州産業大学芸術学部 研究報告	27						視覚芸術と都市計画—1980年代
ヨーロッパ中世建築の尺度についての覚書	西田 雅嗣	京都工芸繊維大学工学部 研究報告 人文	44						視覚芸術と都市計画—1990年代
近代都市のイメージ	高階 秀爾	近代都市展—東京・都市と芸術(東京都現代美術館)							新潮社創立百年記念大特集 現地特別取材 香港大百景 グラフ絶景香港1~3
									特集 コラボレイティブ・デザイン 西洋建築史の中のコラボレーション
									特集 コラボレイティブ・デザイン 現代建築とパートナーシップ
									バルテノン神殿の造営目的に関する美術史的実地調査 第一次(1994年度)概報
									シャルトル大聖堂におけるステンド・グラスの配置に関する試論—分節システムと幾何学的構成の観点から—
									ウィーンにおける歴史主義末期のネオバロック建築
									芸術新潮 564
									日高健一郎 建築雑誌 1397
									水田 徹 造形芸術学 1
									木俣 元一 名古屋大学文学部 研究論集 125
									安松みゆき 美 学 184

旧IBMビルの公共 スペース 現代彫刻 配したアトリウムに 模様替え	真田 一貫	美術(月 刊)(サン アート)	245	モデルとしての都市 一ふたつの古典主義 時代を中心に	〃	〃	
霊廟建築としての シュバイヤー大聖堂 一ハイブリッド4世 による改修の建築図 像学的考察	小倉 康之	美術史	140	メトロポリスを生き 延びるユートピア 1870—1935	ジャンニル イ・コーエ ン	〃	
ラギナのヘカテ神殿 フリーズ浮彫の年代 決定	長田 年弘	美術史研 究	34	未来都市の考古学	コッラード ・ガヴィ ネッリ	〃	
溶けゆく建築	浜田 邦裕	美術手帖	726	ルネッサンス期の理 想都市	横手 義洋	〃	
生まれ変わる民主主 義のシンボル ライ ヒスターク	河合 純枝	〃	727	アルベルティの都市 と建築	〃	〃	
建築でよみがえるナ イト・ライフの中心 地	〃	〃	〃	新古典主義者の都市	五十嵐太郎	〃	
博物学的視点で建築 をみると...	浜田 邦裕	〃	732	エコール・デ・ボ ザールと考古学	横手 義洋	〃	
台湾で博物館を楽し む 8 台北と台南 の建築空間	山本 輝雄	文明のク ロスロ ード MU- SEUM KYUS- YU	53	産業都市と社会主義 ユートピア	五十嵐太郎	〃	
青天井下の博物館 ブハラ	森川 哲雄	〃	〃	未来派と機械都市	鶴沢 隆	〃	
サナトリウム・ブル カースドルフ—90年 目の甦生	田境 志保	ホフマン とウィー ン工房展 図録(佐 倉市立美 術館)		ロシア革命と構成主 義	後藤 武	〃	
フランクフルト工芸 美術館(ドイツ、フ ランクフルト市)	リチャード ・マイヤ &パート ナーズ	リチャー ード・マ イヤーと フランク ・ステラ ー展—建 築と接 点 図録 (愛知県 美術館)		国家イデオロギーと コンペ	〃	〃	
ハイ美術館(アメリ カ、ジョージア州ア トランタ市)	〃	〃	〃	線状都市計画	横手 義洋	〃	
ゲティー・センター (アメリカ、カリ フォルニア州ロサン ゼルス市)	〃	〃	〃	ファシズムとEUR (ローマ万博)	鶴沢 隆	〃	
バルセロナ現代美術 館(スペイン、バル セロナ市)	〃	〃	〃	ロシアのペーパー・ アーキテクチャー	後藤 武	〃	
ドレスデン芸術公園	フランク・ ステラ・ス タジオ	〃	〃	コンピュータ・グラ フィックスによる都 市空間シミュレー ション	ゲアハート ・シュミッ ト	〃	
見えない都市の系譜 学(ジェネアロジー) 一序にかえて	鶴沢 隆	未来都市 の考古学 展 図録 (東京都 現代美術 館)		CG制作ドキュメン ト	大泉 和文	〃	
				特集=空中庭園 空 中庭園のためのス ケッチ、若干	岩成 達也	ユリイカ	373
				特集=空中庭園 フ リーメイソンの地下 庭園	三宅 理一	〃	〃
				特集=空中庭園 埋 められた不協和音— キュー庭園をめぐる カンヴァセーション ・ピーシーズ	安西 真一	〃	〃
				特集=空中庭園 王 侯の密やかな愉しみ —ポマルツォの庭園	尾形希和子	〃	〃
				フィラデルフィア松 風荘物語 日米かけ 橋、40年余		朝 日	12,8
				イギリス人...建築へ の見識 伝統と創造 の心地よい共存	連 健夫	朝日夕刊	6,4
				森と湖の国フィンラ ンドの都市づくり 保存と再生 新たな 役割担う様式美	井尻 千男	日 経	11,8
				環境デザインとその 教育に関する基礎的 研究	李 康一	九州産業 大学芸術 学部研究 報告	27

情報社会の建築教育 マサチューセッツ 工科大学	仲 隆介	建築雑誌	1383
ブノンペン王立芸術 大学建築・都市計画 学部	佐藤 康治	"	1397
都市・環境デザイン 研究室創設にあたって	大村 虔一	東北大学 建築学報	35

作家

日本

(ア)

先達 瑛九のこと	齧 嘸	瑛九展 情録 魂の叙詩(宮崎美術 立館)	
齧嘸「Noppo」		芸館だより	120
淀井敏夫、堀内正和、建昌寛造、清水九兵衛、流政之、土谷武、最上壽之、草間彌生、齧嘸一素材とかたちからみた9人の歩み 10 齧嘸とミクストメディア	外館 和子	素材とのかたち 対話展 フリー美術館'96 立館(茨城県近代美術館)	
絵は風景 ゴリラをみる人 相笠昌義	芥川 喜好	読 売	10.13
素顔の IDEAL C-OPY		美術家の展覧会 「多面化する表現」と「図録(国際美術館)	
ジャンル超えたアート仕掛ける一アイデア アル・コピ	白木 緑	日 経	8.11
アトリエ拝見その6 一相原求一朗氏	(熱 田)	絵	388
処を得た相原(求一朗)さんの胸中山水	瀧 悌三	絵	392
巻頭特集 風景画の見かた—自然と対話する画家たち— 人気作家エッセイ集「風景」について思うこと モチーフとの出会い	相原求一朗	美術の窓	153
文学と美術のあいだ(3)—ゲーテの素描と齧光の「眼のある風景」のことなど	新関 公子	絵	393

懐想・画家たちの人間模様18 破門した師の江漢も驚服 田善の快作江戸風俗画(亜欧堂田善)	鈴木 仁一	アートマインド	85
亜欧堂田善「江戸城外風景図」「百物館名物記」5	木下 直之	淡 交	608
近代日本美術家列伝 55 青木繁	山梨 俊夫	美術手帖	726
§ 第50回女流画家協会 会展によせて §	青木 純子	女流画家協会展50回図録(東京都美術館)	
§ 作家の言葉 §	青木 野枝	富山国際現代美術展6回図録(富山県立近代美術館)	
青山熊治作『九十九里』の下絵について	岸野 裕人	姫路市立美術館だより	50
特集 書を贈りたい!—西川寧から青山杉雨への贈り物	堀 久夫	墨	118
特集 わたくしの書室 青山杉雨—新春には虚谷の大幅を飾って楽しまれた	成瀬 映山	"	120
「こんな絵をかいてちゃいけません。まだまだ勉強不足です」青山義雄さん	(達)	読売夕刊	10.19
<われわれの当面する課題について> 更なる芽を求めて	赤木 幸輝	自由美術展'96図録(東京都美術館)	
ワイルドな赤坂慎一郎	杉浦 邦恵	美術手帖	729
創刊555号記念大特集 日本の神々などのようなときに「神」を感じますか?—神教は諸悪の根源	赤瀬川原平	芸術新潮	555
大特集 掌の美 愛しきものへのラヴレター 潰瘍と木彫	"	"	559
新潮社創立百年記念大特集 現地特別取材 香港大百景、赤瀬川原平の香港発熱不安旅	"	"	564
新潮社創立百年記念大特集 現地特別取材 香港大百景 香港路上ドーピング調査	"	"	"
新潮社創立百年記念大特集 現地特別取材 香港大百景 角のアワ香港に飛ぶ!	赤瀬川原平 矢作 俊彦 羽仁 未央	"	"

平成8年定期刊行物所載文献(作ア)

トマソンさんの家 (赤瀬川原平)	(C)	C.A.R.	22				
私の夢の美術館 富士山麓の樹海の洞穴に	赤瀬川原平	産 経	2.25				
だらしないテレビと国民、「これからはもうみんな…」の魔力	〃	毎日夕刊	8.28				
生活のツボ 手袋(2)	〃	読売夕刊	1.5				
生活のツボ11 見つめられる	〃	〃	1.19				
巻頭特集 顔の見かた 顔を描く 赤塚不二夫 不滅のキャラクターを次々と生んだ赤塚マンガ。ギャクマンガの巨匠、人気の秘密を語る。	編集部 インタビュー	美術の窓	156				
相州伝への想い、平成八年新作刀展覧会の概要 授賞式・講評・受賞作品・受賞のことは	赤松 伸咲	刀剣美術	475				
父・母を語る 心に残るこの一点 2 ―「良子像」(赤松麟作)	赤松 良子	新美術新聞	782				
赤松麟作をめぐる大阪洋画壇での位置と“中央”への距離	西田 桐子	視 る	353				
生涯現役 工業デザイナー秋岡芳夫さん 使う側からの商品開発に専念	宮智林 立映二	泉 読 売	1.14				
特集 印刷をきわめる実録 イラスト表現のポスターを応募する(秋田寛) 印刷担当者とのコミュニケーション術		デザインの現場	83				
特集 ザ・美術団体 創立会員談話 美術家にとって団体とは?	秋野 不矩	美術(月刊)(サンアート)	255				
人間往来 米寿迎え 秋野イズム 健在(秋野不矩)		朝日夕刊	9.19				
絵は風景「雨期」秋野不矩	芥川 喜好	読 売	6.23				
動き始めた洪澤龍彦画廊 一各々の作家の想いが結晶	秋山祐徳太子 高橋 陸郎 米倉 守	絵	388				
私の夢の美術館 酒場や焼鳥屋もある開放区	秋山祐徳太子	産 経	3.31				
既成の形は脱皮、土自ら語らせる―秋山陽	宝玉 正彦	日 経	4.28				
ニューヨーク発キャロル・ラトフィが検証する「アメリカのアジア人アーティストたち」―上松裕司							アトリエ インター ナショナル 830
浅井忠と漆工芸	クリストフ・マルケ	鹿島美術研究	13				
文化勲章 九谷全体のため大きな光栄―浅蔵五十吉さん		新美術新聞	783				
浅蔵五十吉 文化勲章受章者		日 展 ニュース	83				
仕事の現場 朝倉響子	(石)荒牧万佐行 写真	毎日夕刊	10.18				
近代日本美術家列伝 62 朝倉文夫	水沢 勉	美術手帖	729				
対談 絵を描く心	梅原 猛浩 麻田 浩	美術京都	17				
特集・個と集団	浅野 修	主体美術	1996				
弁護士会館に大作寄贈 浅野紫露さん		新美術新聞	757				
ボタニカルアーティスト、浅野ひさよさん―植物のいのちを写し取る	保井 隆之	読 売 (都民版)	1.29				
岡本唐貴、浅野孟府と神戸における大正期新興美術運動	平井 章一	兵庫県立 近代美術 館研究紀 要	5				
絵と暮らす日々という仕事	東 俊郎	浅野弥衛 展(三重 立美術館)					
撫でなでひっかきくちづけを―浅野弥衛の作品をめぐる覚書	石崎 勝基	〃	〃				
売り込み君22	浅野りえ子	デザインの現場	83				
追悼 さよなら、ソール・パス 偉大なる目玉親父	浅葉 克己	〃	〃				
浅見松江筆「女三の宮」表紙解説	川口 直宜	刀剣美術	471				
巻頭特集 版と紙の饗宴 4	味岡伸太郎	版画芸術	93				
OPINION MIX 震災の現場から 一九九六・八・三〇	東 孝光	デザインの現場	84				
人間をみつめて 鶴岡政男、松本竣介、麻生三郎展を素描として 図録を中心として (群馬県立近代美術館)	徳江 庸行						

巻頭特集 顔の見かた 顔を作る 与勇輝 「人形には、僕の感情が詰まっているんです」	編集部 インタビュー	美術の窓	156	荒井寛方・錦木清方 特別展に寄せて	中村 溪男	〃	
仕事の現場 与勇輝	(紀)	毎日夕刊	5.10	リキテックス・アーティスト・インタビュー18 荒井良二 ダンスのように軽いステップで	中島 優子	デザイン の現場	80
安達時彦展に寄せて	瀧 悌三	安達時彦展 図録 (ギャラリーE-MORI)		大特集 さよなら、岡本太郎 私 の岡本太郎 思想家・ 太郎 かあさん	荒川 修作	芸術新潮	557
「大切な人に贈る小さな小さな家」	足立 真	AXIS	60	特別企画 荒川修作 +マドリン・ギンズ 都市と身体	荒川 修作 藤井 博巳	現代思想	24-9
メディアの捉えた跡見花蹊	山崎 一穎	にいくら	1	特別企画 荒川修作 +マドリン・ギンズ 『建築一宿命反転の場』を読む	塚原 史 塚本 明子 高橋 世織	〃	〃
記念講演会要旨 日本近代の女流画家と跡見花蹊	青木 茂	〃	〃	特別企画 荒川修作 +マドリン・ギンズ 不確定的知覚による 間知覚的視点荒川 修作+マドリン・ギ ンズ『養老天命反転 地』の解剖学	中村 英樹	〃	〃
木版画家・阿部貞夫 一初期版画集を手が かりとして一作品に 投影された作者の内 面世界	光岡 幸治	侶美以	57	特別企画 荒川修作 +マドリン・ギンズ 忘視・忘身体	中村 一美	〃	〃
§作家の言葉§	安部 直人	福島の 新世代'96 展 図録 (福島立美術館)		特別企画 荒川修作 +マドリン・ギンズ 不死の人	小西 信之	〃	〃
“居住空間”に呼応 する“現代美術” 環境芸術家、阿部富 士子さん	赤岡 東	産 経	6.24	特別企画 荒川修作 +マドリン・ギンズ 泡からサイコ・ス ケープを生起させる 装置	研生 英午	〃	〃
スペインの光のなか で自在な制作 阿部 幸洋	編集部・渡 辺	美術(月刊) (サンアート)	244	特別企画 荒川修作 +マドリン・ギンズ 反転された「芸術 終焉」の地	清水 哲朗	〃	〃
受賞のよろこびと決 意 平成八年新作刀 展覧会の概要 授賞 式・講評・受賞作品 ・受賞のことば	天田 昭次 (誠一)	刀剣美術	475	総特集=荒川修作+ マドリン・ギンズ 會域/ロクス・ソル ス未知の荒川/ギ ンズに	合田 正人	〃	24-10
天野裕夫<背美鯨> 表紙解説	田中 善明	ひるうい んど	51	総特集=荒川修作+ マドリン・ギンズ 建築とは何か	荒川 修作 丸山 洋志 聞き手	〃	〃
句読点 雨宮敬子 易きにつくなと父の 声	(は) タッド若松 撮影	東京夕刊	6.25	総特集=荒川修作+ マドリン・ギンズ モナドを造る?	中村雄二郎	〃	〃
§作家の言葉§	鮎屋 法水	LIFE / ART / TECH- NOLO- GY一 生物 / ち / ART展 図録 (O美 術館)		総特集=荒川修作+ マドリン・ギンズ →EN GIRO TOR- TE SOL CICLOS ET ROTOR IGNE ←(我ハ太陽ナリ、 火ニテ廻ル輪ナリ、 振レバスナハチ諸天 球回転ス)	石黒 ひで	〃	〃
<アンケート>	〃	〃		ラドヴァン ・イヴシ ック&ア ニール ・プラ ン 野村喜和夫 訳	〃	〃	〃
寛方先生と雅叙園の 思い出 関口正男先 生に聞く	ミュージア ム氏家文責	華そして 粹~寛方 と清方~ 展 図録 (ミュージアム氏 家)					

総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 『意味のメカニクス』 ム、その哲学的布 置、芸術、可塑性、 変容	フレッド・ L・ラッ シユ 塚本 明子 訳	野村喜和夫	〃	〃
総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 宿命反転のサイトと 非サイト	ニコラス・ ピヨ ^ン ビー ノ 浅野 敏夫 訳	榎村 晴香	〃	〃
総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ ダイアグラムとモデ ルの速度荒川+マド リン・ギンズの作品 群の展開と連関の チャートに寄せて	高橋 幸次	メアリー・ アン・コー ズ 浅野 敏夫	〃	〃
総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ A+Gプロジェクト ・概念地図 新しい 文明をつくるため に	工藤 順一	内田 隆三	〃	〃
総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ ノットを救う	マーク・C ・テイラー 浅野 敏夫 訳	建畠 哲	〃	〃
総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 空への眼差しと形の 呪縛 荒川/ギンズ 批判	雨宮 民雄	長尾 力	〃	〃
総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 飽くことなき構築	チャールズ ・パーンス ティン 渡辺 桃子 訳	アラカワ+ マドリ ^ン ・ ギンズ 塚本 明子 訳	〃	〃
総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 本来的な空間へ	ブライアン ・オショ ー ネン 加治屋健司 訳	ベルンハル ト・ヴァン デンフェル ス	〃	〃
総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 批判的意志と倫理	エドワード ・ケラー 守永 直幹 訳	マドリ ^ン ・ ギンズ 渡辺 桃子 訳・解題	〃	〃
総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 建築ディスクールと しての養老天命反転 地	丸山 洋志 家村佳代子 今村 有策	マドリ ^ン ・ ギンズ 塚本 明子 訳	〃	〃
総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 出来事/建築	家村佳代子 今村 有策	小島 秀俊	〃	〃
総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 現一場の都市構築学	ヨハネス・ スル 暮沢 剛巳 訳	渡辺 敬一	〃	〃
総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 鳥のように、ハチの ように	ダグマー・ ブフヴァ ルト 下野 正俊 訳	総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ ゆれる領土『養老 天命反転地』を記述 することは可能か?	芦田みゆき	〃
		総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 原母頌 荒川修作と ともにあること		
		総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ アトリエの毛沢東 その精神病的=分析 哲学的表象システム と上下反転運動の論 理的解明		
		総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 意味の天才性につい て 思考にかかわる 一〇のサイト		
		総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 場所とは何か 荒川 修作と<肉体>の建 築術		
		総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 体操と建築「天命 反転地」の余白に		
		総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 養老の「青み」でA- RAKAWAを食べ ると...		
		総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 反転可能な運命への 極致的なアプローチ が定まったとたん に、ゲームははじま り、かつ終わってい る、あるいは非ゲー ムになりかわること について		
		総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ バランスを失って		
		総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ マドリ ^ン ・ギンズ ヘレン・ケラー、あ るいは荒川		
		総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 問いをなすプロセス		
		総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 『養老天命反転地』取 材ノート		
		総特集=荒川修作+ マドリ ^ン ・ギンズ 『養老天命反転地』取 材ノート		

総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ ユニヴァーサル・パークとしての「養老天命反転地」	馬場 駿吉	〃	〃	総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ 「何もの」も得ず、「志し」を持たず	郡司ベギオ	〃	〃
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ 身体が語る、身体を語る	荒川 修作 佐々木 正人 福原 哲郎	〃	〃	総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ 同時であることへの誘惑	松野孝一郎	〃	〃
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ 身体への求愛と、デザイン空間の発生	荒川 修作 福原 哲郎	〃	〃	総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ 知覚、人格、科学、天命、そして反転	大和 雅之	〃	〃
荒川修作+マドリン・ギンズ『奈義の龍安寺・心』にそって	福原 哲郎	〃	〃	荒川修作の《反転地》を反転させてみる	高田 学 C.A.R.	21	
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ 「四肢に酸性の灼けつく感覚」	澤野 雅樹	〃	〃	日本芸術大賞に荒川修作氏 岐阜の公園「養老天命反転地」で	新美術新聞	769	
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ 映画の時代“WHY-NOT”、“FOR EX-AMPLE”を見る	大塚 勉	〃	〃	荒川修作+マドリン・ギンズ 「養老天命反転地」の傾きの理由	松葉 一清	美術手帖	718
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ 身体・リミックス・共同体 荒川修作のインファンス	陣野 俊史	〃	〃	傾く壁、頭上に家具 岐阜・養老町「養老天命反転地」(荒川修作)	(三) 朝日夕刊	1.4	
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ ゼロのポレミック	岡崎乾二郎	〃	〃	「暮のない都市」へ青写真、荒川修作氏に聞く一環境と生きる「文明」提案 新たな死生観掲げ、米で展示	田中 三蔵	〃	4.22
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ 『養老天命反転地』取材ノート2	松本 伸夫	〃	〃	土曜エッセー 命ずる庭園(荒川修作)	野田 正彰	産 経	7.13
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ 宿命の反転 死なないために	中村 敬治	〃	〃	養老天命反転地(荒川修作)一傘んだ公園で「私」発見		読 売	1.31
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ 荒川というブランクについて	本江 邦夫	〃	〃	第30回女流陶芸公募展で最高の文部大臣奨励賞を受賞した 荒木薫さん	中村美奈子	毎 日	12.5
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ アヴァンギャルドと共同体 「天命反転」の逆転	塚原 史	〃	〃	コスモスに魅せられコスモス一筋の画家 荒木幸史さん	吉井 敏晃	〃	10.11
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ セルジュ・ガヴロンスキー 塚原 史 訳	セルジュ・ガヴロンス キー 塚原 史 訳	〃	〃	荒木高子の芸術	乾 山明	荒木高子 展 いき さまを焼 く 図録 (西宮市 大谷記念 美術館)	
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ 正し合う両側・荒川/ギンズ	塚原 史	〃	〃	荒木高子一人と造形一	枝松 亜子	〃	
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ 矢印作家アラカワは何故ニューヨークズ=と不遇なのか	磯崎 新	〃	〃	荒木経惟 写真は量が勝負だと思ってるからね。その中に重いのがあったり軽いのがあったりして、メロディになる。	瀧口 範子 インタ ビュー	AXIS	62
総特集=荒川修作+マドリン・ギンズ Einstein or ARA-KAWA	荒川 修作 松野孝一郎 郡司ベギオ 中島 敏夫	〃	〃	巻頭特集 顔の見かた 顔を撮る 荒木経惟 「顔は裸のキャリアが違うんだよ」	編 集 部 インタ ビュー	美術の窓	156

荒木経惟の写真世界 1-「べるそな」 「顔」から始まった 東京	高橋 直裕	百 科 (月刊)	399	総特集=荒木経惟 撮影は殺人である 荒木経惟 インタ ビュー	ローラント ・ハーゲン ベルク ヴァルター ・フォーグ ル 福島 博彦	〃	〃
荒木経惟の写真世界 2-妻の遺影	〃	〃	400				
荒木経惟の写真世界 3-ニューヨーク初 体験	〃	〃	401	総特集=荒木経惟 「今」の静止状態ある いは弁証法的形象— アジエのバリ、荒木 の東京	高橋 順一	〃	〃
荒木経惟の写真世界 4-「色少女」	〃	〃	402				
荒木経惟の写真世界 5-「浅草通い」	〃	〃	403	総特集=荒木経惟 現実写真を模倣す 二つの沖縄(写 真)	荒木 経惟 伊藤 俊治 対話	〃	〃
荒木経惟の写真世界 6-「神戸・英国屋 マダム」	〃	〃	404				
荒木経惟の写真世界 7-日記のレトリッ ク	〃	〃	405	総特集=荒木経惟 達魔が時の写像—荒 木の体臭と目のアニ ミズム	川村 邦光	〃	〃
荒木経惟の写真世界 8-時空の旅	〃	〃	406	総特集=荒木経惟 指想家の思想—荒木 経惟論	佐々木幹郎	〃	〃
荒木経惟の写真世界 9-永遠のテーマ	〃	〃	407				
荒木経惟の写真世界 10-愛の廃墟	〃	〃	408	総特集=荒木経惟 霊猫アラキー	鈴村 和成	〃	〃
荒木経惟の写真世界 11-メビウスの輪	〃	〃	409	総特集=荒木経惟 荒木を待ちながら 【写真家アンケート】		〃	〃
荒木経惟の写真世界 12-伝説の「事件」	〃	〃	410		ガブリエ ル・ボーレ 岡元麻理恵 訳	〃	〃
総特集=荒木経惟 荒木経惟、自作を語 る	八角 聡仁 聞き手	ユリイカ	370	総特集=荒木経惟 謎の男/アラキー		〃	〃
総特集=荒木経惟 いちばん前の写真	荒川 洋治	〃	〃	総特集=荒木経惟 一步踏み込んで半歩 下がる一箕輪〜吉原 〜浅草フローティン グ	荒木 経惟 吉増 剛造 対話	〃	〃
総特集=荒木経惟 アラキー殺害計画 の真相	森村 泰昌	〃	〃				
総特集=荒木経惟 哀しむ目にとって風 景とはなにか	関川 夏央	〃	〃	総特集=荒木経惟 「アラキズム」の 神話	桑原甲子雄	〃	〃
総特集=荒木経惟 アラキの緊縛	エレヌス・ アズラ 陣野 俊史	〃	〃	総特集=荒木経惟 撮影現場密着 隣情 荒景 ドキュメント ・シナリオ		〃	〃
総特集=荒木経惟 死小説	小谷 真理	〃	〃	総特集=荒木経惟 トーキー・クロニ クル—荒木経惟と東 京の二〇年	高橋 直裕	〃	〃
総特集=荒木経惟 内なるエレジー	稲葉 真弓	〃	〃				
総特集=荒木経惟 切なくて切なくて	斎藤 綾子	〃	〃	総特集=荒木経惟 写真は情事である 荒木経惟インタヴ ュー	ナン・ゴー ルディン インタヴ ュー	〃	〃
総特集=荒木経惟 独身ダッチョ・アラ キの九相機械—フォ トグラフの出自をめ ぐって	高山 宏	〃	〃	総特集=荒木経惟 Year of ARAKI	一色與志子	〃	〃
総特集=荒木経惟 ＜往生＞の物語	八角 聡仁	〃	〃	総特集=荒木経惟 1981年の荒木経惟	永江 朗	〃	〃
総特集=荒木経惟 東京借景 荒木経惟 と桑原甲子雄	野村 梓	〃	〃	総特集=荒木経惟 効果的な表現法	木村伊兵衛	〃	〃
総特集=荒木経惟 景色と形式2 「写 真」の写真	樫木 野衣	〃	〃	私空間 玲央名チャ ンと	荒木 経惟 朝日夕刊	9.12	
				「主義と利益はしば しば衝突する」荒瀬 景敏	高田美規雄	天 花	66

縁台アートで人に輪 広げ ビール片手に 夕涼み(荒野真司)	本橋 由紀	毎 日	8.24	世界文化賞 安藤忠 雄氏らに		新美術新 聞	773
フランス・アートス ポット ナントMP アーティストリック なお祭り騒ぎ	K.ARIG- A	ギ ャ ラ リ ー (月 刊)	137	20世紀の古典 ル・ コルビュゼ 近代 建築発展の原動力	安藤 忠雄	朝 日	8.30
近代日本美術家列伝 58 有島生馬	山梨 俊夫	美術手帖	727	私の夢の美術館 安 藤忠雄(上) 呼吸し 増殖していく参加型	"	産 経	1.28
今月の名ショット7 放課後の立たされ んぼ悪ガキはどっ ち?	安斎 重男 写真・文	"	718	私の夢の美術館 安 藤忠雄(下) 21世紀 の八十八カ所巡り	"	"	2.4
今月の名ショット8 お立ちの際は頭上 にご注意下さい。	"	"	720	世界文化賞 自然と 調和した建築「荣誉 は被災地の植樹に」 安藤氏(安藤忠雄)	河村 直哉	"	7.5
今月の名ショット9 ポジティブな明日 を願えばこそ、で す。一ねんのため。	"	"	721	第8回世界文化賞 建築部門 安藤忠雄 氏	飯島 洋一	"	10.20
今月の名ショット10 戦火を遠く離れ て、何をか想はん…	"	"	722	第8回世界文化賞受 賞記念講演会 安藤 忠雄氏建築を語る 自然の調和にこだわ り コンクリートで 伝統表現	"	"	11.4
今月の名ショット11 サラリーマン前線 異常あり!?	"	"	724	世界文化賞受賞の建 築家 安藤忠雄さん 2 廃墟の中で感じ た無力	安藤 忠雄 河村 直哉 聞き手	産経夕刊	8.7
今月の名ショット12 彼らが窓をふさぐ 理由。	"	"	726	世界文化賞受賞の建 築家 安藤忠雄さん 4 住宅を「宝石」の ように	"	"	8.9
今月の名ショット13 アートのある暮ら しっていいもんで す、ハイ。	"	"	727	世界文化賞受賞の建 築家 安藤忠雄さん 5 都市の中に「希 望の場所」	"	"	8.13
今月の名ショット14 勝負の神様ホトケ サマ 結果ナシ、で もいいんじゃない?	"	"	729	世界文化賞受賞の建 築家 安藤忠雄さん 6 自然をテーマに 光や風を追求	"	"	8.14
今月の名ショット15 「昭和四十年会」大 集合の巻。して、そ の実体は?	"	"	731	世界文化賞受賞の建 築家 安藤忠雄さん 7 「責任持って自 由に」夢追う	"	"	8.16
今月の名ショット16 真夏の炎天下のカ ゲロウ?突如現れた 天女の舞	"	"	732	フォーカス 建築家 安藤忠雄氏 緑を 共有財産に被災地再 生	対馬 美雪	日経夕刊	8.19
今月の名ショット17 なかよくなりた い。でも、ちょっと コワイ。	"	"	733	仕事の現場 安藤忠 雄	(石) 荒牧万佐行 写真	毎日夕刊	11.1
今月の名ショット18 ミルク道を極め る、の巻。	"	"	734	第一回国際教会建築 賞を受賞した安藤忠 雄さん	橋本 栄二	読 売	10.13
§作家の言葉§	安藤 栄作	福島の'96 録 世代 図(福島県 立美術)		安野光雅のワンダー ランド	井上究一郎	学 鏡	93-2
個展の声 花を描く こと	安藤 公一	絵	393	大特集 司馬遼太郎 が愛した「風景」た いやきの夜	安野 光雅	芸術新潮	560
OPINIONS 安藤 忠雄	関 康子 インタ ビュー・文	AXIS	64	安野光雅氏「絵本 平家物語」		日 経	5.12

(イ)

<近代大阪の日本画家たち4> 菅橋彦と生田花朝女一浪速風俗画の系譜一

前田 明範 茶道雑誌 60-7

縄文技法を復活させた土偶創作家 猪風来さん 沢田 猛 毎日 10.24

作家の言葉

池内 晶子

富山国際現代美術展6回図録(富山県立近代美術館)

戦後書壇振興に尽力 飯島春敬氏を偲ぶ 仲田 幹一 扇舟雲 新美術新聞 759

対談 池内浪重 水上杏平

芸術公論 74

画家に出来る修復(4) 飯田 達夫 連ニユース 365

オブジェ「箱の中へ...」4一あとのまつりの為に一

池田 龍雄

池田龍雄展 Object「箱の中へ...」4一あとのまつりの為に一図録(ギャルリイマニテ東京)

萩原守衛の人体デッサン 〃 疎山美術館報 17

岡本太郎氏を悼む

〃

新美術新聞 756

飯田操朗について 平瀬 礼太 飯田操朗と前衛の時代展図録(姫路市立美術館)

出品作家コメント対話

池田 雅文

レクイエム一椀康二と33人の作家一展図録(斎藤記念現代美術館)

この著者と話したい 97 飯田善國(『彫刻の思想』) 美術(月刊)(サンアート) 244

自分と出合う「自然」風景「個人」の発見 飯田 善國 朝日夕刊 6.18

泥棒美術史講座1 池田満寿夫VSピカソ

佐々木 豊

アートトップ 155

カミーユ・クロードル ワルツ(第2ヴァージョン) 〃 東京夕刊 6.8

学校で勉強したこと4 飯野和好(セツ・モードセミナー) 美術手帖 5月号増刊アートスクールガイド 725

展覧会に寄せて

池田満寿夫

池田満寿夫展一黒田コレクションを中心に、初期から最新作まで一図録(長野県信濃美術館)

飯村隆彦 東京都杉並区高円寺いずみ荘 西川 昌弘 新美術新聞 762

池田満寿夫に寄せて 私と池田版画

三木 多聞

〃

黒田惣一郎

〃

特集 美術賞とその受賞作品'95 受賞作家インタビュー 家出隆浩(伝統工芸展) 美術(月刊)(サンアート) 244

秋山庄太郎の「現代日本の作家たち」五百住乙人 秋山庄太郎 〃 254

魯山人私見

池田満寿夫

北大路魯山人展 美食もて芸術図録(東京都庭園美術館)

メモランダム(白と黒の間) 五十嵐彰雄 富山国際現代美術展6回図録(富山県立近代美術館)

浜田知明と私

〃

浜田知明の全容展図録(小田急美術館)

特集 倉俣史朗 座談会 沖健次+近藤康夫+榎本文夫+五十嵐久枝「クラマタスクール」と、その卒業生たち。 倉西 幹雄 AXIS 62

全日本アートサロン 絵画大賞展 審査評

〃

産 経 1.20

“眠らない”世界の 名作 シーサイド 「彫刻の森」街つくる 芸術空間 21世紀 へつなく主張を(池 田満寿夫)			〃	9.17	近代日本美術家列伝 75 石井鶴三	堀 元彰	美術手帖	733
クールベ「満潮」	池田満寿夫	東京夕刊		10.26	対談 石井伸枝 水 上杏平		芸術公論	71
パリ 近代のボエ ジーオールセー美術 館展から1 ゴッホ 「アルルの女(ジヌー 夫人)」色の対比、 強烈ななかに憂愁	〃	日 経		1.13	近代日本美術家列伝 60 石井柏亭		美術手帖	727
フルナン・レジェ 歩く花	〃	日経夕刊		10.17	一追悼一石井英夫君 のこと	横山 敏明	美術文化 復刊	17
この三冊 最近の浮 世絵春画集	池田満寿夫 和田 誠 絵	毎 日		7.22	人形作家 石井美千 子さん	佐藤 清孝	朝 日	10.16
特集「現地特別取材」 生きている中世 スペイン巡礼の旅 スペイン巡礼の道に 憑かれて十余年(池 田宗弘)	(編)	芸術新潮		562	表紙の言葉 森の聖 域	石垣 定哉	絵	389
特集「現地特別取材」 生きている中世 スペイン巡礼の旅 10年ぶりの巡礼路1 旅の始まりは大雨 だった	池田 宗弘	〃	〃	〃	巻頭特集 風景画の 見かた一自然と対話 する画家たち一 人 気作家 エッセイ集 『風景』について思う こと 風景画はノス タルジーの産物	〃	美術の窓	153
特集「現地特別取材」 生きている中世 スペイン巡礼の旅 10年ぶりの巡礼路2 変わった風景、変 わらぬ人々	〃	〃	〃	〃	創刊555号記念大特 集 日本の神々ど のようなきに「神」 を感じますか? 傾 く文字の国の小さな 神々	石川 九楊	芸術新潮	555
特集「現地特別取材」 生きている中世 スペイン巡礼の旅 10年ぶりの巡礼路3 相棒のロバに死な れた男	〃	〃	〃	〃	摩崖に立ち向かうか のごとく	〃	芸術新潮	559
池田良二 銅版画集 『不在の気配』	滝沢 恭司	版画芸術		94	書史の変奏4 言葉 と構成「寸松庵色紙」 (下)	〃	墨	118
洋画家近藤嘉男の軌 跡	伊佐 昇	近藤嘉男 の世界展 図録(前 橋文学 館)			特集 調和体の種々 相 読みやすい書と は何か一書の現在の 課題をめぐって	〃	〃	119
きずな 阪神大震災 の残像9 石井一男 頼りあえる関係 ふれ合いに開かれた 目		日 経		1.11	書史の変奏5 枅色 紙	〃	〃	〃
制作ノート <面白 い>をつくる	石井 克人	武蔵野美 術		99	書史の変奏6 藤原 俊成「日野切千載集」	〃	〃	120
特集・個と集団 自 己の危うさ	石井 公彦	主体美術		1996	書史の変奏7 藤原 定家「近代秀歌」	〃	〃	121
石井茂雄版画後刷り 展小感	石井 陽一	石井茂雄 展 図録 (アール ギャラリー 一環)			書史の変奏8 近衛 信尹「六義屏風」	〃	〃	123
私の夢の美術館 “仮 想現実”の次は…	石井勢津子	産 経		3.3	「も」の深み	〃	日経夕刊	12.18
					特集 ラブリー・コ ンピュータ 第4部 デザイナーのための インターネット コ ラム4 体験! HT- ML エディタ 石川 浩二 チャレンジ1 COAIC Web De- signer		デザインの 現場	85
					特集・個と集団 主 体と共に三十二年	石川 惇一	主体美術	1996
					特集・個と集団 「絵と信仰」	石川 義雄	〃	〃
					石川ヨシ子さんの “花”の天井画一姫 路市・亀山本徳寺に 奉納		産 経	5.5

石黒宗麿の陶芸	長谷部満彦	石黒宗麿 一陶芸の エスプリ 展 図 録 (サン トリー 美術 館)	石元泰博と「近代写 真(モダン・フォト グラフィ)」	飯沢耕太郎	現代の眼	495
石黒先生と私	清水 卯一	〃	石元泰博 東京・北 品川ソニー本社前	芳賀 敏博	新美術新 聞	765
宗麿が残したデッサ ン、下絵などについ て	小野 公久	〃	文化功労者 不思議 な糸のように一石元 泰博さん	〃	〃	783
三度目の石黒宗麿展 について	〃	陶 説	伊万里の牛歩く	石山 修武	芸術新潮	563
表紙・口絵単色図版 解説「人間国宝 石黒宗麿」展図録よ り	清水 卯一	〃	受賞者インタビュー 第14回伊豆美術祭 絵画公募展一石山直 司	〃	ギャラ リー(月 刊)	133
宗麿(石黒宗麿)	廣崎 裕哉	〃	巻頭特集 THE W- ORLD VISION 世 紀末銅版画像巡礼 石山直司	石山 直司	版画芸術	94
小山さんの手紙(石 黒宗麿)	中野 多里	〃	特集・個と集団 私 と主体美術	泉 幹夫	主体美術	1996
石黒宗麿の八瀬開窯 と長谷川忠夫氏につ いて	小野 公久	〃	特集・個と集団 酒 と仲間	伊勢 正史	〃	〃
あの夏のヒーロー 2 手塚治虫	石坂 啓	毎日夕刊	バラエティー徳利図 鑑(6)(伊勢崎満)	浦野 恵司	陶 説	520
山崎富治さんにきく 清爽にして卓抜な描 写力の人・石田武さ ん	篠原 弘 文責	ア ー ト ト ッ プ	七角形のデザインー 4	磯貝 恵三	筑波大学 芸術年報	1995
石田武さんにきく 簡潔にして、おさ えた存在感をめざす	〃	〃	特集 この人が語 る。「時代と創造」 磯崎新 デザインそ のものより、デザイ ンの姿勢みたいなの の。	瀧口 範子 インタ ビュー	AXIS	60
お久しぶりです 剪 画 “マルチな二人を 縁結び” 画家・石 田良介さんと歌人・ 福島泰樹さん 生き 方共感自分を表現	高橋 茂樹	毎 日	総特集＝荒川修作+ マドリン・ギンズ 矢印作家アラカワは 何故 ニューヨーク でと不遇なのか	磯崎 新	現代思想	24-10
対談 石橋清峰 水 上杏平	〃	芸術公論	東京 ROMAN 主義 51 磯崎新「東京そ の形と心」の恵比寿 ガーデンプレイス	横尾 忠則	朝 日	9.8
石原友明 恋するま なざし	編 集 部 インタ ビュー	美術手帖	かたちへの呪力回復は かる、「日本」を愛し た岡本太郎氏	磯崎 新	朝日夕刊	1.9
石原友明 幻・現実 の二世界 想像力で 一つに	白木 緑	日経夕刊	アンディ・ウォーホ ル展 解放区に似た 気分 既成美術に毒 仕込む	〃	〃	4.16
特集 イラスト新旋 風 第1部 BRAND- NEW EXCEL LENCE 対談 ルーベン・トレド× 伊島薫 直感とリン クして生むルーベン ・トレドのファッ ションドローイング	〃	デザイン の現場	所蔵品紹介「花鳥図 屏風」磯部草丘	(中島)	群馬の森 美術館 ニユース	86
生きた世界への眼差 し(石元泰博)	増田 玲	石元泰博 展一現在 の記憶図 録(東京 国立近代 美術館フ ィルムセ ィンター)	私の夢の美術館 CD -ROMで“地球” を観賞	磯辺 行久	産 経	7.21
			連載エッセイ わた しのかたち 一羽の 鳥の形	磯見 輝夫	版画芸術	94
			ガリ版で“芸術”し た男(板愈良)	西野 嘉章	芸術新潮	560
			作家と記録 板谷波 山	小針 代助	ア ー ト ト ッ プ	150
			波山陶芸の魅力(板 谷波山)	中ノ堂一信	石川県立 美術館だ より	147

近代陶芸における西洋陶磁の影響—板谷波山の作陶を中心に	荒川 正明	鹿島美術研究	13	私の夢の美術館 造形輝く新宿御苑	伊藤 隆道 産 経	1.7
板谷波山(十七)—葆光彩磁の完成—	〃	陶 説	514	巻頭特集 絵で見る動物園 不思議で奇怪な伊東忠太の空想獣建築		美術の窓 161
板谷波山(十八)—新たなデザインを目指して更紗意匠への取り組み—	〃	〃	516	壺中天異聞—伊藤利彦の作品をめぐる覚書	石崎 勝基	伊藤利彦展(三重県立美術館県民ギャラリー)
板谷波山(十九)—中国古陶磁との出会い 大正中期の展開—	〃	〃	520	人間発見 昔を語る貝のかずかず1 教育者一家の変わり種絵の道志す「冷泉家の遺宝」の中に天職見つけた貝絵に込める思いは昔の人と同じはず	伊藤とし美 野村義博 聞き手	日経夕刊 10.7
板谷波山(二十)—大正期の古陶磁鑑賞会と波山—	〃	〃	523	人間発見 昔を語る貝のかずかず2 「貝絵を現代に」古典読みつつ孤軍奮闘流派を創始、生徒30人に囲まれ 納得のいく作品、夫の支えで	〃	〃 10.9
板谷波山(二十一)—円熟の陶技・大正後期の作風—	〃	〃	524	人間発見 昔を語る貝のかずかず3 寺の総本山から貝合わせ教わる貝絵の現代的効用を発見・普及作る意味、どんどん広がってほしい	〃	〃 10.11
§ 作家の言葉 §	一居 孝明	安井賞展 39回図録 (セゾン美術館)		特集 倉俣史朗 倉俣史朗と私 伊藤豊雄	瀧口 範子 伊藤アグシス編集部	AXIS 62
座談会 井上長三郎を語る	一木 平蔵 関 正和 大野 恒雄 宮滝 司会	自由美術展 '96図京録(東京都美術館)		“透明感”と“軽さ”『ライト・コンストラクション』展(MoMA)(伊東豊雄)	アラステア・ゴードン	アトリエ インターナショナル 825
もっと竹を生活に	一ノ宮賢治	読売夕刊	10.16	何がかわる?電子メディアと表現1 建築—ゆがみだした空間を視覚化、伊東豊雄さん	大西 若人	朝日夕刊 1.4
井津建郎と「フレンジ・ウィズアウト・ボーダー」	沼田 美樹	アトリエ インターナショナル	826	PERICLE FAZZINIの彫刻(5)	伊藤 鈞	筑波大学芸術年報 1995
一色邦彦先生(彫刻家)を訪ねて 探訪モニュマンに昇華させる自然と愛		游 美	23	Incubation 4 上 天気	伊藤 誠	武蔵野美術 99
安規と木喰上人行道	伊藤 昭	谷中安規の版画世界展図録(そごう美術館(横浜))		未来志向[25人の若き実力作家] 稲垣考二	稲垣 考二	ア ー ト トップ 151
特集 当代人気作家12人が集った平成「連画」の試み 参加作家たちの言葉	伊藤 彬	美術(月刊)(サンアート)	248	表紙の言葉—写真のような	稲垣 考二	絵 385
日展満50年(2) 私の戦後の三年	伊藤 清永	新美術新聞	761	ことば抄 無駄なものの中に、大切なものが隠されている	稲越 功一	朝日夕刊 11.12
文化勲章 日本女性の美を追求して—伊藤清永さん		〃	783	稲田静磨について語る	長谷川 栄 日向あき子 対談	芸術公論 71
伊藤清永 文化勲章受章者		日 展 ニュース	83			
MUSIC MIX オトヨシ!	伊藤 桂司	デザインの現場	80			
OPINION MIX イラストが最近面白くない理由	〃	〃	84			
作家と記録 伊東深水	小針 代助	ア ー ト トップ	150			
§ 自作“ZONE”について §	伊藤 高志	瓜生:京都芸術短期大学紀要	18			

平成8年定期刊行物所載文献(作イ)

稲田静磨について語る	水上 杏平 日向あき子 対談	〃	73	空間を彫り込む—二十世紀の彫刻十選4 マン・レイ「破壊されるべきオブジェ」	〃	〃	8.3
稲田静磨について語る	日向あき子 佃 堅輔	〃	74	空間を彫り込む—二十世紀の彫刻十選5 アルベルト・ジャコメッティ「都会の広場」	〃	〃	8.5
あすへの話題 春の高山祭	稲本 正	日経夕刊	4.1	空間を彫り込む—二十世紀の彫刻十選6 ルチオ・ファンタナ「空間概念」	〃	〃	8.6
あすへの話題 朱雀門復原工事	朱雀	〃	4.8	空間を彫り込む—二十世紀の彫刻十選7 ジョージ・シーガル「進め—停まれ」	〃	〃	8.8
あすへの話題 花の知恵	〃	〃	4.15	空間を彫り込む—二十世紀の彫刻十選9 レイノー「家」	〃	〃	8.14
あすへの話題 植樹祭の季節	〃	〃	5.13	空間を彫り込む—二十世紀の彫刻十選10 ミハ・ウルマン「図書館」	〃	〃	8.15
あすへの話題 壱熱帯の西表	〃	〃	5.20	座談会 井上長三郎を語る	一木 平蔵 関野 正和 大野 修 宮瀧 恒雄 司会	自由美術展'96(東京都美術館)	
あすへの話題 多重立体構造	〃	〃	5.27	井上長三郎追悼一わが哀惜の焦点—	針生 一郎	〃	
あすへの話題 木材と二酸化炭素	〃	〃	6.3	井上長三郎さんを偲ぶ	峯 孝	新美術新聞	757
あすへの話題 照葉樹林の木灰	〃	〃	6.10	特集・個と集団 再び「主体美術と人間性」	井上 俊郎	主体美術	1996
あすへの話題 森林文化省を	〃	〃	6.17	<われわれの当面する課題について> 反戦	井上 肇	自由美術展'96(東京都美術館)	
あすへの話題 広葉樹の森を	〃	〃	6.24	大特集 司馬遼太郎が愛した「風景」タイトルは「美の脇役」や!	井上 博道	芸術新潮	560
§ 作家の言葉 §	狗卷 賢二	富山国際現代美術展6回(富山県立近代美術館)		井上まさじ	穂積 利明	語る身体—10人のアプロ—チ展(北海道・今日美術図録(北海道立近代美術館))	
修復記録 《収獲》1928年	井上三綱 山領 多田	まり智	石橋美術館館報	44			
修復記録 《編み物》1951年	井上三綱	〃	〃	〃			
修復記録 《ドン・キホーテ》	井上三綱	〃	〃	〃			
修復記録 《裸婦群像》1955年	井上三綱	〃	〃	〃			
修復記録 《相》1960年	井上三綱	〃	〃	〃			
修復記録 《桃李美人図》1969年頃	井上三綱	〃	〃	〃			
空間を彫り込む—二十世紀の彫刻十選1 コンスタンチン・ブランクーシ「無限の柱」	井上 武吉	日 経	7.30	井上正与志さんの「川沿景曜」	藤 慶之	アートトップ	153
空間を彫り込む—二十世紀の彫刻十選2 ウラジミール・タトリン「第三インターナショナル記念塔の模型」	〃	〃	7.31	ぼくの空想コレクション216 故にこそ花の生命—井上八重子	秋山 和歩	美術(月刊)(サンアート)	250
空間を彫り込む—二十世紀の彫刻十選3 ナウム・ガボ「空間における構成」	〃	〃	8.2	特集 わたくしの書室 井上有一—ヴォリューム一杯にバッハを流した	海上 雅臣	墨	120

須田剋太の筆跡一井上有一の書との比較において	新井 狼子	〃	〃	私の夢の美術館 優雅にして残酷な機会を……	入江 観 産 経	3.17
受賞者インタビュー 第5回青木繁記念大賞公募展—猪熊克芳		ギャラリー (月刊)	132	ブロムナード ピエロ・デ・ラ・フランチェスカの旅(2)	〃	日経夕刊 4.3
光一郎と日本紙	猪熊弦一郎	若松光一郎の世界展 図録 (池田20世紀美術館)		ブロムナード 子供の絵の色	〃	〃 4.10
版画から油彩画に転じた関西の新鋭 伊庭靖子さん	石川 健次	毎日夕刊	7.5	ブロムナード モーリス・ブリアンションのこと	〃	〃 4.17
マヤ紋様描き、生きる勇気—大病患った夫とメキシコに移住、画家生活	井路 愛	日 経	5.28	ブロムナード 美術の春	〃	〃 4.24
モニュメント咲いた!—広場に架かる彫刻	今井 祝雄	成安造形 大学研究 紀要	3	ブロムナード 道成寺	〃	〃 5.1
特集 イラスト新旋風 第2部 DEEPER! ゴッホ今泉 90年代ネオ・カートゥーン旋風!	杜 今日子	デザインの現場	84	ブロムナード バリの警察	〃	〃 5.8
今泉俊光刀匠を偲ぶ 制作一途	佐藤 楽之 今田 史男	刀剣美術 美術文化 復刊	469 17	ブロムナード 五月の光の中で	〃	〃 5.15
近代日本美術家列伝 51 今村紫紅	水沢 勉	美術手帖	724	ブロムナード 緑の季節	〃	〃 5.22
「私的美術—閉じることのエチカをめぐって」インタビュー	今村 哲	Lady's Slipper	5	ブロムナード 初夏の風	〃	〃 5.29
私の考える絵画	妹背 宏	美術文化 復刊	17	ブロムナード 酒	〃	〃 6.5
特集 見せませす! バッケージデザインの裏の裏 Original Package Trial!! ゆうバック、リデザイン計画!	居山 浩二	デザインの現場	81	ブロムナード 美女に抱かれたい	〃	〃 6.12
§第50回女流画家協会展によせて§	入江 一子	女流画家協会展50回 図録 (東京都美術館)		ブロムナード 私のモーツァルト	〃	〃 6.19
洋画史を創る男たち 入江観	篠原 弘	アート トップ	153	絵は風景「海辺の丘」 入江観	芥川 喜好 読 売	6.30
第14回宮本三郎記念賞 入江観氏「海辺の丘」に決定		新美術新聞	765	思えば白木(正一)先生の大きな姿	入来 天 美術文化 復刊	17
秋山庄太郎の「現代日本の作家たち」 入江観	秋山庄太郎	美術(月刊)(サンアート)	250	特集 サウンド/アート 岩井成昭ズレから生まれてくるもの		美術手帖 734
入江観(61歳) 第14回宮本三郎記念賞受賞記念インタビュー 見える者との対話	編集部 文責	美術の窓	159	特集 サウンド/アート ベルリン「ソナンビエンテ」リポート	岩井 成昭	〃 〃
				巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡礼 岩井康頼	岩井 康頼	版画芸術 94
				特集・個と集団 遡及の一言	岩織 治	主体美術 1996
				匠のかたち 日本の庭(岩城造園・岩城庄次郎)		AXIS 59
				わが20世紀人 いわさきちひろ	俵 万智	読売夕刊 8.10
				巻頭特集 日本の風景木版画 美しき山河「余白」への想い	岩崎みわ子	版画芸術 92
				彫刻家岩野勇三のこと	岡田袈裟男	学 鏡 93-8
				特集・個と集団「集団」について	岩見 健二	主体美術 1996

巻頭特集 日本の風景木版画 美しき山河 大自然の中から手作りの歌が生まれる
岩見 禮花 版画芸術 92

雑貨を越えた美しさを作り出す注目のデザイナーユニット『in-flate』
糸の木タクヤ AXIS 60

(ウ)

木彫日本のかたち十選9 植木茂「櫻(くさび)」
向井 良吉 日 経 6.18

特集・個と集団 盲言多謝
植田 寛治 主体美術 1996

<近代大阪の日本画家たち2> 上田耕冲と耕甫
田中 晋作 茶道雑誌 60-5

植田正治の世界
植田 正治 美術手帖 718

写真家集団
植田 正治 日 経 7.5

初参加で得たもの平成八年度美術刀剣製作技術保存研修会 刀職技能訓練講習会の部 実施される
上田 正純 刀剣美術 477

巻頭特集 版と紙の饗宴8 上田靖之
(編集部・内田) 版画芸術 93

デザインが生まれる場所 第8回 植田義則
西村 佳哲 AXIS 63

理事長就任挨拶
上野 泰郎 連 盟 ニュース 368

明治の才人 上原六四郎一芸術資料館所蔵の素描とその作者一
薩摩 雅登 東京芸術大学美術学部紀要 31

重力異常
植松 奎二 国立国際美術館月報 42

私の夢の美術館 作家と精神を共有できる場に
" 産 経 6.23

ぼくの空想コレクション215 麗しく貴き季節一上村純一郎
秋山 和歩 美術(月刊)(サンアート) 249

特集 上村松園 近代日本を生きぬいた女流画家の誇り
" 芸術公論 71

近代日本美術家列伝44 上村松園
山梨 俊夫 美術手帖 721

明治を生きた女性画家十選7 上村松園「人生の花」
草薙奈津子 日 経 11.25

名画再読 上村松園「菊」
芥川 喜好 読 売 4.14

稗田一穂の原郷 現代生活の情緒を描く
上村 松篁 アー ト ト ッ プ 153

仕事の現場 上村松篁 (石) 毎日夕刊 6.14

出品作家コメント「榎倉康二と私について」
上村 豊 レクイエム一榎倉康二と33人の作家一展図録(斎藤川口記念美術館)

追悼:武満徹「方法としての友」を送る
宇佐美圭司 美術手帖 724

アーシル・ゴークーバージニアの暖炉
" 東京夕刊 6.11

未来志向「25人の若き実力作家」牛尾武
アー ト ト ッ プ 151

旬 唐辛子
牛島 達治 新美術新聞 778

特集 コラボレイティブ・デザイン 自己の中の他者、他者の中の自己
牛田 英作 Kathryn Findlay 建築雑誌 1397

宇治山哲平1~3
芸館だより 125~127

米北西部の芸術家村 異色のアーティストたちと自由な制作
白井 良季 日 経 10.15

はてな?おもしろ浮世絵116 逆もまた真なり 国芳「両面相」の妙技
中右 瑛 目の眼 232

はてな?おもしろ浮世絵118 国芳の役者似顔絵 マンガ百面相の諸譚
" " 234

はてな?おもしろ浮世絵120 わっちは宮本武蔵なり一国芳の鯨退治一
" " 236

はてな?おもしろ浮世絵121 国芳武者絵はSF劇画 二次元と三次元の世界を同時表現
" " 237

はてな?おもしろ浮世絵122 国芳美人画にみる抒情の世界「女のいる風景」
" " 238

はてな?おもしろ浮世絵123 意外性を狙った国芳の「影絵あそび」
" " 239

93歳の浮世絵師(歌川豊国)、高校入試に挑む 歌川派6代家元「夢は大学、博士号」
朝日夕刊 3.27

産経抄(六代目歌川豊国)
産 経 4.10

浮世絵師・歌川豊國さん博士号への挑戦 波乱人生「まだ通過点」93歳現役高校生	加藤 行平	東京	4.22	20世紀日本美術再見展[2]…1920年代図録(三重美術館)		
はてな?おもしろ浮世絵127 あつと驚く近代画法 鳥になつた広重	中右 瑛	目の眼	243	特集 戦後洋画壇最後の巨匠 天才梅原と努力の林武 志高く、スケールの大きな明治の画人ふたり	田中 善明	美術(月刊)(サンアート) 253
巻頭特集 風景画の見かたー自然と対話する画家たちー人気作家エッセイ集『風景』について思うこと 風景画を描いて想うこと	烏頭尾 精	美術の窓	153	特集 戦後洋画壇最後の巨匠 天才梅原と努力の林武 赤の表現にみる二人の違い	(K)	253
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅澤静雄	展覧会	いつくしむ眼差し(西宮市大谷記念美術館)	特集 戦後洋画壇最後の巨匠 天才梅原と努力の林武 市場評価にみる両作家	瀬木 慎一	” ”
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)	特集 戦後洋画壇最後の巨匠 天才梅原と努力の林武 鑑定の現状とその窓口	清水 秀作	” ”
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)	近代日本美術家列伝80 梅原龍三郎	編集部	” ”
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)	近現代日本美術家列伝80 梅原龍三郎	堀 元彰	美術手帖 734
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)	杉山さんの思い出	浦田 正夫	杉山寧展図録(高島屋(日本橋))
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)	アトリエの扉をあけて13 うらのかろく「おもしろかわいい」箱庭感覚!?	[編集部]	デザインの現場 80
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)		(エ)	
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)	私の中の瑛九	本間 正義	瑛九展 叙情録(宮崎美術館)
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)	先達 瑛九のこと	齧 嘸	” ”
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)	「瑛九写真展」の企画	細江 英公	” ”
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)	カオスとコスモスの彼方に	加藤 正	” ”
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)	ぼくは瑛九が好きです。	木水 育男	” ”
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)	所蔵品紹介180 「おどり」 瑛九	松浦 仁	福岡市美術館 ニュース 93
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)	作家の言葉	江上 計太	富山国際美術展6回図録(富山県立近代美術館)
梅原龍三没後10年図録(新宿)	梅原龍三	展覧会	梅原龍三没後10年図録(新宿)	グローバル・コラボレーション	栄久庵憲司	建築雑誌 1397

書の魅力 墨の・黒	江口 草玄	江口草玄戦後その書・その変相の図録(新潟県立近代美術館)	140	出品作家コメント 「それじゃ、お先に」	菊池 敏直	〃
江口草玄の書業	中村 二柄	〃	〃	出品作家コメント	千崎千恵夫	〃
江口草玄一書・文字・ことばその半世紀	松矢 国憲	〃	〃	出品作家コメント	竹田 康宏	〃
Being ART Watching 29 「死と再生」をテーマに—江刺家隆	中野 中	ギャラリー(月刊)	140	出品作家コメント	保科 豊巳	〃
THE KING OF ELECTRONIC DESIGN 5	江並 直美	デザインの現場	80	出品作家コメント	田中 睦治	〃
THE KING OF ELECTRONIC DESIGN 6 佐賀炎の博覧会テーマ館映像制作開始。	〃	〃	81	私と榎倉康二先生	小林 亮介	〃
毎日芸術賞 江成常夫、深見陶治氏に	〃	新美術新聞	755	出品作家コメント	小山穂太郎	〃
榎倉康二展によせて	澄川 喜一	榎倉康二遺作展 1964—1995 図録(東京芸芸大学芸術資料館)	755	「榎倉ゼミで絵画に出会った」	佐川 晃司	〃
榎倉康二展によせて	大沼 映夫	〃	〃	出品作家コメント	池田 雅文	〃
榎倉康二遺作展を開催するに当たって	越 宏一	〃	〃	出品作家コメント	中村 一美	〃
外界と呼応する感性—榎倉康二が志向したこと	谷 新	〃	〃	出品作家コメント	丸山 常生	〃
追悼：榎倉康二—都市の沼沢に佇む人	篠田 孝敏	美術手帖	718	「榎倉康二と私について」	和田 賢一	〃
榎倉康二 追悼	真武真喜子	美術の森	85	出品作家コメント	佐藤 時啓	〃
「レクイエム」展企画—榎倉康二再思のために	森田 一	レクイエム—榎倉康二と33人の作家—展図録(斎藤記念川口現代美術館)	〃	出品作家コメント	紫牟田和俊	〃
出品作家コメント	東 慶太郎	〃	〃	出品作家コメント	宮島 達男	〃
「榎倉康二と私について」	〃	〃	〃	出品作家コメント	野村 和弘	〃
出品作家コメント	川嶋 清	〃	〃	出品作家コメント	福田由紀夫	〃
「榎倉康二と私について」	〃	〃	〃	出品作家コメント	古井 智	〃
出品作家コメント	近藤 克	〃	〃	出品作家コメント	近藤 昌美	〃
「榎倉康二と私について」	〃	〃	〃	出品作家コメント	茂井 健司	〃
出品作家コメント	〃	〃	〃	出品作家コメント	日下 淳一	〃
「榎倉康二と私について」	〃	〃	〃	出品作家コメント	小屋 哲雄	〃
出品作家コメント	〃	〃	〃	出品作家コメント	白井 美穂	〃
「榎倉康二と私について」	〃	〃	〃	出品作家コメント	佐藤 友則	〃
出品作家コメント	〃	〃	〃	出品作家コメント	長橋 秀樹	〃
「榎倉康二と私について」	〃	〃	〃	出品作家コメント	大村雄一郎	〃
出品作家コメント	〃	〃	〃	出品作家コメント	上村 豊	〃
「榎倉康二と私について」	〃	〃	〃	出品作家コメント	〃	〃

出品作家コメント レイエム展に寄せて	日比野ルミ	〃			大久保婦久子 東京 都杉並区和田 女子 美術大学	白川 茂樹	新美術新聞	773
特集・個と集団	榎本香菜子	主体美術	1996		「無」平成八年新作 刀展覧会の概要 授 賞式・講評・受賞作 品・受賞のことば	大久保和平 (十和形)	刀剣美術	475
初心 平成八年新作 刀展覧会の概要 授 賞式・講評・受賞作 品・受賞のことば	榎本 貞人 (栄七郎)	刀剣美術	475		風景の変容—画家大 下藤二郎と詩人三好 達治をつなぐもの—	中島 国彦	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	41
特集 倉俣史朗 座 談会 沖健次+近藤 康夫+榎本文夫+五 十嵐久枝 「クラマ タスクール」と、そ の卒業生たち。	倉西 幹雄	AXIS	62		三岸先生	大住 閑子	女流画家 協会展50 回 図録 (東京都 美術館)	
巻頭特集 THE W- ORLD VISION 世紀末銅版画像巡礼 胡子修司	(編集部・ 内田)	版画芸術	94		太田喜二郎と日本の 点描	中谷 至宏	京都市美 術館年報	H6年度
学校で勉強したこと 1 海老塚耕一(多 摩美術大学)		美術手帖 5月号 増刊アー トスкуль ルガイド	725		点描表現の日本にお ける受容をめぐる —太田喜二郎を中心 に	大谷 省吾	交差する まなざし —ヨー ロッパと 近代日本 の美術展 図録(東 京国立近 代美術 館)	
海老原喜之助の不思 議な感覚	(S.Y.)	ア—ト ペーパー	28		太田喜二郎、三つの 謎	太田 寛	児島虎次 郎と太田 喜二郎展 ベルギー 光との出 会い 図録 (成羽町 美術館)	
特集 イラスト新旋 風 第2部 DEE PER! DEEPER! オラシオ・エルネ スト(土谷尚武) 毛 深いあなた		デザイン の現場	84		太田喜二郎とベル ギー	中谷 至宏	太田儀八 ・北野熊 雄・能勢 海旭—郷 土の作家 三人展— 図録(浜 松市美術 館)	
遠藤彰子の「元気の 出る千支画'96」		美術(月 刊)(サン アート)	244		今月のこの作家・こ の作品 太田三郎	(松 浦)	美術(月 刊)(サン アート)	246
私の夢の美術館 遠 藤彰子(下) 顔、 顔、顔…を包み込 む「箱」	遠藤 彰子	産 経	5.26		オリジナル版画制作 記 八、六二五枚の 出会い	太田真理子	版画芸術	93
心の迷宮十選4 ル ドン「海上を飛ぶ翼 のある頭」	〃	日 経	3.25		大特集 掌の美 愛 しきものへのラヴレ ター 宇和島の手ご わいモノ	大竹 伸朗	芸術新潮	559
心の迷宮十選6 ル ネ・マグリット「白 紙委任」	〃	〃	3.27		父 大智勝観につい て	大智 經之	横山大観 記念館館 報	14
心の迷宮十選7 キ リコ「考古学者」	〃	〃	3.28		大津英敏の近業につ いて	小倉 忠夫	ア—ト トップ	150
心の迷宮十選8 エ ルンスト「生きる喜 び」(部分)	〃	〃	3.29					
心の迷宮十選9 ゴッホ「自画像」	〃	〃	4.2					
心の迷宮十選10 ピーテル・ブリュー ゲル「反逆天使の墮 落」	〃	〃	4.3					
	(オ)							
売り込み君22	大石 暁規	デザイン の現場	83					
創る 映像作家 大 木裕之 時空飛び越 え生の流れ映す	稲垣 直子	日 経	11.24					

平成8年定期刊行物所載文献(作オ)

谷尾美術館と大津英敏 谷尾欽也氏にきく 直方からの発信	篠原 弘 聞き手	〃	155	座談会 井上長三郎 を語る	大野 一木 関 寛 宮司	修 平 蔵 正 和 恒 雄	自由美術 展'96 図録(東 京美術 館)	
大津英敏さんと谷尾 美術館	谷口 治達	〃	〃	四季の匠 江戸木彫 刻(大野勘三郎)	徳永 京子		新美術新 聞	781
大津英敏さんの魅力 特集 当代人気作家 12人が集った平成 「連画」の試み 参加 作家たちの言葉	中島 宏	〃	〃	ワークショップの報 告(大野左紀子)			ア ー ト ペ ー パ ー	30
敦煌再訪	大塚 清吾	芸術新潮	563	「私的美術一閉じる ことのエチカをめ ぐるって」再開発さ れる私性/ノイズと しての「私」	大野左紀子		Lady's Slipper	5
金沢「世界工芸都市 宣言」に想う	大樋長左衛 門	陶 説	514					
彫刻家大成浩さん	上間 常正	朝 日	2.1					
特集 見せます! パッケージデザイン の裏の裏 WORLD WIDE PACKA GE キャンベルの パッケージにみた、 ジャパン・ポップの パワー	大西 信之	デザイン の現場	81	安規の物語の挿図	大野 隆司		谷中安規 の版画世 界展図録 (そごう 美術館 横浜)	
シアトルはちょっと したジャポニスム・ シティとなった	〃	美術手帖	726	谷中安規供養塔 4 白と黒社(前)	〃		版画芸術	91
大沼映夫さんと私	加賀 乙彦	ア ー ト ト ッ プ	152	谷中安規供養塔 5 白と黒社(後)	〃		〃	92
実験画家・大沼映夫 の現在	篠原 弘	〃	〃	谷中安規供養塔 6 展覧会場にて	〃		〃	93
対談 現代美術につ いて	大沼 映夫 矢口 國夫	〃	〃	谷中安規供養塔 7 挿画(ペン画)	〃		〃	94
対談 オランダに魅 せられて	〃	〃	〃	風の色	大野 俊明	成安造形 大学研究 紀要		3
田淵俊夫の眼線 い つも写生ばかりして いる人	大沼 映夫	〃	154	大野廣子 95年7 月、本間美術館から	藤田 一人	美術(月 刊)(サン アート)		244
アトリエ拝見その10 —大沼映夫氏	(熱 田)	絵	392	意外にない大人向け ファッション 本当 のおしゃれは人生後 半なのに… イラス トレーター・大橋歩 さん	湯川 和子	東 京		11.10
榎倉康二展によせて	大沼 映夫	榎倉康二 遺作展 1964—19 95 図録 (東京芸 術大学 芸資 料館/東 京芸 術大学 芸資 料館取 手館)		売り込み君21	大橋 重信	デザイン の現場		82
70周年迎える「国画 会」	大沼 映夫 島田 章 油井 一人 聞き手	新美術新 聞	755	特集 イラスト新旋 風 第2部 DEE- PER! DEEPER! 大橋重信 青春、 描きまくり!	東海林理佳	〃		84
平山郁夫先生の退官 によせて	大沼 映夫	平山郁夫 展—写生 描・素描 ・大下 本画 図録(東 京芸 術大学 芸資 料館)		現代における「生物」 と「アート」について	大橋 力		LIFE / ART / TECHN OLOGY / —生物 / いのち / ART 展 図録(O 美術館)	
				自己解体する生命の すまう生態系	〃	〃		

民家が生きていた最後の瞬間をとらえた	安藤 邦廣	大橋富夫 建築写真展 屋根の記憶 日本の民家 家(武蔵野美術大学美術資料図書館)		総特集=荒川修作+マドリリン・ギンズ ゼロのポレミック	岡崎乾二郎	現代思想	24-10
写真と私	大橋 富夫	〃		岡崎乾二郎氏への公開書簡(上、下)ーアートビック・サイト“検閲スキャンダル”について	彦坂 尚嘉	新美術新聞	783,784
鏝に挑戦 平成8年度美術刀剣製作技術保存研修会 刀職技能訓練講習会の部実施される	大宮 重男	刀剣美術	477	[もを書けるアーティスト](岡崎乾二郎)		美術家の冒険展 [多面化する表現と手法]図録(国立国際美術館)	
出品作家コメント「榎倉康二と私について」	大村雄一郎	レクイエム一榎倉康二と33作家一人一展図録(斎藤記念代美術館)		特集 都市とアートの真相 真の「パブリック・アート」はいかにして可能か	岡崎乾二郎	美術手帖	733
特集・個と集団	大村 連	主体美術	1996	<国民絵画>としての日本画	岡崎乾二郎 松浦 寿夫	武蔵野美術	99
[ものとの生活](大森裕美子)		美術家の冒険展 [多面化する表現と手法]図録(国立国際美術館)		<リアルタイム>という幻想	岡崎乾二郎	〃	〃
欧州を描く叙情派フォープ作家 大森良三	水野 杏平	アートマインド	87	温もりのある日本の風景(小笠原賢雄)	清水 光夫	アートマインド	84
未来志向[25人の若き実力作家] 大矢英雄		アートトップ	151	アトリエの扉をあけて14 岡田航也 一瞬のスリルを描く	中島 優子	デザインの現場	83
受賞者インタビュー ABC美術コンクール大賞 大山幸子		ギャラリー(月刊)	139	津田さんを思う	岡田 徹	美術文化復刊	17
女流画家大和田明代を語る アキヨ・オオワダー女性、画家そして詩人	ロジェ・ブイヨ	アートトップ	155	白木と私	〃	〃	〃
岡信孝さんの善光寺(本誓殿渡り廊下)天井画完成	高岡 忠雄	新美術新聞	782	岡田又三郎さんのことー日本人離れた体躯と作品	日野耕之祐	絵	387
善光寺大本願天井画を描く	岡 信孝 草津奈津子 対談	美術(月刊)(サンアート)	255	未来志向[25人の若き実力作家] 岡村桂三郎		アートトップ	151
巻頭特集 風景画の見かたー自然と対話する画家たちー人気作家エッセイ集「風景」について思うこと モネの睡蓮	岡 義実	美術の窓	153	エトルリアの壁画と私	岡村 崔	エトルスク展ー壁画の原寸大写真と工芸図録(河口湖美術館)	
キュレーションを担当した作家の行政との悲喜こもごもー岡崎乾二郎		ギャラリー(月刊)	137	第27回中原悌二郎賞、若林奮氏に決まる。優秀賞は岡本敦生氏	岡本 敦生	新美術新聞	779
				旬 ヒラメ	岡本 敦生	〃	784
				第27回中原悌二郎賞決定! 中原悌二郎賞は若林奮氏、優秀賞は岡本敦生氏に	編集部	美術の窓	160
				「自然と人との語らい」野外彫刻が屋上庭園に(岡本敦生)		雪椿通信	6
				岡本家の人びと 現代によみがえる“岡本家の人びと”	瀬戸内寂聴 梅原 太 陽	〃	94
				岡本家の人びと 一平の漫画世界	清水 勳 湯本 豪一	〃	〃

平成8年定期刊行物所載文献(作オ)

岡本家の人びと 岡本家を支えたいのちの仁義(岡本一平)	芹沢 俊介	"	"	大特集 さよなら、岡本太郎 ファイティング太郎の発見! カメラマン岡本太郎、奮闘す	(編)	"	"
岡本家の人びと 岡本家 食卓の周辺(岡本一平)	宮内 淳子	"	"	大特集 さよなら、岡本太郎 挑発するデザイン	"	"	"
岡本家の人びと 岡本家の四都物語(岡本一平)	"	"	"	大特集 さよなら、岡本太郎 ファイティング太郎と同行五十年5 縄文の発見者、日本再発見の旅、沖縄にふるえる	岡本 敏子	"	"
祈りをかたちにあらわす	岡本 潤三	三重の子もた展見! わたしたしの町(三重県立美術館)	"	大特集 さよなら、岡本太郎 私の岡本太郎 思想家・太郎かあさん	荒川 修作	"	"
流産した視覚30 僕だけが20世紀の画家だよー太郎断章ー(岡本太郎)	米倉 守	アート トップ	151	大特集 さよなら、岡本太郎 私の岡本太郎 岡本太郎の都庁舎壁画	瀬木 慎一	"	"
追悼特集 岡本太郎 「対極」ダイナミズムを起こす装置	仲野 泰生	芸術公論	71	大特集 さよなら、岡本太郎 私の岡本太郎 会者定離	山崎 省三	"	"
大特集 さよなら、岡本太郎 ファイティング太郎の挑戦! 描いた、彫った、建てた、造った	"	芸術新潮	557	大特集 さよなら、岡本太郎 私の岡本太郎 川端康成と岡本太郎	瀬戸内寂聴	"	"
大特集 さよなら、岡本太郎	"	"	"	大特集 さよなら、岡本太郎 ファイティング太郎と同行五十年6 岡本太郎の孤独	岡本 敏子	"	"
大特集 さよなら、岡本太郎 ファイティング太郎と同行五十年1 太陽の塔の季節	岡本 敏子	"	"	新美術時評 過激な白樺派ーアヴァンギャルド岡本太郎の死	北澤 憲昭	新美術新聞	756
大特集 さよなら、岡本太郎 岡本太郎が出来るまで	(編)	"	"	岡本太郎氏を悼む	池田 龍雄	"	"
大特集 さよなら、岡本太郎 ファイティング太郎と同行五十年2 戦後の戦闘開始、花田清輝との出会い、いつのまにか秘書	岡本 敏子	"	"	岡本太郎追悼	針生 一郎	"	757
大特集 さよなら、岡本太郎 「かたち」との格闘	(編)	"	"	岡本太郎追悼 太郎は岡本太郎の作品である	米倉 守	"	759
大特集 さよなら、岡本太郎 ファイティング太郎と同行五十年3 美術記者・海藤日出男、制作の顛末、十二年ぶりのパリ	岡本 敏子	"	"	岡本太郎美術館建設予定地を探訪	油井 一人	"	785
大特集 さよなら、岡本太郎 ファイティング太郎と同行五十年4 二科会を見限る、世界の「前衛」を日本へ、アンフォルメル騒動の渦中で	"	"	"	岡本家の人びと 現代によみがえる「岡本家の人びと」(岡本太郎)	瀬戸内寂聴 梅原 猛	太陽	94
				岡本家の人びと 横尾忠則の「岡本太郎絵画館」	横尾 忠則	"	"
				岡本家の人びと 「激しい伝統」のアーティスト 岡本太郎 日本美術を見る眼	山下 裕二	"	"
				岡本家の人びと 岡本家を支えたいのちの仁義(岡本太郎)	芹沢 俊介	"	"
				岡本家の人びと 岡本家 食卓の周辺(岡本太郎)	宮内 淳子	"	"
				岡本家の人びと 岡本太郎と生命主義	鈴木 貞美	"	"

岡本家の人びと 岡本家の四都物語(岡本太郎)	宮内 淳子	〃	〃	精神の呼応 小川織衣 線と円が織りなすファンタジー	ぼんのなおこ	アートマインド	88
岡本家の人びと 一九三〇年代バリ「はかなき時代」の日本人たち(岡本太郎)	今橋 映子	〃	〃	「親子」の受賞に思う 平成八年新作刀展覧会の概要 授賞式・講評・受賞作品・受賞のことば	尾川 兼園(邦彦)	刀剣美術	475
夢なら正夢11 敏子さんと酔ふ(岡本太郎)	米倉 守	美術(月刊)(サンアート)	255	私の筆選び 小川瓦木		墨	121
追悼岡本太郎 あのときの太郎さん	元永 定正	美術の窓	154	巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡礼 小川正明	(編集部・安田)	版画芸術	94
故岡本太郎氏を偲んで	多田 美波	連ニユース	366	私の夢の美術館 記憶に残るバリの鉱物館	小川 待子	産 経	12.22
岡本氏死去 「芸術は爆発だ」旋風 大衆に人気、作品は賛否(岡本太郎)	針生 一郎 丹下 健三	朝 日	1.8	アート・アンド・アーキテクチャー 小川守之の普連土学園に佇む小野隆生の人物画	荒川 陽子	C.A.R.	22
太郎さん・位里さん 「個」貫き大衆から支持(岡本太郎)	田中 三蔵	〃	1.24	受賞者インタビュー ART BOX 大賞 一 小川原朝美		ギャラリー(月刊)	139
東京 ROMAN 主義 47 岡本太郎「今日の芸術」の岡本家	横尾 忠則	〃	8.11	特集 倉俣史朗 座談会 沖健次+近藤康夫+榎本文夫+五十嵐久枝 「クラマタスクール」と、その卒業生たち。	倉西 幹雄	AXIS	62
かたちの呪力回復はかる、「日本」を愛した岡本太郎氏	磯崎 新	朝日夕刊	1.9	アトリエ拝見その9 一 荻太郎氏	(熱 田)	絵	391
追悼・岡本太郎一その「挑発と爆発」の軌跡	松村 寿雄	産 経	1.14	巻頭特集 顔の見かた 画家のひとりごと	荻 太郎	美術の窓	156
寂庵こよみ186 幽霊のパワー 亡き岡本太郎さん財団発足を「演出」	瀬戸内寂聴	東 京	11.10	絵は風景 記念碑(2)愛 荻太郎	芥川 喜好	読 売	6.2
強烈な個性貫く一岡本太郎さん 既存の美術、社会を挑発	針生 一郎 中原 佑介 丹下 健三	毎 日	1.8	荻須高徳の隠し味	吉村 義夫	〃	
激しい生命力の造形、岡本太郎氏を悼む	三木 多聞	毎日夕刊	1.9	第8回神戸具象彫刻大賞展で大賞に輝いた荻野弘一さん	道津 保	読 売	9.10
完結した対極主義 岡本太郎さんを思う	池田 龍雄	〃	2.26	近代日本美術家列伝 47 荻原守衛	山梨 俊夫	美術手帖	722
「対極」共存させた生と芸、岡本太郎氏を悼む	中原 佑介	読 売	1.8	新井奥達と碌山・敬助・光太郎について(荻原守衛)	柳 文治郎	柳敬助・八重夫妻展 共に歩んだ肖像画家と女性編集者一図録(日本女子大学成瀬記念館)	
岡本力氏に聞く 「茶売人」を名のるユニーク造形作家が作り上げたギャラリー無寸草、「出入り自由な空虚な箱」		ギャラリー(月刊)	130				
岡本唐貴、浅野孟府と神戸における大正期新興美術運動	平井 章一	兵庫県立近代美術館研究紀要	5				
売り込み君19	岡元 真弓	デザインの現場	80				
日影眩の360°のニューヨーク第17回『時代』のコレクター、メッセージャーと岡本(陸郎)	日影 眩	ギャラリー(月刊)	129				

平成8年定期刊行物所載文献(作オ)

碓氷急逝後の ^{まき} の頃の 悶一片岡当の日記より 一(荻原守衛)	柳沢 廣	碓氷美術 館	6	ぼくの空想コレク ション212 良き人 と神の援け—小田さ ゆり	秋山 和歩	美術(月 刊)(サン アート)	246
読み合わせ会より 『彫刻真髓』を読み合 わせて(荻原守衛)	須沢 照子	〃	〃	『美術プロジェクト フラクタル』の旗揚 げ フラクタルとい うコードで結びつい た、作家三人衆の意 気—織田泰児・窪田 義和・高田淳		ギ ャ ラ リー(月 刊)	136
読み合わせ会より 大いなる碓氷(『彫刻 真髓』荻原守衛)	百瀬 宗治	〃	〃	アトリエ拝見その11 —織田廣喜氏	(熱 田)	絵	394
<私のこの一点>荻 原守衛『北条虎吉像』	五十嵐久雄	〃	〃	特集 織田廣喜 織 田廣喜美術館オープ ン	朝日 晃	芸術公論	73
荻原守衛の人体デッ サン	飯田 達夫	碓氷美術 館報	17	祖父「尾竹国観伝」を 刊行して	尾竹 俊亮	美術(月 刊)(サン アート)	248
「白樺」運動と荻原守 衛(三)	柳沢 廣	〃	〃	「尾竹国観」人気海外 から再浮上、画壇追 放され、没後50年		朝日夕刊	1.9
荻原守衛と津田青楓 永沼 孝致	〃	〃	〃	売り込み君21	小田原鈴子	デザインの 現場	82
荻原守衛から津田青 楓宛て葉書について	学芸部文責	〃	〃	個展の声 月と陽と	越智紀久張	絵	387
荻原守衛関係資料補 遺	学芸部門編 集責任	〃	〃	特集 かわいい 「かわいい」の系譜 落合多武	編 集 部	美術手帖	720
杉山寧展から下 生 リアリズムを極め る	奥田 元宋	日 経	3.24	特集・個と集団	小野 昭	主体美術	1996
新芸術院会員に奥谷 博氏、彫刻は橋本堅 太郎氏		新美術新 聞	785	物質との対峙—小野 皓一の「物質と時間」	和田 浩一	百瀬寿/ 小野皓一 展 東北 の現代作 家 図録 (宮城 県 美術館)	
向う三軒両隣 神奈 川横町18 奥谷博 迷宮としての心理劇	武田 厚	美術の窓	159	アート・アンド・ アーキテクチャー 小川守之の普連士学 園に佇む小野隆生の 人物画	荒川 陽子	C.A.R.	22
芸術院賞を受賞した 洋画家 奥谷博さん	(棚)	東 京	4.17	三人の巨 匠たち展 —御舟・ 古径・土 牛 図種 (山 録 美術 館)			
明治を生きた女性画 家十選1 奥原晴湖 「芦雁図」	草薙奈津子	日 経	11.14	画聖・奥村土牛	川口 直宜	〃	
御舟・古径・土牛の 時代—近代～現代日 本画の道程—(奥村 土牛)	〃	〃	〃	彫刻家の奥村(信之) さん、ブロンズ作品 寄贈—日比谷高校の 同窓会館に12点			
画聖・奥村土牛	川口 直宜	〃	〃	特集 日本画遠近 日本画の過去・現在 ・未来	奥村 靱正 滝沢 具幸 水尾比呂志	武蔵野美 術	99
彫刻家の奥村(信之) さん、ブロンズ作品 寄贈—日比谷高校の 同窓会館に12点		毎 日	2.6	絵は風景「山夢」奥山 民枝	芥川 喜好	読 売	9.1
特集 日本画遠近 日本画の過去・現在 ・未来	奥村 靱正 滝沢 具幸 水尾比呂志	武蔵野美 術	99	特集・個と集団	尾崎 平次	主体美術	1996
絵は風景「山夢」奥山 民枝	芥川 喜好	読 売	9.1	尾崎ユタカ 3×6 センチのパノラマ	(編集部・ 辺見)	版画芸術	93
特集 日本画遠近 日本画の過去・現在 ・未来	奥村 靱正 滝沢 具幸 水尾比呂志	武蔵野美 術	99	特集 都市とアート の真相 小沢剛 な んか、ネコみたい に生きてりゃいいじゃ ん		美術手帖	733
絵は風景「山夢」奥山 民枝	芥川 喜好	読 売	9.1	今月の名ショット18 ミルク道を極め る、の巻。(小沢剛)	安彦 重男 写真・文	〃	734
特集 日本画遠近 日本画の過去・現在 ・未来	奥村 靱正 滝沢 具幸 水尾比呂志	武蔵野美 術	99	小野竹喬初期におけ るセザンヌへの傾倒 —「島二作(大正5 年)」を中心として—	上 菌 四 郎	美術史	140
絵は風景「山夢」奥山 民枝	芥川 喜好	読 売	9.1	世界文化功労賞受賞 記念特別対談 おの 登茂子/水上杏平		芸術公論	71
特集 日本画遠近 日本画の過去・現在 ・未来	奥村 靱正 滝沢 具幸 水尾比呂志	武蔵野美 術	99	小野珀子さんの陶芸 —その死去を悼んで—	吉田 耕三	陶 説	521

小原勉さんのこと	八百山 登	郷土の作家たち展 図録(福井県立美術館)		
夜の情景十選4 小茂田青樹「虫魚画卷夜露」	福井 爽人 日 経		12.5	
特集 印刷をきわめる 織咲誠×E&Yのダイレクトメール・トライアル!!	山口 明峯	デザインの現場	83	
恩地孝四郎の「実材版画」についての考察	関口 啓子	造形芸術学・演劇学	1	
恩地孝四郎の《水浴》について	和田 浩一	宮城県美術館研究紀要	8	

(カ)

独自のドラマツルギー A・ガウディから...	吉留 要	主体美術	1996	
特集・個と集団 ヤッタリ自然主義	賀川 忠	〃	〃	
隠崎隆一 人と作品	福田 旻	陶 説	520	
秋山庄太郎の「現代日本の作家たち」 隠崎隆一	秋山庄太郎	美術(月刊)(サンアート)	252	
アトリエの画家たち10 掛井五郎 ある彫刻家の孤独な闘い	田中 誠一 撮影	版画芸術	91	
表紙の言葉 “ウィスキー”	寛 本生	絵	393	
特集・個と集団 個・集団	香西富士夫	主体美術	1996	
生涯現役 風間完さん 女性の目の輝き求め	田村 良彦 青木 久雄 写真	読 売	5.26	
「笠松紫浪の木版画」	飯野 正仁	日本版景一等松浪木版画展図録(山梨県立美術館)		
学生時代の河合さん	櫃尾 正次	河合勇展図録(福井県立美術館)		
アルテラグーナ'95一オリガミ日本の美	〃	国立国際美術館月報	45	
現代水墨画協会理事長 鹿島禮子さんに聞く	〃	新美術新聞	775	
対談 梶谷洋子 長谷川栄	〃	芸術公論	73	

来年が正念場! 平成八年新作刀展覧会の概要 授賞式・講評・受賞作品・受賞のことは	櫻山 正春 (登)	刀剣美術	475	
一木万寿三「晩夏」	中村 聖司	氷 華	37	
作家の言葉	片岡 球子	片岡球子展 図録(三越(日本橋))		
片岡球子展によせて	陰里 鐵郎	〃		
精気うごめく生命感 一片岡球子の『浮世絵師』と『富士』	奥岡 茂雄	〃		
面構の主人公たち一作品解説にかえて	山梨 俊夫	〃		
発句一代・夏目四郎の覚え書 17 片岡球子先生と「香流会」	夏目 四郎	新美術新聞	772	
片瀬和夫—二つの文化の狭間で	ブリッタ・フック=エーマ	アトリエインターナショナル	827	
絵は風景「船遊び」片山未加	芥川 喜好	読 売	12.22	
香月泰男—横長の記憶	中林 和雄	現代の眼	498	
香月泰男と戦後美術 立花隆が語る	立花 隆 木本 信昭 聞き手	潮 流	47	
聞き取り香月泰男—坂倉秀典氏にシベリア・シリーズについて聞く(一、二)	坂倉 秀典 安井	天 花	65, 66	
作刀の部 審査員講評 平成八年新作刀展覧会の概要 授賞式・講評・受賞作品・受賞のことは	月山 貞利	刀剣美術	475	
芸術をめぐる言葉39 数年諸流の画家に入、其骨法を得て一派の筆法を試み画道の業に於いて会得せざることはなし—葛飾北斎	谷川 渥	美術手帖	722	
「怒髪天をつく」桂ゆき	高田美規雄	天 花	64	
名画再読 桂ゆき「欲張り婆さん」	芥川 喜好	読 売	2.18	
巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡礼 加藤清美	(編集部・辺見)	版画芸術	94	
日展会員賞制作意図	加藤幸兵衛	日 展 ニューズ	83	
何から話そう 加藤重高(陶芸家)	(宝)	日経夕刊	6.7	
特集・個と集団	加藤十三郎	主体美術	1996	
白木正一さんとの別れの中で	加藤 純雄	美術文化復刊	17	

平成8年定期刊行物所載文献(作カ)

句読点 加藤卓男 砂漠の仙人で四半世紀	(も) タッド若松 撮影	東京夕刊	9.6	狩野炎立 私が選んだこの一冊 バクワン・シュリ・ラジニーシ講話録「存在の詩」	早瀬 圭一 インター ビュー	毎 日	10.30
カオスとコスモスの彼方に	加藤 正	英九展 魂の叙情 詩 凶崎 (宮崎県 立美術館)		狩野芳崖作「伏龍羅漢図」のこと	村瀬 雅夫	絵	390
生きることのリアリティ	高橋 秀治	加藤英人 展3回 録(名画 屋(名屋))		三村晴山と狩野芳崖	影山 純夫	潮 流	46
日展満50年(3) 生ある限り日展に出品	加藤美代三	新美術新聞	762	反復の掟、環の祈り	守中 高明	1996 Monotype 図録(ギャルリユニテ東京)	
門田二筆「縄文編花籃」		芸館だより	127	京都市美術館蔵 鹿子木孟郎「新婦人」修復報告	村山 浩規	修復研究所報告	12
未来志向[25人の若き実力作家] 金井訓志		アートトップ	151	近代日本美術家列伝40 鹿子木孟郎	原田 光	美術手帖	720
表紙の言葉一祝日の酒	金森 宰司	絵	383	ミュシャの感化と影響一黒田清輝と鹿子木孟郎の場合	島田 紀夫	アルフォンス・ミュシャと「生涯」展 図録(千葉県立美術館)	
巻頭特集 日本の風景木版画 美しき山河「湖山」との出合い	金守世士夫	版画芸術	92	特集 見せます! バッケージデザインの裏の裏 座談会 いま、バッケージの特集するのって時期が悪すぎる?!	木村 尚志 鹿目 高橋 佐藤 敏卓	デザインの現場	81
彫刻膝栗毛 連載44~48	金子 篤司	アートマインド	84~88	荒井寛方・鎗木清方特別展に寄せて	中村 溪男	華そして粋~寛方と清方~展 図録(ミュージアム氏家)	
彩色により表現を豊かに 金子篤司	ぼんのなおこ	〃	85	'95学芸員研究補助報告 滋味ある絵の根幹探る 《鎗木清方の挿絵》研究	大塚 雄三 柏木 智雄	JAAM	52
特集 調和体の種々相 近代詩文書の創始者、金子鷗亭氏に聞く		墨	119	近代日本美術家列伝46 鎗木清方	橋 秀文	美術手帖	722
60年代をめぐる対話	金子 國義	EYES	8	鎗木清方「妖鳥」試論	飯野 正仁	水の記憶 展一人と自然の原風景一図録(山梨県立美術館)	
バック・グラウンド・クリエイティヴ6 アリスを取り巻く人々(金子國義)	蜂賀 亨	デザインの現場	82	講習会初参加 平成八年度美術刀剣製作技術保存研修会 刀職技能訓練講習会の実施される	鎌田 十二	刀剣美術	477
金重陶陽一備前の復興の大先達	林屋 晴三	金重陶陽 一誕生記 念一展 録(岡山 県立美術館)					
千両役者金重陶陽	神野 力	〃					
父・陶陽の“こころ”と“技術”	金重 道明	〃					
特別展 金重陶陽展より一誕生一〇〇年記念一	上西 節雄	陶 説	515				
やきもの雑感(三) 風の贈り物(金重陶陽)	小山 岑一	〃	521				
父・陶陽の“こころ”と“技術”	金重 道明	金重陶陽 一誕生記 念一展 録(岡山 県立美術館)					

メッセージ	鎌田 正蔵	鎌田正蔵展(郡山市美術館)	みるも語るもまた楽しその4 現代陶、加守田章二作、偏産を楽しむ	工藤 吉郎	目の眼	239
小論 鎌田正蔵	福田 徳樹	〃	追悼 河北倫明さんの死に想うこと	加山 又造	アート トップ	150
鎌田正蔵に聞く	村田 哲朗 小泉 晋弥 聞き手 菅野 洋人 構成	〃	巻頭特集 日本の美 加山又造 加山又造の終わりなき創造	K・O	芸術公論	74
巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡礼 蒲地清爾	(編集部・宮田)	版画芸術	巻頭特集 日本の美 加山又造 粋を超えた大いなる存在	〃	〃	〃
特集 版画に刻まれたエロスの饗宴 我論エロティシズム考	蒲地 清爾	美術(月刊) (サンアート)	巻頭特集 日本の美 加山又造 加山芸術の粋 華麗なる版画表現	T・Y	〃	〃
文化功労者 書には無限の美しさが一上條信山さん		新美術新聞	創刊555号記念大特集 日本の神々どのようなときに「神」を感じますか? 私が出会った神々	加山 又造	芸術新潮	555
上條信山 文化功労者		日展 ニュース	二枚の絵「清明上河図」/「洛中洛外図」	加山 又造 古原 狩野	毎日	5.19
連載エッセイ わたしのかたち 森が巡らせたアウラ	上矢 津	版画芸術	名画再読 加山又造「冬」	芥川 喜好	読売	1.28
対談 神谷聴琴 水上杏平		芸術公論			語る身体 —10人の アプロー チ展 北 海道・今 日の美術 図録(北 海道立近 代美術 館)	
上山二郎「シルク・ド・パリ」 「百物館名物記」6	木下 直之	淡 交	唐牛幸史	光岡 幸治	柄澤齋木 口木版画 展 図録 (シロタ 画廊)	
対談シリーズ《絵かい話・美かい話》5 亀倉雄策+米倉守		アート トップ			柄澤齋木 口木版画 展 図録 (シロタ 画廊)	
亀倉雄策のポスター	白石 和己	1953年— 1996年の 軌跡図録 (東京国 立近代美 術館フィ ルムセン ター)	誌上詩画集 植物の睡眠	岡田 隆彦 詩 柄澤 版画 齊	版画芸術	92
自分の道を歩くひと 亀倉雄策というデザイナー史	亀倉 雄策	現代の眼	詩画集周辺雑記(柄澤齋)	岡田 隆彦	〃	〃
OPINION MIX パロディーの寸法	亀倉 雄策	デザインの現場			北大路魯 山人展 美食も なしの 芸術 図 録(東京 都立美 術館)	
冷徹な建築写真家	〃	渡辺義雄 の世界展 図録(東 京都立 美術館)	河合勇論—その原像と展開を中心に—	土岡 秀一	河合勇展 図録(福 井県立 美術館)	
東京 ROMAN 主義 29 亀倉雄策「東京オリンピック」の国立競技場	横尾 忠則	朝 日	河合勇さんのこと	宮脇 愛子	〃	
大特集 司馬遼太郎が愛した「風景」 “裸眼”でみつめたゴッホと鴨居玲		芸術新潮	河合勇について	八田 豊 インタ ビュー	〃	
			学生時代の河合さん ニューヨーク・シーン	檀尾 正次 小島 信明	〃	

平成8年定期刊行物所載文献(作カ)

河合勇の求めた入ッ 杉現代美術研究所	増田 智雪	〃	人間発見 電脳で描く 命の密度4 82年、国際大会で認められる「グロースモデル」は東洋思想が基本精緻な作業離れると酒盛りや野遊び	〃	〃	8.29
河合勇を創った人	河合 清志	〃	人間発見 電脳で描く命の密度5 型から人工生命都市作りに移行 アートへのこだわりは毒の魅力から 魔性の気配迫るアジアを描きたい	〃	〃	8.30
河合勇の造形作品	芹川 貞夫	〃	特集 この人が語る。「時代と創造」川久保玲 行き詰まりは日常茶飯事です。その繰り返しです。	編集部・関	AXIS	60
「土」の言説——一九二〇年代の河井寛次郎、〈技巧〉から〈素朴〉への変遷をめぐって	吉竹 彩子	京都大学文学部美術史学研究室	未来志向[25人の若き実力作家] 川崎麻児	アート トップ		151
近代日本画家の作品にみられるラファエル前派の影響—その3. 川合玉堂の作品を中心として—	猪巻 明	秋田大学教育学部	出品作家コメント 〈思うまま、脈絡なき断片書〉	川嶋 清		
近代日本美術家列伝39 川合玉堂	山梨 俊夫	美術手帖	読 売			6.12
「木版画の詩人」未発表詩150編、川上澄生再評価のきっかけに			石橋美術館館報			44
修復記録 川上涼花《麦秋》	渡辺 健一		東京国立近代美術館研究紀要			5
川上涼花ノート	田中 淳		読売夕刊			1.27
椿の魅力伝えたい、文京区の川岸(富士男)さん、水彩画の集大成発表			交感する磁場—6つの個性展/河口龍夫木美/龍夫能木島征二/村松秀太郎/山本文彦/和良太守卑良 図録(茨城県近代美術館)	川島 繁三	アート トップ	152
終わり無き・河口龍夫論	荒木扶佐子		未来志向[25人の若き実力作家] 河嶋淳司			151
			現代陶芸家の文房具2 川瀬忍	編 集 部	墨	121
			韓国 慶北聞慶窯にて作陶	川瀬 忍	陶 説	525
人間発見 電脳で描く命の密度1 南の島は命の気配が濃厚生き残ったものの持つ強さがCGの対象 コンピューターと槍を持ちジャングルへ	河口洋一郎 塩谷 喜雄 関き手	日経夕刊	館蔵の川瀬巴水の”彩色下絵”について	江里口友子	近代版画にみる東京—うつりゆく風景展図録(江戸東博博物館)	8.26
人間発見 電脳で描く命の密度2 大学時代にコンピューターに傾倒 手作りプログラムで既存の美意識を超える可能性を予感	〃	〃	特集・個と集団 それでも連想と希望を掲げて	川手 吉	主体美術	1996
人間発見 電脳で描く命の密度3 多摩川べりの質素な研究室で CG制作への道筋を得る 自己増殖する画像をテーマに	〃	〃	河鍋暁斎「地獄極楽めぐり図」 「百物館名物記」11	木下 直之	淡 交	615
			版画研究最前線4 河鍋暁斎—時代を映した版画	河鍋 楠美	版画芸術	94
			作家と記録 川端龍子	小針 代助	アート トップ	150
			近代日本美術家列伝69 川端龍子	橋 秀文	美術手帖	732

シーボルト著「日本」 さし絵は「合成」 だった(川原慶賀)		朝日夕刊	9.18		岸田夏子 私が選んだこの一冊「O・ヘンリ 短編集」	早瀬 圭一 インタビュー	毎日	1.10
記念展によせて	河原 大輔	瑠璃25回 記念展図 録(福岡 美術館)			岸田劉生の写真の眼	蔵屋 美香	絵	393
川俣正「コールマイ ン九州」始動「石 炭」通してモダニズ ム検証 旧産炭地・ 田川で鉄塔制作へ	重里 徹也	毎日夕刊	7.4		岸田劉生の人と芸術 —そのカリスマ性の 栄光と悲劇—	富山 秀男	近世洋画 の偉才 の録(佐 野美術 館)	
ウィナーノイシェ タットの6週間 「サイドワーク」プ ロジェクトを終えて	川俣 正	毎日夕刊	9.2		「劉生と御舟」展開催 にあたって	成瀬 美幸	劉生と御 舟展図録 (豊田市 美術館)	
今月のこの作家・こ の作品 河村純一郎	(金 子)	美術(月 刊)(サン アート)	248		劉生が見つめていた もの	田中 淳	〃	
美と日常を結びつけ る白い壁 川村秀樹		POTE- RIE	2		御舟にとつての劉生	山崎 妙子	〃	
画家と時代—菅野圭 介のこと	石渡 尚	絵	383		一九一五年の切通し 坂—岸田劉生作《道 路と土手と堀(切通 之写生)》について	蔵屋 美香	現代の眼	497
木の造形・木の魅力 (神戸武志) 美術の みかた24	外館 和子	ア ー ト フ ォ ー ラ ム	34		写実の彼方—「岸田 劉生 所蔵作品と資 料の展示」に寄せて	市川 政憲	〃	498
(キ)								
第3回芸術メダルデ ザインコンペ大賞に 木内明良氏		新美術新 聞	779		岸田劉生における デューラーの受容— 複製画を通して見た 西洋古典絵画	佐藤 直樹	交差する まなざし— ローバと 近代日本 展の美術 展図録(東 京国立近 現代美術 館)	
特集・個と集団 行 進と私	菊地昇栄太	主体美術	1996					
「祭」を描く 横顔	菊地 清治	游 美	24					
New Face 菊地武 彦	篠原 弘	ア ー ト ト ッ プ	155		特集 異論!反論!! 院展新世代 作家 インタビュー 岸野 香		美術(月 刊)(サン アート)	250
出品作家コメント “それじゃ、お先 に”	菊池 敏直	レクイエ ム—榎倉 康二と33 人の作家 展図録(斎 藤記念川 口現代美 術館)			向う三軒両隣 神奈 川横町16 北久美子 白昼夢の楽園に遊 ぶ	武田 厚	美術の窓	161
“想いの姿”を表現 菊地康	清水 光夫	ア ー ト マ イ ン ド	86		第2特集 フット ワーク このデザイ ナーたちの足さばき 北真吾 私の10年 後 自分の能力を活 かして、人の役に立 てたらと思う		AXIS	60
テーマコーナー: 「菊畑茂久馬」	前田 淳子	美術の森	83		喜多武四郎作「横坐 婦」について	基 俊太郎	硯山美術 館報	17
秋山庄太郎の「現代 日本の作家たち」 木澤定一	秋山庄太郎	美術(月 刊)(サン アート)	245					
シリーズ・つくり手 たちの言葉26 岸竹 堂	(高 梨)	フラミン ゴ	48		「写し」と「創作」の間	竹内 順一	魯山人と ゆかりの 名陶展図 録(世田 谷美術 館)	
故郷の画友を悼む (西原元)	岸 浩	モダ ン ア ー ト 展 46回図録 (東京都 美術館)			北大路魯山人と古陶 器	清水 真砂	〃	

北大路魯山人の人生行路	吉田 耕三	北大路魯山人展 美術の芸術家 美術(東京都美術館)	122	WORLD WIDE MIX 『JAGDA 年鑑一九九六』 JAGDA が選んだ 実力派若手デザイナー三人(北川一成)	[編集部]	”	”
心眼を念じた一魯山人	辻 清明	”	”	特集 印刷をきわめる 北川一成(デザイン・製版・印刷)の三位一体トリアル	”	”	83
魯山人私見	池田満寿夫	”	”	沈黙の石	北川 健次	EYES	8
魯山人の陶器の価値	雁屋 哲	”	”	北川健次【銅版画】d-emo-semi 報告 3 [表現と素材 3]		SYNC IN AR T通信	5
特集 魯山人の素顔	魯山人 阿井 景子	墨	122	CASA KITAGAWA-北川の家(北川民次)	[M. M.]	AAC	18
特集 魯山人の書・篆刻・刻字	魯山人 神野 大光	”	”				
研究ノート 北大路魯山人の陶芸論一柳宗悦と青山二郎と	佐々木秀憲	陶 説	522	つぎはぎの仕事	北郷 悟	福島の新世界展'96 録(福島県立美術館)	
宇宙兄弟一イサム・ノグチと北大路魯山人	酒井 忠康	イサム・ノグチと北大路魯山人展(セゾン美術館)		未来志向[25人の若き実力作家] 北田克己		アートトップ	151
芸術の創生について	新見 隆	”	”	特集 異論!反論!! 院展新世代 作家インタビュー 北田克己		美術(月刊)(サンアート)	250
自然と共存する二人のデザイナー	影山 千夏	”	”	絵は風景「ゆふまどひ」北田克己	芥川 喜好	読 売	6.16
ノグチとヒロシマ、そして魯山人	谷藤 史彦	”	”	作品雑観	北出不二雄	新工芸ニュース	35
北大路魯山人の陶芸	吉田 耕三	”	”	北野先生とその作品	白井美知也	太田儀八・北野熊雄・能勢海旭一郷土の作家三人展一図録(浜松市美術館)	
イサム・ノグチと魯山人	平野 雅章	”	”				
魯山人への手紙	梶川 芳友 構成・書・文	”	”				
「東西贖作犯科帳」11 書画・陶磁「贖作北大路魯山人」	長谷川公之	美術(月刊)(サンアート)	254	〈近代大阪の日本画家たち5〉 北野恒富と中村貞以 北村公一「花」の美と様式の現代化	橋爪 節也 村越 英明	茶道雑誌	60-8
近代日本美術家列伝64 北大路魯山人	太田 泰人	美術手帖	729	風景の奥にあるもの この人に聞く	喜多村 知 木本 信昭 聞き手	潮 流	45
巻頭特集 日本の風景木版画 美しき山河 誌上回顧 北岡文雄 風景一写実の骨格 インタビュー 風景をめぐる版画 遍歴		版画芸術	92	巻頭特集 花の見かた描き方 花時計・北村綱吉	高山 淳	美術の窓	160
故・吉田穂高氏弔辞	北岡 文雄	連 ニュース	365	特集・個と集団 たったひとつのつながり	北村 尚史	主体美術	1996
理事長辞任の挨拶	”	”	368	[ギャラリーから一 所蔵作品解説] (A+B) 意味構造一北脇昇作	松本 透	現代の眼	499
特集 見せます!パッケージデザインの裏の裏 Original Package Trial!! 田舎の魅力を出す。発想転換のショッピングバッグ	北川 一成	デザインの現場	81	最新・版画工房フェイル15 木寺版画工房(木寺啓幸)	(編集部・辺見)	版画芸術	93

ぼくらの空想コレクション213 道程一貴堂静菜、酒匂謙、深沢軍治	秋山 和歩	美術(月刊)(サンアート)	247	木村圭吾の世界7 鎌倉時代の象徴、大銀杏に挑む	木村 圭吾 岡本 良平	対談	252
哲人・絹谷幸二の五感	篠原 弘	アート トップ	152	木村圭吾の世界9 秋景が孕む自然美の象徴	中野 中	対談	254
近ごろ思うこと	絹谷 幸二	対談	248	木村圭吾の世界10 真のエンターテインメント	中野 中	対談	255
対談 21世紀を見据えて	絹谷 幸二 中島 千波 篠原 弘	対談	249	受賞作家の言葉(第9回京都美術文化賞)	木村 光佑	美術京都	17
特集 当代人気作家12人が集った平成「連画」の試み 参加作家たちの言葉	絹谷 幸二	美術(月刊)(サンアート)	248	東京ものがたり 銭湯背景画の復刻願った絵師。一枚の力作 残し逝く(木村進)	朝 日		6.4
時間と空間の圧縮を課題として(対談)	絹谷 幸二 佐々木 静一	対談	249	名画再読 木村忠多「南仏の春」	芥川 喜好	読 売	3.31
仕事の現場 絹谷幸二	(石)	毎日夕刊	7.12	特集 ロシア いま誕生したデザイン、いま甦るロシア構成主義 『USSR』は、ぼくらのデザインの原点だった	木村 恒久	デザインの現場	80
私空間 音楽家が生きてきた場	木之下 晃	朝日夕刊	5.23	視覚伝達デザインから情報デザインへメディアとコミュニケーションの変遷を中心に	木村 浩	筑波大学 芸術研究 報告	25
スポーツ・フォトグラファー木下健二 五百分の一秒に結晶する	渡辺 茂秀	デザインの現場	84	特集・個と集団 個(私)と集団(主体美術)	木村 正恒	主体美術	1996
『痴人の愛』のナオミ、九十四歳の器量	木下 晋	芸術新潮	561	売り込み君22	清野真理子	デザインの現場	83
近代日本画の台湾移植 木下静涯(一八八七~一九八八)を通して	廖 瑾瑗	美 学	184	巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡礼 清原啓子 鏤骨の細密描写 巻頭特集 THE	深沢 幸雄	版画芸術	94
木下先生の思い出(木下義謙)	永井 信一	新美術新聞	774	淀井敏夫、堀内正和、建昌算造、清水九兵衛、流政之、土谷武、最上壽之、草間彌生、豊福一素材とかたちからみた9人の歩み 5 清水九兵衛とアルミニウム	外館 和子	素材とか 触れあ い合う 展覧会 フリー 美術館 '96 茨 城 近 代 美 術 館	
総特集=荒木経惟 効果的な表現法	木村伊兵衛	ユリイカ	370	味わう質感、触れる陶器 やきものの質感にみる日本人の感性	清水九兵衛 柏木 博	POTE- RIE	2
[ギャラリーから一 所蔵作品解説]「縮緬地友禅あおい文振袖」木村雨山作	今井 陽子	現代の眼	498	アトリエ拝見その5 一桐野江節雄氏	(熱 田)	絵	387
特集・個と集団 「仲間が去っていった」	木村 栄治	主体美術	1996		(ク)		
特集 見せませす! パッケージデザインの裏の裏 座談会 います、パッケージの特集するのって時期が悪すぎる?!	木村 鹿目 高橋 佐藤	勝志敏卓 デザインの現場	81	聖火がやってきた 私も主役 スポーツイラスト あの一瞬 キャンバスに(久我修一)	久野 哲弘 岡田 弘道	東京夕刊	7.10
木村圭吾の世界1 桜	松浦 教子	美術(月刊)(サンアート)	246				
木村圭吾の世界3 追憶	〃	〃	248				
木村圭吾の世界4 滝	〃	〃	249				
木村圭吾の世界5 滝-2	中野 中	〃	250				
木村圭吾の世界6 ほとぼしる生命の歓喜	〃	〃	251				

出品作家コメント 「レクイエム 榎倉 康二と33人の作家」 展 出展にあたって	日下 淳一	レクイエム 榎倉康二と33 人の作家展 (藤原記念 現代美術 館)		特集 あの時代の感 動へー9人が語る '64年「地の手と 目」 奈良岡正夫、工藤甲 人両氏弘前市名誉市 民に	工藤 甲人	新美術新 聞	757
日下八光さんを悼む 古墳の壁画模写し 日本絵画の原点知る 考古学資料にも貢 献	白石太一郎	朝日夕刊	3.28	スタイル探検 市民 らも街をデザイン 本物に接して 平成 八年度美術刀剣製作 技術保存研修会 刀 職技能訓練講習会の 部 実施される	国吉 直行	朝日夕刊	9.26
創刊555号記念大特 集 日本の神々ど のようなときに「神」 を感じますか？ 私 は神である	草間 彌生	芸術新潮	555	写真の時代6 Wro- ng or Right It's All Right	久保 憲司 写真林 監修	デザインの 現場	82
モスクワから横浜ま で	〃	今日の作 家展31回 横濱かへ 横濱市(横 民ギラ ー)		この二年を振り返っ て 平成八年新作刀 展覧会の概要 授賞 式・講評・受賞作品 ・受賞のことは	久保 善博	刀剣美術	475
淀井敏夫、堀内正 和、建島寛造、清水 九兵衛、流政之、土 谷武、最上壽之、草 間彌生、豊嘯一素材 とかたちからみた9 人の歩み 9 草間 彌生とソフトスカラ プチュア	外館 和子	素材か たちの触 対話展 フリーミ ー'96美 術館(茨 城近代美 術館)		磁器制作について 句読点 久保田一竹 180歳まで生きて 連作完成 窪田定秀について語 る	久保田厚子 (も) タッド若松 撮影 長谷川 栄 日向あき子	現代の眼 東京夕刊 芸術公論	499 12.12 70
草間彌生 詩をかく 画人たち3	(あ)	MEDI- UM	1	国際芸術文化賞 窪 田定秀	ヨシダ・ヨ シエ 春名 好重	〃	〃
私の夢の美術館 魂 を昂揚させるような ...	草間 彌生	産経	10.1	20世紀の天才 窪田 定秀	日向あき子 長谷川 栄 水上 杏平 マークエス テル 春名 好重 森田 文雄 討論	芸術公論	75
拝啓、榎下町順子さ ま。	小清水貴子	美術の考 古学第1 部「位相 一大地」 の考古学 展 図録 (西宮市 大谷記念 美術館)		THE KING OF ELECTRONIC D ESIGN 5 マルチ メディアアーティス ト登場!「four-si- ght」窪田純子	江並 直美 構成	デザインの 現場	80
色彩と感性の冴え 串原昭夫	水上 杏平	アートマ インド	86	ヒロシマアートグラ ント'96 久保田辰 男氏に決定		新美術新 聞	764
土佐美術史外伝9 楠永直枝	鍵岡 正謹	高知県立 美術館 ニュース	11	『美術プロジェクト フラクタル』の旗揚 げ フラクタルとい うコードで結びつい た、作家三人衆の意 気一織田泰児・窪田 義和・高田淳		ギャラ リー(月 刊)	136
何故、いま南画家・ 楠瓊州なのか?	渥美 國泰	アート トップ	153	モダンヲ発見セヨ! (特集1995年8月 号「戦後建築をつ くった人々」を読ん で)	隈 研吾	建築雑誌	1383
最後の文人画家一楠 瓊州	鶴田 一雄	〃	〃	宮城県登来町「森舞 台」に描いた松竹図 神聖が宿る“意 識”そのもの	千住 隈 研吾 対談	美術(月 刊)(サン アート)	251
WORLD WIDE MIX 『JAGDA 年 鑑一九九六』新人賞 JAGDA が選んだ 実力派若手デザイ ナー三人(工藤青石)	[編集部]	デザイン の現場	81				

特集 アート系CD-ROMガイド ハートランド『アーキテクト・シリーズ』デジタルからはみ出すアーキテクトの創造力	隈 研吾 インタビュアー	美術手帖	731	近代日本美術家列伝 50 熊谷守一	堀 元彰	美術手帖	724
スタイル探検 「土木デザイン」の時代	隈 研吾	朝日夕刊	6.6	人形作家 熊倉聖祥さん	山本 智之	朝 日	3.3
「透明建築」には要注意	〃	〃	8.15	PAPER IN MY WORK 54 熊沢正人 いつも白が基調	澤開久美子	デザインの現場	85
グラスで建築消し去る	〃	〃	9.5	アーティストがつくった交番 横浜・上大岡(倉重光則)	(白)	新美術新聞	765
スタイル探検 都市という荒野を歩く靴影のない「透過光の街」	〃	〃	10.3	アトリエの扉をあけて14 倉科昌高 疾走する90km/hアート	杜 今日子	デザインの現場	81
ドーム流行の落とし穴	〃	〃	12.5	特集 倉俣史朗 倉俣史朗と私 三宅一	瀧口 範子 伊藤 史子 アックス編集	AXIS	62
自然に融けた建築十選1 エミリオ・アンバーツ シュルンベルジェ・リサーチ・センター	〃	日 経	9.4	特集 倉俣史朗 倉俣史朗と私 伊藤豊雄	〃	〃	〃
自然に融けた建築十選2 中国・河南省の穴居住居	〃	〃	9.5	特集 倉俣史朗 倉俣史朗と私 田中信太郎	〃	〃	〃
自然に融けた建築十選3 シラクサーの円形劇場	〃	〃	9.6	特集 倉俣史朗 倉俣史朗と私 田原桂一	〃	〃	〃
自然に融けた建築十選4 ジャンニ ジャック・ルクー「四阿(あずまや)プロジェクト」	〃	〃	9.11	特集 倉俣史朗 倉俣史朗と私 インゴ・マウラー	〃	〃	〃
自然に融けた建築十選6 ル・コルビュジェ 屋外庭園	〃	〃	9.13	特集 倉俣史朗 倉俣史朗と私 尾長谷兵五(ヤマギワ株式会社 代表取締役社長)	〃	〃	〃
自然に融けた建築十選7 アルバート・フライ 自邸	〃	〃	9.16	特集 倉俣史朗 倉俣史朗と私 トム・ウィレス	〃	〃	〃
自然に融けた建築十選8 バックミンスター・フラー 東京よみうりカントリークラブの旧クラブハウス	〃	〃	9.17	特集 倉俣史朗 倉俣史朗と私 石岡瑛子(アートディレクター)	〃	〃	〃
自然に融けた建築十選9 スーパースタジオ「12の理想都市」	〃	〃	9.19	特集 倉俣史朗 倉俣史朗、創造の軌跡	植田 実	〃	〃
自然に融けた建築十選10 ケヴィン・ローチ「オー克蘭ド美術館」	〃	〃	9.20	特集 倉俣史朗 職人達の倉俣史朗	編集部・稲本	〃	〃
時代の視角6 強者の建築から弱者の建築へ 電子的文明の時代が到来 理念なき欲望と決別し身体を守る原点に回帰を	〃	読売夕刊	1.11	特集 倉俣史朗 倉俣デザインと共に暮らす	〃	〃	〃
熊谷文利一巻頭特集 自由の希求と豊かな人間ドラマ	嶋田 三郎	アートマインド	85	特集 倉俣史朗 倉俣史朗と私 今、東京で見られるクラマタ作品マップ	〃	〃	〃
				特集 倉俣史朗 座談会 沖健次+近藤康夫+榎本文夫+五十嵐久枝 「クラマタスクール」と、その卒業生たち。	倉西 幹雄	〃	〃
				特集 倉俣史朗 紫の影...その後	アンドレア・ブランツィ	〃	〃
				第7回臥龍桜日本画大賞展 大賞に倉元敏見氏		新美術新聞	773

ことば抄 今は、太陽をかく子はほとんどいないですね	久里 洋二	朝日夕刊	9.24					アルフ・オミヤ・シヤと展 「生涯」展 図録(千葉県立美術館)	
絵かきには家に2人はいない	〃	東京夕刊	1.31			ミュージアの感化と影響ー黒田清輝と鹿子木孟郎の場合	島田 紀夫		
目黒雅叙園アートプライズ、グランプリに栗田正樹氏		新美術新聞	781			懐い出	桑原甲子雄		渡辺義雄の世界展 図録(東京都写真美術館)
秋山庄太郎の「現代日本の作家たち」栗原一郎	秋山庄太郎	美術(月刊)(サンアート)	247			稗田一穂の原郷 稗田一穂の世界	桑原 住雄	アート トップ	153
未来志向「25人の若き実力作家」栗原幸彦		アート トップ	151			特集 かわいい「かわいい」の系譜 桑原正彦	編集部	美術手帖	720
絵画としてのCG、質感が紙に息づくー糊沢順	小名 淳一	日 経	11.10						桑山忠明 プロジェクト'96 展 図録(川村記念美術館)
西欧の超克は成ったかー丹下健三と黒川紀章の挑戦	松葉 一清	近代都市と芸術展 ーヨーロッパの近代都市と芸術図録(東京都現代美術館)				桑山忠明のニュー・プロジェクト	多木 浩二		
版画の真価に関する一考察	黒木 重雄	筑波大学芸術研究報告	25			この世のものでなくなる とき	半田 滋男	〃	
女流のマークと地方展	黒木 晴子 (旧小田)	女流画家協会展50周年 図録(東京都美術館)				離見の空間 桑山忠明プロジェクト'96に先立って	多木 浩二 聞き手	〃	
巻頭特集 版と紙の饗宴 黒崎彰 版と紙の造形思考		版画芸術	93			桑山忠明 絵画的なるものへの挑戦	海津 元 インタビュー	美術手帖	731
黒田アキ 来年はバリで、自己の集大成といえる大規模な展示「波動庭園」を発表		ギャラリー(月刊)	136			桑山忠明 クールな抽象になまめかしい美	坂本 憲一	日 経	7.7
一九二〇年代の新古典主義的傾向と日本ー黒田重太郎と東郷青児を中心に	大谷 省吾	現代の眼	499						(ケ)
黒田清輝と白馬会	三輪 英夫	結成100年記念 白馬会展 明治洋画の新风 図録(ブリヂストン美術館)				特集・個と集団 主体展との関わり	見藤 瞬治	主体美術	1996
自然主義と黒田清輝ー白馬会の主題	貝塚 健	〃				大阪トリエンナーレ 1996 絵画部門大賞に 剣持和夫氏		新美術新聞	782
黒田清輝の岡倉天心像ー「智感情」の主題と成立をめぐってー	高階絵里加	美術史	139						(コ)
						辛口甘口版画館第14回 暑さにめげぬハングリー精神(小泉癸巳男のことなど)	伊波 晋	ギャラリー(月刊)	135
						絵は風景 小泉淳作「夏山雨後」	芥川 喜好	読 売	7.21
						小泉成一(小春ノ日和)(新潟県立近代美術館蔵)について	小見 秀男	新潟県立近代美術館研究紀要	1
						小磯良平とマネ	舟木 力英	絵	384

小磯良平の作品	辻 智美	神戸市立小磯記念美術館研究紀要	1	イメージの衝撃・イメージの処方—福沢一郎・古賀春江とシュルレアリスム—	速水 豊	美術史	140
小磯良平とアングル—『ドミニック・アングル—画人傳—』を中心に—	廣田 生馬	〃	〃	〈われわれの当面する課題について〉アトリエの周辺	古賀 隆一	自由美術展'96図京録(東京都美術館)	
「洋和服の二人(みなとの祭りの日)」と小磯良平の1930年代の作品について	金井 紀子	〃	〃			今日の作家展31回横浜から横浜へ(横浜市民ギャラリー)	
小磯良平と挿絵	金井 紀子	神戸市立小磯記念美術館より	6	検閲のトポロジー	粉川 哲夫		
ぼくの空想コレクション220 画人のお人柄—小磯良平・堀川理万子	秋山 和歩	美術(月刊)(サンアート)	254	木曾恕一の住まい—茂呂郎と「我が家を改良して」を顧みて—	藤谷 陽悦	デザインの揺籃時代展図録(松戸市立博物館)	
洋画の小磯良平が描いた男性肖像画を初公開		産 経	4.1				
名画再読 小磯良平「二人の少女」	芥川 喜好	読 売	1.21	刀身彫の部 審査員講評 平成八年新作刀展覧会の概要 授賞式・講評・受賞作品・受賞のことは	苔口 仙琇	刀剣美術	475
小出橋重研究—その評価をめぐる—	小林未央子	哲学会誌	20	たまゆら	小坂井勢津子	美術文化復刊	17
近代日本美術家列伝73 小出橋重	橋 秀文	美術手帖	733	特集 コラボレイティブ・デザイン 方法としてのコラボレイション	小嶋 一浩	建築雑誌	1397
アトリエの扉をあけて16 甲賀正彦 自分のスタイルを探す旅	中島 優子	デザインの現場	85	近代日本美術家列伝78 児島喜久雄	橋 秀文	美術手帖	734
郷倉和子 東京都世田谷区駒留八幡神社	西澤 美子	新美術新聞	770	KIDI PERSONS 「SUPER KIDI」に至る道のり	小島 健治	デザインの現場	83
幸せのレシピ 神話の風景に入り込んで	合田佐和子 鈴木 繁	朝日夕刊	9.12	児島虎次郎、ガン市立美術学校時代の素描	渡辺 浩美	児島虎次郎と太田喜二郎展ベルギー—光との出会い—図録(成羽町美術館)	
日影眩の360°のニューヨーク第19回郷津雅夫のニューヨーク、ニューヨーク	日影 眩	ギャラリー—(月刊)	131	近代日本美術家列伝54 児島虎次郎	堀 元彰	美術手帖	726
高野三三男—都市とダンディズム、パリそして東京	矢内みどり	絵	385	ニューヨーク・シーン	小島 信明	河合勇展図録(福井県立美術館)	
パリの日本人画家—高野三三男の場合	〃	鹿島美術研究	13				
アトリエの扉をあけて15 コーチはじめ 原点はいつもモノクローム	中島 優子	デザインの現場	82				
麗しきかな、かの前衛の時代	小泉 淳一	麗しき前衛の時代—古賀春江と三岸好太郎展図録(茨城県近代美術館)		二十八年目の手紙	小清水 漸	美術の考古学第1部「位相—大地」の考古学展図録(西宮市大谷記念美術館)	
比較の試み—古賀春江と三岸好太郎	杉本 秀子	〃	〃	小清水漸へのアンケート		〃	

平成8年定期刊行物所載文献(作コ)

「自然と人との語らい」野外彫刻が屋上庭園に(小清水漸)	雪椿通信	6	修復記録	小杉未醒	増田 久美	石橋美術館館報	44
拝啓、榊下町順子さま。	小清水貴子	美術の考古学第1部「位相」の考古学展(西宮記念美術館)	津田敬三氏を偲ぶ	小関 通	小滝 雅道	美術文化復刊	17
小清水貴子氏へのアンケート	〃	〃	リレーエッセイ 現代を創る作家達7	小滝 雅道	アートのトップ	7	155
特集・個と集団 公募展としての主体	小菅 光夫	主体美術	売り込み君20	狐塚 恵子	デザインの現場	81	1996
小杉二郎画賛一散らかし書き風に	瀧 悌三	アートトップ	特集 後藤純男 風景に投影する絵師の心	篠原 弘	アートのトップ	150	152
どこにもないふるさとの対する熱愛	米倉 守	小杉二郎展図録(弥生画廊)	特集 後藤純男 自身を語る	編集部文責	〃	〃	〃
青春の道標 1 幼い日の思い出は画用紙の向こうに	小杉小二郎	日 経	お久しぶりです 後藤栖子さん 生死見つめ絵の世界に	高橋 茂樹	毎 日	10,29	10.6
青春の道標 2 会社をやめたさに絵かきの道に入る	〃	〃	染織テキスタイル研究室展	小名木陽一	瓜生：京都芸術短期大学紀要	18	10.13
青春の道標 4 懐に忍ばせた辞表母の一言で日の目	〃	〃	受賞者インタビュー 第25回現代日本美術展—小林栄治	〃	ギャラリー—(月刊)	134	10.27
青春の道標 6 師匠は何も教えず「東洋の養分」吸収	〃	〃	第25回現代日本美術展 大賞に小林栄治氏	〃	新美術新聞	767	11.10
青春の道標 7 単身で再度渡仏 絵と語学に没頭	〃	〃	特集 平成8年前期の美術賞とその作品 受賞作家インタビュー・小林栄治(現代日本美術展大賞)	〃	美術(月刊)(サンアート)	251	11.17
青春の道標 8 若さと自信に満ち仲間とともに歩む	〃	〃	「第25回現代日本美術展」で大賞を受章した小林栄治さん	三田 晴夫	毎 日	5.1	11.24
青春の道標 9 協力者との出会い 最高の仕事場得る	〃	〃	特集・個と集団	小林 清繁	主体美術	1996	12.1
青春の道標 10 わが人生の師宅でフランス文化学ぶ	〃	〃	名画再読 小林清規「イルミネーション」	芥川 喜好	読 売	4.21	12.8
青春の道標 11 西洋絵画の側から絵とは何かを学ぶ	〃	〃	特別寄稿 「わが父、巢居人を語る」よだかの星をめぐって	小林 恒岳	游 美	24	12.15
青春の道標 12 確かな足取り求め2つの国に生きる	〃	〃	御舟・古径・土牛の時代—近代～現代日本画の道程—(小林古径)	草薙奈津子	三人の巨匠たち展—御舟・古径・土牛 図録(山種美術館)	〃	12.22
青春の道標 13 もっと真摯に描こう 初心だけは忘れず	〃	〃	小林古径の芸術	鶴田 汀	〃	〃	12.29
絵は風景 回想 小杉二郎	芥川 喜好	読 売	近代日本美術家列伝63 小林古径	長門 佐季	美術手帖	729	9.15
特集 サウンド/アート 小杉武久「見る」と「聴く」は分断されない	新川 貴詩	美術手帖	特別寄稿 「わが父、巢居人を語る」よだかの星をめぐって(小林巢居人)	小林 恒岳	游 美	24	734
近代日本美術家列伝53 小杉放菴	橋 秀文	美術手帖	ひっそりと、深く、艶やかに	小林 孝巨	小林孝巨展 図録(西村画廊)	〃	726
			旬 たこ	小林 孝巨	新美術新聞	770	

新作展で力量を示した期待の画家、小林孝亘さん	三田 晴夫	毎日夕刊	5.17					レクイエム一樓會康二と33人の作家一展(斎藤記念川口現代美術)	
曲面の表情	小林 伸好	東北芸術工科大学紀要	3		出品作家コメント	小林 亮介			
インタビュー 画業55周年を迎えた小林秀美さん 運命決めた中村僕氏との出会い	宝田 茂樹	産 経	10.17		特集 こどもの時間 4.1 こどもと絵本 「絵本」は親と子供のコミュニケーション ツール—駒井克己が語る「絵本」			AXIS	64
画業55周年を迎えた挿絵画家 小林秀美さん	(佳)	東 京	10.2		作品紹介 当館所蔵 駒井哲郎《ラーマ—ヤナ》について	加藤 弘子	東京都現代美術館 紀要		1
手すき和紙「軍道紙」を復活、「にじみ」に魅せられ後継者志願 小林六博		朝 日	4.13		夢多き彫刻家	駒形 豊	日 経		11.16
時の人 吊り下げられた男	小林 裕児	ア—ト トップ	151		「ひとがた」の造形—小牧源太郎の「増殖するイメージ」	山野 英嗣	小牧源太郎遺作展 増殖するイメージ 展 録 (京都国立近代美術館)		
受賞者インタビュー 第39回安井賞—小林裕児		ギャラリー—(月刊)	130		55回からの出発—その2 / 小牧源太郎論 義父、小牧源太郎を憶う	圓尾 博一	美術文化 復刊		17
第39回安井賞に小林裕児氏		新美術新聞	755		小牧源太郎戦後作品の再評価	山本新太郎	視 る		350
人らんだむ 第39回安井賞を受賞した小林裕児さん	(美)	新美術新聞	755		人気小説の挿絵展示 (小松久子) 思い出深い新宿の店で	山野 英嗣	読 売 (都民版)		3.19
特集 平成8年前期の美術賞とその作品 受賞作家インタビュー・小林裕児 (安井賞)		美術(月刊)(サンアート)	251		小松均のひとと芸術	田中日佐夫	小松均展 大自然の魂を描く—孤高の画仙人の図録(東京ステーションギャラリー)		
第39回安井賞 受賞記念対談	小林 裕児 一井 建二	美術の窓	154		小松均の誕生まで—大正から昭和前期へ—	島田 康寛	〃		
§ 作家の言葉 §	小林 裕児	安井賞展 39回図録 (セゾン美術館)			画家・小松均	平野 重光	〃		
第39回安井賞を受賞した、小林裕児さん	三田 晴夫	毎 日	2.19		小松先生との出会い、夢の瀬音	甲田 きそ	〃		
MATSUDA 1996 秋/冬カタログ <NAKED NEW YORK>がとらえたリアルの絶対温度 (小林由紀雄)	中島 英樹 後藤 繁雄	デザインの現場	84		小松均の版画—作風形成に与えたもの—	小松 暢子	〃		
私の夢の美術館 かつての“理想郷”は今...	小林 豊	産 経	9.1		特集 イラスト新旋風 第3部 ASIAN SCREAM 小松崎茂 なつかしい未来	永濱 嘉規	〃		
小林養建の作品	山西 建夫	鹿児島市立美術館 だより	41		THE KING OF ELECTRONIC DE SIGN 5 CD—ROM写真集の王道ぞくぞく完成!(五味彬)	水越 真紀	デザインの現場		84
“クラインの壺”以後—小林良一の近作	松本 透	小林良一展 図 録 (Hino gallery)				江並 直美 構成	〃		80

平成8年定期刊行物所載文献(作コ、サ)

世界のアーティストと美術評論家の推薦する精鋭作家の特集 新鋭作家との出会い 五味美那子	デミトリス・ミタラス	芸術公論	71	出品作家コメント 「榎倉康二と私について」	近藤 克	レクイエム一榎倉康二の作家展図録(齋藤記念現代美術館)	
蔭池武 日本南画院理事長に聞く	建部 公彦 聞き手	新美術新聞	767	「私的美術一閉じることのエチカをめぐって」	近藤 勝波	Lady's Slipper	5
目黒区美術館蔵 古茂田守介「三人」火災にあった油彩画の修復	木島 隆康	修復研究所報告	12	この著者と話したい104 近藤啓太郎(『母子像』)		美術(月刊)(サンアート)	251
古茂田守介被災作品とかび	青島 郁子	〃	〃	出品作家コメント	近藤 昌美	レクイエム一榎倉康二と33人の作家展図録(齋藤記念現代美術館)	
古茂田守介「被災」作品の絵具	宮田 順一	〃	〃	特集 倉俣史朗 座談会 沖健次+近藤康夫+榎本文夫+五十嵐久枝「クラマタスクール」と、その卒業生たち。	倉西 幹雄	AXIS	62
出品作家コメント 「榎倉康二と私について」	小屋 哲雄	レクイエム一榎倉康二と33人の作家展図録(齋藤記念現代美術館)		洋画家近藤嘉男の軌跡	伊佐 昇	近藤嘉男の世界展図録(前橋文学館)	
「想いのかたち」	千葉 成夫	小山悦子展図録(きりぎりしセンターポイント)		近藤嘉男先生のこと	高橋 晴人	〃	
「私的美術一閉じることのエチカをめぐって」	小山久美子	Lady's Slipper	5	名画再読 今野忠一「妙義」	芥川 喜好	読 売	4.7
父・小山敏三の生誕100年展によせて	中嶋 蓉子	小山敏三展図録(長野県信濃美術館)		木彫日本のかたち10選10 昆野恆「トルソ」	向井 良吉	日 経	6.19
小山正太郎資料(二)	金子 一夫	五浦論叢	3				
出品作家コメント	小山穂太郎	レクイエム一榎倉康二と33人の作家展図録(齋藤記念現代美術館)		季節を感じさせる齋木丘重の紙世界	編集部	墨	121
日展会員賞制作意図	小山やす子	日展ニュース	83	「少年倶楽部」の下絵発見 齋藤五百枝の遺族保管		朝日夕刊	12.12
旬 鱈	今 道子	新美術新聞	775	巻頭特集 日本の風景木版画 美しき山河 齋藤清 風景に宿る造形精神	(編集部)	版画芸術	92
今義典	平 利弘	語るからだ10人のアプロチ展・北海道・今日の美術図録(北海道立近代美術館)		齋藤清 色は最低限。絵の具重ねず、削って描く	相田 武男 聞き手	朝 日	4.14
				〈われわれの当面する課題について〉 今のこと、などについて	齋藤 國靖	自由美術展'96図録(東京都美術館)	
				追悼・齋藤三郎 技術派の巨匠	植村鷹千代	新美術新聞	764
				対談 水上杏平 齋藤静枝		芸術公論	70

(サ)

近代日本美術家列伝 49 斎藤豊作	太田 泰人	美術手帖	724
特集・個と集団	斎藤 望	主体美術	1996
リレーエッセイ 現 代を創る作家達2	斎藤 典彦	アート トップ	150
未来志向[25人の若 き実力作家] 斎藤 典彦		〃	151
WORLD WIDE MIX 九五年度A- DCの総括! ADC 賞授賞式ひらかれる (サイトウ・マコト)		デザインの 現場	80
東京ものがたり 難 病の色鉛筆画家 自然 の色合いしなやかに (斎藤真弘)	(人)	朝 日	11, 12
特集 佐伯祐三の真 実 いざモランへ 佐伯祐三最後の写生 旅行		芸術新潮	556
特集 佐伯祐三の真 実 結婚、卒業、そ してパリへ		〃	〃
特集 佐伯祐三の真 実 野獣・ザラマ ンク90分の咆哮		〃	〃
特集 佐伯祐三の真 実 佐伯祐三、パリ に体当たり		〃	〃
特集 佐伯祐三の真 実 佐伯祐三のパリ 生活		〃	〃
特集 佐伯祐三の真 実 佐伯祐三のパリ	朝日 晃	〃	〃
特集 佐伯祐三の真 実 伯父の家で眠っ ていた四点の油彩	橋爪 節也	〃	〃
特集 佐伯祐三の真 実 こんな佐伯があ るものか 吉園コレ クション真贋レポー ト	(編)	〃	〃
大阪市立近代美術館 建設準備室 X線で 見る佐伯祐三(4) 側光線写真との比較	後藤 八郎 宮崎 安章	修復研究 所報告	12
佐伯祐三作品の地塗 層顔料調査結果(3)	宮田 順一	〃	〃
故佐伯祐三の故米子 夫人「夫の絵私も 描きました」パトロ ンあて告白の書簡発 見		東 京	1, 4
故佐伯祐三夫人の書 簡 2通は「真筆」と 再修正		東京夕刊	2, 10
特集・個と集団 肥った岩魚	佐賀 勝美	主体美術	1996
ベルリンの梁山泊 “タハレス”体験記	酒井 敦	芸術新潮	553
特集・個と集団 現 実を見直して	酒井 健	主体美術	1996

第2特集 フット ワーク このデザイ ナーたちの足さばき 酒井俊彦 私の10 年後 自分の売るも のだけをデザインし て済めば、それはも う理想ですね。				AXIS	60
三世同居の幸せ感 じとる、榊莫山さん	都築 修	東京夕刊	4, 16		
日展満50年(3) 初 出品での特選	阪倉 宜暢	新美術新 聞	762		
ぼくの空想コレク ション214 美を育 てる一坂部隆芳	秋山 和歩	美術(月 刊)(サン アート)	248		
特集・個と集団	坂本 勇	主体美術	1996		
対談 阪本修次 水 上杏平		芸術公論	73		
特別企画 和紙の楽 しみ一和紙と生きる 人一坂本直昭	岡本 光平	墨	119		
研究報告 坂本繁 二郎関連記事目次 (1981年-1990年)	後藤 純子 植野 健造	石橋美術 館館報	44		
近代日本美術家列伝 56 坂本繁二郎	原田 光	美術手帖	726		
夜の情景十選9 坂 本繁二郎「月光」	福井 爽人	日 経	12, 12		
出品作家コメント 「榎倉ゼミで絵画に 出会った」	佐川 晃司	レクイエ ム一榎倉 康二と33 人の作家 一展図録 (斎藤記 念川口現 代美術 館)			
巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡 礼 作田富幸	(編集部・ 内田)	版画芸術	94		
特集・個と集団 個 としての“私”	佐久間義江	主体美術	1996		
絵は風景 1986年/ 1987年夏 櫻井孝美	芥川 喜好	読 売	7, 14		
表紙の言葉 雑感	桜田 晴義	絵	390		
ぼくの空想コレク ション213 道程一貴 堂静榮、酒匂謙、深 沢軍治	秋山 和歩	美術(月 刊)(サン アート)	247		
佐々木健治 早坂貞 彦【公開制作「平面」 demo - semi 報告 4		SYNC IN ART 通信	5		
佐々木象堂作(鑄銅 色絵鸚哥置物)一高 村豊周と佐々木象堂 の工芸観をめぐって	藤田 祐彦	新潟県立 近代美術 館研究紀 要	1		
泥棒美術史講座1 池田満寿夫VSピカ ソ	佐々木 豊	アート トップ	155		
出会いの不思議と工 芸	佐々木理一	東北芸術 工科大学 紀要	3		

平成8年定期刊行物所載文献(作サ)

顔「写真展・“いま”を生きる明治の女性たち60人」を開く笹本恒子さん	南 砂	読 売	5.5		佐藤忠良の世界3 売れなくても仕方がない	〃	〃	3.6
日展満50年(1)日本人の「気概」	佐治 賢使	新美術新聞	760		佐藤忠良の世界4 自然の真の姿 探り続ける	〃	〃	3.7
フレッシュ アジアにも関心を広げる現代美術作家 佐竹宏樹さん 伝統的素材にも興味	石川 健次	毎日夕刊	12.6		彫刻の大家撮るほどに味、佐藤忠良氏の素顔カメラで追いつく	ベンジャミン・リー	日 経	12.26
佐藤篤さん「VOCA展」に出品	佐藤 篤	高知県立美術館ニュース	12		出品作家コメント 榎倉康二と私について	佐藤 時啓	レクイエム一榎倉康二と33人の作家展図録(斎藤記念川口現代美術館)	
美人画の系譜 佐藤公紀		アートトップ	150					
志野を焼く	佐藤 秀一	陶 説	525					
特集・個と集団 小樽にて、五月八日(水)晴。	佐藤 善勇	主体美術	1996		佐藤時啓 空間を彩る光跡の彫刻	富田 津之	日経夕刊	12.1
秋山庄太郎の「現代日本の作家たち」佐藤泰生	秋山庄太郎	美術(月刊)(サンアート)	246				レクイエム一榎倉康二と33人の作家展図録(斎藤記念川口現代美術館)	
特集 当代人気作家12人が集った平成「連画」の試み 参加作家たちの言葉	佐藤 泰生	〃	248		出品作家コメント 一榎倉康二と私について	佐藤 友則		
特集 見せませす!パッケージデザインの裏の裏 座談会 いま、パッケージの特集するのって時期が悪すぎる?!	木村 勝 鹿目 尚志 高橋 敏 佐藤 敏 卓	デザインの現場	81		和紙は分身、大事にしてくれる人に譲る、佐藤友泰さん		朝 日	12.1
特集 見せませす!パッケージデザインの裏の裏 広告とパッケージの連携 プレイ 東洋水産ホットヌードル(佐藤卓+佐藤雅彦)	中島 優子 編集部	〃	〃		連載エッセイ わたしのかたち 身近な物への愛着	佐藤 暢男	版画芸術	91
MONO MIX 佐藤卓デザインの保存容器もてなしの機能を美しく保存	青野 尚子	〃	83		よみがえる“琉球国王” 沖縄戦で肖像画紛失…地元画家苦心の復元(佐藤文彦)		産 経	12.8
佐藤忠良 東京都練馬区練馬警察署	山田 明子	新美術新聞	759		コンテンツポラリー・アーティスト 佐藤梨香	池上ちかこ 構成	C.A.R.	22
夢なら正夢2 沈黙は行動である(舟越保武、佐藤忠良)	米倉 守	美術(月刊)(サンアート)	245		旬 あいなめ	U.G. サト ー談	新美術新聞	762
特集 ザ・美術団体 創立会員談話 美術家にとって団体とは?	佐藤 忠良	〃	255		人らんだむ 第15回ワルシャワ・ポスター・ビエンナーレで金賞を受賞したU・G・サトーさん	(美)	〃	777
“もぎり屋さん”と私	〃	若松光一郎の世界展 図録(池田20世紀美術館)			第15回ワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレ 世界語としてのポスターの祭典 「言葉ではなくヴィジュアルでメッセージを伝えたい」	U.G. サト ー	デザインの現場	84
佐藤忠良の世界1 信じているのは「失敗」だけ	田中 三蔵 インタビュ ー・構成	朝日夕刊	3.4		プリント・アートのたのしみ21 実践! 新孔版画 わたしの場合 表現に深味と幅を	佐野 千尋	アート トップ	155
佐藤忠良の世界2 偉い人より「隣人」に愛着	〃	〃	3.5		秋山庄太郎の「現代日本の作家たち」 佐野ぬい	秋山庄太郎	美術(月刊)(サンアート)	255

私の夢の美術館 内も外も青一色に染められて	佐野 ぬい 産 経	5.5							
絵は風景「ユニオンスクウェアの線」佐野ぬい	芥川 喜好 読 売	10.6							
佐野繁次郎の寄贈作品及び寄贈図書・原稿等について	橋 秀文	1994年度	神奈川県立近代美術館年報						
作家の目 美術紀行 第2回 ミラノの旅から	砂盃 富男	153	美術の窓						
作家の目 美術紀行 第3回 ベルリンの旅から 悲劇の歴史を語るウンター・デン・リンデンから	〃	154	〃						
作家の目 美術紀行 第4回 ベルリンの旅から 輝く美しさ・自由への確証…クリスト「ライヒスタークの梱包」	〃	155	〃						
作家の目 美術紀行 第5回 ベルリンの旅から ナチス弾圧と戦火を越えてよみがえる名画たち	〃	156	〃						
EXTREME CLOSE-UP ビースティーボーイズの次のアルバムのジャケットがエドワード・ホッパーだったら 滅茶苦茶カッコイイぜ!というお話。	サマタマサト	80	デザインの現場						
EXTREME CLOSE-UP 都会のネズミにしかできないカッコよくてヘルシーな暮らしかたとは、絶対に都会を逃げ出さないことだ、というお話。	佐俣 正人	81	〃						
EXTREME CLOSE-UP CDLPが10インチレコードになったらなんて幸せなんだろう、というお話。	サマタマサト	82	〃						
絵は風景「毒のある静物」澤田俊一	芥川 喜好 読 売	11.24							
沢田哲郎一オーロラのように	篠原 弘	154	アートトップ						
リキテックス・アーティスト・インタビュー21 沢田としき 絵と音楽の間で、僕だけができること	中島 優子	83	デザインの現場						
木彫日本のかたち十選5 澤田政廣「道標」	向井 良吉 日 経	6.11							
PAPER IN MY WORK49 澤田泰廣 目で見る触感をポスターに生かす	澤開久美子	80	デザインの現場						
(シ)									
特集 見せます! パッケージデザインの裏の裏 Original Package Trial!! まるごとおかしパッケージ!	謝 琳	81	デザインの現場						
一番星 謝琳さん ケーキアーティスト 私だけのおいしい美術	大橋 牧人	7.13	日 経						
百舌鳥	塩崎陽一郎	17	美術文化復刊						
塗りの美—塩多慶四郎の漆芸	白石 和己		人間国宝塩多慶四郎の世界展図録(石川県輪島漆芸美術館)						
中村芳雄君を惜しむ	塩水流 功	154	美術の窓						
郷土の自然をちぎり絵の風合いで	塩光トヨ子	85	ばんのなおこ アートマインド						
私の夢の美術館 芸術家を守るパトロンのような…	鳴 剛 産 経	6.30							
「アウトサイダー・アート」の結末をめぐって—式場隆三郎とジャン・デュビュッフェ—	服部 正	5	兵庫県立近代美術館研究紀要						
出品作家コメント—「光」その指し示すもの—	茂井 健司		レクイエム—榎倉康二と33人の作家—展図録(斎藤記念川口現代美術館)						
プリント・アートのたのしみ16 新孔版画の魅力にめざめる	志田あつし	150	アートトップ						
志田弥広さんのこと	八百山 登		郷土の作家たち展図録(福井県立美術館)						
ワークショップの報告(設楽知昭)		30	アートペーパー						

設楽知昭	光岡 幸治	語る身体 10人の アブロー チ展・北 海道・今 日美術(北 図録(北近 海道立術 代美術 館)		特集 ラブリー・コ ンピュータ 第4部 デザイナーのため のインターネット 柴山信広「テレパ シー・イタリ」が 発信するスピリチュ アルなヒーリング・ メッセージ	千葉 英寿	〃	85
「実験工房」50年代 の息吹再現			日 経 6.12	島霞谷の仕事とその 視覚の特色	山梨絵美子		島霞谷展 幕末幻 の油絵師 の図録(松 戸市戸定 歴史館)
新しい造形を求めて 一『メディアと表現 一品川工・山口勝 弘』展開催をめぐっ て	横山 勝彦	品川工・ 山口勝弘 展 現代 美術の手 法2メ ディアと 表現図録 (練馬区 立美術 館)		島霞谷の活字製造に ついて	府川 充男	〃	
東京 ROMAN 主義 23 篠山紀信「三島 由紀夫の家」の三島 家	横尾 忠則 朝		日 2.25	島霞谷と開成所につ いて	斎藤 洋一	〃	
随想・画家たちの人 間模様17 江漢にと って、洋画は立身 の方便だった	鈴木 仁一	アートマ インド	84	参考資料 島霞谷 『御用留』(稿)		〃	
司馬江漢と蘭書『職 人ブック』(美学会第 四十七回全国大会報 告)	磯崎 康彦	美 学	187	明治を生きた女性画 家十選9 島成園 「伽羅の薫」	草薙奈津子	日 経	11.28
司馬江漢筆「ゼウク シス葡萄写生図」に ついて	成瀬不二雄	美 術 史	140	人間国宝に藤原雄 氏、島岡達三氏認定		陶 説	519
司馬江漢「御茶水景」 帰ってきた江戸文化 プラハ国立美術館 浮世絵展	永田 生慈	産 経	12.20	島田鮎子さんのパリ 展の反響 長谷川智 恵子さんにさく		ア ー ト ト ッ プ	153
中村善種氏を悼む	芝田 耕	新美術新 聞	755	絵は風景 緑の旋律 島田しづ	芥川 喜好	読 売	6.9
特集 平成8年前期 の美術賞とその作品 受賞作家インタ ビュー・柴田純生 (KAJIMA 彫刻 コンクール金賞)		美 術 (月 刊)(サン アート)	251	油絵遍歴	島田 章三	ア ー ト ト ッ プ	155
浮世絵 新画の発想	柴田 竹童	ア ー トマ イ ン ド	86	油絵遍歴	〃	島田章三 展 図 録 (サエグ サ画廊)	
特集 あの時代の感 動へー9人が語る '64年 一九六四年 の思い	芝田 米三	新美術新 聞	757	70周年迎える「国画 会」	大沼 映夫 島田 章三 油井 一人 聞き手	新美術新 聞	755
特集 印刷をきわめ る「4 D」がイント ラネット環境に役立 てる「HP Design Jet 750C」(柴山信 広)	[編 集 部]	デザイ ンの現 場	83	私の夢の美術館 明 治村に赤レンガ倉庫 を...	島田 章三	産 経	1.7
				§第50回女流画家協 会展によせて§	島田由紀子	女流画家 協会展50 回 図 録 (東京都 美術館)	
				南半球	島袋 道浩	今日の作 家展31回 横浜から 図録(横 浜市ラ ヴィヤ ー)	
				特集 見せます! パッケージデザイン の裏 Original Package Trial !!! 劇場風・指 輪ギフトボックス	島袋 理可	デザイ ンの現 場	81

ベニス・ビエンナーレ出品作 島本昭三氏が切り売り		新美術新聞	769	創刊555号記念大特集 日本の神々ど のようなときに「神」 を感じますか? 芸術 の力	志村ふくみ	芸術新潮	555
嶋本昭三 兵庫県芦屋市芦屋川河畔	西川 昌宏	〃	781	リキテックス・アーティスト・インタビュー23 下條ユリ 「さわって感じる絵」を描きたくて…	杜 今日子	デザインの現場	85
絵は風景「鳳凰飛翔図」島谷晃	芥川 喜好	読 売	9.8	小久慈焼、下嶽殺さん(第二回)		陶磁館ニュース	27
石黒先生と私	清水 卯一	石黒宗磨の陶芸のエスプリ展 図録(サントリ美術館)		nomos	下西 紀子	成安造形大学研究紀要	3
表紙・口絵単色図版解説—「人間国宝 石黒宗磨」展図録より—	〃	陶 説	515	下村為山 余りにも純粹で頑なな人	渥美 國泰	目の眼	238
個展の声 少女との出逢いは鮮烈だった	清水 悦男	絵	387	対談 下村勝人 水上杏平 海との対話を描き続ける画家		芸術公論	71
十三年の歩みを顧みて 平成八年新作刀展覧会の概要 授賞式・講評・受賞作品・受賞のことは	清水 慶次(慶次郎)	刀剣美術	475	近代日本美術家列伝38 下村観山	太田 泰人	美術手帖	720
故清水昭八氏を偲んで	吹田 文明	連 盟 ニュース	367	名画再読 下村観山「天心岡倉先生草稿」	芥川 喜好	読 売	2.11
清水登之 生涯と画業	杉村 浩哉	清水登之展 図録(栃木県美術館)		大特集 掌の美 愛しきものへのラヴレター 煙草盆と一緒	下村良之介	芸術新潮	559
近代日本美術家列伝74 清水登之	太田 泰人	美術手帖	733	今月の名ショット15 「昭和四十年会」大集合の巻。して、その実体は?	安斎 重男 写真・文	美術手帖	731
名画再読 清水登之「セーヌ河畔」	芥川 喜好	読 売	5.5	あの人とこんな話 アートは心の栄養ドリンクである。本物は魂に効く。アーティスト・画家マッド・ジョンソンさん	田中 美絵 南條 良明 写真	朝 日	6.11
パリで生きる画家たち 清水紀子、ジャン・テロッシアン、ポップ・レスコー、ジョルジュ・カマチョ		アートマインド	85~88	特集 わたくしの書室 白井晟一 筆持つところ即一所懸命	海上 雅臣	墨	120
清水博子	見延(井内) 佳津恵	語る身体—10人のアプローチ展 北海道・今日の美術 図録(北海道立近代美術館)		出品作家コメント テクスチャ・ガール	白井 美穂	レクイエム—椋倉康二と33人の作家—展 図録(斎藤記念川口美術館)	
私の夢の美術館 「創えたる魂」に至福の瞬間	志村 節子	産 経	4.21	[ギャラリーから—所蔵作品解説]「萌葱金襴手丸宮」加藤士師萌作	白石 和己	現代の眼	497
出品作家コメント	紫牟田和俊	レクイエム—椋倉康二と33人の作家—展 図録(斎藤記念川口美術館)		創刊555号記念大特集 日本の神々ど のようなときに「神」 を感じますか? 不 動尊のお力	白髪 一雄	芸術新潮	555
				特集 舞台はニッポン—いま注目 在日外国作家のこのパワー 異邦人たちの戦後日本[証言]	白髪 一雄 萬木 康博 植村鷹千代	美術(月刊)(サンアート)	247

平成8年定期刊行物所載文献(作シ、ス)

私の夢の美術館 円錐カプセルの中の5分間	白髪 一雄	産 経	1. 21	作家回想録 昨日、今日、明日『青年時代の学びノートに憶う』	〃	〃	88
白川義員氏に聞く地球という惑星の感動	芳賀 敏博 聞き手	新美術新聞	756	学校で勉強したこと3 須賀昭初(Bゼミ・コーポレーション SCHOOLING SYSTEM)		美術手帖 5月号 増刊アートスクールガイド	725
白木(正一)と私	岡田 徹	美術文化復刊	17	〈近代大阪の日本画家たち4〉 菅橋彦と生田花朝女一浪速風俗画の系譜	前田 明範	茶道雑誌	60-7
思えば白木(正一)先生の大きな姿	入来 天	〃	〃	菅橋彦の画業	〃	菅橋彦展 浪速の雅人図録(倉吉博物館)	
故白木(正一)先生を偲んで	筒井 年男	〃	〃	菅井汲氏を悼む	矢口 國夫	新美術新聞	768
白木(正一)先生と私	村岡 和雄	〃	〃	誌上回顧 追悼 菅井汲 疾走する精神 眞の国際的画家・菅井汲	小川 正隆	版画芸術	93
白木正一さんとの別れの中で	加藤 純雄	〃	〃	誌上回顧 追悼 菅井汲 疾走する精神 インタビュー 菅井汲の遺した版画	菅井 光 談 原 勝雄 聞き手	〃	〃
白木正一大兄を悼む	田中 卒人 (均)	〃	〃	追悼：菅井汲 これだけで行こう	篠田 達美	美術手帖	729
オリジナル版画制作記 私の出会った人たち	白須 純	版画芸術	91	闘争心持ち続けた輝かしき「前衛」、「不死身」の画家、菅井汲氏を悼む	大岡 信	朝日夕刊	5. 20
「杜の系譜」について	城田孝一郎	沖縄県立芸術大学 紀要	4	思い出の「菅井汲」、関西人の不屈な生きざまだった	田淵 安一	毎日夕刊	5. 28
日本の装幀と原弘の仕事 その装幀作品を中心として	代田 奨	原弘展 近代グラフィック・デザイン の夜明け 凶録(飯田市美術館)		名画再読 菅井汲「赤と黒」	芥川 喜好	読 売	2. 4
ジャングルの“彫刻戦士”クライスバーグを訪ねて	新宮 晋	芸術新潮	562	菅井汲氏を悼む 強靱な精神から独特のユーモア	中原 佑介	読売夕刊	5. 22
ジャングルの中の“戦士”を訪ねて、作品にこめる自然破壊への抗議 彫刻家F・クライスバーグ	〃	産 経	4. 21	菅野陽について	陰里 鉄郎	菅野陽回顧展図録(平塚市美術館)	
(ス)				菅野陽さん	深沢 幸雄	〃	
近代美術資料(36~41) 吹田草牧『滞欧日記』(続)		視 る	343、345、348、349、351、353、354	版画家 菅野陽	石渡 尚	〃	
巻頭特集 日本の風景木版画 美しき山河 山の版画を作りつづけて	水津 保美	版画芸術	92	菅原平氏 岩手県大東町無形文化財指定を受け一蔵手刀・舞草刀再現に貢献	加藤 三穂	刀剣美術	471
コナン・ドイル『緋色の研究』	菅 木志雄	読 売	6. 16	カーネギー・インターナショナル1995 ユーモアとアイロニーの光る玄人好みの展覧会	杉浦 邦恵	美術手帖	720
作家回想録 昨日、今日、明日 “伝え残された絵描き馬鹿の話”	須加五々道	アートマインド	86	私的デザイン史—アジアとの出会い(対話) 杉浦康平	白田 捷治	EYES	8
作家回想録 昨日、今日、明日 アメリカ紀行(感じたこと)	〃	〃	87				

創刊555号記念大特集 日本の神々ど のようなときに「神」 を感じますか? 火 と水の渦	杉浦 康平	芸術新潮	555						「Tranquility」 一時間 静謐・空間 ・光をあ やつる五 人の現代 芸術家 展図録 (千葉市 美術館)
大特集 掌の美 愛 しきものへのラヴ レター 火を吹く フラウン 宇宙亀	"	"	559						
特集 FUTURE CALLING 意識 を覚醒する4人の実 験 杉浦康平 デザ インにアジアを注 ぎ、宇宙を宿す/活 動の原点と転機 西 欧モダニズムの鏡に 映ったアジア/アジ アの万物照応劇場 生命感あふれる形、 有機的配色、瞑想的 構造/マンダラ透視 光、地球、宇宙に 通じる円相の魅力か とりつかれて/文字 への愛 文字は変幻 する生命体、親和性 の力を宿す/図象解 析 時間、空間、物 量を相対的に視覚化 する/音楽との親和 デザインがかもし だす五感相互の共感 覚/杉浦康平 plus EYES マルチイン タビュー/ブックデ ザインの実験 本は 視覚、触覚、臭覚を 活性化する複合宇 宙/最新デザイン ひとつの世代の生き た見本でありたい	白田 捷治	デザイン の現場	82						
対談 杉浦白峯 水 上杏平		芸術公論	70						
杉岡華邨氏文化功勞 者に		墨	118						
古筆に学ぶ大字かな	杉岡 華邨	"	123						
【杉崎正則の公開制 作】demo—semi 報 告5		SYNC IN ART 通信	5						
素朴なる疑問 平成 八年新作刀展覧会の 概要 授賞式・講評 ・受賞作品・受賞の ことば	杉田 善昭 (昭二)	刀剣美術	475						
東洋の精神を極める 杉原原人の世界	安井 収蔵	アートマ インド	88						
杉本長雲さんのこと	村寄 鴨畦	郷土の作 家たち展 図録(福 井県立美 術館)							
杉本博司	ミシユル・ ゲラン	アトリエ インター ナシヨナ ル	825						
沈黙の隣一杉本博司 の「海景」	加藤 典洋								
今月の名ショット13 アートのある暮ら していいもんで す、ハイ。(杉本博 司)	安齋 重男 写真・文	美術手帖	727						
鏡・海景・スクリー ン 杉本博司『MOT- ION PICTURE』	北小路隆志	"	729						
特集 こどもの時間 1.1こどもと大 人 子供は何処へ いったのか	杉山 亮	AXIS	64						
特集 印刷をきわめ る 本気でデジタル デザインしたい人の ための入力〜出力パ ワー・アップガイド	杉山久仁彦	デザイン の現場	83						
特集 ラブリー・コ ンピュータ 第4部 デザイナーのため のインターネット コラム5 身近に なったオーサリング ツール	"	"	85						
特集 印刷をきわめ る ヒロ杉山のハン ドメイド4C製版	山口 明峯	"	83						
リキテックス・アー ティスト・インタ ビュー22 ヒロ杉山 一人二役で	澤開久美子	"	84						
丁字刃を焼く 平成 八年新作刀展覧会の 概要 授賞式・講評 ・受賞作品・受賞の ことば	杉山 正俊 (俊雄)	刀剣美術	475						
杉山さんの思い出	浦田 正夫	杉山寧展 図録(高 島屋(日 本橋))							
杉山寧の芸術	尾崎 正明	"							
鈴木藏氏の近業	(野)	アート トップ	151						
あの人・この街 面 打ちのグループ主宰 し作品展 幽玄の世 界にとりつかれ30年 (鈴木佐助)	朝 日		8,24						

鈴木武子	穂積 利明	語る身体 —10人の アプロー チ展 北海道・北 海道の美術 図録(北近 海道立美 術館)	作家訪問(237) 陶 芸 鈴木始也さん	編集部	目の眼	239
旭光燦々一能勢海旭 先生とその書一	鈴木 徳雄	太田儀八 ・北野熊 雄・能勢 海旭一家 土三展(浜 松市美術 館)	大特集 司馬遼太郎 が愛した「風景」 悔 やまれる須田国太郎 とのすれ違い	都築千重子	芸術新潮	560
朝日陶芸展を審査し て	鈴木 治	朝日夕刊	19世紀後半以降の西 洋美術の状況と近代 日本洋画における 「写実」の関係をめ ぐって—ギュスター ヴ・クールベと須田 国太郎のマチエール 分析を中心的論点と して	渡辺 一郎 山中 和人 増田 久美	修復研究 所報告	12
出会い	鈴木 秀明	美術文化 復刊	個人蔵 須田国太郎 「ダロカ」 修復報告	渡辺 郁夫	〃	〃
PAPER IN MY WORK50 鈴木マ サユキ 既成の概念 をこえて、紙選び新 発想	杜 今日子	デザインの 現場	須田国太郎「モヘン テ」に関して	中谷 至宏	〃	〃
遠雷のような不安— 鈴木実の肖像彫刻	小泉 淳一	交感する 磁場—6 つの個 展/河口 龍夫/鈴 木実/能 島征二/ 村松秀 郎/山本 文彦/和 太守卑良 図録(茨 城県近代 美術館)	須田国太郎作品 調 査報告	宮田 順一	〃	〃
用の形十選1 黒陶 透彫高脚杯	鈴木 睦美	日 経	序・須田国太郎の画 業—《筆石村》からの 検証	下山 肇	検証・須 田国太郎 の「筆石 村」展(静 岡県立美 術館)	
用の形十選2 尊 (中国・商時代)	〃	〃	須田国太郎の北丹後 紀行一日記と解題	下山 肇	〃	
用の形十選3 罍 (中国・商時代)	〃	〃	図版と解説	下山 肇	〃	
用の形十選5 白磁 刻花蓮花文洗(中国 ・北宋時代)	〃	〃	須田国太郎作「水浴」 について(上)	大庭 秀幸	造形芸術 学・演劇 学	1
用の形十選6 汝窯 水仙盆(中国・宋時 代)	〃	〃	大特集 司馬遼太郎 が愛した「風景」 絵 を描く善財童子須田 剋太	新井 狼子	墨	120
用の形十選7 野辺 雀蒔絵手箱(平安時 代末期)	〃	〃	須田寿 坐忘—塗り こめた九十年の歲月	(野)	アート トップ	150
用の形十選8 長次 郎「赤楽茶碗・無一 物」	〃	〃	美術団体紹介17 立 軸会	須田 寿	〃	〃
用の形十選9 初代 鈴木表朔「手付飯器」	〃	〃	絵は風景 流れる 須田寿	芥川 喜好	読 売	10.20
用の形十選10 獣形 珠(中国・紅山文化)	〃	〃	首藤雨郊「冬の日の 叡山」		芸館だよ り	117
			〈近代大阪の日本画 家たち3〉 須磨對 水と庭山耕園—船場 の絵描きの床映り—	鈴木 幸人	茶道雑誌	60—6

榎倉康二展 1964—1995 図録(東京芸術大学 美術資料館/東京学 芸大学美術資料館)	澄川 喜一				特集 ラブリー・コ ンピュータ 第4部 デザイナーのため のインターネット コラム4 体験!H TMLエディタ 関友里恵 チャレ ンジ2 Adobe Page- Mill	デザイン の現場	85	
東京芸術大学新学長 澄川喜一氏に聞く	建部 公彦	新美術新聞	755		特集 ラブリー・コ ンピュータ 第4部 デザイナーのため のインターネット コラム4 体験! HTMLエディタ 関友里恵 チャレ ンジ3 Beyond Pr- ess	"	"	
「そののあるかたち」 澄川喜一	斎藤 郁夫	天 花	65		リキテックス・アー ティスト・インタ ビュー20 マー・セ キグチ ちよっとセ かっこ悪い!? セ キグチ・ワールドの ヒーローたち			
東京芸大の新学長 澄川喜一さん	(共)	東 京	2.1					
アレクサンダー・ コールダー 五つの 翼	澄川 喜一	日経夕刊	10.17			杜 今日子	82	
あの人・この街 魂 を込め「日時計」制作 中 多摩地区への都 立美術館誘致に意欲 (住谷正巳)		朝 日	8.31		寛方先生と雅叙園の 思い出 関口正男先 生に聞く	ミュージア ム作家文責 (ミヤマ氏 家)	華そして 粹〜寛方 と清方へ 展覧録 (ミヤマ氏 家)	
資料紹介 須山計一 記念館所蔵資料 須 山計一当用日記(大 正十三年)	(小島)	飯田市美 術博物館 ニュース	33		風景の物語2 関口 雄揮 凍てつく冬の 詩 (野)	ア ー ト ト ッ プ	150	
一資料紹介一 須山 計一当用日記(大正 十四年)について	小島 淳	飯田市美 術博物館 研究紀要	6		風景の物語3 京都 と私 関口 雄揮	"	151	
	(七)				風景の物語4 関口 雄揮 おそい春 (野)	"	152	
					風景の物語5 南と 北の緑 関口 雄揮	"	153	
創刊555号記念大特 集 日本の神々ど のようになるときに「神」 を感じますか? 和 洋折衷の地鎮祭	清家 清	芸術新潮	555		風景の物語6 関口 雄揮 明けゆく (野)	"	154	
おやじの背中 プロ を育てる「美学」を重 視	"	朝 日	5.6		風景の物語7 関口 雄揮 カラマツ林 "	"	155	
ふらりゆらり 洗足 池公園 建築家 清家 清さん 自然に溶 け込みのんびりと	<梶>	読売夕刊	1.11		特集 美術賞とその 受賞作品'95 受賞 作家インタビュー 関田比佐子(創画)	美術(月 刊)(サン アート)	244	
大特集 掌の美 愛 しきものへのラヴレ ター 青春の形見	関 頑亭	芸術新潮	559		彫金の部 審査員講 評 平成八年新作刀 展覧会の概要 授賞 式・講評・受賞作品 ・受賞のことは	関戸 健吾	刀剣美術	475
特集・個と集団 仲 間	関 晴明	主体美術	1996		<位相一大地>のころ	関根 伸夫	美術の考 古学第1 部「位相 一大地」 の考古学 展 図録 (西宮市 大谷記念 美術館)	
座談会 井上長三郎 を語る	関野一木 宮司会	正和修蔵 恒雄			関根伸夫氏へのアン ケート	"		

平成8年定期刊行物所載文献(作セ〜タ)

巻頭特集 日本 景木版画 美しき山 河画 変化し続ける版	関野 洋作	版画芸術	92	「成田克彦氏との出 会い」 画家 曾宮夕見さん	柚木 浩一 降幡 賢一	造形学研 究 朝 日	14 3,18
“透明感”と“軽 さ”『ライト・コン ストラクション』展 (MoMA)(妹島和 代)	アラステア ・ゴードン	アトリエ インター ナショナル	825	資料紹介一曾山節雄 の淡彩ドローイング	武内 厚子	東京都現 代美術館 紀要	1
第21回木村伊兵衛写 真賞に瀬戸正人氏		新美術新 聞	761	「馬鹿」説き続ける、 彫刻家空充秋		朝 日	7,11
出品作家コメント	千崎千恵夫	レクイエ ム一櫻倉 康二と33 人の作家 一展図録 (斎藤記 念川口現 代美術 館)	761	空充秋 平成之大馬 鹿門「話題こそ宝」 過疎の町飾る 町お こしに獲得 千葉県 千種町		日 経	9,16
特集 美術賞とその 受賞作品'95 受賞 作家インタビュー 仙崎誠(日展)		美術(月 刊)(サン アート)	244	佛教大学に「平成之 大馬鹿門」寄贈者 「おごらないで勉強 を」の意味、大学側 は「もらった後に膨 った文字削る」(空 充秋)		毎日夕刊	5,2
千住博のまなざし 拡張する“瀧の詩学”	篠原 弘	ア ー ト ト ッ プ	150		(タ)		
時の人 千住博さん	伊東 順二	”	”	イトー・タリーとレ ズビアン・フェミニ ズム	鴻 英良	美術手帖	734
未来志向[25人の若 き実力作家] 千住 博		”	151	JAPAN AT RAN DOM タイク ーン、爆発！ 作品集 で「NO MORE BA D DESIGN！」を叫 ぶ(タイクーン・グ ラフィックス)	渡部 千春	デザインの 現場	84
千住博氏インタ ビュー	建部 公彦 聞き手	新美術新 聞	755	特集 版画に刻まれ たエロスの饗宴 エ ロス事始め	多賀 新	美術(月 刊)(サン アート)	249
宮城県登来町「森舞 台」に描いた松竹図 識 そのもの	千住 博 隈 研吾 対談	美術(月 刊)(サン アート)	251	染織テキスタイル研 究室展「自作につい て」	高木 光司	瓜生：京 都芸術短 期大学紀 要	18
滝の持つ意味	千住 博	産 経	3,17				
	(ソ)						
デザインが生まれる 場所 第4回 象設 計集団/建設設計ア トリエ	西村 佳哲 町山 一郎 インタビュー	A X I S	59	秋山庄太郎の「現代 日本の作家たち」 高木義夫	秋山庄太郎	美術(月 刊)(サン アート)	244
図版解説 十亀広太 郎筆 顔	田中 淳	美術研究	363	みるも語るもまた楽 し その3 天才洋 画家・高島野十郎	工藤 吉郎	目の眼	238
受賞者インタビュー フィリップモリス アートアワード一曾 根裕		ギャラ リー(月 刊)	135	『美術プロジェクト フラクタル』の旗揚 げ フラクタルとい うコードで結びつい た、作家三人衆の意 気一織田泰児・窪田 義和・高田淳		ギャラ リー(月 刊)	136
フィリップモリスア ワード1996 大賞に 曾根裕氏		新美術新 聞	770	絵のはなし22 作画 憲法の制定	高塚 省吾	ア ー ト ト ッ プ	150
今月の名ショット14 勝負の神様ホトケ サマ 結果ナシ、で もいいんじゃない？ (曾根裕)	安斎 重男 写真・文	美術手帖	729	絵のはなし23 明治 は遠くなったのに	”	”	151
“対話”の危うさに 測り続ける距離一曾 根裕	稲垣 直子	日 経	12,22	絵のはなし24 目前 心後	”	”	152
個展の声 楽園願望	傍島 幹司	絵	391	アトリエ拝見その3 一高塚省吾氏	(熱田)	絵	385
				上野焼から見た唐津 焼	高鶴 元	目の眼	232

ふりかえるだけでなく	高梨 豊	高梨豊展 〈方法彼録 論〉の図録 方へ(ガイ ディアン ・ガーデン)	特集 当代人気作家 12人が集った平成 「連画」の試み 作家たちの言葉	高橋 幸彦	美術(月刊)(サン アート)	248
眼の歩行者—高梨豊 について「SOME THIN'ELSE」から 「初國」	大島 洋	〃	§ 作家の言葉 §	〃	福島の新生 世代'96録 立美術 (福島県 美術館)	93
特集 異論! 反 論!! 院展新世代 作家インタビュー 高橋久美		美術(月刊)(サン アート)	250			
師高橋次平を偲んで 木の作家を訪ねて15 高橋昭五郎氏(室 蘭市在住)	松田 次泰	刀剣美術	477	巻頭特集 版と紙の 饗宴7 高橋洋	(編集部・ 内田)	版画芸術 93
高橋節郎の漆芸につ いて	新明 英仁 聞き手・文 責	氷 華	37	フレッシュ「大き なモノ」求め期待 の現代美術作家 高浜 利也さん 停滞を知 らぬ歩み	石川 健次	毎日夕刊 5.24
高橋節郎は千手観音 だ	武田 厚	ア ー ト ト ッ プ	152	私空間 モニュメン トパレー	高松 伸	朝日夕刊 7.1
空の高みへ導く(高 橋節郎)	篠原 弘	〃	〃	私空間 群れる	〃	〃 7.2
「黒の存在感」(高橋 節郎)	鴉田 正春	〃	〃	私空間 よるべない 夢	〃	〃 7.3
対談シリーズ《絵か い話・美かい話》2 高橋節郎+米倉守	俵 万智	〃	〃	私空間 子供たちの ために	〃	〃 7.4
巻頭特集 版と紙の 饗宴2 タカハシタ ツロウ		(編集部・ 宮田)	版画芸術 93	牛人の「女性」	森田 和夫	富山市箕 牛人記念 美術館 6
リキテックス・アー ティスト・インタ ビュー19 高橋常政 画材の特性を知っ て生み出すオリジナ ルな画法	杜 今日子	デザイン の現場	81	高村光雲作《老猿》を めぐる彫刻と工芸	志邨 匠子	美 学 184
巻頭特集 高橋俊子 人物の内面を表現	嶋田 三郎	ア ー トマ イ ン ド	88	近代日本美術家列伝 61 高村光太郎	原田 光	美術手帖 729
近藤嘉男先生のこと	高橋 晴人	近藤嘉男 の世界展 図録(前 橋文学 館)		新井奥達と碌山・敬 助・光太郎について	柳 文治郎	柳敬助・ 八重夫妻 展—共に 歩んだ肖 像画家と 女性編集 者—図録 (日本女 子大学成 瀬 記念 館)
未来志向「25人の若 き実力作家」高橋 秀年		ア ー ト ト ッ プ	151	木彫日本のかたち十 選6 高村光太郎 「桃」	向井 良吉	日 経 6.12
特集 見せます! パッケージデザイン の裏の裏 座談会 いま、パッケージの 特集するのって時期 が悪すぎる?!	木村 勝 鹿目 尚志 高橋 敏 佐藤 卓	デザイン の現場	81	佐々木象堂作《鑄銅 色絵鸚哥置物》—高 村豊周と佐々木象堂 の工芸観をめぐって	藤田 祐彦	新潟県立 近代美術 館研究紀 要 1
個人蔵 高橋由一 「浅草川暮景」修復 報告	伊藤 由美	修復研究 所報告	12	北九州有象無象(多 賀谷伊徳)		美術の森 83
高橋由一「浅草川暮 景」に見られる変色 部分についての考察	神庭 信幸	〃	〃	'95 WORKS	高安 醇	視 る 343
高橋由一「左官」 「百物館名物記」4	木下 直之	淡 交	607	作家と記録 高山辰 雄	小針 代助	ア ー ト ト ッ プ 150
				対談シリーズ《絵か い話・美かい話》1 高山辰雄+米倉守		〃 151
				稗田一穂の原郷 稗 田一穂の目と心	高山 辰雄	〃 153
				バリ「高山辰雄展」 高山辰雄氏に聞く	油井 一人 聞き手	新美術新 聞 754
				バリ「高山辰雄展」 尾崎正明氏に聞く	〃	〃 〃

平成8年定期刊行物所載文献(作タ)

高山辰雄 石版画集『すがた』(インタビュー)	高山 辰雄 尾崎 正志 版画芸術	93	芸苑雑事記 連載44 楢原健三、鳥居敏文、そして竹谷富士雄	瀧 悌三	美術の窓	155
ルノワール「ピアノを弾く娘たち」	高山 辰雄	日 経	現代陶芸家の文房具 1 竹中浩	編 集 部	墨	121
生老病死の旅路 向こう側は神秘の世界	高山 辰雄	読売夕刊	ロンドンからの手紙	竹中 浩	目の眼	232
創るということ	瀧川 嘉子	GLASS	竹之内直記 土の匂いがする	(編 集 部)	版画芸術	92
瀧川嘉子 ガラス彫刻評価に喜び		毎日常刊	評伝・竹久夢二 夢二絵と大逆事件の根底	三田 英彬	ア ー ト ト ッ プ	152
特集 当代表作家12人が集った平成「連画」の試み 参加作家たちの言葉	滝沢 具幸	美術(月刊)(サンアート)	評伝・竹久夢二2 「絵の形式で詩を画く」	〃	〃	153
特集 日本画遠近 日本画の過去・現在・未来	奥村 靱正 滝沢 具幸 水尾比呂志	武蔵野美術	評伝・竹久夢二3 夢二調登り調子と美貌の他万喜	〃	〃	154
特集 異論!反論!! 院展新世代 作家インタビュー 田口昌宏		美術(月刊)(サンアート)	評伝・竹久夢二4 華やかだが、待てどくらせど来ぬ人を	〃	〃	155
私の夢の美術館 田口雅巳(上) 極楽館でミロのビーナスと握手	田口 雅巳	産 経	カリフォルニアで夢二を見つけた!	袖井林二郎	芸術新潮	554
私の夢の美術館 田口雅巳(下) ゴヤと晩齋が対決する地獄館	〃	〃	近代日本美術家列伝 65 竹久夢二	堀 元彰	美術手帖	731
特集 あの時代の感動へー9人が語る'64年 洪水の時代、重しの石	田口 安男	新美術新聞	画家で詩人の竹久夢二 日本画二点が見つけられる	朝 日	10.3	
星の女神に守られて(高橋節郎館)	田口 善國	ア ー ト ト ッ プ	関東大震災で朝鮮人虐殺 その時知識人は 流言に乗った人、沈黙した人… 360人の反応集め出版 竹久夢二「傍観者を、私は見た」と文		朝日夕刊	6.3
日常の記憶としての美術 7年がかりで古い礼拝堂を再生(田窪恭治)	三田 晴夫	毎日常刊	夢二との交友も語ります、101歳の新内家元岡本文弥さん		読 売 (都民版)	5.14
ぴーぶるinトウキョウ 竹内喜久江さん 「今」を絵に残す使命感	藤田 恵	産 経	夢二の画「奥の細道」発見		読売夕刊	10.15
第9回MOA岡田茂吉賞 竹内氏ら受賞者決まる(竹内浩一)		新美術新聞	追悼：武満徹 「方法としての友」を送る	宇佐美圭司	美術手帖	724
前山尚義君のこと	竹内 庸悦	美術文化復刊	人らんだむ 自伝的エッセイが映画化、公開される田島征三さん	(賀)	新美術新聞	771
武田州左 伝統壊して開く 日本画の新天地	宝玉 正彦	日経夕刊	故岡本太郎氏を偲んで	多田 美波	連 盟 ニ ュ ー ス	366
ぼくの空想コレクション211 刻澄む心の天空ー武田史子	秋山 和歩	美術(月刊)(サンアート)	町と人と 江戸切子職人 但野英芳さん 個性を大切にした作品の確立を		東 京	2.5
出品作家コメント	竹田 康宏	レクイエム一榎倉康二と33人の作家ー展図録(斎藤記念川口現代美術館)	特集 かわいい「かわいい」の系譜 立木泉	編 集 部	美術手帖	720
			特集 ラブリー・コンピュータ 第1部 立花ハジメ 永遠のアイドル、永遠のヴァカンス	佐保村 正人 竹村 信哉	デザインの現場	85

電子ネットワークをめぐるアートの現在 立花ハジメ 新し い世界共通言語で、 新しい話をするために	平林 享子	美術手帖	720	表紙の話 《電気服》	田中敦子	寺口 淳治	和歌山県 立近代 美術館 ニュース	8
旬 路の臺	辰野登恵子 談	新美術新 聞	759	亀倉雄策というデザ イン史	田中 一光		現代の眼	499
私の夢の美術館 描 くことは「祈り」に似 ている	辰野登恵子	産 経	8.11	原弘というデザイ ナーの確かな眼	〃		原弘展 近代クラ フィック ・デザイ ンの夜明 録 (飯田市 美術館)	
マーク・ロスコ展 「無題(マルチフォー ム)」	〃	東京夕刊	2.22	何故「描く」のか?	田中 浩一		美術文化 復刊	17
近刊「私の収穫『精 霊の橋』」	龍村 仁	朝 日	1.21	特集・個と集団	田中 淳		主体美術	1996
茶の湯と名物裂 生 誕百二十年記念展を 祝う(龍村平蔵)	千 宗室	初代龍村 平蔵展 の世 録(高 島屋(日 本橋))		いまこそ、改めて会 の理念を	田中 穰		大調和展 35回図 録 (東京都 美術館)	
龍村平蔵の人と芸術 展覧会・大正八年 (龍村平蔵)	丸山 伸彦	〃		特集 倉俣史朗 倉 俣史朗と私 田中 信太郎	瀧口 範子 伊藤 史子 アグシス 編集部		AXIS	62
龍村平蔵と京都	杉本秀太郎	〃		白木正一大兄を悼む	田中(均) 卒人		美術文化 復刊	17
龍村平蔵と博多織の 意外な関係	烏丸 貞恵	〃		特集・個と集団 初 出品の頃から問題	田中 朝庸		主体美術	1996
龍村平蔵、パリモー ドへの挑戦	深井 晃子	〃		特集 ロシア いま 誕生したデザイン、 いま甦るロシア構成 主義 造形力はリシ ツキーがピカイチ で、その時代の突破 力ではマレーヴィッ チですね	タナカ リユキ	ノ	デザインの 現場	80
龍村の古裂	樋田豊次郎	〃		JAPAN AT R ANDOM タナカ ノリユキの「イ リュージョン」の部 屋 科学・デザイン ・アートを強力につ ないだ未来体験ス ペース			〃	83
境界線の上で	建石 修志	EYES	8	知覚開く仕掛、社会 につなげる一タナカ ノリユキ	堤 篤史	日 経		9.1
淀井敏夫、堀内正 和、建昌覚造、清水 九兵衛、流政之、土 谷武、最上壽之、草 間彌生、豊嘯一素材 とかたちからみた9 人の歩み 4 建昌 覚造と合板	外館 和子	素材とか 触れ合 た対 話展 「フ リ ー ア ー ト '96 図 録 (茨 城 県 近 代 美 術 館)		“夢”を実行する作 家 田中絃子	嶋田 三郎	ア ー ト マ イ ン ド		86
私の夢の美術館 地 下と空中の空間利用	建昌 覚造	産 経	12.6	水上杏平大賞展洋画 部門大賞受賞記念 田中平治郎×水上杏 平		芸 術 公 論		71
エティエンヌ・マル タン 住居2	〃	日経夕刊	10.17	出品作家コメント 私と榎倉康二先生	田中 睦治		レクイエ ム一榎倉 康二と33 人の作家 一展図録 (斎藤記 念川口現 代美術 館)	
空前の彫刻	平井 亮一	建昌朔弥 彫刻新作 展 図録 (東邦画 廊)		この著者と話したい 108 田名網敬一(十 稲田雅子、「一〇〇 米の観光」)				254
特集 福を呼ぶア ートー招福美術、いま 昔 社会の表舞台か ら消えた縁起もの の画像 インタビュー ・田名網敬一		美術(月 刊)(サン アート)	254					255

連載エッセイ わたしのかたちから安らぎを	田中 良平	版画芸術	93	谷中芸術の映像感覚	喜多眞理子	〃	
特集 イラスト新旋風 第1部 BRAND—NEW EXCELLENCE	中島 優子	デザインの現場	84	谷中安規供養塔4、5 白と黒社(前)(後)	大野 隆司	版画芸術	91,92
ヒロシのイラストの世界 道具や偶然性には甘えたくない				谷中安規供養塔6 展覧会場にて	〃	〃	93
写真と心象—田辺三重松の絵画世界	大熊 敏之	田辺三重松展図録(そごう美術館(横浜))		谷中安規供養塔7 挿画(ペン画)	〃	〃	94
田辺三重松を読むための5つのキーワード 「ハラ」と「按配」「絶景」と「ビクチュアレスク」そして「気合」	中塚 宏行	〃		美術団体紹介18 新芸術協会	田沼汪次郎	アートトップ	151
見る画家、田辺三重松—対象との距離と単純化について	富田 章	〃		特集・個と集団	種倉 紀昭	主体美術	1996
竹田直樹氏に聞く彫刻家・田辺光彰作品にパブリック・アートの本質をみる	ギャラリー(月刊)	132		特集 倉俣史朗 倉俣史朗と私 田原桂一	瀧口 範子 伊藤 史子 アクシス編集部	AXIS	62
巨大彫刻で野生稲の保護主張(田辺光彰)		新美術新聞	778	創刊555号記念大特集 日本の神々などのようなときに「神」を感じますか? 血の中の記憶を追う	田原 桂一	芸術新潮	555
田辺光彰さん、野生稲保護、作品で訴え	原野喜一郎	読売夕刊	12.3	田淵俊夫の眼線 いつも写生ばかりしている人	大沼 映夫	アートトップ	154
国際タペストリー・トリエンナーレ出展に際して	田辺 由子	成安造形大学研究紀要	3	田淵俊夫の眼線 刻のひとこま	長谷川浩司	〃	〃
谷岡靖則	平 利弘	語るからだ—10人のアブローア展—北海道・北日本の美術図録(北海道立近代美術館)		田淵俊夫の眼線 刻の感動か、感動の刻か	篠原 弘	〃	〃
旬 鯖	谷川 晃一	新美術新聞	767	田淵俊夫の眼線 田淵先生と黒部の自然	濱田 政利	〃	〃
絵は風景「一〇〇〇点のデッサン」	谷川 晃一	芥川 喜好	読 売 7.28	田淵俊夫の眼線 田淵俊夫の世界	草薙奈津子	〃	〃
未来志向[25人の若き実力作家] 谷川泰宏		アートトップ	151	田淵俊夫インタビュー—感動の軌跡—	編集部 篠原 弘文 責	〃	〃
版に刻んだ夢と愛—風船画伯・谷中安規のこと—	島田 康寛	谷中安規の版画世界展図録(そごう美術館(横浜))		絵は風景「煌」田淵俊夫	芥川 喜好	読 売	11.17
安規と木喰上人行道	伊藤 昭	〃		光満ちる處で花を視る人—田淵安一の新しい仕事に触れて	山梨 俊夫	田淵安一展 宇宙庭園図録(神奈川県立近代美術館)	
安規の物語の挿図	大野 隆司	〃		大孔雀蛾への牡丹一輪	田淵 安一	〃	
月とハモニカ 『谷中安規草稿(ノート)』について	水沢 勉	〃		刻まれた神話十選1 ゴットランド島画像石(馬)	〃	日 経	5.17
				刻まれた神話十選2 ゴットランド島画像石(ヴァイキング船)	〃	〃	5.20
				刻まれた神話十選3 ゴットランド島画像石(巴文)	〃	〃	5.21
				刻まれた神話十選4 ゴットランド島画像石(戦場)	〃	〃	5.23
				刻まれた神話十選5 オーサベルグ女王船	〃	〃	5.24

刻まれた神話十選6 ルーネ文字石碑	〃	〃	5.27						ヒニクなファンタジー展 現代5人世界の図録 (宮城県美術館)
刻まれた神話十選7 スウェーデン青銅器岩刻画(戦士)	〃	〃	5.28						ヒニクなファンタジー(太郎千恵蔵) 和田 浩一
刻まれた神話十選8 スウェーデン青銅器岩刻画(カップ・マーク)	〃	〃	5.29						ファンタズム・イリュージョン 2001年を生き抜くために芸術が手助けできること 太郎千恵蔵
刻まれた神話十選9 スウェーデン青銅器岩刻画(聖婚)	〃	〃	5.30						近代都市と芸術展—ヨーロッパの近代都市と芸術図録(東京都現代美術館)
刻まれた神話十選10 スウェーデン青銅器岩刻画(巨人像)	〃	〃	5.31						西欧の超克は成ったか—丹下健三と黒川紀章の挑戦 松葉 一清
思い出の「菅井汲」、 関西人の不屈な生きざまだった	〃	毎日夕刊	5.28						
特集 サウンド／ アート WrK なにが現象を支えているのか		美術手帖	734						
肥後憧憬 恩師の足跡を辿る 新作刀展覧会の概要 授賞式・講評・受賞作品・受賞のことば	玉岡 俊行	刀剣美術	475						岡本氏死去 「芸術は爆発だ」旋風大衆に人気、作品は賛否 針生 一郎 丹下 健三 朝 日 1.8 強烈な個性貫く一岡本太郎さん 既存の美術、社会を挑発 針生 一郎 丹下 健三 毎 日 1.8 対談 丹野真禎 水上杏平 芸術公論 73
未来志向[25人の若き実力作家] 玉川信一		アートトップ	151						(チ)
絵画におけるカラー ージュ技法の可能性について	玉川 信一	筑波大学 芸術研究 報告	25						昭和会展31回審査報告—審査講評(彫刻) 千野 茂 絵 385 アトリエ拝見その7—千野茂氏 (熱田) 〃 389
§ 作家の言葉 §	〃	福島の新 世代'96 図録展 (福島美 術館)							千野茂彫刻展について 美津島徳蔵 千野茂彫刻展図録(フジカワ画廊)
時の人 JACA 日本 ビジュアルアート展 特別展で最優秀賞	玉野 哲也	アート トップ	155						車李南 素材の自立狙い 染織の伝統破る 坂本 憲一 日経夕刊 6.9
ヴィラデスト農園だ より18 人間の歳月 と自然の生命力を感 じさせたコスモス	玉村 豊男	毎 日	9.22						異能有能 折り紙建築の生みの親、茶谷正洋さん 佐藤 公則 読 売 (都民版) 1.22
対談シリーズ《絵か い話・美かい話》3 田村一男+米倉守		アート トップ	153						鳥海青児を書く(37)—独立出品が一つの終わりをもたらした 原田 光 絵 383
THE KING OF ELECTRON IC DESIGN 5 AMD Awards'95 開催!(たむらしげ る)	江並 直美 構成	デザイン の現場	80						鳥海青児を書く(38)—男泣き 〃 〃 384 鳥海青児を書く(39)—敗戦。泣きもし、踊りもし男泣き 〃 〃 386 鳥海青児を書く(40)—戦後へ 〃 〃 387
客観化から、主体化 へ ステイトメント 1991~1996	太郎千恵蔵	TOKYO POP— 新しい美 術のイ メージ 展 図録(平 塚市博 物館)							鳥海青児を書く(41)—かばちゃのころ 〃 〃 388 鳥海青児を書く(42)—かばちゃにあらず 〃 〃 389 鳥海青児を書く(43)—脱皮の苦しみ 〃 〃 390

平成8年定期刊行物所載文献(作チ、ツ)

鳥海青児を書く(44) —三国行(1)	〃	〃	391	自著を語る『ほのほの君』ほのほの王国は徳島付近?	佃 公彦	東京夕刊	4.18
鳥海青児を書く(45) —三国行(2)	〃	〃	392	木彫日本のかたち十選7 辻晉堂「こども」	向井 良吉	日 経	6.13
鳥海青児を書く(46) —雪ノ下の苦ない先生	〃	〃	394				
北九州有象無象(鳥海青児)		美術の森	83	心眼を念じた一魯山人	辻 清明	北大路魯山人展 美食もてなした芸術(東京都庭園美術館)	
会長と新工芸(帖佐美行)	河合 誓徳	新工芸ニュース	35				
2つの祖国を持つ薩摩焼宗家 14代 沈寿官さん(上) エゴ捨てていた司馬さん	田中 良太 聞き手	毎日夕刊	5.27	美術研究所の五十年 研究生として講師として	辻 司	美をつくし	146
2つの祖国を持つ薩摩焼宗家 14代 沈寿官さん(中) 消えていく「手仕事」の精神	〃	〃	5.28	全日本アートサロン 絵画大賞展 審査評	〃	産 経	1.20
2つの祖国を持つ薩摩焼宗家 14代 沈寿官さん(下) 「青春」や「未来」が残る韓国	〃	〃	5.29	巻頭特集 辻野典代 風景画に展開される生活の哀歎	佃 堅輔	アートマインド	86
	(ツ)			人形師帰ってきたゆかりの人形町に ジュサブローさんが芝居小屋(辻村ジュサブロー)		朝日	11.30
銅版画集『雁の童子』(司修インタビュー)		美術(月刊)(サンアート)	252	津田(敬三)さん进行	岡田 徹	美術文化復刊	17
私の好きな句 宮沢賢治「曇ひたすら月に迫りけり」	司 修 朝 日		6.24	津田敬三氏を偲ぶ	小関 通	〃	〃
おなまけ村5 大きな木の誕生	〃	産 経	8.30	近代日本美術家列伝 48 津田青楓	水沢 勉	美術手帖	722
私の夢の美術館 司修(上) 悪徳と異端の美の効用	〃	〃	11.3	荻原守衛と津田青楓	永沼 孝致	硯山美術館報	17
私の夢の美術館 司修(下) ガウディの魔術が町全体に	〃	〃	11.10	荻原守衛から津田青楓宛て葉書について	学芸部文責	〃	〃
作家・今日のごころ 司修氏 賢治の世界を幻想小説と絵物語に 屈折した人生を投影	浦田 憲治	日経夕刊	8.20	白印絵画の魅力	上菌 四郎	津田白印展 図録(笠岡市立竹喬美術館)	
8月の記憶「生」の意味知らせる「死」の恐怖—平和の教訓得た一方、人間の争う本能は不変	司 修	読売夕刊	8.22	対談 佃堅輔 津田正子		芸術公論	75
特集・個と集団 私と主体美術	塚田 重明	主体美術	1996	特集・個と集団	津田 益男	主体美術	1996
大臣賞制作意図	津金 孝邦	日 展 ニュース	83	津高和一の絵—生と線	高橋 亨	津高和一[追悼]展—絵画とさ詩のはざまで図録(西宮市大谷記念美術館)	
月岡芳年歴史画考	菅原 真弓	美術史	141	津高和一の抽象絵画	中井 康之	〃	
月岡芳年「藤下鯉魚図」大英博物館肉筆浮世絵名品展	浅野 秀剛	朝 日	4.6	津高和一の自邸展	〃	西宮市大谷記念美術館NEWS	12
築城則子さん 伝統の織物再生を担う日々	〃	〃	9.26	名作巡礼 土田麦僊		アートトップ	151
				大正初期の土田麦僊における風景画の成立と推移について—小野竹喬との関係と類似性—	横山 秀樹	新潟県立近代美術館研究紀要	1

近代日本美術家列伝 76 土田麦僊	山梨 俊夫	美術手帖	733	[資料文献]東西絵画の相違及び現代油絵の東洋化と自分の仕事に就て	椿東 貞雄 解題 珠樹	〃	
淀井敏夫、堀内正和、建昌寛造、清水九兵衛、流政之、土谷武、最上壽之、草間彌生、豊嘸一素材とかたちからみた9人の歩み 7 土谷武と鉄	外館 和子	素材と私たちの対話展 フミアミナー'96 美術館録(茨城県美術館)		第3回小磯良平大賞展で大賞に輝いた椿野浩二さん	石田 政司	読 売	10.12
土屋公雄—1996年春	青野 和子	土屋公雄展—虚構と記憶(原美術館)		仕事の現場 坪井明日香	(石)	毎日夕刊	11.22
土屋公雄インタビュー		Hara Museum RE VIEW	33	WORLD WIDE MIX 布=服。PLANTATION の “袋ジャカードの服” (津村耕佑)		デザインの現場	82
特集 イラスト新旋風 第2部 DEE PER! DEEPER! オラシオ・エルネスト(土谷尚武) 毛深いあなた		デザインの現場	84	記念展によせて	鶴 甫	瑠璃25回記念展(福岡市美術館)	
土屋瑞穂【テラコッタ】demo—semi報告「表現と素材4」		SYNC IN ART 通信	6	人間をみつめて		鶴岡政男、松本竣介、麻生三郎展(素描を中心とし、群馬県立近代美術館)	
巻頭特集 風景画の見かた—自然と対話する画家たち—人気作家エッセイ集『風景』について思うこと 雲の魅惑	土屋 礼一	美術の窓	153	青い絵具の匂い—松本竣介と私—第20回 鶴岡政男の大福餅	徳江 庸行	鶴岡政男、松本竣介、麻生三郎の素描について	
絵は風景 岫雲 土屋礼一	芥川 喜好	読 売	8.4	鶴田一郎 現代美人画絵師	(編集部)	美術の窓	159
故白木(正一)先生を偲んで	筒井 年男	美術文化復刊	17	鶴丸和久—<線>の造型—	山西 健夫	版画芸術	91
特集・個と集団「ひとりはおみんなのために?」	続橋 守	主体美術	1996		(テ)	鶴丸和久展(鹿児島市立美術館)	
展覧会 アンディ・ウォーホル 彼自身最後は大量消費財に	恒松 正敏	朝 日	4.20	勅使河原宏によるインスタレーション 海を舞台に竹のオブジェ	渋谷 和彦	産 経	9.29
写真、その永遠なるもの—椿貞雄の芸術—	東 珠樹	椿貞雄展100周年記念(平塚市美術館)		あの夏のヒーロー2 手塚治虫	石坂 啓	毎日夕刊	8.8
椿貞雄とその時代	原田 実	〃		未来志向[25人の若き実力作家] 手塚雄二		アートトップ	151
非礼を詫げる—椿貞雄さんの思い出—	岡崎 恭一	〃		特集 異論! 反論!! 院展新世代 作家インタビュー 手塚雄二		美術(月刊)(サンアート)	250
椿貞雄とふるさと米沢・山形	加藤 千明	〃		萌春時絵水指(寺井直次) 所蔵品紹介(56)		石川県立美術館だより	148
内なるものへの眼差し 椿貞雄—鶴沼時代を中心に	岡部 幹彦	〃		てらびかの夢8 Hideo	寺門 孝之	美術手帖	718
千葉県船橋尋常高等小学校時代の椿貞雄	三浦 拓郎	〃		てらびかの夢9 闇歩き/河をボートで行く女性	〃	〃	720

てらびかの夢10 終 ワリ名古屋/日の丸 の結晶	〃	〃	721					LIFE/ ART/ TECHN OLOGY —生物/ いのち/ ART展 図録(O 美術館)
てらびかの夢11 裁 判/排便/クラウ ディア	〃	〃	722	<展示コメント>	銅金	裕司		
てらびかの夢12 白 衣の音楽	〃	〃	724					
てらびかの夢13 い い時代のおっちゃん/ 湊くん	〃	〃	726	<アンケート>	〃	〃		
てらびかの夢14 寺 山修司コレクション/ 僕の切手、蛇の 噛み痕	〃	〃	727	富樫実先生退官にあ たって	井筒與兵衛	成安造形 大学研究 紀要	3	
日展満50年(3) 安 井曾太郎先生の言葉	寺島 龍一	新美術新 聞	762	モニュメント「空に かける階段 '94— 25」	富樫 実	〃	〃	
木の造形・木の魅力 (寺本照正) 美術の みかた24	外館 和子	ア ー ト フ ォ ー ラ ム	34	受賞作家の言葉(第 9回京都美術文化 賞)	〃	美術京都	17	
				特集・個と集団 個 と集団	渡ヶ敷唯信	主体美術	1996	
(ト)								
東郷青児の前衛体験	小泉 淳一	鹿島美術 研究	13	§第50回女流画家協 会展によせて§	戸川ふみ子 (旧新井) 談	女流画家 協会展50 回 図 録 (東京都 美術館)		
一九二〇年代の新古 典主義的傾向と日本 —黒田重太郎と東郷 青児を中心に	大谷 省吾	現代の眼	499	巡回する表象	森田 一	巡回する 表象—鯨 津朝子展 図録(斎 藤記念川 口現代美 術館)		
受賞者インタビュー VOCA展'96—東 島毅		ギ ャ ラ リ ー (月 刊)	130					
第3回VOCA賞に 東島毅氏		新美術新 聞	757	第2特集 フット ワーク このデザイ ナーたちの足さばき 常盤響 私の10年 後 10年ごとに周期 が訪れるようなの で、また新しい10年 が始まっている、か なあ	西村 佳哲 取材・文	AXIS	60	
'96VOCA賞を受賞 した東島毅さん	(美)	〃	760	常盤響のはずしが狙 いのスピード・デザ イン 「東京ボーイ ズ・ブラボー」		デザイン の現場	82	
第7回五島記念文化 賞決まる 古伏協司 氏・東島毅氏		〃	762					
特集 平成8年前期 の美術賞とその作品 —“絵画的なもの” と“彫刻的なもの” の現場—東島毅と明 和電気	小松崎拓男	美術(月 刊)(サン アート)	251					
序論	増田 玲	東松照明 写真展図 録(東京 国立近代 美術館)		徳岡神泉の世界	加藤 類子	徳岡神泉 誕生記 100年 記念 図 録(小田 急 美術館)		
東松照明の沖縄写真 をめぐって	松本 透	〃		未完の富士山図— 神泉芸術晩年の行方—	島田 康寛	〃		
作家と記録 堂本印 象	小針 代助	ア ー ト ト ッ プ	150	父神泉の生誕100年 を迎えて	徳岡 房子	〃		
多摩川丸子緑地 堂 本右美さん	(路)	読売夕刊	8.29	旺玄会再建五十年— これからの展望	野老山 作太郎	新美術新 聞	766	

[テクノロジーととも] (土佐尚子)		美術家の冒険展 「多面化する表現手法」 国際美術館		妄想写真帖3 富士百態一まがまがしさの手前	伴田 良輔	武蔵野美術	99
\$ 作家の言葉 \$	土志田 ミツオ	今日の作家展31回 横浜から横浜へ 横浜(横民ラギヤ)		大特集 掌の美 愛しきものへのラヴレター 折れたバックル	豊福 知徳	芸術新潮	559
特集 マテリアル・ワールド 戸田トトム氏インタビュー Adaly から、質感をめぐって	編集部・稲本	AXIS	61	鳥居敏文さんの作品	本間 正義	檜原健三、鳥居敏文、ねりまの美術区立美術館	
近代日本美術家列伝 57 戸張孤雁	橋 秀文	美術手帖	727	芸苑雑事記 連載44 檜原健三、鳥居敏文、そして竹谷富士雄	瀧 悌三	美術の窓	155
大特集 司馬遼太郎が愛した「風景」 目にしみるふたつの赤富岡鉄斎+観心寺・如意輪観音		芸術新潮	560	特集 美術賞とその受賞作品'95 受賞作家インタビュー 鳥原正敏(新制作)		美術(月刊)(サンアート)	244
清荒神と鉄斎		秋季名品展一清荒神一 「鉄斎美術館」		今月の名ショット11 サラリーマン前線 異常あり!?(鳥光桃代)	安齋 重男 写真・文	美術手帖	724
鉄斎の人物画		鉄斎が描いた人物展 「鉄斎美術館」		(ナ)			
水墨画と鉄斎		鉄斎の水墨画展 「鉄斎美術館」		特集・個と集団	内藤 純璋	主体美術	1996
嵐峽の雅会一富田溪仙とポール・クロデル	芳賀 徹	富田溪仙展 60年記念 「京都市美術館」		創刊555号記念大特集 日本の神々どのようなきに「神」を感じますか? “見える自然”と“見えない自然”	内藤 正敏	芸術新潮	555
溪仙の前半生	古川 智次	〃		写真の時代5 デ☆ NAKA 写真 林修 監修	文浩	デザインの現場	81
富田溪仙の絵画世界について	塩川 京子	富田溪仙展 60年記念 「京都市美術館」		\$ 第50回女流画家協会 展によせて \$	中 敬子	女流画家協会展50回 「京都市美術館」	
近代日本美術家列伝 71 富本憲吉	水沢 勉	美術手帖	732	名嘉睦稔 沖縄版画漂流 神々の舞い降りる島一伊世名島		版画芸術	92
個展の声 此の頃思うこと	友添 泰典	絵	383	名嘉睦稔 沖縄版画漂流 琉球紅型一版画の原点 城間紅型研究所を訪ねて		〃	〃
ROM&WEB MIX 伴田良輔CD-ROM版「独身者の科学」十二のコースでめぐる20世紀<独身者>たちへ	岩崎真美子	デザインの現場	83	FACE MIX 永井一正 一九九六年 ADCグランプリ受賞 生き物の深い意味性をロットリングで描き明かす	白田 捷治	デザインの現場	83

巻頭特集 色彩の見 かた グラフィック デザイナー永井一正 が語るデザインにみ る色の力	編集部イン タビュー	美術の窓	158	不可視なかたちをう つすもの	長尾 浩幸	成安造形 大学研究 紀要	3
特集 かわいい 「かわいい」の系譜 長井かほる	編 集 部	美術手帖	720	特集・個と集団 あ る緊張感	長尾 和	主体美術	1996
藍染め一筋中井貞次 さん	藤 慶之	日本美術 工芸	689	「自然と人との語ら い」野外彫刻が屋上 庭園に(中岡慎太郎)		雪椿通信	6
同系色の極意	中井 貞次	視 る	346	特集・個と集団 カ ラスの戯れごと	中川奈哥子	主体美術	1996
火の神を畏敬し	永井鐵太郎	太田儀八 ・北野熊 雄・能勢 海旭一郷 土の作家 三人展(浜 松市美術 館)		特集・個と集団 創刊55号記念大特 集 日本の神々 のようなきに「神」 を感じますか? 花 神	中川 幸夫	芸術新潮	555
'95モダンアート 明日への展望展をめ ぐって	永井 肇	モダン アート展 46回図録 (東京都 美術館)		受賞者インタビュー 昭和シェル石油現 代美術賞—中川佳宣		ギャラリ ー(月刊)	135
作家訪問 漆芸 長 井均さん		目 の 眼	234	巻頭特集 版と紙の 饗宴1	中川 佳宣	版画芸術	93
はてな?おもしろ浮 世絵116 逆もまた 真なり 国芳「両面 相」の妙技	中右 瑛	”	232	巻頭特集 中久木康 夫「動体」の積極的 表現	嶋田 三郎	アートマ インド	87
はてな?おもしろ浮 世絵118 国芳の役 者似顔絵 マンガ百 面相の諧謔	”	”	234	PAPER IN MY WORK51 永倉智 彦 ナチュラルな 紙、シンプルな表現	中島 優子	デザインの 現場	82
はてな?おもしろ浮 世絵120 わっちは 宮本武蔵なり一國芳 の鯨退治	”	”	236	私のリフレッシュ 陶芸家 中里隆さん 古楽コンサート 自ら包丁ふるいパー ティーも	(堅)	毎 日	11.5
はてな?おもしろ浮 世絵121 国芳武者 絵はSF劇画 二次 元と三次元の世界を 同時表現	”	”	237	幸せのレシピ 長沢 節 南仏の定宿 宿 とワインの快樂	長沢美津子 インタ ビュー	朝日夕刊	6.6
はてな?おもしろ浮 世絵122 国芳美人 画にみる抒情の世界 「女のいる風景」	”	”	238	特集/プログラムを 操るデザイナーたち 「デジタルネンド」 もイラストレーショ ンもぼくの作品です 中ザワヒデキ	笹浪 尚之	AXIS	63
はてな?おもしろ浮 世絵123 意外性を 狙った国芳の「影絵 あそび」	”	”	239	今月の名ショット8 お立ちの際は頭上 にご注意下さい。 (長沢英俊)	安斎 重男 写真・文	美術手帖	720
はてな?おもしろ浮 世絵124 『写楽』に 燃えつきたフラン キー堺さんの役者人 生ロマン	”	”	240	「京の町家」に照り映 える現代造形 ミラ ノ在住・長沢英俊氏 の8点を内外に	松村 寿雄	産 経	5.5
はてな?おもしろ浮 世絵127 あっと驚 く近代画法 鳥に なった広重	”	”	243	京の町家、不思議な 和音(長沢英俊)	安斎 重男 撮影	日 経	4.28
長江録弥先生日本芸 術院会員就任祝賀会	(S)	日彫会報	37	破られた「現前」信仰 長沢英俊「京の町 家」展が告げるもの	峯村 敏明	毎日夕刊	4.8
				パブリックアート熱 の陰で「建築主導 型」に批判—怒る彫 刻家・長沢英俊氏 池の水抜かれ 照明 設置 勝手に作品を 変更	三田 晴夫	”	4.19

とれんどin 美術 長沢英俊〈京の町 家〉展 伝統家屋の 「場」生かす 震災後 ならではの企画	菅原 教夫	読売夕刊	1.26	ポスターの熱き時代 十選1 ソウル・バ ス「悲しみよこんに ちは」	長友 啓典	日 経	9.23	
JAPAN AT RA- NDOM 『パピエ・ コレ』vol.3、13年振 りに刊行！神学から ボルノまで回遊する ディレクター、長 澤均	大槻 紀子	デザイン の現場	85	ポスターの熱き時代 十選2 ベン・ シャーン「水爆実験 反対」	〃	〃	9.25	
世界とともに動く永 澤陽一の服づくり	清水 早苗 インタ ヴェュー	〃	〃	ポスターの熱き時代 十選3 リチャード ・アベドン「ピート ルズのジョン・レノ ン」	〃	〃	9.27	
緊張感のある形態を 求めて 草津高原現 代美術館シンポジウ ムでの制作を通して (1995年夏)	中嶋 一雄	東北芸術 工科大学 紀要	3	ポスターの熱き時代 十選4 ヤン・レ ニツァック オペラ 「ヴォツェック」	〃	〃	9.30	
対談 21世紀を見据 えて	絹谷 幸二 中島 篠原 会	幸二波 ア ー ト ト ッ プ	152	ポスターの熱き時代 十選5 横尾忠則 「状況劇場のジョン ・シルバー」	〃	〃	10.1	
kuu 空の画家・中島千 波	篠原 弘	〃	〃	ポスターの熱き時代 十選6 アンディ・ ウォーホル「ウォー ホル展」	〃	〃	10.3	
前向きな絵画・うしろ 向きな日本画—中 島千波の絵	野地耕一郎	〃	152	ポスターの熱き時代 十選7 作者不明 「怒りの芸術週間」	〃	〃	10.4	
花彩時記 1~9	中島 千波	美術(月 刊)(サン アート)	247~255	ポスターの熱き時代 十選8 ミルトン・ グレイザー「ポップ・ ディラン」	〃	〃	10.7	
特集 当代人気作家 12人が集った平成 「連画」の試み 参加 作家たちの言葉	〃	〃	248	ポスターの熱き時代 十選9 ビーター・ マックス「ロート レック」	〃	〃	10.9	
Being ART Wat ching26 滅びに向 かう人間への凝視— 中島敏明	中野 中	ギャラリ ー(月刊)	137	ポスターの熱き時代 十選10 レイモン・ サヴィニャック「シ リーズ 掲示禁止」	〃	〃	10.10	
MATSUDA 1996 秋/冬カタログ 〈NAKED NEW- YORK〉がとらえ たリアルの絶対温度	中島 英樹 後藤 繁雄	デザイン の現場	84	美術家の展覧会	中西 博之	美術家の 冒険展 「多面化 する表現 と手法」 図録(国 立国際 美術館)		
自然美の表現 イン タビュー・中島康正	〃	美術(月 刊)(サン アート)	250	New Face	中西良	篠原 弘	ア ー ト ト ッ プ	150
特集・個と集団	中島 佳子	主体美術	1996	表紙の言葉 外から 内へ、内から外へ	中西 良	絵	387	
特集 ロシア いま 誕生したデザイン、 いま甦るロシア構成 主義 ロシア・ア ヴァンギャルドは私 の既視感である	仲條 正義	デザイン の現場	80	青い絵具の匂い—松 本竣介と私—第13回 国画展の懇親会	中野 淳	美術の窓	153	
17年ぶりの港区名誉 区民に木工芸家の人 間国宝、中臺氏(中 臺瑞真)	産 経	〃	12.11	青い絵具の匂い—松 本竣介と私—第14回 第一回美術団体連 合展	〃	〃	154	
木工芸の創作一筋70 年、名誉(港区)区民 に人間国宝中臺瑞真 氏	読 売 (都民版)	〃	12.11	青い絵具の匂い—松 本竣介と私—第16回 第十一回自由美術 展の初日	〃	〃	155	

平成8年定期刊行物所載文献(作ナ)

青い絵具の匂い—松本竣介と私—第17回 思い出の芝生会議	〃	〃	156	向う三軒両隣 神奈川 川横町12 長宗希住 存在不安の絵画の 見方	武田 厚	美術の窓	154
青い絵具の匂い—松本竣介と私—第19回 自由な精神	〃	〃	158	特別企画 荒川修作 +マドリル・ギンズ 忘視・忘身体	中村 一美	現代思想	24—9
青い絵具の匂い—松本竣介と私—第20回 鶴岡政男の大福餅	〃	〃	159			中村一美 展—破庵 一図録 (西武 アート フォーラ ム(池 袋))	
青い絵具の匂い—松本竣介と私—第21回 塊の裸婦	〃	〃	160	破庵について	〃		
青い絵具の匂い—松本竣介と私—最終回 最期の微笑み	〃	〃	161				
私の履歴書28 二人 の泰斗(長野埜志)	坂本 五郎	日 経	12.29	《作品解説》中村一 美「方法を持つ者」	板野 啓子	美術の森	82
「寂寥の日」と芭蕉	中野 弘彦	成安造形 大学研究 紀要	3			レクイエ ム—榎倉 康二と33 人の作家 展図録 (斎藤記 念川口現 代美術 館)	
特集 当代人気作家 12人が集った平成 「連画」の試み 参加 作家たちの言葉	中野 嘉之	美術(月 刊)(サン アート)	248	出品作家コメント 「レクイエム」展のた めのコメント	中村 一美		
ヒニクなファンタ ジー(中野渡尉隆)	和田 浩一	ヒニクな ファンタ ジー展 現代5人 の想像世 界(宮城 録 県 美術館)		作品「風の調べ、息 の響き(映像音響 詩)」解説	中村 滋延	瓜生：京 都短期大 学紀要	18
§ 作家の言葉 §	中野渡尉隆	〃		キャンパス連ね半世 紀 通信省の絵画 サークル、今でも絵 筆	中村 就一	日 経	12.5
出品作家コメント 榎倉康二と私	長橋 秀樹	レクイエ ム—榎倉 康二と3 3人の作 家—展図 録(斎藤 記念川口 現代美術 館)		理事長中村晋也先生 バリ個展	(S)	日彫会報	37
MUSIC MIX mu- sic column1 暴力 温泉芸者 エグお しゃれなジャケワ ーク(中原)		デザイン の現場	83	人間往来 千家十職 の塗師、新感覚で問 う(中村宗哲)		朝日夕刊	12.18
地球人ジャパニーズ インドの建築家 中原一博氏	鈴木 慎一	日経夕刊	6.24	二枚の絵「慕 婦 絵」/狩野吉信「職人 尽図」	中村 宗哲 若杉 準治 奥平 俊六	毎 日	6.9
中原浩大 ちゃんと した美術の使い方		美術手帖	732	曖昧な手の表現—中 村舜の作品描写にお ける一特徴— 研究 ノートNo.15	舟木 力英	茨城県近 代美術館 だより	30
長原孝太郎「焼芋屋」 「百物館名物記」2	木下 直之	淡 交	605	やっと見つけた中村 舜“二十歳の原点”	鹿野 則彦	芸術新潮	560
未来志向[25人の若 き実力作家] 中堀 慎治		ア ー ト ト ッ プ	151	中村舜現存最初の油 彩	金原 宏行	〃	〃
名画再読 中丸精十 郎「瀑」	芥川 喜好	読 売	3.10	中村舜筆 海辺の村 〈白壁の家〉	古田 亮	国立博物 館ニュー ス	590
オリジナルの難しさ 平成八年新作刀展 覧会の概要 授賞式 ・講評・受賞作品・ 受賞のことば	長嶺 雅臣	刀剣美術	475	近代日本美術家列伝 72 中村舜	堀 元彰	美術手帖	732
				〈近代大阪の日本画 家たち5〉 北野恒 富と中村貞以	橋爪 節也 村越 英明	茶道雑誌	60—8
				未来志向[25人の若 き実力作家] 中村 徹		ア ー ト ト ッ プ	151
				一番星 中村至男さ ん ひらめき、何よ り優先	広瀬 融	日 経	11.23

“戦争画”としての「砂川五番」、戦後50年を洞察する中村宏の眼	萬木 康博	毎日夕刊	1, 29					ヒニクなファンタジー展 現代5人世界の想像図録(宮城県美術館)
中村芳雄君を惜しむ	塩水流 功	美術の窓	154					
イタリア蠟型美術鑄造法研究—国内受容の経緯についての考察—	中村 義孝	筑波大学芸術研究報告	25					ある静かな夜に 奈良 美智 “ “
中村善種氏を悼む	芝田 耕	新美術新聞	755					奈良岡正夫、工藤甲人両氏弘前市名誉市民に 新美術新聞 779
仲山計介【日本画】demo—semi報告2【表現と素材2】		SYNC IN ART 通信	5					日展満50年(2) 第一回日展に出品の頃 橋原 健三 “ 761
今月の名ショット17 なかよくなりた。でも、ちょっとコワイ。(中山ダイスケ展)	安齋 重男 写真・文	美術手帖	733					橋原 健三、鳥居敏文のねりまの美術'96図録(練馬区立美術館)
中山ダイスケさん 原体験、おくせず生かす		日 経	11. 2					
中山巍作品の“加筆”基礎資料から探求	柳沢 秀行	JAAM	49					芸苑雑事記 連載44 橋原健三、鳥居敏文、そして竹谷富士雄 瀧 悌三 美術の窓 155
大臣賞制作意図	中山 忠彦	日展 ニュース	83					『造形学研究』第14号の成田克彦研究 高田 学 C.A.R. 22
ぼくの空想コレクション221 天使の素顔—中山智介	秋山 和歩	美術(月刊)(サンアート)	255					成田克彦論—未完の物語— 菅 章 造形学研究 14
淀井敏夫、堀内正和、建畠寛造、清水九兵衛、流政之、土谷武、最上壽之、草間彌生、齋嘯—素材とカタチからみた9人の歩み 6 流政之と石	外館 和子	素材とカタチ 対話フリー—美術館'96図録(茨城県近代美術館)						「成田克彦氏との出会い」 杉木 浩一 “ “ 試論—成田克彦 母袋 俊也 “ “ 「定住漂泊」(成田克彦) 岡村多佳夫 “ “ 成田さんの遺作展を見て(成田克彦) 星野 鈴 “ “
震災の奥尻島に慰霊碑を贈った彫刻家 流政之さん	樋口 郁子	読 売	12. 27					二紀50年に思う 成井 弘 新美術新聞 777
大臣賞制作意図	那須 勝哉	日展 ニュース	83					難波田龍起—絵を描くことで自分は救われてきた、“生の記録”をキャンバスに描き続けたい 新美術新聞 140
大特集 掌の美 愛しきものへのラブレター—平凡寺の血脈	夏目房之介	芸術新潮	559					難波田龍起 東京都文京区駒込林町 芳賀 敏博 新美術新聞 778
失明乗り越え「電子画集」、妻と2人3脚、独特の画法 エム・ナマエ		読売夕刊	6. 19					文化功労者 描き続ける生の記録—難波田龍起さん “ 783
売り込み君20	浪貝 貴子	デザインの現場	81					アトリエの画家たち 12 難波田龍起 抽象の詩情と生命 田中 誠一 版画芸術 93
並木 治予視の閑話よもやま話 その一～六	並木治予視	アートマインド	83～88					(ニ)
特集 かわいい「かわいい」の系譜 奈良美智	編 集 部	美術手帖	720					染織テキスタイル研究室展 仁尾 敬二 瓜生：京都芸術短期大学紀要 18

思想としてのcast/ 彫刻「西雅秋ノ ト」から	藤島 俊會	西雅秋展 DEATH MA- TCH 1996 気溝図録 (神奈川県 民ホール ギャラリー)	作家訪問(238) 草 木染 仁平幸春さん 〈近代大阪の日本画 家たち3〉 須磨對 水と庭山耕園一船場 の絵描きの床映り	編集部 目の眼 240	鈴木 幸人 茶道雑誌 60-6
特集・個と集団	西 良三郎	主体美術 1996		(ヌ)	
MUSIC MIX mu- sic column 3 ロ ビン西 カエルカ フェレーベルでみせ たCGの新境地	水越 真紀	デザインの 現場 85	同僚をモデルに彫刻 作り続ける、沼尻あ や子さん		朝日夕刊 6.15
唐津焼の陶片を師と して	西岡 小十 村山 武	目の眼 232			
インドが教えた美と 友情、出身国異なる 5人、ジャンル乗り 越え共同展	西岡由利子	日 経 12.27			交感する 磁場—6 つの個展 河口龍夫 鈴木 実二 能島征二 村松秀太 郎
天性の絵筆、世界へ 知的障害者施設で 絵画教室、新たな芸 術運動に	西垣 籌一	〃 12.24	生命と芸術の哲学者 —能島征二	中田 智則	山本文彦 和太守卑 良 図録 (茨城県 近代美術 館)
特集 書を贈りたい! —西川寧から青 山杉雨への贈り物	堀 久夫	墨 118			太田儀八 ・北野熊 雄・能勢 海旭一郷 土の作家 三人展 (浜松市 美術館)
染織テキスタイル研 究室展	西川 陽子	瓜生：京 都芸術短 期大学紀 要 18			能勢眞美 展 図録 (北海道 立帯広美 術館)
作家訪問(229) 陶 芸 西島隆さん		目の眼 232	旭光燦々—能勢海旭 先生とその書—	鈴木 徳雄	新美術新 聞 779
日展会員賞制作意図	西田 亨	日 展 ニュース 83			
未来志向「25人の若 き実力作家」 西田 俊英		ア ー ト ト ップ 151			
時の人 第1回足立 美術館賞を受賞した 西田俊英さん	西田 俊英	〃 154	能勢眞美—その風景 の背後にあるもの	蒲田 享	
第1回足立美術館賞 に西田俊英氏		新美術新 聞 770	色いろ調 画家・野 田英夫異聞	安井 収蔵	
生への思い	寺門 寿明	西成田育 男展 CYPRE SS 図録 (シロタ 画廊)	特集 ロシア いま 誕生したデザイン、 いま甦るロシア構成 主義 構成主義やモ ダニズムにマックで ケリをつける作業は 終わった	能登 伸治	デザイン の現場 80
一瞬の様相としての 空間	清水 敏男	西成田洋 子展 FIELD- OF ME- MORY 図録(コ バヤシ画 廊)	野又穂 想像力の深 呼吸	編集部イン タビュール	美術手帖 724
故郷の画友を悼む (西原元)	岸 浩	モダン アート展 46回図録 (東京都 美術館)	芸術公論殿堂作家賞 受賞記念対談 水上 杏平 野町佐代		芸術公論 73
シンディ・シャーマ ン—人形作品にも強 烈な存在感	蜷川 実花	朝 日 11.16	種田一穂の原郷 た まには会いたいよ 私の夢の美術館 早 世した若者たちを祈 念して	野見山暁治	ア ー ト ト ップ 153
			モネ「プールのヴィル の海岸、夕日」	〃	産 経 1.14
				〃	東京夕刊 10.24

アンリ・ルソー 「M夫人の肖像」	〃	日経夕刊	2.5	名画再読 橋本八百二 「交代時間」	芥川 喜好	読 売	3.3
出品作家コメント	野村 和弘	レクイエム 二と33 康人の作家 一展図録 (斎藤記 念川口現 代美術 館)		特集・個と集団	橋本 礼奈	主体美術	1996
思い出の中の女流展	野村 千春	女流画家 協会展50 回図録 (東京都 美術館)		藤田喬平の光彩 藤田喬平さんのこと	藤 蓮田修吾郎	ア ー ト ト ッ プ	155
《作品解説》野村仁 「北緯65°の太陽」	久保 洋子	美術の森	84	特集 ザ・美術団体 創立会員談話 美 術家にとって団体と は?	〃	美術(月 刊)(サン アート)	255
特集・個と集団 個 の存在	野本 醇	主体美術	1996	日展満50年(1) 第 一步からの出発	長谷川 昂	新美術新 聞	760
(ハ)				石黒宗麿の八潮開窯 と長谷川忠夫氏につ いて	小野 公久	陶 説	521
				発見!長谷川利行の 二作	尾崎 真人	美術(月 刊)(サン アート)	251
				長谷川誠さん「楽 しく描かせる」心が ける		読売夕刊	9.20
音楽と美術—その創 造の根源—	萩 駿	国立国際 美術館月 報	51	巻頭特集 日本の風 景木版画 美しき山 河 版画の探求から 探求の版画へ	長谷川雄一	版画芸術	92
特集 あの時代の感 動へ—9人が語る '64年「鎧へる 人」に就いて	萩原 英雄	新美術新 聞	757	修復記録 長谷川路 可《オスチア》/長 谷川路可《カナチ エ》	小林 嘉樹 石井 亨	石橋美術 館館報	44
萩原英雄 東京都杉 並区救世軍杉並療養 所	山田 明子	〃	775			語るからだ —10人の アプロ チ展・北 海道・今 日の美術 図録(北 海道立近 代美術 館)	
近代日本美術家列伝 52 橋口五葉	橋 秀文	美術手帖	724	端聡	浅川 真紀		
特集・個と集団	橋本 章	主体美術	1996				
新芸術院会員に奥谷 博氏、彫刻は橋本堅 太郎氏		新美術新 聞	785				
後世の目 平成八年 新作刀展覧会の概要 授賞式・講評・受 賞作品・受賞のこと ば	橋本 瑠巴 (太郎)	刀剣美術	475	後記	星野 桂三 星野万美子	秦テルヲ 展「京都 追憶」(星 野 廊) (京 都)	
巻頭特集 橋本太久 磨 自在な表現から 力 抑留体験とユー モアと	安井 収蔵	アートマ インド	84	巻頭特集 色彩の見 かた インドの染織 とミニチュールの 色彩の魅力 インド 西とインド帝王黄	晶中 光享	美術の窓	158
特集 コラボレイ ティブ・デザイン コラボレーション 私の場合	橋本 文隆	建築雑誌	1397	アトリエ訪問第3回 晶山孝一 海が語 る	高山 淳	〃	155
スタジオ・クラフト を介してアバカン ヴィッチから橋本真 之へ—素材相対主義 の系譜と克服	金子 賢治	東京国立 近代美術 館研究紀 要	5	電子ネットワークを めぐるアートの現在 八谷和彦 電子の あなたとめぐり逢え たら	編集部イン タビュ	美術手帖	720

特集 都市とアートの真相 八谷和彦 ぼくたちに「見える」 ものってなんだろう？	有馬 純寿 聞き手	〃	733	林敬二の「自我空間」	陰里 鐵郎	林敬二展 自我空間 の出来事 —1980～ 1996図録 (東郷青 児美術 館)	
第25回現代日本美術 展和歌山県立近代美 術館賞 鉢呂祐二氏 《心象サーカス2》	井上 芳子	和歌山県 立近代美 術館 ニュース	9	自我空間の自由	ロマノ・ヴ ルビッタ	〃	
河合勇について	八田 豊 インタビュー ビュー	河合勇展 図録(福 井県立美 術館)		特集 平成8年前期 の美術賞とその作品 受賞作家インタビ ュー・林敬二(安田 火災東郷青児美術 館大賞)		美術(月 刊)(サン アート)	251
特集・個と集団 苦 しみの日録	花原寿美恵	主体美術	1996	陶芸の美 林小六	小針 代助	ア ー ト ト ッ プ	153
特集・個と集団	濱 哲郎	〃	〃	林俊衛の人と画境	下平 正樹	林俊衛展 図録(不 忍画廊)	
浜田さんの思い出	舟越 保武	浜田知明 の全容展 図録(小 田急美術 館)		一酒場から	後藤 洋明	〃	
「人間」としての「心 の叫び」—「浜田知明 の全容」展によせて	小川 正隆	〃		父の絵のこと	林 聖子	〃	
浜田知明と私	池田満寿夫	〃		日展会員賞制作意図	林 昭三	日 展 ニ ュ ー ス	83
浜田知明—銅版の 「鋭い線」と「深い明 暗」	杉野 秀樹	〃		巻頭特集 版と紙の 饗宴6 林孝彦	(編集部・ 辺見)	版画芸術	93
浜田知明の彫刻	大河内菊雄	〃		林武の復活	牟田 行秀	絵	391
「初年兵哀歌」が語る もの(浜田知明)	濱本 聡	〃		林武探求—人生と芸 術の調和律	岡部 昌幸	林武展 生誕100 年記念図 録(東京 都庭園美 術館)	
時超え語るアッシリ ア美術	浜田 知明	朝日夕刊	8.20	父を振り返る	林 滋	〃	
ダルゴス・ドゥブ ラッシュ男爵の生涯	瀬尾 典昭	浜田浜雄 展 図 録 (渋谷区 立松涛美 術館)		林武と富士の絵	足立 朗	〃	
三世 早川尚古斎 「提梁花籃」		芸館だよ り	125	ふだん着の林武	安井 収蔵	〃	
早川タケジ 「カッ コよさ」を創造のテ ーマに	富田 律之	日 経	11.17	反骨の源—林武	宇根元 了	〃	
巻頭特集 花の見か た描き方 グワッシ ュで描く花 技法講 座4 早川義孝		美術の窓	160	特集 戦後洋画壇最 後の巨匠 天才梅原 と努力の林武 志高 く、スケールの大き な明治の画人ふたり	(K)	美術(月 刊)(サン アート)	253
早坂貞彦 佐々木健 治【公開制作「平面」】 demo—semi 報告 4		SYNC IN ART 通信	5	特集 戦後洋画壇最 後の巨匠 天才梅原 と努力の林武 赤の 表現にみる二人に違 い	瀬木 慎一	〃	〃
特集 当代人気作家 12人が集った平成 「連画」の試み 参加 作家たちの言葉	林 功	美術(月 刊)(サン アート)	248	特集 戦後洋画壇最 後の巨匠 天才梅原 と努力の林武 市場 評価にみる両作家	清水 秀作	〃	〃
受賞者インタビュー 第19回安田火災東郷 青児美術館大賞—林 敬二		ギャラリ ー(月刊)	139	特集 戦後洋画壇最 後の巨匠 天才梅原 と努力の林武 鑑定 の現状とその窓口	編 集 部	〃	〃
第19回安田火災東郷 青児美術館大賞 林 敬二が受賞		新美術新 聞	768	名画再読 林武「ノ ートルダム」	芥川 喜好	読 売	5.19
				好きな民家描いて25 年たちました	早津 剛	朝 日	5.26

「劉生と御舟」展開催にあたって	成瀬 美幸	劉生と御舟展図録(豊田市美術館)	人間発見した木1 紙は進化 阪神大震災の焼け跡に再生紙を使った教会と仮設住宅を建築人々は初め疑いの目	坂 茂 藤 徳夫 日経夕刊 9.2	
御舟にとっての劉生	山崎 妙子	〃	人間発見した木2 紙は進化 劣悪だった非難の外国人への対応は不十分公園を占拠し秘密の仮設住宅づくり	〃 〃 9.3	
御舟・古径・土牛の時代—近代—現代日本画の道程—(速水御舟)	草薙奈津子	三人の匠—御舟・古径・土牛(山種美術館)	人間発見した木3 紙は進化 雨期の難民に再生紙のシェルター 国連にも一直線のアタック 欧州企業の積極姿勢に脱帽	〃 〃 9.4	
速水御舟について	濱中 真治	〃	人間発見した木4 紙は進化 米の大学で建築の神髄議論 独立後間もなく内装用に再生紙使う 環境壊さぬことを国連も評価	〃 〃 9.5	
21世紀への提言 離散型都市	原 広司	朝 日 12.29	人間発見した木5 紙は進化 緊急時に専門能力役立てられて自信に ネットワークのない限界も痛感 建築家NGOの波 世界へ	〃 〃 9.6	
原弘というデザイナーの確かな眼	田中 一光	原弘展 近代グラフィック・デザイナーの夜明け 図録(飯田市美術館)	未来志向[25人の若き実力作家] 伴清一郎	アート トップ 151	
明朝体のひと	原弘 中西 昭雄	〃	受賞者インタビュー 第11回小山敬三美術賞—原光子	ギャラリ—(月刊) 137	
日本の装幀と原弘の仕事 その装幀作品を中心として	代田 奨	〃	第11回小山敬三美術賞に原光子さん	新美術新聞 761	
未来志向[25人の若き実力作家]	原雅幸	アート トップ 151	第11回小山敬三美術賞を受賞した原光子さん	(西) 〃 〃	
受賞者インタビュー 第11回小山敬三美術賞—原光子		ギャラリ—(月刊) 137	第十一回小山敬三美術賞 原光子さんに	美術の窓 156	
第11回小山敬三美術賞に原光子さん		新美術新聞 761	第11回小山敬三美術賞を受賞 原光子さん	(棚) 東京 3.7	
第11回小山敬三美術賞を受賞した原光子さん	(西)	〃 〃	絵は風景「バイエルン・晩夏」原光子	読 売 8.18	
第十一回小山敬三美術賞 原光子さんに		美術の窓 156	コンテンポラリー・アーティスト 原井輝明	池上ちかこ 構成 C.A.R. 21	
第11回小山敬三美術賞を受賞 原光子さん	(棚)	東京 3.7	循環	原田 正路	
絵は風景「バイエルン・晩夏」原光子	芥川 喜好	読 売 8.18	心を癒す植物—アート・ポタニカル・ガーデン展図録(目黒区美術館)	原田 正路	
コンテンポラリー・アーティスト 原井輝明	池上ちかこ 構成	C.A.R. 21	画家春田美樹とのえにし	小川 国夫	日 経 6.9
循環	原田 正路		美の人工物 ティエリー・バルフォーの家具	編集部・本 編 稲	AXIS 61
人間発見した木3 紙は進化 雨期の難民に再生紙のシェルター 国連にも一直線のアタック 欧州企業の積極姿勢に脱帽			未来志向[25人の若き実力作家] 伴清一郎	アート トップ 151	
人間発見した木4 紙は進化 米の大学で建築の神髄議論 独立後間もなく内装用に再生紙使う 環境壊さぬことを国連も評価			巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡礼 坂東壮一 新作銅版画集「庭園の闇」	坂東 壮一 談 集 部 版画芸術 94	
人間発見した木5 紙は進化 緊急時に専門能力役立てられて自信に ネットワークのない限界も痛感 建築家NGOの波 世界へ				(ヒ)	
人間発見した木1 紙は進化 阪神大震災の焼け跡に再生紙を使った教会と仮設住宅を建築人々は初め疑いの目			たけしの便所の落書き 第1~11回	ビートたけし 芸術新潮 553,554, 556~564	
人間発見した木2 紙は進化 劣悪だった非難の外国人への対応は不十分公園を占拠し秘密の仮設住宅づくり			稗田一穂の原郷 稗田さんへの私の希望	脇村義太郎 アート トップ 153	
人間発見した木3 紙は進化 雨期の難民に再生紙のシェルター 国連にも一直線のアタック 欧州企業の積極姿勢に脱帽			稗田一穂の原郷 稗田一穂の目と心	高山 辰雄 〃 〃	
人間発見した木4 紙は進化 米の大学で建築の神髄議論 独立後間もなく内装用に再生紙使う 環境壊さぬことを国連も評価			稗田一穂の原郷 現代生活の情緒を描く	上村 松篁 〃 〃	
人間発見した木5 紙は進化 緊急時に専門能力役立てられて自信に ネットワークのない限界も痛感 建築家NGOの波 世界へ			稗田一穂の原郷 たまには会いたいよ	野見山暁治 〃 〃	
			稗田一穂の原郷 熊野(くまの)	下口 弘 〃 〃	
			稗田一穂の原郷 稗田一穂の世界	桑原 住雄 〃 〃	
			稗田一穂の原郷 と私	兄 稗田 豊治 〃 〃	
			インタビュー 稗田一穂にきく たただの風景画は描きたくないです	編集部 篠原 弘 〃 〃	

展覧会開催にあたって	稗田 一穂	稗田一穂 展—日常 にそえる 詩情図録 (世田谷 美術館)	東 慶太郎	出品作家コメント 「榎倉康二と私について」	レクイエム—榎倉康二と33人の作家展図録(斎藤記念川口美術館)	
稗田一穂論	宝木 範義	〃				
稗田一穂の出品作品とその構成	清水 久夫	〃				
私の好きな句「閑さや岩にしみ入蟬の声」	芭蕉	稗田 一穂 朝 日	8. 19	東泉一郎 「英語のモンダイ」	編集部・本	AXIS 62
絵は風景「茜空」稗田一穂	芥川 喜好 読 売		7. 7	OPINION MIX ダラダラと考えたこと(談)	東泉 一郎	デザインの現場 83
日影眩の360°のニューヨーク第17回『時代』のコレクター、メッセンジャーと岡本(陸郎)	日影 眩	ギャラリー (月刊)	129	特集 ラブリー・コンピュータ 第4部 デザイナーのためのインターネット上の道具とデータを編集して作成“地球”を再認識するホームページ「sensorium」	蜂賀 亨 西村 佳哲	〃 85
日影眩の360°のニューヨーク第18回アメリカン・ピクチャーズの<荷の軽さ>	〃	〃	130	思わぬ発見 東野芳明氏作品群		美術手帖 732
日影眩の360°のニューヨーク第19回郷津雅夫のニューヨーク、ニューヨーク	〃	〃	131	香港リポート—都市づくりの側面から返還に向け着々と変貌する街 随所に見えた“新時代の都市像”	樋口正一郎	産 経 12, 15
日影眩の360°のニューヨーク第20回ダマスカス路上パワロの改宗と戦争の犬を放て!	〃	〃	132	反核訴えた異色彫刻家海越え遺作集を(樋口シン)		毎日夕刊 11, 11
日影眩の360°のニューヨーク第21回「NY(さしさわり)グタイの情報」	〃	〃	134	岡崎乾二郎氏への公開書簡(下)—アートビック・サイト“検閲スキャンダル”について	彦坂 尚嘉	新美術新聞 784
日影眩の360°のニューヨーク第22回白人ヒーロー支配の60年代アート・オール・スター・キャスト	〃	〃	135	検証 揺らぐ自己模索の時代5 芸術同一性追求の落とし穴 若手に強まる「自閉」の傾向	彦坂 尚嘉 菅原 聞き手	読売夕刊 6, 25
日影眩の360°のニューヨーク第23回ギャラリー街の夏休み	〃	〃	136	土方久功 南洋の風はるか		高知県立美術館 ニュース 14
日影眩の360°のニューヨーク第24回ロングアイランド沖にTWA機と共に消えた暑い夏	〃	〃	137	木彫日本のかたち十選8 土方久巧「まなこ」	向井 良吉	日 経 6, 14
日影眩の360°のニューヨーク第25回水兵さんのお尻はセクシーか? §ボール・カドマス§	〃	〃	138	近代日本美術家列伝42 菱田春草	橋 秀文	美術手帖 721
日影眩の360°のニューヨーク第26回ソーホーでの上條陽子展	〃	〃	139	シリーズ・つくり手たちの言葉24 菱田春草	(高梨)	フラミンゴ 46
日影眩の360°のニューヨーク第27回 おお、オチンチン!	〃	〃	140	アート・アンド・アーキテクチャー 菱山裕子のネット人間が高俊民のS/M邸を訪ねる	荒川 陽子	C.A.R. 21
				日比野克彦が見せる差異のある空間		美術手帖 729
				アーティスト、東京芸大助教授 日比野克彦さん	横田 正大	朝 日 4, 11

紙と芸術 アートの素材としての「紙」の魅力	日比野克彦	〃	5.6	創刊555号記念大特集 日本の神々ど のようなときに「神」 を感じますか? 逆 さ富士の天罰	平野 甲賀	芸術新潮	555
私の宝物 言葉を持つ以前の記憶	〃	朝日夕刊	1.16	大特集 掌の美 愛 しきものへのラヴレ ター 十三尺の釣ら れ心地	〃	〃	559
私の旅 階段はどこにある?	〃	〃	1.17	近代日本美術家列伝 45 平福百穂	原田 光	美術手帖	722
私の故郷 1958年からの思い出	〃	〃	1.18	今月の名ショット9 ポジティブな明日 を願えばこそ、で す。一ねんのため。 (平松薫)	安斎 重男 写真・文	〃	721
HIBINOを表現 日比野克彦	(も)	東京夕刊	4.10	日展満50年(2) 感 慨深い五十年前	平松 譲	新美術新聞	761
日比野克彦 美を感じる心が薄れる現代憂う	(坂)	日経夕刊	6.14	路…印象派への旅1	平松 礼二	アート トップ	155
特集 わたくしの書室 日比野五鳳一ひとたび机に向かうと室内は緊張感がみなぎった	日比野光鳳	墨	120	特集 当代人気作家 12人が集った平成 「連画」の試み 参加 作家たちの言葉	〃	美術(月 刊)(サン アート)	248
出品作家コメント レクイエム展に寄せて	日比野ルミ	レクイエム 榎倉康二と33 人の作家一展 図録(斎藤記 念川口現代 美術館)		巻頭特集 風景画の 見かたー自然と対話 する画家たちー人 気作家エッセイ集 『風景』について思う こと「心願の旅へ」	〃	美術の窓	153
絵は風景「葡萄」兵藤和男	芥川 喜好	読 売	9.29	向う三軒両隣 神奈 川横町13 平松礼二 新テーマ「印象派 の大研究」	武田 厚	〃	156
売り込み君19	平内 康晴	デザインの 現場	80	巻頭特集 色彩の見 かた 日本の色 異 端の画家が今オーソ ドクシー!? 伊藤 若冲から平松礼二	編集部	〃	158
木彫日本のかたち十選4 平柳田中「鏡獅子」	向井 良吉	日 経	6.7	巻頭特集 色彩の見 かた 日本画におけ る光と色彩の研究 平松礼二、印象派に 挑む!!	〃	〃	〃
特集・個と集団	平澤 敏雄	主体美術	1996	絵は風景「路一九月 の雨」平松礼二	芥川 喜好	読 売	9.22
世界のアーティストと美術評論家の推薦する 精鋭作家特集 精鋭作家との出会い 平田茂子	水上 杏平	芸術公論	71	新春特別対談 平山 郁夫+村上三島 芸 術の使命について	〃	アート トップ	150
対談 平田茂子 水上杏平 「画は下手でもかまわないんですよ。誰か一人でも気に入ってくれる人があれば」	〃	〃	〃	21世紀の日本美術院 を 岡倉天心の心を 礎として 平山郁夫 学長に聞く	油井 一人 聞き手	新美術新聞	765
目標は300才!“版画仙人”平塚運一のゴキゲンな日々	〃	芸術新潮	554	サラエボに見た51年 前の広島、平山郁夫 氏の創作秘話がド キュメンタリーに	〃	〃	779
巻頭特集 日本の風景木版画 美しき山河 平塚運一「黒白版画」以前の多色摺風景版画	(編集部)	版画芸術	92	平山郁夫 サラエボ を描く	(K)	美術(月 刊)(サン アート)	254
WORLD WIDE MIX 「JAGDA年鑑一九九六」新人賞 JAGDAが選んだ実力派若手デザイナー三人(平野敬子)	[編集部]	デザインの 現場	81				

平山郁夫展を開催するにあたって	越 宏一	平山郁夫展一写生描帖・素図・大下図・本画図(東京大学芸術資料館)	MUSIC MIX オトヨシ!	HIROMI-X	デザインの現場	82
			シンディ・シャーマン80年代以降は演技すだけ	ヒロミック ス	朝 日	11.16
					(フ)	
東京藝術大学退官記念展によせて	平山 郁夫	〃	風鈴丸 記憶の幻燈、夢の手触り	(編集部・内田)	版画芸術	93
世界遺産は壮大な時空を秘めた人類共通の記憶装置 対談 世界遺産が私たちに語りかけるもの	平山 郁夫 石 弘之	朝 日	私の夢の美術館 時空を越えて鼓動を伝える館	深井 隆	産 経	4.14
二枚の絵 法隆寺金堂壁画「阿彌陀浄土図」/敦煌莫高窟「仏説法図」	平山 郁夫 朝賀 浩 中川原育子	毎 日	ぼくの空想コレクション213 道程一貴堂静榮、酒匂讓、深沢軍治	秋山 和歩	美術(月刊)(サンアート)	247
仕事の現場 平山郁夫	(石) 荒牧万佐行 写真	毎日夕刊	ぼくの空想コレクション218 孤独湖畔の大器—深沢軍治	秋山 和歩	〃	252
大臣賞制作意図	蛭田 二郎	日 展 ニュース	深沢紅子の足跡をたどる		新美術新聞	763
イタリア画行1 城塞都市オルビエートをゆく	比留間良介	日本美術工芸	印象派の虚構と実像	深澤 孝哉	絵	383
イタリア画行2 聖フランチェスコの上着	〃	〃	菅野陽さん	深沢 幸雄	菅野陽回顧展図録(平塚市美術館)	
イタリア画行3 サンタンジェロ城「飛龍の松」	〃	〃	巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡礼 清原啓子 鏤骨の細密描写	〃	版画芸術	94
イタリア画行4 ミケランジェロ「奴隷」考	〃	〃	毎日芸術賞 江成常夫、深見陶治氏に		新美術新聞	755
イタリア画行5 サルディーニャ島の子羊	〃	〃	故清水昭八氏を偲んで	吹田 文明	連 盟 ニュース	367
イタリア画行6 ヴェネチアの裏町から	〃	〃	路谷虹児 詩をかく画人たち4	(大 山)	MEDI-UM	2
イタリア画行7 ヴィラ・ジュリアの藤	〃	〃	夜の情景十選1 長沢廬雪「月夜山水図」	福井 爽人	日 経	12.2
イタリア画行8 ミラノの市電	〃	〃	夜の情景十選4 小茂田青樹「虫魚画卷 夜露」	〃	〃	12.5
イタリア画行9 ナポリのイカ	〃	〃	夜の情景十選5 ラ・トゥール「大工の聖ヨセフ」	〃	〃	12.6
イタリア画行10 古楽器のメッセージ	〃	〃	夜の情景十選6 ミロ「月に吠える犬」	〃	〃	12.9
イタリア画行11 山の端・考	〃	〃	夜の情景十選7 アンリ・ルソー「眠るジブシー女」	〃	〃	12.10
イタリア画考12・最終回 ボ・ナターレ	〃	〃	夜の情景十選8 ロートレック「ムーラン街のサロンにて」	〃	〃	12.11
「志在鎌倉……」平成八年新作刀展覧会の概要 授賞式・講評・受賞作品・受賞のことば	廣木 弘邦 (順一)	刀剣美術	夜の情景十選9 坂本繁二郎「月光」	〃	〃	12.12
広瀬長江筆「奴の小万」表紙解説	川口 直宜	〃	夜の情景十選10 ルオー「郊外のキリスト」	〃	〃	12.13

二枚の絵 李迪「芙蓉図」/ルドン「ヴィオレット・ヘイマンの肖像」	福井古原 爽人	毎 日	8.18	絵は風景「never ends」福田玲子	芥川 喜好	読 売	11.3
未来志向「25人の若き実力作家」福王寺一彦		ア ー ト	151	土佐美術史外伝12 福留章太	鍵岡 正謹	高知県立美術館 ニュース	14
特集 異論! 反論!!! 院展新世代作家インタビュー 福王寺一彦		美術(月刊)(サンアート)	250	この著者と話したい 101 福本邦雄(『金の油を身に浴びて』)		美術(月刊)(サンアート)	248
対談 福岡和子 水上杏平		芸術公論	74	充実した三日間 平成八年度美術刀剣製作技術保存研修会 刀職技能訓練講習会の部 実施される	藤井 啓介	刀剣美術	477
福沢一郎とコラージュー1930年代初期の日本におけるシュルレアリスム受容をめぐって	大谷 省吾	東京国立近代美術館要	5	特別企画 荒川修作 + マドリン・ギンズ 都市と身体	荒川 修作 藤井 対談	現代思想	24-9
イメージの衝撃・イメージの処方ー福沢一郎・古賀春江とシュルレアリスムー	速水 豊	美術史	140	藤木正則	浅川 真紀	語るからだ 10人のアプローチ展 北海道・今日の美術 図録(北海道立近代美術館)	
対談 福島久子 水上杏平		芸術公論	71			自由美術展 '96 図録(東京都美術館)	
この著者と話したい 103 福田繁雄(『デザイン快想録』)		美術(月刊)(サンアート)	250	<われわれの直面する課題について> 芸術一泥臭さの復権	藤倉久美子	富山国際現代美術展 6 回図録(富山県立近代美術館)	
「平行クリエイティブ」	福田 繁雄	レオ・レオニ展 図録(板橋区立美術館)		\$ 作家の言葉 \$	藤崎 幸雄		
私の夢の美術館 トリック・アート万華鏡	〃	産 経	1.7	白馬会と歴史主題の 絵画ー藤島武二《天平の面影》をめぐってー	植野 健造	美術史	140
日展会員賞制作意図	福田千恵子	日 展 ニュース	83	藤代松雄氏 重要無形文化財保持者に認定される		刀剣美術	473
未来志向「25人の若き実力作家」福田美蘭		ア ー ト	151	藤田喬平の光彩 藤田喬平さんのこと	蓮田修吾郎	ア ー ト	155
アンディ・ウォーホル 1956-86:時代の鏡 今になってほしい画集	福田 美蘭	新美術新聞	764	藤田喬平の光彩 『美の発信者としての先生』	大倉 郁雄	〃	〃
今月のこの作家・この作品 福田美蘭	藤田 一人	美術(月刊)(サンアート)	252	藤田喬平の光彩 ヴェニスと、松島と。	高橋征太郎	〃	〃
学校で勉強したこと 2 福田美蘭(東京藝術大学)		美術手帖 5月号 増刊アートスクールガイド	725	藤田喬平の光彩 藤田喬平のガラス芸術	武田 厚	〃	〃
展覧会 アンディ・ウォーホル 自己消す迫力半端じゃない	福田 美蘭	朝 日	4.20	藤田喬平の光彩 フォルムが流動する	畠山 耕造	〃	〃
出品作家コメント	福田由紀夫	レクイエムー榎二と33 康二の作家 一展 図録(斎藤記念川口現代美術館)		句読点 藤田喬平 神が作らせた2つの 作品	(す) タッド若松 撮影	東京夕刊	7.18
特集・個と集団	福田 玲子	主体美術	1996	眼の手量(てかず)	藤田 邦統	福島の 新 96 世 代 展 図 録 (福島立美術館)	

平成8年定期刊行物所載文献(作フ)

近代日本美術家列伝 70 藤田嗣治	山梨 俊夫	美術手帖	732	オーディオ・ビクニック13 オプライエンの部屋	〃	〃	726
受賞者インタビュー 第7回サントリー美術 館大賞佐治特別賞 —藤田政利		ギャラリー —(月刊)	140	オーディオ・ビクニック最終回 針と光の闘い	〃	〃	727
大特集 掌の美 愛 しきものへのラヴレ ター 帰ってきた “シェーン”	藤塚 光政	芸術新潮	559	特集 サウンド/ア ート 藤本由紀夫 取り去ることも創造 的行為になる		〃	734
個人蔵 藤野一友 「レダのアレルギー」 および油絵4点 修 復報告	田村 和稔	修復研究 所報告	12	特別企画 和紙の楽 しみ—和紙の光と翳 り	藤森 武 墨		119
特集/プログラムを 操るデザイナーたち 「当時はCGを制 作することニプログ ラミングすることだ った」	藤幡 正樹	AXIS	63	大特集 掌の美 愛 しきものへのラヴレ ター 手塩にかけた “タンポポ城”	藤森 照信	芸術新潮	559
電子ネットワークを めぐるアートの現在 藤幡正樹 電子原始 時代のナビゲイ ター	編集部 インタ ビュー	美術手帖	720	ひび割れた名品(藤 原建)	ロバート・ イエリン 山岸 文明 訳	陶 説	525
藤幡正樹 魔法の箱 を駆使 世界の見方 覆す	稲垣 直子	日経夕刊	6.16	藤原瞬	見延(井内) 佳津恵	語るからだ —10人の アブロー チ展 北 海道・今 日の美術 図録(北 海道立近 代美術 館)	
ぬかるみの町—1930 年代の都市と版画、 藤牧義夫のことなど	水沢 勉	近代版画 にみる東 京—うつ りゆく風 景展図録 (江戸東 京博物 館)		創刊555号記念大特 集 日本の神々 どのよう なときに「 神」を感 じますか? 解脱とい う至福と 魔境	藤原 新也	芸術新潮	555
特集・個と集団	藤本 卓	主体美術	1996	作家訪問(234) 陶 芸 藤原均さん	高橋 東峰	目の眼	236
work'95—4	藤本 哲夫	成安造形 大学研究 紀要	3	人間国宝に藤原雄 氏、島岡達三氏認定		陶 説	519
アトリエ拝見その1 —藤本東一良氏	(熱田)	絵	383	秋山庄太郎の「現代 日本の作家たち」 藤原雄	秋山庄太郎	美術(月 刊)(サン アート)	249
藤本東一良の近作— 融通無碍の円熟境	富山 秀男	〃	391	おやじの背中 「詩 魂」忘れぬロマンチ スト	藤原 雄 朝 日		1.22
日展満50年(1) 忘 れられない初心の頃	藤本東一良	新美術新 聞	760	父子2代人間国宝の 備前焼作家藤原雄さ ん	森本 俊司	〃	4.20
オーディオ・ビク ニック8 薄い世界 へのガイダンス	藤本由紀夫	美術手帖	718				
オーディオ・ビク ニック9 飛行機が 映画に	〃	〃	720				
オーディオ・ビク ニック10 オーディ オ+サウンド+テキ スト	〃	〃	721	後 記	星野 桂三 星野万美子	幻の文人 画家 不 染鉄遣作 展 忘れ られた画 家シリー ズ25図録 (星野画 廊(京 都))	
オーディオ・ビク ニック11 機械を愛 し、機械に愛された 男性(マルセル・デ ュシャン)	〃	〃	722	異能の日本画家・不 染鉄 “心の画”で周 囲を幸福に	谷口 峰敏	産経夕刊	9.21
オーディオ・ビク ニック12 扉の向こ う側	〃	〃	724	大特集 掌の美 愛 しきものへのラヴレ ター おもちゃの時	舟越 桂	芸術新潮	559

対談シリーズ《絵か い話・美かい話》4 舟越保武+米倉守		ア ー ト ト ッ プ	154					レクイエ ム一椽倉 康二と33 康二と作家 一人一展 (斎藤記 念川口現 代美術 館)		
担ぎ込み作戦	舟越 保武	絵	386	出品作家コメント	保科 豊巳					
沙羅の葉の繁み	〃	〃	388							
辛夷の花咲く頃	〃	〃	390							
こんにゃく畑の道	〃	〃	392							
石に刻んだ永遠の聖 女像―「聖クララ」像 (舟越保武)		チャイム 銀座(月 刊)	180	星野空外絵画資料・ 整理報告2―大正期 ・南紀写生―	大須賀 潔			京都市立 芸大資料 館年報	6	
浜田さんの思い出	舟越 保武	浜田知明 の全容展 図録(小 田急美術 館)		あいさつ	星野 眞吾			星野眞吾 展図録 (豊橋市 美術館)		
夢なら正夢2 沈黙 は行動である(舟越 保武、佐藤忠良)	米倉 守	美術(月 刊)(サン アート)	245	日本画変革の旗手	木村 重信					
秋山庄太郎の「現代 日本の作家たち」 船水徳雄	秋山庄太郎	〃	253	記憶の痕跡―星野眞 吾の人と作品―	大野 俊治					
		レクイエ ム一椽倉 康二と33 康二と作家 一人一展 (斎藤記 念川口現 代美術 館)		生の痕跡―星野眞吾 の陣拓をめぐる―	谷 哲夫					
出品作家コメント 追悼展に寄せて	古井 智			東京ROMAN主義 44 地方編 細江英 公「新輯薔薇刑」の清 里フォトミュージア ム	横尾 忠則	朝 日	7.21			
特集 この人が語 る。「時代と創造」 古川享デジタルの利 点は複合性と時間か らの開放。	編集部・関 インタビュー	AXIS	60	「瑛九写真展」の企画	細江 英公			瑛九展 魂の叙情 詩(宮崎 立美術 館)		
私の夢の美術館 綾 なす色彩、刻々変わ る空間	古川 吉重	産 経	5.12	洋画家 焰仁さん (上) 厳しい風土で 創作ができる	小原 聞き手	博	毎日夕刊	7.29		
アトリエ拝見その8 ―古沢岩美氏	(熱田)	絵	390	洋画家 焰仁さん (中) 「本質」を求め て試行錯誤	〃	〃	〃	7.30		
創刊555号記念大特 集 日本の神々 のようなときに「神」 を感じますか? 「神」 になりそこなった私	古沢 岩美	芸術新潮	555	洋画家 焰仁さん (下) あやふやな存 在でありたい	小原 聞き手	博	毎日夕刊	7.31		
追憶：古橋第一―新 しい関係の「発明」	四方 幸子	美術手帖	718	個展の声 アトリエ にて	堀 晃	絵	387			
第7回五島記念文化 賞決まる 古伏協司 氏・東島毅氏		新美術新 聞	762	館蔵品紹介 堀浩哉 『風の声―21』	島 敦彦		国立国際 美術館月 報	42		
(〜)				堀浩哉【ドローイン グ】demo―semi 報 告1【表現と素材1】			SYNC IN ART 通信	5		
多面体作り アート と科学の接点追求 (別宮利昭)	長井 好弘	読 売	9.22	<研究資料> 堀進 二懐中日記(上)	千田 編	敬一	碓山美術 館報	17		
(ホ)				私の中南米紀行 1〜3	堀 文子		美術(月 刊)(サン アート)	246,249, 253		
特集・個と集団	保坂 淳	主体美術	1996	特集・個と集団 帽 子	堀内 菊二	主体美術	1996			

淀井敏夫、堀内正和、建昌造、清水九兵衛、流政之、谷武、最上壽之、草間彌生、豊囃一とのかたちからみた9人の歩み 3 堀内正和とステンレスティール	外館 和子	素材と触れ合いの対話展『美術館近城美(武蔵野美術大学図書館)』	絵は風景「エレファントのイメージ」茶沢尼天光(おむだきにてんこう)前田常作	芥川 喜好 読 売 12.1
特集 わたくしの書室 “七曜のアトリエ”の意図と表現	堀川 俊英 墨 120		THE KING OF ELECTRONIC DESIGN 6 そういいう MILIAで人気集中前田ジョンのFL-YING LETTER-S, REACTIVE SQUARE	江並 直美 デザインの現場 81
特集 わたくしの書室 対談	堀川 俊英 岡安 千尋 “ “		特集 ラブリー・コンピュータ 第3部 前田ジョン デザインの未来形 21世紀へ踏み出すための探究	江並 直美 “ 85
売り込み君20	堀川マルリ	デザインの現場		
ぼくの空想コレクション220 画人のお人柄—小磯良平・堀川理万子	秋山 和歩	美術(月刊)(サンアート)	特集・個と集団	前田 進 主体美術 1996
特集 イラスト新旋風 第3部 ASI-AN SCREAM 彫よし 一生愛する日本の宇宙	大槻 紀子	デザインの現場	近代日本美術家列伝68 前田青邨	長門 佐季 美術手帖 731
PONKO 134 — SOUND OF PONKO	本郷 重彦	成安造形大学研究紀要	大特集 掌の美 愛しきもへのラヴェター 青邨さんのお裾分け	木戸 敏郎 芸術新潮 559
人間国宝・本阿弥日洲氏逝く		刀剣美術	前田青邨筆「燈籠大臣」表紙解説	川口 直宜 刀剣美術 474
本阿弥日洲先生の思い出	安田 昭	“ “	「自然と人との語り」野外彫刻が屋上庭園に(前田哲明)	雪椿通信 6
六華の抒情—本間莞彩の雪景—	奥岡 茂雄	本間莞彩展 図録(北海道立近代美術館)	巻頭特集 日本の風景木版画 美しき山河 知られざる版画家・前田政雄	戸田 英介 版画芸術 92
本間莞彩—北の日本画	土岐美由紀	“ “	前山尚義君のこと	竹内 庸悦 美術文化復刊 17
北海道日本画壇の牽引者—本間莞彩	“ “	侶 美 以 56	土佐美術史外伝11 真垣武勝	鍵岡 正謹 高知県立美術館ニュース 13
	(マ)		自選・世界百名山を描く	牧 潤一 日 経 7.12
私の夢の美術館 自然と彫刻を道しるべに	真板 雅文 産 経 3.10		“透明感”と“軽さ”『ライト・コンストラクション展(MOMA)』(榎文彦)	アラスデア・ゴードン アトリエインターナショナル 825
鳥の執念(実話)第一話	前田 記珍	アートマインド	続けてみたい西方への旅	榎 文彦 朝日夕刊 4.9
特集・個と集団	“ “	主体美術	受賞者インタビュー 第4回 アート・アーティスト・オーディション グランプリ—牧瀬純奈	ギャラリー(月刊) 129
特集 あの時代の感動へ—9人が語る、64年 めくるめく躍動するイメージ	“ “	新美術新聞	大正一昭和の異才画家 牧野虎雄 回顧展によせて	美津島徳蔵 牧野虎雄回顧展 大正一昭和の異才画家図録(フジカワ画廊) 92
前田常作の世界	桑原 住雄	前田常作展 図録(武蔵野美術大学美術資料図書館)	巻頭特集 日本の風景木版画 美しき山河 生きる歓び	牧野 宗則 版画芸術 92

私の夢の美術館 馬越陽子(上) 太古からの一筋の道を求めて	馬越 陽子	産 経	2.11
私の夢の美術館 馬越陽子(下) “古今東西”が出来る森の殿堂	〃	〃	2.18
セザンヌ 孤高の造形世界	〃	日 経	4.23
天国と地獄—表現のドラマ十選1 ミケランジェロ「最後の審判」	〃	〃	6.24
天国と地獄—表現のドラマ十選2 ダ・ヴィンチ「聖アンナ、聖母子と聖ヨハネ」	〃	〃	6.25
天国と地獄—表現のドラマ十選3 ウィリアム・ブレイク「恋人たちのつむじ風」	〃	〃	6.26
天国と地獄—表現のドラマ十選4 レンブランド「自画像」	〃	〃	6.27
天国と地獄—表現のドラマ十選5 村上華岳「火中蓮華図」	〃	〃	6.28
天国と地獄—表現のドラマ十選6 ゴヤ「アスモデア」	〃	〃	6.29
天国と地獄—表現のドラマ十選7 ゴッホ「昼さがりの麦畑」	〃	〃	7.1
天国と地獄—表現のドラマ十選8 関根正二「信仰の悲しみ」	〃	〃	7.3
天国と地獄—表現のドラマ十選9 ヴォルルス「コンポジション」	〃	〃	7.4
天国と地獄—表現のドラマ十選10 クレー「忘れっぽい天使」	〃	〃	7.5
正井和行「甕」		芸館だより	123
土佐美術史外伝10 正延正俊	鍵岡 正謹	高知県立美術館ニュース	12
§作家の言葉§	真島 明子	真島明子展 図録 (ギャルマニテ東京)	
リレーエッセイ 現代を創る作家達6 間島秀徳		アートトップ	154
間島領一 EAT or DIE	編集部取材・構成	美術手帖	734

四季の匠 手書き提灯(増田敏郎)	徳永 京子	新美術新聞	784
河合勇の求めた入ッ杉現代美術研究所	増田 智雪	河合勇展 図録(福井県立美術館)	
受賞者インタビュー 第14回上野の森美術館大賞展—増田直人		ギャラリー—(月刊)	136
入魂の屏風絵に挑む 曼陀羅に魅せられた新宿の画家(増野充洋)	金丸 文夫	読 売	9.8
新宿北界隈1 創作意欲生む雑踏のにぎわい 良き日々の面影 短冊漫画に 放浪の画家(増野充洋)		読 売 (都民版)	5.21
詩仙・李白は荘子の世界—「超俗」の姿を描き、ライフワークに	増野 充洋	日 経	7.1
先生は漆を真に愛されておられました(増村益城)	田中 桃仙	朝日夕刊	5.1
意外と心がなごむ レット・ルーム(益山航士「Gavage」)	小林 由明	美術手帖	724
町春草を偲ぶ—つねに夢を見つづけた人	田宮 文平	墨	119
町春草を偲ぶ—舞おさせたり、町春草	飯島太千雄	〃	〃
町春草を偲ぶ—町先生はかけがえのない手本	ビエール・ジル・ドロルム	〃	〃
調和と伝統1、2	松井 康成	石川県立美術館だより	153,154
松井康成の芸術と思想—糸から珠へ、珠から靈への作陶行—	乾 由明	松井康成の世界展 変幻する彩土 図録(茨城県近代美術館)	
対談	松井 康成 加藤 貞雄 聞き手	〃	〃
松井智恵 おとぎ話の幻想 日常空間に現す	白木 緑	日経夕刊	4.21
表紙の言葉 「友へ」	松井ヨシアキ	絵	392
松浦孝之 精霊たちの集り森	(編集部)	版画芸術	91
絵は風景「歷程」松尾敏男	芥川 喜好	読 売	8.25
作家訪問(236) 陶芸 松尾博之さん	編集部	目の眼	238
アトリエ拝見その2—松樹路人氏	(熱 田)	絵	384

『から松』記	松樹 路人	松樹路人展 図録(武蔵野美術大学美術資料図書館)		青い絵具の匂い—松本竣介と私—第13回国画展の懇親会	中野 淳	美術の窓	153
受賞に寄せて 平成八年新作刀展覧会の概要 授賞式・講評・受賞作品・受賞のことば	松田 次泰 (周二)	刀剣美術	475	青い絵具の匂い—松本竣介と私—第14回第一回美術団体連合展	〃	〃	154
師 高橋次平を偲んで	松田 次泰	〃	477	青い絵具の匂い—松本竣介と私—第16回第十一回自由美術展の初日	〃	〃	155
松田正己先生(工芸家)を訪ねて 探訪生命が息づく心の造形		游 美	24	青い絵具の匂い—松本竣介と私—第17回 思い出の芝生会議	〃	〃	156
WORLD WIDE MIX フランスを代表するタバコ「ジタン」の新デザインは松永真氏	桜井みどり	デザインの現場	81	青い絵具の匂い—松本竣介と私—第19回 自由な精神	〃	〃	158
伝統の仏たばこ日本人がデザイン(松永真)		読売夕刊	5.25	青い絵具の匂い—松本竣介と私—第20回 鶴岡政男の大福餅	〃	〃	159
私の夢の美術館 建築家の最後の願いは...	松永 安光	産 経	8.25	青い絵具の匂い—松本竣介と私—第21回 塊の裸婦	〃	〃	160
夢中に生きる 平成八年新作刀展覧会の概要 授賞式・講評・受賞作品・受賞のことば	松葉 国正 (一路)	刀剣美術	475	青い絵具の匂い—松本竣介と私—最終回 最期の微笑み	〃	〃	161
松林モトキさん 歴代横綱を絵巻風錦絵に 年明けに作品展		朝 日	12.21	画家の心は絵の心	松本 紀是	美術文化復刊	17
特集/プログラムを操るデザイナーたち 松本弦人 インタビュー グラウンドをデザインしたい	西村 佳哲 インタビュー	AXIS	63	パンプー・ジャーニー	〃	ギャラリー(月刊)	134
THE KING OF ELECTRONIC DESIGN 6 ジャングルのパークも、もうすぐ完成するぞ(松本弦人)	江並 直美 構成	デザインの現場	81	父・松山忠三の思い出	E・マックスウエル(松山英一) 恒松 郁生 訳	松山忠三展 図録(青森県立郷土館)	
THE KING OF ELECTRONIC DESIGN 7 INTERVIEW 松本弦人 コンピュータとデザイン。最近考えていること。	江並 直美 聞き手・構成	〃	82	ロンドンの松山忠三と日本人画家たち	恒松 郁生	〃	
鶴岡政男、松本竣介、麻生三郎の素描について	徳江 庸行	人間をみつめて 鶴岡政男、松本竣介、麻生三郎の素描を中心とし 図録(群馬県立近代美術館)		フランシス・ベーコン回顧展(パリ・ボンビドゥーセンター)の印象	馬淵 陽子	新美術新聞	781
				55回からの出発—その2/小牧源太郎論	圓尾 博一	美術文化復刊	17
				朝日賞 丸木夫妻に		新美術新聞	755
				太郎さん・位里さん「個」貫き大衆から支持(丸木位里)	田中 三蔵	朝 日	1.24
				「沖縄戦の図」描く丸木夫妻(位里、俊)ビデオに		〃	9.23
				名画再読 丸投三代吉「五百羅漢」	芥川 喜好	読 売	1.14
				絵画の背景—研究ノートより12 異視界からの刺激—応挙画における鏡と望遠鏡の意味—	佐々木丞平	日本美術工芸	696

絵画の背景—研究 ノートより13「万 物三遠ヲ意トスベ シ—」応挙三次元表 現への軌跡—	〃	〃	697	<展示コメント>	三上 晴子	LIFE / ART / TECHN OLOGY —生物 いのち ART展 図録(O 美術館)	
時の人 原風景を彫 る	丸山 浩司	ア—ト トップ	153	<アンケート>	〃	〃	
受賞のことば	丸山 浩司	鹿沼市立 立川上澄生 美術館大賞 展2回図 録(鹿沼 市民文化 センター 1階展示 室)		第2特集 フット ワーク このデザイ ナーたちの足さばき みかんぐみ 私の 10年後 「10年後… …?」「建築はやって いると思うけど… …」オーストラリア にいるかもね		AXIS	60
第二回鹿沼市立川上 澄生美術館木版画大 賞 丸山浩司「地中 の花 95—E」		鹿沼市立 立川上澄生 美術館館 報	9	バルセロナ現代美術 館、ついにオープン した『MACBA』だ が	三木 俊治	ギャラリ —(月刊)	132
受賞者インタビュー 第2回鹿沼市立川 上澄生美術館木版画 大賞—丸山浩司		ギャラリ —(月刊)	134	三木俊治 サルトル ・インド…メキシ コ、そして千年杉と の出会い—作家と 「行」PEOPLE LI- NEの邂逅の旅		〃	138
第2回鹿沼市立川上 澄生美術館 木版画 大賞に丸山浩司氏		新美術新 聞	761	日本近代美術におけ る道化像と三岸好太 郎の作品について	苦名 直子	鹿島美術 研究	13
出品作家コメント 「榎倉康二と私につ いて」	丸山 常生	レクイエ ム—榎倉 康二と33 人の作家 —展図録 (斎藤記 念川口現 代美術 館)		麗しきかな、かの前 衛の時代	小泉 淳一	麗しき前 衛の時代 —古賀春 江と三岸 好太郎展 図録(茨 城県近代 美術館)	
砂岩の感覚	北澤 憲昭	丸山富之 展 図録 (Hino g allery)		三岸好太郎—前衛の 行方	地家 光二	〃	
フレッシュ 注目作 で年頭飾る彫刻家 丸山富之さん 新風 吹き込み続けて		毎日夕刊	1.19	比較の試み—古賀春 江と三岸好太郎	杉本 秀子	〃	
§ 作家の言葉 §	丸山 直文	富山国際 現代美術 展6回図 録(富山 県立近代 美術館)		父・母を語る 心に 残るこの一点1— 「ブルゴーニュの一 本の木」(三岸節子)	三岸黄太郎	新美術新 聞	779
丸山直文 変貌の時 間	編集部イン タビュー	美術手帖	726	生命の花・未完の花	地家 光二	三岸好太 郎と三岸 節子の花 節子展 図 録(北海 道立三岸 好太郎美 術館)	
(ミ)				作家と記録 三岸節 子	小針 代助	ア—ト トップ	150
秋山庄太郎の「現代 日本の作家たち」 三浦小平二	秋山庄太郎	美術(月 刊)(サン アート)	251	三岸先生(三岸節子)	大住 閑子	女流画家 協会展50 回 図録 (東京都 美術館)	

東京ものがたり 遺 作集 最後まで追い 求めた自らの道(三 沢祐一)	(健)	朝 日	11.7	日展満50年(3) 私 の日展回顧五十年	皆川 泰蔵	〃	762
長野冬季オリンピッ ク会場に設置された ミズテツオの巨大陶 壁画	(志)	ア ー ト ト ッ プ	153	旅の計画4 灯台の 記憶	港 千尋	武蔵野美 術	99
MIZÛ フラッグ・ シリーズが世界を行 く、パリー長野オリ ンピックローテル ダム		ギャラリ ー(月刊)	134	創刊555号記念大特 集 日本の神々ど のようなきに「神」 を感じますか? ニ ギヤカでホガラカな もの	南 伸坊	芸術新潮	555
創刊555号記念大特 集 日本の神々ど のようなきに「神」 を感じますか? 世 の中には不思議なこ とが多すぎて……	水木しげる	芸術新潮	555	対岸の家事 <肉 じゃが>とにかく味 見、味見	〃	日経夕刊	5.21
ワルシャワ・ポス ター展で金賞、水谷 孝次さんに聞く	石川 健次	毎日夕刊	8.13	第21回伊奈信男賞に 南良和氏に	新美術新 聞		784
特集 見せます! パッケージデザインの 裏の裏 宇宙派飲 料のニュー・モード が爆発的ヒット 森 永製菓「ウィダー・ i nゼリー」 森永製 菓健康事業部+水谷 孝次+細川洋行	山本 雅也	デザイン の現場	81	井上長三郎さんを偲 ぶ	峯 孝	〃	757
第15回ワルシャワ国 際ポスタービエン ナーレ 世界語とし てのポスターの祭典 「エリを正して、本 当にいいヴィジュア ルを世界に向けてつ くっていきたい」	水谷 孝次	デザイン の現場	84	三村晴山と狩野芳崖	影山 純夫	潮 流	46
巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡礼 水谷昇雅	(編集部・ 内田)	版画芸術	94	火床の火を継いで 平成八年新作刀展覧 会の概要 授賞式・ 講評・受賞作品・受 賞のことば	宮入小左衛 門行平(恵)	刀剣美術	475
水野年方筆「三井好 都のにしき」につい て	金窪 佐和	美術史研 究	34	特集 倉俣史朗 倉 俣史朗と私 三宅一 生	瀧口 範子 伊藤 史子 アックス編 集部	AXIS	62
特集・個と集団 やっばり画友	水村喜一郎	主体美術	1996	個展の声 絵心を満 たしてくれた旅	三宅 輝夫	絵	391
私の夢の美術館 水 本修二(上) 試行錯 誤の「創造の場」	水本 修二	産 経	7.28	森の中のアンコール ワット	宮坂 健	新美術新 聞	764
私の夢の美術館 水 本修二(下) 魔病の ような魅惑の世界	水本 修二	〃	8.4	未来志向[25人の若 き実力作家] 宮廻 正明	ア ー ト ト ッ プ		151
陶芸・音楽のハーモ ニー、焼き物の創作 楽器で未知の音色の 演奏会	美薦 昇 日 経	11.4	宮廻正明 広がりゆ く宇宙	篠原 弘	〃		154
満谷国四郎「眠れる 小児」「百物館名物 記」3	木下 直之 淡 交	606	表紙の言葉一宇宙へ のいざない	宮崎 次郎	絵		394
近代日本美術家列伝 41 満谷国四郎	太田 泰人 美術手帖	721	アトリエ拝見その11 一宮崎進氏	(熱 田)	〃		393
三橋兄弟治先生を偲 ぶ	森相 實 新美術新 聞	772	宮崎進 東京・浅草 ストリップ劇場「フ ランス座」	西川 昌宏	新美術新 聞		767
			私の夢の美術館 原 野に立つ抑留時代の 象徴	宮崎 進 産 経			6.2
			アンディ・ウォーホ ル 1956-86: 時代 の鏡 芸術のコピー キャット	宮迫 千鶴	新美術新 聞		764
			ベストセラー診断 『インターネット』村 井純著	〃	朝 日		1.28
			ベストセラー診断 『アブサン物語』村松 友視著	〃	〃		1.28
			地球は土でできてい る(上) 土の力	〃	読 売		9.2
			地球は土でできてい る(下) 土の記憶	〃	〃		9.4

ウーマン・エコノ 大地の画家 宮下富 美子さん 自然の中 で時と空間を超えて		東京夕刊	1.30	最後の復元を終えた 明珍流の甲冑師、明 珍宗恭さん	田坂 誠 産 経	7.19	
宮島達男さんの「時 の蘇生」柿の木プロ ジェクト		新美術新聞	763		三好耕三 展 CA CTI Landscap- es 図録 (フォト ラリーナ タナー ショナル)		
地の天	宮島 達男 半田 滋男			「Tranquility 一 静謐 時間・空間 ・光をあやつる五 代人の現代」家 芸展 図録市 美術館)	三好 耕三		
宮島達男 ゼロの沈 黙	編集部イン タビュー	美術手帖	720	一風(私の小宇宙)	三好ユキ子		三好ユキ 子展 図録 (ぎやら りいセン ターポイ ント)
出品作家コメント 榎倉康二と私の時間	宮島 達男	レクイエ ム一榎倉 康二と33 人の作家 展 図録 (斎藤記 念口現 代美術 館)		オリジナル版画制作 記 <muzika>一 リトアニアから一	三好百合子	版画芸術	92
座談会 井上長三郎 を語る	一木 平蔵 関野正和 大宮恒雄 司会	自由美術 展'96 図 録(東京 都美術 館)		探見隊 50歳で準備 して今や絵で自由人 定年前より世界は 広いゾ(三輪正巳)	(一 沢)	東京夕刊	10.14
特集・個と集団 京 の町並	宮武 純一	主体美術	1996	[美術との戯れ](三 輪美津子)			美術家の 冒険展 「多面 化する 表現手 法」図 録(国 立国際 美術館)
特集 都市とアートの 真相 宮前正樹 Who are you?Project キャッチボール編	編 集 部	美術手帖	733				(ム)
尽きせぬ興味 平成 八年度美術刀剣製作 技術保存研修会 刀 職技能訓練講習会 の部 実施される	宮本 恒之	刀剣美術	477	温泉一代謝する硫黄	muon (足立 涼子 手島 荘子)		LIFE / ART / TECHN OLOGY 一生物 / いのち ART 展 図録(O 美術館)
河合勇さんのこと	宮脇 愛子	河合勇展 図録(福 井県立美 術館)		向井潤吉先生を偲ん で	橋本 善八	絵	384
建築の原点は住まい から	宮脇 檀	江戸東京 たても 園だより	8	農山村の里人の視点 一エコロジスト向井 潤吉	安井 収蔵	〃	387
第13回まちづくり設 計競技 住宅地設計 の意義、着実に広がる	宮脇 檀 インター ビュー	朝 日	1.8	兄のこと(向井潤吉)	向井 良吉	連 盟 ニュー ス	365
プリント・アートの たのしみ20 実践! 新孔版画 わたしの 場合 見代ひろこさ んの少ない版数への 挑戦		ア ー ト ト ッ プ	154	特集 あの時代の感 動へー9人が語る '64年「勝利者の椅 子」	〃	新美術新 聞	757
遠い風景への誘い この人に聞く	名井 玲聡 濱本 聞き手	潮 流	48	ロダン「フギット・ アモール」	〃	日 経	1.16
				木彫日本のかたち十 選1 中宮寺「弥勒 菩薩半跏像」	〃	〃	6.3

平成8年定期刊行物所載文献(作ム)

木彫日本のかたち十選2 法界寺「阿弥陀如来坐像」	〃	〃	6.4	特集 棟方志功の宇宙 完成されていた志功の哲学	K・O	〃	〃	
木彫日本のかたち十選3 円空「愛宕神像」	〃	〃	6.6	柳宗悦に火を灯された人々(二十) 津本郷焼宗像亮一の仕事	近藤 京嗣	陶	説	517
木彫日本のかたち十選4 平櫛田中「鏡獅子」	〃	〃	6.7					
木彫日本のかたち十選5 澤田政廣「道標」	〃	〃	6.11	「自由な仲間たち」に寄せて	村井 正誠 橋本 善八 インター・構成	世田谷の美術展(世田谷美術館)		
木彫日本のかたち十選6 高村光太郎「桃」	〃	〃	6.12	アトリエの画家たち13 村井正誠 瘦身のモダンディズム	田中 誠一 撮影		版画芸術	94
木彫日本のかたち十選7 辻督堂「こども」	〃	〃	6.13	特集 ザ・美術団体 創立会員談話 美術家にとって団体とは?	村井 正誠		美術(月刊)(サンアート)	255
木彫日本のかたち十選8 土方久巧「まなこ」	〃	〃	6.14	絵は風景「自画像」 村井正誠	芥川 喜好		読 売	8.11
木彫日本のかたち十選9 植木茂「櫻(くさび)」	〃	〃	6.18	白木(正一)先生と私	村岡 和雄		美術文化復刊	17
木彫日本のかたち十選10 昆野恆「トルソ」	〃	〃	6.19	追悼:村上三郎 三ちゃんは飛んで行ってしまった。	元永 定正		美術手帖	722
巻頭特集 版と紙の饗宴5	武蔵 篤彦	版画芸術	93	新春特別対談 平山郁夫+村上三島 芸術の使命について			アートトップ	150
特集 おかずのように“美”を食らう 武者小路実篤と戦後日本	小泉 晋也	美術(月刊)(サンアート)	252	リレーエッセイ 現代を創る作家達3	村上 隆		〃	151
特集 おかずのように“美”を食らう 実篤と近代文人画1	川口 直宜	〃	〃	吾輩は日本画博士第1号	〃		芸術新潮	564
特集 おかずのように“美”を食らう 実篤と近代文人画2	庄司 淳一	〃	〃	ART is DOB.	〃		TOKYO POP 一新しい美術のイメージ展 図録(平塚市博物館)	
特集 おかずのように“美”を食らう 実篤と「馬鹿一」	紅野 敏郎	〃	〃					
特集 おかずのように“美”を食らう 想い出の実篤1	武者小路 辰子談	〃	〃	ヒニクなファンタジー(村上隆)	和田 浩一		現代5人の想像界 図録(宮城県美術館)	
特集 おかずのように“美”を食らう 想い出の実篤2	渡辺 貫二	〃	〃					
特集 おかずのように“美”を食らう 実篤絵画の大衆性と市場性	藤田 一人	〃	〃	ついに HIROPON だ!!	村上 隆		〃	
私が選んだこの一冊 「武者小路実篤集」	武藤 敏 早瀬 圭一 聞き手	毎 日	11.6				ユリイカ	377
特集 棟方志功の宇宙 棟方志功が棟方志功であること	K・O	芸術公論	73	絵は風景「津軽圏、弘前、品川町、胸肩神社前線釘打圖」村上善男	芥川 喜好		読 売	11.10
特集 棟方志功の宇宙 版画の神に愛された男	A・I	〃	〃	表紙の言葉 室内楽の響き	村田 睦夫		絵	388

異能の画家一 村松秀太郎の世界	金原 宏行	交感する6個の口 磁場のつる河鈴能 展龍夫実征松秀太 島村郎山本和良 文守卑良 太図録(茨城近代 美術館)	乾 淳子	三重の子 どもたち 発たわ町 見!わたしの 録(三重立美 術館)	
夢の中に描き、夢 の中に歌はうー村山槐 多のモデルくお玉さ さんを探して	佐々木 央	絵	386		
大特集 掌の美 愛 しきものへのラヴレ ター 槐多とつなぐ 「木鈴クン」(村山太 郎)	窪島誠一郎	芸術新潮	559		
特集 当代人気作家 12人が集った平成 「連画」の試み 参加 作家たちの言葉	室越 健美	美術(月刊) (サンアート)	248		
(メ)					
特集 平成8年前期 の美術賞とその作品 “絵画的なもの” と“彫刻的なもの” の現場一東島毅と明 和電気	小松崎拓男	美術(月刊) (サンアート)	251		
ぼくの空想コレク ション210 下町の 香り一目黒祥元	秋山 和歩	〃	244		
(モ)					
米シアトル・アーツ ・フェスティバルに 参加して	最上 寿之	産 経	10.6		
淀井敏夫、堀内正 和、建昌寛造、清水 九兵衛、流政之、土 谷武、最上壽之、草 間彌生、饗嘯一素材 とかたちからみた9 人の歩み 8 最上 壽之と木	外館 和子	素材とか触 れあう対 話展 フリー美術 館'96図 録(茨城 県近代美 術館)			
試論一成田克彦	母袋 俊也	造形学研 究	14		
私の夢の美術館 都 市空間を美的カオス に	望月 菊磨	産 経	4.7		
特集 あの時時代の感 動へー9人が語る '64年 一九六四年 作「聖火」について	元永 定正	新美術新 聞	757		
追悼岡本太郎 あの ときの太郎さん	〃	美術の窓	154		
画家・元永定正さん	乾 淳子				
全日本アートサロン 絵画大賞展 審査評	元永 定正	産 経	1.20		
二枚の絵 ルドン 「ギュクロープス」/ 大津絵「鬼の念仏」	元永 定正 稲賀石丸	繁美 正連	毎 日		1.14
全日本アートサロン 絵画大賞展 審査評	本山 唯雄	産 経	1.20		
受賞者インタビュー 第3回高知国際版 画トリエンナーレー 百瀬寿		ギヤ ラー (月 刊)	131		
絵画からの距離、絵 画までの距離一 百瀬寿の「描かない絵画」 の道程	三上 満良	百瀬寿/ 小野皓一 展 現代 作家図録 (宮城県 美術館)			
むなしい旅の世界と ほんものの天国	百瀬 博	自由美術 展'96図 録(東京 都館)			
Tripitaka 玄奘三蔵 求法の旅	森 公一	成安造形 大学研究 紀要	3		
チェコで会ったアー ティスト・クルト	森 千香子	ギヤ ラー (月 刊)	140		
21世紀の女性像 談	森 英恵 長谷川智恵 米倉 守	新美術新 聞	763		
1996夏一三題	森 真	自由美術 展'96図 録(東京 都館)			
世界各地の窯の復元 を指導した焼き物デ ザイナー 森正洋さ ん	日吉 憲司	朝 日	7.20		
今月の名ショット16 真夏の炎天下のカ ゲロウ?突如現れた 天女の舞(森万里子)	安斎 重男 写真・文	美術手帖	732		
ヒニクなファンタ ジー(森万里子)	和田 浩一	ヒニクな ファンタ ジー展 現代5人 の想像 界図録 (宮城県 美術館)			
三橋兄弟治先生を偲 ぶ	森相 實	新美術新 聞	772		

特集・個と集団 目 鼻をつける	森川ユキエ	主体美術	1996	§ 自作「肌理の海」について §	森本 玄	瓜生：京 都芸術短 期大学紀 要	18
先輩の顔	森川ユキエ (旧姓峯村)	女流画家 協会展50 回 図 録 (東京都 美術館)		森本草介《牡丹》	森本 草介	日 経	1.1
未来志向[25人の若 き実力作家] 森田 りえ子		ア ー ト ト ッ プ	151	WORLD WIDE MIX 森本尚則の世界 自然界の動きを 木の表情で表現	天野 順	デザイ ンの現 場	83
館藏品紹介 森野泰 明「Work 86-13」	中ノ堂一信	国立国際 美術館月 報	51	文化功労者 歴史上 の人物を身近に一守 屋多々志さん		新美術 新聞	783
アトリエの画家たち 11 森野真弓「定 型」からの脱却	田中 誠一 撮影	版画芸術	92	守屋多々志とその歴 史画一史実を探り史 観を示す歴史画家一	田中日佐夫	守屋多々 志展「歴 史の旅(茨 城県近代 美術館)	
New Face 森村泰 昌	篠原 弘	ア ー ト ト ッ プ	152	守屋多々志 扇面絵 の独自性一扇面 芭 蕉を中心に一	金原 宏行	〃	
森村泰昌・オースト リアを行く 第10 回シドニービエン ナーレ・レポート (前編)(後編)	森村 泰昌	ギ ャ ラ リ ー (月 刊)	138、139	リレーエッセイ 現 代を創る作家達4	森山 知己	ア ー ト ト ッ プ	152
創刊555号記念大特 集 日本神々 のようなきに「神」 を感じますか? あ いまいな日本の神様 が好き	〃	芸術新潮	555	虫眼鏡(森山知己)		新美術 新聞	762
女優をめぐる恐怖小 説「ベニスティック ・シアター」	〃	美術手帖	724	顔 伝統文化ポーラ 大賞を受けた久留米 耕技術保持者会の会 長 森山虎雄さん	星子 育生	読 売	8.28
森村泰昌は人類を救 えるか	天野 太郎	森村泰昌 美に至 る病一 女優に なっ た私展 図 録 (横浜 美術館)		一通の手紙	森脇 榮子	女流画家 協会展50 回 図 録 (東京都 美術館)	
ギ・装置Mの降誕祭 (フォーリーナイト)一 森村泰昌のために	小林 康夫	〃				(ヤ)	
女を装う男一森村泰 昌「女優」論	千野 香織	〃		大特集 司馬遼太郎 が愛した「風景」 八 木一夫 わが友は天 才なりき		芸術新潮	560
MORIMURA — 3 つの解釈	ノーマン・ ブライソン	〃		館藏品紹介 八木一 夫『瓜のかたちで満 ちてくる潮』	中ノ堂一信	国立国際 美術館月 報	45
総特集=荒木経惟 アラーキー殺害計画 の真相	森村 泰昌	ユリイカ	370	55回展の内側からの 批評	八島 正明	美術文化 復刊	17
むかし夢見た未来の 美術一森村泰昌講演 会抜粋一	奥村 文責	和歌山県 立近代 美術館 ニュー ス	9	1920年代洋画家の内 的な「必然性」とその 表現一萬鐵五郎、安 井曾太郎、梅原龍三 郎を中心に	田中 善明	20世紀日 本美術再 見展[2] …1920年 代 図 録 (三重県 立美術 館)	
マーク・ロスコ展 「無題(マルチフォー ム)」	森村 泰昌	東京夕刊	2.23	近代日本美術家列伝 79 安井曾太郎	長門 佐季	美術手帖	734
私流 森村泰昌さん 女優や画家に変幻 自在	高橋 直彦 清水 健司 写真	読 売	6.4	父 安井曾太郎の思 い出 安井良子さん に聞く	西田 桐子	ピロティ	99
巻頭特集 日本の風 景木版画 美しき山 河 記憶のなかの風 景が版画になる	森村 玲	版画芸術	92				

安井曾太郎のデッサン一本館収蔵品を中心に	〃	〃	〃		「加納藩主永井家行列図巻」八幡実秋筆 明治時代	岐阜市歴史博物館だより	34
保田春彦展より	石崎 勝基	ひろのういんど	51		特集・個と集団 絵を描く喜び	八幡 三郎	主体美術 1996
安田靉彦筆「王昭君」表紙解説	川口 直直	刀剣美術	468		染織テキスタイル研究室展「私の創作を支えているもの」	八幡はるみ	瓜生：京都芸術短期大学紀要 18
近代日本美術家列伝66 安田靉彦	橋 秀文	美術手帖	731		創刊555号記念大特集 日本の神々ど のようなときに「神」を感じますか？ 依り代としての資格	藪内佐斗司	芸術新潮 555
研究ノオト 保田龍門旧蔵の写真とデッサンについて	寺口 淳治	和歌山県立近代美術館ニュース	9		JAPAN AT RANDOM 歴史性とユーモアで地域に届けこむ「築地えとビル」(藪内佐斗司)	白鳥 美雄 撮影	デザインの現場 82
表紙の言葉 蒼い手紙	安元 亮祐	絵	386		月刊やぶにらみ1、2 ナイアガラ便りその一、その二	藪内佐斗司	美術(月刊)(サンアート) 252、253
特集・個と集団 寸寸・「個と集団」	八橋 誠滋	主体美術	1996		月刊やぶにらみ3 電信柱	〃	〃 254
柳敬助・八重夫妻について	秋山 俱子	柳敬助・八重夫妻展「共に歩んだ女性画家と集録」(日本女子大記念館)			月刊やぶにらみ4 手の外科	〃	〃 255
新井奥達と碌山・敬助・光太郎について	柳 文治郎	〃			建物の肖像第54回一 横浜本町通り界隈その2	藪野 健	絵 383
デザインが生まれる場所 第7回 柳宗理 柳デザイン研究会	西村 佳哲	AXIS	62		建物の肖像第55、56回一あらゆる建物の試み一小樽その1、その2	〃	〃 384、385
生涯現役 「使える美しさ」追い続け、柳宗理さん	宮智 泉	読 売	8.25		アトリエ拝見その4 一藪野健氏	(熱 田)	〃 386
出口なき欲望社会 シニカルに表現一柳美和	白木 緑	日 経	10.27		建物の肖像第57回一 雪の山形旧街道を歩く	藪野 健	〃 〃
[さまよえる人](柳幸典)		美術家の展覧「多面化する表現と手法」図録(国立国際美術館)			建物の肖像第58、59回一変貌の中に残る面影名古屋その1、その2	〃	〃 387、388
柳幸典 境界を越えた感性 固定観念打ち砕く	坂本 憲一	日 経	9.29		建物の肖像最終回 変化と不変の楽しさ 早稲田界隈	〃	〃 389
文化功労者 三次元の彫刻を四次元に一柳原義達さん		新美術新聞	783		オリジナル版画制作記 冬のサボテン群	矢辺 博子	版画芸術 94
自然体 平成八年新作刀展覧会の概要 授賞式・講評・受賞作品・受賞のことは	柳村 宗寿 (将之)	刀剣美術	475		New Face 山内和則	篠原 弘	アート トップ 153
<近代大阪の日本画家たち6> 矢野橋村と南画の系譜	武田 俊哉	茶道雑誌	60-9		郷土出身の画家、山内多門の歩み	富迫 美幸	鹿島美術研究 13
水上杏平対談特集 矢野鈴子		芸術公論	71		五輪ポスター発表で米から里帰り(ヒロ・ヤマガタ)		朝日夕刊 11.26
					PAPER IN MY WORK 53 山上裕司「バンド、怒っちゃうんじゃないの？」	中島 優子	デザインの現場 84
					ぼくの空想コレクション219 忘れ得ぬ軌跡一山川輝夫	秋山 和歩	美術(月刊)(サンアート) 253

名画再読 「紐」	山口薫 芥川 喜好	読 売	1.7	《あけぼの村物語》から、そして《あけぼの村物語》へ、1950年代。一来るべき山下菊二展のために一	尾崎 真人	〃	
新しい造形を求めて 「メディアと表現 一品川工・山口勝 弘」展開催をめぐつ て	横山 勝彦	品川工・ 山口勝弘 展 現代 美術の手 メと ディア 表現図録 (練馬区 立館)		異族の眼—山下菊二の1960年代	有川 幾夫	〃	
実験工房	山口 勝弘	1953年ラ イトアッ プ展—戦 後がき 美術像 見えて た(目黒 美術館)		山下菊二 1970— 1986 絵画からコ ラージュへ	原田 光	〃	
1950年：モビールの 季節	〃	和歌山県 立近世 美術館 ニュース	8	名画再読 山下菊二 「あけぼの村物語」	芥川 喜好	読 売	3.17
時の人	山口 高	アート トップ	152	山下充さんのアトリ エを訪ねて 天女の 見た富士	村瀬 雅夫	絵	388
染織テキスタイル研 究室展 「水の塔」に ついて	山口 通恵	瓜生：京 都芸術 短期大 学紀要	18	南画院創立50周年記 念展絵画集出版にあ たって	山田 耕雨	新聞美術新 聞	775
技法講座5 山口実 ・混合技法で描く静 物画	美術の窓	161		表紙の言葉 ワニの 一時	山田 修一	絵	384
青山CGスクールメ ロン校長山口泰博イ ンタビュー ME— LON、そのユニ クなラーニング・マ ネージメント	西村 佳哲	デザイン の現場	85	作家の言葉	山田 善三	福島の新 世代'96 展 図録 (福島県 立美術 館)	
序にかえて	石丸 正運	銀の芸術 創耀技 展—山口 義造の 世界— 図録 (滋賀 近代美 術館)		巻頭特集 版と紙の 饗宴3 山田隆志 Being ART Watc hing 20 独自の空 間感の獲得へ— 千代	(編集部・ 安田)	版画芸術	93
創耀技との出会い	池田 重良	〃		鄭鍾孝・山田直行二 人展によせて—再び 民衆の共感を求めて —	山岸 信郎	山田直行 展 図録 (真木・ 田村画 廊)	
山口義造氏と創耀技 芸術における治	山口 昌哉 松田 勝彦	〃		作家訪問(235) 「仏 伝図(油彩)」 山田 紀子さん	編集部	目の眼	237
物理学者フランス・ ペラン博士ご夫妻に 捧ぐ	山口 義造	〃		JAPAN AT RAN DOM 東コレ参加7 回目、着実にその力 を發揮する山田裕二	清水 早苗	デザイン の現場	84
山下菊二一人と絵画	三木 多聞	山下菊二 展(板橋 区立美 術館)		巻頭特集 日本の風 景木版画 美しき山 河 生まれた土地の 風景	山高 登	版画芸術	92
KとMとの人生案内	山下 昌子	〃		作家の言葉	山中 現	福島の新 世代'96 展 図録 (福島県 立美術 館)	
郷里の記憶、シュル レアリスムとの出会 い、戦地での体験な ど 1919—45年	江川 佳秀	〃		ぼくの空想コレク ション 217 心の 鳥、思いの翼—山中 聡	秋山 和歩	美術(月 刊)(サン アート)	251
				Visualizing tech nology 4 ローレ ンツの巨大絵	山中 俊治	AXIS	59
				Visualizing Tech nology 5 描き散 らされた進化のアイ デア	〃	〃	60

Visualizing Technology 6 使われなかったドリル	〃	〃	61					交感する磁場—6つの河口展—龍木夫—島征三—松秀太郎—山本文彦—和良—守卑—良—岡録—茨城—近現代美術館			
Visualizing Technology 7 乱流工学的肌触り	〃	〃	62	山本文彦の方法—モチーフ、イメージ、ジュ、主題	舟木 力英						
Visualizing Technology 8 翼の中の精緻な構造	〃	〃	63								
Visualizing Technology 9 小さな外科医の魔法の手と目	〃	〃	64								
時を結ぶ(山根耕)	(伸)	日本美術工芸	692			山本 文彦 山本 貞 宝木 範義	座談会 二紀会「50年」	新美術新聞		777	
極限状態の中から誕生した山藤流イラスト(山藤章二)		チャイム銀座(月刊)	179			山本 文彦	横たわる裸体十選9 山本芳翠「裸婦」	日 経		9.2	
巻頭特集 顔の見かた二種類の顔く顔立ち派>とく顔つき派>	山藤 章二	美術の窓	156			山本 正道	私の夢の美術館 巡礼の苦労が報われるとき	産 経		4.28	
アンディ・ウォーホル展 「日常」を題材に一般の芸術観覆したひらめき	〃	朝日夕刊	4.16			山本 容子	旬 豆	新美術新聞		756	
個展の声 裸婦の魅力	山村 博男	絵	391			山本 容子 堀田あゆみ インタビュー 橋本シャーン 絵	この著者と話したい 100 山本容子(『おこちゃん』)	美術(月刊)(サンアート)		247	
『平坦』目録及び解題 付・山本鼎「西洋木版に就いて」	森 登 編・解題	神奈川県立近代美術館年報	1994年度			山本 容子	幸せのレシピ 海に抱かれて深い眠りへ	朝日夕刊		8.8	
近代日本美術家列伝 59 山本鼎	原田 光	美術手帖	727			山本 容子	「コラムの闘争」	産 経		2.10	
彫刻公害 日本の街と不協和音!? 安直な展示やめ、自然との融合目指せ	山本 眞輔	東京夕刊	11.26			〃	土曜エッセー 「壁画について」	〃		3.9	
座談会 二紀会「50年」	山本 貞 山本 文彦 宝木 範義	新美術新聞	777			〃	ウィレム・デ・クーニング 無題	東京夕刊		6.10	
<研究資料> 山本豊市滞欧書簡(六)	山本 貞 千田 敬一 編	疎山美術館報	17			山本 容子	悪魔のような天使の匂い—香水嫌いが生み出したパラドキシカルな「ヨウジ」—(山本耀司インタビュー)	AXIS		63	
未来志向「25人の若き実力作家」 山本直彰		アートトップ	151			山本 容子	特集 版画に刻まれたエロスの饗宴—少女のエロティシズム—その危うさと神秘性—インタビュー・山本六三	美術(月刊)(サンアート)		249	
DOORへ—山本直彰の画歴	北澤 憲昭	山本直彰展 DOOR 現代作家シリーズ96 図録(神奈川県立県民ホールギャラリー)				湯村 輝彦		デザイン現場		81	
山本伸生氏に聞く ガウディ建築から啓示を受けた写真家		ギャラリー(月刊)	129			〃	特集 印刷をきわめる 実践コラム M A C データでシール印刷(湯村輝彦)	〃		83	

(ユ)

個展の声 の質感	制作の核	湯山 俊久 絵	389	東京 ROMAN 主義 22 水上勉「私版東 京図絵」の成城	”	”	2.18
		(ヨ)		東京 ROMAN 主義 23 篠山紀信「三島 由紀夫の家」の三島 家	”	”	2.25
私と現代美術		横尾 忠則 EYES	8	東京 ROMAN 主義 24 高見順「都に夜 のある如く」の錦糸 町	”	”	3.3
創刊555号記念大特 集 日本の神々ど のようなきに「神 を感じますか? 神 様と仲良くするコッ ト		”	芸術新潮 555	東京 ROMAN 主義 25 高橋克彦「闇か ら覗く顔」の回向院	”	”	3.10
特集 あの時代の感 動へー9人が語る '64年 生まれたば かりのピーターパン		”	新美術新 聞 757	東京 ROMAN 主義 26 芥川龍之介「寒 山拾得」の飯田橋	”	”	3.17
アンディ・ウォーホ ル 1956-86:時代 の鏡 私とアンディ ・ウォーホル		”	”	東京 ROMAN 主義 27 大江健三郎「静 かな生活」の成城学 園前	”	”	3.24
岡本家の人びと 横 尾忠則の「岡本太郎 絵画館」		”	太 陽 94	東京 ROMAN 主義 28 谷内六郎「やま びこの住む場所」の 夢の島	”	”	3.31
特集 印刷をきわめ る 実録 イラスト 表現のポスターを入 稿する(横尾忠則) 印刷担当者とのコ ミュニケーション術		”	デザイン の現場 83	東京 ROMAN 主義 29 亀倉雄策「東京 オリンピック」の国 立競技場	”	”	4.7
この著者と話したい 99 横尾忠則(「横尾 忠則自伝」 「横尾 忠則 三日月旅行」)		”	美術(月 刊)(サン アート) 246	東京 ROMAN 主義 30 大島渚「新宿泥 棒日記」の紀伊国屋 書店	”	”	4.14
巻頭特集 色彩の見 かた 色の魔術性 横尾忠則 インタ ビュー		編集部イン タビュー	美術の窓 158	東京 ROMAN 主義 31 水谷準「獣人の 獄」の乱歩邸	”	”	4.21
東京 ROMAN 主義 15 三島由紀夫「離 宮の松」浜離宮		横尾 忠則 朝 日	1.7	東京 ROMAN 主義 32 美輪明宏「毛皮 のマリー」の天井棧 敷	”	”	4.28
東京 ROMAN 主義 17 山田洋次「男は つらいよ」の柴又帝 釈天		”	”	東京 ROMAN 主義 33 横尾忠則「今ハ 昔」のラフォーレ原 宿	”	”	5.5
東京 ROMAN 主義 18 永井荷風「曇天」 の不忍の池		”	”	東京 ROMAN 主義 34 南洋一郎「バル ルーバの冒険」の小 金井	”	”	5.12
東京 ROMAN 主義 19 寺田寅彦「団栗」 の小石川植物園		”	”	東京 ROMAN 主義 35 黒澤明「夢」の水 道一丁目辺り	”	”	5.19
あの人とこんな話 神が人に何かを伝え るために表現者を必 要としている。だから 描かせてもらって いる。画家横尾忠 則さん		田中 美絵 南條 良明 写真	”	東京 ROMAN 主義 36 杉浦茂「2901年 宇宙の旅」の井の頭 公園	”	”	5.26
東京 ROMAN 主義 20 柴田錬三郎「う ろつき夜太」の高輪		横尾 忠則	”	東京 ROMAN 主義 37 モーツァルト 「魔笛」の月島	”	”	6.2
東京 ROMAN 主義 21 吉行淳之介「大 きい荷物」の田園調 布		”	”	東京 ROMAN 主義 38 荒俣宏「南方に 死す」の碑文谷	”	”	6.9
		”	2.11	東京 ROMAN 主義 39 山川惣治「少年 王者」の飯倉	”	”	6.16

東京 ROMAN 主義 40 小澤征爾・武満 徹「音楽」のトロント	〃	〃	6.23	ポスターの熱き時代 十選5 横尾忠則 「状況劇場のジョン ・シルバー」	長友 啓典 日 経	10.1
東京 ROMAN 主義 41 スピルバーグ 「ジュラシック・ パーク」のカウアイ 島	〃	〃	6.30	被災地に新たな問 題、少しでも協力し たい	横尾 忠則 日経夕刊	5.16
東京 ROMAN 主義 42 スタンダール 「モーツァルト」のJ AL機内	〃	〃	7.7	横田寿夫 道端には ほえむ石仏	(図) 朝 日	11.21
東京 ROMAN 主義 43 井上光晴「小説 の書き方」の大阪ロ イヤルホテル	〃	〃	7.14	KIDI PERSONS 横道伸子 NYで 「ラッキー」をきりひ らく	大竹 秀子 デザイン の現場	84
東京 ROMAN 主義 44 地方編 細江英 公「新輯薈薇刑」の清 里フォトミュージア ム	〃	〃	7.21	岡倉天心 横山大観 書簡一黒澤吉次郎 宛	藤本 陽子 五浦論叢	3
東京 ROMAN 主義 45 地方編 W・ ディズニー「ミッ キーマウス」の東京 ディズニーランド	〃	〃	7.28	東京美術学校改革と 大観	吉田千鶴子 横山大観 記念館館報	14
東京 ROMAN 主義 46 遊沢龍彦「都心 の病院をテコ見 タルコト」の慈恵医 大病院	〃	〃	8.4	大観の草稿雑記帳一 「午下り」を中心に一	小野谷裕子	〃
東京 ROMAN 主義 47 岡本太郎「今日 の芸術」の岡本家	〃	〃	8.11	竹下勇日記と大観書 簡一アメリカ時代の 大観関係資料一	長尾 正憲 編	〃
東京 ROMAN 主義 48 唐十郎「腰巻お 仙」の戸山ハイッ	〃	〃	8.18	堀至徳日記一インド 時代の関係資料一	〃	〃
東京 ROMAN 主義 49 「娘道成寺」の歌 舞伎座	〃	〃	8.25	一追悼一石井英夫君 のこと	横山 敏明 美術文化 復刊	17
東京 ROMAN 主義 50 瀬戸内寂聴「三 宅坂」の国会議事堂	〃	〃	9.1	特集・個と集団 二 十一世紀へ	吉井 忠 主体美術	1996
東京 ROMAN 主義 51 磯崎新「東京そ の形と心」の恵比寿 ガーデンプレイス	〃	〃	9.8	名画再読 吉岡憲 「高田馬場風景」	芥川 喜好 読 売	4.28
東京 ROMAN 主義 52 モーリス・ベ ジャール「ディオニ ソス」の東京文化会 館	〃	〃	9.15	いにしへの衣の色再 現一紫や藍、茜…古 法のまま四季の草花 で染める	吉岡 幸雄 日 経	4.23
東京 ROMAN 主義 53 深沢七郎「夢屋」 の向島	〃	〃	9.22	第2特集 フット ワーク このデザイ ナーたちの足さばき 吉岡徳仁 私の10 年後 コンセプトを 発展させていけれ ば、ジャンルや形 態、デザイナーを続 けることにさえ、こ だわらない。	川上 典子 AXIS	60
東京 ROMAN 主義 54 青島幸男「東京 都知事」の都庁	〃	〃	9.29	日本伝統の色を再 現、『色の歴史手帖』 まとめる 吉岡幸雄 さん	赤岡 東 産 経	2.19
芸術にとって靈性が 一番大事 横尾忠則	(も)	東 京	11.9	大臣賞制作意図	吉賀 将夫 日 展 ニューズ	83
				リレーエッセイ 現 代を創る作家達5	吉川 優 アート トップ	153
				特集・個と集団 地 方から全体とのかか わり	与志崎 朗 主体美術	1996
				第8回倫雅美術奨励 賞決定 内山淳一 氏、高階絵里加さ ん、吉澤美香さんに	新美術新 聞	783

「位相一大地」について	吉田 克朗	美術の考古学第1部「位相一大地」の考古学展(西宮記念美術館)	明治を生きた女性画家十選10 吉田ふじを「ボンシデレオ・ホテルの中庭」	草薙奈津子 日 経	11, 29
吉田克朗氏へのアンケート		〃	追悼 吉田穂高 現代神話の映像	現 版画芸術	91
北大路魯山人の人生行路	吉田 耕三	北大路魯山人展 美食もなしの芸術(東京都庭園美術館)	追悼・吉田穂高 江古田の月曜日	河野 実	〃 〃
特集 わたくしの書室 吉田功一大自然がわたしのアトリエ	(S)	墨	短歌的前衛から版画的前衛へ 若き日の吉田穂高	笠原 伸夫	〃 〃
あすへの話題 桜の園の「音」	吉田 直哉	日経夕刊	故・吉田穂高氏弔辞	北岡 文雄 連 盟 ニュース	365
あすへの話題 都市の黙示録	〃	〃	独自のドラマツルギー A・ガウディから…	吉留 要	主体美術 1996
あすへの話題 カラスのIQ	〃	〃	追悼：吉原通雄 真似のできないものをアトリエの扉をあけて15 吉廣伸樹 ヴァイタリティにあふれて	河崎 晃一	美術手帖 724
あすへの話題 賢治生誕百年	〃	〃	大特集 掌の美 愛しきものへのラヴレター トンボ玉から世界が見える	中島 優子	デザインの現場 84
あすへの話題 落葉と相続	〃	〃	吉村益信「HOW TO FLY 2」	芸館だより	119
あすへの話題 スウジ	〃	〃	ネーデルラントからの手紙1 ディアー・アレックス	吉屋 敬	東京 9.8
あすへの話題 地雷の世紀	〃	〃	ネーデルラントからの手紙2 求む・少年	〃	〃 10.6
あすへの話題 縄と稲の仮説	〃	〃	ネーデルラントからの手紙3	〃	〃 11.3
あすへの話題 携帯密室	〃	〃	売り込み君19	吉原 伸浩	デザインの現場 80
あすへの話題 心に火をつける	〃	〃	浅草の生人形に魅かれる人形師 四谷シモンさん	鈴木 貴彦	東京夕刊 6.1
あすへの話題 反面教師	〃	〃	淀井敏夫 大阪市立工芸高校	西川 昌宏	新美術新聞 784
ボストンでの「日本画家水彩画展」(吉田博)	安永 幸一	国立博物館ニュース	淀井敏夫、堀内正和、建昌寛造、清水九兵衛、流政之、土谷武、最上壽之、草間彌生、鬚嘯一 素材とかたちからみた9人の歩み 2 淀井敏夫とブロンズ	外館 和子	素材とかたち触覚との対話展 ファミリー美術館'96 図録(茨城美術館)
不同舎の吉田博	青木 茂	吉田博展 近代風景画の巨匠と清新な叙情図録(福岡市美術館)	絵は風景 「街・朝」 米谷清和	芥川 喜好	読 売 10, 27
「高山の美を語る」(吉田博著)にみる吉田博像	足立 朗	〃	彫刻の“皮層”と視覚	谷 新	米林雄一展 図録(ギャラリーユマニテ東京)
吉田博の三つの時代	安永 幸一	〃	DTPによる雑誌「onlimits」のエディトリアルデザイン	世ノ一善生	成安造形大学研究紀要 3
吉田博 訪米中の新聞記事	〃	〃			

自作を語る一艾沢詳子	侶美以	56		特集 サウンド／アート ログズ・ギャラリー Driving Around the Big City	山本 淳夫	〃	734
1920年代洋画家の内的な「必然性」とその表現—萬鐵五郎、安井曾太郎、梅原龍三郎を中心に	田中 善明		20世紀日本美術再見展〔2〕…1920年代凶録(三重県立美術館)		(ワ)		
近代日本美術家列伝67 萬鐵五郎	水沢 勉	美術手帖	731	デザインが生まれる場所 第5回 ワイヤード／雑誌編集部 (interview=小林弘人)	西村 佳哲	AXIS	60
萬鐵五郎の初期風景表現について	有川 幾夫	宮城県美術館研究紀要	8	写真の時代4 SP-ONTANEOUS EXPOSURES	若木信吾写真／林文浩監修	デザインの現場	80
萬鐵五郎《裸体美人》の現代性	〃	萬鐵五郎自分の自然を求めた画家(町立美術館)		受賞者インタビュー キリンコンテンポラリー・アワード96—若智大暉		ギャラリー(月刊)	138
自分の自然をあらわせばよい—“原人”萬鐵五郎の絵画に宿る魂	神山 敦朗	〃		キリンコンテンポラリー・アワード'96 最優秀作品賞に若智大暉氏「融解座敷」		新美術新聞	778
萬鐵五郎の水彩	平澤 広	画家への出発 萬鐵五郎と二人の師(萬鐵五郎記念館)		人らんだむ 若智大暉さん	(白)	〃	778
	(ラ)			新美術時評 不穏な庭—若林奮の企て	北澤 憲昭	〃	777
明治を生きた女性画家十選6 ラグーザ玉「春」	草薙奈津子	日 経	11, 21	ゴミ処分予定地に芸術作品 若林奮さんから反対運動に共鳴		〃	〃
	(リ)			第27回中原悌二郎賞、若林奮氏に決まる。優秀賞は岡本敦生氏		〃	779
近代日本美術家列伝77 バーナード・リーチ	水沢 勉	美術手帖	734	人らんだむ 第27回中原悌二郎賞を受賞した若林奮さん	(美)	〃	780
	(ロ)			緊迫する日の出町、ゴミ処分場予定地内若林奮さん“庭”に危機		〃	785
雑踏のノイズ(rosy CO.,)	新川 貴詩	美術手帖	731	第27回中原悌二郎賞決定！ 中原悌二郎賞は若林奮氏、優秀賞は岡本敦生氏に	編集部	美術の窓	160
顔「新宿アイランド」で日本建築学会賞を受けた六鹿正治さん	初田 正俊	読 売	10, 23	トラストの森をアートに変えた彫刻家 若林奮さん 森林破壊に良心の一石	井上 昇治	東京夕刊	8, 10
サウンド！サウンド！ノイジー！（ログズ・ギャラリー）		美術手帖	726	紛争地のアート、ゴミ処分場に“庭”を作る若林奮氏	三田 晴夫	毎日夕刊	6, 4
				若林奮のく作品>	前田 英樹	若林奮展 煙と霧 図録(足利市立美術館)	
				煙と霧 若林奮の版画と彫刻	小泉 晋弥	〃	
				焼きなまし銅板による版画作品について	江尻 潔	〃	

平成8年定期刊行物所載文献(作ワ)

全版画作品目録(若林奮)	〃	〃		ヨハネ9章を考える	〃	〃	
売り込み君22	若原 徳広	デザインの現場	83	澤也の椅子	〃	〃	
光一郎と日本紙	猪熊弦一郎	若松光一郎の世界展(池田20世紀美術館)		二枚の絵 レック「ディヴァン・ジャポネ」 鷹思「淑女と髻」	和田 誠 竹内 次男 瀬木 慎一	毎日	7.14
若松光一郎の世界展に寄せて	林 紀一郎	〃				交感する 磁場—6 つの個 展/河口 龍夫/能 木美二 島征二 村松秀 太郎/山 本彦/和 太守卑 良(茨 城県近 代美術 館)	
“もぎり屋さん”と私	佐藤 忠良	〃		「器」「文様」それにまつわるあまたのゲーム(和太守卑良)	山本 哲士		
若松さんのコラージュ	本間 正義	〃					
鳥の歌	若松紀志子	〃					
近代日本美術家列伝43 和田英作	水沢 勉	美術手帖	721				
巻頭特集 色彩の見かた 色深さ一素 材とキャラクターをめぐって	編集部イン タビュー	美術の窓	158	巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡 礼 渡辺栄一	(編集部・ 辺見)	版画芸術	94
出品作家コメント 「榎倉康二と私について」	和田 賢一	レクイエム 榎倉康二と33 人の作家一展 (斎藤記念 川口現代 美術館)		渡辺一雄さんのこと	八百山 登	郷土の作 家たち展 図録(福 井県立 美術館)	
[自分を育てる](和田千秋)		美術家の 冒険展 [多面化 する表現 と手法] (国立国 際美術 館)		ダイナミックな生命 感 渡辺小六	水上 杏平	アートマ インド	85
障碍の美術/美術の障碍	川浪 千鶴	和田千秋 展「障碍 の美術 現代美術 のリハー シヨ」 図録(朝 日チャ ラー(有 楽町))		誌上回顧 渡邊禎雄 型染版画で描き出す「民衆の物語」	西阪 盾	版画芸術	94
「障碍の美術」について	和田 千秋	〃		特集 あの時代の感動へ—9人が語る '64年 大政翼賛ム ードへの抵抗	渡辺 恂三	新美術新 聞	757
ある宗教者に答えて	〃	〃		日展満50年(3) 飄々たる上品なモデル	渡邊 武夫	〃	762
文化の森	〃	〃		巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡 礼 渡辺千尋	(編集部・ 内田)	版画芸術	94
床の文化	〃	〃		夢なら正夢9 末期 の美術を目論む 追 悼・渡辺一	米倉 守	美術(月 刊)(サン アート)	253
美術・宗教・福祉の起源	〃	〃		売り込み君2 1	渡部 宏高	デザインの 現場	82
障碍者・レオナルド	〃	〃		渡邊幹夫 闇の中で 光を与えられた女た ち	(編集部・ 宮田)	版画芸術	94
すべて人は障碍者である	〃	〃		旬 かわはぎ	わたなべ ゆう	新美術新 聞	773
日本の歴史の暗い始まり	〃	〃		明治を生きた女性画 家十選2 渡辺幽香 「幼児図」	草薙奈津子	日 経	11.15
				巻頭特集 日本の風景 木版画 美しき山 河 満天の星空の山 麓風景	渡辺 裕司	版画芸術	92

渡辺義雄一写真への挑戦と表現の変遷	丹羽 晴美	渡辺義雄の世界展の図録(東京都写真美術館)	遙かな存在からの贈り物—ロジャー・アックリング	浜田 拓志	〃	
渡辺義雄の写真懐い出	澤本 徳美	〃	表紙の話 「紀伊半島を歩いて—ロジャー・アックリング&ハミッシュ・フルトナー」展ポスター	植野比佐見	和歌山県立美術館 9	
冷徹な建築写真家	亀倉 雄策	〃	スタジオ・クラフトを介してアバカノヴィッチから橋本真之へ—素材相対主義の系譜と克服	金子 賢治	東京国立近代美術館研究紀要 5	
作家・海外						
(ア)						
§ 作家の言葉 §	ジャッキー・アーヴィン	富山国際現代美術展6回図録(富山県立近代美術館)	特集=アントナン・アルト—意識のこゝろの息切れ…	ジャン・ルイ・シエル フェル 松岡新一郎 訳	ユリイカ 382	
アーキグラムの「ウォーキング・シティ」	五十嵐太郎	未来都市の考古学展図録(東京都現代美術館)	特集=アントナン・アルト—顔—アルトの肖像デザイン	矢野 静明	〃 〃	
特集 最新海外注目アーティスト1996 ニコル・アイゼンマン	藤森 愛実	美術手帖 726	特集=アントナン・アルト—殴打する分身	八角 聡仁	〃 〃	
特集 最新海外注目アーティスト1996 トニー・アウスラー	梁瀬 薫	〃 〃	レリーフ—生と死をを通底する器	村田 宏	アルプ—Homm-e, Mous-tache et Nombr-il 展図録(名古屋画廊(名古屋))	
特集 FUTURE CALLING 意識を覚醒する4人の実験 ホセ・アグエイアス 古代マヤ文明の謎に地球のためのデザインをさぐる	高橋 徹	デザインの現場 82	WORLD WIDE MIX 国際政治の舞台にも進出 R・ウィルソン演出の「G・A(ジョルジョ・アルマーニ)ストーリー」	矢島みゆき	デザインの現場 84	
総特集=荒木経惟「今」の静止状態あるいは弁証法的形象—アジエのバリ、荒木の東京	高橋 順一	ユリイカ 370				
特集 FUTURE CALLING 意識を覚醒する4人の実験 クリスチャン・アストゥグヴィエイユ 触覚に訴えるデザイン	青井 裕子	デザインの現場 82				
リタ・アッカーマン ロングインタビュー	菅付 雅信	〃 81	フランクフルト近代美術館におけるジャー・アルマジャーニの《サッコとヴァンゼッティ》の展示とその解釈としての本展のベネトン・ルームについて	S.K.	プロジェクト・フォー・サバイバル展 1970年以降の現代美術再訪: プロジェクト「意志的・投企的」な実践の再発見に向けて 図録(東京国立近代美術館)	
陰影の世界の名残について	ロジャー・アックリング	ロジャー・アックリング&ハミッシュ・フルトナー展—紀伊半島を歩いて—図録(富山県立近代美術館)	魯迅、フェージン、アレクセーエフ 『都市と歳月』挿絵のことなど	阿部 幸夫	実践女子大学美術史学 11	

小磯良平とアングル 『ドミニック・ア ングル—画人傳— を中心に—	廣田 生馬	神戸市立 小磯記念 美術館研 究紀要	1			ドナウの 夢と追憶 展—ハン ガリーの 建築と応 用美術18 96—1916 図録(東京 国立近代 美術館)
ジェームス・アン ソールの『怒れる仮 面』(1883)について	福満 葉子	日仏美術 学会会報	15	イヒネルとハンガ リーの世紀末建築	アンドラー シユ・アン ドラーシユ	
第68回例会発表要旨 ジェームス・アン ソール/借用と創造 『私のお気に入り の部屋』(1892)をめ ぐって	熊野 有子	〃	〃			(ウ)
ビエール・スラー ジュ—光り輝く黒	ジャンニ イ・アンド ラル	アトリエ インター ナシヨナ ル	829	ワットーと『絵画的 コンポジション— 美学史の資料として の絵画作品—(美学 会第四十七回全国大 会報告)	佐々木健一	美 学 187
(イ)						
陶磁餘滴29 ついに 手に入らなかった無 號 李漢福氏の書画	朴 乘來 中西 晴代 訳	陶 説	516	エミール・ヤコフ ・シンドラーとその 周辺—マリイ・エー グナー、オルガ・ ヴィージンガーニフ ローリアン、カール ・モル、エドゥアル ト・ツェツェ	ゲルベルト ・フロード ル	クリムト と印象派 展—ベ ルギー 宮オ リア 所録 富 美 術 館 (東京 十 館)
「90年代の韓国美術 から一等身大の物 語」展から作家の言 葉	李 英培 (イ ー ベ)	現代の眼	500			
WORLD WIDE MIX SF MOMA チャールズ・イーム ス展に見る アメリ カの生活に溶け込ん だヒューマン・テク ノロジー	ガイ・ダイ アス 川上 典子 訳	デザイン の現場	83	ロバート・ウィルソ ンの夢の家	藤森 愛実	美術手帖 733
オーストリアの情趣 的印象主義—エミ ール・ヤコフ・シン ドラー、オイゲン・ イェッテル、ルドル フ・リーバルツにみ る「瞬間」の把握	ザビーネ・ グループ ナー	クリムト と印象派 展—ベ ルギー 宮オ リア 所録 富 美 術 館 (東京 十 館)		巻頭特集 WORLD D NEO GRAPHIC- A—最新・世界の現 代版画 テリー・ ウィンターズ エ モーションな線が 画面を埋め尽くす		版画芸術 91
特集 ロシア いま 誕生したデザイン、 いま甦るロシア構成 主義 ニューヨーク 在住レオニード・ イェンタス INT- ERVIEW プレ・ ベレストロイカのロ シアを離れて		デザイン の現場	80	「90年代の韓国美術 から一等身大の物 語」展から作家の言 葉	禹 順玉 (ウー・ス ンノク)	現代の眼 500
ブティ・ミューゼ シャガール5周年記 念、アンドレ・マル ローの著述を追って いて写真家・イジス を発見したわけなん です	鈴木 茂 インタ ビュー	ギャラ リー(月 刊)	133	§ 作家の言葉 §	ジリアン・ ウェアリン グ	富山国際 現代美術 展6回図 録(富山 県立近代 美術館)
				「ウェアリング・ ウェル」	ポール・ボ ナヴェン チュラ	〃
				ロヒール・ファン・ デル・ウェイデン作 『ブラック三連画』の 一考察	山本 陽子	美学・芸 術学 11
				審美逍遥 第32回〜 34回フランドル絵 画をめぐって 8〜10 ファン・デル・ウェ イデン	栗津 則雄	美術の窓 158〜160

特集 舞台はニッポン いま注目 在日 外国作家のこのパ ワー インタビュー ・アラン・ウエスト	美術(月 刊)(サン アート)	247	【特集 アンディ・ ウォーホル 1956— 86:時代の鏡】アン ディ・ウォーホル —エスニック・アー チスト	中村 敬二	ピロティ	101
WORLD WIDE MIX ミラノモー ドはファッションを 越える?! ヴェル サーチの異ジャン コレクション	デザイン の現場	81	【特集 アンディ・ ウォーホル 1956— 86:時代の鏡】「時 代の鏡」の批判性	中島 徳博	〃	〃
路筋に沿って光を与 えてくれるいくつか の路標(ミッシェル ・ヴェルジュ)	「Tranquility — 静謐 時間・空間 ・光をあやめる五 人の現代芸術家」 展図録(千葉市 美術館)		プロジェクト・ フォー・サバイバ ル展 1970年代 以降の現代美術 再訪:プロクティ ブ・エンジェ ル・投企実 践の再発 見に向け て図録 (東京国立 近代美術 館)	イザベル・ ラルト		
特集 ミスター・ ウォーホル! スー ペルヒーローな のですか? 1962 年“ポップの神 様”ウォーホル登 場!	(編) 芸術新潮	558	テルドレンズ・バ ヴィリオン ジェ ・ウォールとのコ ボレーション(1989 —1991)	ダン・グラ ハム		
特集 ミスター・ ウォーホル! スー ペルヒーローな のですか? ウォ ーホルが初登場 した時、世間の反 応はどうだったの ですか?	篠田 達美 インタ ビュー	〃	特集 サウンド/ アート アヒム・ ヴォルシャイト アートは理論的な建 築		美術手帖	734
特集 ミスター・ ウォーホル! スー ペルヒーローな のですか? スー パーアーティスト ウォーホルの光と 影	(編) 〃	〃	プロジェクト・ フォー・サバイバ ル展 1970年 以降の現代美術 再訪:プロクティ ブ・エンジェ ル・投企実 践の再発 見に向け て図録 (東京国立 近代美術 館)			
アンディ・ウォー ホル 1956—86: 時代の鏡 私とアン ディ・ウォーホル	横尾 忠則	新美術新 聞	ボリスカー(POLI- SCAR)	クシュトフ ・ウディチ コ		
アンディ・ウォー ホル 1956—86: 時代の鏡 芸術のコ ピュート	宮迫 千鶴	〃	「90年代の韓国美術 から一等身大の物 語」展【報告】シン ボジウムくそれぞれの 物語>	廠 貞淳 (ウム・ ジョン ソン)談	現代の眼	500
アンディ・ウォー ホル 1956—86: 時代の鏡 今になっ てほしい画集	福田 美蘭	〃	「90年代の韓国美術 から一等身大の物 語」展から作家の言 葉	〃	〃	〃
版画時評 フォト・ シルクスクリーンに よる絵画の誕生— アンディ・ウォー ホルの作品展	小川 正隆	版画芸術	特集 佐伯祐三の真 実 野獣・ヴラマン ク90分の咆哮		芸術新潮	556
アンディ・ウォー ホル ファクトリー ・ツアー	ビリー・ ネーム 今野 雄二 対談	美術手帖				
ポストHIV+シア ター(ウォーホル)	鴻 英良	〃				

(エ)

エイキングの肖像画 宮本 高明 岡山県立美術館 34

エミール・ヤコフ・シンドラーとその周辺—マリー・エーグナー、オルガ・ヴィージンガーニフローリアン、カール・モル、エドゥアルト・ツェツェ

ゲルベルト・フロード

岡山県立美術館
クリムトとウィーン派の印象展—ベネデクト・ヴァレスタス
画廊(東京美術館)

ジョージア・オキーフ 伊豆井秀一

アメリカ人の旗手展—フィリス・ブレンによる近頃の録(岡山県立美術館)

(カ)

読まれる画家—『フリーダ・カーロの日記』 安藤 哲行 ユリイカ 373

山本伸生氏に聞くガウディ建築から啓示を受けた写真家 ギャラリー(月刊) 129

(オ)

特集 舞台はニッポン—いま注目 在日外国作家のこのパワーインタビュー・王新平 美術(月刊)(サンアート) 247

フィリップ・ガストン 古田 浩俊 抽象表現主義展(セゾン美術館)

「緑脳」……意識進化仮説他 王 新平 LIFE / ART / TECHNOLOGY—生物のいのち ART 展 図録(O美術館)

カルロ・カッラの形而上絵画—「ヴァローリ・プラスティチ」誌掲載の作品をめぐって— 出村 雅哉 美学 187

日影 眩の360°のニューヨーク第25回水兵さんのお尻はセクシーか?(ポール・カドマス) 日影 眩 ギャラリー(月刊) 138

<アンケート> " "

WORLD WIDE MIX 香港にニューウエーブのコミックが誕生(欧陽應聲(クレイグ・オウイエン)) 小野 耕世 デザインの現場 83

イスタンブル物語5—カナレット、描かれたヴェネツィア 宝木 範義 日本美術工芸 692

アート・ディクショナリー4—COMMISSION WORK 大岩オスカール幸男 C.A.R. 21

「それが私の行こうとしているところだ」より(ルーシー・ガニング) クレア・リスベクター 富山国際美術展6回図録(富山県立近代美術館)

アート・ディクショナリー4—BUDGET " " 22

「動物的本能」より(ルーシー・ガニング) ケイト・ブッシュ " "

第4回横浜彫刻展大賞に大岩オスカール幸男氏 新美術新聞 774

カノーヴァの大理石像—カトルメル・ド・カンシーの批評をめぐって— 金井 直美 美学 185

特集 舞台はニッポン—いま注目 在日外国作家のこのパワーインタビュー・大岩オスカール幸男 美術(月刊)(サンアート) 247

巻頭特集 WORLD NEO GRAPHIC—最新・世界の現代版画—アニッシュ・カプア 始源の闇へと誘う虚の空間 版画芸術 91

「分析と注釈—中央ヨーロッパの現代美術」展 来日作家インタビュー ・カフカ(チェコ)	美術手帖	722	カンディンスキーの絵画作品における予言的大テーマと抽象の役割	フィリップ・セール 柏木加代子 訳	京都市立芸術大学 美術学部 研究紀要	40
パリで生きる画家たち 清水紀子、ジャン・テロシアン、 ボブ・レスコー、 ジョルジュ・カマ チョ	アートマ インド	85~88	海外研修報告 カン ディンスキーの影響 と業績 収集資料で 幅広くたどる	和田 浩一	JAAM	51
オリーブの葉—ダニ ・カラヴァンと三つ のインスタレーショ ン	酒井 忠康	神奈川県 立近代美 術館年報	1994年度	カンディンスキー作 《白い縁取りのある 絵》—その構成をめ ぐる問題について—	長屋 光枝	美術史 140
ソフィ・カル 封印 された距離	高橋 周平	美術手帖	727	1920年代前半のワシ リー・カンディンス キー—幾何学的抽象 における絵画「空間」 をめぐって—	清水佐保子	“ “
ガルニエ(トニー)の 工業都市	五十嵐太郎	未来都市 の考古学 展 図録 (東京都 現代美術 館)		ドゥイリオ・カンベ ロッチー—《フィー ネ・ディ・セーコロ 》の様式分析の試 み	芳野 明	宮城県美 術館研究 紀要 8
(キ)						
WORLD WIDE MIX あのス ティヴァン・ガンが BEAMSのために アートワークを制作	蜂賀 亨	デザイン の現場	81			
ラジブの世界	ソニア・ガ ンジー	ラジブ・ ガンジー 写真展 ある親密 なる映像 (ビジョ ン) 図録 (東京美 術館)		キースとハイド、旅 する人と住まう人	リチャード ・マイルズ	アジアへ の眼 外 国人の浮 世絵師た ら展 図録 (横浜美 術館)
祖父と末裔—カン ディンスキーの場合 など—	磯谷 孝	学 鏡	93-7	特集 最新海外注目 アーティスト1996 ラウラ・キカウカ	河合 純枝	美術手帖 726
館蔵誌上ギャラリー 40 ワシリー・カン ディンスキー「二つ の黒」	立元 史郎	鹿児島市 立美術館 だより	40	巻頭特集 WORLD- D NEO GRAFIC- A—最新・世界の現 代版画 ケン・キフ 偏執的ロマン主 義の世界		版画芸術 91
序	ヘルムート ・フリーデ ル	カンディ ンスキー & ミュン ター1901 —1917展 図録(セ ゾン美術 館)		ロレンツォ・ギベル ディのQuasi tutta- la parte di sottoの 解釈について	上田 恒夫	美術史 140
ヴァシリー・カン ディンスキーとガブ リエーレ・ミュン ター1901—1917展	アンネグ レート・ ホーベルク	“		「90年代の韓国美術 から—等身大の物 語」展から作家の言 葉	金 守子 (キム・ スージャ)	現代の眼 500
カンディンスキー& ミュンターと「芸術 の都」ミュンヘン	西村 勇晴	“		巻頭特集 WORLD- D NEO GRAFIC- A—最新・世界の現 代版画 金承淵 白 昼のストリート、光 と闇の都市		版画芸術 91
				「90年代の韓国美術 から—等身大の物 語」展から作家の言 葉	金 鍾鶴 (キム・ ジョンハ ク)	現代の眼 500

金 浩得 (キム・ホードック)	第2回彩の国さいたまアーティスト・イン・レジデンス 参加アーティストに伊のグスマン氏	新美術新聞	772
金 洪疇 (キム・ホンジュ)		エンツォ・クッキ展 図録 (セゾン現代美術館)	
金 明淑 (キム・ミヨンスク)	著書集	エンツォ・クッキ	
知られざる女流画家 キャリントンの奇妙な愛情生活	鈴木布美子	芸術新潮	554
特集 ロシア いま誕生したデザイン、いま甦るロシア構成主義 なぜか人から「ポップ・コンストラクティヴィズム(ポップ構成主義)」とよばれて	マルコム・ギャレット	デザインの現場	80
再発見されるキャンデラの仕事など	野村 良平	アートマインド	88
特集 かわいい「かわいい」の系譜 カレン・キリムニク	藤森 愛実	美術手帖	720
特集 ロシア いま誕生したデザイン、いま甦るロシア構成主義 シュブレマティズムにある「フォームとコンテントの共存」それはほくのデザイン哲学 そのものだった	デヴィッド・キング	デザインの現場	80
(ク)			
巻頭特集 WORLD NEO GRAPHIC-A—最新・世界の現代版画 具滋賢ドローイングされた現象		版画芸術	91
ニューヨーク発キャロル・ラトフィが検証する「アメリカのアジア人アーティストたち」—ウエンダー・グー(谷文達)	アトリエインターナショナル		831
19世紀後半以降の西洋美術の状況と近代日本洋画における「写実」の関係をめぐって—ギュスターヴ・クールベと須田国太郎のマチエール分析を中心的論点として	都築千重子	交差するまなざし—ヨーロッパと近代日本美術展 図録(東京国立近代美術館)	
ブラザーズ・クエイムジカ・イマジンネール/映画「ベンヤメンタ学院」	北小路隆志	美術手帖	726
		エンツォ・クッキ	
		谷藤 史彦	
		小倉 正史	美術手帖 727
			版画芸術 91
		市原研太郎	美術手帖 729
		西嶋 憲生	美術手帖 729
		ラリー・クラーク	
		生井 英考	
		編 集 部	美術の窓 154
		新宮 晋	芸術新潮 562
		古田 浩俊	抽象表現主義展 図録 (セゾン美術館)

アンジェラ・グラウワーホルツ、短い試論	リチャード・ローズ	アンジェラ・グラウワーホルツ展(ギャラリードゥ)		グスタフ・クリムト《ベートーヴェン・フリーズ》『この接吻を全世界に』(シラ「『歓喜に寄す』より)	ゲルベルト・フロード	〃	
リー・クラズナー	是枝 開	抽象表現図ソ術主録(セゾ美術館)		ザンドラルトとグリューネヴァルト—バロック期に生まれた一伝説—	安井雄一郎	デアルテ	12
チルドレンズ・パヴィリオン ジェフ・ウォールとのコラボレーション(1989—1991)	ダン・グラハム	プロジェクト・フォー・パイナル展 1970年代以降の現代美術再訪: エイチ・ブレイクの意志的実践の再見(東京国立近代美術館)		チェコで会ったアーティスト・クルト	森 千香子	ギャラリー(月刊)	140
WORLD WIDE MIX 社長も製品も型破り? ジョー・ボクサーの“スマイルな戦略”(ニコラス・グラハム)	魚住早智子	デザイン現場	81	絵画のたくらみ/たくらみとしての絵画—受容美学的観点から見たクレール作品における具象的形象の機能—	宮下 誠	美術史	140
街角のアート・九十年代の作家たち14果てしないクリストの夢	ばんのなおこ	アートマインド	84	ダン・グレアム 脱ニジャンル、ハイ&ロウ、ロックと美術の触媒の人	野々村文宏 インタビュ—構成	美術手帖	734
作家研究・クリスト「ライヒスターク」梱包とその過程について	木村 要一	成安造形大学研究紀要	3	パウル・クレールアートセンター 岐阜県瑞浪市 市民有志が検討委員会発足		新美術新聞	754
作家の目 美術紀行第4回 ベルリンの旅から輝く美しさ・自由への確証…クリスト「ライヒスタークの梱包」	砂盃 富男	美術の窓	155	1916年初頭のクレール作品における東と西	前田富士男	美術史	140
今月の名ショット12 彼らが窓をふさぐ理由。(ヤニス・クネリス)	安斎重男 写真・文	美術手帖	726	パウル・クレール作《R. 荘》について	大 真恵	美術史学	18
世紀末ウィーンにおける印象主義の発見—グスタフ・クリムト、エゴン・シーレ、リヒャルト・ゲルストル、コロマン・モーザーはか	エトヴィー エン・ラハニ ット	クリムトと印象派展—ベルヴェデーレ宮オーストリア美術館所録富田蔵(東京美術館)		エル・グレコの芸術理論と《ラオコーン》	松原 典子	美術史研究	34
				WORLD WIDE MIX 戦慄の先の聖域を撮るマーティン・クレノウスキー	坂東 慶一	デザインの現場	81
				カミーユ・クロデル ロダンの愛と葛藤に命を刻んだ女性彫刻家		芸術公論	73
				ウェイン・クロザース 版木に込めた生命観	(編集部・内田)	版画芸術	93
				巻頭特集 WORLD-NEO GRAFICA—最新・世界の現代版画 ゲンナディー・クングロフ 極東のビュラン彫り		版画芸術	91
						(ケ)	
				大特集 掌の美 愛しきものへのラウレター 骨まで愛しい《PK-22》(ポール・ケアホルム作)	光籐 俊夫	芸術新潮	559
				特集 ラリー・クラーク 永遠の少年期	ラリー・クラーク マイク・ケリー インタビュー	美術手帖	729

世紀末ウィーンにおける印象主義の発見—グスタフ・クリムト、エゴン・シーレ、リヒャルト・ゲルストル、コロマン・モーザーほか	エトヴィー ン・ラハニ ット	クリムト ウィー ン印象派 展—ベル ヴェー レ宮 レスト ア 絵画所 蔵(東 京富 士館)	ゴッホ・ドロワー ング展の舞台裏を見る	スミコ・デ イビス	絵	389~391
巻頭特集 WORLD NEO GRAFIC A—最新・世界の現 代版画 フランツ・ ゲルチュ スーパー ・リアリズムは木版 画を選ぶ		版画芸術 91	大特集 司馬遼太郎 が愛した「風景」 “裸眼”でみつめた ゴッホと鴨居玲	ゴッホ美術館所蔵 ファン・ゴッホ作品 のX線透過像	シラール・ ファン・ヒ ューフテン	芸術新潮 560
	(コ)					封印され たゴッ ホのX 線が 写し出 すとい うひメ ージの 記録(東 郷美術 館)
アート・アンド・ アーキテクチャー 菱山裕子のネット人 間が高俊民のS/M 邸を訪ねる	荒川 陽子	C, A, R 21	ファン・ゴッホの古 靴、またはリアリス ムのエンブレム	千足 伸行		ゴッホと 静物画展 1993年— 1997年 “ゴッホ とその時 代”記録 (東郷美 術館)
メトロポリスを生き 延びるユートピア 1870—1935	ジャンニル イ・コーエ ン	未来都市 の考古学 展(東 京都現 代美術 館)	ファン・ゴッホの静 物画	ユレーケ・ ファン・リ ンデルト ルイ・ファ ン・ティル ボルフ 中村 隆夫 訳	“	
アーシル・ゴークー	牧野研一郎	抽象表現 主義展(セ ゾン美術 館)	「東西贗作犯科帳」10 振り子のように揺 れたゴッホの真贋	長谷川公之	美術(月 刊)(サン アート)	253
名画にみる「清潔な 暮らし」(13) 洗濯 の歴史は川辺から (ポール・ゴークヤ ン)		JAAM 51	ゴヤ：『バルコニー のマハ』どちらが本 物?	スコット・ ガッターマン	アトリエ インター ナシヨナル	825
インタビュー アン トニー・ゴームリー さん 仏教との出会 いが自分を救った 世界と自己は連なっ ている	松本 英隆	“ 52	エルミタージュのゴ ヤのエッチング・コ レクション	ミハイル・ デディンキ ン	エルミ タージュ 美術館展 16—19 世紀スベ イン絵画 記録(東 武美術 館)	
アントニー・ゴーム リー	川出 絵里 インタ ビュー	美術手帖 733	死者の絵 第27回 想像の偉大な力(ゴ ヤ)	林 紀一郎	美術の窓	153
MATSUDA 1996 秋/冬カタログ <NAKED NEW YORK>がとらえた リアルの絶対温度 (ナン・ゴールドイ ン)	中島 英樹 後藤 繁雄	デザインの 現場 84	ケーテ・コルヴィッ ツ作《母と二人の子 》の制作過程について	桐原 浩	新潟県立 近代美術 館研究紀 要	1
ジム・ゴールドバー グ 「ホスピス」プロ ジェクト	河内 タカ	美術手帖 733	WORLD WIDE MIX 「草履」から 転生したデルフィー ヌ・コレーの靴	桜井みどり	デザインの 現場	82
アドルフ・ゴット リーブ	出原 均	抽象表現 主義展(セ ゾン美術 館)	特集 かわいい コ レット	藤森 愛実	美術手帖	720

「カミーユ・コロール」
その風景画は、季節・天候・光といった色々な異なる条件を求め、各地に出かけて描かれた研究の足跡でもある。

ヴェロニク・ピットロ
アトリエ
インター
ナショナル 828

修復記録 カミーユ・コロール《オンフルールのトゥータン農場》

小林 嘉樹 石橋美術
石井 亨 館報 44

コロールとその周辺

富井 玲子 新美術新
聞 785

巻頭特集 WORLD NEO GRAFICA—最新・世界の現代版画 アレクシー・ゴロディンヌ 画面の中の建造物

版画芸術 91

(サ)

New Face 佐藤健 篠原 弘 アート
吾エリオ トップ 151

サビエは何を見、何を描くのか

針生 一郎 ラインハ
ルト・サ
ビエ展
録(東邦
画廊)

内戦

ラインハ
ルト・サ
ビエ
針生 一郎 〃

ドルマバフチェ・サラユ研究—十九世紀イスタンブルの宮殿建築にみる新古典様式選択の意義と役割—

青木美由紀 早稲田大
学大学院
文学研究
科紀要 41

モダン・デザイン史再訪22 ルイス・サリヴァン

海野 弘 デザイン
の現場 84

サンテリア(アントニオ)の「新都市」

鶴沢 隆 未来都市
の考古学
展 図録
(東京都
現代美術
館)

ザンドラルトとグリューネヴァルト—バロック期に生まれた一伝説—

安井雄一郎 デアルテ 12

ニキ&ティンゲリー その尽きせぬ魅力(ニキ・ド・サンファル)

浅野 定快 ニキ&テ
ィンゲリ
ー展〜ネ
レンス・シ
コレクシ
ョンを中
心に〜図
録(川村
記念美術
館)

思いがけないぬ出
会—ニキ&ティン
ゲリーをめぐる

青山 正子 〃

幸福な時間の記憶—
1996年1月16日、ク
ノッケ(ベルギー)

太田菜穂子 徳間 泰幸 〃

スペイン、アラゴン、ナバーラ地方ロマネスク彫刻について—サン・ホアン・デ・ラ・ペーニャ・マスターとその周辺

浅野ひとみ 美術史 140

(シ)

館藏品紹介 ジョージ・シーガル『煉瓦の壁』

小林 昌夫 国立国際
美術館月
報 43

シーガルのストップ・モーション的現実

マーティン・フリードマン ジョージ・シーガル展図録(セゾン美術館)

ジョージ・シーガル ラディカルなモタリスト

広本 伸幸 〃

ジョージ・シーガル—技法についての覚書き

フィリス タックマン 〃

シリーズ・つくり手たちの言葉27 ジョージ・シーガル、作ることの不思議

(平 田) フラミンゴ 49

西洋版画入門32 ドーミエ《ガルガンチュア》、シーモア《偉大な中国人とその玩具》・貶められた王たち

八重樫春樹 アート
トップ 151

世紀末ウィーンにおける印象主義の発見—グスタフ・クリムト、エゴン・シーレ、リヒャルト・ゲルストル、コロマン・モーザー—ほか

クリムトとウィーン印象派展—ベルヴェデーレ宮—オーストリア絵画館所蔵 図録(東京富士美術館)

エトヴィー
ン・ラハ
ニ
ット

WORLD WIDE MIX 天然と人工の融合をデザインした“自然”公園(ロラン・ジェラルド)

桜井みどり デザイン
の現場 84

特集 最新海外注目アーティスト1996 アンドレア・ジッテル

藤森 愛実 美術手帖 726

		LIFE / ART / TECHNOLOGY		小特集=シンディ・シャーマン 目の廃虚	八角 聡仁	〃	〃
§ 作家の言葉 §	カール・シムス	—生物 / いのち / ART 展 図録 (O 美術館)		無機化する皮膚感覚 C・シャーマンの変容が映す「現代」	飯沢耕太郎	毎日夕刊	11. 10
<アンケート>	〃	〃		シンディ・シャーマンの「ヒストリー・ポートレート」について	尾崎佐智子	シンディ・シャーマン展図録(東京都現代美術館)	
特集 舞台はニッポン—いま注目 在日外国作家のこのパワー インタビュー・車季南		美術(月刊) (サンアート)	247				
シンディ・シャーマンの20年	森 千花	シンディ・シャーマン展図録(東京都現代美術館)		社会的事件となった挿絵制作	深谷 克典	シャガール展図録(名古屋画廊(名古屋))	
シンディ・シャーマン—境界で、境界とともに、境界から	帯金 章郎	〃		シャガール、レジエ、サーカス	笠井 誠一	シャガール、レジエ、Cirq-ue 展(名古屋画廊(名古屋))	
闇を恐れて：シンディ・シャーマンとグロテスクな想像	アメリカ・アレナス	〃					
シンディ・シャーマンへのインタビュー	福 のり子	〃		芸術をめぐる言葉36 ジャコメッティは自分の石膏の人物たちに、絶対的な距離ともいふべきものを与える—サルトル	谷川 渥	美術手帖	718
特集 シンディ・シャーマン 不在の實在 視線をめぐる	丹生谷貴志	美術手帖	732				
特集 シンディ・シャーマン Desperately Seeking for Cindy	石井 弥夢	〃				野外彫刻の祭典展—20世紀の巨匠たち—ロミダン、ミヤテマコメからヌーヴォーオリスレへ(東京都現代美術館)	
特集 シンディ・シャーマン セルフと持病	小林 昌廣	〃		虚空を見つめる男—アルベルト・ジャコメッティ《歩く男I》によせて	渡部 葉子		
特集 シンディ・シャーマン 女優は「性」の拡大鏡	林 卷子	〃					
特集 シンディ・シャーマン 笑いなきパロディー—「ヒストリー・ポートレート・シリーズ」について	藤原えりみ	〃		WORLD WIDE MIX スザンナ・シャノン アナログ・ポップに冴えるエスプリ		デザインの現場	80
特集 シンディ・シャーマン「ジャンヌ・ダルク」はこうして造られた—シャーマンをめぐる批評界の動き	川田都樹子	〃		ジョエル・シャビロ 野蛮な線の感情	松山 龍雄	版画芸術	93
小特集=シンディ・シャーマン セックス・ピクチャーズ	ロザリンド・クラウス 松岡 新一郎 訳	ユリイカ	381	亜細亞的創造2 北京、上海、台北3都市デザイン事情 北京、このデザイナーの場合4 張武		AXIS	59
小特集=シンディ・シャーマン 無題 という題	石井 辰彦	〃		フィリップ・ド・シャンパーニュ作《ヒッポの聖アウグスティヌス》について	木村 三郎	美学美術史研究論集	14

巻頭特集 WORLD NEO GRAFIC-A—最新・世界の現代版画 徐冰 偽の漢字で中国文化を白紙化する	版画芸術	91	オーストリアの情趣的印象主義—エミール・ヤコフ・シンドラー、オイゲン・イエッテル、ルドルフ・リーバルツにみる「瞬間」の把握	ザビーネ・グラープナー	クリムトと印象派—ベネデクト・オリベア所録(東京美術)
カスパー・シュヴァーベ インタビュー 「記憶のプール」を刺激する幾何学構造体の発見と再見	石黒 敦彦 デザインの現場	84			
今月の名ショット10 戦火を遠く離れて、何をか想はん…(ティナ・シュヴァイヒテンベルク個展)	安齋 重男 写真・文	美術手帖 722	エミール・ヤコフ・シンドラーとその周辺—マリー・エーグナー、オルガ・ヴォージンガーニフーリアン、カール・モル、エドゥアルト・ツェツェ	ゲルベルト・フロード	〃
巻頭特集 WORLD NEO GRAFIC-A—最新・世界の現代版画 ジェハリ・セッド 東南アジアの熱気をはらんだ新風	版画芸術	91		(ス)	
シュペーアのベルリン都市改造計画	横手 義洋	未来都市の考古学展(東京都現代美術館)	巻頭特集 WORLD NEO GRAFIC-A—最新・世界の現代版画 バヴェル・スクドラーク 幾何学が奏でるシンフォニー		版画芸術 91
コンピュータ・グラフィックスによる都市空間シミュレーション	ゲアハート・シュミット	〃	マイク&ダグ・スターン 「母なる太陽」	古澤 朱美	美術の森 85
アニメでなごむか震えるか(ヤン・シュワンクマイエル)	西嶋 憲生	美術手帖 731	1900年のアナトール・フランス—ミュシャとスタンラン	加藤林太郎	人文論究 46—3
ジャスパー・ジョーンズ	ケイ・ラーソン	アトリエ インターナショナル 831	アルフレッド・ステューグリッツ	ケイ・ラーソン	アトリエ インターナショナル 824
ジョーンズ(ジャスパー)再見	富井 玲子	新美術新聞 782	フィリップス・コレクシヨンとステューグリッツ・サークル	エリザベス・ハットン・ターナー 松永 康 藤森 愛美 訳	アメリカン・モダニズムの旗手たち展 フィリップス・コレクションによる録(埼玉県立近代美術館)
西洋版画入門33 リヴィエール《雨傘の葬列》、ジョソフ《波》等・版画のジャポニスム	八重樫春樹	アート トップ 152	アメリカ美術とステューグリッツ・サークル	早川 博明	〃
巻頭特集 WORLD NEO GRAFIC-A—最新・世界の現代版画 沈金源 多彩な版画技法と流動的なイメージ	版画芸術	91	アルフレッド・ステューグリッツ	松永 康	〃
酔っぱらいの芸術家たち—「ミチキ」のシンカリョーフとフロレンスキー	鈴木 正美 ユリイカ	382	A・ステューグリッツとアメリカ初期モダニズム絵画	早川 博明	鹿島美術研究 13
			クリフォード・ステューイル	是枝 開	抽象表現展(セゾン美術館)

特集 かわいい「かわいい」の系譜 フローリン・ステットハイマー	美術手帖	720							
笠間日動美術館名作選その56—フランク・ステラ《ランプ(ウェイブ・シリーズ)》	笠間日動美術館	絵	383						
マイヤーのひきがえるとステラの庭	デヴィッド・ギヤロウエイ	リチャード・マイヤーとフランク・ステラ展—建築と絵画の接点図録(愛知県美術館)							
ドレスデン芸術公園	フランク・ステラ・スタジオ	〃							
木の葉プロジェクト	〃	〃							
ゲートハウス	〃	〃							
セヴェランピア/セヴェリンダ	〃	〃							
フランク・ステラのこと	リチャード・マイヤー	〃							
フランク・ステラの二つの壁	拝戸 雅彦	〃							
フェニックス・プロジェクト	リチャード・マイヤー & パートナーズ/フランク・ステラ・スタジオ	〃							
ロブ・スフォルテ氏に聞く「イメージのリサイクルで新しいイメージを生みたい!」壁画にかけた熱い想いとは...	ギャラリー(月刊)	129							
§作家の言葉§	ステファニス・エドワード・ステewart	富山国際現代美術展6回図録(富山県立近代美術館)							
WORLD WIDE MIX ファッションデザインからディスプレイまでユーモアに満ちた思想を表現するポール・スマス	清水 早苗	インタビュー	82						
WORLD WIDE MIX アーティストのコンセプトを実現するマイク・スマスの技術と感性	三宅由希子	〃	83						
MUSIC MIX music column2 massive attack 3Dがきめているトリップホップなジャケ上ドロッキング									84
巻頭特集 WORLD NEO GRAPHIC-A—最新・世界の現代版画 ヤツェック・スロカ 美しく彩られた残酷劇								版画芸術	91
ヘルマン・ファン・スワーネフェルト [c. 1600—1655] 《ヴィーナスとローマの神殿およびコンスタンティヌス凱旋門の見えるローマの景観》 新収作品	幸福 輝	国立西洋美術館年報	27—28						
(セ)									
セザール 1996年東京にて	編集部	美術手帖	729						
美心独往3 日本にきた「セザンヌ」	生尾慶太郎	アートトップ	154						
なぜセザンヌなのか	ミルト・コルディエ	アトリエインターナショナル	824						
セザンヌの謎	フィリップ・ダジャン	〃	〃						
19世紀末フランス芸術—セザンヌを中心—	廣田 正敏	近代	79						
大特集 現地特別取材 セザンヌは生きている 第1部セザンヌ展への招待 ああ言えはこう返す 二人三脚セザンヌ放談	若桑みどり 丹尾 安典	芸術新潮	553						
大特集 現地特別取材 セザンヌは生きている 第1部セザンヌ展への招待 セザンヌを寿ぐ	〃	〃	〃						
大特集 現地特別取材 セザンヌは生きている 第2部セザンヌの故郷エクス=アン=プロヴァンス 訪問 セザンヌのジャガイモ	丹尾 安典	〃	〃						
大特集 現地特別取材 セザンヌは生きている 第2部セザンヌの故郷エクス=アン=プロヴァンス 訪問 エクスの僧院 セザンヌのアトリエ訪問記	〃	〃	〃						

セザンヌの水浴する男性像について—裸体、水泳、洗礼：自我の表出サイクル—	永草 次郎	芸術論究	23	特集=選ってきたセザンヌ ブッサン伝説	リチャード・シフ 飛嶋 隆信 松岡新一郎 訳	〃	〃
館藏品紹介 ポール・セザンヌ『宴の準備』	尾野 正晴	国立国際美術館月報	44	特集=選ってきたセザンヌ 『セザンヌ 解釈』なぞなぞ遊び	浅野 春男	〃	〃
セザンヌの『サント=ヴィクトワール山』連作(二)	末永 照和	実践女子大学文学部紀要	38	特集=選ってきたセザンヌ 現代のサント=ヴィクトワール山は何処にあるか?	藤幡 正樹	〃	〃
感動を呼ぶセザンヌ展 大回顧展9月1日までフィラデルフィア美術館	油井 一人	新美術新聞	773	特集=選ってきたセザンヌ 茫然自失の中で問うこと	丹生谷貴志	〃	〃
セザンヌをめぐって考えた美術の精神性	(吉)	日本美術工芸	690	特集=選ってきたセザンヌ セザンヌの教え	松浦 寿夫	〃	〃
濃密なる青の饗宴 大セザンヌ展開催中	林 洋子	美術手帖	718	特集=選ってきたセザンヌ 彩られた感覚—セザンヌとマチス	天野 知香	〃	〃
特集=選ってきたセザンヌ なぜピジェなのか	阿部 良雄	ユリイカ	379	特集=選ってきたセザンヌ 日本におけるセザンヌ受容史の一断面—一九二〇年代の人格主義的セザンヌ解釈の形成と行方	永井 隆則	〃	〃
特集=選ってきたセザンヌ ハリネズミの視線	栗津 則雄	〃	〃	特集=選ってきたセザンヌ セザンヌとブラックの間のエスタック—絵の主題から絵画的モチーフへ	クロード・G・フロンティジ 飛嶋 隆信 訳	〃	〃
特集=選ってきたセザンヌ 破壊者としてのセザンヌ	若桑みどり	〃	〃	特集=選ってきたセザンヌ セザンヌ・キーワード辞典—セザンヌ理解のための(に抵抗する?)12の言葉	上野 匡太 河本 真理 滝本 雅志 當間千代子 松岡新一郎	〃	〃
特集=選ってきたセザンヌ 近代生の転換点におけるセザンヌ セザンヌ展案内	イザベル・カン 松浦 寿夫 訳	〃	〃	セザンヌ 孤高の造形世界	馬越 陽子	日 経	4. 23
特集=選ってきたセザンヌ 色彩の幾何学	ユベール・ダミッシ ュ 松岡新一郎 訳	〃	〃	巻頭特集 WORLD NEO GRAPHIC-A—最新・世界の現代版画 ジョゼ・マリア・セシリア 「余白の美」と結びついたコンポジション		版画芸術	91
特集=選ってきたセザンヌ 絵の中の絵	ベーター・ハントケ 石光 輝子 訳	〃	〃	WORLD WIDE MIX 空間を語る三次元の文字(マルタン・ゼックリー)	桜井みどり	デザインの現場	85
特集=選ってきたセザンヌ セザンヌの擧丸	ジャン=クロード・レーベンシ ュ 松岡新一郎 訳	〃	〃	アンドレス・セラノ 背反の美学	鈴木 淳子 インタビュー	美術手帖	729
特集=選ってきたセザンヌ セザンヌと絵画記号	前田 英樹	〃	〃				
特集=選ってきたセザンヌ セザンヌの白	鈴木 和成	〃	〃				
特集=選ってきたセザンヌ 徹底討議 セザンヌ サントネール ストライキ—百年祭の大回顧展に出会って	小林 康夫 松浦 寿夫	〃	〃		(ソ)		
				「包まれる」身体感覚 ラファエル・ソト		美術手帖	721

	(タ)			タピエス財団とタピエスについて	(谷内)	群馬の森美術館ニユース	86
巻頭特集 WORLD NEO GRAFICA—最新・世界の現代版画		版画芸術	91	埃の詠唱(アリア)あるいは、アントニ・タピエスの作品	トーマス・マックヴェ	アントニ・タピエス展図録(群馬県立近代美術館)	
ターウォン・コー・ウドゥンウイット 現代美術のシンボリズム				白紙(タブラ・ラサ)に戻すこと	谷内 克聡 マーコ・リヴィングス	松沢 寿重	〃
シリーズ・つくり手たちの言葉	(平 田)	フラミンゴ	47	アントニ・タピエス	中山 公男	〃	
ナー、存在のリアリティ				第8回INAXヨーロッパデザイン賞		新美術新聞	773
ガイ・ダイアスのILM日記4~6	ガイ・ダイアス 川上 典子 訳	デザインの現場	80~82	ピーター・フレイザー・ピアード(英)			
WORLD WIDE MIX SF MOMA				ウーター・ダム(蘭)の2氏に			
チャールズ・イームス展に見るアメリカの生活に溶け込んだヒューマン・テクノロジー	〃	〃	83	KIDI PERSONS			
ジム・ダイソン—人間の言葉を語る芸術家—	マーコ・リヴィングス 岡田 潔 訳	ジム・ダイソン—人間の身体図録(宮城県美術館)		スティーヴン・タラスニック モニュメントのロマンを読み取る	大竹 秀子	デザインの現場	85
デザインという刻印	村田慶之輔	〃		サルヴァドール・ダリ ポルト・リガトの聖母	池田 寿子	福岡市美術館ニユース	91
アーサー・ダウ	水沼 啓和	アメリカダナン・モダン旗手たち展		現代美術における「絵画」の再考—マーク・タンジーの方法—(美学会第四十七回全国大会報告)	金 悠美	美学	187
タウトの『アルプス建築』	後藤 武	フィリップス・コッポレンによる図録(埼玉県立近代美術館)					
巻頭特集 WORLD NEO GRAFICA—最新・世界の現代版画		版画芸術	91		(チ)		
リチャード・タトル 「はかなさ」が引き出すもの				「90年代の韓国美術から一等身大の物語」展から作家の言葉	諸 如蘭 (チェン・ヨラン)	現代の眼	500
彫刻家イヴ・ダナ、初の絵画展で作品完売!	天童 大人	ギャラリ—(月刊)	135	亜細亜的創造2 北京、上海、台北3都市デザイン事情 北京、このデザイナーの場合1 陳漢民		AXIS	59
「ニュー・ミニマリズムは手作り発想から」一帖の海苔がランブシェードになった“miyuki”(ステファン・ダハァー)	平川 武治	AXIS	62	西洋絵画の開港場—ジョージ・チネリーと中国沿岸絵画、その日本への影響、1790—1890	岡部 昌幸	ジョージ・チネリーと知られざる19世紀広東・マカオ・香港の美術展図録(東京都庭園美術館)	
				西洋から東洋へ—ジョージ・チネリーと同時代の画家たち	バトリック・コナー	〃	
				特集 最新海外注目アーティスト1996	嘉藤 笑子	美術手帖	726
				ディノス&ジェイク・チャップマン	ビュー		

大地を踏みしめてー タシャ・チューダー とイシの足	青木 久子	学 鏡	93-12	西洋版画入門35 オットー・ディック ス《水夫と娼婦》・ 《鏡の前》/「退廃 芸術」の版画	八重樫春樹	ア ー ト ト ッ プ	154
ロンドンよしこの アーティスト・ウォッ チング アダム・チ ョッコ	田中 美好	Lady's Slipper	5	マリオット・ディ・ ナルド[1393-1424 に活動]「聖ステパノ 伝」を表した祭壇画 フレデラ3点 新 収作品	越川 倫明	国立西洋 美術館年 報	27-28
「90年代の韓国美術 から一等身大の物 語」展から作家の言 葉	鄭 廣鎬 (チョン・ホ ー)	現代の眼	500	キッチンなジュエ リー ジャニス・テ イラーの世界	平山 景子	AXIS	61
特集 舞台はニッポ ンーいま注目 在日 外国作家のこのパ ワー インタビュー ・陳文光		美術(月 刊)(サン アート)	247	「サム・テイラーニ ウッド」	マイケル・ ブレスウ ェル	富山国際 現代美術 展6回図 録(富山 県立近代 美術館)	
(ツ)							
エミール・ヤーコフ ・シンドラーとその 周辺ーマリナー・エ グナー、オルガ・ヴ ージンガーニフロ ーリアン、カール・ モル、エドゥアルト ・ツェツェ	ゲルベルト ・フロード ル	クリムト とウィ ン印象 派展ー ベルデ ーエ レス 宮オー スト リア 絵画 館図 録 (東京 富 士 館)		特集 最新海外注目 アーティスト1996 リクリット・ティラ ヴァニャ	河合 純枝	美術手帖	726
				特集 サウンド/ア ート リクリット・ ティラヴァニャ 世 界のどこかでいま しょう		〃	734
(テ)				特集 かわいい 「かわいい」の系譜 キム・ディングル	藤森 愛実	〃	720
特集 舞台はニッポ ンーいま注目 在日 外国作家のこのパ ワー インタビュー ・程亮弼		美術(月 刊)(サン アート)	247	機械に生命を吹き込 んだ男。(ジャン・ ティンゲリー「マウ ツ」)	柳橋 美穂 沼辺 信一	AURA	12
リチャード・ディー ベンコン	牧野研一郎	抽象表現 主義展 図録(セ ゾ ン美 術 館)		ニキ&ティンゲリー その尽きせぬ魅力	浅野 定快	ニキ&テ ィンゲ リー展 〜ネ レンス ・コ レクシ ョンを 中心に 〜図 録(川 村記 念美 術館)	
ジャンバッティスタ ・ティエポロの『ア ウグストゥスに諸力 を導くマエケーナ ス』と『フローラの王 国』ーその詩想と絵 画	高梨 光正	美術史学	18	思いがけぬ出会いー ニキ&ティンゲリー をめぐって	青山 正子	〃	
ボードリー、ドロー ネー、ティソーー伝統 と近代のはざまー	三浦 篤	ナント美 術館展 魅惑の19 世紀フラ ンクス 絵画 図録(そ う美 術館(千 葉))		幸福な時間の記憶ー 1996年1月16日、ク ノッケ(ベルギー)	太田菜穂子 徳間 泰幸	〃	
ルーベンスとティ ッシャーノー「模倣」 から「競作」へ	中村 俊春	京都大学 文学部 美術史 学 研究 室 研究紀 要	17	Several Drawings by Jacopo Tintoretto and their Connection with his Paintings	越川 倫明	国立西洋 美術館年 報	27-28
				ウィレム・デ・クー ニンク	是枝 開	抽象表現 主義展 図録(セ ゾ ン美 術 館)	

特集 ラブリー・コンピュータ 第4部のデザイナーのためのインターネットコラム5『デザイン現場』ホームページ誕生!!! まずは扉から試行錯誤(デクストロ)	デザイン現場	85	田中不二夫	鹿島美術研究	13
KIDI PERSONS エヴリン・テプロフ 他ジャンル間の刺激を生かす。スマートデザイン社のデザインノウハウをKIDIで実践	金田小夜子	82	平芳 幸浩	日仏美術学会会報	15
巻頭特集 WORLD NEO GRAPHIC-A—最新・世界の現代版画 エリック・デマジュール虚構が暴き出す実像	版画芸術	91	藤本由紀夫	美術手帖	722
巻頭特集 WORLD NEO GRAPHIC-A—最新・世界の現代版画 ニコラ・デ・マリア 地中海の色彩、豊饒の音楽	〃	〃	鴻 英良	〃	732
特集 サウンド／アート ポール・デマリニス 不可能を可能にするアート・サイエンティストの音響装置	エドワード・イフシン インタビュー ヒサコ・イフシン文	美術手帖	734	モードのジャポニスム展図録(東京ファッションタウン)	
一六世紀前半のイタリアにおけるデューラー版画の受容	関根 浩子	五浦論叢	3	デュナンの漆布：1920年代のモードと漆の質感	周防 珠実
デューラーの「絵画論」(7) 頭部の構成の試訳	下村 耕史	九州産業大学芸術学部研究報告	27	メセナの芸術支援と破壊—デュビュッフェの「ウルループ」に関する二章—	末永 照和
デューラーにおける写実と構成	〃	デアルテ	12	「アウトサイダー・アート」の結末をめぐる一試場 隆三郎とジャン・デュビュッフェ	実践女子大学美術史学
「東西贋作犯科帳」2 狙われた不滅の大巨匠アルブレヒト・デューラー	長谷川公之	美術(月刊)(サンアート)	245	ステュアート・メリル夫人のオーラ(ジャン・デルヴィル)	兵庫県立近代美術館研究紀要
デューラー作「ローゼンクランツェスト」上の蠅をめぐって—第二次イタリア滞在についての一試論	秋山 聡	美術史	139	スチュアート・メリル夫人のオーラ(ジャン・デルヴィル)	中村 隆夫 絵
デューラーの第2次イタリア滞在についての一試論—「ローゼンクランツェスト」上の「蠅」を中心に	〃	〃	140	巻頭特集第1弾 ポール・デルポールの世界 空想という影を追い続けた夢の旅人 ポール・デルポールの生涯	芸術公論
美術入門講座から—デューラーとミヤマクワガタ	新明 英仁 氷 華	37		大衆時代の人気に適合したデルポール	(吉) 日本美術工芸
				パリで生きる画家たち 清水紀子、ジャン・テロッシアン、ポップ・レスコー、ジョルジュ・カマチョ	アートマインド
					85~88
					(ト)
				全国木刻聯合展覧会—魯迅・葉靈鳳・唐詞—	杉本 雅子 帝塚山学院大学研究論集
				A.P.C. ジャン・トゥイトゥー インタヴュー 生産と創造のはざままで	清水 早苗 デザイン現場
					83

宇宙兄弟—イサム・ノグチと北大路魯山人	酒井 忠康	イサム・ノグチと北大路魯山人展図録(セブ美術館)	マーズデン・ハートリー	水沼 啓和	アメリカン・モダニズムの旗手たち展(フィリックス・ブレンによる図録(埼玉県立近代美術館))	
芸術の創生について	新見 隆	〃				
戦前期のイサム・ノグチ	太田 泰人	〃				
自然と共存する二人のデザイナー	影山 千夏	〃				
イサム・ノグチの陶彫	ブルース・アルトシュラー 新見 隆	〃	チャールズ・バートレットと近代日本の風景木版画	沼田 英子	アジアへの外国人の眼(浮世絵師たち展(横浜美術館))	
ノグチとヒロシマ、そして魯山人	谷藤 史彦	〃				
イサム・ノグチと魯山人	平野 雅章	〃	バーン=ジョーンズの芸術と生き立ち	白石 和也	九州産業大学芸術学部研究報告	27
特集 イサム・ノグチを歩く 国内探訪：札幌モエレ沼公園ほか		美術手帖 727				
特集 イサム・ノグチを歩く 夢のランドスケープ	和多利 恵津子	〃 〃	特集 ロシア いま誕生したデザイン、いま甦るロシア構成主義 衝撃的だったリシツキーの「Of Two Squares」その後のデザイン活動でロシア構成主義に思うこと	ジョナサン・バーンブルック	デザインの現場	80
特集 イサム・ノグチを歩く コケシをめぐって：鎌倉のイサム・ノグチ	太田 泰人	〃 〃				
特集 イサム・ノグチを歩く 兄を語る：野口ミチオインタヴュー	編集部 インタヴュー・構成	〃 〃	ナムジュン・バイク 大規模作品を設置 キャナルシティ博多		新美術新聞	768
特集 イサム・ノグチを歩く 夢の空間：ニューヨーク庭園美術館	梁瀬 薫	〃 〃	キャナルシティ博多にバイクが出現(ナムジュン・バイク)	中山真由美	美術手帖	727
特集 イサム・ノグチを歩く 庭のトポグラフィ：イサム・ノグチの遺産	高橋 幸次	〃 〃				
「広島」の鐘の塔」イサム・ノグチ—幻の作品、半世紀経て建設計画		読売夕刊 2,28	キースとハイド、旅する人と住まう人	リチャード・マイルズ	アジアへの外国人の眼(浮世絵師たち展(横浜美術館))	
イサム・ノグチ作「魂」をめぐって	(A.H)	アートペーパー 30				
§作家の言葉§	マリア・ノルトマン	「Tranquility 一時静謐 時間・空間・光をあやつる五人の現代芸術家」展図録(千葉美術館)	テキスタイルの冒険—現代オランダの4人のアーティスト(シビル・ハイネン)	加藤 類子	テキスタイルの冒険展—現代オランダの4人のアーティスト図録(目黒区美術館)	
	(ハ)		シビル・ハイネン	マデレーネ・ワルデナール	〃	
色いろ調 自由—交換の文脈(ハンス・ハーケ)	安井 収蔵	新美術新聞 777	ダンスする身体、晒される身体—ピナ・バウシュ	佳手 芙美	百科(月刊)	400

ピカソと肖像画：その表現と変容	ブラッドリー・コリンズ	アトリエインターナショナル	830	PERICLE FAZZINIの彫刻(5)	伊藤 鈞	筑波大学芸術年報	1995
笠間日動美術館名作選その58—パブロ・ピカソ《頭部》	笠間日動美術館	絵	388	亜細亜的創造2 北京、上海、台北3都市デザイン事情 北京、このデザイナーの場合3 房 小潔		AXIS	59
笠間日動美術館名作選その59—パブロ・ピカソ《女の顔》	〃	〃	393	人らんだむ 個展開催にあわせ初来日した中国の画家方力鈞(ファン・リジュン)さん	(白)	新美術新聞	783
笠間日動美術館名作選その60—パブロ・ピカソ《画家とパレット》	〃	〃	394	審美逍遥 第27~30回 フランドル絵画をめぐって3~6	栗津 則雄	美術の窓	153~156
新収蔵ピカソ初公開 パブロ・ピカソ《魚、瓶、コンポート皿(小さなキッチン)》	(谷内)	群馬の森美術館 ニュース	85	ファン・アイク ヤン・ファン・アイクの寄進者像の形成における「新しき信仰」運動の影響について	伊藤 伸子	鹿島美術研究	13
所蔵品紹介「ゲルニカ」パブロ・ピカソ	(上村)	〃	〃	ファン・アイクの風景表現とフィレンツェ絵画—「聖痕を受ける聖フランチェスコ」を中心に—	江藤 匠 美 学		186
ピカソの陶芸	栗津 則雄	ピカソ陶芸展図録(名古屋画廊(名古屋))		アドリアーン・ファン・ユトレヒト[1599—1652]《鱈の獲物と野菜のある静物》	中村 俊春	国立西洋美術館年報	27—28
死者の絵 第31回—最終章 風化する死者の絵(ピカソ)	林 紀一郎	美術の窓	159	新収作品			
ピカソ芸術の本質と魅力(一)、(二)	永井 隆則	視 る	344、345	特集 コラボレイティブ・デザイン 自己の中の他者、他者の中の自己	牛田 英作 Kathryn Findlay	建築雑誌	1397
巻頭特集第2弾 ダニエル・ビュレンス		芸術公論	75	審美逍遥 第35、36回 フランドル絵画をめぐって11、12	栗津 則雄	美術の窓	161、162
<レポリューション/美術の60年代>展におけるダニエル・ビュレンスの《パピエ・コレ》場における作品について	渡辺 葉子	東京都現代美術館 紀要	1	ファン・デル・フース			
特集 かわいい「かわいい」の系譜 ヒラ・ルル・リン	藤森 愛実	美術手帖	720	ウージェーヌ・ブーダンとフランソワの風景画	ローラン・マヌーヴル	ブーダンとオンフルールの画家たち 展 図録 (Bunkamura ザ・ミュージアム)	
ピラネージと18世紀の理想都市革命	岡田 哲史	未来都市の考古学 展 図録 (東京都現代美術館)		アルベルト・ブーリ&ルーチョ・フォンタナ	シルヴィア・スベランディオ	アトリエインターナショナル	830
ヒルベルザイマーの合理主義都市	横手 義洋	〃		『ブーリ&フォンタナ』展を企画したベッチ美術館美術部 ディレクター、ブルーノ・コラに聞く	〃	〃	〃
特集 舞台はニッポン—いま注目 在日外国作家のこのパワー インタビュー・ダニエル・E・ファグリング		美術(月刊)(サンアート)	247	ヤン・ボト[1618頃—1652]コルネリス・ファン・ブーレンブルフ [1595頃—1667]《ニンフのいる風景》 新収作品	幸福 輝	国立西洋美術館年報	27—28
巻頭特集 WORLD NEO GRAFICA—最新・世界の現代版画 アレコス・ファシアノス 現代に甦った地中海の牧神たち		版画芸術	91	フェルメール—光の芸術—	ケイ・ラーソン	アトリエインターナショナル	827

ベルゴットの死と『デルフトの眺望』—フェルメール・メタモルフォーズ(2)—	青柳 りさ	金沢美術工芸大学 紀要	40	フラ・アンジ リコ 作 聖マルコ修道院 ドルミトリオのフレ スコ 裝飾—信仰と絵 画表現をめぐる一考 察—	喜多村明里 美 学	185
特集 美術品争奪 ゲーム ヒトラー VSスターリンVS連 合軍 フェルメール 米独ソが奪いあっ た美しき戦利品	(編)	芸術新潮	561	異国の光の体験—ア ウグスト・フォン・ ベッテンコーフ、エ ラム、ティーナ・ブラ ウ、アントン・ロ マーコ	エリーザベ ト・ヒュール ムバウアー	クリムト とウィー ン印象派 展—ベル ゴッデー 宮奥ア ーア 絵画館所 蔵(東京 富士館)
没後の見直し—いっ そ進むフェルメール	(吉)	日本美術 工芸	695	《作品解説》ジ イム ズ・ブラウン「悲し みの聖母3(薔薇色)」	井田 琴乃	美術の森 83
特集 都市とアート の真相—ビーター・ フェンド 海洋ネッ トワークが都市を救 う日	編 集 部 インタ ビュー	美術手帖	733	トレモロの響き 線 と面の旋律。(ジ ョルジュ・ブラック 「マンドリン」)	平尾佐矢子	AURA 13
消滅のダンス—ウィ リアム・フォーサイ ス	佳手 美美	百 科 (月刊)	406	特集—還ってきたセ ザンヌ セザンヌと ブラックの間のエス タック—絵の主題 から絵画的モチーフ へ	クロード・ G・フロン テイジ 飛嶋 隆信	ユリイカ 379
死者の絵 第31回— 最終章 風化する死 者の絵(フォートリ エ)	林 紀一郎	美術の窓	159	実験的な手の軌跡を 残すインテリアデザ イン インサイド・ アウトサイド(ベト ラ・ブラッセ)	瀧口 範子	AXIS 61
マールテン・ド・ フォス[1532—1603] 《最後の晩餐》 新収 作品	中村 俊春	国立西洋 美術館年 報	27—28	WORLD WIDE MIX TDC銅賞・ト リスタン・プラニ ーの多彩な個性	照沼太佳子	デザインの 現場 82
アルベルト・ブーリ &ルーチョ・フォン タナ	シルヴィア ・スペラン ディオ	アトリエ インター ナショナル	830	ブランクーシ再考 (1)—ブランクーシ 像の成立を巡る言説 について	近藤 幸夫	東京国立 近代美術 館研究紀 要 5
『ブーリ&フォンタ ナ』展を企画した ベッチ美術館美術部 ディレクター— プルーノ・コラに聞く	マコト・フ ジムラ談	新美術新 聞	765	サム・フランシス	牧野研一郎	抽象表現 主義展図 録(セゾ ン美術 館)
旬 鱒	マコト・フ ジムラ談	新美術新 聞	765	特集 最新海外注目 アーティスト1996 トム・フリードマン	杉浦 邦恵	美術手帖 726
ニコラ・プッサンの 視覚的源泉に関する 基礎的研究	栗田 秀法	鹿島美術 研究	13	C・D・フリードリ ヒの一八二〇年前後 における大気のモ ティーフ—L・ハ ワードの気象学との 関連について—(美 学会第四十七回全国 大会報告)	江川 均	美 学 187
『秋のオード』小論— 春の光彩・秋の文華 —(ニコラ・プーサ ン)	高橋雄四郎	実践女子 大学文学 部紀要	38	作家の言葉	ハンク・ブ ル	今日の作 家展31回 横浜から 図録(横 浜市ラ ムギャ リー)
ニコラ・プッサン作 《フローラの王国》 (ドレスデン 絵画館 所蔵)について—そ の図像的源泉を中心 に—	新畑 泰秀	成城文芸	156			
ベッロリーとプッサ ン—17世紀における 古典主義の形成—	清瀬みさを	美術史	140			
日本におけるニコラ ・プッサン理解—戦 時統制下(昭和16— 20年)の美術雑誌記 事を端緒に—	杉山多喜子					
特集 舞台はニッポ ン—いま注目 在日 外国作家のこのパ ワー インタビュ ー・ガストン・プティ		美術(月 刊)(サン アート)	247			

シルヴィー・フルー リー ショッピング ・トーキョー	遊佐 辰也 撮影	美術手帖	731	フランス革命期の幻 視の建築家(プレ、 ルドゥー、ルクー)	五十嵐太郎	未来都市 の考古学 展(京都 現代美術 館)	
シルヴィー・フルー リー 着る人として のアーティスト	生駒 芳子	〃	〃	第8回INAXヨー ロッパデザイン賞 ピーター・フレイ ザー・ピアード(英) ウーター・ダム (蘭)の2氏に		新美術新 聞	773
近代美術館 驚の部 近代美術とセク ション・パブリシテ	マルセル・ ブルター ス	プロジェクト フォー・サ バイバル 展 1970年代 以降の現代 美術再訪: ジェイブ [意志的 ・投企 ・的な 実践の再 見に向け て(東京 国立近代 美術館)		ヘリ・メット・ド・ プレスと初期フラン ドル絵画における異 時同図表現をめぐつ て	幸福 輝	鹿島美術 研究	13
巻頭特集 WORL- D NEO GRAFIC- A—最新・世界の現 代版画 ルイズ・ ブルジョワ 感情の 解放と自己意識の普 遍化を求めて		版画芸術	91	WORLD WIDE MIX ネヴィル・ プロディのロゴがひ かる注目の靴メー カー、キャンパー	渡部 千春	デザインの 現場	80
				THE KING OF E- LECTRONIC DE- SIGN 6 Neville Brody デザインに よるCD-ROM「F. U-SE INTERAC- TIVE」	江並 直美 構成	〃	81
				(へ)			
作家のことは	ハミッシュ ・フルトン	ロジャーク ・アック& リリング展 ハミッシュ ・フルトン 展 一紀伊半 島を歩いて 図録(和歌 山県近代 美術館)		巻頭特集 WORL- D NEO GRAFIC- A—最新・世界の現 代版画 トニー・ベ ヴェン 映画のワン シーンのようなフ レーミング		版画芸術	91
歩くこと/そこから 作るもの—ハミッ シュ・フルトン— 表紙の話 「紀伊半 島を歩いて—ロ ジャーク・アックリ ング&ハミッシュ・フ ルトン—」展ポス ター	植野比佐見	〃		「90年代の韓国美術 から一等身大の物 語」展から作家の言 葉	褒 炳雨 (ベール・ ビョンウ)	現代の眼	500
		和歌山県 立近代 美術館	9	フランシス・ベー コン	ハリー・ベ レ	アトリエ インター ナシヨナル	829
アール・ナイフを 語る	フランソ ワーズ・フ ルニー	アトリエ インター ナシヨナル	829	フランシス・ベー コン回顧展(パリ・ボ ンピドゥーセン ター)の印象	馬淵 陽子	新美術新 聞	781
		美術の考 古学第2 部「未来 派の考 察」 露国画伯 来朝記— ブルリ ックと日 本の未来 派展図録 (西宮市 大谷記念 美術館)		フランシス・ベー コンに関する一考察	川田 美穂	人文論究	45—4
大正期新興美術運動 再考史—ブルリ ックと未来派美術協 会の関連を中心に—	中井 康之			アートな“コク”? 10 ベイコンはお好 き?	滝本 誠	美術手帖	721
				「分析と注釈—中央 ヨーロッパの現代美 術」展 来日作家イ ンタビュー フォル ガーチュ・ペーテル (ハンガリー)		〃	722

「真実」への永遠の模索—テオドール・フォン・ヘールマンの作品にみる、芸術的な真理探求の結果としての印象派的なもの	クリムト—印象派展—ベデーレ宮内省美術館(東京美術館)	テキスタイルの冒険—現代オランダの4人のアーティスト(レオッネ・ヘンドリックセン)	加藤 類子	マデレーネ・ワルデナール	テキスタイルの冒険—現代オランダの4人のアーティストの図録(目黒区美術館)	
WORLD WIDE MIX ガエターノ・ベッシー展「疑問符の時代」	デザイン現場	レオッネ・ヘンドリックセン		マデレーネ・ワルデナール	〃	
異国の光の体験—アウグスト・フォン・ベッテンコフ、エレン・ティナー・プラウ、アントン・ロマーコ	エリーザベト・ヒュームパウアー	ヨージェフ・ボイスの素描の記譜法—レオナルド・マドリッド手稿」との関連で	岡林 洋		鹿島美術研究	13
異国の光の体験—アウグスト・フォン・ベッテンコフ、エレン・ティナー・プラウ、アントン・ロマーコ	エリーザベト・ヒュームパウアー	メイゾン「鴻の巣」とパンの会—木下奎太郎とホイッスラーのことなど—	岡部 幹彦		絵	385
曠い主の血 その崇拜と系譜—ジョヴァンニ・ペッリーニの《曠い主の血》をめぐって	水野 千依	特集 ロシア いま誕生したデザイン、いま甦るロシア構成主義 ニューヨーク在住 コンスタンチン・ボイム INTER-VIEW プレ・ベレストロイカのロシアを離れて			デザインの現場	80
人らんだむ 展覧会のため来日した仏の映画監督ジャンニジャック・ベネックスさん	(山)	巻頭特集 WORLD-NEO GRAFICA—最新・世界の現代版画—ディーン・ポーエン 日常の喧騒の中の物語			版画芸術	91
巻頭特集 WORLD-NEO GRAFICA—最新・世界の現代版画—シャルロット・ヘルツォーク 失われた楽園を求めて		ボードリー、ドローネー、ティソー—伝統と近代のはざま—	三浦 篤		ナント美術館展 魅惑の19世紀フランス絵画図録(そま美術館)	
テキスタイルの冒険—現代オランダの4人のアーティスト(マルヤン・ヘルック)	加藤 類子	メキシコのボサーダ展	安藤 哲行		ユリイカ	379
マルヤン・ヘルック	マデレーネ・ワルデナール	WORLD WIDE MIX 天然と人工の融合をデザインした“自然”公園(アニエス・ボシェ)	桜井みどり		デザインの現場	84
巻頭特集 WORLD-NEO GRAFICA—最新・世界の現代版画—ホワン・ヘルナンデス・ピファソン 軽妙な線と色彩のロンド		デイヴィッド・ホックニー 版画制作と技法	クレイグ・ハート 木下 哲夫 訳		デイヴィッド・ホックニー—版画展—1954—1995図録(東京都現代美術館)	
ベッロリとブッサン—17世紀における古典主義の形成—	清瀬みさを	紙の上の天国—ホックニー—版画の魅力—技法解説	矢口 國夫		〃	140

表紙の話 デビッド・ホックニー『6つのグリム童話』1969年より	奥村 泰彦	和歌山県立近代美術館 ニュース	10	特集 最新海外注目アーティスト1996 ミシェル・マイエルス	河合 純枝	〃	726
アートな“コク”? 8 ホッパー的シーン	滝本 誠	美術手帖	718				リチャード・マイヤード・ヤンク・ステラ展と建築と接録(愛知県美術館)
ヤン・ポト [1618頃-1652] コルネリス・ファン・ブーレンブルフ [1595頃-1667] 《ニンフのいる風景》 新収作品	幸福 輝	国立西洋美術館年報	27-28	マイヤードのひきがえるとステラの庭	デヴィッド・ギヤウエイ		
ハンス・ホフマン	古田 浩俊	抽象表現主義展(セゾン美術館)		フランクフルト工芸美術館(ドイツ、フランクフルト市)	リチャード・マイヤード & パートナーズ	〃	
ヨーゼフ・ホフマンとウィーン工房	エリーザベト・シュムッターマイヤー 富山 典彦 訳	ホフマンとウィーン工房展図録(佐倉市立美術館)		ハイ美術館(アメリカ、ジョージア州アトランタ市)	〃	〃	
空白の肌合い—1900年代のホフマンとウィーン工房	竹内 利夫	〃		ゲティー・センター(アメリカ、カリフォルニア州ロサンゼルス市)	〃	〃	
ヨーゼフ・ホフマンとウィーン工房のテキスタイル部門とモード部門	アンゲラ・フェルカー 富山 典彦 訳	〃		バルセロナ現代美術館(スペイン、バルセロナ市)	〃	〃	
ヨーゼフ・ホフマンと第8回ウィーン分離派展の前後	土田 真紀	〃		リチャード・マイヤードの立体作品	ルイス・ネスビット	〃	
ヨーゼフ・ホフマンと近代様式—ブルカースドルフのサナトリウムとストックレー邸—	越後島研一	〃		リチャード・マイヤードのコラージュ	〃	〃	
シグマー・ボルケー 60年代から現代までそれぞれの時代精神に常に一石を投ずる画家	マルギッタ・ブリンクマン	アトリエ インターナショナル	827	抽象芸術—リチャード・マイヤードへのインタビュー	クレア・ファロー	〃	
〈あいだ〉の方法—ボルザンパルク展	谷 昌親	ユリイカ	373	造形者の恍惚—マイヤードの建築 特にゲティー・センターを中心として	福田 晴慶	〃	
ジャクソン・ポロック	是枝 開	抽象表現主義展(セゾン美術館)		フランク・ステラのこと	リチャード・マイヤード	〃	
	(マ)			フェニックス・プロジェクト	リチャード・マイヤード & パートナーズ フランク・ステラ・スタジオ	〃	
特集 サウンド／アート クリスチャン・マークレイ 瞬間と永遠のコントラストが僕を魅きつける	佐々木 敦 英インタービュ	美術手帖	734	特集 倉俣史朗 倉俣史朗と私・マウラー	瀧口 範子 伊藤 史子 アグシス編集部	AXIS	62
特集 サウンド／アート Memory serves クリスチャン・マークレイとサウンド・アート	佐々木 敦	〃	〃	作家の言葉	ラニ・マエストロ		今日の作品展31回から横浜へ(横浜市立民リ)
				作家訪問(241) 陶芸毛氈さん	中村 愿	目の眼	243

マクマードウの『レンのシティ・チャーチ』をめぐる	藤田 治彦	京都工芸繊維大学工芸学部工芸学報告人文	44	マネの「筆致」をどう記述するか—絵画作品と観者の距離から—(美学会第四十七回全国大会報告)	藤原 貞朗	美学	187
やはり高すぎる“マグリット”	エリカ・レダーマン	アトリエインターナショナル	829	特集 コラボレイティブ・デザイン 照明デザイナーと建築家	Paul Marantz	建築雑誌	1397
色いろ調下野マグリット旋風	安井 収蔵	新美術新聞	769			アメリカンの旗手たち展	
道楽の経済学28 幸運を運ぶマグリットの鳥	中平 嘉弘	美術(月刊)(サンアート)	251	ジョン・マリ	水沼 啓和	フィリップ・コレクションによる図録(埼玉県立近代美術館)	
ロバート・マザウェル	牧野研一郎	抽象表現主義展図録(セゾン美術館)					
愚者と沈黙—マゼイスの《愚者》をめぐる—	保井 亜弓	金沢美術工芸大学紀要	40	「わが内なるイタリア」—ハンス・フォン・マレーの「イタリア憧憬画」について—	高阪 一治	美術史	140
「イギリス美術展」のためにローズ・フィン・ケルシーによって編集されたアンケートより(ステューヴ・マックイーン)		富山国際現代美術展6回図録(富山県立近代美術館)		特集 かわいい「かわいい」の系譜 ポーシャ・マンソン	藤森 愛実	美術手帖	720
シュルレアリスムを通して見たミロとマッソン	フランソワーズ・ルヴァイアン	日仏美術学会会報	15	怠惰は芸術か?	アラン・サヤグ	マン・レイ写真展図録(東京シヨラギリー)	
何ともポップなダンボール・アート マティアス&ナタリーのオリンポップ'96		AXIS	62	マン・レイと美術の遊戯	アニエス・グヴィオン・サンニル	〃	
アンリ・マティス《フォルム》		群馬の森美術館 ニュース	83	マン・レイと物質的思考	倉石 信乃	〃	
マティス絵画に於ける装飾模様のある布—《赤のハーモニー》を巡って—(美学会第四十七回全国大会報告)	細田 七海	美学	187	マン・レイの写真プリントについて	リュシアン・トレイヤール	〃	
特集=選ってきたセザンヌ 彩られた感覚—セザンヌとマチス	天野 知香	ユリイカ	379	密着焼き付け—マン・レイにおけるその使用法	〃	〃	
古今東西人物メニュー8回 アンリ・マティス	木村尚三郎	横浜文化情報誌	58				
小磯良平とマネ	舟木 力英	絵	384				
モデルニテの画家マネ	高橋 明也	オルセー美術館展 モデルニテ—近代の誕生図録(東京都美術館)		ミケランジェロ作「ユリウス二世墓廟計画案」の変遷について	吉川 登	日彫会報	37
				ミケランジェロの恋エピソード4	(N)	〃	〃

平成8年定期刊行物所載文献(作外ミ)

ミケランジェロとメ ディチ家庭園	中江 彬	美術史	140	バリ時代 (1888-1904)/(6) 『裝飾資料集』と『装 飾人物集』	〃	〃
Il Giudizio Univer- siale di Michelan- gelo e i Disegni p- er Cavalieri	田中 英道	美術史学	18	バリ時代 (1888-1904)/(7) 彫刻・工芸品のデザ イン	〃	〃
ミケランジェロを動 かす	クリス ティーナ・ アチデー ニ	ミケラン ジェロ展 図録(三 越美術館 (新宿))		アメリカ時代 (1905-1910)/(1) ポスター	〃	〃
序	ルチアーノ ・ベルティ 望月 一史 訳	〃		アメリカ時代 (1905-1910)/(2) 雑誌、裝飾パネルな ど	〃	〃
「ミケランジェロ展」 に寄せて	高倉 達夫	〃		アメリカ時代 (1905-1910)/(3) 演劇関係の下絵	〃	〃
ミケランジェロー人 と作品	ビーナ・ラ ジョニエー リ	〃		チェコ時代 (1910-1939)/(1) 絵画とデッサン	〃	〃
ミケランジェロの顔 —カーサ・プオナ ローティ所蔵の四つ の肖像作品をめぐっ て	森田 義之	〃		チェコ時代 (1910-1939)/(2) ポスター	〃	〃
特別掲載—ミショー 研究の現在— ミショー、シュベル ヴィエル、ポーラン	小海 永二	ユリイカ	375	チェコ時代 (1910-1939)/(3) プラハ市民会館市長 ホール天井画と壁 画	〃	〃
アール・ナイフを 語る	アラン・ミ ション	アトリエ インター ナシヨナ ル	829	チェコ時代 (1910-1939)/(4) スタンドグラス、記 念シート、蔵書票、 紙幣など	〃	〃
1900年のアナトール ・フランス—ミュ シャとスタンラン—	加藤林太郎	人文論究	46-3	チェコ時代 (1910-1939)/(5) 「スラヴ叙事詩」—そ の起源と意味と背景	レンガ・ビ ドジョフス カ カレル・ス ルプ	〃
アルフォンス・ミュ シャ—作品の全体像	ベトル・ ヴァイトリ ッヒ	アルフォ ンス・ ミュシャ 「生涯と 芸術」展 図録(千 葉県立美 術館)		聖アトス山	カレル・ス ルプ	〃
ミュシャの感化と影 響—黒田清輝と鹿子 木孟郎の場合	島田 紀夫	〃		チェコ人、アルフォ ンス・“ムハ”	ヴラスタ・ チハーコ ヴァー	〃
バリ時代 (1888-1904)/(1) 絵画とデッサン	〃	〃		特集 舞台はニッポ ン—いま注目 在日 外国作家のこのパ ワー インタビュ ー・ブリギット・ミュ ラー		美術(月 刊)(サン アート) 247
バリ時代(1888-190 4)/(2)ポスター	〃	〃		ヴァシリイ・カン ディンスキーとガブ リエーレ・ミュン ター1901-1917	アンネグ レート・ ホーベルク	
バリ時代 (1888-1904)/(3) 裝飾パネル	〃	〃		カンディンスキー &ミュン ター1901 -1917展 図録(セ ゾン美術 館)		
バリ時代 (1888-1904)/(4) カレンダー、メ ニューなどのデザイ ン	〃	〃		カンディンスキー& ミュンターと「芸術 の都」ミュンヘン	西村 勇晴	〃
バリ時代 (1888-1904)/(5) 本・雑誌の装丁と挿 絵	〃	〃				

マイク・ミルズ・インタビュー クイック・アンド・イージー・グッド!な〈ジャンク〉が最高	林 央子	デザイン の現場	83	「ドキュメンタリー」と「ヴィジュアルの嘘」ジョン・メイブリ		美術手帖	721
ミルロイ「皿」	(YI)	アート ペーパー	31	フェルメールの「セム」を描いたヴァン・メーゲレンの真価	ケルステイ ン・シユ ヴァイグ ホーファー	アトリエ インター ナシヨナ ル	829
所蔵品紹介178「壺」	都築 悦子	福岡市 美術館 ニュース	92	メーリニコフの建築	後藤 武	未来都市 の考古学 展 図録 (東京都 現代美術 館)	
色いろ調 夢もう一度ミレー展	安井 収蔵	新美術 新聞	773	フランチェスコ・メッシーナ 作家点描	(N)	日彫会報	37
笠間日動美術館名作選その57—ジョアン・ミロ《夕焼けの光線の催眠術にかかり草原の草を食べる女》	笠間日動美術館	絵	384	一八世紀のフランソア一世(フランソア・ギョーム・メナジョ)	野口 榮子	美学論究	11
シュルレアリスムを通して見たミロとマッソン	フランソワーズ・ルヴァイアン	日仏美術 学会会報	15	メムリンクの〈聖カタリーナの神秘の結婚〉について	蜷川 順子	美術史	140
ジョアン・ミロ「形象から身ぶりへ」	マリア・ルイザ・ボラス	「ミロ版 画」1933 —1963展 —バルセ ロナ・ミ ロ美術館 所蔵 図録 (山梨県 立美術 館)		体験するメディア空間への試みクリスティアン・メラーの実験的建築	瀧口 範子	AXIS	64
カタルーニャとミロ	岡村多佳夫	〃		記憶する風景1 パリの小さな橋—メリヨン	気谷 誠	版画芸術	93
ミロと初期版画 思考1933—1963	向山富士雄	〃		記憶する風景2 屍体公示所—メリヨン(2)	〃	〃	94
	(ム)			(モ)			
フレデリック・レイトン	スーザン・ムーア	アトリエ インター ナシヨナ ル	828	クリムトとウィーン印象派展—ベデーネー宮オリア所蔵 図録 富士美術館	クリムト とウィーン 印象派展 —ベデー ネー宮オ リア所蔵 図録 富士 美術館		
死者の絵 第30回 汝の死(エドワルド・ムンク)	林 紀一郎	美術の窓	158	世紀末ウィーンにおける印象主義の発見—グスタフ・クリムト、エゴン・シーレ、リヒャルト・ゲルストル、コロマン・モーザーほか	エントヴィー ン・ラハ ニット		
エドヴァルト・ムンク「月光」館蔵品から	桑名 麻理	ひるうい んど	53	巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡礼	フィリップ ・モーリッ ツ 牟礼田アキ 記	版画芸術	94
	(メ)			巻頭特集 THE WORLD VISION 世紀末銅版画像巡礼	(編集長松 山)	〃	〃
WORLD WIDE MIX ここまでクリエイティブなものはない! リサイクルプラスチックの可能性(Made of Waste)	三宅由希子	デザイン の現場	81	フィリップ・モーリッツ ビュランの白昼夢			
WORLD WIDE MIX ジョン・メイブリ リキッドな光ヴィジュアルで描く〈TRUE STORIES VISUAL LIES〉		〃	80	WORLD WIDE MIX 東西ヨーロッパの接点ウィーンの「いま」を表現するユニット〈YOU NEVER KNOW〉(マックス・モシュヴァイツァー)	古山 愛	デザインの 現場	84

印象主義形成におけるモネの絵画の筆触	六人部昭典	鹿島美術研究	13	(ヨ)			
ウィリアム・モリスと反修復運動	藤田 治彦	美 学	184		全国木刻聯合展覧会一鶴迅・葉靈鳳・唐詞一	杉本 雅子	帝塚山学院大学研究論集 31
「ウィリアム・モリスと室内装飾一彼のパターン・デザインを中心に」	川野 敬子	早稲田大学大学院文学研究科紀要	41		当館所蔵作品《ソドムを去るロトとその家族》の作者表示の変更について(ヨルダナス)	雪山 行二	国立西洋美術館年報 27-28
エミール・ヤークフ・シンドラーとその周辺—マリー・エーグナー、オルガ・ヴィージンガーニフロリアン、カール・モル、エドゥアルト・ツェツェ	ゲルベルト・フロード	クリムトとウィーン派展—ベールヴァーデ—宮奥アリア所録(東京美術)		(ヤ)			
アート・ストーリー—画家ヤウレンスキー—ロシアへの郷愁”(7)~(11)	佃 堅輔	アートマインド	84~88		抽象表現主義展図録(セゾン美術館)	出原 均	
「分析と注釈—中央ヨーロッパの現代美術」展 来日作家インタビュー ビヨートル・ヤロス(ポーランド)		美術手帖	722	(ユ)	アド・ラインハートと抽象表現主義	古田 浩俊	”
「90年代の韓国美術から一等身大の物語」展から作家の言葉	劉 明均(ユン・ミュンギョン)	現代の眼	500		館藏品紹介 ベルトラン・ラヴィエ『I-BERNA』	加須屋明子	国立国際美術館月報 40
ヴィクトル・ユゴールの世紀	ジャン・ゴートン 稲垣 直樹	ヴィクトル・ユゴールの世界展図録(小田急美術館)			ルネ・ラリック作品における紫ガラスについて—放射線照射による人工着色	池田まゆみ	GLASS 40
ヴィクトル・ユゴールの世界	稲垣 直樹	”			特集 都市とアートの真相 Blond Japanese	ロブ・ランゲ	美術手帖 733
ヴィクトル・ユゴールと日本人	村田 哲朗	”		(リ)			
モーリス・ユトリロ—ものごとの惨めな結末	ジャクリーヌ・マンク	モーリス・ユトリロ展図録(郡山市立美術館)			李禹煥 東京都千代田区神田古書店街	白川 茂樹	新美術新聞 756
ユトリロの物語	ジャン・ファブリス	”			美の価格5 コレクター—無名作家地道に支援(李禹煥)		読売(都民版) 3.16
「90年代の韓国美術から一等身大の物語」展から作家の言葉	尹 錫男(ユン・シヨクナム)	現代の眼	500		表現の起源問うモノ派展	李 禹煥	読売夕刊 9.4
					特集 書を贈りたい!—“画家としての大成を願って”精神的支柱となった数点の書	李 庚談	墨 118
					李庚君の絵に寄す	江上 波夫	李庚水墨画展図録(思文閣ロイヤル画廊(京都))
					李庚さんの絵	水上 勉	”

李庚水墨画展によせて	梅原 猛	〃	アートな“コク”?11 リンチふたたび	滝本 誠	美術手帖	722
§ 作家の言葉 §	李 庚	〃	アートな“コク”?14 リンチのおかげで 若返り	〃	〃	727
巻頭特集 WORLD NEO GRAFICA— 最新・世界の現代版 画 李仁鉉 絵画の 正面は側面である		版画芸術		(ル)		91
「美術作品」としての 器—ヨン・ツェ・ リー陶芸展をめぐっ て—	エルマー・ ヴァインマ イヤー	陶 説	ウエミング・ルー氏 のコンピューター・ カリグラフィ—	(S)	墨	519 118
オーストリアの情趣 的印象主義—エミ ール・ヤーコフ・シン ドラ、オイゲン・ イエッテル、ルド ルフ・リーバルツに みる「瞬間」の把握	ザビーネ・ グラープ ナー	クリムト と印象派 展—ペ レヱ ヴェ スト リア の 絵 画 館 所 蔵 図 録 (東京 美術 館)	ルーベンスとティ ツィアーノ「模倣」 から「競作」へ	中村 俊春	京都大学 文学部美 術史学 研究室 研究紀要	17
西洋版画入門33 ヴィエール《雨傘の 葬列》、ジョソ《波 等・版画のジャポ ニスム	八重樫春樹	ア ー ト ト ップ	当館所蔵作品《ソド ムを去るロトとその 家族》の作者表示の 変更について(ルー ベンス)	雪山 行二	国立西洋 美術館年 報	27—28
ついに認められたリ シエの真価	ハリー・バ レ	アトリエ インター ナシヨナ ル	ルーベンス作「高德 の英雄」と「酔っぱ らったヘラクレス」 をめぐって	中村 俊春	美術史	140
時間を超えたシンブ ルでクラシックな 美しさ ハーブ・ リッツ		美術手帖	フランス革命期の幻 視の建築家(ブレ、 ルドゥー、ルクー)	五十嵐太郎	未来都市 の考古学 展 図録 (東京都 現代美術 館)	718
フランクフルト・ア ム・マイン近代美術 館がMoMAへ売却 したりヒターの「赤 軍」連作	ベーター・ ヘルプスト ロイト	アトリエ インター ナシヨナ ル	ル・コルビュジェの 都市計画	〃	〃	826
特集 ゲルハルト・ リヒター リヒター のレッスン	市原研太郎	美術手帖	20世紀の古典 ル・ コルビュジェ 近代 建築発展の原動力	安藤 忠雄	朝 日	722 8.30
特集 ゲルハルト・ リヒター ゲルハ ルト・リヒターの20作	ハンズ・ウ ルリヒトイ ブリストイ ンタヴ 清水 穰 訳	〃	フランス革命期の幻 視の建築家(ブレ、 ルドゥー、ルクー)	五十嵐太郎	未来都市 の考古学 展 図録 (東京都 現代美術 館)	720
特集 ゲルハルト・ リヒター 平板さ について ゲルハ ルト・リヒターのア トリエ	清水 穰	〃	ルドゥーの「ショ ーの理想都市」	〃	〃	722
特集 ゲルハルト・ リヒター フィル タリング・ペイン ティング	林 卓行	〃	特集 かわいい チャールズ・ルド レイ	藤森 愛実 インタ ビュー (松下)	美術手帖	720
現代ドイツを代表す るアーティストの一 人、マルクス・リュ パーツ	クリスティ アン・ロー トマン	アトリエ インター ナシヨナ ル	館蔵品紹介「いた るところで瞳が焰を はく」オディロン・ ルドン	〃	群馬の森 美術館 ニュース	84
			オディロン・ルド ンにおける「出現」 の主題と表現	村山 紀子	美学美術 史研究論 集	14
			アメリカ人美術コレ クターの心を奪った 初期ルノワール作品 の鮮やかな色彩	マイケル・ コンフォ ルティ	アトリエ インター ナシヨナ ル	831
			ルノワールの《ハー レム》—国立西洋 美術館所蔵《アルジ ェリア風のパリの女 たち》の題名を巡っ て	喜多崎 親	国立西洋 美術館年 報	27—28

ルノワールとサロン (中)	島田 紀夫	実践女子 大学美学 美術史学	11	パリで生きる画家たち 清水紀子、ジャン・テロッシアン、 ポップ・レスコー、 ジョルジュ・カマ チョ	アートマ インド	85~88
特集=空中庭園 庭 という絵「空」こと ニルス=オレ・ロン ドのカラーージュ	高山 宏	ユリイカ	373			
	(レ)					
		LIFE / ART / TECHN OLOGY / —生物 / いのち / ART 展 図録(O 美術館)				
<アンケート>	トーマス・ レイ			『レンブラント、本 物かにせ物か』古典 の至宝“レンブラン ト”で見せたメトロ ポリタン美術館の鑑 定眼	藤田 治彦 ジュ・イソン ・カウフマ ン	京都工芸 繊維大学 工学部 研究報告 人文 アトリエ インター ナシヨナル 825
インターネット環境 におけるソフトウェ アの進化	〃	〃		レンブラントの聖書 に基づく作品につい ての一考察(3)—サ ムソンの物語—	阿天坊 耀	群馬県立 女子大学 紀要 17
<展示コメント>	ウィリアム ・レイアム	〃		海外情報 「レンブ ラント、レンブラン トにあらす」	柳 正彦	美術の窓 153
					(ロ)	
視覚の持続—石元泰 博展をデザインする—	ダスティン ・レヴィッ ト	現代の眼	495			
		レオ・レ オニ展 図録(板 橋区立美 術館)				
ごあいさつ	主催者			亜細亜的創造2 北 京、上海、台北3都 市デザイン事情 呂 秀蘭 漢字とアル ファベットの狭間で		AXIS 59
生きとし生けるもの のために	レオ・レオ ーニ	〃		館蔵品誌上ギャラ リー41 マリー・ ローランサン「マン ドリンのレッスン」	立元 史郎	鹿児島市 立美術館 だより 41
「平行クリエイティ ブ」	福田 繁雄	〃				
生命賛歌としての芸 術 レオ・レオニ にきく	バオラ・ ヴァッサー リインタ ヴィュー	〃		THE KING OF ELECTRONIC D- ESIGN 6 エレク トロニックデザイン がマルチメディアに なった。英国発! 本 当にかっこいい、U RBAN FEEDB- @CK (Giles Rolle stone)	江並 直美 構成	デザインの 現場 81
レオの夢	アンドレー ア・ラウク	〃				
ヨーゼフ・ボイスの 素描の記譜法—レオ ナルド『マドリッド 手稿』との関連で	岡林 洋	鹿島美術 研究	13			
レオナルドと西欧騎 馬像の展開(一)	三神 弘彦	芸 叢	12	マーク・ロスコ	出原 均	抽象表現 主義展図 録(セゾ ン美術 館)
レオナルド・ダ・ ヴィンチの「最後の 晩餐」の解釈につい て	播磨 淳子	美学論究	11	一堂に会したロダンの 三つの『キス』	マリナ・ フェレッ ティ=ボキ ヨン	アトリエ インター ナシヨナル 825
		シャガ ール、 ジェ Ciq- rque展 図録(名 古屋 画廊(名 古屋))		ロダンの花子像が里 帰り 所沢市の美術 愛好家が寄贈 「ロダン&花子」国際 フォーラム		ながらが わフォー ラム 3
シャガール、レ ジェ、サーカス	笠井 誠一					4
所蔵作品紹介「美 しい自転車乗り」 フェルナン・レジェ		徳島県立 近代美術 館ニュー ス	19	芸術をめぐる言葉45 芸術家こそ真実を 告げているのであ って、嘘をついて いるのは写真のほう なのです—ロダン	谷川 渥	美術手帖 732

科学者のような観察 眼×ボックスを凌駕す る技量=CGキヤアニ メのような不思議な 画面構成 アレクシ ス・ロックマン		美術手帖	720				亜細亜的創造2 北 京、上海、台北3都 市デザイン事情 北 京、このデザイナー の場合2 王明旨			" "
ロシアの類推的都市	後藤 武	未来都市 の考古学 展(京都 現代美術 館)					美術関係者・日本 (ア行)			
研究ノート ロッソ 美術館のメダルド・ ロッソ 写真に撮ら れた彫刻	江上 ゆか	ピロティ	99				秋の野をゆく一會津 八一の生涯 第十二 回 母からきいた 「恋」の真相	工藤美代子	芸術新潮	553
忘れられた画家A・ ローマコ(1)~(3)	佃 堅輔	絵	384~386				秋の野をゆく一會津 八一の生涯 第十三 回 雪国よいどれ教 師	"	"	554
異国の光の体験—ア ウグスト・フォン・ ベッテンコフ、エ ン、ティーナ・ブラ ウ、アントン・ロ マーコ	エリーザベ ト・ヒュル ムパウアー	クリムト と印象派 展—ベル ヴエデ レスト 宮オー ア所 蔵(東京 美術館)					秋の野をゆく一會津 八一の生涯 第十四 回 はじめて奈良へ いく	"	"	556
論文紹介 ローズマ リー・マクレーン 「おお偉大なる君主 殿、ああ栄えある高 僧殿」—クロードの ローマのバトロンの たちとかれの風景画の 魅力—(クロード・ ロラン)	佐々木多喜 子	美 学	186				秋の野をゆく一會津 八一の生涯 第十五 回 「天才」与平の死	"	"	557
リチャード・ロング	ニコラス・ セロータ	リチャード・ ロング展 水行録 (世田 谷美術 館)					秋の野をゆく一會津 八一の生涯 第十六 回 八一先生を審査 する	"	"	558
場から場へ—リ チャード・ロングの 作品について—	ショーン・ レインバ ード	"					秋の野をゆく一會津 八一の生涯 第十七 回 ふられた証拠	"	"	559
ロングへの問	リチャード ・ロング 長谷川祐子 質問	"					秋の野をゆく一會津 八一の生涯 第十八 回 「家塾」をつくる	"	"	560
アントーニオ・ロン バルドの古代受容	石井 元章	美 術 史	141				秋の野をゆく一會津 八一の生涯 第十九 回 親友にも絶交状	"	"	561
(ワ)							秋の野をゆく一會津 八一の生涯 第二十 回 幻のプレゼント	"	"	562
亜細亜的創造2 北 京、上海、台北3都 市デザイン事情 王 俠軍 伝統の技を未 来につなぐ		AXIS	59				秋の野をゆく一會津 八一の生涯 第二十 一回 坪内逍遙との 縁	"	"	563
							この著者と話したい 98 青木茂(『美術の 図書 旧刊案内』)		美術(月 刊)(サン アート)	245
							研究ノート 北大路 魯山人の陶芸論—柳 宗悦と青山二郎と—	佐々木秀憲	陶 説	522
							少年漫画雑誌に道 (秋田真夫)		日経夕刊	9.20
							前衛芸術の理想主義 者秋山邦晴を偲ぶ— 私心なく、善意の人 だった	峯村 敏明	新美術新 聞	781

平成8年定期刊行物所載文献(美関)

びーぶるinトウキョウ ウ油絵修復家浅尾 丁策さん 科学技術 もかなわぬ職人芸	赤堀 正卓	産 経	4.9	近代日本美術家列伝 37 岩村透	堀 元彰	美術手帖	720
浅川巧の日記里帰 植民地下の朝鮮で 工芸や植林を研究	増子 義久	朝日夕刊	6.28	顔 中国の月刊誌に 登場するなど日中水 墨画交流に花を咲か せる鶴崎博さん	岡本 隆明	読 売	10.26
ヒトはしり 浅野邦 子社長 箔一(金銀 箔工芸品) 柔軟な 発想で伝統に輝き		日 経	6.9	第8回倫雅美術奨励 賞決定 内山淳一 氏、高階絵里加、吉 澤美香		新美術新 聞	783
インド通い考古学者 現役最長老なお発 掘(網干善教)		朝日夕刊	10.2	浦上さんと浮世絵収 集への情熱	鈴木 重三	蒐集家 浦上敏朗 の眼一館 蔵名品展 図録(山 口県立秋 美術館・ 浦上記念 館)	
この著者と話したい 105 新井満(『私の 小さな美術館』)		美術(月 刊)(サン アート)	252	浦上コレクションの 中国・朝鮮陶磁	長谷部楽爾		
柳宗悦に火を灯され た人々(二十一) 会 津若松の民芸開眼、 五十嵐大祐の事	近藤 京嗣	陶 説	519	魯堂朝茶(仰木魯堂) 近代茶人達の茶会	鈴木 皓詞	淡 交	610
柳宗悦に火を灯され た人々(二十二) 五 十嵐大祐の民芸コレ クション			520	大久保利謙先生追憶 大久保利謙先生年 譜・主要作品目録		史 苑	157
この著者と話したい 102 池内紀(『とっ ておき美術館』)		美術(月 刊)(サン アート)	249	「大久保利通関係文 書」と「大久保利謙文 庫」一追憶の言葉に 託して一	林 英夫		
規源齋を偲んで(石 井規源齋)	石井三保子	目の眼	234	大久保利謙先生の 実証主義とリベラリズム	山田 昭次		
町並み発見者 石川 忠臣さん「環境運 動の主流になる」 迷い込んで出合った 有松街道 記事連載 し「保存運動」育てる		東 京	2.12	大久保利謙文庫のこ と	鶴川 馨		
私の履歴書14 石黒 孝次郎さん	坂本 五郎	日 経	12.14	大久保先生 交々	浅見 惠		
石橋正二郎と美術館 (1)	嘉門 安雄	新美術新 聞	763	大久保先生の思い出	石倉 紘子		
美術館時代の礎を築 いたひとたち2 石 橋正二郎と美術館 (2)			764	「政治の国民化のた めに」アーカイブズ を!	栗山 欣也		
人らんだむ 東京都 庭園美術館の新館長 に就任した井関正昭 さん	(西)		770	大久保利謙先生の想 い出	大塚 和義		
「北区は浮世絵題材 の宝庫」 共立女子 大伊藤教授今夏、論 文を発表(伊藤紀之)		読 売 (都民版)	3.17	大久保先生追悼	中田 清子		
ひと 岩宿文化賞受 賞に感慨深げ(稲田 孝司)		読売夕刊	11.5	生涯現役 建築史家 太田博太郎さん 集 大成は白鳳伽藍復元	平山 徹 吉田 淳 写真	読 売	5.19
元協会顧問・稲葉秀 三氏逝去される		刀剣美術	473	岡倉天心 横山大観 書簡一黒澤吉次郎 宛	藤本 陽子	五浦論叢	3
自分と出会う	今泉 友信	朝日夕刊	9.10	天心の詩精神一空間 の詩学	橋浦 洋志		
第17回サントリー学 芸賞 今橋理子さん 受賞		新美術新 聞	754	長尾雨山とその交友 (岡倉天心)第7回	杉村 邦彦	墨	122
“桜の縁”(岩関和 子)	(建)		762	教科書が教えない歴 史147 異文化のは ざまを生きた人々17 「東洋の精神」を訴 えた岡倉天心	入川 智紀	産 経	9.20
				空想の手紙 ドク ター・ワトソンさま 世間の見る目、少 し不満です	おかだえみ こ	朝日夕刊	7.16

Men&Women 縄文を掘る 岡田康博さん	林 栄太郎	読 売	11.3	ことば抄 みなり、しくさでなく、心の在りようが粋でした	北村 哲郎	朝日夕刊	8.28
尾関清子さん 相沢忠洋賞	毛井 正勝	朝 日	9.14	生涯現役 仏教美術研究者久野健さん 仏像との出会い求めて	平山 中島 写真	微 正晶	読 売 3.17
計(小高根太郎)	鶴田 武良	鉄斎研究	71	プロセスに忠実であり続けた久保貞次郎氏の遺訓	磯辺 行久	新美術新聞	785
(カ 行)				熊木正則さん 障害者美術展を開き続ける		朝 日	3.15
ごあいさつ(最終特別講義の司会から)(亀田正雄)	大伴 公馬	日本文化史研究	25	黒川真頼家蔵書目録 影印(八)『書籍目録 人下』	城田 秀雄	実践女子大学文学芸資料研究所年報	15
亀田正雄教授略年譜・著述目録		〃	〃	河野コレクションにみる日本近代洋画の歩み	村山 鎮雄	近代の洋画展一府中市所蔵作品による一図録(府中グリーンプラザ)	
永遠のロマンティスト(亀田正雄)	岡本 健一	〃	〃	若き芸術家のために“風”の画廊復活(小杉美砂)	明珍 美紀	毎 日	8.5
現代社会に生きるものの心象の重なり一亀田正雄さんとのこと一	木村 光佑	〃	〃	小松さんとの歳月(小松正衛)	村山 武 陶	説	518
重春六十年(亀田正雄)	津江 孝夫	〃	〃	小山さんの手紙(小山富士夫)	中野 多里	〃	517
忘れ得ぬ出会い(亀田正雄)	富樫 実	〃	〃	小山富士夫著『骨董百話』素晴らしい選択と配列	福田 和也	東 京	3.24
いまが盛り 東京都現代美術館館長嘉門安雄さん 知識欲は衰えませんが 健康法は美術館の中を歩き回る	生田 誠 産 経		12.7				
流産した視覚29 倫明叔減為楽(河北倫明)	米倉 守	ア ー ト ト ッ プ	150				
追悼 河北倫明さんの死に想うこと	加山 又造	〃	〃			(サ 行)	
「無名蝶来る」を待ち 河北倫明先生去る	米倉 守	絵	383	顔 島の山古墳を発掘調査した西藤清秀さん	溝田 嘉彦	読 売	5.11
色いろいろ調 倫明老の置きみやげ(河北倫明)	安井 収蔵	新美術新聞	761	第22回明治村賞 坂本勝比古氏に贈呈		明治村だより	4
夢なら正夢1 倫明蝶去(河北倫明)	米倉 守	美術(月刊)(サンアート)	244	坂本勝比古さん 異人館保存で明治村賞の建築学者	御堂河内五百里	朝 日	6.18
目標100館を目前の急逝 河北氏の意志継承を誓う		JAAM	49	計(坂本光總)	鉄斎美術館	鉄斎研究	71
追悼：河北倫明一「美術界の法皇」といわれて	藤 慶之	美術手帖	718	私の履歴書1 名品を探して	坂本 五郎	日 経	12.1
追悼：神吉敬三 スペインの色は白と黒	井出洋一郎	〃	729	私の履歴書2 震災の申し子	〃	〃	12.2
ことば抄 「ゲルニカ」は、ピカソの激しい自伝の一ページ	神吉 敬三	朝日夕刊	2.1	私の履歴書3 商いの道へ	〃	〃	12.3
美術記者神崎憲一のこと	加藤 類子	美術京都	16	私の履歴書4 乾物商奉公	〃	〃	12.4
この人 古代遺跡から出土した木簡を教材に文化講座を開いた北林令子さん	(悦)	東 京	11.20	私の履歴書5 暁の脱走上	〃	〃	12.5
				私の履歴書6 暁の脱走下	〃	〃	12.6
				私の履歴書7 新兵	〃	〃	12.7
				私の履歴書8 終戦	〃	〃	12.8

平成8年定期刊行物所載文献(美関)

私の履歴書9 政治 に関心	〃	〃	12.9				アフガニ スタンの 絨毯展 “花曼陀 羅界”の 図録 (武蔵野 美術大学 美術資料 図書館)		
私の履歴書10 アブ ナイ商売	〃	〃	12.10	収集者紹介を兼ねて 一家なき子一(佐藤 賢一)	相沢 韶男				
私の履歴書11 ニセ 名刀始末記	〃	〃	12.11						
私の履歴書12 美術 商開業	〃	〃	12.12						
私の履歴書13 東京 へ	〃	〃	12.13	美術館時代の礎を築 いたひとたち3 佐 野美術館の創設者 佐野隆一翁の思い出	渡辺 妙子	新美術新 聞	766		
私の履歴書14 石黒 孝次郎さん	〃	〃	12.14	西洋と日本一澤柳大 五郎先生追悼	中山 典夫	筑波大学 芸術年報	1995		
私の履歴書15 脱・ “中道具”商	〃	〃	12.15	TV人の週間日誌 元東独博物館長至宝 への思い「終わらな い戦争」に感慨	重延 浩	読売夕刊	4.24		
私の履歴書16 名刀 「行平」	〃	〃	12.16						
私の履歴書17 古美 術の勉強	〃	〃	12.17	TV人の週間日誌 絵画の主題を「空気」 から直感ジャンヌ・ モローの繊細な着目	〃	〃	7.8		
私の履歴書18 井戸 茶碗上	〃	〃	12.19						
私の履歴書19 井戸 茶碗下	〃	〃	12.20	篠田達美 インタ ビュー	安田 篤生 インタ ビュー	Hara Museum RE- VIEW	33		
私の履歴書20 “神 器”の旅	〃	〃	12.21						
私の履歴書21 青磁 の奇縁	〃	〃	12.22	柴田恒一郎氏(亜細 亜美術交友会常任理 事)に聞く ベトナム の現在の美術状況 は過渡期です。50年 代の日本、70年代の 韓国に似ています。		ギャラ リー(月 刊)	131		
私の履歴書22 初め て海外へ	〃	〃	12.23						
私の履歴書23 单身 渡欧	〃	〃	12.24	動き始めた洪澤龍彦 画廊—各々の作家の 想いが結晶	秋山祐徳太 千高橋 陸郎 米倉 守	絵	388		
私の履歴書24 青花 袖裏紅	〃	〃	12.25						
私の履歴書25 「ニ イタカヤマ」	〃	〃	12.26	夢なら正夢5 死者 は年をとらない。 (洪澤龍彦)	米倉 守	美術(月 刊)(サン アート)	249		
私の履歴書26 弔い 合戦	〃	〃	12.27	季刊「諷刺画研究」20 号に一清水勲編集長—	石川 健次	毎日夕刊	10.14		
私の履歴書27 魚藻 文大壺	〃	〃	12.28						
私の履歴書28 二人 の泰斗	〃	〃	12.29	美の価格5 コレク ター 無名作家地道 に支援(下田賢司)		読 売 (都民版)	3.16		
私の履歴書29 台北 訪問	〃	〃	12.30	杉本一樹さん 東大 寺大仏開眼会の出席 者名簿を見つけた宮 内庁職員	松尾 慈子	朝 日	4.29		
私の履歴書30 オリ エントの宝	〃	〃	12.31						
人 絵画・写真・句 集の個展を開いてい るサントリー会長佐 治敬三さん	谷口 正晃	産 経	4.10			(タ 行)			
ヒトしな 自作の油 絵 サントリー会長 佐治敬三氏 テーマ は山、一年一作		日 経	4.8	第8回倫雅美術奨励 賞決定 内山淳一 氏、高階絵里加、吉 澤美香		新美術新 聞	783		
佐治敬三(サント リー会長)「おもしろ いか」で考える経営		朝日夕刊	4.16	大正名器鑑一高橋箒 庵一	苅田 宗重	淡 交	616		
				高見堅志郎先生の思 い出—いつも芸芸員 と等身大で	谷 新	新美術新 聞	781		

追悼：高見堅志郎 「発信型的美術館」像 を求めて	谷 新	美術手帖	734	人間発見 いま見 て、いま語りたい1 家業を継ぎ、穀物 輸入で中国に注目現 地での事務処理の遅 さに驚かされた暇を つぶす間に美術に触 れる	中川 健造 野村 義博 聞き手	日経夕刊	9.9
瀧口修造とタケミヤ 画廊	海老塚耕一	1953年ラ イトアッ プ展一新 しい戦後 美術像が 見えてき た(目黒 区美術館)		人間発見 いま見 て、いま語りたい2 画集が反響呼び美 術館を望む声中国か らの揮毫と手紙で決 心日本の「エルミ タージュ」めざす	〃	〃	9.10
禅林美術研究に身を 投じた竹内高次氏へ の追悼	長谷川 栄	新美術新 聞	785	人間発見 いま見 て、いま語りたい3 ハングリーで鬼気 迫る姿勢中国には名 作を生む土壌がある	〃	〃	9.11
異彩面談 『一枚の 繪』会長竹田敏道氏 普通の人に絵を売 ることが雑誌の命、 風雲児の理想		東京夕刊	8.23	人間発見 いま見 て、いま語りたい4 “人治主義”のツ ボ押しさえ人脈文化交 流は相手の徹底研究 が大事美術品以外の 宝物得る	〃	〃	9.12
雄山閣考古学賞受賞 の田中良之氏 被葬 者の親族関係を解明		読売夕刊	6.5	人間発見 いま見 て、いま語りたい5 自然によって生か されてゆっくりした 思想「氣」に学ぶ中国 で来春里帰り展	〃	〃	9.13
田辺徹さん 成安造 形大学の学長になっ た雑誌「太陽」の元編 集長	徳山 喜雄 朝 日		10.7	人間発見 ボロ着て 絹着て木綿着ず1 押し入れかきまわし た「鑑定団」ホンモノ は自然に「腹」に入る 目利きは高い気位が 必要	中島誠之助 名和 修 聞き手	〃	11.18
辻成史教授を送る	若山 映子	フィロカ リア	13	人間発見 ボロ着て 絹着て木綿着ず2 伯父は骨董商、父亡 くし養子に美意識の 原点は義父のふるま い海外にあこがれ遠 洋漁船に乗り込む	〃	〃	11.19
「発掘仲間の親分」が 東西文化の比較目指 す 坪井清足さん	(天)	朝日夕刊	3.16	人間発見 ボロ着て 絹着て木綿着ず3 インド洋で1年働き 家業継ぐ決心ふろし き扱いかから商売の修 業痛い失敗重ね鑑定 眼磨く	〃	〃	11.20
坪井先生と私(坪井 良平)	愛甲 昇寛 梵 鐘		4	人間発見 ボロ着て 絹着て木綿着ず4 30代で独立、古伊万 里染付に注目高峰秀 子さんからセンス学 び婦人雑誌で魅力ア ピール	〃	〃	11.21
明日香から風土保存 を訴え(寺尾勇)		朝日夕刊	9.26	人間発見 ボロ着て 絹着て木綿着ず5 青山「骨董通り」の店 はいつも緊張感良い 物に触れて自分を磨 くイイ仕事をしたか ら残ったお宝	〃	〃	11.22
弥生文化の通説に挑 戦 寺沢薫さん	(治)	〃	8.26				
夢なら正夢8 アク アターミック、東野 芳明に逢う	米倉 守	美術(月 刊)(サン アート)	252				
人 遠山敦子さん 文部省顧問からトル コ大使に就任	佐々木美恵 産 経		7.12				
遠山敦子さん 文部 省顧問からトルコ大 使に就任した	城島 徹 毎 日		8.23				
《弔辞》(徳川義寛)	佐野文一郎	博物館研 究	334				
《徳川義寛会長を御 偲びして》	吉岡 庸治	〃	〃				
《徳川会長を偲んで》	毛利 正夫	〃	〃				
昭和天皇と生きた最 後の「証人」(徳川義 寛)	岩井 克己	朝日夕刊	2.2				
	(ナ 行)						
「ガロ」の長井勝一追 悼特集 漫画文化の 前線を切り開く	(健)	朝日夕刊	2.6				

平成8年定期刊行物所載文献(美関)

顔 全国最大規模の中里貝塚の発掘を担当した中島広顕さん	矢沢高太郎	読 売	10.17	人 大山崎山荘美術館の館長に就任した樋口広太郎さん	田窪 桜子 産 経	5.9
柳宗悦に火を灯された人々(二十三) 丹波篠山の中西尚古堂中西幸一・みつゑ夫妻	近藤 京嗣	陶 説	521	平野のよさをアートで演出(樋口よう子)	朝日夕刊	8.26
柳宗悦に火を灯された人々(二十四) 中西幸一と丹波	〃	〃	522	福井利吉郎先生と『日本美術工芸』と私	山根 有三 日本美術工芸	699
この著者と話したい107 中村英樹(『ハイブリッド・アートの誕生 東西アート融合に向けて』)		美術(月刊)(サンアート)	254	街とアートのかすが、いづくり	福西 哲唯 朝 日	11.14
難波洋三さん 加茂岩倉遺跡の銅鐸を鑑定する	小滝ちひろ	朝 日	12.17	故福山敏男会員追悼の辞	岡本 舜三 日本学士院紀要	50-3
新妻健悦のワークショップ1993-95 [美術探検・演習-子供と美術をめぐって]		SYNC IN ART	6	画商、うたかたの50年 1~11	藤井 一雄 美術(月刊)(サンアート)	245~255
青山歳暮(根津嘉一郎) 近代茶人達の茶会11	鈴木 皓詞	淡 交	616	藤田男爵の席披き(藤田伝三郎) 近代茶人達の茶会4	鈴木 皓詞 淡 交	607
	(ハ 行)			はてな? おもしろ浮世絵124 『写楽』に燃えつきたフランキー堺さんの役者人生 ロマン	中右 瑛 目の眼	240
				(マ 行)		
長谷川館長逝去	植松 達也	百万塔	95	天平茶会(益田英作(紅艶)) 近代茶人達の茶会2	鈴木 皓詞 淡 交	605
句読点 長谷川千恵子(日動画廊副社長)	タッド若松 撮影	東京夕刊	5.16	増田静江さん 開館2年目「女性が元気をもらえる」作品がいっぱいのニキ美術館館長	重川 治樹 毎 日	2.16
林忠正の『遊欧雑記』	ジュヴァンニ・ベテルノッリ	ジャポネズ研究会会報	16	大師会発会(益田鈍翁) 近代茶人達の茶会3	鈴木 皓詞 淡 交	606
林忠正とドガー 林忠正洋画コレクションをめぐって	馬淵 明子	〃	〃	松花堂会(益田鈍翁) 近代茶人達の茶会5	〃	608
「林忠正展」に寄せて 一二つの世界に生きた美術商を功罪一	木々 康子	フランス絵画と浮世絵 東西文化の架け橋 林忠正の眼一展図録(茨城県近代美術館)		長恨茶会(益田鈍翁) 近代茶人達の茶会6	〃	609
ベルリン国立美術館 東アジア美術館	ヴィリバルト・ファイト	〃	〃	名水茶会(益田鈍翁) 近代茶人達の茶会9	〃	614
ジャポニズムと文明開化を紡いだ林忠正	定塚 武敏	〃	〃	奈良文琳-益田鈍翁と齋宮女御断簡一茶器と人と22	苅田 宗重	〃 615
林忠正-東西文化の懸け橋	ジュヴァンニ・ベテルノッリ	〃	〃	益田鈍翁と茶道	池田 瓢阿 陶 説	524
林忠正と明治期の洋画	谷藤 史彦	〃	〃	ひと「心」をテーマに企画・展示(松岡正剛)	読売夕刊	6.21
万国博覧会と林忠正	武沢喜美子	〃	〃	国際展主催を天職として 欧州美術クラブ代表 馬郡俊文さん	新美術新聞	757
				この著者と話したい106 三杉隆敏(『真贋ものがたり』)	美術(月刊)(サンアート)	253
				私の履歴書28 二人の泰斗(水野清一)	坂本 五郎 日 経	12.29
				交友抄 シカゴで美術交流	蓑 豊	〃 11.28

千成光悦会(村山玄庵)近代茶人達の茶会10	鈴木 皓詞 淡 交	615						戦後美術展の断面一立近現代美術・レクシ録(千美館)
森洋子さん ブリュージュ研究で国際賞を受賞すね	松村 崇夫 朝 日	2.22		コレクターとは何か(山村徳太郎)	建昌 哲			
顔 ブリュージュ研究でウジェーヌ・ベネ国際賞を受賞した森洋子さん	永田 和男 読 売	2.10						
森本弘美さん 中国の文化財保存に取り組む	生長 恵理 毎 日	8.16		山本勇さん アンコール遺跡の復元をする石匠	古川 透 朝 日	4.9		
	(ヤ 行)			アートからの求愛 共感してくれる人を私の履歴書2 父(横川民輔)の思い出	結城 昌子 東京夕刊	10.4		
柳宗悦に火を灯された人々(十八) 会津本郷焼の宗像窯	近藤 京嗣 陶 説	515		私の履歴書8 結婚(横川民輔)	横川 正三 日 経	9.2		
柳宗悦に火を灯された人々(十九) 会津本郷宗像窯の鯉鉢	" "	516		豪胆で清廉な人 横沢正彦先生を偲ぶ	" "	9.8		
柳宗悦に火を灯された人々(二十) 会津本郷焼宗像亮一の仕事	" "	517		顔 国際的な障害者の芸術祭開催に尽力した吉岡てつをさん	一志 開平 碓山美術館報	17		
柳宗悦に火を灯された人々(二十一) 会津若松の民芸開眼、五十嵐大祐の事	" "	519		月色虫声一水戸幸井の頭別荘・名月茶会一(吉田五郎三郎)	小坂 涉 読 売	11.14		
柳宗悦に火を灯された人々(二十二) 五十嵐大祐の民芸コレクション	" "	520		近代茶人達の茶会8 骨董巷談(67) 野水庵物語(一)(吉田梅露)	鈴木 皓詞 淡 交	613		
柳宗悦に火を灯された人々(二十三) 丹波篠山の中西尚古堂中西幸一・みつゑ夫妻	" "	521		漆芸道中膝栗毛16 日本漆工芸史を拓いた人一時絵を愛したするどい眼 吉野富雄<前編>一	池田 瓢阿 目の眼	243		
研究ノート 北大路魯山人の陶芸論一柳宗悦と青山二郎と一	佐々木秀憲	522			灰野 昭郎 茶道雑誌	60-11		
柳宗悦に火を灯された人々(二十四) 中西幸一と丹波	近藤 京嗣	522			(ワ 行)			
柳宗悦に火を灯された人々(二十五) 丹波古陶館	" "	523		四代歌川豊国の作品集めて後世に残そう 江戸川区文化財研究会情報提供呼びかけ(渡辺善一郎)	東 京	7.5		
柳宗悦に火を灯された人々(二十六) 開館後の丹波古陶館	" "	524		都会卒業文化が引き金 Uターン組の地域おこし 美術館(渡辺喜弘)	野村 義博 日 経	4.13		
柳宗悦に火を灯された人々(二十七) 樺細工の巧者佐藤省一郎	" "	525			美術関係者・海外			
柳宗悦と民芸	尾久 彰三	富山市箕牛人記念美術館	6		来日し、米・アーティスト・イン・レジデンスの現状を紹介したチャールズ・アマカニアンさん、キャロル・ローさん	(美) 新美術新聞	758	
美術館時代の礎を築いたひとたち4、5 山崎種二と美術館(1)、(2)	山崎 富治	新美術新聞	767、768		陶磁餘滴28 李淳瑛氏の商才	朴 中西 訳 乗來 晴代 陶 説	515	
				人 「エル・ドラーダの秘宝展」で来日したロベルト・イエラスさん	洪沢 和彦 産 経	8.2		
				「伝統に目むけて」(具同ボストン美術館東洋部長)	朝 日	11.21		

大英博物館の重量物 展示総監督 エド ワード・ウッドさん	〃	8.15	陶磁餘滴の翻訳を終 えて(朴秉來)	中西 晴代 陶 説	519		
陶磁餘滴30 金讃泳 氏の鉄砂筆筒	朴 秉來 中西 晴代	陶 説	517	アリ・ハッサンさん 遺跡の危機を訴える エジプト文化省次 官	今井 邦彦 朝 日	5.15	
ことば抄 報道写真 家に、出会いと話し 合いの場提供したい	マルルス ・クライネ ン	朝日夕刊	8.27	この人 エジプト文 化省筆頭次官アリ・ ハッサン博士	(黒) 東 京	5.21	
第70回例会発表要旨 美術の現代 モダ ニズム美術と垂直性 —イヴニアラシ・ボ アとロザリンド・ク ラウスを手がかりに	尾崎信一郎	日仏美術 学会会報	15	敦煌の石窟守った (樊錦詩)	朝日夕刊	12.10	
高野山で国宝の修理 に参加。毎日、感動 ヘンリヒセン・ク リストフさん	松原 照子	朝 日	10.20	遺産守る決意語る (ベルント・フォン ・ドロステ)	〃	4.18	
「兵馬桶に理解を」 (呉永琪)		朝日夕刊	3.27	ルドルフ・ブラン さん 「クリムトと ウィーン印象派展」 のため来日のオース トリア教育文化省芸 術局長	南 葉 誼 毎 日	10.31	
序文(クラリベル・ コーン、エッタ・ コーン)	アーノルド ・L・リー マン ブレンダ・ リチャード ソン	コーン・ コレク ション展 図録(伊 勢丹美術 館)		デーナ フリースハ ンセン インタ ビュー	安田 篤生 インタ ビュー	Hara Museum REV- IEW	34
個性派姉妹の美の遍 歴(クラリベル・ コーン、エッタ・ コーン)	千足 伸行	〃		交友抄 シカゴで美 術交流(トム・ブ リッカー)	袁 豊 日 経	11.28	
「長安の女性たち」展 で来日(師小群、田 亜岐)		朝日夕刊	6.24	ブルトン生誕100年	巖谷 国土 日 経	5.19	
フレデリック・L・ ショットさん 日本 マンガ論を出した作 家	鈴木 繁	朝 日	12.11	顔 神戸「二十世紀 博物館群構想」の支 援に来日した米国ス ミソニアン協会の長 官マイケル・ヘイマ ンさん	川西 勝 読 売	5.28	
最大級の美術事典 (ジェーン・ター ナー)		朝日夕刊	11.18	エドワード・シル ヴェスター・モース と博物館	石山 洋	東海大学 紀要課程 資格教育 センター	5
「長安の女性たち」展 で来日(師小群、田 亜岐)		〃	6.24	オットー・ラルフス によるクレール協会— 1920/30年代ドイツ とスイスにおける芸 術家支援団体の一例	シュテファ ン・フライ	美術史	140
フォーカス 日仏交 換美術展の旗振り役 フランス文化相 フィリップ・ドスト ブラジ氏	檀上 泰弘	日経夕刊	12.10	追悼 稀代のコレク ター、ルートヴィヒ 氏死す	ガブリエレ ・リヴェッ ト	美術手帖	732
エルンスト・バイエ ラー氏の眼差し	瀬木 慎一	バイエ ラーのま なざし：か 印象派から現代 ・美の系年 譜展 図録(新 宿)		来日し、米・アー ティスト・イン・レ ジデンスの現状を紹 介したチャールズ・ アマカニアンさん、 キャロル・ローさん	(美) 新美術新 聞	758	
顔 「印象派から現 代へ・美の系譜—〇 〇年」展のため来日 したエルンスト・バ イエラーさん	山根 勝典	読 売	10.19	書評・和書	(ア 行)		
				『アート・マネージ メント 画廊経営実 感論』佐藤和彦著	新美術新 聞	768	
				『アール・デコの ファッション・ブッ ク』伊藤紀之監修	東 京	8.18	

『青い雪どけ』平野遼著、松永伍一編	絵	384			『ウィーンとライカの日々』田中長徳撮影	東 京	9.1
『赤い線 それは空間一思い出の熊谷守一』向井加寿枝著	産 経	6.30			『植田正治写真集』太田 省吾	産 経	1.22
〃	日 経	6.23			『ヴェネツィア日誌』千住博著	新美術新聞	776
『アクロポリス』澤柳大五郎撮影・編集	東 京	5.19			『世界の巨匠 ウォーホル』エリック・シエーンズ解説 水沢勉訳	東 京	6.23
『頭の中で組み立てる絵』オノ・ヨーコ著	新美術新聞	757			『ウォーホル日記』バット・ハケット編 中原佑介、野中邦子訳	日向あき子	産 経 1.17
『アダムの画帖—田中一村伝』南日本新聞編	鷹見 明彦	美術手帖	722		〃	山梨 俊夫	東 京 2.4
『アメリカ写真を読む—歴史としてのイメージ』アラン・トラクテンバーグ著 生井英考、石井康史訳	大日方欣一	〃	733		〃	鷲田 清一	読 売 1.21
〃	上野 俊哉	朝 日	11.17		『宇宙を聴く』茂木一衛著	新実 徳英	東 京 9.1
『荒木経惟写真全集』芹沢 俊介	〃	4.14			『美しき時禱書の世界—ヨーロッパ中世の四季—』木島俊介著	(山)	新美術新聞 757
『歩く女』篠田達美著	絵	390			〃	(島)	日本歴史 575
〃	新美術新聞	776			〃		東 京 3.3
『或る美術コレクターの生活』浦上敏朗著	森 孝一	陶 説	520		『海からの手紙』岩合光昭撮影		チャイム銀座(月刊) 177
『アルブレヒト・デューラー「人体均衡論四書」注解』前川誠郎監修 下村耕史訳・注	中江 彬	デアルテ	12		『蓋著漫画 減点ババ』古谷三敏著	(石)	毎 日 5.27
『UNTITLED』ダイアン・アールバス著	高橋 周平	美術手帖	721		『エッシャーが僕らの夢だった』野地秩嘉著	梶山 龍介	産 経 10.27
『アンチ・オイディプス』ジル・ドゥルーズ、フェリックス・ガタリ著 市倉宏祐訳	石井 弥夢	〃	720		『江戸指物—下町職人の粋と意気』関保雄著		東 京 8.22
『石垣綾子日記』石垣綾子著	川成 洋	東 京	6.16		『江戸の好奇心』内山淳一著	長辻 象平	産 経 12.7
〃	御厨 貴	読 売	4.14		〃	池田 清彦	読 売 9.8
『一平 かの子—心に生きる凄い父母』岡本太郎著	富岡多恵子	朝 日	1.21		『エルミタージュ美術館の絵画』ジュン・アイスラー著 高階秀爾監訳	(す)	〃 3.10
〃	中野 翠	朝日夕刊	1.25		『エロチックな旅』池田満寿夫著		絵 393
『イメージの回廊』坂根巖夫著	宮崎 興二	産 経	8.1		〃		新美術新聞 776
『色の歴史手帳』吉岡幸雄著	(一)	日本歴史	575		〃		日 経 9.8
『インド建築案内』神谷武夫著・写真	藤原 新也	朝 日	11.3		『エンツィオ・クッキ展図録』大井 健地	美術の窓	161
『インドの建築』神谷武夫著・写真		東 京	9.22		『王の身体都市—昭和天皇の時代と建築』飯島洋一著	富岡多恵子	朝 日 6.16
『インド ミニアチュール幻想』山田和著	日高 普	毎 日	9.2		〃	八束はじめ	東 京 6.30
『ヴァティカン絵画館』	〃	1.15			〃	柏木 博	日 経 5.26
					『大江戸異人往来』タイムン・スクリーチ著 高山宏訳	今橋 理子	学 鏡 93—3
					『大倉喜八郎の豪快なる生涯』砂川幸雄著	鹿島 茂	日 経 7.7

平成8年定期刊行物所載文献(和書評)

『大森運夫画集』	(羅)	アート トップ	153							
『岡本太郎と横尾忠 則—モダンと反モダ ンの逆説』倉林靖著		新美術新 聞	768						東京	2.11
『オスマン朝支配に 対するエジプトの適 応—16~17世紀のカ イロにおける諸組 織、ワクフと建築 物』D. ベーレンス ニアブーセイフ著	林佳世子	東洋学報	78-3						鹿沼市立 川上澄生 美術館 報	10
『小樽の建築探訪』小 樽再生フォーラム編 駒木定正監修	長尾 充	建築史学	26						読 売 (都民版)	12.26
『お菓というモデル がいた』金森敦子著	(賀)	新美術新 聞	774						(魚)	毎 日
〃	(杏)	東 京	7.7							
〃	松永 伍一	日 経	6.2							
〃	川本 三郎	毎 日	6.11							
『終わりなき祝祭』辻 井喬著	桶谷 秀昭	日 経	7.7						美術の窓	160
〃	川西 政明	読 売	7.14						(祐)	絵
	(カ 行)									
『絵画の真生命』速水 御舟著 山種美術館 編	田中 穰 産 経		10.7						加藤 修 朝 日	7.7
『絵画を読み解く10 のキーワード』山梨 俊夫著	長辻 象平	〃	7.29						白田 捷治	デザインの 現場
〃		絵	391							日 経
『街道の民家史研究 —日光社参 史料か らみた住居と集落』 津田良樹著	大場 修	建築史学	26						柏木 博	美術手帖
『駆け抜けた前衛』田 代俊一郎著	大月 隆寛	東 京	5.11							東 京
『画材と素材の引き 出し博物館』目黒区 美術館編	松枝 到	〃	6.9							絵
〃		〃	7.5							393
『画商の眼』佐藤廉著		新美術新 聞	760							
『カステロフィリア』 高山宏著	柏木 博	美術手帖	727							
『かたち誕生』杉浦康 平著	藤森 照信	毎 日	6.3							
『カップルをめぐる 13の物語 上・下』 ホイットニー・チャ ドウィック、イザベ ル・ド・クールティ ヴロン編	荒川 洋治	朝 日	4.7							
『歌舞伎衣裳』松竹衣 裳刊	茂木千佳史	日 経	11.21							
『カメラアイ 写真 家たちのセルフポー トレイト』R・A・ ソビエゼク、D・イ ルマス著										
『川上澄生 未刊行 大正詩集』	橋本野之子									
〃										
『贋作』パトリシア・ ハイスミス著 上田 公子訳	大井 健地	美術の窓	162							
『神田川スケッチ集』 の場伸幸画										
『消えたマンガ家』大 泉実成著	(魚)	毎 日	9.23							
『奇景の図像学』中野 美代子著	柏木 博	美術手帖	727							
『季節風』島尾伸三著	鷹見 明彦	〃	718							
『気まぐれ美術館』州 之内徹著	一井 建二	美術の窓	160							
『旧刊案内』青木茂著	(祐)	絵	383							
『巨匠に教わる絵画 のみかた』視覚デザ イン研究所編		〃	394							
『銀座広告社第一制 作室』馬場雅人著	加藤 修 朝 日		7.7							
『組版原論—タイポ グラフィと活字・写 植・DTP』府川充男 著	白田 捷治	デザインの 現場	83							
『グラフィック・デ ザイン全史』フィ リップ・B・メック ズ著 藤田治彦他訳		日 経	10.20							
『グロテスクの部屋』 原研二著	柏木 博	美術手帖	727							
〃		東 京	7.7							
『軍事郵便』古沢岩美 著		絵	393							
『芸術の規則1、2』 P・ブルデュー著 石川洋二郎訳	芳川 泰久	東 京	2.25							
『外道の群れ』団鬼六 著	(賀)	新美術新 聞	774							
『現代作家写真館』榎 原和夫撮影		東 京	1.3							
『現代茶碗集』北辰堂 編	野崎 俊一	陶 説	523							
『現代日本の陶芸家 と作品(東部編・中 部編・西部編)』小学 館刊	福田 旻	〃	520							
『現代版画あらかる と』長谷川公之著		美術の窓	153							
『建築家捜し』磯崎新 著	飯島 洋一	東 京	9.8							
〃	三宅 理一	日 経	〃							

FD版『建築雑誌インデックス1968～1995』	大江長二郎	アート・ドキュメンテーション通信	30	福原 義春	毎 日	9.9	
『建築入門・世界名作の旅100』松永安光著		産 経	11.10	読 売	5.2		
『黄土高原』南良和撮影	(亜)	毎 日	3.4	高田 学	C.A.R.	21	
『国画創作協会の全貌』原田平作、島田康寛、上蘭四郎編著	(志)	ア ー ト ト ッ プ	155	谷川 渥	美術手帖	729	
『五重塔はなぜ倒れないか』上田篤編	今谷 明朝	日	3.31	村上陽一郎	毎 日	9.2	
『古代ギリシア発掘史』ロラン&フランソワ・エティエンヌ著 松田勉子訳	磯田 麻希	文化史学	52	逸見 陽子	美術手帖	724	
『小松茂美著作集』		毎日夕刊	1.22		(茂)	毎 日	9.16
『小村雪岱』星川清司著	中野 翠	朝日夕刊	2.26				
“	村上 豊	産 経	3.14				
“	(も)	東京夕刊	3.23		(々)	日本歴史	577
“	清水 徹	毎 日	3.25				
『今日の手わざ』		“	1.15				
	(サ 行)						
『斎藤三郎大陸画文集』斎藤三郎著	(Y)	絵	386	森 浩一	朝 日	10.20	
『差異と反復』ジル・ドゥルーズ著 財津理訳	石井 弥夢	美術手帖	720	赤坂 憲雄	“	“	
『サイレンス』ジョン・ケージ著 柿沼敏江訳	白石 美雪	東 京	6.23	“	“	“	
『色彩自在』入江一子著		産 経	7.21	室井 光広	“	“	
『始源のもどき』磯崎新著	松永 安光	“	4.27				
『至福のファン・ゴッホ』田代裕著	千駄木 遊	“	12.28				
“		日 経	12.8				
『脂肪』中島唱子著 荒木経惟写真	高橋 周平	美術手帖	721				
『写GIRL'97』写GIRL編集部編		東 京	12.15				
『シャガール わが回想』マルク・シャガール著 三輪福松、村上陽通訳	大井 健地	美術の窓	154				
『ジャコメッティ』矢内原伊作著	酒井 忠康	日 経	6.23				
『岩波 近代日本の美術4 写真論 写真と絵画の結婚』木下直之著	大井 健地	美術の窓	158				
『写真美術館へようこそ』飯沢耕太郎著	(賀)	新美術新聞	771				
“		“	30				
『シャッターチャンスをつかめ。』西川善雄著		産 経	11.10				
『自由一交換』ビエール・ブルデュー、ハンス・ハーケ著 コリン・コバヤシ訳		“					
“		“					
『10年目の「センチメンタルな旅」』荒木経惟、荒木陽子著		“					
『シュルレアリスムとは何か』巖谷國土著		“					
『城下町の近代都市づくり』佐藤滋著	宮本 雅明	建築史学	26				
『肖像画の視線』宮島新一著		日 経	8.4				
『別冊太陽子どもの昭和史 少年マンガの世界1 昭和20年～35年』米沢嘉博構成		“					
『縄文学への道』小山修三著	森 浩一	朝 日	10.20				
“	赤坂 憲雄	“	“				
『縄文人の世界』小林達雄著	“	“	“				
“	室井 光広	“	“				
『職1991—1995WORK』橋口謙二撮影		朝日夕刊	6.21				
『書のこころ』榊莫山著	石川 忠久	東 京	2.18				
『月刊太陽2月号特集 白州正子の世界』	中島 由美	陶 説	516				
『SUGAI』		毎日夕刊	11.25				
『素顔の昭和天皇』吉岡専造撮影	浜尾 実 黛 敏郎 石川 文洋 安倍 勲	朝 日	11.23				
『図説浮世絵に見る江戸の一日』藤原千恵子編著	(無)	毎 日	10.15				
『洲之内徹の風景』「回想の現代画廊」刊行会編		絵	385				
“	大井 健地	美術の窓	156				
“	関川 夏央	朝 日	3.3				
『生活』島尾伸三著	鷹見 明彦	美術手帖	718				
『世紀末の赤毛連盟』高橋裕子著	富山太佳夫	毎 日	5.13				
『政治的風景—自然の美術史』マルティン・ヴァンケ著 福本義憲訳	柏木 博	思 想	870				

平成8年定期刊行物所載文献(和書評)

『青春と変態』会田誠著	住倉良樹 木村重樹 田崎谷子	美術手帖	731	『地図の文化史—世界と日本—』海野一隆著	堀 淳一	東京	3.31
『セザンヌ解釈』シドニー・ガイスト著 浅野春男訳	富山太佳夫	毎日	6.11	『中国文化大革命博物館』楊克林編著 樋口裕子、望月暢子訳		読 売	5.12
『戦後空白期の美術』瀬木慎一著		新美術新聞	760	『中世の身ぶり』ジャンニクロード・シュミット著 松村剛訳	鷲田 清一	〃	4.28
『戦後美術年表1945—1950』油井一人編		絵	385	『土から空へ』谷川晃一著		絵	394
『戦争がつくる女性像—第二次世界大戦下の日本女性動員の視覚的プロパガンダ—』若桑みどり著	足立 政喜	文化史学	52	『定本日本絵画論大成』小林忠、河野元昭監修		日 経	9.13
『アサヒグラフ別冊 戦中戦後紙芝居集成』朝日新聞社編	(々)	日本歴史	575	『デザイン快想録』福田繁雄著		新美術新聞	771
『千のプラトール』ジル・ドゥルーズ、フェリックス・ガタリ著 宇野邦一他訳	石井 弥夢	美術手帖	720	〃	(毬)	読 売	6.16
『葬式—あの世への民俗』須藤功著	(賀)	新美術新聞	776	『デューラー』ペーター・シュトリーター編著 勝國興監訳	(勝)	〃	7.14
『装飾文字の世界 カリグラフィ—入門』ティモシー・ノード画 パトリシア・セリグマン文 鶴岡真弓訳		〃	774	『展示学事典』日本展示学会「展示学事典」編集委員会編	森田 恒之	博物館研究	340
『「染め」の文化』福本繁樹著	(石)	毎日	9.8	『天皇陵古墳』森浩一編	置田 雅昭	東京	2.11
『そりのあるかたち』澄川喜一著		新美術新聞	771	『展覧会の壁の穴』小林敦美著		日 経	12.15
〃	(石)	毎日	4.8	『東京いま・むかし』桐谷逸夫、桐谷エリザベス著		朝 日	3.19
	(タ行)			〃		読 売 (都民版)	3.12
『大月光浴』石川賢治撮影	(譲)	読 売	5.12	『東京写真』飯沢耕太郎編	福原 義春	毎日	9.9
『大聖堂の生成』ハンス・ゼーデルマイヤ著 前川道郎、黒岩俊介共訳	吉田 綱市	建築史学	26	『東京大学総合研究博物館所蔵 縄文時代土偶・その他土製品カタログ【増訂版】』磯前順一、赤沢威編		毎日夕刊	7.23
『高塚省吾の絵の話』高塚省吾著	(熱田)	絵	392	『東京は、秋』荒木経惟、荒木陽子著	逸見 陽子	美術手帖	724
〃	一井 建二	美術の窓	160	『東京美術青年会六十年史』	中島 理壽	新美術新聞	761
『新潮日本美術文庫33 竹久夢二』		東京	11.3	〃	三谷 忠彦	〃	768
『竹久夢二と日本の文人—美術と文芸のアンドロギュヌス—』品川洋子著	鈴木 真紀	成蹊国文	29	『東京日和』荒木経惟、荒木陽子著	逸見 陽子	美術手帖	724
『達人たちの大英博物館』松居竜五、小山藤、牧田健史著		日 経	7.21	『東京スケッチ漫遊記』小川幸治著		新美術新聞	771
〃	中村 桂子	毎日	8.13	〃		読 売 (都民版)	4.3
『掌の美』瀬津巖著	中島 由美	陶 説	521	『桃源郷の機械学』武田雅哉著	柏木 博	美術手帖	727
『地域創造』財団法人地域創造発行		日 経	11.21	『東洋建築史図集』日本建築学会編	布野 修司	建築史学	26
				『徳田八十吉作品集』		毎日	1.8
				『鳥を描き続けた男』鳥類画家小林重三、国松俊英著	松枝 到	東京	9.1

〃	(隆)	毎 日	8.26
『敦煌三大石窟』東山健吾著	上原 和	日 経	5.5
〃	(片)	読 売	5.26
『敦煌ものがたり』中野美代子著	大井 健地	美術の窓	159
	(ナ 行)		
『中川一政 いのち弾ける!』紅野敏郎、入江観編	永畑 道子	朝日夕刊	4.9
『中村研一／琢二画家日記』後藤耕二編	後藤 耕二	デアルテ	12
『謎解き 洛中洛外図』黒田日出夫著	(久)	毎 日	4.29
『何もいらない(保忠蔵)』出水沢藍子著	富岡多恵子	朝 日	7.7
『日本絵画の近代』高階秀爾著	太田 治子	産 経	10.27
〃	編 集 部	美術手帖	732
『日本近代史学事始め』大久保利謙著	松崎 彰	中央大学百年史編集ニュース	25
『大系日本の歴史1 日本人の誕生』佐原真著	室井 光広	朝 日	10.20
『日本刀名工伝』福永酔剣著	長辻 象平	産 経	9.12
『日本の浮世絵美術館』檜崎宗重、河北倫明監修 永田生慈編	杉浦日向子	毎 日	6.3
〃	(天)	読 売	4.7
『日本の現代美術 二十四作家の「持続する現在」』菅原教夫著	西野 嘉章	学 鏡	93-2
『ヌード写真の展開』二階堂充、天野太郎、倉石信乃著 横浜美術館学芸部編		絵	384
〃		新美術新聞	757
『ネーデルラント旅日記 1520-1521』アルブレヒト・デュラー著 前川誠郎訳	荒川 洋治	朝 日	8.4
『眠れる名画—スリーパーを鏡り落とせ!』フィリップ・モウルト著 岩淵潤子訳	(賀)	新美術新聞	782
〃	雪山 行二	美術手帖	734
〃		日 経	10.13

(ハ 行)

『灰の中の名画』フィリップ・フック著 後藤安彦訳	大井 健地	美術の窓	162
『墓の彫刻—死にたち向かった精神の様態』エルウィン・パノフスキー著 若桑みどり、森田義之、森雅彦訳	(賀)	新美術新聞	776
『博物館学総論』加藤有次著	金山 喜昭	国学院雑誌	1074
『博物館学—フランスの文化と戦略』西野嘉章著	大橋 竜太	文化財(月刊)	388
『幕末・明治のおもしろ写真』石黒敬章著	長辻 象平	東 京	12.15
〃	杉浦日向子	毎 日	12.8
『「バサージュ論」熟読吟味』鹿島茂著	谷川 渥	美術手帖	729
『バックリット・バイ・ザ・ムーン』クリストファー・ドイル撮影		東 京	10.6
『花陰』荒木経惟撮影		産 経	7.28
『バリ・世紀末 パノラマ館』鹿島茂著	大嶋 仁	東 京	4.28
『ハリボテの街』木下直之著	黒川 創	朝 日	2.4
『パレスチナとは何か』エドワード・W・サイド著	鷹見 明彦	美術手帖	718
『びいどろ・ぎやまん図譜』岡泰正著 加藤成文写真		東 京	10.27
『美術史のスペクトル—作品 言説 制度—』若山映子、国府寺司編	森 司	新美術新聞	771
『美術の解剖学講義』森村泰昌著	鷺田 清一	読 売	3.31
『火だるま槐多』荒波力著		日 経	8.25
『美のイデオロギー』テリー・イーグルトン著 鈴木、藤巻、新井他訳	谷川 渥	美術手帖	729
『美の回路—九州のかたち探訪』藤本健八著	藤本 健八	デアルテ	12
『美の扉をひらいて』伊藤誠著		絵	384
『白夜の国に光の夢』石井幹子著	森谷 正規	毎 日	6.3
『表象空間の近代 明治「日本」のメディア編制』李孝徳著	(竹)	日本歴史	577
『平松礼二画集』	(志)	ア ー ト ト ッ プ	151

平成8年定期刊行物所載文献(和書評)

『フーコー』ジル・ドゥルーズ著 宇野邦一訳	石井 弥夢	美術手帖	720	『名画による歴史探訪』ローゼマリー&ライナー・ハーゲン著	別役 実朝	日	7.14
『フェミニズム入門』大越愛子著	笠野 頼子	読 売	4.28	『迷宮としての世界』グスタフ・ルネ・ホッケ著 種村季弘、矢川澄子訳	種村 季弘	東 京	10.6
『フォトグラファーズ』飯沢耕太郎著	福原 義春	日 経	5.19	『明治東京崎人傳』森まゆみ著	大河内昭爾	〃	3.17
〃	福原 義春	毎 日	9.9	『目利きのヒミツ』赤瀬川原平著	日 経	8.11	
『福岡市美術館の楽しみ』福岡市美術館学芸課編	都築 悦子	デアルテ	12	『メセナ白書1996』社団法人企業メセナ協議会編	新美術新聞		783
『二人の佐伯祐三』馬田昌保著		絵	387	『眼の快樂』中村真一郎著	井狩 春男	読売夕刊	4.6
『ブラジルへの郷愁』クロード・レヴィ・ストロース著 川田順三訳	鷹見 明彦	美術手帖	718	『眼は聴く』ポール・クローデル著 山崎庸一郎訳	大井 健地	美術の窓	160
『ブロンソンならこう言うね』みうらじゅん、田口トモロヲ著	高橋 周平	〃	721	『木造校舎の思い出』関東編 芦沢明子著・写真	東 京		9.4
『文化遺産』島根県並河萬里写真財団刊		読売夕刊	5.30	『モダン都市の空間』博物館学—東京—初田亨著	橋爪 紳也	建築史学	26
『平家納経の世界』小松茂美著	(才)	毎 日	1.26	『モネが創った庭』エリザベス・マレー著・写真 清水道子訳	(山)	新美術新聞	760
『ベンヤミン アドルノ 往復書簡』ヴァルター・ベンヤミン、テオドール・W・アドルノ著	高橋 順一	日 経	8.18	『モネの風景紀行』佐々木三雄、佐々木綾子著 山口高志写真	(祐)	絵	387
『北斎研究』		毎日夕刊	5.2	『森本草介画集』	ア ー ト ト ッ プ		150
『ボタラ宮の秘宝』		芸術新潮	558				
	(マ 行)						
『マティスのロザリオ』礼拝堂、尾野正晴、関直子監修・文		新美術新聞	765	(ヤ 行)			
『漫画の時間』いしかわじゅん著	久間 十義	朝 日	1.28	『やきもの真贋鑑定』松浦潤著	長辻 象平	産 経	9.29
『水芭蕉曼陀羅屏風』佐藤多持の『世界』	(羅)	ア ー ト ト ッ プ	154	『や・ちまた一王たちの回廊』鬼海弘雄撮影	上野 昂志	東 京	1.27
『宮沢賢治、銀河へ』畑中純画		東 京	7.28	『山・水・野の野草の凸凹をした立体写真集』吉川正男撮影		読売夕刊	1.29
『宮沢賢治 心象の風景』井堂雅夫画文集		〃	4.7	『夢二ヨーロッパ素描帖』青木正美編		毎日夕刊	7.8
『宮大工の技術と伝統』手輿と明王太郎、山中正著	吉田 純一	建築史学	27	『夢の消費革命』ロザリンド・H・ウィリアムズ著 吉田、田村訳	谷川 渥	美術手帖	729
『ミュージアム・マネージメント』大堀哲、小林達雄、端信行、諸岡博熊編	諸岡 博熊	博物館研究	342	『陽子』荒木経惟、荒木陽子著	逸見 陽子	〃	724
『見ることの逸楽』谷川渥著	川田都樹子	国学院雑誌	1071	『横尾忠則自伝「私」という物語』横尾忠則著	新美術新聞		760
〃	鈴村 和成	産 経	1.18	〃	鹿島 茂	毎 日	3.4
〃	(茂)	毎 日	1.26	『ヨコハマ建築・都市物語』吉田綱市、久我万里子著	柳原 良平	学 鏡	93-1

		(ラ行)						
					NORTH, Jacquelyne Y. Jones: Perfume, cologne, and scent bottles		マキエ	14
『ライカ同盟 NA GOYA大写真』赤瀬川原平、秋山祐徳太子、高梨豊著			新美術新聞	774	RIVAL, Andre ed.: Self—Images: 100 Women		新美術新聞	760
『楽土紀伊半島』百々俊二撮影	(前)	読売		2.11	TURNER, Jane ed.: The Dictionary of Art		芸術新潮	562
『ラファエロ真贋事件』イアン・ベアズ著 蒲田三平訳	大井 健地	美術の窓		162				
『ラモアの甥』ディドロ著	多木 浩二	読売		12.22				
『レオナルド・ダ・ヴィンチ』セルジュ・プランリ著 五十嵐見鳥訳	久保 尋二	東京		5.12				
『歴史としての御伽草子』黒田日出男著	桜井 哲夫	朝日		11.24				
『ロシア・アヴァンギャルド』亀山郁夫著	浦 雅春	産経		7.24				
〃	沼野 充義	毎日		7.22				
〃	米原 万里	読売		7.21				
『わくわくするオークション入門の入門』秋山修著		美術の窓		162				
『私の小さな美術館』新井満著	中村 桂子	毎日		9.9				
『渡邊華山の逆贋作考』月山照基著	黒川 創	〃		3.24				
書評・洋書								
PARSONS, Michael J. and Blocker, H. Gene: Aesthetics and Education	福田 達夫	美学		185	美心独往4 「バーンズ展」の遺したもの	生尾慶太郎	アートトップ	155
SALET, Francis: CLUNY ET VÉZELAY. L'oeuvre des sculpteurs Société Française d'Archéologie, Paris, 1995, Pp.168,	常田 益代	美術史研究		34	美術業界の昨今82 銀行のための低金利	飯野 光男	アートマインド	84
SHERWOOD, Shirley: Contemporary Botanical Artists. The Shirley Sherwood Collection		新美術新聞		768	新美術時評 ある政治家の死	清水 敏男	新美術新聞	754
WELSCH, Wolfgang hrsg.: Die Aktualität des Ästhetischen	石田 正	美学		186	新美術時評 骨壺と石塔—有限性について	北澤 憲昭	〃	765
RAMUSSEN, W. ed.: Latin American Artist of the 20th Century		新美術新聞		771	BRAIN STORM 4 1996年はブレイン・ストーマーの年!	菅付 雅信	デザインの現場	80
					あれから1年…太緋のアートセレモニー開催を機に震災後の文化活動を振り返る	中井 康之	美術手帖	722
					芸苑雑事記 連載43 台北小旅行報告 芸術博、故宮名画、美味求真	瀧 悌三	美術の窓	154
					第70回国展 記念シンポジウム開催!!	編集部	〃	158
					芸苑雑事記 連載51 鳥取二題—菅大賞展、前田寛治画集	瀧 悌三	〃	162
					「モダンアートの首都」の自負(ケルン)	田中 聖香	朝日	5.30
					飛び出せ若手絵本作家	浅野 真	〃	10.8
					若手画家に目立つ “あいまいな具象” 「単なる流行」の見方や不安な時代の表現とも	大西 若人	朝日夕刊	3.30
					活況呈し始めたキューバの現代美術上 新しい画廊の活動が息吹ふぎ込む	正木 基	産経	11.17
					活況呈し始めたキューバの現代美術下 市民生活に根ざす批評の強さ	〃	〃	11.24
					震災から一年、芸術家の挑戦 がれきを記憶のアートにつめ跡子孫に伝えたい	内田 洋一 白木 緑	日経	1.13

平成8年定期刊行物所載文献(時評)

文化界巻き込むNP O法案 上 法人格 で社会認知企業の支 援受けやすく 芸術 団体「なりたい」			5. 10	アジア現代美術NO W上 ソウル「世 界化」へ官民で高ま る機運 固有性巡っ て議論も	菅原 教夫 読売夕刊	4. 30
文化界巻き込むNP O法案 下 「非営 利」「公益性」に戸惑 い 芸術団体の責任 重く問われる社会的 自立			5. 11	アジア現代美術NO W中 バンコク 伝模 統と西洋化の関係環 素 貧しい芸術環境 の中で	” ”	5. 1
美瑛・富良野 北の 国 芸術家を魅了	石鍋 仁美 渡辺 信雄 写真		6. 22	アジア現代美術NO W下 マニラ 変容 にこそ民族の固有性 重層する文化の延 長上に	” ”	5. 2
ミョンマー Young & Now アートに 息吹 沈滞吹き払う			8. 17	キューバ美術の現在 日常意識に根差し た批評眼 社会主義 を相対化 文化を再 検証	正木 基	9. 19
時代の制約離れ再評 価 ロレンス・サド ・枕絵…無言の主張 込み “発禁芸術” 続々と登場			9. 21			
都市の暗部描くタイ 新進画家 熱風アジ ア 第3部・世界に 文化発信2	飯野 克彦		10. 25	全国115名の学芸員 が選ぶ 1995年度ベ スト展覧会	芸術新潮	554
文化往来 欧州文化 の源流、ケルトに脚 光			11. 20	飛び抜けた企画なく 平準化 95年美術展 入場者数	新美術新 聞	756
脱亜脱欧 アジアの 表現者たち2 近代 化の中で			12. 18	平成7年度公益信託 タカシマヤ基金 作 家・団体ともに助成 該当なし	” ”	”
脱亜脱欧 アジアの 表現者たち5 「人 間」へのアプローチ			12. 21	95年度第4回助成認 定活動を決定(社) 企業メセナ協議会	” ”	”
墓も自分らしく		日経夕刊	10. 18	東海の陶芸・95年回 顧	井上 隆生 陶 説	515
増える「街の中の美 術展」	村田 真	毎日夕刊	1. 5	展覧会図録で回顧す る「美術展」この一年	美術(月 刊)(サン アート)	244
「江戸のアート」わが 世の春 美術館が 続々開館へ 有名コ レクションも里帰り 出版社は “タ ブー”に挑戦			11. 8	特集 版画NOW '96 '95版画界一主 な出来事	” ”	245
言葉にされぬ《リア ル》「新世紀エヴェ ンゲリオン」の心象 風景	大月 隆寛		11. 28	阪神大震災やヴェ ツィア・ピエンチ レなど10の出来事	三田 晴夫 美術手帖	719
人気呼ぶ「アウトサイ ダー・アート」 創作意欲に駆られ 新鮮な魅力が評判 ディスプレイやカレ ンダーに 「エイブ ル・アート」名 や富も求めず 一層 の認知を願って独自 の呼称も登場			12. 13	問題提起的な7つの 出来事	清水 穰	” ”
アウトサイダー・ アートが米で人気	(尾)	読 売	11. 19	時代の不安を自覚さ せた阪神大震災ほか	菅原 教夫	” ”
美の価格4 画廊 「新空間」にすさま じく不景気で撤退、現 代美術にも		読 売 (都民版)	3. 15	戦後50年・節目の10 の出来事	田中 三蔵	” ”
				阪神大震災、東京都 現代美術館ほか	高島 直之	” ”
				戦後美術の変遷を眺 め返す年に	谷 新	” ”
				戦後50年・歴史的な 検証のうえに立つ企 画展は?	中村 英樹	” ”
				モダニズム復活の動 きと限界	西村 智弘	” ”
				今年美術界10大事 件	拝戸 雅彦	” ”

日本の美術界の二つの情勢	平野 到	〃	〃	展覧会レポート 春の公募展より	(編集部)	版画芸術	92
1995年下半期美術界大研究 著名人5人にきいた私の選ぶベスト展覧会	草間 彌生 白石 かずこ 瀧 早坂 米倉 暁守	美術の窓	154	特集 平成8年前期の美術賞とその作品 平面 現実逃避的 作品傾向とリアリティの欠如	宝木 範義	美術(月刊)(サンアート)	251
95年上半期の美術界総論 美術館の意欲性を問う	中山 公男	〃	〃	特集 平成8年前期の美術賞とその作品 立体・彫刻 多様な作品表現、領域の拡大	真室 佳武	〃	〃
95年計報		〃	〃				
95年の美術展覧会をふり返る 日本画の現況—それぞれの時代	武田 厚	〃	〃	特集 平成8年前期の美術賞とその作品 総観 コンクール時代のひとつの終焉	藤田 一人	〃	〃
95年の美術展覧会をふり返る 洋画 敗戦後50年	高山 淳	〃	〃	今年上半期の美術界をふり返って	編集部	〃	〃
95年の美術展覧会をふり返る 「版画概念の拡大」～版の本質を問い直す～	瀬尾 典昭	〃	〃	再見! アール・ヴィヴァン		美術手帖	729
95年の美術展覧界をふり返る 彫刻・立体 転換期を迎えた一九九五年～盛んな野外彫刻展、パブリック・アートブーム、そして、震災～	三木 多聞	〃	〃	ART NOW 大震災から1年、活性化する文化復興活動 C D-ROMになったバーンズコレクション!		美術の窓	154
95年の美術展覧界をふり返る 工芸 新世紀への工芸的造形—95年の工芸展を見て—	金子 賢治	〃	〃	セ・ラ・ヴィ 24～31	瀧 倉 対談 梯 三 守	〃	154～162
95年の美術展覧界をふり返る 写真 生の根拠を問い直す	飯沢耕太郎	〃	〃	特集 1996年上半期美術界大研究 1996年上半期の美術界を振り返る～国際的大物作家の死、生涯学習審議会の答申変更、マグリット高額落札騒動などをめぐって～	中山 公男	〃	159
建築かパブリック・アートか電子ネットワークか?	野々村文宏	武蔵野美術	99	関西美術界に再生の息吹 震災一年、展示にも工夫	田中 三蔵	朝日夕刊	2.10
当年度分							
美術界この一年	中島 理壽	絵	394	'96回顧 美術 戦後象徴した岡本太郎の死 創造力失い「寄生」の時代へ	〃	〃	12.4
今年のNICAF開催中止		新美術新聞	756	震災1年…逆境を糧に アート復興の時に モニュメントやメールアート「具体」の独創再び	巽 尚之	産 経	1.15
国際交流基金平成8年度事業		〃	767	'96回顧上 「戦後」から多様な混沌へ 深まる身体・都市への関心	松村 寿雄	〃	12.22
新美術時評 サラエヴォのゴドー—近代という不条理	北澤 憲昭	〃	771	回顧'96 《美術》 裾野広く、作品は閉塞感 アジアの風さらに強く	宝玉 正彦	日 経	12.26
1996年秋の公募展<絵画>を振り返って—今、問われる「公募展」の意義	宝木 範義 武田 厚 ワシオ・トシヒコ 油井 一人	〃	783	アートの景色'96 写真・映像 男の子の写真・女の子の写真 軽やかに撮る女性、揺らぐ表現のあり方	飯沢耕太郎	毎日夕刊	6.3
1996年・北海道の美術状況—現代美術の構造を問う企画展目立つ	吉田 豪介	〃	784				
'96美術界回顧アンケート		〃	785				
震災一周年の美術界	藤 慶之 陶	説	516				

平成8年定期刊行物所載文献(時評)

アート の 景色'96 美術 動的都市の中 の美術 試される創 造力と作品のパワー	村田 真	毎日夕刊	11.7	東京デザインセン ター新人賞決定	〃	765
美術 この一年 問 われた「社会の中 の美術」 収集基金 の廃止、検閲問題…	三田 晴夫	毎日夕刊	12.16	ヴェニス・ビエン ナーレ建築展パヴィ リオン賞に日本館	〃	782
2年ぶり“美術の 春” 満開 神戸・阪 神間 次々、充実し た展覧会	(安)	読売夕刊	4.5	新美術時評 絶対の 「地方」へ	北澤 憲昭	783
中国現代美術 過 激、シリアス、大陸 的スケール 肉体の 危機における思索 時代に対峙する強韌 な精神	建畠 哲	〃	6.13	第11回銀座大賞決ま る	〃	784
美術'96この一年 「地方」が最前線の担 い手 「中央」や官製 には限界	芥川 喜好	〃	12.18	審査所感	小倉 忠夫	菅橋彦大 賞展3回 図録(高 島屋(大 阪))
美術'96この一年 総括・回顧の姿勢強 く 展望の手がかり はアジアと若手	菅原 教夫	〃	〃	審査の経過と所感	瀧 悌三	〃
受賞・美術賞等				菅橋彦大賞の経緯	前田 明範	〃
				特別報告 1996年度 ADC賞受賞作品	[編集部]	デザインの 現場 83
				特集 美術賞とその 受賞作品'95 公募 団体展—サヴァイバ ル時代—その審査と 組織運営の歪み	北村 由雄	美術(月 刊)(サン アート) 244
				特集 美術賞とその 受賞作品'95 時代 に即した発表の場の 創出一団体展におけ る若手作家たち	立島 恵	〃 〃
				特集 美術賞とその 受賞作品'95 平成 7年美術公募団体展 受賞者一覧		〃 〃
				選考委員を代表して 京都芸術界の中心 をなした素晴らしい 活躍をしてきた方に (第9回京都美術文 化賞)	梅原 猛	美術京都 17
				世界の芸術を代表す る顔ぶれ(高松宮殿 下記念世界文化賞)		美術手帖 734
第二回大賞展まで	小林 利延	立川市立 川上澄生 美術館木 版画大賞 展2回図 録(鹿沼 市文化セ ンター 1階展示 室)		特集 1996年上半期 美術界大研究 1996 年上半期のグランブ リ受賞結果全覽		美術の窓 159
審査委員評	坂本 満 青木 忠 酒井 慎一 瀨木 秀爾 高階	〃		特集 1996年上半期 美術界大研究 96年 上半期美術賞を振り 返って	編集部	〃 〃
審査総評	中原 佑介	さっぽろ 国際現代 版画ビエ ンナーレ 展3回図 録(北海 道立近代 美術館)		第39回安井賞の選考 に当って	本間 正義	安井賞展 39回図録 (セゾン 美術館)
審査を終えて	リチャード ・フランシ ス	〃		選考経過	三田 晴夫	〃
審査を終えて	アピナン・ ポーサー ナン	〃		選考所感	赤穴 宏	〃
審査を終えて	奥岡 茂雄	〃		選考にあたって	小倉 忠夫	〃
第15回安田火災美術 財団奨励賞決まる		新美術新 聞	761	安井賞審査所感	木島 俊介	〃
第5回青木繁記念大 賞決まる		〃	762	選考雑感	酒井 哲朗	〃
平成7年度日本芸術 院賞決まる		〃	764	表層を破るもの まに	田口 安男 田中 岑	〃 〃

第7回山梨県新進作家選抜展座談会	大島清次 瀬木慎一 富山秀正 山本義隆 向富雄 山梨県立美術館	梨作家7回(山梨県立美術館)		特集 台湾アートフェア・上海のオークションそしてアジア初の国際アートフェア T A F' 95	編集部	ギャラリー(月刊)	129
テレビの中の現代美術ターナー賞に見る英アート事情	森口まどか	毎日夕刊	12.10	特集 台湾アートフェア・上海のオークションそしてアジア中国上海でのオークション模様	津田 礼二	" "	" "
美術市場							
美術業界の昨今84銀行行動の残した罪	飯野 光男	アートマインド	86	特集 台湾アートフェア・上海のオークションそしてアジアそしてアジアと日本の関係	編集部	" "	" "
美術業界の昨今85平成の変換期	"	"	87	実川暢宏氏に聞く美のジャンルを拡げて旗揚げ、銀座にオークションハウスが誕生	"	"	137
美術業界の昨今86商慣習の変化	"	"	88	桐生直宏氏に聞くオークション人口の拡大を目指して、<東京オークションハウス>旗揚げ	"	"	138
FIAC1995—バリ・アートフェア	ハリー・ベレ	アトリエインターナショナル	824	シンワアートオークション 落札率79.7% 引き続き好調	新美術新聞		754
FIAC1995—What's new at the FIAC this year?	"	"	"	美術市場リーダー62ブーム崩壊後を象徴する一事例	瀬木 慎一	"	755
アート・ケルン—変革を求められる世界最大規模のアートフェア	クリスティアン・ロートマン	"	825	市場回復のために解決すべき問題	"	"	758
ホンコン・アートフェア'95	アニー・ガールピン	"	"	特集 美術市場の現況	"	"	"
ホンコン・アートシーン	エリカ・レダーマン	"	826	A. J. C. オークションサブセール	"	"	760
回復を続けるニューヨークのアート市場	アンドリュウ・デッカー	"	827	美術市場リーダー63—一九九五年のオークション会社の業績	瀬木 慎一	"	761
10周年を迎えたSAGAに登場した最新メディア	オリヴィエ・ルノー	"	828	美術市場リーダー64—一九九五年の日本と韓国の躍進	"	"	764
多様なジャンルを包括的に展示、第8回アート・フランクフルト	ベアトリス・シュタンマー	"	"	落札率88% シンワアートオークション	"	"	"
トレゾール1996	バトリシア・ロー	"	"	検証・美術市場 景気回復の兆しに見る光と影 底打ったが手放しでは喜べぬ	三谷 敬三	"	766
1996名古屋コンテンポラリーアートフェア	"	"	"	検証・美術市場 景気回復の兆しに見る光と影 現美展の成功が美術界発展に直結	村越 伸	"	"
目まぐるしく変化するベルリンのアート事情	クリスティアン・ロートマン	"	829	検証・美術市場 景気回復の兆しに見る光と影 交換会もいい方向にある	夏目 四郎	"	"
良き時代の再来を告げる「アート1996シカゴ」	キャスリン・ヒクソン	"	"	検証・美術市場 景気回復の兆しに見る光と影 市場の上昇傾向は本物	平野 龍夫	"	"
F. ベーコンウォールから前衛的な写真芸術まで—第27回バーゼル現代美術フェア	オリヴィエ・ルノー	"	830				
ホンコン・アートフェア中止の波紋	エリカ・レダーマン	"	"				

平成8年定期刊行物所載文献(時評)

検証・美術市場 景 気回復の兆しに見る 光と影 バブルの教訓・早い見切りと限 度	川田 哲也	〃	〃	東京オークションハ ウス第一回セール開 催	〃	〃	
検証・美術市場 景 気回復の兆しに見る 光と影 今、画商の 権威が問われている	武市 憲治	〃	〃	市場の動き 第3回 A・J・C・オーク ション全落札結果	清水 秀作	美術(月 刊)(サン アート)	244
検証・美術市場 景 気回復の兆しに見る 光と影 オークショ ンで知った新しいコ レクター像	実川 暢宏	〃	〃	道楽の経済学21	中平 嘉弘	〃	〃
美術市場レーダー65 トラブル頻発一緊 迫する著作権市場	瀬木 慎一	〃	767	美術市場の趨勢占う 2大オークション開 催 サザビーズ&ク リスティーズ	真田 一貫	〃	〃
名品を中心に新オー クション	〃	〃	〃	市場の動き 成功し た第20回シンワア ートオークション全落 札結果	清水 秀作	〃	245
A. J. C. オーク ション 落札率71%	〃	〃	769	「東西贓作犯科帳」3 名門男爵別邸入札 会の詭計	長谷川公之	〃	246
美術市場レーダー66 新興版画家が上位 独占	瀬木 慎一	〃	770	市場の動き 冬の各 オークションと95年 の統計表 J・A・ A、毎日A A、エ スト・ウェスト	清水 秀作	〃	〃
美術市場レーダー67 国際市場に日本人 のカムバック?	〃	〃	773	市場の動き 第4回 A・J・Cオーク ション落札結果	〃	〃	247
落札率76% シンワ アートオークション	〃	〃	〃	市場の動き 第21回 シンワアートオーク ション落札結果	〃	〃	248
落札率79% アモン テール第1回結果	〃	〃	774	市場の動き 上昇気 配を感じさせる早春 の各オークション J・A・A、エ スト・ウェスト、毎日A A	〃	〃	249
美術市場レーダー68 昨年のオークショ ン・セールの実績	瀬木 慎一	〃	776	市場の動き 第5回 A・J・C・オーク ション落札結果	〃	〃	250
美術市場レーダー69 海外市場の好況と 無縁な日本の現状	〃	〃	779	五月のクリスティ ーズ、サザビーズから	真田 一貫	〃	〃
落札率65% シンワ アートオークショ ン “業者好み” 反 応鈍く	〃	〃	780	市場の動き 第22回 シンワ・アートオー クション落札結果	清水 秀作	〃	251
裾野広げ “お宝” 鑑 定「東京オークショ ンハウス」誕生	(白)	〃	〃	注目集めるサザビ ーズのアンドレ・エメ リック画廊買収	真田 一貫	〃	252
美術市場レーダー70 ようやく転機が訪 れつつある? 日本市 場	瀬木 慎一	〃	782	市場の動き 関心度 高まる二大オーク ション 平野龍夫代 表(シンワ)、長谷川 徳七代表(A・J・ C)に聞く	〃	〃	253
変貌する? 日本オー クション	白川 茂樹	〃	〃	市場の動き 9月の シンワアートオーク ションー陶芸と近代 絵画	清水 秀作	〃	254
日本市場の機が熟す のを待つークリ スティーズインターナ ショナルの社長(ク リストファー・M・ ダヴィッジ)が来日	〃	〃	〃	市場の動き 成功し たMAA第41回「秋 季特別」ほか	〃	〃	255
A. J. C. オーク ション売上総額6億3 千万円 “名品”に不 況なしを証明	〃	〃	784	“塩漬け絵画” 海外 還流への模索と展望 近藤知久氏に聞く	清水 秀作 取材・文責	〃	〃
美術市場レーダー71 「日本人抜き」の ニューヨークの好況	瀬木 慎一	〃	785				

95年美術マーケットをふり返る 美術市場回復の最大の難問とは?	瀬木 慎一	美術の窓	154
最新オークション情報	中村 愿	目の眼	236
ロンドンオークション実見記	末續 堯	〃	243
オークションのぞいてみませんか 多い「下見や見学自由」情報の宝庫		朝 日	2.15
ハード・アート・ビジネス	岩渕 潤子	〃	4.18
ピカソ、ルノワール、棟方志功…名作盗品ずらり200点	坂尻 大島	朝日夕刊	9.6
下町アート・オークション		東 京	12.3
古城など50件売り出し中 独ブランデンブルク州		東京夕刊	10.24
バブル絵画、市場どう再生 膨大な不良在庫買い手不在痛手	野村 義博	日 経	8.19
元気な美ジネス1 画商になった質屋 バブルの後始末 見る目も肥える	〃	日経夕刊	9.24
元気な美ジネス2 「超」大衆オークション 遊び感覚で落札 アートが身近に	〃	〃	9.25
現代美術国際フェア事情 今年のパーゼルの「アート」から	名古屋 寛	毎日夕刊	7.30
美の価格1 氷漬け 不良債権・・・眠る名画 流通目指す動きに“壁”		読 売 (都民版)	3.12
美の価格2 オークション 信頼回復へ画商も参入 新設ブーム、運営に課題も		〃	3.13

美術館・博物館

総 論

アート・ドキュメンテーション研究会第8回講演会 美術館におけるアート・ライブラリの機能と役割	ナンシー・S. アレン 平山美樹子 訳	アート・ドキュメンテーション研究	5
ナンシー・S. アレン氏来日の意義	水谷 長志	〃	〃
日本の美術館・博物館関係のホームページ・リスト	塚原 晃	アート・ドキュメンテーション通信	29

特集 こどもの時間 6.1チルドレンズ・ミュージアム事情	大月 浩子	AXIS	64
美の現場から(10)、(11)	笠井 真男	アトリエ インターナショナル	824、825
右回り・左回り	田中 晴久	AMBIANTE	14
「まちは博物館」ということは?	斉川 昭二	板橋区立郷土資料館紀要	11
北米西海岸沿いの博物館の地震対策	一瀬 和夫	大阪府立近つ飛鳥博物館報	1
講演会「地域博物館とその資料」	田邊三郎助	神奈川県立歴史博物館だより	141
博物館雑考	三輪 忠	神戸市立博物館だより	52
博物館は夜開く?	河上 繁樹	国立博物館ニュース	586
展示ケースの改良—飛散防止フィルムについて	石川 陸郎	〃	587
テーマパークは博物館か	久保 智康	〃	591
博物館と美術館	西川杏太郎	〃	593
展示茶事の取り合わせ	木下 收	茶道雑誌	60—2
“文化の復興”のシンボルに 兵庫県が進める新美術館構想	西川 昌宏	新美術新聞	755
新美術時評 日本と欧米の美術館の“差異”	清水 敏男	〃	757
新美術時評 美術館時代の非美術館活動	〃	〃	760
新美術時評 美術館の管理者たち	北澤 憲昭	〃	768
インターネット美術館へようこそ	山田 明子	〃	〃
新美術時評 美術館は現代美術と真に関われるか	清水 敏男	〃	769
新美術時評 美術館から大学への人材流出	〃	〃	772
美術館を欲する自治体 “市立”を中心として	西川 昌宏	〃	774
美術館大学の設立が急務 長谷川栄氏に聞く		〃	〃
最新美術館事情 比重ます美術館レストランの魅力		〃	775

平成8年定期刊行物所載文献(美博)

悲願の美術館“ノックアウト”大阪府財政難行革で凍結対象に		河野 哲郎	776	イコム第17回世界大会報告(4)国際委員会の活動 5. 教育および文化活動のための委員会(CEC-A)に参加して	河野 哲郎	776
色いろ調 電話口	安井 収蔵		780	阪神大震災と美術館	中島 徳博	780
新美術時評 現代美術の展覧会がかかえている問題	清水 敏男		781	北米西海岸の博物館展示の耐震対策	兼松 重任	781
NTTハローダイヤル導入は美術館サービスにプラス?			782	北米博物館の教育普及事業について	國井 恵子	782
大名道具が見られる全国のミュージアム	淡 交		611	第17回イコム大会報告(5)「世界の文化財保護とイコム」—文化財の違法取引に関する国際協定の推進—	藤井 秀夫	611
学会活動報告 第五一回大会 特別公演 アメリカにおける美術館の現在 アルピナ・デ・マイオ		デアルテ	12	博物館の現状と将来	飯沼 一雄	12
九州山口の美術館の現状	後小路雅弘		782	第17回イコム大会報告(6) ICOM大会に参加して	吉田 幸平	782
ミュージアムミュージアム			782	アメリカの博物館運営史	諸岡 博熊	782
制度における学芸員概念—形成過程と問題構造—	大塚 康博	名古屋市博物館研究紀要	19	北米博物館事情視察に参加して	木村 宏	19
見る 作る 話す (伸)		日本美術工芸	695	イコム創立50周年を迎えて		695
休館のすすめ			697	平成8年度 全国博物館館長会議 分科会(私立博物館経営の現状とその課題)	遠藤 克司 司会 坪田 知広 徳川 義宣	697
平成8年度 全国博物館館長会議 分科会(博物館をめぐる人材の養成・活用について)	徳増 有治 司会 邦忠 青柳 川吉 長谷川 志郎 中川 志郎	博物館研究	341	地震対策について	河野 喬	341
東アジア博物館ネットワーク国際会議に参加して	森田 恒之		341	フランス版ミュージアムショップ考	水原 冬美	341
「博物館相互の連携」についての実態調査報告	日本博物館協会		342	九五年度企画会議「観客一千万」を追い風に さらなる発展へ活発討議	美術(月刊)(サンアート)	342
今、博物館に求められているもの—博物館マーケティング、利用者サービス、展示技術の変化への対応— 第43回全国博物館大会報告<シンポジウム(2)>	佐野文一郎 司会 國夫 青木 嘉章 西野 嘉章 中川 志郎 緒野 博熊 浅野 彬		332	'96年海外研修派遣の4人決まる	JAAM	332
今、博物館に求められているもの—博物館マーケティング、利用者サービス、展示技術の変化への対応— 第43回全国博物館大会報告<フォーラム>	佐野文一郎 司会 國夫 青木 嘉章 西野 嘉章 中川 志郎 緒野 博熊 浅野 彬 毛利 正夫		333	'96年花王・学芸員研究補助は六人に		333
北米博物館の運営について	松尾 良知		333	海外美術館情報 アメリカ 専門性高いスタッフ 手厚い政府の保護策	陶山伊知郎	333
北米西海岸の博物館の地震対策	植松 達也		333	21世紀飛躍へ助走 91全加盟館代表が出席(96年度美術館連絡協議会総会)		333
			333	海外美術館情報 アメリカ 寄贈と遺贈が収蔵品の主力 団体、個人の意欲を税制が支援	松本 英隆	333
			333	海外美術館情報 フランス 作品収集に三つのタイプ 文化省傘下のRMNが主要な役割	今津 京子	333

海外研修報告 貴重な資料目録の当たり行き届いた整理に感心	宮本 高明	" "	シリーズ・これからの博物館 学芸員養成・研修制度の新しい方向	野村 崇	"	137
特集 生きている美術館 恐るべし上野精養軒	中嶋 有	美術手帖 724	シリーズ・これからの博物館 博物館活動におけるアメニティ	三野 紀雄	"	138
特集 生きている美術館 反ヴァーチャル・ミュージアム宣言	飯島 洋一	" "	シリーズ・これからの博物館 博物館におけるアミューズメント	" "	"	140
特集 生きている美術館 五千円はシワシワに(ミュージアム・グッズ)	谷口 英久	" "	博物館内の展示照明	石川 陸郎	MUSE-UM STUDY	7
特集 生きている美術館 学芸員・専門家からのアンケート回答より	" "	" "	複製資料制作覚書	齋藤 慎一	" "	"
特集 生きている美術館 2000年の「ミュージアム」の消滅から生まれるもの	森岡 祥倫	" "	'95年版「全国博物館園調査」レポート	"	ミュージアムデータ	32
特集 生きている美術館 2000年のミュージアム 伝える態度の視点から一美術館のパラダイム・チェンジ	森 司	" "	Museum in News (95年11~1月)	"	"	"
特集 生きている美術館 ムネモシユネの館 ヨーロッパの美術館から	港 千尋	" "	1995年度開設博物館情報	"	"	34
特集 最新海外注目アーティスト1996 ベルリンのヤング・ギャラリストたち	河合 純枝	" 726	Museum in News (5~7月)	"	"	"
美術館の窓33 ゴッホ人気始末記	武田 厚	美術の窓 155	特集・博物館の未来を探る 特集にあたって	矢島 國雄	MUSE-OLOGIST	11
美術館の窓35 苛酷な「全貌」展	" "	" 158	特集・博物館の未来を探る 博物館の将来を考えるために	向坂 鋼二	" "	"
美術館の窓37 最近のガラス美術館事情	" "	" 162	特集・博物館の未来を探る 博物館と戦争	野村 崇	" "	"
美術館の入館者について	成瀬不二雄	美のたより 114	特集・博物館の未来を探る 地方の博物館、そして学芸員に思うこと	外山 和夫	" "	"
美術館・博物館の所蔵品図録について	" "	" 115	特集・博物館の未来を探る アーキビストに市民権を!!	小松 郁夫	" "	"
一般人の美術館利用について	" "	" 116	特集・博物館の未来を探る 地域博物館に未来はあるか?	矢島 俊雄	" "	"
学芸ノート 中核市の美術館事情	堀沢 光栄	姫路市立美術館だより 51	特集・博物館の未来を探る 学芸員は展示室に行け	堀越 正行	" "	"
博物館とイデオロギー <ネパール館>から九州国立博物館を考える	小林 茂	文明のクロスロード MUSEUM KYUS-YU 53	特集・博物館の未来を探る 博物館活動の未来	末木 健	" "	"
シリーズ・これからの博物館 北海道博物館等施設のネットワーク化と未来	三野 紀雄	北海道開拓記念館だより 135	特集・博物館の未来を探る 地域づくり中核施設としての博物館	飯塚 博和	" "	"
			特集・博物館の未来を探る 一地方小都市における学芸員のありかた	花岡 弘	" "	"
			特集・博物館の未来を探る 地域タイムカプセルの再建	菅根 幸裕	" "	"

平成8年定期刊行物所載文献(美博)

特集・博物館の未来を探る 学芸員の立場から	中山 文人	〃	〃	物語られた博物館と学芸員	松宮 和芳	和歌山県立博物館研究紀要	1
特集・博物館の未来を探る 公立博物館の自立性	齋藤 慎一	〃	〃	図書館と展覧会	松下 真也	早稲田大学図書館紀要	43
特集・博物館の未来を探る 新しい博物館への期待	久慈 千里	〃	〃	公立美術館は画商のお得意様	宮嶋 美紀 奈良山雅俊	朝 日	6.17
特集・博物館の未来を探る 公立博物館の学芸員に今求められること	尾崎 泰弘	〃	〃	歴史旅行を疑似体験 博物館は遊園地気分 人気集める英国のアミューズメント型	宮代 栄一	〃	9.12
特集・博物館の未来を探る 博物館・学芸員の将来像	日高 嘉継	〃	〃	展覧会場が暗くなる 作品保護でしばらくの照明	〃	〃	9.22
特集・博物館の未来を探る 時代と博物館	岩本 京子	〃	〃	秋…展覧会を賢く楽しむ方法は?	〃	〃	10.2
ファンデレージング	蓑 豊	美をつくし	145	大学の博物館 扉開いてます 東京商船大学、文化学園、東京大学	〃	朝日夕刊	2.1
これからの美術館活動	青柳 正規	萩美術館・浦上記念館	2	公的援助削減時代の英国の美術館	菅 伸子	〃	3.2
歴史教育と博物館—高等学校における実践を中心に—	仲谷 和泰	歴史研究(大阪教育大学)	33	英国の自治 美術館運営、支えは会員	小淵 明洋	〃	5.15
民俗研究と博物館	柏村 祐司	歴史と民俗	13	文化・芸術施設も障害者にやさしく	〃	〃	7.4
博物館のしごと その三 資料の複製(レプリカ製作)	〃	歴史博物館準備室(香川県)	4	「トリックアート」迷路の美術館 エジプト文明神秘的空間	〃	産 経	6.2
私のつくってみたい博物館 人と自然の博物館	武田 淳	歴 博	75	私の夢の美術館 池内紀(上) 原寸大の複製名画の功德	池内 紀	〃	6.9
博物館のゆくえ 大学博物館を中心に—	青柳 正規 石井 対談	〃	〃	私の夢の美術館 池内紀(下) 古今東西のカリカチュアを	〃	〃	6.16
私のつくってみたい博物館 展示室の中の多機能空間	平野 卓治	〃	76	私の夢の美術館 旅行好きの“描けない画家”	松岡 巖	〃	8.18
私のつくってみたい博物館 来館者に「優しい」美術館	寺島 洋子	〃	77	私の夢の美術館 太田治子(上) 子どもの絵ばかり集めてみたら	太田 治子	〃	9.8
私のつくってみたい博物館 博物館 博物館 ちょっといい話	岩崎 均史	〃	78	私の夢の美術館 太田治子(下) 画家夫妻の肖像画	〃	〃	9.15
私がつくってみたい博物館	渡辺 美彦	〃	79	私の夢の美術館 荻野アンナ(上) 豚珍館長、見習い中	荻野アンナ	〃	9.22
Qletter 三つの期待	(奥) 侶 美 以	〃	57	私の夢の美術館 荻野アンナ(下) 匂い立つような逸品揃い	〃	〃	9.29
「道美学芸研」と美術館ネットワーク	鈴木 真實	〃	〃	私の夢の美術館 新井満(下) 収集における南北問題	新井 満	〃	10.27
「ミュージアムロード」の舞台裏	久米 淳之	〃	〃	私の夢の美術館 心の中に生きる「見えない貝」	中尾 幸世	〃	11.17
美術館の日常 そうですねこれはなんだろう(温湿度計)	奥 村	和歌山県立近畿美術ニュース	9	私の夢の美術館 いい絵は友達のようなもの	結城 昌子	〃	11.24
美術館の日常 結界のこと	〃	〃	10				

私の夢の美術館 机の引き出しの中の“海”	川本 三郎	〃	12.8	こんなにあるよ大学の「博物館」展示品は刑罰具、拷問具から一級美術品まで全国に139、6割が人文系	井手 明子	毎日夕刊	5.24
国立美術館の収蔵作品充実策相続で美術品物納も案 予算増でも成果疑問 大蔵省は発想変えて	大島 信三	産経夕刊	6.14	井戸端で美術鑑賞 台東・池之端の路地裏		読 売	1.9
遊ぶだけじゃものたりない…「美術館めぐり」でお勉強も 一見の価値ある『トリックアート美術館』		東 京	7.11	阪神大震災 将来へ向けて 20世紀博物館群構想 展示計画に「震災」盛り込む		〃	6.18
空想の美術館1 デジタル時代の作品 大衆が『完成』するものへ	増田 幸弘	東京夕刊	4.4	阪神大震災 将来へ向けて 講演 米スミソニアン協会・ヘイマン長官		〃	〃
美術館の“社会開放”促す インターネットでアート	小名 淳一 白木 緑	日 経	4.13	市民が運営する催し 子ども博物館 京都市で開催		〃	8.28
世界の建築美術館めぐり		〃	4.28	心を映す“体感博物館”		〃	9.10
東京の“老舗”私立美術館 着実な歩み 際立つ個性	宝玉 正彦	〃	5.4	多彩な博物館の町 墨田区	山崎 猛	〃	9.25
博物館園の入場不振		〃	5.6	「ゆとり」ない日本の美術館	太田 治子	〃	9.26
江上波夫氏の収蔵品 寄贈し京都に博物館		〃	5.13	うえの再生紀1 変容する文化の杜		読 売 (都民版)	4.23
インターネットで自宅は博物館		〃	5.14	揺れても心配ご無用 免震装置を組み込んだ展示ケース		読売夕刊	1.20
美術館の防災意識問 い直し		〃	6.15	阪神大震災が残した問題	中島 徳博	〃	4.27
市民の美術館のはずなのに… お役所経営”、方針見えず	丸山 寛明	〃	9.1	日 本			
博物館 ボランティア、兵庫県が養成 開設通じ、知的な刺激	水柿 武志	〃	9.29	アート村 KOBE オープン		新美術新聞	766
伊豆高原 豊かな自然と芸術村	野村 義博	〃	10.19	相生森林美術館の「植木茂展」	(H)	潮 流	46
博物館の大量生産時代	青柳 潤一	〃	10.20	相田みつを美術館銀座にオープン		産 経	9.22
百倍楽しい博物館とは	〃	〃	10.27	銀座で「あいだみつを」と“対話” 来月19日美術館オープン 70点を展示 未発表作品コーナーも		東 京	8.21
「ミュージアム・メディア」到来	〃	〃	11.3	銀座に「相田美術館」 明日から一般公開		毎 日	9.18
情報センター化する博物館		〃	11.10	相田みつを美術館(東京都中央区)	(佐)	読売夕刊	10.16
私の家は美術館 東京現代美術館 東京ミサワと組む		〃	11.21	特集 生きている美術館 企画が生きている 2 愛知県立美術館 意味ある企画展ならば評価は後からやってくる			
博物館、「殿堂」から「生活」へ	青柳 潤一	〃	12.8	相原求一朗美術館のオープン 北の大地に地熱を求めて	高橋 玄洋	ア ー ト ト ッ プ	155
設立ブーム続く個人美術館 新しい地域の顔に		日経夕刊	8.13	相原求一朗美術館オープン	(Y)	絵	390
美術館の庭園 付属物から脱皮模索		〃	10.1				
博物館展示に必要な演出の工夫	渡辺 武 毎 日		2.8				

帯広郊外に誕生した 相原求一朗美術館	(K)	美術(月刊) (サンアート)	253						ミュージアム・ト ビックス《美術館・ 博物館訪問》その8 INAXギャラリー リー、窓のある広場 ・資料館	マキエ	15	
北の大地に相原求一朗 美術館オープン!		美術の窓	159						美術館と学校の連携 ノート(茨城県近代 美術館)	後藤 哲也	茨城県近 代美術館 だより	32
縄文の「創造力」を美 術館作り(青森県 立美術館)	立木 祥一郎	朝 日	8.15						伺いましょう40 「創意工夫と自主企 画で」茨城県近代美 術館長 加藤貞雄氏	佐鳥 仁	JAAM	51
青森県立美術館 同 じ作品うっかり購入 関野準一郎・版画 「紅型」県立郷土館 青森市にも チェッ クした?	清水 健二	毎 日	6.30						特集・博物館の未来 を探る 名ばかりの 史料館から(茨城県 玉里村立史料館)	小玉 秀成	MUSE- OLOGI- ST	11
美術館散歩53 明石 市立文化博物館	木村 重圭	日本美術 工芸	692						茨城県天心記念五浦 美術館(仮称)建設始 まる		茨城県近 代美術館 だより	29
朝倉彫塑館(東京都 台東区)	(裕)	読売夕刊	1.17						いわさきちひろ絵本 美術館(東京都練馬 区)	(展)	読売夕刊	6.26
コレクション 朝日 町立ふるさと美術館	九里 文子	博物館研 究	343						浮世絵太田記念美術 館(東京都渋谷区)	(絵)	〃	12.25
大山崎山荘美術館 京都にオープン		新美術新 聞	761						宇治市歴史資料館	岡井 毅芳	日本歴史	581
アサヒビール大山崎 山荘美術館開館	(建)	〃	764						美術館探訪 福井県 碓井町立織田廣喜美 術館	田中 穰	ア ー ト ト ッ プ	154
英国風山荘が美術館 に!(アサヒビール 大山崎山荘美術館)		美術手帖	726						日本の美術館におけ る宇都宮美術館の位 置	田中 幸人	宇都宮美 術館(仮 称)準備 ニュース	3
コレクション 足利 市立美術館	江尻 潔	博物館研 究	334						開館まであと1年 (宇都宮美術館)	谷 新	〃	〃
練馬にアニメ博物館 を 貴重な資料保管 したい 制作者らが 「創る会」結成	岸 俊光	毎 日	6.21						高すぎる? 6億円 名画 宇都宮市のマ グリット購入(宇都 宮美術館)		朝 日	5.27
池田町立美術館	内山 綾子	MUSE- OLOGY	15						颯川美術館一震災を 生き延びた美術品た ち一	林 恭子	茶道雑誌	60-8
コレクション わが 自慢のコレクション 一美術館の紹介を兼 ねて一池田20世紀美 術館	林 紀一郎	博物館研 究	337						美術館散歩56 颯川 美術館	山野 英嗣	日本美術 工芸	695
茶碗道楽・石井規源 齋と石井茶碗美術館	溝田 幸司	目の眼	234						多くの?が都を動か した 江戸東京博物 館にタクシー乗り場 庶民感覚忘れたく ない 都「利用者の 視点、欠けていまし た」	本橋 由紀	毎 日	12.1
尊経閣文庫金沢城跡 地への誘致運動で思 うこと(石川県立美 術館)	嶋崎 丞	石川県立 美術館だ より	147						特集・博物館の未来 を探る 愛媛県歴史 文化博物館の未来像	井上 淳	MUSE- OLOGI- ST	11
石橋美術館別館オー プン		新美術新 聞	781						絢爛と侘び、2つの 美意識 黄金の茶室 と山月庵 MOA美 術館/箱根美術館	松村 寿雄	産経夕刊	2.27
石橋美術館別館 日 本書画など200点		日 経	10.7						美術館散歩54 圓山 記念日本工芸美術館	木村 重圭	日本美術 工芸	693
(仮称)歴史民族資料 館収集資料公開コー ナーにおける展示に ついて(板橋区立郷 土資料館)	稲村 太郎	板橋区立 郷土資料 館紀要	11						大川美術館が考える 美術館志向	岡 義明	博物館研 究	341
楽しく「本物」と接す る機会を「脱・閑古 鳥」へ教育・普及面 見直し(板橋区立美 術館)	生田 誠	産 経	1.5									
美術館時代の礎を築 いたひとたち6 出 光美術館の30年	中島 理壽	新美術新 聞	769									

Oギャラリー：大野博子氏に聞く CD-ROMとインターネットを導入、画廊の新展開の時流にのって		ギャラリー(月刊)	132	近世交流の特別展 岡崎市美術博物館 (愛知県岡崎市)	玉井 孝文	日経夕刊	8.8
大阪市立美術館の六〇年	鈴木 幸人	茶道雑誌	60-9	建設論争が爆発だ 川崎・生田緑地に計画 岡本太郎美術館 住民団体「前衛的で景観破壊」市側『環境には十分配慮』	浅田 晃弘	東京	3.12
戦中・戦後の美術館 境界 ウロ覚え1 (大阪市立美術館)	坂本 哲	美をつくし	147	岡本美術館着工延期に		〃	11.21
美術研究所の五十年 研究生として講師として(大阪市立美術研究所)	辻 司	〃	146	美術館散歩51 小田原流芸術参考館	山野 英嗣	日本美術工芸	690
美術研究所の行末は？(大阪市立美術研究所)	村越 英明	〃	147	科学技術館5階「F-OREST」自分が揺れる？地面が歪む？		美術手帖	731
近つ飛鳥博物館の運営管理	中野 剛	大阪府立近つ飛鳥博物館報	1	花咲記念資料館と開館記念特別展の概要	荒木 伸介 式 淳子	にいくら	1
近つ飛鳥博物館の広報	栗山 和之	〃	〃	黎明館の常設展示が変わります(鹿児島県歴史資料センター)		黎明	51
博物館における普及事業と学校教育	藤田 豊	〃	〃	新装開店10周年を終えて(鹿児島市立美術館)	坂下 弘至	鹿児島市立美術館だより	40
オーストラリア美術専門のギャラリー 軽井沢にオープン(オーストラリアン・アートギャラリー 軽井沢)		新美術新聞	776	私と笠間日動美術館 56—一期一会を大切に	萩原 瑞子	絵	383
大谷美術館(東京都北区)	(裕)	読売夕刊	7.31	私と笠間日動美術館 57—非日常性の中へ	笹ノ間耕一	〃	384
美事拾遺 大原美術館 藤田慎一郎氏に聞く	藤田慎一郎	美術手帖	721	私と笠間日動美術館 58—心の豊かさを求めて	郡司ちい子	〃	388
大宮市立漫画会館(埼玉県大宮市)	(遠)	読売夕刊	5.29	私と笠間日動美術館 59—家族揃って	小松崎良夫	〃	393
春が来た！？(岡画廊「受験」)		美術手帖	724	笠間日動美術館の一年	笠間日動美術館編	〃	394
岡崎に新しい文化の発信地 岡崎市美術博物館		アートトップ	154	私と笠間日動美術館 60—美術への開眼	小松崎良夫	〃	〃
岡崎市美術博物館 オープン		新美術新聞	770	橿原考古学研究所で学んだこと	北村 史子	華頂博物館学研究	3
岡崎市美術博物館「ミュージアム」の未来形？		美術手帖	731	葛飾北斎美術館一開館六周年を迎えるにあたって—	永田 生慈	博物館研究	334
岡崎市美術博物館マインドスケープ・ミュージアム 東と西が心の中で出会う美術館		フォト	10.5	「広島平和の鐘」の故香取正彦さん 屋敷と作品 遺族が寄付(香取正彦記念館)		読売(都民版)	2.1
岡崎に日本初「心を語るミュージアム」心開けば、何か持ち帰れる(岡崎市美術博物館：マインドスケープ・ミュージアム)		産経夕刊	7.20	香取正彦記念館が開館「広島平和の鐘」作者しのぶ		〃	7.1
美術博物館岡崎に誕生 来月6日オープン		東京夕刊	6.12	特集 生きている美術館 企画が生きている5 神奈川県立近代美術館 臨機応変、融通無碍。ネットワークと個性が つくる		美術手帖	724
				金沢市立安江金箔工芸館(石川県金沢市)	(竹)	読売夕刊	12.18
				コレクション 鹿沼市立川上澄生美術館	小林 利延	博物館研究	341

ミュージアム・ト ビックス《美術館・ 博物館訪問》その8 INAX ギャラ リー(窠のある広場 ・資料館)		マキエ	15	新構想博物館の整備 に関する調査研究に ついて 中間報告 (九州国立博物館)	新構想博物 館の整備に 関する調査 研究委員会	〃	54	
地名は語る 王子 かつては製紙工場の 町(紙の博物館)		産経夕刊	4.23	九州国立博物館の太 宰府設置決まる	MUSEU- M KYUS- YU編集委 員会	〃	〃	
『紙の美術博物館開 館』一数年前に建て られた建物の再利用 でユニークな構成 (新潟県刈羽郡小国 町)		墨	121	井戸を掘った人達 (九州国立博物館)	山下 國浩	〃	〃	
特集 生きている美術 館 コレクション が生きている2 川 村記念美術館 現代 美術のお宝開陳	広本 伸幸 インタ ビュー	美術手帖	724	国際化時代の国立博 物館—九州国立博物 館—	小林 茂	民博通信	74	
川村記念美術館(千 葉県佐倉市)	(水)	読売夕刊	4.3	京都工芸繊維大学美 術工芸資料館所蔵の ジョルナイ・コレク ションを巡って	竹内 次男	現代の眼	494	
地方ルネッサンス 住民主導のまちづく りで甦る近江商人の まち 滋賀県近江八 幡市 かわらミュー ジウム		矢嶋 秀一	フォト	993	京博の百年	若杉 準治	国立博物 館ニュー ス	585
書道文化と世界を結 ぶ博物館が滋賀に オープン「観峰館」	原田 博至 萩 信雄	墨	118	学芸員の悲哀(京都 国立博物館)	山本 英男	〃	595	
観峰館の絵画コレク ションについて	西上 実	〃	〃	京大が総合博物館 人文・自然科学一堂 に(京都大学総合博 物館)		日 経	6.7	
1995年度の新収蔵作 品について(北九州 市立美術館)	大久保 京	美術の森	84	玉堂美術館(東京都 青梅市)	(栗)	読売夕刊	7.10	
岐阜県博物館 “マイ ・ミュージアム” — 来るべき世紀の申し 博物館をめざして—	小串 泉	博物館研 究	342	清里現代美術館(山 梨県高根町)	(岩)	〃	9.25	
開館10周年を迎えて —回顧と展望—	加納 宏幸	岐阜市歴 史博物館た より	32	細江英公館長(清里 フォトミュージア ム:K'MoPA)に聞 く 3つのコンセプ トによる特徴ある展 開で新しいミュージ アムを提唱		ギ ャ ラ リ ー (月 刊)	134	
古澤一洋、久美子 (ギャラリー・プロ モ・アルテ)両氏に 聞く ラテンアメリ カンアートの紹介を 再発見のきっかけを		ギ ャ ラ リ ー (月 刊)	134	古田秀明氏に聞く 3月にオープンした キリンアートスペ ース原宿、若手ア ーティストの支援と優 れた作品の紹介が大 阪と同様、基本展開 となります		〃	133	
美術界の裏方がギャ ラリー台東区の星合 さん東京芸大裏に オープン(ギャラ リー・ホシヤ)		東 京	6.18	宮内庁三の丸尚蔵館 (東京都千代田区)	(飯)	読売夕刊	8.7	
九州国立博物館 設 置を太宰府に決定		新美術新 聞	765	桑山美術館—開放さ れた茶室と道具で楽 しむお茶—	林 恭子	茶道雑誌	60—4	
九州国立博物館への 願い、	吉久 勝美	文明のク ロスロ ード MU- SEUM KYUS- YU	53	兵庫県に新県立美術 館計画(仮称、芸術 の館)	(伸)	日本美術 工芸	699	
				現代ガラスの博物館 (東京都港区)	(恭)	読売夕刊	2.7	
				小泉八雲の松江(小 泉八雲記念館) 旅 先クローズアップ	編 集 部	淡 交	613	
				美術館散歩49 香雪 美術館	山野 英嗣	日本美術 工芸	688	

伺いましょう39 「シャガールをひとつの核に」高知県立美術館長鍵岡正謹氏	三宅 隆政	JAAM	50	佐野美術館開館30周年に寄せて	西川 新次 隆 泉	5
阪神・淡路大震災による被害と復旧(神戸市立博物館)	勝盛典子 吉谷美宣 森田稔 塚原健	神戸市立博物館研究紀要	12	これからの佐野美術館に期待することなど	大野 寛孝	〃 〃
美術館散歩59 神戸市立博物館	山野 英嗣	日本美術工芸	698	佐野美術館(静岡県三島市)	(日)	読売夕刊 7.3
阪神・淡路大震災と博物館の被害—神戸市立博物館の場合—	喜谷 美宣	文明のクロスロード MU-SEUM KYUS-YU	54	コレクション 産業技術記念館	斎藤 謹吾	博物館研究 336
色いろ調 西美からのメッセージ	安井 収蔵	新美術新聞	783	サントリー美術館大賞寸感	大岡 信	サントリー美術館大賞特別展'96—挑むかたち—図録(サントリー美術館)
国立西洋美術館の変革への意志	清水 敏男	〃	784	「サントリー美術館35周年、そのうち見たのは20年」	宮島 新一	サントリー美術館ニュース 153
国立西洋美術館・東京国立博物館共催「どうして像はつくられたの?」—子どものための美術展 夏休み特別企画実態調査の報告<事例2>	寺島 洋子	博物館研究	341	サントリー美術館大賞の歩み	サントリー美術館大賞展事務局	〃 157
松方コレクションを越えられるか—国立西洋美術館	雪山 行二	現代の眼	498	清田二三代氏に聞く 地方の画廊がかかえる問題をクリアしたい、Gスペースが打ち出した『年間12作家によるプログラム』		ギャラリー(月刊) 129
小さな博物館の10年 1 小林人形資料館		読売(都民版)	12, 10	特集 生きている美術館 ワークショップが生きている2 滋賀県立近代美術館 BT大阪特派員の体験レポート	谷川 まみ	美術手帖 724
2年越しの企画展中止 さらに事業費の2割減発表(埼玉県立近代美術館)		新美術新聞	774	日本の美術館では初めてのデジタル・ビデオ・サーバ登場(滋賀県立近代美術館)	(平 田)	フラミンゴ 47
博物館と学校教育の連携—体験的学習の場としての博物館事業を中心として—(埼玉県立さきたま資料館)	渡辺 勤	埼玉県立さきたま資料館調査研究報告	9	開館十周年をむかえて(静岡県立美術館)	吉岡健二郎	アマリリス 41
博物館活動の国際化と情報化	市丸 靖子	埼玉県立博物館だより	91	開館十周年に合わせて所蔵品総目録刷新(静岡県立美術館)	越智裕二郎	〃 〃
佐賀県立九州陶磁文化館名品図録 1996年版刊行のおしらせ		セラミック九州	33	<自由工房>について(静岡県立美術館)	池上 幸子	〃 42
佐賀県立博物館の常設展更新について		佐賀県立博物館・美術館報	114	コレクション選図録刷新(静岡県立美術館)	越智裕二郎	〃 〃
佐賀県立博物館・美術館「常設展」の更新—開館25周年を節目に—	佐賀県立博物館	博物館研究	336	入館料・観覧料(静岡県立美術館)	大多和昭二	〃 〃
佐賀県立博物館・美術館	中牟田賢治	文明のクロスロード MU-SEUM KYUS-YU	52	「ジュン美たいそう」報告(静岡県立美術館)	池上 幸子	〃 43
佐喜真美術館	新崎 盛暉	東京夕刊	5. 13	美を愛し、今年で十五周年 渋谷区立松涛美術館		JAAM 51
				広島にオープンした住建美術館	編集部	美術(月刊)(サンアート) 254

平成8年定期刊行物所載文献(美博)

ジュサブロー館が人形町にオープン 人形展示と芝居小屋兼ねる		東京	12.2	情報資料センターの展望と課題—10年目をむかえて—	郷湖 理香	〃	〃
昭和美術館「盗難事件」に伴うお願い		陶説	522	太鼓館(東京都台東区)	(恭)	読売夕刊	6.12
コレクション 白河市歴史民俗資料館	加藤 純子	博物館研究	339	ヤングパワーが起爆材に 高岡市美術館		JAAM	49
榛東村耳飾り館(群馬県榛東村)	(富)	読売夕刊	5.22	高岡市万葉歴史館	松尾 光	日本歴史	580
新博物館「創設」へ(新聞博物館(仮称))		読売	2.27	美術館ガイド(高橋節郎館)	愛知 康之	アートトップ	152
コレクション 吹田市立博物館	高橋 真希	博物館研究	340	高橋節郎館は豊田市の宝	豊田 寿子	〃	〃
ストライプハウス美術館(東京都港区)	(恭)	読売夕刊	12.4	高橋節郎館の制作のコンセプト		〃	〃
柏市で芹沢コレクション再現 砂川美術工芸館が開館	加藤 仁一	東京	2.18	星の女神に守られて(高橋節郎館)	田口 善國	〃	〃
質店の土蔵ギャラリーに 谷中に開き3年・前衛舞踏まで幅広く(スペース小倉屋)	伊藤 隆夫	日経	9.25	美しい一日(高橋節郎館)	山根 基世	〃	〃
音にまつわるアートも共演 墨田の音楽ホール(すみだトリフォニーホール)		朝日	5.29	特集 生きている美術館 コレクションが生きている4 高松市美術館 必然性が生むダイナミズム	住谷晃一郎 インタビュー	美術手帖	724
美術館散歩58 西淡町立滝川記念美術館 玉青館	山野 英嗣	日本美術工芸	697	竹久夢二美術館(東京都文京区)	(典)	読売夕刊	2.14
茶の湯の美術館 膳所焼美術館一土のぬくもりを伝える膳所の里	林 恭子	茶道雑誌	60—1	龍野市立歴史文化資料館	市村 高規	日本歴史	575
特集 生きている美術館 企画が生きている3 セゾン美術館 いまを生きるわれわれにはいまの時代の企画展を		美術手帖	724	時代を指向する博物館をめざして 富山県(立山博物館)の試み	米原 寛	博物館研究	332
西友、映画製作から撤退 美術館はコスト管理強化(セゾン美術館)		日経	9.18	田中嘉三記念館を訪ねて 探訪「今すこし 命を下さい」		游美	22
世田谷の美術をめぐる歩み	勅使川原純	世田谷の美術展図録(世田谷美術館)		田辺市立美術館オープン、紀州ゆかりの文人画などを展示		新美術新聞	783
特集 生きている美術館 ワークショップが生きている1 目黒区美術館・世田谷美術館・東京都写真美術館 死んでしまわないために戦いつづけてきた	山本 育夫	美術手帖	724	谷尾美術館と大津英敏 谷尾欽也氏にきく 直方からの発信	篠原 弘 聞き手	アートトップ	155
世田谷美術館	米倉育加年	読売夕刊	8.8	大津英敏さんと谷尾美術館	谷口 治達	〃	〃
「スタディ・シート」の十年—博物館ワーク・シートの構想と実践—	佐々木和博	仙台市博物館調査研究報告	16	学習や体験 こちらは日本だって 渋谷は「たばこと塩の博物館」 赤穂は海浜公園に塩田復元		毎日夕刊	8.30
				たばこと塩の博物館(東京都渋谷区)	(絵)	読売夕刊	5.15
				旧工房で美術館づくりの夢実現(俵萌子美術館)	俵 萌子	朝日夕刊	6.15
				柳宗悦に火を灯された人々(二十五)(丹波古陶館)	近藤 京嗣	陶説	523
				柳宗悦に火を灯された人々(二十六) 開館後の丹波古陶館	〃	〃	524
				自宅を「美術館」に 三鷹の主婦 月に2日間(小さな遊々美術館)		朝日	9.16

地底の森ミュージアムの開館 仙台市富沢遺跡第30次調査地区の保存と活用	斎野 裕彦	文化財(月刊)	399			ギャラリー(月刊)	136
これからの博物館(千葉県立安房博物館)	米田 耕司	安房博物館だより	64	(佐)	読売夕刊	9.18	
博物館と友の会一生涯学習という立場から(千葉県立中央博物館)	田造 盛光	中央博物館だより	31		AXIS	59	
公立美術館長頼まれ体験記(千葉市美術館)	辻 惟雄	読売夕刊	7.22		野崎たみ子	アート・ドキュメンテーション研究	5
(財)千葉そごう美術館	松原 里美	MUSE- OLOGY	15		齋藤 泰嘉	博物館研究	332
ムーア作品の台座交換一彫刻の森美術館	(O)	産 経	11.3				
「手塚ワールド」構想 アトムと遊ぶ「夢世界」	桜井 透	朝日夕刊	1.25		中島 理壽	美術手帖	724
造ろう「手塚ワールド」首都圏にテーマパーク構想		読 売(都民版)	4.4				
美術館散歩60 鉄斎美術館	山野 英嗣	日本美術 工芸	699		末永 照和	MUSE- OLOGY	15
手で見るギャラリーTOM(東京都渋谷区)	(絵)	読売夕刊	3.27			東 京	11.26
電通恒産が銀座に画廊オープン		新美術新聞	778			磯崎 由美	毎 日
「天保山現代館」オープン 旧サム・ミュージアムが移転、リニューアル		〃	766				読 売(都民版)
岩波弘和氏に聞く 東海銀行のアートによる社会貢献、銀座で味わう「東海道五捨三次」(東海ギャラリー「アート広重」)		ギ ャ ラ(月刊)	140		ぼんのなおこ	アートマ インド	85
銀座で広重に出会う「アート広重」オープン(東海ギャラリー「アート広重」)		産 経	8.4			山本 育夫	美術手帖
特集 生きている美術館 コレクションが生きている1 東京国立近代美術館 国立コレクションに課された正当な美術史的評価とは	本江 邦夫	美術手帖	724			岡塚 章子	ムゼイ オン
ソメイヨシノと博物館(東京国立博物館)	佐々木利和	国立博物館 ニュース	586			真室 佳武	美術(月刊) (サン アート)
「所蔵名品展」と表慶館(東京国立博物館)	貝塚 健	〃	587		(毅)	読売夕刊	6.5
国立西洋美術館・東京国立博物館共催「どうして像はつくられたの？」—子どものための美術展 夏休み特別企画実態調査の報告<事例2>	寺島 洋子	博物館研究	341		(裕)	〃	9.25
西野嘉章氏(東京大学総合研究博物館)に聞く 展覧会批評言語の確立を						林 光夫 鴻巣有希子 川守田紀美 子 須藤 一彦	AMBI ANTE
東京大学総合研究博物館(東京都文京区)							15
東京デザイナーズ・スペースの軌跡							
アート・ドキュメンテーション研究会第19回研究会より 東京都現代美術館図書情報システムについて							
コレクション 東京都現代美術館							
特集 生きている美術館 図書室が生きている 東京都現代美術館・横浜美術館 日本の美術館と美術ライブラリー その過去・現在・未来							
東京都現代美術館とわたし							
都現代美術館の絵画選定 議事録など開示請求却下							
都、美術取得基金を廃止(東京都現代美術館) 財源不足 バブル崩壊ツケ回る							
都現代美術館 幹部就任前に作品購入							
街角のアート・九十年代の作家たち17 東京都写真美術館—写真と映像の未来館							
特集 生きている美術館 ワークショップが生きている1 目黒区美術館・世田谷美術館・東京都写真美術館 死んでしまわないために戦いつづけてきた							
東京都写真美術館における写真資料の保存と展示の現状							
特集 ザ・美術団体 刻まれた公募展の歴史(東京都美術館と団体公募展)							
刀剣博物館(東京都渋谷区)							
ドゥファミリア美術館(東京都渋谷区)							
私たちの見た東武美術館の昨日・今日							

地方会員による誌上座談会(東武美術館)	吉村 朝見 徳永 一雄 荒川 昭寿 山崎 将宏 小川 英明 小椋 正	16	特集 生きている美術館 企画が生きている4名古屋市美術館 個人的な企画は個人的な学芸員にある		美術手帖	724	
東北歴史博物館(仮称)の建設準備		東北歴史資料館報	25	所蔵作品を題材としたギャラリー・トークに関する報告	伊藤 優子	名古屋美術館研究紀要	5
貴重なコレクションをいただく	友部 直	遠山記念館だより	10	平成7年度「夏休み子どもの美術館」における実践より			
私のコレクション	山辺 知行	〃	〃				
徳川宗春と徳川美術館は名古屋の誇り	安田 文吉	葵	22	名古屋美術館「夏休み子どもの美術館」夏休み特別企画実態調査の報告〈事例3〉	〃	博物館研究	341
開館六十周年記念特集 六十年をふりかへて(下の二)、(下の三)	徳川 義宣	〃	22、23	金山南ビル「ポストン美術館」を核に(名古屋ポストン美術館)		日経夕刊	5.21
特集・博物館の未来を探る 教育普及事業と博物館(徳島市立徳島城博物館)	根津 寿夫	MUSE-OLOGI-ST	11	建設に動きだした「ナショナル・ギャラリー」		新美術新聞	763
土佐山内家宝物資料館	渡部 淳	日本歴史	573	「六本木に建設」構想(ナショナル・ギャラリー)		読 売	3.28
個性が生んだ多彩な企画展 栃木県立美術館		JAAM	50	子どもの感性を育てる鑑賞教育―「子どものための美術展'95」より	宮下 東子	新潟県立近代美術館研究紀要	1
特集・博物館の未来を探る 一地方博物館の学芸員実習(苫小牧市博物館)	佐藤 一夫	MUSE-OLOGI-ST	11	「自然と人との語らい」野外彫刻が屋上庭園に(新潟県立近代美術館)		雪椿通信	6
いま、雪原の向こうに八海山を望め 新潟トミオカホワイト美術館	(若)	毎日夕刊	3.21	海に浮かぶ小さな島に新島現代ガラスアートミュージアムオープン!	編集部	美術の窓	162
コレクション 豊田市美術館	愛知 康之	博物館研究	342	早口、生き字引、論客…カメ 西宮市大谷記念美術館		JAAM	50
特集 生きている美術館 豊田市美術館ができるまで	編集部	美術手帖	724	日動画廊のこの一年	編集部	絵	394
喧騒の街のオアシスとして 体感するアートが六本木に出現(ナイトビジョン・アートギャラリー)	市川 雄二	産 経	10.10	ポスターの専門美術館が大垣市にオープン(日本国際ポスター美術館)		新美術新聞	779
「ガロ」元編集長 長井氏の記念館 塩釜市に98年開館(長井勝一記念館)		朝日夕刊	2.22	日本民芸館について	尾久 彰三	富山市篁牛人記念美術館	6
人間発見 いま見て、いま語りたい? 画集が反響呼び美術館を望む声 中国からの揮毫と手紙で決心 日本の「エルミターージュ」めざす(中川美術館)	中川 健造 野村 義博 聞き手	日経夕刊	9.9	日本民芸館(東京都目黒区)	(典)	読売夕刊	9.11
新美術時評 作品を剥き出しにしている美術館(奈義町現代美術館)	清水 敏男	新美術新聞	766	美術館散歩50 白鶴 山野 英嗣	(智)	日本美術工芸	689
名古屋博物館の運営方針について	安達 厚三	博物館研究	339	第30回 明治村茶会(博物館明治村)		淡 交	610
				人気を集めるベネチアン・グラス 美術館「箱根ガラスの森」		東 京	8.20
				息のむ自然美と人工美の融合 苔庭にみる美意識の極み 箱根美術館を訪ねて		産 経	11.20

絢爛と侘び、2つの美意識 黄金の茶室と山月庵 MOA美術館/箱根美術館	松村 寿雄	産経夕刊	2,27	屏風の博物館と直売店 向島にきょうオープン		産経夕刊	5.8
長谷川町子美術館(東京都世田谷区)	(絵)	読売夕刊	3.6	小さな博物館の10年 3 屏風博物館		読売(都民版)	12.12
浜田市世界こども美術館開館、開館記念「こどもたちのためのパウエル・クレール展」開催		新美術新聞	782	平塚市美術館(神奈川県平塚市)	(驚)	読売夕刊	10.2
林原美術館—多彩なコレクションと充実のテーマ展—	林 恭子	茶道雑誌	60—3	広島県立美術館が全面改装、4年ぶりにリニューアル開館		新美術新聞	781
特集 生きている美術館 原美術館館長:原俊夫 館の運営にかけける情熱とその20年におよぶ軌跡	中島 優子 インタビュー	美術手帖	724	心で歌い、花鳥にも優しく 広島県立美術館		JAAM	51
P3 art and environment(東京都新宿区)	(裕)	読売夕刊	3.13	広島県立美術館、10月6日にリニューアルオープン!	編集部	美術の窓	162
美術館散歩52 姫路市立美術館	木村 重圭	日本美術工芸	691	びん5万本博物館 中野の庄司さん(びんの小さな博物館)		読売(都民版)	3.1
ギャグあり美声あり… 姫路市立美術館	小菅 生野	JAAM	52	市民運動を实らせ軽井沢・盛岡に 故・深沢紅子さんの美術館(深沢紅子野の花美術館)		新美術新聞	777
戸谷松司館長に聞く	堀沢 光栄 インタビュー	姫路市立美術館だより	49	平成七年度新館藏品について	八百山 登	福井県立美術館だより	72
学芸ノート 美術館の教育活動(2) 父母との交流	亀田 正司	〃	〃	動き出した、美術館ボランティア	〃	〃	73
『美術館だより』五十号までの編集メモ	〃	〃	50	青年ふれあいミュージアム「親子美術館講座」を終えて	西村 直樹	〃	74
姫路文学館 旅先クローズアップ	編集部	淡交	614	見たり・聞いたり・試したり、わかり易い展示を目指して “邪馬台国への道のり展” 始末記(福岡県立美術館)	石山 勲	文明のクロスロード MUSEUM KYUS-YU	53
批評への意志—山村コレクションの形成と特質—(兵庫県立近代美術館)	尾崎信一郎	戦後美術の断面展—兵庫県立近代美術館所蔵・山村コレクションから図録(千葉市美術館)		特集 生きている美術館 福岡市アジア美術館(仮称)の開館へ向けて		美術手帖	724
「見ること」への意志—山村コレクションの輪郭—(兵庫県立近代美術館)	〃	〃	〃	福岡市博物館	野口 文	日本歴史	572
平成6~7年度の教育普及活動報告—小・中学校団体鑑賞の事例を中心に—	江上 ゆか	兵庫県立近代美術館研究紀要	5	伺いましょう38 県展50年 “福島” 売り出す 福島県立美術館長長谷部満彦氏		JAAM	49
震災後の美術館(兵庫県立近代美術館)	中島 徳博	ピロティ	98	コレクション 福光美術館	尾山 章	博物館研究	335
美術館散歩57 兵庫県立丸山川公苑美術館	山野 英嗣	日本美術工芸	696	プティミュゼ(東京都千代田区)	(絵)	読売夕刊	11.16
兵庫県立歴史博物館におけるリニューアルの理念と実践	小栗栖健治	博物館研究	338	入戸康子・時田盟子、両氏に聞くビッグアーティストの来日展を実現するプランタン銀座の展開		ギャラリー(月刊)	132
				特集 生きている美術館 調査・研究が生きている1 プリヂストン美術館 地道なデータの蓄積からすべてがはじまる		美術手帖	724

宮城県美術館の子どもに関わる教育普及活動の記録		SYNC IN ART	6						19・20世紀のフランス美術展 山形美術館所蔵品による(大分県立美術館)
新ためて、宮城県美術館創作室から		SYNC IN ART 通信	5						山形美術館のフランス近現代絵画
美術館へゆこう。創作室にもよろう。今年度、「ワークショップ」はどうなるのか、に答える。(宮城県美術館)		〃	6						山口県立萩美術館(萩市) 歌麿ら浮世絵2000余点
特集 生きている美術館 コレクションが生きている3 宮城県美術館 地方美術館に寄せられる大きな期待	有川 幾夫 インタビュー	美術手帖	724						山口県立萩美術館・浦上記念館オープン
気配り、目配りで23人 結果 宮崎県立美術館		JAAM	49						新美術館に望む 中原 静子
宮崎県立美術館	高橋ゆみ子	文明のクロスロード MU-SEUM KYUS-YU	53						新美術館に望む 木本 信昭
ミュージアムパーク・アルファビア 兵庫 洲本市	清野 由美	日 経	6.15						浮世絵2200点収蔵美術館 10月、山口の萩市に開館(山口県立萩美術館浦上記念館)
目黒雅叙園 その歴史と絵画コレクションー日本画壇の俊英たちー	森友 三雄	華そして粹〜寛方と清方〜展 図録(ミュージアム氏家)							山口県美展が大変身、鑑賞者育てるワークショップ、運営はボランティア(山口県立美術館)
「心を癒す植物ーアート・ボタニカル・ガーデン」ワークショップ	榎本 寿紀	心を癒す植物ーアート・ボタニカル・ガーデン展 図録(目黒区美術館)							立石寺と芭蕉記念館(山寺芭蕉記念館) 旅先クローズアップ 展覧会の広報サービスをめぐって(大和文華館)
特集 生きている美術館 ワークショップが生きている1 目黒区美術館・世田谷美術館・東京都写真美術館 死んでしまわないために戦いつづけてきた	山本 育夫	美術手帖	724						「ミロ 版画」1933ー1963展ーバルセロナ・ミロ美術館所蔵図録(山梨県立美術館)
本居宣長記念館	吉田 悦之	日本歴史	582						ジョアン・ミロ財団(ミロ美術館)とその活動ー山梨県立美術館と重ね合わせて
美術館散歩55 柳田國男・松岡家顕彰会記念館	木村 重圭	日本美術工芸	694						「落ち穂拾い(夏)」来月お目見え 4億円で購入 山梨県立美術館
感動を伝えるところ	植松 芳平	山形県立博物館 ニュース	126						山梨宝石美術館(甲府市)
県民の知的ニーズに応えられる博物館に	星野 武雄	〃	127						子どものアトリエ(横浜美術館)
博物館とボランティア	金山 耕三	〃	128						横浜美術館長(陰里鉄郎)インタビュー
									横浜美術館 ヴィフレド・ラム展を中止
									特集 生きている美術館 図書館が生きている 東京都現代美術館・横浜美術館 日本の美術館と美術ライブラリー その過去・現在・未来

平成8年定期刊行物所載文献(美博)

アートの領域を越えて、共に感じあう創作の現場(横浜美術館)	梅原 満	横浜文化情報誌	54	16世紀から19世紀初頭のスペイン絵画コレクションの歴史と構成(エルミタージュ美術館)	リュドミラ・カガネ	エルミタージュ美術館展16-19世紀スベイン絵画図録(東武美術館)	
リアス・アーク美術館の活動報告～開館2年目を迎えて～	山崎 環	博物館研究	340				
別館(第二展示棟)建設着工へ平成九年秋、開館にむけて		礫山美術館	6	エルミタージュのゴヤのエッチング・コレクション	ミハイル・デディンキン	〃	
鑑賞授業	松森 清昭	〃	〃				
魯山人館	竹腰 長生	陶 説	515	ロシア国立エルミタージュ美術館研修報告	村松 裕美	修復研究所報告	12
海 外							
アール・ナイーフ美術館と「ブラジルのアール・ナイーフ」展	アラン・ミション	アトリエインターナショナル	824	オランダの美術図書館をたずねて(オランダ美術史研究所)	富士 理	アート・ドキュメンション通信	30
特集 ヴェネツィア・ガラス紀行(三)アカデミア美術館見学記	清水 真砂	GLASS	39	ある駅の数奇な物語一駅舎から生まれ変わったオルセー美術館	マリナ・フエレティニボキヨン	アトリエインターナショナル	827
ジョージア州アトランタ・ハイ美術館一アメリカ南部の都市へのヴィジョン	ジュディー・L. ラーソン	アトランタからの美の贈りもの「アメリカ絵画の光と風」展図録(東急(長野))		仏近代の美“伝道”に助力 オルセー友の会、絵画など集め美術館に寄贈	ジャクリーヌ・ド・リーブ	日 経	2.22
フランクフルト・アム・マイン近代美術館がMoMAへ売却したりヒーターの「赤軍」連作	ベーター・ヘルブストロイト	アトリエインターナショナル	826	北米西海岸博物館事情視察(2)(ロサンゼルス・カウンティ美術館)	植松 達也	百万塔	95
アルザス・エコミュージゼを見る古典と現代の融合	長谷川 栄	東京	12.5	台湾で博物館を楽しむ 6 鹿港民俗文物館	片山 隆裕	文明のクロスロード MUSEUM KYUS-YU	53
ニュー美術館ビジネスウォールホール美術館に貢献する朝日新聞	アンドリュー・デッカー	アトリエインターナショナル	826	北米西海岸博物館事情視察(2)(カリフォルニア科学アカデミー産業博物館)	植松 達也	百万塔	95
ウフィツィ美術館の再生 講演会	アレクサンドロ・チェッキ	国立西洋美術館年報	27-28	カルマール県立博物館(スウェーデン)		バイキング海の王国の秘宝展図録(石川県立美術館)	
爆破を被ったウフィツィ美術館(フロレンス)のその後危険にさらされている博物館へイコムの取り組み		博物館研究	340	貨幣でたどるキプロスの歴史(キプロス貨幣博物館)		博物館研究	340
葛藤の相貌—ウルム・コレクションにみるモデルネの二面性について	マルク・グンデル	ドイツ・ウルム美術館所蔵作品展—紙と表現図録(徳島県立近代美術館)		WORLD WIDE MIX 環境ごとみせるグラフィックデザイン展「Mixing Messages」(クーパー・ヒューイット・ナショナル・デザイン・ミュージアム)	阿部 謙之	デザインの現場	85

造船から文化の町へ 再開発で美術館 (グッゲンハイム・ ビルバオ美術館)		日経夕刊	11, 21		Zemaljski 博物館 (サラエボ)における 事態 危険にさらさ れている博物館ヘイ コムを取り組み		博物館研 究	340
フランスのエコ ミュージアムロー ゼル山・エコミュ ジウムとグラント エコミュジアムの 事例を中心として	藤原 道郎 鎌田 慶人 福田 珠己	徳島県立 博物館研 究報告	6		大英博物館 無料も う限界 230年間 続けたけれど…	山形 優子	日 経	12, 1
ゴッホと現代彫刻の 宝庫 クレラーニ ミューラー美術館へ の旅	岡谷 公二	芸術新潮	553		台湾で博物館を楽し む 7 台南市民族 文物館	田中 良之 高倉 洋彰	文明のク ロスロ ード MU- SEUM KYUS- YU	53
台湾の陶磁研究の現 況—台北・馮禧美術 館の紹介とあわせ—	弓場 紀知	陶 説	518		ドイツとフランスの 美術図書館をたずね て(中央美術史研究 所(ミュンヘン))	小林 晶子	アート・ ドキュメ ンテーシ ョン通信	30
故宮博物院見学と朱 さんのこと	住広 昭子	アート・ ドキュメ ンテーシ ョン通信	31		中国藝術研究院戯曲 研究所見学記—加え てアジアの難しさとい うこと	水谷 長志	〃	31
七十周年の故宮博物 院をたずねて	柏木 麻里	陶 説	518		ツェッペリン博物館 開館		博物館研 究	340
台湾で博物館を楽し む 2 故宮博物院	六反田 豊	文明のク ロスロ ード MU- SEUM KYUS- YU	53		米美術館、所藏品増 えすぎ オークショ ンでの処分反論出 ず、評価は上々(デ ンバー美術館)	(尾)	読売夕刊	4, 3
台北の故宮博物院を 訪ねて「美術」と 「政治」の関係、鮮明 に	千野 香織	朝日夕刊	2, 22		ナント美術館におけ るコレクションの歴 史	クロード・ アルマン ニコスノ ー天野 知 智 訳	ナント美 術館展 魅惑の19 世紀フラ ンス絵画 図録(そ う美術 館(千葉))	
台湾で博物館を楽し む 3 国立歴史博物 館	横田賢次郎	文明のク ロスロ ード MU- SEUM KYUS- YU	53		ナント……その街と 歴史(ナント美術館)	クロード・ アルマン ニコスノ ー 訳	〃	
新しく生まれ変わり 輝きを増したシカゴ 現代美術館	キャスリン ・ヒクソン	アトリエ インター ナシヨナ ル	830		ワイダ監督と日本の 伝統美 巨匠触発し た「浮世絵」自らの 寄付金集め “日本美 術館” 建設	小田 孝治	産 経	7, 10
新装なった上海博物 館	弓場 紀知	陶 説	525		美心独往1 「誰も その職を望まないの ですか」(ニューヨ ーク近代美術館)	生尾慶太郎	ア ー ト ト ッ プ	152
上海博物館の新館 オープン	清水 勝彦	朝日夕刊	10, 29		フランクフルト・ア ム・マイン近代美術 館がMoMAへ売却 したリヒターの「赤 軍」連作	ベーター・ ヘルプス トロイト	アトリエ インター ナシヨナ ル	826
台湾で博物館を楽し む 4 順益台湾原 住民博物館	永松 敦	文明のク ロスロ ード MU- SEUM KYUS- YU	53		鑑賞教育における観 察段階の指導につい て(下)—MOMA: ティーチング・テク ニック・ワー ク ショップより—	新井 義史	鈿路論集	28
スウェーデン王室コ レクション		〃						
スウェーデン王室武 器博物館		〃						
スウェーデン国立博 物館		〃						

特集 生きている美 術館 バリとニュー ヨーク ふたつの近 代美術館から ニューヨーク近代美 術館館長 グレン・ ロウリー	篠田 達美 インタビュー ビュー	美術手帖	724	フランクフルト近代 美術館における シャー・アルマ ジャンニの《サッコ とパンゼッティの読 書室》の展示 その 解釈としての本展の ベネトン・ルームに について	S.K.	プロジェクト・サル オーバル 展 1970 年以降の術 現代美術ブ 再訪：プロ ジェク [意] 志的 ・ 投な 的] 企実 践の再発 見に向け て(東京録 立近代美 術館)
ミュージアム・エ デュケーションの理 念と実際 ニュー ヨーク近代美術館の 事例に学ぶ(後)	浅川 真紀 水 華		37			
アメリカ調査ノート (ニューヨーク・パ ブリック・ライブラ リー)	西口 由子	埼玉県立 博物館だ より	93			
オランダ・ハーグ市 立美術館『モネから マチスまで』展に寄 せて オアシスの静 けさ	近藤 紀子	東京夕刊	9. 18	世界通貨ベネトン： 一つの反論(フラン クフルト近代美術 館のベネトン・ルー ムに対する抗議)	エバ・フォ ン・ブラー テン	〃
バイエラー画廊の歩 み	パスカレ・ ツォラー	バイエ ラーのま なざし： 印象派か へ現代 ・ 美の系 譜 100年 展 図録 (三越美 術館(新 宿))		ドイツとフランスの 美術図書館をたずね て(ブリュッセル立 美術館資料室)	小林 晶子	アート・ド キュメン ション通 信 30
パリ 装飾美術館と アルデコジュース	岡部あおみ	日本美術 工芸	697			クリムト とウィ ン 展 ベ ル ヴ レ ス テ リ ア 所 録 富 美 館 (東 京 美 術 館)
バルセロナ現代美術 館、ついにオープン した『MACBA』だ が	三木 俊治	ギャラ リー(月 刊)	132			
バルビゾン派美術館	新開 和代	絵	384			フランス 浮東の 一 の 眼 録 (茨 城 県 近 代 美 術 館)
イギリスの博物館見 て歩き(2) ウィン ダムミア(ピートル クス・ポターギャラ リー)	神宮 善彦	群馬県立 歴史博物 館博物 館だより	62	ベルリン国立美術 館 東アジア美術館	ヴァリバル ト・ファイ ト	
プーシキン美術館と 絵画ギャラリー	マリナ・ セネンコ 鈴木 明美 訳	プーシキ ン美術 館名作 展室内 への視 線図録 (静岡 立美術 館)		ホイアン貿易陶磁博 物館	鈴木 豊	AXIS 59
フォルクヴァング美 術館について	ゲオルク W. ケル チュ	フォルク ヴァング 美術展 図録(東 美術 館)		北米西海岸博物館事 情視察(2)(ポール ・ゲッティ美術館)	植松 達也	百万塔 95
ブラド美術館副館長 に聞く 海外美術館 情報「すべて改 革、レベリング を」 欧米の大美術 館の仲間入り目指す	今津 京子 インタビュー ビュー	JAAM	49	アメリカ調査ノート (ボストン美術館)	西口 由子	埼玉県立 博物館だ より 93
				序文(ボルティモア 美術館)	アーノルド ・L・リー マン ブレンダ ・リチャ ード ソン	コーン・ コレクション 展 図 録 (伊勢 丹美 術 館)
				香港から日本へ情報 発信(香港芸術書 館)[香港電脳事情 ・ 2]	大橋 直美	アート・ド キュメン ション通 信 30

美術館のある都市 (パリ：ボンビ ドゥーセンター)	ジャルマン ・ヴィアッ ト	近代都市 と芸術展 —ヨーロ ッパの近 代都市と 芸術1870 —1996図 録(東京 都現代美 術館)		トランジション21 シテ・デ・ザンファ ン(Cité des enfants —子供の都市) ラ・ヴィレット科学 産業都市	岡部あおみ	日本美術 工芸	699
芸術家と建築家の都 市像(ボンビドゥー ・センター)	ジャン・ ドゥティエ ル	〃		トランジション17 グラン・ルーヴル/ ニュー・ミュージゼオロ ジーの魅惑術	〃	〃	695
ボンビドゥーセン ター改修計画	ロニ・アム ラン	アトリエ インター ナシヨナ ル	826	トランジション18 子供とルーヴル美術 館	〃	〃	696
大きくなりすぎたボ ンビドゥーセンター	前野 寿邦	現代の眼	496	新しくなったルーヴ ル美術館 世界の美 術館案内16	舟木 力英 游 美		22
トランジション20 風の色：ボンビドゥ ・センター・子供の ・サブアン アトリエ	岡部あおみ	日本美術 工芸	698	フランスのエコ ミュージアム—ロー ゼル山・エコミュ ジウムとグラント エコミュージアムの 事例を中心として	藤原 道郎 徳島県立 鎌田 麿人 博物館研 福田 珠己 究報告		6
特集 生きている美 術館 パリとニュー ヨーク ふたつの近 代美術館から ボ ンビドゥー・センタ ー国立近代美術館 館長 ジェルマン・ ヴィアット	編集部イン タビュー	美術手帖	724	イギリスの博物館見 て歩き(3) ロンド ン(ロンドン玩具模 型博物館)	神宮 善彦	群馬県立 歴史博物 館博物館 だより	63
ミドルハイムの野 彫刻美術館 美術館 めぐり	(N)	日彫会報	37	英国ロンドン塔王立 甲冑博物館 リース 新館完成祝賀式に参 列して	稲葉 久雄 大日光		67
ジョアン・ミロ財団 (ミロ美術館)とその 活動—山梨県立美術 館と重ね合わせて	神野 真吾	「ミロ版 画」1933 —1963展 —パルセ ロナ・ミ ロ美術館 所蔵図録 (山梨県 立美術 館)		海外展			
特集 ヴェネツィア ・ガラス紀行 (四) ムラノ・ガラス美術 館を訪ねて	水田 順子	GLASS	39	アートの多様性と活 力 豪プリスベーン ・トリエンナーレか ら(アジア・パシ フィック・トリエン ナーレ、クイーンズ ランド・アート・ ギャラリー、9/26 —'97年1/19)	南條 史生	毎日夕刊	12.2
パールズ・コレク ションの傑作はメト ロポリタン美術館へ	眞田 一貫	美術(月 刊)(サン アート)	252	アジア・パシフィッ ク・トリエンナーレ 未来に向けた出会 いの場創出(オース トラリア、プリス ベーン、クイーンズ ランド・アート・ ギャラリー、9/26 —'97年1/19)	塩田 純一	読売夕刊	10.30
「魔術師」ボイスの美 術館を来春開設(財 団法人セイランド城 美術館—ヴァン・デ ル・グリーンテン・コ レクション—ヨーゼ フ・ボイス文庫)		朝日夕刊	11.5	ニューヨークで紹介 される印画紙上の阿 部公房の「眼」(Art Photography and Objets by Kobo Abe, コロンビア大 学、4/8—21)	福 のり子	芸術新潮	556
パリに新しく完成し たヨーロッパ写真美 術館	ミシエル・ ゲラン	アトリエ インター ナシヨナ ル	828	劇場都市パリならで はの光のアート(天 江竜太展、ミクロ ・エクスポジション/ シエ・エリコ・モモ タニ、3/15—3/ 17)	林 洋子	美術手帖	727
ヨーロッパ写真館新 オープン	林 洋子	美術手帖	724				

平成8年定期刊行物所載文献(海外展)

傷つきやすい少女の ような個展(レイコ ・イケムラ展、ケル ン、ギャラリー・カ ルステン・グレー ヴェ)	ガブリエレ ・リヴェッ ト	〃	721	日影眩の360°のニュ ーヨーク第26回 ソーホーでの上條陽 子展(伊勢美術財団 ギャラリー、9/14 -10/5)	日影 眩	ギャラリー (月刊)	139
アート・アトラス 東洋と西洋の支店で アート見直し(イス タンブール・ビエン ナーレ「NEW ORI ENT/ATION」、'95 年11月-12月)	和多利浩一	朝日夕刊	2. 17	上條陽子ニューヨ ーク初個展(伊勢美術 財団ギャラリー、 9/14-10/5)	富井 玲子	新美術新 聞	779
中国農村・少数民族 撮り5年 女性写真 家雲南省で作品展 (伊藤真理展、中 国、雲南省美術 館、'97年1/8- 1/12)		朝 日	12. 20	川雅吉展(ドイツ、 ホテルワイマール・ ヒルトン内ギャラ リーF、6/10- 8/11)		〃	777
革新の検証?—中国 で初めて発表された 「井上有一書法」展の 反響	海上 雅臣	墨	118	北原愛展(ミクロ・ エクスポジション/ シェ・エリコ・モモ タニ、6/26-7/ 10)	林 洋子	美術手帖	731
ヴェニス・ビエン ナーレ建築展1996 日本館コミッショ ナーに磯崎新氏		新美術新 聞	771	アート・アトラス ミラノの古城に日本 の逸品ぞらり(金工 展、スフォルツァ 城、'95年12/1- '96年3/5)	小山真由美	朝日夕刊	1.6
ヴェネチア・ビエン ナーレ建築展から 壊滅した震災都市を 再現した日本館 脆 弱な現実を告発(— 11/17)	三宅 理一	東京夕刊	12. 4	草間彌生の近作展の 成果(ニューヨー ク、ロバート・ミ ラー画廊、9/17- 10/19)	富井 玲子	新美術新 聞	781
ベネチア・ビエン ナーレ建築展 日本 館震災再現の衝撃 社会再生建築家も責 任を(—11/17)	磯崎 新 白木 聞 き手	日 経	11. 1	活気もどってきた アートシーン(草間 彌生展、ニューヨ ーク、ボーラ・ク ーバー画廊)	杉浦 邦恵	美術手帖	729
建築と記憶 ヴェネ チアとフィレンツェ のピエンナーレ 収 蔵と再生の場に焦点 (ヴェネチア・ビエ ンナーレ「第6回国 際建築展」、—11/ 17)	中村 敬治	読売夕刊	11. 26	草間彌生フィー ヴァー(草間彌生 展、ニューヨーク、 ロバート・ミラー 画廊、9/10-10/ 12)	〃	〃	734
窓 日本文化祭(大 久保玄才手がき友禅 展、ロシア、国立ト レチャコフ美術館、 10/7-10/17)	<紀>	朝日夕刊	9. 28	NYの久保田成子ビ デオアート展 独自 性と公共性に高い評 価(ホイットニー美 術館、—8/25)	富山加津江	朝日夕刊	8.7
カーネギー・イン ターナショナル1995 (ピッツバーグ、カ ーネギー美術 館、'95年11/5- '96年2/18)	杉浦 邦恵 藤森 愛実	美術手帖	720	写真とニューメデ ィアの大展覧会開催 (ケルン国際フォ ト・シーン展、ケ ルン国際見本市会 場、9月-10月) (アカバネ・キョ ウ出品)	ガブリエレ ・リヴェッ ト	美術手帖	734
モノクロ写真の白夜 のトーキョー(金村 修展、ニューヨー ク、ヨシイ・ギャ ラリー、'95年12/ 7-196年1/13)	藤森 愛実	〃	721	海外文化「地球の 余白」で光州ビエン ナーレ(韓国、'97 年9月)		朝日夕刊	12. 16
				日本人作家の発表も 活発+画廊移転(郷 津雅夫展、O.K. ハリス画廊、1/13- 2/3)	杉浦 邦恵	美術手帖	722
				佐光亜紀子 台北で の個展(新光三越 百貨店、3/15-18)	高山 淳	美術の窓	154

サンパウロ・ビエンナーレで感じたこと「教育」目的、国際展の原点 まるで美術の教科書(一12/8)	村田 真	読売夕刊	12.20						
島田鮎子 心の搏動(パリ日動画廊、3/21-4/13)	高山 淳	美術の窓	154						
新たな頂点を目指す勢い見せた清水卯一(パリ、三越エトワール)	(吉)	日本美術工芸	699						
画家・庄田常章さんベルー国立博物館で個展 色彩とユーモアあふれる作品(9/1-9/30)	石川 健次	毎日夕刊	8.26						
遺品のシンガポール写真、日の目みた明治・大正期に日本人医師撮影(シンガポール百年展、シンガポール高島屋、4/3-4/9)		朝 日	4.2						
日本人写真家杉本博司氏 NYのメトロポリタン美術館で個展	宮田 一雄	産経夕刊	1.9						
NYで開催の杉本博司写真展 時間の不思議さ表現(メトロポリタン美術館、'95年11月-'96年1月)	高木規矩郎	読売夕刊	1.23						
表現の起源問うモノ派展(一九七〇年一物質と知覚、もの派と根源を問う作家たち)展、フランス、サンニテティエンヌ市立近代美術館、6/26-9/8)	李 禹煥	読売夕刊	9.4						
「台湾ビエンナーレ」を見て「アイデンティティ」を総合的に検証(台北市立美術館、7/13-10月)	南條 史生	産 経	12.8						
ダカール・ビエンナーレをみて「アートより豊かな」造形群 本来の価値費わせるイデオロギー	川口 幸也	朝日夕刊	7.23						
パリ「高山辰雄展」日本の美意識を再確認(三越エトワール、'95年12/5-'96年2/3)	安部 雅延	新美術新聞	754						
日本画を問い直す高山辰雄のバリ展(三越エトワール、'95年12/5-'96年2/3)	(吉)	日本美術工芸	689						
辻憲氏ハンブルクで交流版画展(「北斎へのオマージュ」展、ハンブルク工芸美術館、8/9-9/15)								絵	392
テキスタイルの魔術師たち展(小林和正、小林尚美、富田潤、新道洋之、田中千世子/パリ・パサージュ・ド・レッツ)	マシュー・ローズ	アトリエインターナショナル	830						
アート・アトラス技術問うブラジルのメディアアート展(「テクノロジーを人間的なものにするために」展、サンパウロ、'95年12月)	草原真知子	朝日夕刊	2.10						
イギリスにおける日本的なるものは？(寺内曜子展「エア・キャッスル」、エディンバラ、フルーツマーケット・ギャラリー、6/22-7/27)	嘉藤 笑子	美術手帖	731						
NYでアジア現代美術展 ポストコロニアリズムの機運 近代性と土着性が混合(「伝統/緊張」展、アジア・ソサエティ/ニューヨーク大学グレイ・アート・ギャラリー/クイーンズ美術館、-'97年1/5)	菅原 教夫	読売夕刊	11.12						
パリでの日本画(中島千波展、三越エトワール、9/19-11/25)	高山 淳	美術の窓	153						
カルチャーマップパリ初個展に思う「師の心」(中村晋也展、三越エトワール、-4/20)	鶴原 徹也	読売夕刊	4.16						
活気もどってきたアートシーン(二十世紀の廃墟で展、ニューヨーク、ICA)	杉浦 邦恵	美術手帖	729						
アメリカ人が選んだ「日本画」の海外デビュー展「NIHON-GA Transcending the Past: Japanese-Style Painting, 1868-1968」(セントルイス美術館、'95年11/2-12/31)	山梨絵美子	芸術新潮	553						

WORLD WIDE MIX ドキュメント「NIPPONJIN—ニッポンジン・23人の視点による日本のポスター展」(ブラジル、サンパウロ美術館、'95年11/8—12/17)	照沼多佳子	デザイン の現場	80			日本発アートの主張の評判は?(宮島達男展、パリ、カルティエ現代美術財団、4/12—5/19、ギャラリー・フロマン・ブットマン、4/16—6/1)	林 洋子	美術手帖	727
パリ便り 日本の工業デザイン展(ボンビドゥー・センター、2/14—4/29)	新聞 和代	絵	387			元抑留画家シベリアで初の個展 横浜市の宮本惇さん(コムソモリスク・ナ・アムール美術館、9/15—)	中村 信也	東京	8.14
「日本のデザイン、1950—1995」展を見て 印象的な50年代の作品「日本的なもの」普遍化へ格闘(パリ、ボンビドゥーセンター、2/14—4/29)	新見 隆	読売夕刊	5.15			アトランタ発 ベルリン五輪の芸術競技で「銅」故藤田隆治作品展(メダリスト画家・藤田隆治に捧げる アトランタ記念日本画展、ファンバンク自然史博物館)	溝口 烈	読売夕刊	7.9
リヨンで京友禅展を開く人間国宝 羽田登喜男さん(羽田家のキモノ展、リヨン染織美術館、6/22—8/31)	有本 忠浩	毎日	6.20			文化往来 パリでジャポニスム旋風再び(「モードとジャポニスム 1870—1996」展、パリ市立衣装美術館ガリエラ宮殿、—8/4)		日 経	7.8
バングラデシュ・ビエンナーレ報告 交流への第一歩(ダッカ、'95年11/2—30)	黒田 雷児	福岡市 美術館 ニュース	90			サイバースペースとマンガ・ワールドの間—森万里子(グルノーブル現代美術センター、6/23—9/8)	オリヴィエ ・ルノー	アトリエ インター ナシヨナ ル	830
単眼複眼 バングラデシュ・ビエンナーレ 現代美術の存在を問い直す(ダッカ、'95年11/2—30)	(若)	朝日夕刊	1.25			戦争が残した日系二世の傷跡(柳幸典展「フィールド・ワーク・オン・アルカトラズ」、サンフランシスコ、キャップ・ストリート・プロジェクト)	静世 ベッ カー	美術手帖	729
パリと京都の共同企画(「開かれた扉—日本」展、バステュー地区周辺、10/5—9)	林 洋子	美術手帖	718			アメリカの美術館で実現する藪内佐斗司の彫刻展(ナイアガラ大学付属カステラーニ美術館、6/21—9/1)		ギ ャ ラ リ ー (月 刊)	133
建築と記憶 ヴェネチアとフィレンツェのビエンナーレ 収蔵と再生の場に焦点(フィレンツェ・ビエンナーレ「時代とモード」展、—12/5)	中村 敬治	読売夕刊	11.26			藪内佐斗司米国展(ナイアガラ大学付属カステラーニ美術館、6/22—9/1)	藪内佐斗司 西澤 美子 取材	新美術新 聞	771
三越エトワールの「松籟—松尾敏男展」(パリ)	水原 冬美	美術(月刊) (サン アート)	250			藪内佐斗司の彫刻展(ナイアガラ大学付属カステラーニ美術館、—9/1)	(T)	新美術新 聞	774
パリ、カルティエでの宮島達男(カルティエ現代美術財団、4/12—5/19)	オリヴィエ ・ルノー	アトリエ インター ナシヨナ ル	829			米で大規模個展の彫刻家 藪内佐斗司氏に聞く—はかない命を形に“抜け殻アート”(ナイアガラ大学付属カステラーニ美術館)	竹田 博志	日 経	6.7
数におぼれて……不思議の国・日本(宮島達男展、ロンドン、アンソニー・ドフェイ・ギャラリー、9/13—10/14)	塩見 奈々	美術手帖	718						

新進日本人作家が描く宇宙的浮遊感(龍平REX湯浅展、カリフォルニア州立大サン・バーナルディノ校、3/7-4/5)	静世ベッ カー	美術手帖	726	「もの」と「技術」一感情を誘うもの一	岡戸 敏幸	サントリ ー美術館 大賞特別 展'96一 挑むかた ち一図録 (サント リー美術 館)	
「リヨン現代美術ビエンナーレ」報告 映像・電子・通信 アートの多様性 過渡期の残念な技術的制約 自由と解放への障害に(リヨン現代美術館、一2/18)	中村 敬治	読売夕刊	2.2	名画獲得 ヨーロッパの日本学 夕陽妄語 カルタゴの廃墟から	小川 国夫 粕谷 宏紀 加藤 周一	日 経 目 の 眼 朝日夕刊	7.21 232 10.23
第15回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ 世界語としてのポスターの祭典	U. G. サ トー 水谷 孝次	デザインの現場	84	第1回全国博物館ボランティア協議会に参加して美術館へのいざないのために	加藤千恵子	潮 流	46
紀行・随筆				京都の誇り	金井 杜男	国立博物 館ニュー ス	592
大特集 掌の美 愛しきものへのラヴレター 「色気ちがい」といわれても……	青木 茂	芸術新潮	559	葛飾北斎「潮干狩り」 「百物館名物記」7	木下 直之	淡 交	610
エトルスク回想	足立 朗	エトルスク展一壁画の原寸大写真と工芸図録(河口湖美術館)		長崎「おくんち」法被 「百物館名物記」8	〃	〃	612
カピトリノの狼	〃	〃		久隅守景「夕顔棚納涼図屏風」 「百物館名物記」9	〃	〃	613
愛玩記2 思わぬ出会い	渥美 國泰	アート トップ	155	ちょうちょう踊り図巻 「百物館名物記」10	〃	〃	614
誌読室64 ひとつの出来事一終りにあたって	有川 文夫	〃	150	四条河原遊楽図 「百物館名物記」12	〃	〃	616
アメリカ美術館めぐり	井川美奈子	AMBI ANTE	16	東南アジアの社会と文化	黒川千万喜	国立博物 館ニュー ス	594
“北欧の美術館をめぐる旅”	石丸 正運	フラミン ゴ	48	初日の出の今昔	小林 忠	目 の 眼	234
ニューヨークからの手紙 欧米人と東洋人の鑑賞の仕方	市田 幸治	目 の 眼	243	古代エーゲ海を行く3 真実なのかトロイ戦争 王の財宝黙して語らず	小山 博之	日 経	5.12
チュリンガという物質	伊藤 俊治	〃	240	古代エーゲ海を行く4 獅子門は知る王の悲劇 「黄金満つ」ミケーネ今に	〃	〃	5.19
文化の貿易不均衡	伊藤 嘉章	国立博物 館ニュー ス	584	美術館友の会活動より「鑑賞旅行記」	迫田 大司	鹿児島市 立美術館 だより	40
すべての国宝鑑賞へ行脚 まだ見ぬ珠玉の品との出合楽しみに	伊東 隆一	日 経	10.29	慣れ鮫	佐々木高明	朝日夕刊	1.18
「千年紀の終わりの5年間に、かな」	大嶋 貴明	SYNC- IN ART 通信	6	モチ	〃	〃	1.19
IFLA 北京大会雑感	大橋 康敏 笠井真一郎	アート・ドキュメンテーション通信	31	南のユートピア 中多民族化の中の豪州 欧州への思い、心に秘め 新天地に「故郷」を求める	柴先 信三	日 経	2.4
				筒描きに魅せられて 東京の素顔が見えてくる…	下重 暁子 鈴木 博之 森 まゆみ	目 の 眼 東 京	243 2.28
				バルザック「知られざる傑作」 早く来すぎた天才の鬼気迫る悲劇的な死	千足 伸行	読 売	4.7
				角館の町	高階 秀爾	朝日夕刊	4.8

平成8年定期刊行物所載文献(随紀)

アメリカの町	〃	〃	4.9	アメリカの美術館・ 展示を見て	美術紀行	濱野 了一	潮流	46
迷宮都市	〃	〃	4.10					
パリの魅力	〃	〃	4.11	古人と歩く昔の風景		藤島亥治郎	建築雑誌	1397
芸苑雑事記 連載42 予告三題	瀧	悌三	美術の窓	153	阪神大震災と美術家	藤田 一人	美術(月刊) (サン アート)	248
芸苑雑事記 連載45 一わが健康異変一 石叩きと踏み車	〃	〃	〃	156	はじめての中国(上) 一西安	古谷 稔	国立博物 館ニュー ス	588
芸苑雑事記 連載48 吉凶不連続線	〃	〃	〃	159	はじめての中国(下) 一北京・上海	〃	〃	589
芸苑雑事記 連載49 ピンさんのこと	〃	〃	〃	160	「近事片々」美術連話 6	前川 誠郎	雪椿通信	6
芸苑雑事記 連載50 「母なる最上川展」 始末	〃	〃	〃	161	アジアエスベラント 大会とIFLA大会参 加記一中国旅行雑記	松本 博	アート・ ドキュメ ンテー ション通 信	31
美術館の窓32 懺悔 ・ある老兵を偲ぶ	武田 厚	〃	〃	153	雑感(2)	蓑 豊	国立博物 館ニュー ス	592
大特集 掌の美 愛 しきものへのラブレ ター 老いた「龍 影」	丹尾 安典	芸術新潮	559	墨一本物の偽物	宮坂 和雄	目の眼	239	
ユートピアでの三年 半	辻 惟雄	日文研	14	工芸あれこれ 有田 から、佐賀から	宮原 香苗	文明のク ロソロー ド MU- SEUM KYUS- YU	53	
鶴岡真弓が読む 「現代アイルランド 文学序論」河野賢司 著	鶴岡 真弓	産 経	2.12	東京の素顔が見えて くる…	鈴木 博之 森 まゆみ	東 京	2.28	
美術館事件簿1~5	勅使川原純	アート トップ	151~155	色いろ調 石を投げ れば資格に当たる	安井 収蔵	新美術新 聞	756	
海外研修報告 百人 越す作家から話聞く アポロジニ居住区 訪問も実現	苫名 真	JAAM	51	色いろ調 ポスト ミュージアム	〃	〃	763	
道楽の経済学27 絵 をかうということ	中平 嘉弘	美術(月 刊)(サン アート)	250	色いろ調 芸術五輪 はどうなった	〃	〃	775	
道楽の経済学29 創 造から復活へ	〃	〃	252	色いろ調 “賞味期 限”がある	〃	〃	778	
文化財の新しい世紀	中村 康	国立博物 館ニュー ス	594	色いろ調 いのちと 賞の序列	〃	〃	784	
			754~ 764、 766~ 769、 771~ 773、 776、779、 780、782、 785	色いろ調 皇居周辺 景観論争	〃	〃	785	
発句一代・夏目四郎 の覚え書 1~23	夏目 四郎	新美術新 聞	771~ 773、 776、779、 780、782、 785	特集 ヴェネツィア ・ガラス紀行(五) ムラノ島にて	山田 妙子	GLASS	39	
1年の友の絆	西崎 清久	日 経	9.14	手が大事	山田 京	目の眼	232	
我流盛り場学	橋爪 紳也	朝日夕刊	12.26	「目の眼」20年に思う こと	湯川 スミ	〃	243	
古美術?	橋本 愛樹	目の眼	234	おいしいエッセー 能登半島の野趣料理	由水 常雄	産 経	8.7	
特集 ヴェネツィア ・ガラス紀行 (一) ヴェネツィア・ガラ ス紀行	畠山 耕造	GLASS	39	夢なら正夢3 花鳥 風月・月並文句	米倉 守	美術(月 刊)(サン アート)	246	
光る本	濱岡 円	目の眼	238	夢なら正夢4 縹渺 たる成行き	〃	〃	247	
				夢なら正夢6 死亡 記事	〃	〃	250	
				夢なら正夢10 雑思 ・ソウル三日	〃	〃	254	

東洋古美術

総記

一般

<座談会>カルチュラル・スタディーズの現在
リーベン
ジャンカル
ガオンリップ
ディリ直樹
酒井直樹
葛西弘隆
林みどり
浜邦彦
思想 859

東アジア

大和古寺幻想(1)―大いなる西方からの旅人
上原 和 学 鏡 93-1

日本

三河妙源寺における真宗文化財について
安藤 章仁 印度学仏教学研究 88

資料報告 新納資料二題
藤永 正明 大阪府立近つ飛鳥博物館報 1

東西文化比較往来(10)
杉山 二郎 学 鏡 93-1

東西文化比較往来(11)
" " " 93-2

大和古寺幻想(2)―海原を渡り川を遡り
上原 和 " " "

東西文化比較往来(12)
杉山 二郎 " " 93-3

大和古寺幻想(3)―海石榴市にかがり火は燃えて
上原 和 " " "

書評 タイモン・スクリーチ著 高山宏訳『大江戸異人往来』
今橋 理子 " " "

東西文化比較往来(13)
杉山 二郎 " " 93-4

大和古寺幻想(4)―仏教伝来の法燈は灯らず
上原 和 " " "

東西文化比較往来(14)
杉山 二郎 " " 93-5

東西文化比較往来(15)
" " " 93-6

大和古寺幻想(6)―飛鳥川の流れのほとり
上原 和 " " "

大和古寺幻想(7)―忘れられた明日香の小金銅仏
" " " 93-7

大和古寺幻想(9)―蘇我・物部の戦士に寄せる挽歌
" " " 93-9

大和古寺幻想(10)―飛鳥寺建立の鎚音は高らかに
" " " 93-10

天照山光明寺什物帳(二)
青地 幸安 鎌 倉 80

『新編武蔵風土記稿』寺院名索引(1)
山本 吉春 " " 81

天照山光明寺什物帳(三)
青地 幸安 " " "

天照山光明寺什物帳(四)
" " " 82

神々が語る日本史
梅原 猛 芸術新潮 555

シーボルト父子の幕末ニッポンよろず屋コレクション
" " " 558

新しいもの好きで自慢好き 司馬江漢の大風呂敷人生
塚原 晃 " " 562

座談会 日本考古学会の百年
関野 雄
斎藤 国雄
藤田 輝敏
江坂 三宅
井藤 本
三村 隆
本 雄強
考古学雑誌 82-1

紹介 今泉 淑夫 著『東語西話 室町文化寸描』
堀川 貴司 国語と国文学 866

第八回「国華賞」(平成八年度)
" " 国 華 1211

<徳川美術館特別陳列>「秀吉の時代」展
小池 富雄 茶道雑誌 60-8

書評 田中健夫編『前近代の日本と東アジア』
橋本 雄 史学雑誌 105-2

1995年の歴史学界―回顧と展望―古代九
藤岡 穰 " " 105-5

1995年の歴史学界―回顧と展望―近世十四
小林 法子 " " "

書評 瀬田勝哉著『洛中洛外の群像―失われた中世京都へ』
東島 誠 " " 105-7

法隆寺元禄出開帳(一)―江戸出開帳秘録―
高田 良信 聖 徳 148

法隆寺元禄出開帳(二)―江戸出開帳秘録―
" " " 149

法隆寺元禄出開帳(三)―江戸出開帳秘録―
" " " 150

観瀾閣宝物目録について(三)―仙台伊達家における什器保存の試み(補遺二)―
小井川百合子 仙台市博物館調査研究報告 16

ユートピアでの三年半
辻 惟雄 日文研 14

美術館散歩50 白鶴美術館
山野 英嗣 日本美術工芸 689

福井利吉郎先生と『日本美術工芸』と私	山根 有三	〃	699	「北京大学サックラー考古芸術博物館所蔵 中国の考古学—北京大学考古学系発掘成果—展」学術講演会 あいさつ	中尾 太郎	〃	〃
書評と紹介 東京国立博物館編『山永久寺の歴史と美術—調査研究報告書内山永久寺置文—』	牛山 佳幸	日本歴史	572	「北京大学サックラー考古芸術博物館所蔵 中国の考古学—北京大学考古学系発掘成果—展」報告	金沢 陽	〃	〃
書評と紹介 村井章介著『東アジア往還漢詩と外交』	西尾 賢隆	〃	576	七十周年の故宮博物院をたずねて	柏木 麻里 陶 説	518	
国民国家イデオロギーと日本美術史<上>	鈴木 広之	百 科 (月刊)	409	そ の 他			
国民国家イデオロギーと日本美術史<下>	〃	〃	410	東西文化比較往来 (16)	杉山 二郎	学 鏡	93—7
茗藁図録の時代	宮崎 修多	文 学 (季刊)	7—3	古代ホラズムの研究 第1部 古代ホラズム文明の跡を訪ねて	加藤 九祚	シルドク ロード学 研究	2
京都国立博物館特別展覧会『世界文化遺産登録記念 まなざしの冒険—日本美術7つの視点—まなざしの交流』	狩野 博幸	文化財 (月刊)	390	パリ・ギメ美術館展を迎えて	中尾 太郎	出光美術館館報	97
新指定の文化財 重要無形文化財の指定・選定 保存技術の選定・認定	文化庁文化財保護部	〃	392	東西文化比較往来 (17)	杉山 二郎	学 鏡	93—8
新発見 考古速報展について	小池 伸彦	〃	〃	美事拾遺 [46]「アッシリア大文明展—芸術と帝国」		美術手帖	724
新指定・新選定の文化財 史跡の指定、天然記念物の指定、特別史跡の追加指定、史跡の追加指定、天然記念物の追加指定、国で保有した埋蔵文化財、重要文化財の指定(建造物)、重要伝統的建造物群保存地区の選定	文化庁文化財保護部	〃	393	新刊紹介 小玉新次郎著『隊商都市パルミラの研究』	佐藤 進	立正史学	79
新指定の文化財 美術工芸品(国宝、重要文化財)	〃	〃	394	フランス国立ギメ東洋美術館コレクションの歴史	ジャン=フランソワ・ジュリエ 尾本 圭子 訳	出光美術館館報	97
法隆寺秘宝展—再現・元禄江戸出開帳—サントリー美術館	〃	〃	395	パノフスキーの「メンタル・ハビット」とP・ブルデューの「ハビトゥス」—イコノロジーの限界について—	一條 和彦	美 学	187
東京国立博物館特別展「法隆寺献納宝物」 献納宝物の歴史と江戸出開帳	金子 啓明	〃	396	集中連載 美術史を読む 6人の美術史家による6つの方法 [1] ノーマン・ブライソン 絵画という記号	田中 正之	美術手帖	718
奈良国立博物館 第四八回 正倉院展	河原 由雄	〃	〃	集中連載 美術史を読む 6人の美術史家による6つの方法 [2] ロザリンド・クラウス モダニズムを超えて	林 道郎	〃	719
新指定の文化財	文化庁文化財保護部	〃	399	集中連載 美術史を読む 6人の美術史家による6つの方法 [3] T. J. クラーク 絵画とイデオロギー	田中 正之	〃	721
日本の美術展覧会 その起源と発達	古田 亮	MUSE-UM	545	集中連載 美術史を読む 6人の美術史家による6つの方法 [4] マイケル・フリード 批評と歴史	林 道郎	〃	722
「美術」と階層—近世の階層制と「美術」の形成—	佐藤 道信	〃	〃				
中国							
第一八二回水曜講演会 前進する北京大学考古学系	李 伯謙	出光美術館館報	94				

集中連載 美術史を
読む 6人の美術史
家による6つの方法
[5]イヴ・アラン・
ポア モデルとして
の絵画 " " 724

集中連載 美術史を
読む 6人の美術史
家による6つの方法
[6]グリゼルダ・ポ
ロック フェミニズ
ムと美術史 田中 正之 " 726

「REPRESENTA-
TIONとDESCRIP-
TION」序説—
THE ART OF
DESCRIBINGを
めぐって— 辻 成史 フィロカ
リア 13

顔の左右対称性と魅
力 香原 志勢 化粧文化 35

絵 画

日 本

[資料紹介]佐竹蓬平
「亀図」—蓬平の象刻
— 榎村 洋介 飯田市美
術博物館
研究紀要 6

江戸豊国筆 三代目
中村歌右衛門(補遺) 新藤 茂 池田文庫 9

西川祐信『絵本徒然
草』について 太寿堂素子 " " "

池田文庫の練物図 松平 進 " " "

研究余録 羊遊齋下
絵帖に附属する広重
版下絵について 内藤 正人 出光美術
館館報 95

等伯筆 竹虎図屏風
をめぐって—法眼等
伯落款論— 山根 有三 " 96

日本における南ア
メリカ認識の原初形態
—南蛮系世界図にみ
られる諸情報をめ
ぐって— 大平 秀一 出光美術
館研究紀
要 2

長谷川等伯筆「竹鶴
図屏風」について 黒田 泰三 " " "

研究資料 貫名海屋
(松翁)の款印 笠嶋 忠幸 " " "

蕙斎・北尾政美の絵
本「諸職画鑑」の書誌 内藤 正人 " " "

五大力菩薩の曼荼羅
について—仁王経曼
荼羅の一形態— 井ノ上(下
松) 徹 印度学仏
教学研究 88

『華嚴宗祖師絵伝』
「元暉絵」の制作意図
に関する一試論 愛宕 邦康 " 89

連載 星と神話の美
術館(三十四)南極老
人星・カノーパス 足立 朗 絵 384

春季展—吉祥の意匠
を中心に— 永青文庫 57

卷子・折本・冊子の
美—展開する絵画と
文学の小世界— " 60

大念仏寺所蔵「片袖
縁起」(土佐光芳本)
とその「粉本」につい
て 松浦 清 大阪市立
博物館研
究紀要 28

研究随想 京都・向
日市真経寺本日蓮宗
高僧像偶感 中野 玄三 学叢(京
都国立博
物館) 18

広重東海道錦絵展 白石 克 学 鑑 93-1

国立歴史民俗博物館
蔵 洛中洛外図屏風
の考察—先行版本挿
絵との関係— 岩崎 均史 鹿島美術
研究 13

戦国期武将肖像画を
中心とする俗人肖像
画の基礎的研究 城市真理子 " "

狩野探幽の研究(1)
—探幽縮図—とくに
風景スケッチに関し
て 山下 善也 " "

藤原信実を中心とす
る鎌倉時代肖像画の
研究 伊藤 大輔 " "

狩野常信とその画業
に関する研究 松嶋 雅人 " "

九州の八幡縁起絵と
天神縁起絵 下原 美保 " "

「雪のサンタ・マリ
ア」図の黒子(ほく
ろ) 徳山 光 " "

十三~十五世紀にお
ける観無量寿経変相
図の研究 山川 暁 " "

春信絵本の研究—初
期彩色摺絵本の研究
— 藤沢 紫 " "

平安・鎌倉絵画にお
ける風景表現 緒方 知美 " "

土佐光茂・狩野元信
の基礎的研究と「和」
「漢」概念の再検討—
「釈迦堂縁起絵巻」を
めぐって— 亀井 若菜 " "

有志八幡講十八箇院
所蔵五大力菩薩画像
の調査研究 安嶋 紀昭 " "

狩野元信と滝—東京
国立博物館蔵観瀑図
屏風をめぐって— 並木 誠士 京都工芸
繊維大学
工芸学部
研究報告
人文 44

唐代著色山水画とや
まと絵 塩田 博子 京都産業
大学日本
文化研究
所紀要 1

近世土佐派記録(四) 松尾 芳樹 京都市立
芸術資料
館年報 6

『源氏物語』と絵画 上坂 信男 共立女子
大学文学
部研究叢
書 15

尾張徳川家初代義直の儒学尊崇とその遺品について	山本 泰一	金鰐叢書 史学美術史論文 集	23	シーボルトがもちかえった慶長和泉国絵図	吉田 敏弘	国学院雑誌	1068
清原雪信筆「源氏物語画帖」について	岩田 美穂	〃	〃	国学院大学図書館蔵卷子本那智参詣曼荼羅	国学院大学大学院地区学ゼミ	国学院大学図書館紀要	8
徳川美術館蔵「なぐさみ草絵巻」について(上)「徒然草」を題材とした絵巻の一例	平塚 泰三	〃	〃	祇園南海の詩作と推敲—青春期を中心として—	杉下 元明	国語国文	747
香川・普門院蔵 五忿怒尊像について	下泉 全暁	密教図像	15	『最勝四天王院障子和歌』について	吉野 朋美	国語と国文学	868
群馬県中世絵画資料調査報告	大石 利雄 山田 烈	群馬県立歴史博物館調査報告書	7	『能宣集』諸本屏風歌の性格—忠君屏風を中心に—	杉田まゆ子	国文学研究資料館紀要	22
金井烏洲筆秋山清爽図—嘉永六年の日光滞在—	山田 烈	〃	〃	〔資料紹介〕高松宮家本「職人歌合絵巻」	神庭 信幸 小島 道裕	国立歴史民俗博物館研究報告	66
能阿弥伝の再検証(六)	山下 裕二	芸術学研究	6	深江蘆舟筆・葛の細道図屏風をめぐる一蘆舟の画風展開試論(続)一	山根 有三	国 華	1202
ひらがな日本美術史【連載】その二十九 似絵といふもの 藤原豪信筆「花園天皇像」	橋本 治	芸術新潮	556	日吉山王・祇園祭礼図屏風	榊原 悟	〃	〃
ひらがな日本美術史【連載】その三十 科学するもの「小柴垣草子絵巻」	〃	〃	557	狩野探幽筆 富士山図	山下 善也	〃	〃
ひらがな日本美術史【連載】その三十一 まさまざまと肉体であるようなもの「稚児草子」	〃	〃	558	伊藤若冲筆 鸚鵡図	辻 惟雄	〃	1203
旗本好奇心男が編んだ「視聴草」は江戸のワイドショー	〃	〃	559	与謝蕪村筆 狗子図	伊藤 大輔	〃	〃
ひらがな日本美術史【連載】その三十三 動き出そうとするもの「日月山水図屏風」	橋本 治	〃	560	菊図屏風	河野 元昭	〃	1204
ひらがな日本美術史【連載】その三十四 神や仏の宿るもの「那智滝図」「山越阿弥陀図」	〃	〃	561	森狙仙筆 鹿猿図屏風	松嶋 雅人	〃	〃
浮世絵2000点を故郷に寄贈した浦上敏朗のコレクター魂	〃	〃	562	円山応挙と大乘寺—新出文書を手がかりとして—	佐々木丞平	〃	1205
ひらがな日本美術史【連載】その三十五 わかりやすいもの 雪舟筆「山水長巻」	橋本 治	〃	〃	伊藤若冲筆 旭日松鶴図	佐藤 康宏	〃	〃
ひらがな日本美術史【連載】その三十六 わかりにくいもの 雪舟筆「破墨山水図」	〃	〃	563	大徳寺瑞峯院「堅田間」襖絵の研究	玉虫 敏子	〃	1206
常葉美術館所蔵「大塚荷溪宛浦上玉堂簡巻」について	川延 安直	芸 叢	12	「等伯」印 菘芒図屏風	田中 英二	〃	〃
江戸のからだ	田中 優子	化粧文化	34	熊斐筆 芦雁図屏風	水尾比呂志	〃	〃
				日本文人画試論	河野 元昭	〃	1207
				柳沢淇園筆 蘭石図	玉虫 敏子	〃	〃
				青木夙夜筆 富嶽春景図	武田 光一	〃	〃
				池大雅筆 王維詩意図双幅	小林 忠	〃	〃
				与謝蕪村筆 柳下渡溪図	河野 元昭	〃	〃
				木米筆 重嶂飛泉図	小林 優子	〃	〃
				野呂介石筆 呉仲圭詩意山水図 野呂介石筆 倪雲林詩意山水図	佐藤 康宏	〃	〃
				高橋草坪筆 夏山欲雨図	黒田 泰三	〃	〃
				貫名海屋筆 秋光聴泉図	水尾比呂志	〃	〃
				頼山陽筆 寒岩枯木図	黒川 修一	〃	〃

岡田半江筆 松陰読 書図	星野 鈴	" "	茶掛けについて(八 十五) 日本画の画 題(四十五)	十和田湖月	" "	
池大雅筆 寿老図	辻 惟雄	" "	絵描きの玉手箱(一) 土佐光起の鶉	実方 葉子	"	60-11
中村芳中研究一真田 宝物館所蔵「人物花 鳥図巻」をめぐる一	白塚 香子	" 1208	絵描きの玉手箱(二) 俵屋宗達の牛	鈴木 幸人	"	60-12
田能村竹田筆 風露 真趣図巻	小林 優子	" "	「蒙古襲来絵詞」の成 立と伝来について一 その再考	松本 彩	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	1
北野天神縁起光起本 の考察	須賀 実穂	" 1209	画家可翁をめぐる一 中世絵画研究1	赤沢 英二	実践女子 大学美学 美術史学	11
与謝蕪村筆 鷲図	小林 忠	" "	秘話 法隆寺金堂壁 画	高田 良信	聖 徳	147
生老病死の図像学一 仏教説話画研究序説 一(上)	加須屋 誠	" 1210	来迎図に描かれた太 鼓の図学的考察	鹿島 享	女子美術 大学紀要	26
長徳寺蔵 六道絵 邸内遊楽図	矢島 新 門脇むつみ	" "	「等楊作」の法然上人 像について	赤沢 英二	造形芸術 学・演劇 学	1
酒井抱一筆 青楓・ 朱楓図屏風について	山根 有三	" 1211	策彦周良の画賛をめ ぐる一十六世紀 絵画史寸見一(その 一)	大石 利雄	" "	" "
生老病死の図像学一 仏教説話画研究序説 一(下)	加須屋 誠	" "	雪村の造形感覚一初 期の作品から「波濤 図」に至るまで一	小川 知二	" "	" "
ボストン美術館本 相曼茶羅成立の意図 惟肖得巖賛 望海楼 図	吉田 典代 宮島 新一	" "	家康と徳川十六将図 上置本三十六歌仙絵 紀貫之像	奥出 賢治 名児耶 明 淡 交	大 日 光	67 606
山本梅逸筆 郊里秋 色図	水尾比呂志	" "	絵と語る「百物館 名物記」5 亜欧堂 田善「江戸城外風景 図」	木下 直之	"	608
鈴木其一筆 蓬萊山 図	河野 元昭	" "	絵と語る「百物館 名物記」7 葛飾北 斎「潮干狩図」	"	"	610
狩野元信筆 白衣観 音図	辻 惟雄	" 1213	絵と語る「百物館 名物記」9 久隅守 景「夕顔棚納涼図屏 風」	"	"	613
尾形光琳筆 雪芦図 ・白菊図团扇	水尾比呂志	" "	絵と語る「百物館 名物記」10 ちょう ちょう踊り図巻	"	"	614
葛飾北斎筆 花和尚 図	小林 忠	" "	絵と語る「百物館 名物記」11 河鍋 暁斎「地獄極楽めぐり 図」	"	"	615
浮世絵の見立	諏訪 春雄	" "	絵と語る「百物館 名物記」12 四条河 原遊楽図	"	"	616
浄土真宗史料として の「拾遺古徳伝絵」	今井 雅晴	古文書研 究 43	『天保十二年丑とし 卯月日々の記』につ いて	守屋 正彦	筑波大学 芸術研究 報告	25
千粟八幡宮縁起絵に ついて	福井 尚寿	佐賀県立 博物館・ 美術館調 査研究書 18	狩野派と柳沢吉保	"	筑波大学 芸術年報	1995
茶掛けについて(八 十三) 日本画の画 題(四十三)	十和田湖月	茶道雑誌 60-2	高雄観楓図の一解釈 一風俗という表象の 文脈一	渡辺 雄二	デアルテ	12
茶掛けについて(八 十四) 日本画の画 題(四十四)	"	" 60-3	元禄・宝永期、周防 徳山藩の御用絵師を 巡って	吉積 久年	"	"
未完了の表現者仙厓 一出光美術館仙厓展 にあたって一	黒田 泰三	" 60-8				
日本の絵画から 水 の表現	藤原 明	" "				
<(財)京都文化財団 設立10周年記念特別 展>文人画の巨匠 池大雅一その人気の 秘密を探る一	田島 達也	" 60-10				

児庵日記(36)源氏絵 胡蝶	宮腰 達朗 陶 説	516	絵画の背景—研究 ノートより13 「万 物三遠ヲ意トスベ シ」—応挙三次元表 現への軌跡—	武田 恒夫	697
中日文人比較の一断 面—池大雅の『東山 清音帖』(瀟湘八景 図)をめぐる—	鄭 麗芸 東方学	91	飛雲閣 三十六歌仙 絵	武田 恒夫	698
知恩寺土佐家墓所 (三)	松尾 芳樹 と さ え	6	絵画の背景—研究 ノートより14 写生 画普及の社会的背景 —真写の時代—	佐々木丞平	699
日本水墨画の流れ (六)~室町時代の水 墨画(一)~	木村 弘道 富山市箕 牛人記念 美術館	6	絵画の背景—研究 ノートより15 時代 変化への対応—幕末 明治期の円山四条派 —	林 温 日本歴史	575
資料紹介 渡辺華山 筆『寓絵堂日録』	後藤 清司 豊橋市美 術博物館 紀要	5	口絵 絹本着色如意 輪観音像	高橋 典幸	576
住吉広行筆「笠懸犬 追物図屏風」考	伊藤 羊子 長野県立 歴史館研 究紀要	2	書評と紹介 佐藤鉄 太郎『蒙古襲来絵詞 と竹崎季長』	宮島 新一	582
三大寺家旧蔵「高野 大師行状絵」考—教 本家本を中心に—	塩出貴美子 奈良大学 紀要	24	書評と紹介 米倉迪 夫著『源頼朝像 沈 黙の肖像画』	辻 惟雄	582
秋田蘭画の不思議— 小田野直武とその同 時代世界	芳賀 徹 日本美術 工芸	14	書評と紹介 長谷川 成一著『失われた景 観 名所が語る江戸 時代』	藤本清二郎	15
“子”の美術	中野 玄三	688	最勝光院御所障子絵 ノート『玉葉』記事 の解釈をめぐる—	川添 裕 版画芸術	92
絵画の背景—研究 ノートより4 書簡 は語る—応挙は富士 を見たか	佐々木丞平	689	版画研究最前線2 江戸の見世物を読む	大倉 隆二 美 学	186
絵画の背景—研究 ノートより5 草の 真一付立描法の背景	佐々木丞平	690	細川藩御用絵師矢野 家における雪舟流回 帰について	太田 孝彦 美学・芸 術学	11
絵画の背景—研究 ノートより6 —応 挙の大障壁画に見る 空間マジック	脇坂 淳	691	鎌倉時代の頂相—形 式化への過程—	秋山美津子	14
狩野永岳の襖絵—隣 華院画—	佐々木丞平	692	画中詞の出現と絵巻 物の展開—『道成寺 縁起絵巻』成立まで —	中野 玄三 美学美術 史研究論 集	14
絵画の背景—研究 ノートより7 —応 挙はいくつの名を持 っていたか	佐々木丞平	693	知恩寺本十体阿弥陀 像と観経十六観变相 図	島尾 新 美術研究	363
絵画の背景—研究 ノートより8 応挙 画の制作拠点・大雲 院	佐々木丞平	694	ドキュメントとして の絵画—「王羲之書 扇図」の画と詩—	影山 純夫 美術史	139
絵画の背景—研究 ノートより9 写生 派と幽霊図	佐々木丞平	695	梅に鴉囚筆者論	金 貞我	140
絵画の背景—研究 ノートより10 応挙 画登場の母体—鶴沢 派	佐々木丞平	696	宗達派「伊勢物語絵 色紙」の考察	伊藤 大輔	140
絵画の背景—研究 ノートより11 大乘 寺孔雀之間は二度描 かれた	佐々木丞平	696	高山寺蔵「明恵上人 樹上坐禅像」考—主 にその構図法におけ る宋画との関係につ いて—	山本 陽子	140
絵画の背景—研究 ノートより12 異視 界からの刺激—応挙 画における鏡と望遠 鏡の意味—	佐々木丞平	696	春日権現記絵巻に見 る「神の顔を描くこ とをばはかる表現」	山本 陽子	140

東京国立博物館保管 孔雀明王画像試論— 図像の継承と変容—	吉村 稔子	〃	141	会津絵の考察	渡辺 慎市	福島県立 博物館紀 要	10
広島・浄土寺に伝わる 涅槃変相図の再検 討—周縁区画の場面 解釈を中心に—	渡辺 里志	〃	〃	「御絵師巨野泉祐 勤功書」について	川延 安直	〃	〃
ケルン 東洋美術館所 蔵「大織冠絵」の受容 美学的考察	メラニー トレーデ	〃	〃	『鳥呑み男』の自己表 出史3前現代・眼視 線と理念光 北斎 「富嶽百景」論から一 茶・春水・南北へ	青木 正次	藤女子大 学国文学 雑誌	57
東京国立博物館本 国宝・虚空蔵菩薩画 像について—その 「色」と「形」が語るも の—	向坂 卓也	美術史学 (東北大 学)	17	佐賀高伝寺の紺紙金 字法華経見返絵	緒方 知美	仏教芸術	224
『九相図巻』再考—そ の典拠について—	吉谷はるな	〃	〃	佐賀高伝寺の探幽筆 釈迦・迦葉・阿難図	福井 尚寿	〃	225
願成寺所蔵癡兀大慧 像考	樋口 智之	〃	〃	金沢市・平岡野神社 蔵南天铁塔図につい て	武田 和昭	〃	226
水野年方筆「三井好 都のにしき」につい て	金窪 佐和	美術史研 究	34	十六羅漢図像学事始 巻下—伏虎羅漢図 と渡水羅漢図—	中村 興二	〃	227
光琳画における能の 影響について—静嘉 堂文庫美術館所蔵 「鶴舟図」を中心に—	江村 知子	〃	〃	虚空蔵菩薩像の成立 (中)—求聞持形の展 開—	紺野 敏文	〃	229
「相応寺屏風」研究	門脇むつみ	美術史論 叢	12	風輪寺蔵仏五尊画像 について—南都仏画 考四—	林 温	〃	〃
帆足家伝来田能村竹 田関係資料	佐藤 康宏	〃	〃	蕪村の俳画を考える —「安永三年蕪村春 興帖」の挿絵をめぐ って—	雲央 末雄	文 学 (季刊)	7-1
Sesshu Toyo 雪舟 等揚 and Sessu T- oyo 拙宗等揚: the issues reviewed	Richard Stanley— Baker	〃	〃	室町時代の狩野派一 画壇制覇への道—	山本 英男	文化財 (月刊)	396
天理図書館の赤小 本・雛本	木村八重子	ビブリア	105	北斎と上方浮世絵	松平 進	北斎研究	21
天理図書館蔵遊女評 判記・細見目録稿 (上)	丹羽 謙治	〃	106	那須ロイヤル美術館 蔵 北斎筆「日蓮」に ついて	鈴木 浩平	〃	〃
『日本誌』(ケンベル) の図版について—一館 蔵各国語版と英訳版 との図版の照合一	木村 隆	〃	〃	柳々居辰斎画「加藤 清政の虎退治図」絵 馬について	石田 康弘	〃	〃
「影」と「肖像」の文化 史4 円朝と「影法師」	岡戸 敏幸	百 科 (月刊)	402	福岡市三所神社蔵 柳々居辰斎の武者絵 馬について	三木 隆行	〃	〃
『四谷怪談』は面白い 四 醜く、もっと醜 く……	横山 泰子	〃	403	資料紹介7 『茶店 墨江舩紙』	加藤 陽介	〃	〃
絵巻のなかの《伊予 簾》	藤原 重雄	〃	407	資料紹介8 零餘子 追善「草のはら」	伊藤めぐみ	〃	〃
望月玉蟾についての 二、三の考察〔一〕	黒川 修一	広島県立 美術館研 究紀要	3	[完訳6] ミシエル・ ルヴォン『北斎研究』	ミシエル ルヴォン 三浦和郎訳	〃	〃
三大寺家旧蔵「高野 大師行状絵」考—第 四巻と第五巻を中心 に—	塩出 貴美 子	フィロカ リア	13	絵画史料にみるアイ ヌ盛装風俗の変遷と その背景	手塚 薫	北海道開 拓記念館 調査報告	35
新出の岩佐派三十六 歌仙図について	戸田 浩之	福井県立 美術館研 究紀要	7	描かれた地引き網漁 —小玉貞長『蝦夷国 魚場風俗図巻』の紹 介—	林 昇太郎	〃	〃
				葛飾北斎筆「神奈川 冲浪裏」をめぐって	安井 雅恵	待兼山論 叢	30
				藤原師輔五十賀屏風 に関する一考察	山本 令子	三田国文	24

銅鐸面の「工字形器具をもつ人物」画像をめぐって	布目 順郎	MUSE-UM	540	描かれた茶の湯一館蔵「琴棋書画図」四幅対をもとにして一	佐藤 豊三	金鯉叢書美術史論文集	23
春日宮曼荼羅図の風景表現一仏性と神性のかたち一	行徳真一郎	"	541	顧善之筆 千歳元長像	海老根聡郎	国 華	1208
高野山円通寺藏不動明王二童子毘沙門図像について	井筒 信隆	"	"	明季「倣董源山水図」	古原 宏伸	泉屋博古館紀要	12
鎌倉時代黄不動尊画像の一遺例	安嶋 紀昭	"	"	伏羲女媧図像考	山本 忠尚	天理参考館報	9
東京芸術大学保管弥勒来迎図について	吉村 稔子	"	542	『唐僧取经図冊』に窺う「西遊記」物語一大唐出界から西天竺入国へ一	磯部 彰	富山大学人文学部紀要	24
日本における蘇軾像(二)一中世における画題展開一	救仁郷秀明	"	545	『唐僧取经図冊』の絵画順序とその画題一図版編一	"	"	25
特集 日本画遠近伝統の絵画に遠く近く<日本画>以前の日本絵画一瞥	大井 健地	武蔵野美術	99	米芾「画史」考釈(二)一事項の部一	古原 宏伸	奈良大学紀要	24
特集 日本画遠近鼎談 日本画の過去・現在・未来	奥村 鞆正 滝沢 具幸 水尾比呂志	"	"	<研究ノート>「捨身飼虎」の変容	山折 哲雄	日本研究	15
高山寺旧蔵護諸童子経と十五鬼神図像	川村 知行	大和文華	95	敦煌莫高窟・唐前期壁画における制作技法の変化一「型」と画面構成の関係一	山崎 淑子	美 学	187
肖像を奉祀する時代以前一栄山寺八角堂の追善堂的性格一	河原 由雄	"	96	中国花鳥画の意味(上)一藻魚図・蓮池水禽図・草虫図の寓意と受容について一	宮崎 法子	美術研究	363
養源院蔵 浅井氏関係肖像画について	山根 有三	"	"	陶冷月について(補遺)	鶴田 武良	"	"
肖像画家としての渡辺華山	成瀬不二雄	"	"	クチャ地方の中国様式絵画	中野 照男	"	364
源頼朝像をめぐって	上横手雅敬	龍谷史壇	106	中国花鳥画の意味(下)一藻魚図・蓮池水禽図・草虫図の寓意と受容について一	宮崎 法子	"	"
江戸狩野家の絵師教育	安村 敏信	歴 博	76	図版解説 長野・定勝寺所蔵 補陀洛山聖境図	井手誠之輔	"	365
江戸幕府御用絵師の仕事について	菅野 貴子	早稲田大学大学院文学研究科紀要	41	徽宗筆 瑞鶴図卷	小川 裕充	美術史論叢	12
豊臣秀吉像試論	関口久仁枝	"	"	水月観音像についての一考察 上	潘 亮文	仏教芸術	224
中 国				水月観音像についての一考察 下	"	"	225
徐渭と『狂鼓史漁陽三弄』	塘 高 耕次峰	愛知教育大学研究報告	45	トゥルファン・トヨク石窟の禅観窟壁画について一浄土図・浄土観想図・不浄観想図一(下)	宮治 昭	"	226
中国絵画図版目録稿(三)	嶋田 英誠	跡見学園女子大学紀要	29	米芾「画史」考釈(三)	古原 宏伸	文化財学報	14
敦煌の不空罽索五尊について一新出の「不空罽索五尊曼荼羅」(MG. 26466)を中心に	田中 公明	出光美術館報	95	六牛図考	田村 正敬	宮崎大学教育学部紀要	81
救苦を主題とする中国日本古代仏教版画の系譜	福原 庸子	鹿島美術研究	13	伝趙令穰「秋塘図」(大和文華館蔵)の史的位置	板倉 聖哲	MUSE-UM	542
瀟湘八景図の調査研究	池田 寿子	"	"	朝 鮮			
絵画史における中国と日本(一)	山岡 泰造	関西大学東西学術研究所紀要	29	文清山水図考一新出・静嘉堂文庫本山水図をめぐって一	郭 在祐	国 華	1204

瀟湘八景図押絵貼屏風	戸田 禎佑	〃	〃	出雲大社の、いわゆる神仏習合を伝える絵図の検討	千家和比古	古代文化研究	4
高麗時代の毘盧舍那仏画像	菊竹 淳一	大和文華	95	元亨四年「薩摩国日置北郷下地中分絵図」の現地調査—中分線・地頭所・領家政所・寺園・下司園—	高島 緑雄 小国 浩寿 葛生 雄二	駿台史学	97
その他							
Ajanta壁画は誰のために描かれたか	定金 計次	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	40	荘園絵図調査報告八越前国今泉浦絵図	荘園絵図研究グループ	東京大学史料編纂所研究紀要	6
南インドのいわゆる「占夢」の伝場面について—四天王の図様を中心に—	金 香淑	仏教芸術	226	荘園絵図調査報告九西大寺荘園図群—2—	〃	〃	〃
ソグド美術における東西文化交流—獅子に乗るナナ女神像の文化交流史的分析—	田辺 勝美	東洋文化研究所紀要	130	荘園絵図調査報告十金勝寺勝示絵図	〃	〃	〃
チベット系大日経122尊曼荼羅の研究	中山 華子	密教文化	194	荘園絵図調査報告十一山城国富家殿山絵図(正親町家本)	荘園絵図研究グループ 史料保存技術室 図書部	〃	〃
伏羲女媧図像考	山本 忠尚	天理参考館報	9	鳥取県立博物館所蔵の国絵図	坂本 敬司 松尾 谷孝	鳥取県立博物館研究報告	33
『海の老人』の図像成立をめぐる—「千夜一夜物語」の挿絵と人魚図像—	小林 一枝	オリエン	39—1	吉田城絵図2—『主図合結記』系統の絵図を中心に—	高橋 洋充	豊橋市美術館紀要	5
美術から見た顔の左右	宮永美知代	化粧文化	35	村絵図と文書による村落の素描—近世後期上田領小泉郡洗馬組横沢村の場合—	竜野敬一郎	長野県立歴史館研究紀要	2
文 様				領域型荘園の推移と相論絵図の成立	錦 昭江	日本歴史	578
日 本				熊野案内記と寺内安林		松原市史研究紀要	6
近世建築彫刻にみる文様集成 東日本編	本谷 文雄	鹿島美術研究	13	彫 刻			
三十六歌仙図の齋宮女御像に見る文様について—特に太閤桐文の時代—	佐々木利三	史迹と美術	660	一般			
ユング心理学を導入した縄文時代の渦巻文の解釈	大谷 満水	山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要	12	厳かな仏像の姿—彫刻家からみた—	飯田 善国	出光美術館館報	97
絵 図				ギメ美術館コレクションの仏教彫刻について	八波 浩一	〃	〃
日 本				「バリ・ギメ美術館展—シルクロードに花開いた仏教美術の精華—」報告		〃	〃
近世前期における川崎の沿岸地域と製塩業—一枚の絵図からの考察—	望月 一樹	川崎市市民ミュージアム紀要	8	日 本			
記念シンポジウム 武家の都鎌倉とその中世建築 鎌倉に伝わる中世の絵図・指図	上野 勝久	建築史学	27	浅草と館林の濡仏	柴田 光彦	跡見学園女子大学紀要	29
「大日本国地震之図」の資料紹介	前田 和宏	神戸市立博物館研究紀要	12	橋俊綱造立の即成院木造聖衆来迎像	田口 稚子	跡見学園女子大学美学・美術史学科報	24
				飯田市阿弥陀寺の阿弥陀如来像について	西山 保	飯田市美術館研究紀要	6

平成8年定期刊行物所載文献(古)

ギメ美術館の日本仏教彫刻	水野敬三郎	出光美術館館報	97	姿をあらわした神々「神像」の誕生	堀越 光信	芸術新潮	555
仏師快慶と法然一中世職工人研究の新視点一	青木 淳	印度学仏教学研究	88	仏像を考えるとということ	長岡 龍作	国华	1202
狛犬の由来 大神神社の狛犬を中心にして	坂元 義種	大美和	90	同聚院不動明王像と園城寺新羅明神像定朝様成立に至る凶像と技法	伊東 史朗	〃	1203
広隆寺本尊薬師像考一神仏の習合と尊像の複合一	伊東 史朗	学叢(京都国立博物館)	18	真木大堂 不動明王二童子像 大威徳明王像	〃	〃	1205
三仏寺伝来の蔵王権現像	〃	〃	〃	東京国立博物館保管文殊菩薩立像	山本 勉	〃	1210
大和古寺幻想(5)一樟と仏像の道	上原 和学	鏡	93-5	長瀧寺蔵 四天王立像	奥 健夫	〃	1211
大和古寺幻想(8)一明日香に廃仏の嵐は吹きやまず	〃	〃	93-8	中世大阪における在銘彫刻資料集成	張 洋一	堺市博物館館報	15
在銘懸仏における尊像の図像学的研究	的野 克之	鹿島美術研究	13	黄檗信仰史 一	江口 正尊	史迹と美術	661
鎌倉時代仏教彫刻における宋風受容の諸形態に関する研究一いわゆる逆手来迎印像を中心の一	岩田 茂樹	〃	〃	扇面形懸仏の成立と地方的展開一山形県下の作例を中心の一	山下 立	〃	662
関東地方の出土金銅仏に関する基礎的研究	山田 磯夫	〃	〃	深大寺の金銅釈迦如来倚像について	久野 健	〃	666
鎌倉時代初期慶派無銘彫刻の基礎的研究一峯定寺木造阿弥陀三尊像をめぐる一	砺波 恵昭	〃	〃	黄檗信仰史 四	江口 正尊	〃	〃
湛慶様式に関する基礎的研究	塩沢 寛樹	〃	〃	福井県妙楽寺の懸仏について	山下 立	〃	668
清涼寺釈迦如来像の受容について	奥 健夫	〃	〃	秦の庄・秦楽寺の聖徳太子像	小松 光江	聖徳	148
川崎市・影向寺二天立像について一その制作年代を中心として一	塩沢 寛樹	神奈川県立博物館研究報告	22	梅職人と聖徳太子像	〃	〃	150
新潟・三条市本成寺の法華経一尊四士像一永仁六年の本尊造立記と新発見の正和三年造立銘を中心の一	山田 泰弘	金沢文庫研究	296	行基の大仏勧進記事をめぐる一「続日本紀」卷十五天平十五年十月乙酉条一	水野柳太郎	続日本紀研究	300
近世七条仏所の幕府御用をめぐる一新出の史料を中心の一	三山 進 鎌 倉	〃	80	「房州彫物師考」(上)一武志流元祖武志伊八郎信由一	片岡 栄	千葉県立総南博物館年報	3
大井町最明寺の北条時頼像について	薄井 和男	〃	81	山梨県都留市 円通院 主要彫像調査報告	等井 昌昭 高梨 秀平	同志社大学博物館学年報	28
観心寺蔵如意輪観音像における「インド風」について	金野 直子	〃	82	講師仏師の成立について	長坂 一郎	南都仏教	73
東寺講堂諸像の作風の系譜	楠井 隆志	密教図像	15	資料紹介 西大寺観尊像に納入された「授菩薩戒弟子交名」と「近住男女交名」	松尾 剛次	〃	〃
伝天柱院信興木像一首像彫刻における体内納入品の一例一	平野 進一	群馬県立歴史博物館紀要	17	聖像伝説(1)一「名所図会」にみる造像譚一	岸 文和	美学・芸術学	11
塑像の基礎調査一群馬県前橋市山王院寺出土の塑像頭部について一	岡部 央	群馬県立歴史博物館調査報告書	7	不空罽索観音像の鹿皮衣	伊東 史朗	美学美術史研究論集	14
				東大寺法華堂不空罽索観音像と随具像についての一試考	中西真美子	美学論究	11
				浄土寺阿弥陀三尊像の造立における重源の宗教的意図一元照の浄土思想の影響一	大西磨希子	美術史研究	34

篠栗町・西林寺の木造阿弥陀如来立像について—三尺阿弥陀像の着衣形式をめぐって—	末吉 武史	福岡市博物館研究紀要	6	中国	華嚴三聖像の形成	鎌田 茂雄	印度学仏教学研究	88
再建法隆寺と釈迦三尊像—太子信仰の成立—	大橋 一章	仏教芸術	224	中国における観音菩薩像発展の一研究—主として五代・宋時代の水月観音、白衣観音、楊柳観音を中心—to	潘 亮文	鹿島美術研究	13	
浄瑠璃寺九体阿弥陀像造立考	大宮 康男	〃	〃	中国仏教造像碑の調査研究	石松日奈子	〃	〃	
“迎講阿弥陀像”考—3—米山寺と誕生寺の迎講阿弥陀像—	関 信子	〃	〃	北魏後期造像様式の成立—中国仏像様式の真髓として—	松原 三郎	国 華	1213	
[表紙・口絵解説]東京国立博物館保管千手観音菩薩坐像	山本 勉	〃	〃	雲岡石窟第五及び第六窟についての一考察	八木 春生	筑波大学芸術研究報告	25	
平安彫刻の成立(10)	紺野 敏文	〃	225	小南海石窟中窟の三仏造像と九品往生図浮彫に関する一考察	勝木言一郎	美術史	139	
青梅・金剛寺の菩薩立像について—長野市松代町・清水寺観音菩薩立像との比較検討—	武笠 朗	〃	227	龍門造像記様式新考	橋本 栄一	美術史研究	34	
静岡本覚寺の法華経釈尊像と本仏堂	山田 泰弘	〃	〃	飛鳥白鳳彫刻史試論—時代一様式的理論への疑問—	吉村 怜	仏教芸術	227	
岡山・高野神社蔵の獅子(二具)	伊東 史朗	〃	〃	朝鮮				
日本における七獅子蓮華座の受容と変容	朴 亨国	〃	228	早期仏教彫刻史における三国・統一新羅の日本への影響	金林 理那 南寿訳	鹿島美術研究	13	
“迎講阿弥陀像”考—4—迎講阿弥陀像造立の背景と浄土教芸術に与えた影響—	関 信子	〃	〃	韓国・統一新羅時代後期の石造毘盧舍那仏坐像について—洛東江中・上流地域(慶尚北道地方)を中心—to	朴 亨国	美術史	139	
鎌倉時代彫刻史と院派仏師—前・中期を中心—to	山本 勉	〃	〃	インド・その他				
兵庫・満願寺金剛力士像の作者について	奥 健夫	〃	〃	インドの四天王の図像的特徴	金 香淑	密教図像	15	
奈良国立博物館特別展「東アジアの仏たち」—仏の姿の受容と変容—	西山 厚	文化財(月刊)	392	『サマーヨーガタントラ』の金剛薩埵族の曼荼羅—中部ジャワスロチョロ出土の青銅像—	松長 恵史	〃	〃	
最明寺宝冠阿弥陀如来像に就いて	大宮 康男	MUSE-UM	538	仏教美術の始源と流伝—ギメ美術館コレクションを中心—to	肥塚 隆	出光美術館報	97	
蓮華王院本堂千体千手観音像にみる三派仏師の作風—四〇・四九三・五〇四号像を中心—to	山本 勉	〃	543	モハマッド・ナリー大神変図の読解	小山 満	オリエント	39—1	
鎌倉大仏の造立に関する一試論	浅見 龍介	〃	〃	石 仏 等				
鎌倉大仏殿の建立とその性格—千葉県満光院銅造阿弥陀如来像とその銘文を巡って—	塩沢 寛樹	〃	〃	日本				
肥前小城三岳寺の薬師・大日・十一面観音像	竹下 正博	〃	〃	丹後久美浜町の不動石仏	大鳥居総夫	史迹と美術	663	
神像彫刻の展開	宇野 茂樹	粟東歴史民俗博物館紀要	2	丹後中郡の石造美術	篠原 良吉	〃	665	
円満寺の木造十一面観音立像について	小田誠太郎	和歌山県立博物館研究紀要	1					

平成8年定期刊行物所載文献(古)

西伊豆海岸石窟堂(上)一本尊の尊名と時代一	野村 隆	〃	667	天海版一切経の目録について	松永 知海	印度学仏教学研究	88
西伊豆海岸石窟堂(下)一本尊の尊名と時代一	〃	〃	668	御許山仏通寺所蔵の資料について一特に「伝弘法大師真筆細字法華経」について一	柴田 章延	〃	89
白杵ホキ石仏第二群第一龕仏の成立年代について	仲嶺 真信	仏教芸術	229	『天台大師和讃』の研究一本文の典拠と『天台大師画讃』との関連一	武 寛超	叡山学院研究紀要	19
土偶・埴輪等				資料紹介 『東寺執行日記』寛正六年・同七年分 栄増筆	下坂 守	学 叢 (京 都 国 立 博 物 館)	18
日 本				定家様筆跡の分類と美術史上の意義	名児耶 明	鹿島美術研究	13
埴輪からみた伊那谷の古墳	渋谷恵美子	飯田市美術博物館研究紀要	6	山村蘇門・追考一略年譜、交友など	高橋 明彦	金沢美術工芸大学紀要	40
土偶に光る！縄文人の抜群な造形センス	原田 昌幸	芸術新潮	561	ひらがな日本美術史【連載】その二十八なるようになったもの 藤原定家筆「小倉色紙」	橋本 治	芸術新潮	554
東北地方の弥生土偶	佐藤 嘉広	考古学雑誌	81-2	常葉美術館所蔵「大塚向溪宛浦上玉堂書簡巻」について	川延 安直 芸 叢	12	
人物埴輪の形式分類	塚田 良道	〃	81-3	小野道風筆 白氏文集巻第四新楽府断簡(絹地切)	古谷 稔 国 華	1205	
島根県頓原町下山遺跡出土の屈折像土偶	深田 浩	〃	81-4	進物折紙考一室町時代における贈与交換の一側面一	金子 拓	古文書研究	43
埴輪胎土に見られる砂礫種一河内の場合一	奥田 尚	書陵部紀要	47	江戸前期板本にみる秩父札所について(上)	青木 忠雄	埼玉史談	247
長野県における縄文時代後期の土偶	宮下 健司	長野県立歴史館研究紀要	2	洪浩然と佐賀藩	小宮 睦之	佐賀県立名護屋城博物館研究紀要	2
北武蔵における窠跡出土円筒埴輪の変遷	塚原 勇人	法政考古学	22	テーマ展『洪浩然とその遺墨』展より	山口 久範	〃	〃
そ の 他				資料紹介 般若寺旧蔵大安寺縁起	平林 盛得	三の丸尚蔵館年報・紀要	1
西アジア新石器時代の土偶について	有村 誠	筑波大学先史学・考古学研究	7	高山寺蔵仁平三年写『仏説毘沙門天王功德経』一帖 翻印・解説・諸伝本校異	牧野 和夫	実践女子大学文学部紀要	38
面				写御書所と奉写御執経所	米原孝次郎	続日本紀研究	300
日 本				新資料の藤原定家筆「熊野懐紙」と「和歌懐紙」	古谷 稔	泉屋博古館紀要	12
熊本県岱明町開田箱崎八幡宮の玉面について	山崎 摂	デアアルテ	12	『松橋無量寿院経蔵事相聖教目録』	小原 仁	醍醐寺文化財研究所研究紀要	15
《調査報告》野村美術館所蔵の舞楽面	堤 由紀子	野村美術館研究紀要	5	『寛永日々記』(一)	神田 千里	〃	〃
書 蹟				<法語>になった夢窓疎石の和歌一『夢窓国師百首』を中心として一	西山 美香 玉 藻	〃	31
日 本							
古典鑑賞・かなの造形美(1)香紙切麗花集断簡	笠嶋 忠幸	出光美術館館報	96				
「伏見院三十首歌切」について	別府 節子	出光美術館研究紀要	2				

寸松庵色紙 伝紀貫之筆	名児耶 明 淡 交	605	研究余録 天平宝字八年造東大寺司牒の「故京職宅返抄」	東野 治之	〃	579	
歌切の鑑賞 小倉色紙 藤原定家筆	〃	607	研究ノート 聖武天皇宸翰『雑集』と『観無量寿経』	平野 顕照	仏教大学総合研究所紀要	3	
歌切の鑑賞 堺色紙 伝藤原公任筆	〃	609	東京国立博物館特別展観一唐様の書一江戸時代における中国文化の受容	島谷 弘幸	文化財(月刊)	389	
歌切の鑑賞 伊予切 伝藤原行成筆	〃	610	新出の伝後円融院宸筆新古今集切(あはれとみ)	佐佐木忠慧	宮城学院女子大学研究論文集	83	
歌切の鑑賞 西行筆 和歌懐紙	〃	612	頼山陽と小田海僊一新出の書状卷一	島谷 弘幸	MUSE-UM	544	
歌切の鑑賞 石山切 伊勢集断簡	〃	613	高山寺旧蔵護諸童子経と十五鬼神図像	川村 知行	大和文華	95	
歌切の鑑賞 本阿弥切 伝小野道風筆	〃	614	二神島安養寺所蔵大般若経の奥書について	白水 智	歴史と民俗	13	
歌切の鑑賞 和歌懐紙 尾形乾山筆	〃	615					
歌切の鑑賞 熊野懐紙 寂蓮筆	〃	616					
研究報告 源頼朝の花押について一その形態と治承・寿永年号の使用をめぐって一	林 讓	東京大学史料編纂所研究紀要	6				
小川八幡神社所蔵大般若経卷四四五	伝田 伊史	長野県立歴史館研究紀要	2	題跋よりみたる宋代禪	長谷川 昌弘	印度学仏教学研究	88
慈雲尊者(十三)一人と書一	木南 卓一	日本美術工芸	688	東寺所蔵 宋版「律宗三大部并記文」	赤尾 栄慶	学叢(京都国立博物館)	18
慈雲尊者(十四)一人と書一	〃	〃	689	日本現存の宋元版『大般若経』一剛中玄柔将来本と西大寺蔵碓砂版を中心の一	梶浦 晋	金沢文庫研究	297
慈雲尊者(十五)一人と書一	〃	〃	690	敦煌経異聞一伝、千仏洞出土「仏名経」の復元一	唐沢 至朗	群馬県立歴史博物館紀要	17
慈雲尊者(十六)一人と書一	〃	〃	691	歴史手帖 中国現存日本古文献の一端一特に楊守敬将来品一	池田 温	日本歴史	575
慈雲尊者(十七)一人と書一	〃	〃	692	「書譜」撰述の形体について	富田 淳	MUSE-UM	542
慈雲尊者(十八)一人と書一	〃	〃	693	《新刊紹介》気賀沢保規編『中国仏教雲居寺石経を中心の一	手島 一真	立正史学	80
慈雲尊者(十九)一人と書一	〃	〃	694	六朝における王羲之書法の流行とその背景	高瀬 多聞	早稲田大学大学院文学研究科紀要	41
慈雲尊者(二十)一人と書一	〃	〃	695	『山谷題跋』卷四に於ける二王の存在に関する考察(下)	塚本 宏	和洋女子大学紀要	36
慈雲尊者(二十一)一人と書一	〃	〃	696				
慈雲尊者(二十二)一人と書一	〃	〃	697				
慈雲尊者(二十三)一人と書一	〃	〃	698				
慈雲尊者(二十四)一人と書一	〃	〃	699				
末松保和先生と広開土王	武田 幸男	日本歴史	572	原拓名跡管見一平成六年度特別取書調査報告一	福島 肇 塚本 宏 井上 清徳	〃	〃
古筆家の極札	橋本 義彦	〃	〃				
座談会 戦後五〇年史料の公開と保存	笹野 晴生 山野 慶二 原村 安彦 森 隆彦 伊藤 精一郎 有馬 野精 司馬 邦明 山田 会	〃	577				
				金石文等			
				日本			
				記念シンポジウム 武家の都鎌倉とその中世建築 建長寺鐘銘に見る南宋的建築観	関口 欣也	建築史学	27

平成8年定期刊行物所載文献(古)

古代の碑碣—その源流と伝播—	浜田 幸司	歴史研究(大阪教育大学)	33	<根津美術館特別展>小堀遠州の茶会	西田 宏子	〃	〃
中 国				<畠山記念館春季展>遠州の数寄道具	畠山記念館学芸部	〃	〃
南朝造像記の研究—資料と概要—	八木 宣諦	印度学仏教学研究	88	<野村美術館秋季特別展>秋・冬の茶事—重陽の茶、口切の茶、開炉の茶—	古賀 健蔵	〃	60—9
唐法門寺咸通十四年(八七三)舍利供養をめぐる一考察—あわせて法門寺「真身誌文」碑の検討—	気賀沢保規	駿台史学	97	<石川県立美術館特別陳列>茶道美術名品展	北 春千代	〃	60—10
板碑・木簡等				<金沢市中村記念美術館開館30周年記念展>茶の湯の名碗七十選	数下 宏	〃	〃
日 本				館蔵茶道具取合せ展	砂沢 祐子	〃	60—12
拓本解説 今津「完全寺山門の碑洞岳和尚の一字一石塔板碑研究の先駆者—松本源吉—	若林 久	隠岐の文化財	13	織田有楽の遺品処分について	谷 晃	〃	〃
長屋王家木簡・長屋王邸関連論文目録(稿)	石黒伸一朗	市史せんだい	6	正倉院宝物(螺鈿、貝殻)材質調査報告	和田 浩爾 赤松 奥谷 蔚 喬司	正倉院年報	18
宮都の木簡と地方の木簡—荷札木簡を手がかりに—	森 公章	続日本紀研究	304	正倉院宝物の保存—徳川家康公の事跡と関連して—	米田 雄介	大日光	67
武蔵府中における板碑の形式と組成—14世紀後半から15世紀前半を対象として—	福島 正樹	長野県立歴史館研究紀要	2	装いの文化史「洒落本」に見る江戸期の髪飾り	村田 孝子	たばこと塩の博物館研究紀要	6
書評 水藤真著『木簡・木札が語る中世』	深沢 靖幸	府中市郷土の森紀要	9	『守貞謄稿』後集卷之四「雑記」に記載された江戸時代末期の喫煙具	谷田 有史	〃	〃
	千々和 到	歴 博	76	洒落本にみる袋物～鼻紙袋と煙草入れ～	梅谷 知世	〃	〃
中 国				茶器と人—その十八 堪忍肩衝—綱村と伊達騒動—	苅田 宗重	淡 交	610
学界展望 秦漢時代の簡牘研究	角谷 常子	東洋史研究	55—1	遠州茶入をどうみるか—特別展・小堀遠州三五〇年大遠譚記念「遠州の観た茶入」にふれて—	竹内 順一	陶 説	518
工 芸 一 般				「桃山の数奇—茶の湯の名碗—」展によせて	赤沼 多佳	〃	519
日 本				コトから箏へ	斉藤 望	日本美術工芸	695
<北村美術館春季特別展>追憶の茶—風炉—	木下 収	茶道雑誌	60—4	正倉院宝物の修理—江戸から明治時代の場合—	米田 雄介	〃	697
<香雪美術館春季展>茶道具の華—茶碗と茶杓の出合い—	小田 栄一	〃	〃	中 国			
<MOA美術館>所蔵茶の湯の美術展	河野 泰典	〃	〃	漢代の鎮子について	外山 潔	大和文華	95
小堀遠州三百五十年遠忘にちなんで 遠州の茶の湯	小田 栄一	〃	60—5	陶 磁			
茶数寄・歌数寄—中興名物茶入と遠州の歌銘—	古賀 健蔵	〃	〃	一 般			
<五島美術館特別展>遠州の観た茶入—中興名物茶入を中心として—	砂沢 祐子	〃	〃	国際シンポジウム報告 シカゴ「アジアの陶磁器—その生産者、消費者、収集者」に参加して	小野 正敏	東洋陶磁	25

東 ア ジ ア

公開討論「陶磁の国際交流諸問題」について

学界叢報 一九九四年の陶磁研究の回顧

小野 正敏
竹内 順一
柴垣 勇夫
大橋 康二

” ”

” ”

日 本

大皿の時代—近世初期における大皿需要の諸相—

荒川 正明

出光美術
館研究紀
要

2

桃山から江戸前期における美濃焼と唐津焼・伊万里焼の比較研究

鈴木由紀夫

鹿島美術
研究

13

陶磁器坏土に対する化粧土の適合について

原田 実
久世 建二
北出 藤雄

金沢美術
工芸大学
紀要

40

川崎市幸区入雲の中世遺物—収蔵資料の紹介—

浜田 晋介

川崎市市
民ミュー
ジアム紀
要

8

<三井文庫別館秋季展>室町三井家新寄贈優品展 懐石の器と調度

清水 実

茶道雑誌

60—9

鍋島様式の変遷—有田ポーセリンパークの鍋島展によせて—

佐々木秀憲

陶 説

514

近世の茶碗(104) 笹島焼(篠島焼)

黒田 和哉

” ”

” ”

《戦国・近世愛陶列伝》(二十) 遅桜肩衝・宮王肩衝

佐藤 節夫

” ”

” ”

児庵日記(35) 信楽茶入 銘玉水

宮腰 達朗

” ”

515

近世の茶碗(105) 春日山焼(金沢)

黒田 和哉

” ”

” ”

有田からみた波佐見焼(二)

野上 建紀

” ”

” ”

近世の茶碗(106) 葎草焼

黒田 和哉

” ”

516

伊万里あれこれ(1) 調査解明の進展と困惑

小木 一良

” ”

” ”

有田からみた波佐見焼(三)

野上 建紀

” ”

” ”

《戦国・近世愛陶列伝》(二十一) 久我肩衝・平野肩衝

佐藤 節夫

” ”

” ”

近世の茶碗(107) 黒六焼(金華山焼)

黒田 和哉

” ”

517

三井文庫の茶陶(一) 大名物 唐物肩衝茶入 北野肩衝

清水 実

” ”

” ”

伊万里あれこれ(2) 共箱紀年銘からみた伊万里やきの流通期間

小木 一良

” ”

有田からみた波佐見焼(四)

野上 建紀

” ”

《戦国・近世愛陶列伝》(二十二) 繁雪肩衝・道阿弥肩衝

佐藤 節夫

” ”

児庵日記(38) 砂張水指 銘 西江

宮腰 達朗

” 518

近世の茶碗(108) 朝日焼(後朝日)

黒田 和哉

” ”

伊万里あれこれ(3) 箱書からの情報

小木 一良

” ”

三井文庫の茶陶(二) 瀬戸肩衝茶入 銘 飯道寺

清水 実

” ”

有田からみた波佐見焼(五)

野上 建紀

” ”

戦国・近世愛陶列伝(二十三) 大隈肩衝・伯耆肩衝

佐藤 節夫

” ”

茶碗の美展より—高麗・和物を中心に—

玉虫 敏子

” 519

近世の茶碗(109) 久田焼(対州窯)

黒田 和哉

” ”

伊万里あれこれ(4) 伊万里やきと加賀前田藩

小木 一良

” ”

三井文庫の茶陶(三) 中興名物 瀬戸肩衝茶入 銘 二見

清水 実

” ”

有田からみた波佐見焼(六)

野上 建紀

” ”

戦国・近世愛陶列伝(二十四) 宗無肩衝・筑紫肩衝

佐藤 節夫

” ”

近世の茶碗(110) 織部焼(織部流し釉)

黒田 和哉

” 520

伊万里あれこれ(5) 初期作品は稚拙か

小木 一良

” ”

三井文庫の茶陶(四) 中興名物 瀬戸肩衝茶入 佐久間面取

清水 実

” ”

有田からみた波佐見焼(七)

野上 建紀

” ”

伊万里・制作年代の明確な作品類

小木 一良

” 521

大皿の時代—近世初頭における大皿需要の諸相—

荒川 正明

” ”

近世の茶碗(111) 九朗焼

黒田 和哉

” ”

三井文庫の茶陶(五) 中興名物 瀬戸肩衝茶入 銘常如院

清水 実

” ”

有田からみた波佐見焼(八)

野上 建紀

” ”

「鎌倉の遺跡発掘の成果と伝世の名品」展	西田 宏子	〃	522	近世の瀬戸—ここで作り、ここで暮らした—	瀬戸市史編さん委員会	文化財(月刊)	391
多宝寺址のやぐら群出土の陶器の再検討	鈴木 裕子	〃	〃	中 国			
近世の茶碗(112)山科焼	黒田 和哉	〃	〃	金代磁州窯の繁栄と発展およびその原因の探求	秦 大樹	出光美術館報	94
伊万里あれこれ(6)発掘調査の進展、明と暗	小木 一良	〃	〃	蔣祈《陶記》年代論争を読む—劉新園氏の《陶記》南宋説の“新証”について—	金沢 陽	出光美術館研究紀要	2
三井文庫の茶陶(六)大井戸茶碗 銘 須弥(別銘十文字)	清水 実	〃	〃	北朝～初唐の陶磁—六世紀後半～七世紀の中国陶磁の傾向—	弓場 紀知	〃	〃
室町三井家新寄贈優品展「懐石の器と調度」より	〃	〃	523	東西文化比較往来(20)	杉山 二郎	学 鏡	93—11
近世の茶碗(113)辻井播磨	黒田 和哉	〃	〃	清朝磁器の諸相—官窯品と民窯品の比較	柏木 麻里	鹿島美術研究	13
伊万里あれこれ(7)有田町の昨今	小木 一良	〃	〃	宋代の茶器(三)	布目 潮風	茶道雑誌	60—1
三井文庫の茶陶(七)珠光青磁茶碗 銘 波瀾	清水 実	〃	〃	宋代の茶器(四)	〃	〃	60—3
有田からみた波佐見焼(九)	野上 建紀	〃	〃	座談 中国陶磁を語る(上)	砂沢 祐子 岩田正比古 金谷 巴望 見	〃	60—4
近世の茶碗(114)上野焼(二)	黒田 和哉	〃	524	宋代の茶器(五)	布目 潮風	〃	〃
伊万里あれこれ(8)「伊万里やき誕生展」について	小木 一良	〃	〃	座談 中国陶磁を語る(中)	砂沢 祐子 岩田正比古 金谷 巴望 見	〃	60—5
三井文庫の茶陶(八)三井高平(宗彦)手造り 青楽茶碗	清水 実	〃	〃	<湯木美術館夏季展>藍色のやきもの—古染付・祥瑞・呉須—	末広 幸代	〃	60—7
有田からみた波佐見焼(十)	野上 建紀	〃	〃	明代の茶器(一)	布目 潮風	〃	60—9
近世の茶碗(115)緑釉唐津焼	黒田 和哉	〃	525	明代の茶器(二)	〃	〃	60—11
伊万里あれこれ(9)伊万里焼の創始者は中国人か?	小木 一良	〃	〃	中国の旅(1) 釣窯遺跡の二つの窯	小山 岑一	陶 説	514
三井文庫の茶陶(九)赤楽大福茶碗	清水 実	〃	〃	中国の旅(2) 潤川村の窯	川瀬 忍	〃	〃
日本の中世陶磁にみる国際交流	柴垣 勇夫	東洋陶磁	25	吉州窯探訪記	荒井 幸雄	〃	516
肥前磁器の交流諸問題	大橋 康二	〃	〃	開館記念五十五周年記念 根津美術館名品展—新収蔵品の清朝磁器を中心として—	佐藤サアラ	〃	517
茶の湯の場における請来陶磁と和物陶磁の交流	林屋 晴三	〃	〃	新発見の洪武・永楽官窯磁器—台北・馮禮美術館「明初官窯磁器展」をみる—	弓場 紀知	〃	518
九谷焼(一)—春日山窯—	木村 弘道	富山市箕牛人記念美術館	6	台湾の陶磁研究の現況	〃	〃	〃
楽歴代3 赤楽筒茶碗 銘 山人 三代 道入作	楽吉左衛門	日本美術工芸	690	元・青花蓮池魚藻文壺(続)	関根 秀吉	〃	〃
乾山緒方深省再考と作風の展開	古賀 健蔵	〃	692	出光美術館・開館三〇周年記念特別展によせて	〃	〃	519
茶会記に見る中国陶磁の受容	谷 晃	野村美術館研究紀要	5	座談会 中国陶磁研究は今	長谷部 樂爾 弓場 紀知 今井 恭一 山本	〃	520

浦上コレクションの 中国・朝鮮陶磁	長谷部楽爾	"	524
浦上コレクションの 陶磁器より一明末清 初染付の魅力一表 紙・単色口絵図版解 説	西田 宏子	"	"
呉州手磁器—スワト ウ・ウェア—の生産 と流通 愛知県陶磁 資料館企画展より	森 達也	"	525
南海の沈没船	手塚 直樹	"	"
中国陶磁器研究の現 状と展望	李 輝柄 崗 立訳	東洋陶磁	25
中国陶磁と日本の交 流諸問題	長谷部楽爾	"	"
国際シンポジウム報 告 台北「中国古代 貿易瓷国際学術研 討会」	亀井 明德	"	"
国際シンポジウム報 告 上海「秘色瓷学 術討論会」	"	"	"
中国青花磁の東西交 流	茶屋美奈子	美学・芸 術学	11

朝鮮

< 静嘉堂文庫美術 館>茶碗の美展—高 麗・和物を中心に—	玉虫 敏子	茶道雑誌	60—6
高麗茶碗の話(二)	池田 瓢阿	陶 説	514
高麗茶碗の話(三)	"	"	515
朝鮮青花磁器の発生 時期について	金 寅圭	"	"
企画展・朝鮮陶磁シ リーズ20 「珠玉の 高麗陶磁小品展」に ついて	肥塚 良三	"	516
高麗象嵌青瓷の起源	尹 龍二	"	"
高麗茶碗の話(四)	池田 瓢阿	"	"
高麗茶碗の話(五)	"	"	517
高麗茶碗の話(六)	"	"	519
韓国陶磁史研究にお ける最近の学術的な 成果について	金 載悦	"	521
高麗茶碗について	池田 瓢阿	"	522
韓国陶磁と日本の交 流諸問題	西谷 正	東洋陶磁	25
絵高麗—生産年代へ のアプローチ—伝世 品の観察と国内の出 土資料の検討	鈴木 裕子	野村美術 館研究紀 要	5

その他

シュムリャップ地域の クメール陶器—ルン ター—アエタ村ター ニー窯	岸良 鉄英	陶 説	514
---	-------	-----	-----

タイの古陶思いつく まま(9) 合子・蓋 物	上床 亨	"	"
タイの古陶思いつく まま(10) 宋胡録合 子のつまみ	"	"	515
ボヘミアの陶磁器に みる東洋的なモチ ーフ	フィリップ ・スホメル 竹田 裕子 訳	"	517
タイの古陶思いつく まま(11) 宋胡録合 子の高台(前)	上床 亨	"	519
タイの古陶思いつく まま(12) 宋胡録合 子の高台(後)	"	"	520
タイの古陶思いつく まま(13) 宋胡録合 子の紋様(一)	"	"	522
タイの古陶思いつく まま(14) 宋胡録合 子の紋様(二)	"	"	523
タイの古陶思いつく まま(15) 宋胡録合 子の紋様(三)	"	"	524
フランスにおける ジャポニズム陶磁器 の諸相	清水クリ スチーナ	東洋陶磁	25

土 器

日 本

那珂郡瓜連町常福寺 地内出土の弥生土器 について	加藤 雅美	茨城県立 歴史館報	23
相子島貝塚採集の縄 文土器	木幡 成雄 小野 浩	いわき市 教育文化 事業団研 究紀要	7
埋もれ話 小鯔と横 瓶	淀 重美	隠岐の文 化財	13
川崎市十三菩提遺跡 の土器—川崎市市民 ミュージアム所蔵資 料の紹介—	菅野 和郎	川崎市市 民ミュージ アム紀 要	8
福岡県八女市乗場古 墳出土土器の検討— 東京国立博物館所蔵 の須恵器・土師器に ついて—	中村 浩	考古学雑 誌	81—3
東北地方北部におけ る十腰内式土器様式 の編年学的研究—十 腰内2式土器の研究 —	鈴木 英明	"	81—4
縄文土器における精 製・粗製深鉢成立過 程の地域差と共通性 —縄文土器後期前半 の関東南部を中心に 新収蔵の火焰形透孔 高杯について—	須賀 博子 竹谷 俊夫	駿台史学 天理参考 館報	97 9

曾利式土器の研究(上)一内的展開と外的交渉の歴史一	山形真理子	東京大学文学部考古学研究室研究紀要	14	岡寺式軒瓦出土寺院をめぐる二、三の問題	近江 俊秀	考古学雑誌	81-3
弥生町の壺と環濠集落	鮫島 和大	〃	〃	埼玉県における古代瓦の諸問題(2)	宮 昌之	埼玉県立まきた資料館調査報告	9
亀ヶ岡文化の発展と地域性	須藤 隆	東北大学日本文化研究所研究報告別巻	33	名護屋城跡出土の軒平瓦	後藤 宏爾	佐賀県立名護屋城博物館研究紀要	2
中央高地における縄文早期末葉絡糸体圧痕土器	綿田 弘実	長野県立歴史館研究紀要	2	仙台藩の瀬戸瓦	笠原 信男	東北歴史資料館研究紀要	22
研究ノート 土器利用炉の分類とその意義一縄文時代における吊す文化と据える文化一	三上 徹也	〃	〃	筑前における中近世瓦の分類試案(下)	井沢 洋一	福岡市博物館研究紀要	6
東国における一五・一六世紀の土師器皿様相	服部 敬史	八王子の歴史と文化	9	近世軒丸瓦の分類について一甲府城を例として一	柏木 英俊	山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化センター研究紀要	12
手厚く葬られた北の縄文人たちと巻貝形土器一岩手県宮古市近内中村遺跡一	鎌田 祐二	文化財(月刊)	392	<資料紹介>栗東町出土の古代軒瓦	松村 浩 畑本 陽子	栗東歴史民俗博物館紀要	2
坏形土器の共通性から見た「舞台式」と周辺土器群との関係	佐久間正明	法政考古学	22	中国・朝鮮			
「木ノ本経塚」出土の遺物について	大野左千夫	和歌山市立博物館研究紀要	10	伝楽浪出土遺物報告補遺、および若干の考察	八波 浩一	出光美術研究紀要	2
中国				色と文様の計量考古学一高句麗瓦の研究から一	千田 剛道	人文学と情報処理	11
佉族・黎族・納西族の土器制作技術の考察	李 仰松	出光美術館館報	94	金 工			
朝鮮				日 本			
韓国南岸の瀛仙洞式と西北九州の西唐津式土器の諸様相	李 相均	考古学雑誌	81-1	赤塚水川神社北方遺跡出土鉄釘の金属学的解析	佐々木 稔	板橋区立郷土資料館紀要	11
瓦				小山市所在銅鏡の調査報告	鈴木 一男	小山市立博物館紀要	5
日 本				加賀金工水野家史料(二)一全史料見出し	黒川 威人	金沢美術工芸大学紀要	40
田川市天台寺跡出土軒瓦の唐草文の系譜について	真野 和夫	宇佐風土記の歴史民俗資料館研究紀要	9	青銅製鈿考一日本出土例を中心として一	片岡 宏二	考古学雑誌	81-2
<資料紹介>南滋賀町廃寺・崇福寺跡出土の平安時代の軒丸瓦について	松浦 俊和	大津市歴史博物館研究紀要	4	資料紹介 弥生時代の鉄鈿の一例一東京都北区七社神社前遺跡出土資料一	牛山 英昭	〃	〃
嘉麻郡西郷村所在瓦工房の瓦范	栗原 和彦	九州歴史資料館研究論集	21	小用鋳物師遺品集成(1)	島野 隆司	埼玉県立歴史資料館研究紀要	18
				瑞龍寺藏旧安居寺鐘(二)一鐘銘の彫刻技術を中心として一	斎藤 善夫 鈴木 勉	史迹と美術	663

行人田経塚および大田南八幡宮鉄塔納入経筒について 木村 修 千葉県立中央博物館研究報告 9

長谷寺銅板法華説相図再考—大山誠一氏に答えて— 片岡 直樹 仏教芸術 225

雄弁に語りはじめた古代製鉄遺跡—福島県金沢地区製鉄遺跡群— 寺島 文隆 文化財(月刊) 396
安田 稔

梵鐘の音の収集と解析 大熊 恒靖 梵 鐘 4

秋田県の戦時供出鐘 熊谷 恭孝 " "

訪鐘記(五ノ二)昭和三十七年七月~四十年五月 坪井 良平 " "

元禄以前(十七世紀)京都・滋賀の梵鐘年表稿 久保 仁平 " "

甲斐鐘考(其の二) 渡辺 貫市 " "

時の鐘の実態—江戸府内の時の鐘— 浦井 祥子 " 5

大阪府の铸造遺跡—土師ノ里遺跡の梵鐘鑄型をめぐる— 西川 寿勝 " "

高岡山瑞龍寺の模造支那鐘—鐘銘を中心に— 斎藤 善夫 " "

訪鐘記(六)昭和四十年七月~四十三年十二月 坪井 良平 " "

元禄以前(十七世紀)大和・伊賀の梵鐘年表稿 大鳥居総夫 " "

銅鐸面の「工字形器具をもつ人物」画像をめぐる— 布目 順郎 MUSEUM 540

法隆寺西円堂奉納の擬漢式鏡について 佐藤 直子 " 544

中国・朝鮮

大唐王朝の華—長安・洛陽出土の銀器— 山中 理 日本美術工芸 693

中国鐘の音—中国鐘と和鐘の音の特徴— 大熊 恒靖 梵 鐘 5

朝鮮半島出土の垂飾付耳飾 三木ますみ 筑波大学先史学・考古学研究 7

その他

古代インドの部族貨幣(Tribal Coins)について 山崎 元一 国学院大学紀要 34

仏を鏡に映す 吉崎 一美 密教図像 15

紀元前7世紀における西アジアの馬面 巽 善信 オリエン ト 38—2

西北イラン出土の青銅製獸頭飾角杯について " 天理参考館報 9

青銅器

中国

釈「旅器」疑義 西岡 市祐 国学院大学紀要 34

殷墟後半期の青銅彝器(下) 難波 純子 泉屋博物館紀要 12

先秦期における単字模鑄造法について—曾侯乙墓出土青銅器群を中心に— 吉開 将人 東洋文化研究所紀要 129

蚕叢氏伝説と三星堆遺址出土遺物 布目 順郎 文化財(月刊) 395

舶載三角縁神獸鏡の製作年代 福永 伸哉 待兼山論叢 30

甲 青

日 本

上州甲冑師の基礎研究(二)—憲国・成国・重吉・成重・国近— 平野 進一 群馬県立歴史博物館紀要 17
小山 永利

古墳時代甲冑研究の方法と課題 古谷 毅 考古学雑誌 81—4

彦根城博物館蔵 井伊直政関ヶ原役所用と伝える鉄朱漆塗仏二枚胴具足の考察 中村 達夫 刀剣美術 472

作品紹介 左己紋蜻蛉時絵服・打根腰 大橋 俊雄 徳島県立博物館研究報告 6

三角板系短甲について—千人塚古墳の研究(2)— 鈴木 一有 浜松市博物館館報 8

劍菱杏葉類の階層制とその背景 坂本 美夫 山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要 12

刀 剣

日 本

房総の刀工(3)—大原長壽— 古内 茂 千葉県立総南博物館年報 3

天理参考館所蔵の双龍環頭把頭 山内 紀嗣 天理参考館報 9

刀装具の画題(19)旭日瑞鶴 刀剣美術 468

肥前刀雑記(二十五) 二代忠広における自 身銘と三代代銘	横山 学	〃	〃	七郎衛門尉祐定とそ の周辺一新刀期祐定 への流れ一	横田 孝雄	〃	477
猿投神社伝来 金堂 蛭巻太刀について	広井 雄一	〃	469	備中国井原住佐藤拾 助国重の故地探訪記 (四)	中津 勝巳	〃	〃
[資料紹介]「コンプ トン・コレクショ ン」(一)	横山 学	〃	〃	刀装具の画題(28)雀 海中に入って蛤とな る		〃	〃
刀装具の画題(20)衣 川の館		〃	〃	江戸の鬼・明治の鬼 一浜物鐙を中心とし て	小笠原信夫	〃	478
代付銘のある末備前 刀について	横田 孝雄	〃	470	備中国井原住佐藤拾 助国重の故地探訪記 (五)	中津 勝巳	〃	〃
映りについての一試 論一刃のかねと地の かね	倉島 一	〃	〃	刀装具の画題(29)馬 師皇		〃	〃
[資料紹介]金銅丸鞘 太刀について(続)	広井 雄一	〃	〃	武家目利者・宇津宮 参河入道	間宮 光治	〃	479
刀装具の画題(21)張 果老(留守模様)		〃	〃	仙台藩刀匠考(三)刀 工 葉山丸	佐藤 一典	〃	〃
宇治河の先陣と綱切 の太刀一刃剣古伝書 にみる正恒一	間宮 光治	〃	471	刀装具の画題(30)鎌 鼈		〃	〃
[資料紹介]「コンプ トン・コレクショ ン」(二)	横山 学	〃	〃	擦文・オホーツク文 化期の出土刀剣に関 する覚書(1)一枝幸 町目梨泊遺跡の資料 によせて一	森 秀之	紋別市立 郷土博物 館報告	9
刀装具の画題(22)鉢 の木		〃	〃	そ の 他			
[資料紹介]古版「銘 図」	奈良原和夫	〃	472	ルリスタン出土の一 青銅剣銘をめぐって	伊藤 義教	オリエン ト	39-1
刀装具の画題(23)義 家斜雁の乱れ		〃	〃	染織・服飾			
生年銘のある末備前 刀について	横田 孝雄	〃	473	日 本			
寒河江家文書から見 た古武士の君公御差 料鑑定の実例	諸田 政治	〃	〃	沖縄装飾史試案	岡村吉右衛 門	沖縄県立 芸術大学 紀要	4
刀装具の画題(24)源 氏夕顔		〃	〃	藤ノ木古墳出土の綾 と法隆寺の綾	沢田むつ代	考古学雑 誌	81-3
備中国井原住佐藤拾 助国重の故地探訪記 (一)	中津 勝巳	〃	474	黒川能の光狩衣	河上 繁樹	国 華	1209
[資料紹介]「コンプ トン・コレクショ ン」(三)	横山 学	〃	〃	正倉院の大幡	尾形 充彦	正倉院年 報	18
刀装具の画題(25)初 鯉		〃	〃	絵と語る「百物館 名物記」8 長崎「お くんち」法被	木下 直之	淡 交	612
備中国井原住佐藤拾 助国重の故地探訪記 (二)	中津 勝巳	〃	475	天女の羽衣	布目 順郎	日本美術 工芸	690
刀装具の画題(26)鼠		〃	〃	蜀江大幡(奈良・法 隆寺蔵)	沢田むつ代	MUSE- UM	544
肥前刀雑記(二十六) 二代正広	横山 学	〃	476	中国・その他			
備中国井原住佐藤拾 助国重の故地探訪記 (三)	中津 勝巳	〃	〃	大谷探検隊将来絹資 料の研究:その二 錦と羅	横張 和子	古代オリ エント博 物館紀要	16
<郷土刀紹介>中世 の薩摩刀工「宗俊」に ついて	川路 幸雄	〃	〃	大谷探検隊収集西域 文化資料とその関連 資料	百済 康義 森安 孝夫 坂本 和子	龍谷大学 仏教文化 研究所紀 要	35
刀装具の画題(27)安 倍仲麻呂		〃	〃				

漆 工

日 本

古代螺鈿の研究(下)	中里 寿克 国 華	1203
漆芸道中膝栗毛 16 東京 日本漆工芸 史を拓いた人—蒔絵 を愛したすどい眼 吉野富雄(前編)—	灰野 昭郎 茶道雑誌	60—11
児庵日記(37)不味好 桐茶桶	宮腰 達朗 陶 説	517
近世における「草体」 の蒔絵—桃山時代か ら江戸時代初期への 展開—	波田よし子 美 学	186
東京国立博物館新収 品「花樹鳥獣蒔絵螺 鈿櫃」—鮫皮貼輸出 漆器の一例として—	竹内奈美子 MUSE- UM	538
螺鈿牡丹唐草文の系 譜—本阿弥光悦の螺 鈿意匠に関連して—	高橋 隆博	540
近世期、村山地方に おける漆の生産と流 通	渡部 史夫 山形県立 博物館研 究報告	18

中 国

中国・四川の漆器— 中国西南地区漆器等 調査報告—	倉橋 清方 広島県立 美術館研 究紀要	3
---------------------------------	---------------------------	---

石 工

日 本

長野県南佐久郡白田 町 水落山観音院町 石の踏査(十三塚の 終焉をめぐる予察)	唐沢 至朗 群馬県立 歴史博物 館調査報 告書	7
埼玉県東木上宿遺跡 出土の小型宝塔と小 型未開敷蓮華	山本 靖 考古学雑 誌	81—3
日本における茶臼の 研究	桐山 秀穂 古代学研 究所研究 紀要	6
神川町伝元大師跡の 出土遺物について	栗岡真理子 埼玉県立 歴史資料 館研究紀 要	18
宝篋印塔にみえる短 冊状意匠の類型と分 布	大久保かお り	〃
埼玉県手水鉢拾遺 (四)—観音寺手水鉢—	嘉津山 清 埼玉史談	245
東松山市岡光福寺宝 篋印塔私考	四方田 悟	246
埼玉県手水鉢拾遺 (五)—遍照院手水鉢 —附—天神手水鉢	嘉津山 清	〃

長瀬・皆野の中世石 塔	四方田 悟	〃	247
高知県の近江式装飾 文様をもつ石塔につ いて	篠原 良吉 史迹と美 術	661	
伯耆所在の古式一石 彫成五輪塔—奉籠孔 所刻塔を中心に—	福沢 邦夫	〃	662
宮崎県えびの市飯野 支所の石造物	溝下 昌美	〃	〃
亀岡市の題目磨崖碑	浜田 謙次	〃	664
「南都 石工 嗽染」 について	仲 芳人	〃	〃
淡路島の凝灰岩石造 物—奥之坊五重塔を 中心に—	森 章	〃	666
丹波瑞穂町 徳善寺 の石塔群	浜田 謙次	〃	670
石龕に閉じこめられ た蓑衣婆	近藤 昭一	〃	〃
移動生活のなかの石 器作りの営み—砂川 型刃器技法の再検討—	島田 和高 駿台史学	98	
中山道—石造遺物を 通して—	小花波平六 武蔵野	327	

中 国・その他

有孔玉、石斧をめぐ って	林 巳奈夫 史 林	79—5
ジャムダト=ナスル 期タブレットの印影 と円筒印章	小野山 節 オリエン ト	39—1

ガラス工

日 本

天正遣欧使節の超大 鏡(補遺)	原 俊之 GLASS	40
薩摩切子 藍色船形 鉢	土屋 良雄 国 華	1212
びいどろの年代基準	岡 泰正 日本美術 工芸	694
江戸の夏とガラスの 器—日本のガラス小 史—	土屋 良雄 文化財 (月刊)	395
東京芸術大学構内出 土のガラス瓦—考古 学的対象としての 「近代」—	山内 利秋	〃

そ の 他

トゥール遺跡出土の ガラス製クフル瓶— イスラーム期の練り 込み装飾尖底小瓶の 年代と用途をめぐる 考察—	真道 洋子 GLASS	40
--	-------------	----

玉 工				記念シンポジウム 武家の都鎌倉とその 中世建築 報告1 中世都市鎌倉の発掘 —建築遺構を中心に—	河野真知郎	〃	〃
日 本				遺跡にみる先史人類 の土地利用について —縄文時代中期・下 総台地東京湾地域の 例—	菊池 真 史 苑		157
弥生・古墳期の玉の 使用形態と意義—玉 副葬の歴史的展開—	広瀬 時習	文化史学	52				
中 国				書評 沢村仁著『日 本古代の都城と建 築』	亀井 伸雄	史学雑誌	105—9
圭について(上)	林 巳奈夫	泉屋博古 館紀要	12				
工芸その他				古代集落研究序説 1	石倉 亮治	千葉県立 中央博物 館研究報 告	9
日 本				書評と紹介 高橋誠 一著『日本古代都市 研究』	栄原永遠男	日本歴史	578
長野県屋代高等学校 所蔵の革袋形瓶	平林 彰	長野県立 歴史館研 究紀要	2				
建 築 一 般				書評と紹介 沢村仁 著『日本古代の都城 と建築』	山岸 常人	〃	580
日 本				滋賀県における縄文 住居の変遷について	中村 健二	人間文化	1
建築はどうやって学 ばれてきたか	清水 拓 西中川 和夫武	建築雑誌	1379	八王子市船田遺跡の 平安時代集落(4)	服部 敬史	八王子の 歴史と文 化	8
紹介 福山敏男先生 追想	永井 規男	建築史学	26	ムラの中の社寺・ム ラの外の社寺—府中 市是政を例に—	小野 一之	府中市郷 土の森紀 要	9
福山敏男先生の著作 目録 昭和二年〜平 成二年(一九二七〜 一九九〇)	高橋 康夫	〃	〃	北の海の文化交流の 跡を探る—北海道余 市町大川遺跡の発掘 調査—	宮 宏明	文化財 (月刊)	390
新刊紹介 藤島玄治 郎編著『平泉建築文 化研究』	清水 拓	〃	27	遺跡が語る開発と村 の歴史—古代・中世 を中心として—	坂井 秀弥	〃	398
南山城の高句麗遺跡	松井 敏雄	史迹と美 術	669	弥生時代から古墳時 代への社会変動と地 域開発	赤塚 次郎	〃	〃
物故会員追悼の辞 故福山敏男会員追悼 の辞	岡本 舜三	日本学士 院紀要	50—3	古代北武蔵の開発と 集落—埼玉県北部の 灌漑方式の変化を中 心に—	鈴木 徳雄	〃	〃
新指定・新選定の文 化財 重要文化財の 指定(建造物)、重要 伝統的建造物群保存 地区の選定	文化庁文化 財保護部	文化財 (月刊)	388	多摩丘陵の古代開発 条里制と開発の歴史 —条里地割の施工年 代をめぐって—	鶴間 正昭	〃	〃
そ の 他				河内平野の水田開発 —小区画水田から条 里型水田へ—	江浦 洋	〃	〃
古代ホラズムの研究 第2部 現地調査 の記録	菅谷 文則	シルク ロード学 研究	2	狭山池の築造と南河 内の開発	市川 秀之	〃	〃
都 市 ・ 集 落				中世畿内の村落遺跡	鋤柄 俊夫	〃	〃
日 本				佐賀平野の低湿地開 発と中世村落	宮武 正登	〃	〃
洛中地子救免と町屋 —建物先行型による 短冊形地割の形成過 程	土本 俊和	建築史学	27	古琉球のシマと耕地 開発	安里 進	〃	〃
				東京低地を望む弥生 集落の動向	鈴木 直人 武蔵野		328

幕末の横浜市街地の住民構造	西川 武臣	横浜開港資料館紀要	14	書評 橋本義則著『平安宮成立史の研究』	藤田 勝也	〃	〃
連載 真の部屋〔第5回〕 魏志倭人伝の考古学—南至邪馬台国—	佐原 真	歴 博	75	記念シンポジウム 武家の都鎌倉とその中世建築 報告2 永福寺の発掘について	福田 誠	〃	27
中 国				書評 手中正著『宮大工の技術と伝統 神興と明王太郎』	吉田 純一	〃	〃
河南鄧州八里崗新石器時代遺跡の発掘	張 江凱	出光美術館報	94	伊勢神宮と「天衣」伝承—「愚昧記」嘉応元年二月四日条を中心として—	加茂 正典	皇学館大 学神道研 究所紀要	12
批評・紹介 五井直弘編『中国の古代都市』	江村 治樹	東洋史研究	55—2	出雲国出身仕丁再論	野々村安浩	古代文化 研究	4
建 造 物				九州に於ける近世城郭の石垣について (その二)	高瀬 哲郎	佐賀県立 名護屋城 博物館研 究紀要	2
一 般				書評 橋本義則著『平安宮成立史の研究』	山下信一郎	史学雑誌	105—6
器の文化史(二)—民族造形学入門—	金子 量重	陶 説	515	史料紹介 本殿を流造とした複合社殿	浜島 正士	静岡県史 研究	12
日 本				黄檗信仰史 二	江口 正尊	史迹と美 術	663
加賀藩江戸藩邸の変遷と板橋平尾邸	辻崎 久哲	板橋区立郷土資料館紀要	11	仏塔の本尊について	井関 正敬	〃	664
落合遺跡における竪穴式住居跡の家屋構造について	猪狩みち子	いわき市教育文化事業団研究紀要	7	寝殿造とは	杉山 信三	〃	669
隠岐島後の指定文化財	野津 徳重	隠岐の文化財	13	仁和寺御室考—中世前期における院権力と真言密教—	横内 裕人	史 林	79—4
大和古寺幻想(11)—いま、まぼろしの飛鳥寺はよみがえりて	上原 和	学 鏡	93—11	茶室研究事始 三	中村 昌生	淡 交	606
大和古寺幻想(12)—飛鳥寺に高句麗の風は吹きそめて	〃	〃	93—12	茶室研究事始 四	〃	〃	607
覚鑿による高野山大伝法院の草創—その景観と仏像—荘厳—	中川委紀子	鹿島美術研究	13	蔵座敷の内部構成および意匠に関する研究	杉山 岳巳	東北芸術 工科大学 紀要	3
江戸城本丸御殿図に見る中興・表向・大興(下之二)—その変遷を中心に—	深井 雅海	金鱗叢書美術史論文集	23	研究ノート 山ノ内町伊勢宮遺跡の柄鏡形敷石住居址	田川 幸生	長野県立 歴史館研 究紀要	2
ひらがな日本美術史【連載】その三十二—とんでもなく美しいもの「鹿苑寺金閣」	橋本 治	芸術新潮	559	古代における建築技法の変遷について	岡田 英男	奈良大学 紀要	24
庄内藩大工棟梁小林家旧蔵の慶長期以前の木割書に見られる鳥居について	永井 康雄 飯淵 康一	建築雑誌	1399	桂離宮を修復する 5 桂離宮の廁のはなし・樋箱と葬宮と下須麩	佐藤 理	日本美術 工芸	688
近世初期上層住宅の台所と庶民住宅	モリス・マーティン	建築史学	26	桂離宮を修復する 6 桂離宮の叩土のはなし	〃	〃	689
研究ノート 法勝寺の伽藍と建築 その沿革再考	富島 義幸 高橋 康夫	〃	〃	桂離宮を修復する 7 桂離宮御殿と茶屋の床の不陸と地盤沈下	〃	〃	690
書評 津田良樹著『街道民家研究—日光社参史料からみた住居と集落』	大場 修	〃	〃	桂離宮を修復する 8 桂離宮の炉のはなし・暖炉と炉壇と囲炉裏	〃	〃	691
				桂離宮を修復する 9 桂離宮の土壁・赤い壁と白い壁	〃	〃	692

桂離宮を修復する 10 桂離宮江戸期土 壁の大ばらし工法	〃	〃	693	赤山法華院の現況等 について—『巡礼行 記』などに見られる 山東諸寺院の歴史と 現状—	斎藤 円真	天台学報	38
桂離宮を修復する 11 桂離宮の障壁画 ・杉戸絵と襖絵と壁 貼付絵	〃	〃	694	峰山道場の位置	野本 覚成	〃	〃
桂離宮を修理する 12 桂離宮御殿と茶 屋の唐紙	〃	〃	695	左溪講寺等の現状に ついて	秋田 光兆	〃	〃
桂離宮を修復する 13 桂離宮の扁額と 絵馬	〃	〃	696	五台山竹林寺跡の塔 について	斎藤 忠	日本歴史	572
桂離宮を修理する 14 桂離宮の漆塗り	〃	〃	697	歴史手帖 中国の浮 梁—日本の舟橋との 関連において—	伊原 弘	〃	578
桂離宮を修復する 15 桂離宮御殿と茶 屋のはなし	〃	〃	698	北京・紅螺寺の仏塔	松木 民雄	北海道東 海大学紀 要	8
桂離宮を修理する 16 桂離宮の修復に 合成樹脂の多角的な 利用	〃	〃	699	そ の 他			
永徳出現—南禅寺大 方丈前身建物と障壁 画—	西 和夫	日本歴史	572	アナトリア圏・シリ ア圏・イラク圏のム カルナスについての 歴史的考察—イス ラーム建築における ムカルナス・ヴォー ルティングに関する 研究	深見奈緒子	建築史学	27
文化財レポート 甲 府城の石垣調査	八巻与志夫	〃	573	東西文化比較往来 (21)	杉山 二郎	学 鏡	93—12
歴史手帖 中世の橋 舟	阿蘇品保夫	〃	574	庭 園			
文化財レポート 根 来寺坊院跡の調査	辻林 浩	〃	〃	日 本			
文化財レポート 鴻 臚館跡の調査と整備	田中 寿夫	〃	575	庭園の流れ(十二) 室町時代の庭園 そ の四 —和様枯山水 —	中根 史郎	茶道雑誌	60—1
書評と紹介 橋本義 則著『平安宮成立史 の研究』	北村 優季	〃	578	庭園の流れ(十三) 桃山時代の庭園 そ の一 —書院庭園—	〃	〃	60—2
欠下平遺跡から検出 された律令時代の掘 立柱建物跡について	辰巳 均	浜松市博 物館館報	8	庭園の流れ(十四) 桃山時代の庭園 そ の二 —新奇趣味—	〃	〃	60—3
法成寺の塔について	富高橋 義幸 康夫	仏教芸術	228	庭園の流れ(十五) 桃山時代の庭園 そ の三 —戦国武将の 茶庭—	〃	〃	60—4
奈良国立文化財研究 所 飛鳥資料館 春 期特別展示 山田寺 東回廊—再現にむけ て—にちなんで 山 田寺東回廊出土材	岩本 圭輔	文化財 (月刊)	392	庭園の流れ(十六) 桃山時代の庭園 そ の四 —町衆の茶庭 —	〃	〃	60—5
地域文化財の修復に たずさわる「建築医」 の役割と技術的課題	木村 勉	〃	393	庭園の流れ(十七) 桃山時代の庭園 そ の五 —侘茶の庭—	〃	〃	60—6
二神島と由利島の建 築—一九九五年度の 調査結果について	西 和夫	歴史と民 俗	13	庭園の流れ(十八) 江戸時代の庭園 そ の一 —武家の茶庭 —	〃	〃	60—7
「大寺考」	大橋 一章	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	41	庭園の流れ(十九) 江戸時代の庭園 そ の二 —総合庭園—	〃	〃	60—8
中 国							
錫克沁寺院址と千仏 洞の概況	鎌田 茂雄	大倉山文 化会議研 究年報	7				

庭園の流れ(二十) 江戸時代の庭園 その三 一枯山水庭園	〃	〃	60-9
庭園の流れ(二十一) 江戸時代の庭園 その四 一庭園の庶 民化一	〃	〃	60-10
庭園の流れ(二十二) 江戸時代の庭園 その五 一地域の 変化一	〃	〃	60-11

中国

風景式庭園における 中国思想—ヴェ リッツ庭園と小石川 後楽園の比較を手が かりとして—	五島	聖子 美	学 185
--	----	------	-------

墳墓

日本

神戸市西求女塚古墳 の発掘調査	安田	滋	考古学雑 誌 81-1
山稜図の基礎的考察 —大和国山稜図を中 心として—	増田	一裕	〃 81-2
鳥取県福部村蔵見3 号墳出土の鷗尾付陶 棺	谷岡 中原	洋一 斉	〃 81-4
明治政府の古墳調査 —埼玉県の「陵墓伝 説地」をめぐって—	塩野	博	埼玉県史 研究 31
模様積石室小考	増田	逸朗	埼玉県立 まきたま 資料館調 査研究報 告 9
将軍山古墳石室出土 遺物の所在について	岡本	健一	〃 〃
新刊紹介 日本史研 究会・京都民科歴史 部会編「「陵墓」か らみた日本史」	大平	聡	史学雑誌 105-7

滋賀県東浅井郡湖北 町・浅井町雲雀山古 墳群について	畑中 田中	英二 勝弘	滋賀県立 安土城考 古博物館 紀要 4
平成六年度 陵墓関 係調査概要	陵墓調査室		書陵部紀 要 47
律令国家陵墓制度の 基礎的研究—「延喜 諸陵寮式」の分析か らみた—	北	康宏	史 林 79-4

茨城県出島村田宿天 神塚古墳の測量調査	田中 日高	裕 慎	筑波大学 先史学・ 考古学研 究 7
------------------------	----------	--------	-----------------------------

古墳時代後期の様相 —東京低地及び武蔵 野台地周辺部の後期 古墳を中心として—	田川	憲 武 蔵 野	328
--	----	---------	-----

経塚古墳についての 予察	吉岡	弘樹	山梨県立 考古博物 館山梨県 埋蔵文化 財—セ ンター研 究紀要 12
総の終末期古墳につ いて	上野	恵司	立正史学 80
書評 日本の古代遺 跡を掘る 5 『藤 ノ木古墳』	岩崎	卓也	歴 博 78

中国

天馬一曲村遺跡晋侯 墓地の発掘といくつ かの知見	劉	緒	出光美術 館館報 94
研究ノート 江蘇省 の六朝紀年墓	高島	徹	大阪府立 近つ飛鳥 博物館館 報 1
中国漢・南北朝時代 の小文化センターに ついて—漢中・安康 地区を中心に—	八木 小沢	春生 正人	鹿島美術 研究 13
居延地区の現状と新 出漢簡情報	大庭 鶴飼 吉村 門田	脩男 昌之 明	関西大学 東西学術 研究所紀 要 29
中国の“お墓”はやっ ぱり凄い! 漢代の装飾墓の階層 性について	樋口 加藤	隆康 修	芸術新潮 559 女子美術 大学紀要 26
中国古代の墳丘規定 と新出漢簡	山田	勝芳	東北大学 日本文化 研究所研 究報告 32

朝鮮

韓国西南部の前方後 円形墳と輪形土製品	岡内	三真	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要 41
------------------------	----	----	--------------------------------

建築その他

日本

奈良に足跡を残した 「山形商人」	木村	博 聖 徳	149
資料紹介 東福寺本 堂棟札について	伊藤	然	草加市史 研究 10
園城寺尺をめぐって	安達	直哉	MUSE- UM 542
[企画展示]失われゆ く番匠の道具と儀式 墨壺と建築儀式	浜島	正士	歴 博 77

その他

日本

制度における学芸員 概念—形成過程と問 題構造—	犬塚	康博	名古屋 市博物館 研究紀要 19
--------------------------------	----	----	------------------------

平成8年定期刊行物所載文献(古)

歴史博物館論のための予察	矢島 国雄	MUSE-UM STUDY	7
複製資料制作覚書—平面資料の場合—	斎藤 慎一	" "	" "
歴史系地方博物館学芸員の歴史研究法	吉田 優	" "	" "

その他

アート・ドキュメンテーション研究会第8回講演会 美術館におけるアート・ライブラリの機能と役割	アレン・ナンシー・S. 平山美紀子	アート・ドキュメンテーション研究	5
アート・ドキュメンテーション研究会第9回講演会 アート・ライブラリアンの教育	" "	" "	" "
絵画データベースの検索手法:ベクトル型検索手法の可能性	増田 美子 安形 輝 上田 修一	" "	" "

保存科学・修復

一般

イクロム—文化財保存のための世界の十字路口	三浦 定俊	文化財(月刊)	390
-----------------------	-------	---------	-----

日本

書籍虫害とその防除法—草加市の事例調査結果を併せて—	田中 誠	草加市史研究	10
山形県鮭川村向居築師堂における文化財保存環境の長期間調査	松田 泰典 塚田 全彦	東北芸術工科大学紀要	3
伝統木造建築の耐震性と耐震補強の流れ	西沢 英和	文化財(月刊)	389
文化庁・東京国立博物館共催「美の再現—国宝の模写・構造—」模写と模造の意義	林 温	" "	395
高徳院国宝銅造阿弥如来坐像の表面に生成する腐食生成物の解析	松田 史朗 青木 繁夫	保存科学	35
古建築の外装塗装の物性に関する研究(3)—丹色塗装の屋外曝露試験<2>—	西浦 忠輝 岡部 昌子 川野辺 渉	" "	" "
松戸市立博物館蔵の板絵にみる鉛白の変色と再白色化	朽津 信明 下山 進 野田 裕子 川野辺 渉	" "	" "
紫外線劣化絹の修復材料への応用の可能性	佐野 千絵 米山めぐみ 三浦 定俊 田畔 徳	" "	" "

熱分解ガスクロマトグラフィーによる漆試料の同定の可能性について	川野辺 渉	" "	" "
文化財試料の化学発光測定におけるS/N比の検討	佐野 千絵 米山めぐみ 三浦 定俊	" "	" "
東京都美術館「法隆寺金堂壁画展」に関する保存環境調査	佐野 千絵 三浦 定俊 木川 りか	" "	" "
展示公開施設の館内環境調査報告—平成6年度—	佐野 千絵 三浦 定俊	" "	" "
平成7年度 修復処置概報	修復技術部	" "	" "
博物館館内の展示照明	石川 陸郎	MUSE-UM STUDY	7
史料の保存と活用—図書館・博物館そして文書館—	栗山 欣也	文書館紀要	9

中国・朝鮮・その他

敦煌莫高窟の気象と壁画の保存	三浦 定俊	東方学	92
国際学術会議参加記 韓国における史料編纂・保存・公開・展示の現状	井原今朝男	長野県立歴史館研究紀要	2
「ユネスコ文化遺産保存日本信託基金」によるチョッガー・ザンビール遺跡保存・修復計画について	山内 和也	オリエント	39—1

情報処理

日本

インターネットに適応した全文データベース検索システムの拡張—文書画像データへのアクセス:鹿児島大学教養部紀要を例として—	鶴岡 弘三 大山 敬 内藤 衛亮	学術情報センター紀要	8
奈良絵本データベースの開発研究	安永 尚志	国文学研究資料館紀要	22
文字コードと文字	宮沢 彰	人文学と情報処理	10
漢字コードのゆくえ—ISO10646を中心に	松岡 栄志	" "	" "
漢字とコンピュータ、併せて常識字について	林 四郎	" "	" "
東洋学における漢字計算機処理の現状—京都大学人文科学研究所の場合—	勝村 哲也	" "	" "

考古学と未来のデータベース	宝珍 輝尚 都司 達夫	〃	11	国宝及び重要文化財指定基準(建造物の部)の改正について	〃	〃	393
古墳の築造規格研究とコンピュータ利用	西村 淳	〃	〃	文化財保護法改正の基本理念	崎谷 康文	〃	397
年輪年代学とコンピュータ	渡辺 直経	〃	〃	文化財保護法の一部を改正する法律の概要について	水野 豊	〃	〃
文化財行政				登録制度の内容と今後の進め方	村上 詔一	〃	〃
日 本				指定都市、中核市への権限の委任と市町村の役割の明確化	山中 伸一	〃	〃
平成5年度重要文化財の指定について		考古学雑誌	81-2	重要文化財等の活用促進(規制緩和)	鈴木 規夫	〃	〃
近世文化遺産の活用と郷土史	青木 義脩	埼玉史談	246	文化財保護法の一部を改正する法律(資料)		〃	〃
文化財レポート 平成七年度前期の史跡等の指定		日本歴史	576				
阪神大震災と美術館	中島 徳博	博物館研究	333				
文化財保護法の一部を改正する法律について	黒岩万里子	〃	342	九州の博物館 佐賀県立博物館・美術館	中牟田賢治	文明のクロスロード MUSE-UM KYU-SYU	52
「美術館・博物館におけるコミュニケーションの新たな戦略」-イコム/教育および文化財活動委員会(ICOM/C ECA)国際会議'96をめぐって	後藤 文子	〃	〃	「民俗文化財」創出のディスカール	才津祐美子	待兼山論叢	30
阪神・淡路大震災と文化財の復旧-現状と課題-	山田 道夫	文化財(月刊)	389	【歴博対談】5 博物館のゆくえ 大学博物館を中心に	青柳 石井 正規 進	歴 博	75
地震被害と文化財建造物	光井 渉	〃	〃	中国・その他			
「文化財建造物等の地震時における安全性確保に関する指針」について	文化庁文化財保護部	〃	〃	新装なった上海博物館	弓場 紀知 陶	説	525
埋蔵文化財保護体制に関する調査研究結果の報告について	〃	〃	391	フランスの文化行政の新しい取りくみ-西野嘉章「博物館学-フランスの文化と戦略」から-	大橋 竜太	〃	388
埋蔵文化財保護体制の整備充実について(報告)				アメリカの登録文化財制度	西村 幸夫	文化財(月刊)	397

「物故者」 ページ (341～355 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.341-355)

Cut for protection of the personal information

印刷 平成10年4月30日

発行 平成10年4月30日

日本美術年鑑

平成9年版

編集者 東京国立文化財研究所美術部

発行者 東京国立文化財研究所
東京都台東区上野公園13-27
電話(3823)2241

印刷 大蔵省印刷局
東京都港区虎ノ門2-2-4
電話(03)3587-4283~9
(業務部図書課ダイヤルイン)